2025年度

学 生 便 覧

教 科 案 内

愛知医科大学　医学部

Aichi Medical University School of Medicine

目　　次

建学の精神，学是 ・・・

４学年次授業時間割 ・・・

解剖学実習１ａ ・・250
解剖学１ｂ ・・255
解剖学実習１ｂ ・・・260
生理学１ ・・・265
生化学１ ・・・270
基礎科学・基礎医学統合演習 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・274
Preparation for the ＵＳＭＬＥ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・280
選択講座１ ・・284

＜2学年次履修科目＞

プロフェッショナリズム２ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・287
多職種連携演習２ ・・291
行動科学２ ・・295
統計学２ ・・・299
医学英語２ ・・303
分子発生学 ・・309
生命倫理２ ・・314
基礎医学セミナー ・・318
解剖学実習２ ・・・322
生理学２ ・・・335
生理学実習 ・・340
生化学２ ・・・353
生化学実習 ・・357
薬理学 ・・361
薬理学実習 ・・365
病理学 ・・369
病理学実習 ・・373
統合講義（腫瘍学） ・・・377
統合講義（炎症学） ・・・381
微生物学（細菌分野，ウイルス・真菌分野） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・385
免疫学 ・・392
免疫学実習 ・・396
寄生虫学 ・・・401
地域社会医学実習 ・・406
チーム医療実習 ・・・411
外来案内実習 ・・416
コミュニケーション演習２ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・420
選択講座２ ・・427
検査医学 ・・・429
放射線医学 ・・433

＜3学年次履修科目＞

プロフェッショナリズム３ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・438
多職種連携演習３ ・・442

医学英語３ ・・・

臨床遺伝学 ・・634
臨床推論 ・・638
地域医療総合医学 ・・642
基本手技・医療面接実習 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・647
臨床実習入門 ・・653
地域医療早期体験実習 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・658
講座等名・使用教室略称一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・662

[施 設 案 内]

保健管理センター利用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・663
総合学術情報センター（図書館部門）利用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・664
総合学術情報センター（ICT支援部門）利用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・665
総合学術情報センター（情報基盤部門）利用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・666
運動療育センター利用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・667
シミュレーションセンター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・668
国際交流センター ・・668
その他の施設 ・・669

[規 則]

愛知医科大学学則 ・・672
医学部履修規程 ・・・685
医学部進級認定に関する規程 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・696
進級・卒業要件 ・・・697
愛知医科大学学生の自動車による通学及び駐車の規制に関する規程 ・・・・・・・・・・・・・・・・698
学生の駐車違反者等に対する懲戒要項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・701
愛知医科大学課外活動に関する規程 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・702
愛知医科大学課外活動細則 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・703
医学部学生のクラブ活動に関する活動基準について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・705
愛知科大学体育施設使用基準 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・706

[資 料]

交通の案内 ・・709
学園運営機構 ・・710
人事組織 ・・711
教員一覧 ・・712
学内建物案内図，建物見取図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・714

建学の精神

本学は，新時代の医学知識，技術を身につけた教養豊かな臨床医，特に時代の要請に応えて地域社会に奉仕できる医師を養成し，あわせて医療をよりよく発展向上させるための医学指導者を養成することを目的とする。

そのため，医学を中心とした広汎な基礎的知識を授け，深い専門的技術を教授研究し，心身ともに健康なる医師を養育し，その知的，道徳的能力及び社会的有用性の向上を期している。

なお，私学の特性に鑑み，その自主性を重んじ，公共性を高めることによって，私立医科大学の健全なる発展を図り，社会福祉，殊に地域医療に貢献するとともに，東南アジアその他発展途上国の医療の進歩，向上に協力せんとする。

本学の修業年限は６年で，その間の教育に一貫性を期するとともに，研究の交流を図るために，その組織を基礎科学，基礎医学，臨床医学の各部門にわかち，それぞれの緊密なる連携を図ることにした。この点本学が新しい構想のもとに企画したところであり，本学の特色とするところである。かくして新しい「カリキュラム」をもって人間形成及び創造性の啓発を図り，人命の尊厳を守り，ヒューマニズムに徹し，各自の自主的，自発的勉学を尊重し，人間としての自覚にたった医学教育を目指しているのである。

学是　『具眼考究（ぐがんこうきゅう）』

「具眼」とは，江戸中期の画家で近年脚光を浴びている伊藤若冲の言葉として知られていますが，「確かな眼」，「見通す眼」，「眼力」，「慧眼」といった意味であり，医学的には「正しくみる」ことを意味します。「みる」とは「診る」，「看る」，「見る」，「観る」，「視る」のすべてを含み，個々の患者の正確な病態とともに生物学的，心理学的，経済的，社会的なすべての視点に立った包括的，全人的に患者を把握する感性を意味します。さらに卓越した研究・教育それに大学の正しい未来の方向性の洞察には「具眼」が必要です。

「考究」とは，「具眼」によって得た神髄を深く考え，それに対して正しく対処して究めることを指します。

愛知医科大学の医学教育が目指すもの

【教育研究上の目的】

医学部は,プロフェッショナリズムを備え,地域社会の様々な人々と良好な関係を築きながら,質の高い医療が提供でき，また，幅広い医学知識，高い診療技能及び科学的探究心を持った医師を育成すること。

【教育理念】

医学部の教育理念は，医学知識や技術の修得はもとより，医学を志す者として教養豊かな人間性を涵養することです。すなわち，建学の精神及び学是に基づいた科学的・倫理的判断力，社会貢献の自覚を養い，情緒と品格を兼ね備えた医療人を育成することです。

【教育目標】

ヒューマニズムに徹し，医学・医療の社会的使命を進んで果たす医師を養成すること。

1　将来の医学・医療の様々な分野に共通して必要な基本的知識，技能，態度を身につけ，生涯にわたる学修の基礎をつくります。

2　自主性・創造性を身につけ，問題解決能力を高めます。そして，医学の進歩と，医療をめぐる社会情勢の変化に対応できる能力を涵養します。

3　医療を予防・診断・治療から社会復帰までの包括的なものとして捉え，自然科学のみならず，その背景にある心理的・社会的諸問題をも含めて総合的に対応できる能力を涵養します。

【カリキュラムの特徴】

① 基礎科学教育の再編・充実にて自律的学修の能力を修得すると共に，基礎医学，臨床医学の理解の確固たる基盤を作る。

② １学年次から基礎医学を学び，学修意欲の向上を目指す。

③ プロフェッショナリズム，行動科学教育，多職種連携教育・倫理教育を実施し，医療人としての基本的価値観，資質，能力を継続的に修得する。

④ １学年次から早期体験実習・社会医学実習・地域医療実習を学外施設で行い，地域社会への貢献の自覚を深める。

⑤ 基礎・社会・臨床医学の専門科目においては，垂直・水平統合を推進し，医学，医療への総合的視点を早期から涵養する。

⑥ １学年次後学期から４学年次前学期の６限目に選択講座を開講し，学生の個々のニーズに合わせた知識，技能を修得する。

⑦ １～４学年次の学業不振者に対してグループ学修を用いた継続的な学修支援を行う。

⑧ 社会医学，社会医学実習の充実により，社会と医療の関係の理解，社会の中での医療人としての役割の自覚を深める。

⑨ 臨床講義では，アクティブ・ラーニングを積極的に取り入れ，自己学修の習慣を維持するとともに，科目毎に試験を実施し，医学知識の確実な定着を図る。

⑩ 80 週（クリニカル・クラークシップ 72 週，臨床前実習８週）の臨床実習にて実践力のある良き臨床医の基盤を作る。

⑪ 臨床実習中の臨床現場における学習者評価（workplace based assessment）を積極的に取り入れ，診療参加型臨床実習の充実を図る。

⑫ 臨床実習期間中に定期的に総合試験を実施して知識の定着を図り，臨床実習での学びを深める。

３つのポリシー

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー)】

本学医学部では，建学の精神に基づき，新時代の医学知識と技術を身につけて科学的・倫理的判断能力及び情緒と品格を兼ね備えた教養豊かな人間性を培い，地域社会に奉仕できる医師の養成を目指します。カリキュラム・ポリシーに沿ったカリキュラムを履修し，卒業時能力達成基準（コンピテンス，コンピテンシー）に定める項目を身につけた学生に卒業を認定し，学士（医学）の学位を授与します。

【教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー)】

医師に求められる知識・技能・態度を，段階的，スムーズに修得できるように講義及び医療実習・臨床実習を１学年次から６学年次まで継続的，かつ，らせん状の学修方法にて積み重ねていきます。

学修内容が真の効果的な学びとなるように講義は単なる一方向性の座学ではなく，教員との双方向性のやりとり，学生間の意見交換・議論などのアクティブ・ラーニングを６年間通して行います。また，６年間継続する医療実習及び臨床実習では，常に，事前学習，実地体験，体験の振り返りのまとめとプレゼンテーションを行い，経験からの学びを深め，確実にそれらを身につけられるようにします。

これらによって修得された学びは，医学的知識を評価する試験だけではなく，シミュレーションを使った技能の評価，振り返り記述や多職種を含めた多方面からの態度評価など，多面的・複合的な方法によって学修成果の達成度を明らかにします。

- ■１～４学年次まで継続的にプロフェッショナリズム科目（多職種連携教育 IPE を含む）を開講して，良き医療人としての在り方・資質について考え，目標を保ち続けるようにしている。さらに行動科学も，プロフェッショナリズム教育と連携し継続して行う。人間の行動をまず科学として捉え，さらに社会の中で患者・住民に寄り添う関係を考え，健康問題など予防医学的観点へ繋がる学修を目指す。
- ■臨床の現場における学びを入学後早期から継続的に行うため，１学年次で「早期体験実習」，２学年次で「地域社会医学実習」,「チーム医療実習」,「外来案内実習」，３学年次で「地域包括ケア実習」，４学年次で「地域医療早期体験実習」を実施し，その後，４～６学年次でクリニカル・クラークシップ（診療参加型臨床実習）を実施する。様々な実習及びクリニカル・クラークシップでは，医学知識のみならず医師としての人間性を涵養する。（１～６学年次までの継続的な学び）
- ■１学年次には，医学の基礎となる知識と概念を得るために医学に沿った自然科学科目とリベラルアーツを開講し，さらに「アカデミックリテラシー」による ICT（Information and Communication Technology）やアクティブ・ラーニングから自学自習の習慣をつける。
- ■１学年次から解剖学，生化学及び生理学を開講し，早期から基礎医学領域の学びを開始することで，医学への関心を刺激し学修意欲を高める。

■１学年次に行う「早期体験実習」では，プロフェッショナリズムの一環として，目指すべき医療人，医療のあり方を理解するようにする。
■２学年次後学期までに「解剖学」,「発生学」,「生理学」,「生化学」,「薬理学」,「病理学」,「免疫・寄生虫学」及び「微生物学」等の基礎医学の講義，実習を実施し，臨床医学のための基礎を早期に築き上げることを目指す。
■２学年次で行う「地域社会医学実習」,「チーム医療実習」及び「外来案内実習」では，社会的存在としての患者，患者をケアする医療チームのあり方を体験する。
■２学年次に「基礎医学セミナー」を開講し，科学的探求心を涵養する。
■３学年次にEBM（Evidence-Based Medicine）と併せて社会医学科目である「公衆衛生学」,「衛生学」,「法医学」を実施し，患者を一人の人間，また社会の中で生活する住民として広い視野から理解できるように講義と地域の様々な施設・機関での実習を連動させる。
■３学年次で行う「地域包括ケア実習」では，超高齢社会での医療供給体制と社会に対する医療の責任についての理解を深める。
■３学年次からは，臨床医学総論として症候学，診断学及び検査学を学んだうえで，各科目を集中的に学修する臨床講義を実施する。また，医療安全の授業を実施し，医療の実践に必要な知識・技能を学ぶ。講義の最終日には科目毎に知識の定着を評価し，このことで継続的な自主学修も促す。
■４学年次には，医療と倫理の授業が行われる。
■４学年次前学期で臨床講義は終了し,前期終了時にCBT(Computer-Based Testing)を実施し，クリニカル・クラークシップに参加できる医学知識が身についているかどうかを総括的に評価する。
■CBT後には，クリニカル・クラークシップに臨むための診断学，臨床・診断推論の知識，技能の修得のため,「臨床実習入門」を講義及び演習・実習にて実施する。
■臨床実習入門後には，実際の診療のための手技を修得する基本手技・医療面接実習を実施し，この実習の総括的な評価をOSCE（Objective Structured Clinical Examination：客観的臨床能力試験）にて実施する。これに合格した学生のみがクニカル・クラークシップに参加することができる。
■クリニカル・クラークシップ前に，地域医療早期体験実習を行う。地域社会の中における医療の理解をさらに深め，４学年次後学期からのクリニカル・クラークシップにて常に地域社会を意識できるようにする。
■４学年次後学期から計72週のクリニカル・クラークシップを行う。クリニカル・クラークシップは，必修診療科ローテーションと選択診療科ローテーションの組み合わせにて実施する。大学病院の他，教育協力病院など地域医療機関での実習で多様な体験をし，大学病院と地域医療機関との連携についても理解し，コモンディジーズを診るプライマリ・ケアから高度先進医療まで幅広い診療技能を修得する。
■クリニカル・クラークシップ期間中には，総合試験を実施し，クリニカル・クラークシップで修得した医学知識の評価を行う。

■クリニカル・クラークシップの診療技能評価は，臨床実習後 OSCE にて実施し，本学独自の技能課題も取り入れる。

■６学年次後学期に総合試験を実施し，６年間の医学知識の総括的評価を行う。クリニカル・クラークシップの評価，臨床実習後 OSCE 及び総合試験の全てに合格することによって，本学医学部を卒業する資格を得ることができる。

【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー)】

本学医学部のカリキュラムを修得し，卒業時に求められる能力を身につけることができる者として，次の能力を持つ者を求めています。

求める学生像

1. 医学への強い志向と学習意欲を持つ人
2. 医学を学ぶために必要な基礎学力と問題解決能力を備えた人
3. 人間性と教養が豊かで,倫理的価値判断に優れた人
4. 協調性を持ちコミュニケーション能力に富んだ人
5. 誠実で常に努力を怠らない人

本学医学部が求める学生を受入れるための入学者選抜は，次の方針により実施します。

1. 医学部の学生として相応しい基礎的学力の到達度を確認するため，理科・数学・英語の筆記試験を実施します。
2. 医師として求められる倫理的価値判断，感性，コミュニケーション能力などを判断するため，面接試験及び小論文試験を実施します。

本学医学部の学生は，医師国家試験の合格という大きな目標の達成だけでなく，医師に相応しい教養や感性（情緒と品格）を持つことが求められます。入学者の選抜においては，基礎的学力のみでなく，思考力・表現力・学ぶ意欲・コミュニケーション能力なども重視します。また多様な学生の受入れのため，一般入学試験のほかに国際バカロレア入学試験など多様な入学者選抜を実施します。

卒業時に修得しておくべき臨床能力
（コンピテンス，コンピテンシー）

Ⅰ　プロフェッショナリズム

＜医師としての価値観・態度・姿勢＞

1．高潔，誠実，正直，共感の態度を保ち，それらを示すことができる。（人間性）
2．他者の多様な価値観を尊重できる。（価値観の尊重）
3．自分の利益よりも患者・家族・住民・社会の利益を優先的に考え，その利益を達成するために可能な限り努力できる。（利他主義）
4．倫理原則，法律に基づいて行動できる。（倫理的・法的理解）
5．患者と家族の心理・社会的背景を理解し，全人的に対応できる。（全人的対応）
6．自分の行為と決断を振り返り，次の行為と決断に活かすことができる。（省察的実践）

＜生涯学習・自己啓発・自己管理＞

7．自己の目標を設定し，目標達成のための方法を見いだし，それを実行できる。（目標設定）
8．適切に自己評価をし，能力の向上のために，自己学習を自律的に継続できる。（自己学習）
9．自らの知識や技能を多職種で共有し，それを後進に伝え，後進を育成できる。（教育的態度）
10．精神面，身体面で自己管理に努めることができる。（自己管理）

＜チーム医療・医療安全＞

11．医療チームの一員として協働し，効果的な役割を果たすことができる。（チーム医療）
12．他の職種の考えや役割を理解，尊重し，多職種協働を実践できる。（多職種協働）
13．患者，家族，住民を医療チームの一員として考え，協働できる。（患者中心の医療）
14．安全な医療を提供するための基本原則を理解し，実践できる。（患者安全）
15．常に医療の質を改善することを考え，質改善を実践できる。（生涯学習）

Ⅱ　コミュニケーション

1．患者・家族・医療チームメンバー・住民・社会と良好な関係を構築できる。
2．患者・家族・医療チームメンバー・住民・社会の心理・生活・文化的背景を適切に把握するための，支持的・共感的なコミュニケーションをとることができる。
3．効果的な協働のために，相手に応じて適切な方法で情報の収集・集約・伝達を行うことができる。
4．患者，家族と情報に基づいた意思決定の共有（インフォームド・シェアード・ディシジョン・メイキング）ができる。
5．個人とだけでなく，集団，社会との適切なコミュニケーションをとることができる。
6．様々なICT(Information and Communication Technology)を適切に選択し，活用できる。

Ⅲ　医学知識と科学的探究心

1．医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる。
2．生体の正常な構造や機能，及び発生，発達，加齢，死を生命科学的知識により説明できる。
3．疾病の病因・病態・治療につながる基礎医学的な要素を説明できる。
4．疾患の病態と症候を説明でき，その鑑別と診断を計画できる。
5．疾患の適切な治療，最新の治療を理解し説明できる。
6．人の健康行動につながる生物学的・心理学・社会的要因を理解し，健康増進の方法を説明できる。
7．疾病・障害・健康問題と社会との関係を説明できる。
8．医学・医療と社会との関連，社会の医療問題を説明できる。
9．新しい医学・医療情報を探索し，医学・医療における疑問点を見出し解決しようと努力できる。
10．医学，医療における客観的根拠を適切に探索し，EBM を実践できる。

Ⅳ　診療技能

1．心理・社会的状況を含め患者の病歴を正確に聴取できる。
2．身体診察と基本的臨床手技を適切に実施できる。
3．診療録を SOAP 形式で，客観的，かつ簡潔に記載し，プロブレムリスト，鑑別診断を作成できる。
4．適切な検査を選択し，結果を正しく解釈できる。
5．時，相手・場所に応じた適切なプレゼンテーションができる。
6．患者と家族に対し，エビデンスに基づいて，適切に治療法・予後を説明できる。
7．感染管理を考慮した診療ができる。
8．プライマリ・ケア領域の救急対応ができる。
9．慢性疾患・高齢者・緩和・予防・健康増進・リハビリテーション，介護/ケアの視点から患者ケアの実践ができる。

Ⅴ　地域社会へ貢献

1．地域社会における疾病予防，健康の維持・増進のための医師の役割を説明できる。
2．地域の医療状況，社会経済的状況を含めた特殊性や課題について説明できる。
3．医療計画，地域医療構想について説明できる。
4．住民啓発活動や一次医療の診療補助により地域医療に参加ができる。
5．社会保障制度を理解し，地域包括ケアの実践に参加できる。
6．災害における被災者や，社会的弱者の現状について理解し，医療に関わるボランティア活動に参加できる。
7．国際社会の健康問題を把握，説明することができ，可能な範囲でその問題に対処できる。

コンピテンス，コンピテンシー，マイルストーン

コンピテンス，コンピテンシー ＼ マイルストーン		レベル a （卒業時）	レベルb （4学年次臨床実習開始時）	レベル c （２学年次修了時）
Ⅰ プロフェッショナリズム	1	高潔，誠実，正直，共感の態度を保ち，それらを示すことができる。（人間性）	誠実，正直の態度を意識して行動することができる。	医療従事者に求められる態度について議論し，自分の考えを説明することができる。
	2	他者の多様な価値観を尊重できる。（価値観の尊重）	患者・家族の価値観の違いにより，望む医療が異なることを説明できる。	多様な価値観*の在り方について思いを致すことができる。（*特に人生と生活の困難への対応に関する価値観）
	3	自分の利益よりも患者・家族・住民・社会の利益を優先的に考え，その利益を達成するために可能な限り努力できる。（利他主義）	医療者が自分の利益よりも患者・家族・住民・社会の利益を優先的に考えることの重要性を説明できる。	特定のおかれた状況において，患者・家族・住民・社会の利益とは何かを考えることができる。
	4	倫理原則，法律に基づいて行動できる。（倫理的・法的理解）	4原則以外の倫理原則や医療にかかわる主な法律について事例に基づき議論できる。	基本的な倫理の4原則（自立尊重原則，無危害原則，善行原則，正義原則）を説明できる。
	5	患者と家族の心理・社会的背景を理解し，全人的に対応できる。（全人的対応）	患者と家族の心理・社会的背景を理解して基本的な行動ができる。	患者と家族の心理・社会的背景を理解することの重要性を説明できる。
	6	自分の行為と決断を振り返り，次の行為と決断に活かすことができる。（省察的実践）	省察的実践の重要性について議論できる。 （行為の中の省察，行為に基づく省察，行為のための省察）	自分の行為を振り返ることの重要性を説明することができる。
	7	自己の目標を設定し，目標達成のための方法を見いだし，それを実行できる。（目標設定）	自己の目的設定を意識し，その適切性や達成のためのアプローチを検討できる。	短期的な自己の目標の設定ができる。
	8	適切に自己評価をし，能力の向上のために，自己学習を自律的に継続できる。（自己学習）	自己学習の成果を自己評価し，改善を図ることができる。	医師になってからの自己学習の重要性を説明できる。
	9	自らの知識や技能を多職種で共有し，それを後進に伝え，後進を育成できる。（教育的態度）	学んだことを多職種で共有し，次の世代に伝えることの重要性を説明できる。	教育的態度が基本的臨床能力であることを説明できる。
	10	精神面，身体面で自己管理に努めることができる。（自己管理）	自己管理能力を高めるために必要なことを説明することができる。（目標，予定，記録）	学生生活において精神面，身体面の自己管理ができる。（健康，時間，感情・モチベーション）
	11	医療チームの一員として協働し，効果的な役割を果たすことができる。（チーム医療）	チームの一員として多職種で問題を考察できる。	医療チームは多職種からなり，チームで医療を展開することの重要性を説明できる。
	12	他の職種の考えや役割を理解，尊重し，多職種協働を実践できる。（多職種協働）	医師として，他の職種と協働することの意義を論じることができる。	他の職種の仕事内容，役割を説明できる。
	13	患者，家族，住民を医療チームの一員として考え，協働できる。（患者中心の医療）	患者，家族，住民を医療チームの一員として考えることの重要性を説明できる。	患者，家族，住民が医療チームの一員であることを説明できる。
	14	安全な医療を提供するための基本原則を理解し，実践できる。（患者安全）	医療における安全管理の基本原則を説明できる。	医療安全の重要性を説明できる。
	15	常に医療の質を改善することを考え，質改善を実践できる。（生涯学習）	医療の質の評価の観点（構造・過程・結果）を概説できる。	医療の質の改善を考えることの重要性を説明できる。
Ⅱ コミュニケーション	1	患者・家族・医療チームメンバー・住民・社会と良好な関係を構築できる。	医療におけるコミュニケーションの重要性を説明できる。	地域社会や周囲とのコミュニケーションができる。
	2	患者・家族・医療チームメンバー・住民・社会の心理・生活・文化的背景を適切に把握するための，支持的・共感的なコミュニケーションをとることができる。	患者・家族の情報を適切に把握するために，支持的・共感的なコミュニケーションスキルを観察下で呈示（デモンストレーション）できる。	良好なコミュニケーションに必要なスキルを列挙し，特定の状況で呈示できる。
	3	効果的な協働のために，相手に応じて適切な方法で情報の収集・集約・伝達を行うことができる。	適切な方法で収集・集約・伝達した情報を用いて協働できる。	適切な方法で情報の収集・集約・伝達を行うための基本的な技能・態度を身につける。
	4	患者，家族と情報に基づいた意思決定の共有（インフォームド・シェアード・ディシジョン・メイキング）ができる。	患者，家族と情報に基づいた意思決定の共有を模擬患者に対して適切に実施できる。	患者・家族の疾病と治療に対する捉え方に配慮した意思決定の重要性について説明できる。
	5	個人とだけでなく，集団，社会との適切なコミュニケーションをとることができる。	個人とだけでなく，集団，社会とコミュニケーションをとることを意識した行動ができる。	集団，社会とのコミュニケーションをとることの意義を説明できる。
	6	様々なICT(Information and Communication Technology)を適切に選択し，活用できる。	病態・検査・治療をICTを活用しながら説明できる	医学・医療におけるICTの重要性について説明できる。

コンピテンス，コンピテンシー，マイルストーン

コンピテンス，コンピテンシー ＼ マイルストーン		レベル a （卒業時）	レベルb （4学年次臨床実習開始時）	レベル c （２学年次修了時）
Ⅲ 医学知識と科学的探究心	1	医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる。	医学研究に用いられる基本的な研究方法を説明できる。	医学研究の科学的理論と方法論の概略を説明できる。
	2	生体の正常な構造や機能，及び発生，発達，加齢，死を生命科学的知識により説明できる。	生体の正常な構造や機能，及び発生，発達，加齢，死について概説できる。	生体の正常な構造や機能について概説できる。
	3	疾病の病因・病態・治療につながる基礎医学的な要素を説明できる。	疾病の病因・病態・治療とその裏付けとなる基礎医学との関連を考察して説明することができる。	基礎医学で学修した疾患について，疾病の病因・病態・治療とその裏付けとなる基礎医学との関連を説明することができる。
	4	疾患の病態と症候を説明でき，その鑑別と診断を計画できる。	疾患の概略について説明でき，鑑別を要する疾患を列挙し，病態や診断基準等と照らし合わせて考察できる。	疾患の基本的事項について理解し，正常との違いを説明することができる。
	5	疾患の適切な治療，最新の治療を理解し説明できる。	疾患ごとの，基本的な治療を説明することができる。	頻度の高い疾患の原因，症状，予後の概略を説明することができる。
	6	人の健康行動につながる生物学的・心理学・社会的要因を理解し，健康増進の方法を説明できる。	健康増進に関わる生物的・心理的・社会的要因を説明できる。	予防医学の重要性を理解できる。
	7	疾病・障害・健康問題と社会との関係を説明できる。	疾病・障害・健康問題と社会との関係が存在する病態を列挙できる。	社会における疾病・障害・健康問題を理解し，偏見を持たずに接することができる。
	8	医学・医療と社会との関連，社会の医療問題を説明できる。	社会における医師の役割，医学・医療の重要性について説明できる。	自分自身の社会における位置づけ，医学・医療との接点を説明できる。
	9	新しい医学・医療情報を探索し，医学・医療における疑問点を見出し解決しようと努力できる。	探索した情報をもとに医学・医療における疑問点を見出すことができる。	ICTを使って新しい医学・医療情報を探索できる。
	10	医学，医療における客観的根拠を適切に探索し，EBMを実践できる。	与えられた臨床的疑問について，チェックリストを用いた批判的吟味ができる。	根拠のある情報を選択し，情報源を明示することの重要性を説明できる。
Ⅳ 診療技能	1	心理・社会的状況を含め患者の病歴を正確に聴取できる。	患者の病歴を聴取する際は心理・社会的状況も含めることの重要性を説明できる。	患者の病歴を聴取する際の注意点を説明できる。
	2	身体診察と基本的臨床手技を適切に実施できる。	基本的な身体診察と臨床手技が概ね実施できる。	身体診察と基本的臨床手技の概略を説明できる。
	3	診療録をSOAP形式で，客観的，かつ簡潔に記載し，プロブレムリスト，鑑別診断を作成できる。	SOAP形式の診療録の記載方法を理解し，基本的な診療情報を記載することができる。	診療録におけるPOS（Problem Oriented System）の概略を述べることができる。
	4	適切な検査を選択し，結果を正しく解釈できる。	主要な疾患について診断に必要な検査を選択し，その感度，特異度を踏まえて，検査結果を正しく解釈することができる。	日常診療でよく用いられる検査の原理や手技の概要を説明できる。
	5	時，相手・場所に応じた適切なプレゼンテーションができる。	伝えたい内容を聴く人が理解しやすいようにプレゼンテーションができる。	調べたこと，自分の考えを正確に伝えることができる。
	6	患者と家族に対し，エビデンスに基づいて，適切に治療法・予後を説明できる。	聞き手の理解に合わせた「患者・家族への説明」を模擬的に実施できる。	医療面接の役割の一つとしての「患者・家族への説明」について概説できる。
	7	感染管理を考慮した診療ができる。	各種感染症の病態，診断法，治療法，予防法を概説できる。	主要な感染症の病原微生物の疫学，病態生理，症候を説明できる。
	8	プライマリ・ケア領域の救急対応ができる。	プライマリ・ケア領域の救急対応について説明し，シミュレーションにおいて基本手技を実施できる。	一次救命処置（BLS）ができる。
	9	慢性疾患・高齢者・緩和・予防・健康増進・リハビリテーション，介護/ケアの視点から患者ケアの実践ができる。	高齢者，障害者，慢性疾患患者，がん末期患者の介護，緩和ケアの現実を理解できる。	超高齢社会における介護，終末期医療の問題点を指摘することができる。
Ⅴ 地域社会へ貢献	1	地域社会における疾病予防，健康の維持・増進のための医師の役割を説明できる。	衛生学,公衆衛生学の観点から，地域社会における疾病予防，健康の維持・増進の重要性を説明できる。	疾病予防，健康の維持・増進の重要性を説明できる。
	2	地域の医療状況，社会経済的状況を含めた特殊性や課題について説明できる。	地域の医療と社会経済の現状について概略を説明できる。	医療と社会経済の関係性について説明できる。
	3	医療計画，地域医療構想について説明できる。	わが国における医療計画として，地域医療の効率化，体系化の意義を概説できる。（医療法第30条）	医療行政の重要性を説明できる。
	4	住民啓発活動や一次医療の診療補助により地域医療に参加ができる。	地域医療における住民啓発活動や一次診療の具体的内容を説明できる。	地域医療における住民啓発活動の存在や一次診療の意義を説明できる。
	5	社会保障制度を理解し，地域包括ケアの実践に参加できる。	高齢者社会における地域の包括的な支援・サービス提供体制の構築にかかわる取り組みを説明できる。	わが国の社会保障制度（社会保険，社会福祉，公的扶助，保健医療・公衆衛生）の概略を説明できる。
	6	災害における被災者や，社会的弱者の現状について理解し，医療に関わるボランティア活動に参加できる。	災害における被災者や，社会的弱者の現状を認識し，医療に関わるボランティア活動の重要性を説明できる。	災害時における被災地への支援の実例を述べることができる。
	7	国際社会の健康問題を把握，説明することができ，可能な範囲でその問題に対処できる。	我が国のみならずアメリカ，ヨーロッパ諸国，アジア諸国のヘルスケアの様々なあり方について概説できる。	海外諸国の経済状況とヘルスケアの多様なあり方に関心を示すことができる。

愛知医科大学における学生支援に関する方針

愛知医科大学は，学生が学習に専念し，安定した学生生活を送ることが出来るよう，修学支援，生活支援，進路支援体制を整備するとともに，修学支援・学生支援部門及び関係委員会等を設置して，学生の学業生活に関する様々な事項を審議・検討します。

◆　修学支援

- 指導教員（アドバイザー）制度を導入して修学に関する支援を行う。
- 学内施設の整備を行い，充実した学修環境を提供する。
- 留年者，休学者及び退学希望者の状況を把握して対策を講じる。
- 教育効果を検証し，教育内容とカリキュラムの改善に取り組む。
- 成績優秀者及び経済的に就学が困難な者への奨学制度の充実を図る。
- 障がいのある学生に対し，個々の状況に応じた学修が受けられるよう支援する。

◆　生活支援

- 指導教員（アドバイザー）制度を導入して学生生活に関する支援を行う。
- 保健管理センターを中心とした学生の健康管理を行う。
- 学生相談室を整備して相談員による学生相談を行う。
- 課外活動に対する支援を行う。
- ハラスメント防止に向けた取組みを行う。

◆　進路支援

- 国家試験受験対策を行い，合格率の向上を図る。
- 指導教員（アドバイザー）等による就職支援を行う。
- 大学病院等と連携して進路に関するガイダンスを行う。
- 卒業後の進路に関する情報提供を行う。
- 入学時成績から在学中の成績，卒業進路について情報を収集・分析する。

2025 年 度　　学　　年　　暦

日	曜	4　　月	日	曜	5　　月	日	曜	6　　月
1	火	5・6学年次前学期授業開始	1	木		1	日	
2	水		2	金		2	月	
3	木		3	土	憲法記念日	3	火	
4	金		4	日	みどりの日	4	水	
5	土		5	月	こどもの日	5	木	
6	日	入学式	6	火	振替休日	6	金	
7	月	↑ 新入生ガイダンス（7～11日）　4学年次前学期授業開始	7	水		7	土	
8	火	2・3学年次定期健康診断	8	木		8	日	
9	水		9	金	5・6学年次総合試験A，5・6学年次定期健康診断	9	月	
10	木		10	土		10	火	
11	金	↓	11	日		11	水	
12	土		12	月	解剖慰霊祭　↑ 1学年次 早期体験実習1a（シミュレーション実習）（12～16日）	12	木	
13	日		13	火		13	金	
14	月	1～3学年次前学期授業開始	14	水		14	土	
15	火		15	木		15	日	
16	水		16	金	↓	16	月	
17	木		17	土		17	火	
18	金	1・4学年次定期健康診断	18	日		18	水	
19	土		19	月		19	木	
20	日		20	火		20	金	
21	月		21	水		21	土	
22	火		22	木		22	日	
23	水		23	金		23	月	
24	木		24	土		24	火	
25	金		25	日		25	水	
26	土		26	月	↑ 1学年次 早期体験実習1b（看護体験実習）（26～30日）	26	木	
27	日		27	火		27	金	
28	月		28	水		28	土	
29	火	昭和の日	29	木		29	日	
30	水		30	金	↓	30	月	
			31	土				

日	曜	7　　月	日	曜	8　　月	日	曜	9　　月
1	火		1	金	↓ 1学年次 定期試験　↓ 2学年次 外来案内実習	1	月	↓ 3学年次 地域包括ケア実習（1～5日）　1・2・5学年次後学期授業開始
2	水		2	土		2	火	
3	木		3	日		3	水	
4	金		4	月	1・2学年次夏季休業開始	4	木	
5	土		5	火		5	金	↓
6	日		6	水		6	土	
7	月		7	木		7	日	
8	火		8	金		8	月	
9	水		9	土		9	火	
10	木		10	日		10	水	
11	金		11	月	山の日	11	木	
12	土	6学年次共用試験臨床実習後OSCE	12	火		12	金	
13	日		13	水		13	土	
14	月	↑ 4学年次 定期試験（14～16日）　6学年次夏季休業開始	14	木		14	日	
15	火		15	金		15	月	敬老の日
16	水	↓	16	土		16	火	
17	木		17	日	4・5学年次夏季休業終了	17	水	
18	金	↑ 4学年次 地域医療 早期体験実習（18～25日）	18	月		18	木	
19	土		19	火		19	金	
20	日		20	水		20	土	
21	月	海の日	21	木	4学年次共用試験CBT	21	日	
22	火	↑ 1・2学年次 定期試験（22～25日）　5学年次夏季休業開始	22	金		22	月	
23	水	↑ 3学年次 定期試験（23～25日）	23	土		23	火	秋分の日
24	木		24	日	3学年次前学期・夏季休業終了	24	水	
25	金	↓	25	月	↑ 3学年次 地域包括ケア実習　3学年次後学期授業開始	25	木	4学年次前学期終了
26	土		26	火		26	金	4学年次後学期授業開始
27	日		27	水		27	土	
28	月	↑ 1学年次 定期試験　↑ 2学年次 外来案内実習　3・4学年次夏季休業開始	28	木		28	日	
29	火		29	金		29	月	
30	水		30	土	4学年次共用試験臨床実習前OSCE	30	火	
31	木		31	日	4学年次共用試験臨床実習前OSCE，1・2・5学年次前学期終了，1・2・6学年次夏季休業終了			

日	曜	10　月
1	水	
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	6学年次前学期終了
6	月	6学年次後学期授業開始
7	火	
8	水	5・6学年次 総合試験B
9	木	
10	金	
11	土	4学年次白衣式
12	日	
13	月	スポーツの日
14	火	
15	水	
16	木	1～3学年次防災訓練
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	1学年次 早期体験実習1c（臨床科見学実習）
21	火	
22	水	
23	木	
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	

日	曜	11　月
1	土	医大祭
2	日	
3	月	開学記念日　文化の日
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	
12	水	
13	木	
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	2学年次 チーム医療実習
19	水	
20	木	
21	金	
22	土	
23	日	勤労感謝の日
24	月	振替休日
25	火	
26	水	2学年次 地域社会医学実習
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	

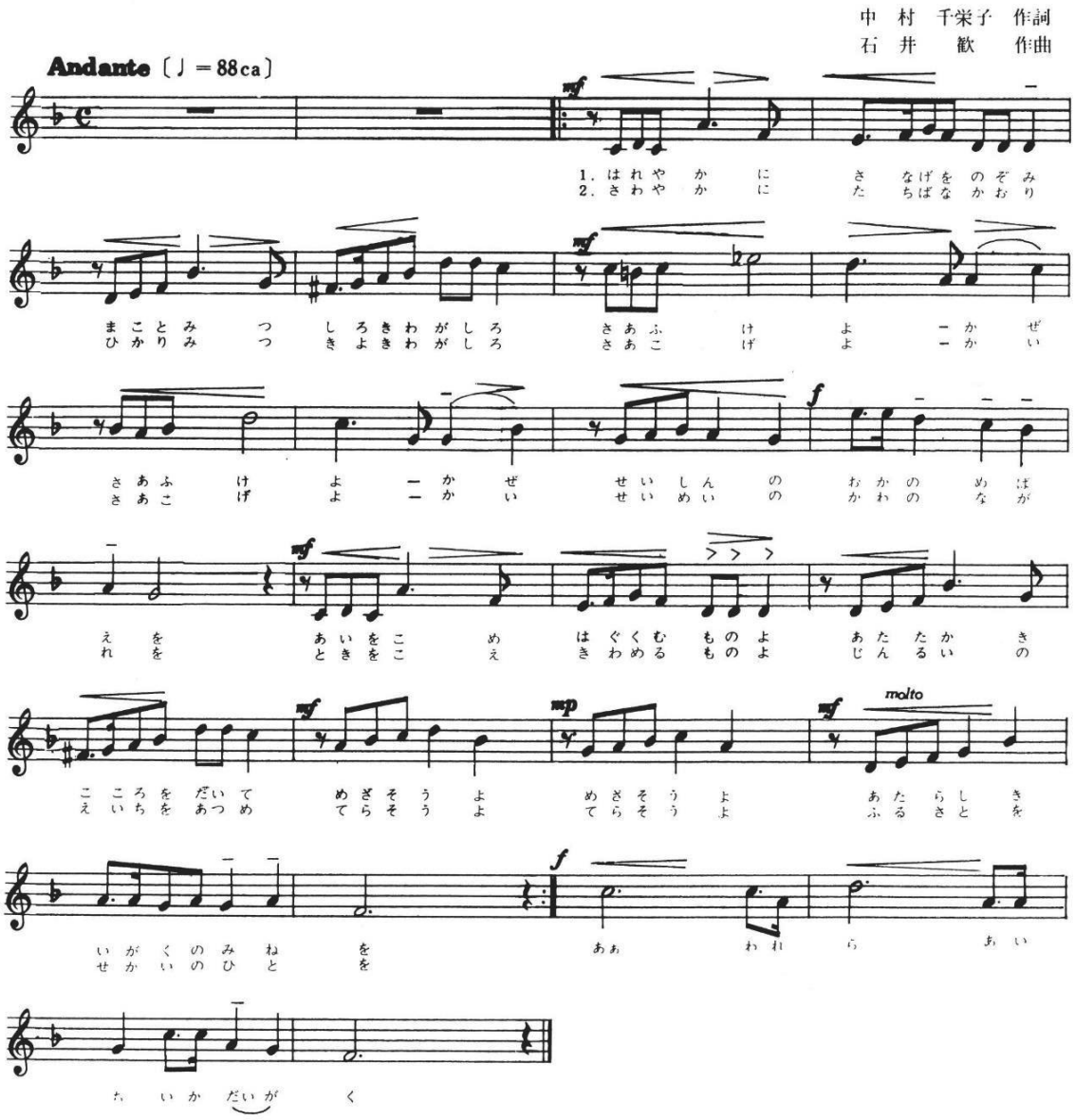
日	曜	12　月
1	月	2学年次地域社会医学実習
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	1・2学年次 定期試験
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	1・2学年次 定期試験 / 3学年次 定期試験
16	火	
17	水	
18	木	
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	1～6学年次冬季休業開始
23	火	
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	

日	曜	1　月
1	木	元日
2	金	
3	土	
4	日	1～6学年次冬季休業終了
5	月	1・2学年次総合試験
6	火	
7	水	
8	木	
9	金	
10	土	
11	日	
12	月	成人の日
13	火	
14	水	
15	木	
16	金	
17	土	4・5学年次総合試験C
18	日	
19	月	
20	火	
21	水	
22	木	
23	金	
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	
28	水	
29	木	1学年次定期試験
30	金	
31	土	

日	曜	2　月
1	日	
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	建国記念の日
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	天皇誕生日
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	

日	曜	3　月
1	日	
2	月	1～3学年次春季休業開始
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	卒業証書・学位記授与式
8	日	
9	月	6学年次春季休業開始
10	火	
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	4・5学年次春季休業開始
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	春分の日
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	後学期終了

愛知医科大学大学歌



愛知医科大学 大学歌

一、晴れやかに 猿投山(さなげ)を望み
誠 満つ 白き我が城
さあ 吹けよ 風
清新の丘の芽生えを
愛を籠め 育くむ者よ
温かき精神(こころ)をだいて
目ざそうよ
新しき医学の峰を

二、爽やかに 橘かおり
光 満つ 清き我が城
さあ 漕げよ 櫂(かい)
生命(せいめい)の河の流れを
時を超え 究める者よ
人類の英知をあつめ
照らそうよ
故郷(ふるさと)を 世界の人を
ああ われら
愛知医科大学

学 生 生 活 ガ イ ド



必ず知っておくべき規則等

学生諸君が医学を学び卒業するために，最低限知っておかなければならない規則などがあります。理解していないと不利益の原因となることがあります。

◆　個人情報の取扱い

⑴　個人情報の使用目的について

本学では，学生の個人情報については，本学の教育・研究及び学生支援等に必要な業務を遂行するために，次のことに利用しています。

① 修学関係：ア　履修登録・通知，授業・試験運営，成績処理・通知・管理，単位認定，進級判定，卒業判定及び学位記授与に関すること
イ　入学式・卒業式における名簿作成及び出席者への名簿配付
ウ　教学に関わる調査・統計資料（個人情報が特定できない形での数値化）の作成に関すること
エ　実習に関すること
オ　各種証明書等の発行及びその他教務に関すること

② 学籍関係：ア　学生証交付に関すること
イ　名簿作成等の学籍管理，休学・復学・退学・除籍等の諸手続及びその他学籍に関すること

③ 学生生活：ア　学生生活全般に関わる指導・助言に関すること
イ　用具・備品等の貸与に関すること
ウ　学則による賞罰及び奨学生選考に関すること
エ　定期健康診断等の健康管理に関すること
オ　カウンセリング，課外活動支援，弔慰及び災害見舞に関すること
カ　各種表彰者の本学学報への掲載（掲載を希望しない場合は，医学部事務部学生課にその旨申し出てください。）
キ　その他学生生活に関すること

④ 卒 業 後：ア　学籍・成績関係情報の在籍記録保存に関すること
イ　各種証明書の発行に関すること

⑵　個人情報の提供について

上記の目的で利用するほか，次のとおり第三者に情報を提供します。

① 大学に届けている保証人に対して，学生の学修成果（成績）を提供します。保証人に情報の提供を希望しない場合は，教務課へその旨申し出てください。

② 実習（学外体験実習等）に参加する際に，実習先の施設等に対して個人情報（学籍番号及び氏名）を提供します。

③　入学後の本学に関わる情報提供及び会報への掲載を目的として，愛知医科大学医学部後援会及び一般社団法人愛知医科大学同窓会「愛橘会」に個人情報（氏名，住所，電話番号）を提供します。情報の提供を希望しない場合は，学生課にその旨申し出てください。

④　利用目的の範囲内において，業務上必要な場合は，外部業者に個人情報を提供し，業務の全部，又は一部を委託する場合があります。ただし，個人情報を委託業者に提供する場合は，本学の規程に基づき厳格に行います。

⑤　原則として上記４項目以外の個人情報は，第三者に提供しません。ただし，次の場合においては，例外的に本人の個人情報を第三者に提供することがあります。

ア　法令の規定に基づくとき

イ　個人の生命，身体又は財産の安全を守るため，緊急かつやむを得ない場合であって，本人の同意を得ることが困難であるとき

ウ　国の機関若しくは地方公共団体又はその委託を受けた者が，法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって，本人の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼす恐れがあるとき

◆　学生への連絡事項・情報提供（連絡，通知，学生の呼び出し等）

全て Web 掲示板もしくは学内メールで行います。Web 掲示板の連絡・通知事項と学内メールは，みなさんの不利益とならないよう毎日確認してください。

なお，Web 掲示板やメールを見なかったという理由をもって，事後に異議などを申し立てることはできません。

スマートフォン　URL：http://www.aichi-med-u.ac.jp/mail/mobile

パソコン　URL：http://www.aichi-med-u.ac.jp/mailsystem

スマートフォンアプリを利用することをお勧めします。

学生掲示板：「Microsoft SharePoint」

学内メール：「Microsoft Outlook」

※　iOS をご利用されている方は，App Store から，Android OS をご利用されている方は，Google Play ストアからダウンロードしてください。

※　類似のアプリに注意して，Microsoft 社製のアプリをダウンロードしてください。

◆　住所変更及び電話番号変更の届出

保護者への連絡，本人への連絡・重要事項の連絡等には，郵送や電話連絡を行うことがあります。学生（保護者含む。）は，確実に連絡を取れるよう最新の住所及び電話番号（スマートフォン・携帯電話を含む。）を届け出てください。転居した，親元を離れ生活することになったなど，住所及び電話番号が変更になったときは，「医学部生各種届出ポータル」から届け出てください。

【医学部生各種届出ポータル】
https://amumail.sharepoint.com/sites/gakuseika
※　学内メールアドレス，パスワードでログインしてください。

◆　定期試験等の受験（欠席回数・受験心得）

定期試験や進級に関する試験には，受験資格が設けられています。各自で基準を確認しておいてください。特に「試験を受けようとする科目の出席時間数が，授業時間数の３分の２に満たないとき」や「学納金の納入がなされていないとき」は試験を受けられなくなります。

◆　定期健康診断の実施

定期健康診断は，学校保健法に基づいて毎年４月・５月に実施しており，各種疾病の早期発見・早期治療を目的としています。健康な身体で学生生活を送るために，必ず受診してください。

◆　感染症対策

教養教育の地域参加型学習や専門教育において，病院等の見学や医療に関する実習が行われます。これらの実習時における感染防止を図るため，次のことを実施しています。

学年次	実施内容
１学年次	○　入学前に，小児の四大感染症である風疹・麻疹・ムンプス・水痘の抗体価を測定します。HBs 抗原・抗体検査の結果，抗体価基準値を満たしていない感染症がある場合は，その感染症のワクチンを接種してください。
２学年次	○　健康診断実施時に，風疹・麻疹・ムンプス・水痘，HBs 抗体の抗体価を測定します。抗体価基準値を満たしていない感染症がある場合は，その感染症のワクチン接種を再度実施してください。
４～６学年次	○　季節性インフルエンザの予防接種を実施します。　※原則必須

◆　喫煙

本学では，喫煙者の健康被害防止，非喫煙者の受動喫煙防止等のため，隣接する道路等を含め本学敷地内での喫煙を全面禁止しています。

◆　防災訓練

防災訓練は，毎年 10 月頃に行います。訓練には教職員及び学生が参加します。訓練時のみでなく，日頃から防災意識を持って行動してください。

◆　医学部事務室の窓口時間について

履修等の届出・願出用紙の提出，大学からの呼出し，レポートの提出，セミナー室の予約など，各種手続きを行うために医学部事務室（教務課・学生課・庶務課・入試課）を訪れる機会は多くあります。

医学部事務室は大学本館の１階にあり，窓口時間は次のとおりです。定められた時間内に各種手続きを済ませるようにしてください。この時間帯以外は，緊急な場合を除き手続きを行うことができません。

窓口時間　月～金　８：30～17：30（祝休日，年末年始を除く。）

◆　教務課の業務内容（TEL0561-61-5244　教務課直通）

○　時間割，講義室及びセミナー室の管理・使用申請，休講など授業に関すること。
○　試験及び成績，進級及び卒業，休学，退学等の身分に関すること。
○　成績証明書及び推薦書の受付・発行等に関すること。

◆　学生課の業務内容（TEL 0561-61-5314　学生課直通）

○　奨学金，学生相談，ケガ等の保険の手続き，住所，氏名変更等の手続き，マンション・アパート紹介に関すること。
○　車両通学及び駐車許可に関すること。
○　学生証の発行に関すること。
※　在学証明書をはじめとした各種証明書の発行は「証明書自動発行機」で行います。
○　学生の健康診断・感染症対策に関すること。
○　学生の賞罰，事故，災害，拾得物，遺失物に関すること。
○　本学体育施設の使用調整及びクラブ活動等の課外活動に関すること。
○　学納金に関すること。
○　入学式及び卒業式等の行事に関すること。

◆　庶務課の業務内容（TEL 0561-61-5396　庶務課直通）

○　留学に関すること。

◆　入試課の業務内容（TEL 0561-61-5315　入試課直通）

○　学生募集，入学試験に関すること。

◆　その他注意すべき事項

自分では「大したことでない」と思っていることでも，次のような行為は，懲罰の対象になることがあるので十分に注意するよう心がけなければなりません。

＜例＞

○　試験中の不正行為（カンニング等の行為）
○　駐車違反（悪質な駐車を繰り返し他人に迷惑をかける行為及び学生駐車場の不正利用）
○　暴力行為（理由の如何を問わず，懲罰の対象となります。）
○　大学敷地内及び大学敷地に隣接する路面等本学周辺での喫煙（理由の如何を問わず，懲罰の対象となります。）
○　講義中及び実習中の飲食，総合学術情報センター（図書館部門及び情報基盤部門）内の飲食（理由の如何を問わず，懲罰の対象となります。）
○　その他非倫理的行為（いじめ・セクハラ・ストーカー等の行為）

◆　証明書自動発行機

○　設置場所：総合学術情報センター（図書館部門）
　　＜大学本館５階＞
○　取扱時間：月曜日～金曜日　８：30～19：00
○　取扱内容：在学証明書，卒業見込証明書，学割証，成績証明書，再試験手続，自動車通学許可証明書，健康診断証明書，健康診断結果通知書，抗体価証明書
※　通学証明書は医学部生各種届出ポータルで手続きしてください。
○　手数料の支払いは Edy（電子マネー）で行います。利用する前には，Edy サービス利用約款を必ず読んでください。
　電子マネー「楽天 Edy」　約款および規約
　https://edy.rakuten.co.jp/terms/



○　発行機の定期点検及び故障により一時的に利用を休止することがありますので早めに手続きをしてください。

◆　楽天 Edy チャージ機



設置場所		取扱曜日と時間	
1号館 （大学本館）	1階事務室	月～金	8：30～17：30
	総合学術情報センター （5階図書館部門）	月～金	8：30～22：00
		土	10：00～18：30
4号館 （看護学部棟）	1階事務室	月～金	7：00～19：00

令和7年4月現在

◆　建物等への入退館

建物	出入口扉	対象学年	曜日等	6時	7時～18時	19時	20時	21時30分	22時	23時～ 6時
大学本館	3階南口 2階北口	全学年	平日	IC認証(学生証)	開放			IC認証(学生証)		閉鎖
			土	IC認証(学生証)	開放	IC認証(学生証)				
			休日	IC認証(学生証)						
	2階ロッカー室		全日	IC認証(学生証)						
医心館	1階南口，北口	6学年次生 (その他の学年は開放時間帯を利用)	平日	IC認証(学生証)	開放			IC認証(学生証)		
			土	IC認証(学生証)						
			休日	IC認証(学生証)						
	2階本館渡口		平日	IC認証(学生証)	開放			IC認証(学生証)		
			土	IC認証(学生証)	開放	IC認証(学生証)				
			休日	IC認証(学生証)						

※　入館時は，学生証をカードリーダーにかざして解錠してください。

※　4～6学年次生については，クリニカル・クラークシップ期間中のみ大学病院への入館が可能です。

◆　学生ロッカー（１号館（大学本館））

本学では全学生に対して，日常の携行品（白衣・実習衣，運動具，雨具等）を収納できるロッカーを指定して貸与しています。

ロッカー室内共有部分やロッカー上部には私物等を置かず，ロッカー室をきれいに保ちましょう。

ロッカー使用上の注意

- 危険物や腐敗，汚損しやすいものは入れないでください。
- 現金や貴重品はロッカーに入れず，必ず携行してください。
- 各自で鍵（南京錠やダイヤル錠など）を取り付け，常時施錠してください。
- ロッカー室にて設備の破損・異常や不審者の侵入を発見した場合は，速やかに学生課へ連絡してください。
- 女子ロッカー室には防犯ベルを設置していますので，必ず位置を確認しておいてください。
- ゴミは，ロッカーの上やロッカー室内に放置せず，所定のゴミ箱に捨ててください。
- 卒業時には，各自責任を持ってロッカー内を清掃し，返却してください。

◆　学生ロッカー（７号館（医心館））

６学年次生に対してロッカーを貸与しています。ロッカー内をきれいに保ちましょう。

ロッカー使用上の注意

- 鍵は暗証番号になっていますので，設定した番号を忘れないよう注意してください。
- ロッカー設備の破損，異常があった場合は，速やかに学生課へ連絡してください。
- ゴミは，ロッカーの上や周辺に放置せず，所定のゴミ箱に捨ててください。
- 卒業時には各自責任を持ってロッカー内を清掃し，返却してください。



困ったときは

◆　各種相談窓口

学生生活を送る青年期は誰もが様々な困難に遭います。そのことを通して，「自分」というものが見え，またそれまでの自分を振り返り，これからの自分をどのように形成してくか，どのような生き方を選択するのかをいろいろと模索し，悩みや課題を抱える時期でもあります。そんなときのために大学は指導教員や臨床心理士・公認心理士の資格を持った学生相談室スクールカウンセラーによる相談体制を設けています。自分ひとりで悩まず気軽に相談してみてください。

◆　指導講座制度

各講座が２～６学年次の学生を指導講座として担当し，教員と学生，また学年を超えた学生間の交流を進めること，さらに，特にさまざまなモチベーションの高い学生に対して，カリキュラム外での研究や早期の臨床体験につながることを目的とした制度です。

指導講座では，出席状況及び学業成績に関する個別相談，保護者との連絡・懇談，その他学生生活全般について助言を行います。

◆　学生相談室

⑴　あなたにとっての学生相談室

長い大学生活の間に悩みや課題が生じたときは，気軽に学生相談室を利用してみてください。「こんなこと恥ずかしくて」とか「どうせ他人に話してもしょうがない」とためらう人もいるかもしれませんが，時には自分のことを言葉に出して人に話すことが役立つことがあります。本学では臨床心理士・公認心理士の資格を持った専門カウンセラーが相談・カウンセリングに応じています。

⑵　たとえばこんな時に……

- もっと充実した大学生活を送りたい
- ゆっくり考えるほっとする時間が欲しい
- 家族のことで悩んでいる
- 対人関係（友人・先輩・後輩・恋愛など）で悩んでいる
- 話をするのに非常に苦労したり，気分の浮き沈みがひどい
- 自分の性格や学業などの能力について悩みがある
- 退学・休学を考えている　　……など

⑶　利用方法について

学生相談室は３号館（基礎科学棟）２階にあります。１回の相談時間は１時間程度までで，必要な場合には何度でも継続的に相談することもできます。相談内容は学生相談室外には決して漏れず，厳守されます。

相談希望の方は学生相談室のメールアドレスに申込みメールを送ってください。電話・メール等，あなたの希望する形でこちらから連絡いたします。

もし，悩んでいたり相談したいことはあっても「これくらいのことで相談（カウンセリング）を受けてもいいのかな」等，相談室を利用することの判断に悩む場合は，学生相談室までメールで尋ねるなど気軽に学生相談室を利用してみてください。

相談申込・問合せ先

学生相談室メールアドレス：gksoudan@aichi-med-u.ac.jp

※　パソコンから受信できるアドレス，あるいは上記のアドレスから受信できるよう設定しておいて下さい。

電話：0561-62-3311（代）　13266（内線）

※　電話受付時間は，下記利用時間帯と同じです。

利用時間帯：月曜日～木曜日の放課後（16：30～18：30）
金曜日の放課後（15：30～18：30）
（原則は上記の時間帯ですが，曜日・時間は適宜相談に応じます。）

⑷　ハラスメントについて

大学における人間関係は，自由で平等な関係が保証され，互いに相手を尊重し合うことが基盤となっています。ハラスメントは，個人の人権を侵害するものであり，いかなる場合にも許されるものではありません。

本学は，学生・教職員一人ひとりが個人として尊重され，ハラスメントのない快適な環境で安心して勉学に，課外活動に又は研究に専念でき，充実したキャンパスライフを送ることのできる大学を目指しています。

ハラスメントに関する相談窓口は，学生相談室又は学生ポータルサイト「ハラスメント関連（監査室ホームページ)」を参照してください。

また，学生の相談窓口として次の教職員が相談員となっています。

氏名	所属	担当
河合　聖子	医学教育センター	学生生活
山口　奈緒子	薬理学講座	ハラスメント

◆　意見箱「学生の声」について

皆さんの意見や悩みごとなどを大学に伝えやすくし，快適な学生生活を送ることができる大学にしていくため，意見箱「学生の声」を次のとおり設置しています。

また，大学に来られなくても投書できるよう，電子目安箱も開設しています。

1　設置場所　大学本館３階　学生ホール

※電子目安箱は，医学部生各種届出ポータルに設置

2　取扱内容

⑴　大学に対する意見・要望

⑵　勉学に関する悩み

⑶　クラブ活動に関する悩み

⑷　学生同士，教職員とのトラブル

⑸　健康に関する悩み

などを受け付けます。

※　学生生活に関する悩み，健康に関する悩みなどは，学生相談室や保健管理センターが窓口となりますが，相談事項を記載してこの箱に投函しても構いません。

※　誹謗中傷的な内容は受け付けません。

3　記載用紙　意見箱前に設置しています。(その他用紙でも可)

4　回　　収　原則として週１回行います。

内容は，学生部長及び学生課長のみが確認します。

◆　保健管理センター

看護師による健康相談，健康指導及び軽症者に対する応急措置，受診指導を行うセンターがＤ棟６階に設置されていますので利用してください。

(内線：22615　PHS：78570)

◆　医療機関で診療を受ける場合

⑴　医療を受ける場合は，健康保険証を医療機関に提出しないと，医療費は自費扱いになります。

⑵　大学病院で診療を受けるときは，**中央棟１階 16 番総合受付で学生証を提示し，「健康保険証」及び「初診時選定療養費・個室料金等　減免申請書」を提出**してください。この場合に限り，医療費等の減免を受けることができます。ただし，その他医療費，文書料等については自己負担となります。

詳細については，総合受付又は学生課へ問い合わせてください。

(総合受付：内線 34601)



障がいのある学生への支援

本学では，障がいのある学生を含むすべての学生に対し，平等かつ公平に教育研究その他の活動を含む機会を提供するため，障がいにより学生生活に不利益が生じないように合理的配慮をもとに必要かつ適切な支援及び環境整備を行います。支援を必要とする方は，所定の窓口にご相談ください。

1　相談窓口

対象者	窓口	連絡先
医学部学生	医学部事務部学生課	ss_ra_med@aichi-med-u.ac.jp
医学研究科学生	医学部事務部教務課	
看護学部学生	看護学部事務部学生支援課	g-shienka@aichi-med-u.ac.jp
看護学研究科学生	看護学部事務部教学課	

2　受付時間

月曜日～金曜日 8：30～17：15（土・日・祝日は除く）

3　申請書類等

医学部生各種届出ポータル　「障がい学生支援について」

URL：https://amumail.sharepoint.com/sites/gakuseika



愛知医科大学生として

本学は医学教育の場であるだけでなく，患者さんの疾病治療，健康を守ることを使命とする医療の場です。みなさんは，医療の最先端に立てる豊かな人間性と創造性を備えた医師となる方々です。常に患者さんに見られていることを自覚し，病院内での言動や行動に常に気をつけるとともに，学外においても医学生としての自覚をもった言動を心掛けましょう。

身だしなみ

だらしのない身なり・服装は慎み，清潔で医学生らしい身だしなみを心掛けましょう。

キャンパス内のマナー

- **大学敷地内は全面禁煙**です。また，大学敷地に隣接する道路等本学周辺においても禁煙です。自分自身と周りの人達の健康を守るため，喫煙者の健康被害防止，非喫煙者の受動喫煙の防止等に積極的に取組みましょう。
- **ごみのポイ捨て**は止め，分別してごみ箱に捨てましょう。
- 総合学術情報センター（図書館部門及び情報基盤部門）内の飲食は厳禁です。

病院内のマナー

- 院内には病気等で来院され，少しでも安静にしていた方がいい方がたくさんいます。他の方の迷惑にならないように**どうしても用事がある時以外はしゃべらない**ようにしましょう。
- **廊下は，左側１列で歩くこと！**

接遇マニュアル

https://amumail.sharepoint.com/sites/info/Lists/C10/AllItems.aspx

バス内のマナー

- スマートフォン・携帯電話は OFF 又はマナーモードにしましょう。
- 高齢者，病院の患者さんには積極的に席をゆずりましょう。
  また，大声で話をするなど同乗者に**不愉快な思いをさせない**ようにしましょう。

授業中のマナー

私語，飲食，スマートフォン・携帯電話，授業中の出入りは厳禁です。これらの行為は，授業妨害とみなします。

駐輪場のマナー

所定の駐輪場（本学本館前）を利用し，所定の場所以外には駐輪しないでください。また長期間放置された自転車は警告後，廃棄処分しますので，注意してください。

課外活動に関わる注意事項

課外活動の際，必要に応じて学生課への届出が必要なことがあります。課外活動に参加している学生は，定められたルールを遵守して課外活動を行ってください。ルールが守られない場合は，活動の停止等，処分されることがありますので注意してください。

規程・規則等は，学生便覧の【付録・資料】に掲載していますので，確認しておいてください。

◆　クラブ活動に関する届出が必要なこと

【定期】

○　部，同好会活動運営方針（３月）
○　部員登録カード（４月～５月）
○　クラブ助成金収支集計表（～12 月末）
○　体育施設予約手続き
　・　課外活動団体は，使用月の前月 10 日までに翌月の予定を Microsoft Outlook から予約
　・　課外活動団体以外は，使用を希望する３日前（休業日を除く）までに，Microsoft Outlook から予約

【不定期】

○　集会行事届（イベント・試合時（練習試合を含む。））（10 日前まで）
○　宿泊届（宿泊時）（10 日前まで）
○　懇親会届（懇親会時）（10 日前まで）

医学部生各種届出ポータルから提出

○　部長変更時
○　部，同好会名変更申請書
○　顧問変更届
○　部，同好会解散届
○　その他
　社会情勢に応じて書類提出を求めることがありますので，大学からの通知を確認してください。

◆　クラブハウスの使用について

○　部室内の備品・器具・設備等を破損した場合は，学生部長に報告の上，部の責任において修理してください。
○　部室内は，電熱器具や石油ストーブ等の火災の原因となる器具等の使用は禁止です。
○　部室に保管して良いものは，部費で購入した備品のみです。（私物を置かないこと。）

◆　禁止事項

○　上記の届け出をしないまま活動・使用すること。
○　犯罪行為（違法駐車・各ハラスメントなど）を行うこと。
○　自動車通学許可者以外の者が駐車場を使用すること。

※　これらが守られていないと判断された場合は，クラブ及び個人を対象に罰せられることがあります。

セコム安否確認システム

災害等が発生した場合，大学に安否状況を報告する必要があります。以下の方法で，安否確認システムに連絡先を登録してください。

① 安否確認システムにアクセス
インターネットで「セコム 安否確認」で検索後，「e-革新｜ログインページ」を選択

② 「企業コードとパスワード」：623311，「ユーザーＩＤ」：学籍番号を入力

③ 「メニュー」→「アカウント管理」→「パスワード変更」をクリック→「パスワードを変更する」をクリック

④ 「本人情報」の画面へ移動するので，最下段の，「本人情報を変更する」をクリック

⑤ 必要事項の入力後，「本人情報を変更する」をクリック
※ 連絡先の「メールアドレス１」に大学の個人アドレスを入力（メールアドレス２は入力しない）

⑥ 「メールアドレスが更新されました。」のメッセージ表示後，「OK」をクリック

⑦ アドレス確認メールが受信できれば登録完了です。
※ 登録したアドレスにアドレス確認メールが届かない場合は，登録できていないので必ず確認すること。



セコム安否確認メール送信

災害等発生時には大学から安否確認メールが送信される。受信した場合は，安否情報を入力し，速やかに返信すること。

震度５強以上で，大学からメールが届かなかった場合は，自主的に「安否確認情報メール」を送信する。

送信内容に変更が生じた場合は，その都度送信する。

安否情報が送信できない場合は，セコム安否確認システムの「e-革新｜ログインページ」から，安否状況を入力すること。

大規模災害時のサービス

「災害用伝言ダイヤル171」

① 伝言を録音する ： 171（ダイヤル）＋ 1（登録入力）＋ 電話番号（市外局番から）

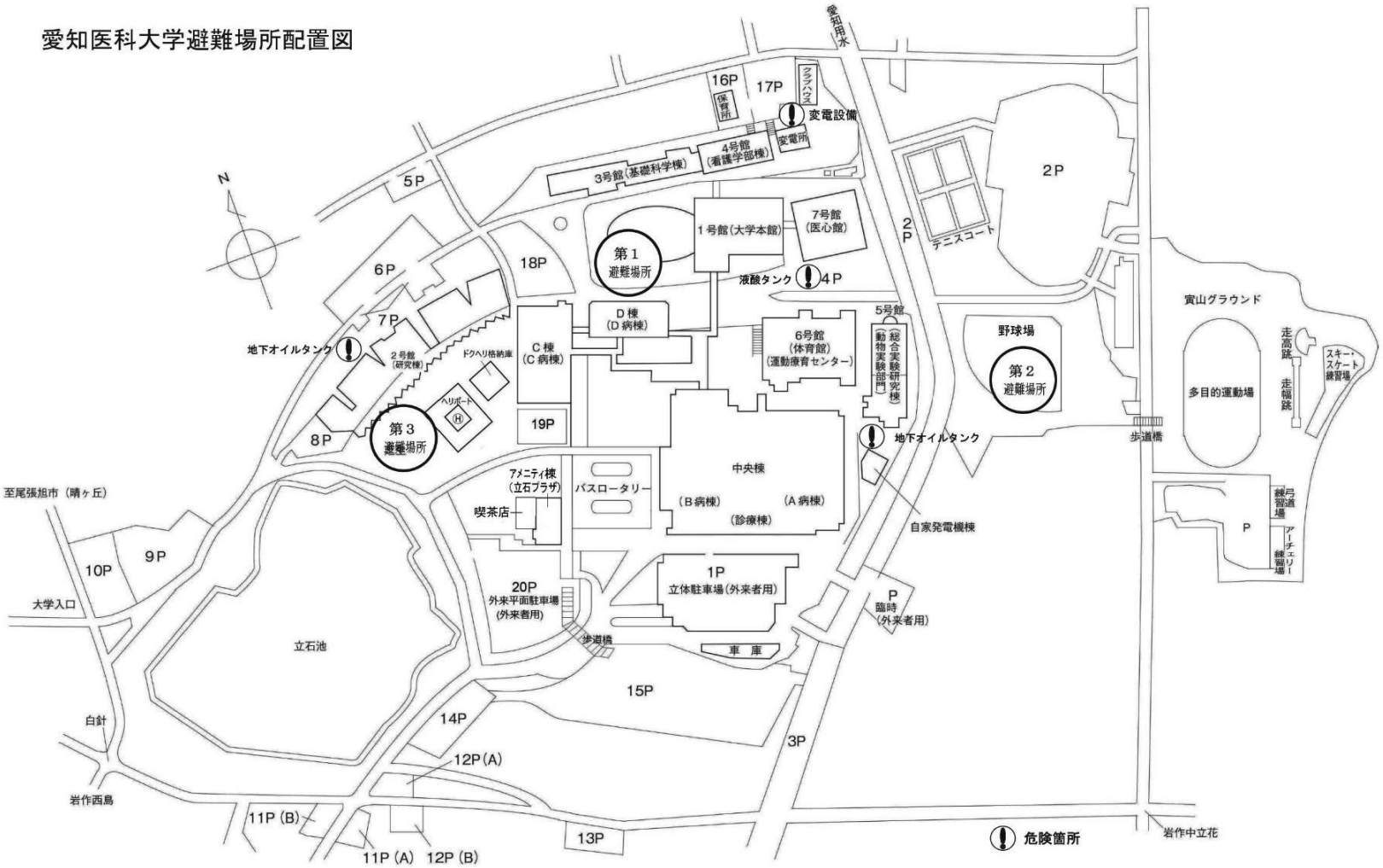
② 伝言を再生する ： 171（ダイヤル）＋ 2（伝言再生）＋ 電話番号（市外局番から）

「災害用伝言板WEB171」

伝言の登録・閲覧方法：https://www.web171.jp/

電話番号（市外局番から）登録後に，文字による伝言を登録・閲覧してください。

愛知医科大学避難場所配置図





学生証

（非接触型 IC カード，電子マネー「楽天 Edy」付）

学生証は，本学学生としての身分を証明する大切なものですので，常時携帯してください。退学，除籍等，本学に席がなくなった場合，また再交付を受けてから旧学生証が見つかった場合には，必ず学生課へ返却してください。（学生証に Edy の残金があっても返却することとなるので，残金を 0 円にして返却してください。）

学生証を提示，使用するとき

学内，学外を問わず，次のような場合に学生証の提示が求められます。すぐ提示できるよう常時携帯してください。また，学生証を他人に貸与，譲渡してはいけません。

⑴ 授業に出席するとき。
⑵ 定期試験を始め追試験及び再試験を受験するとき。
⑶ 各種証明書の発行手続をするとき。
⑷ 通学証明書，学校学生生徒旅客運賃割引証（学割証）等の発行手続をするとき。また，それらを使用して購入・乗車・乗船した際に係員から提示を求められたとき。
⑸ 総合学術情報センター（図書館部門）の入館及び図書を借りるとき。
⑹ 学内の端末（パソコン）を利用するとき。
⑺ 時間外に大学本館，医心館（６学年次）及び大学本館７階セミナー室（４学年次・５学年次）に入館するとき。
⑻ ロッカー室に入室するとき。
⑼ 本学駐車場に車で出入りするとき。（駐車場使用許可者のみ）

学生証の取扱い上の注意

⑴ 折り曲げないでください。
（財布やズボンの後ろポケットにカードを入れたまま座らないでください。）
⑵ 強い衝撃や圧力を加えないでください。
⑶ 汚したり，傷つけないでください。
⑷ 保管場所に注意し，紛失を防止してください。
（車内のダッシュボード等，高温になる場所や，電磁波の影響を受けやすい場所には放置しないでください。）
⑸ 強い磁気に近づけないでください。

記載事項の変更

氏名に変更が生じたときは，学生課に所定の用紙により届け出てください。

学生証を紛失・汚損したとき

⑴ 学生証を紛失や汚損したときは，すぐに学生課に届け出て再発行の手続きを行ってください。学内で紛失した可能性があれば，まず学生課に問い合わせてください。紛失の場合は，拾得物として届けられていることもあります。
なお，紛失した場合は，悪用されないためにも紛失した場所の最寄の警察署（長久手市の場合：愛知警察署（℡0561-39-0110））又は交番へ届け出てください。
⑵ 他の学生の学生証を拾ったときは，すぐに学生課に届けてください。

学生証の再発行手続

「学生証再交付願」を学生課へ速やかに提出してください。
再発行手数料は，初回は 2,000 円，２回目以降は 3,000 円となります。
なお，再発行は，交付願を提出した翌日（土曜日，日曜日，祝日及び休日を除く。）13 時以降になります。
再発行後に旧カードが見つかった場合は，速やかに学生課に返却してください。（新カードを作成した時点で旧カードは使用できなくなります。）
※ 窓口での手数料の決済は，「電子マネーEdy」で行います。現金での取扱いは一切行わないので注意してください。
電子マネーEdy を利用する前には，Edy サービス利用約款を必ず読んでください。
電子マネーEdy「楽天 Edy」 約款および規約
https://edy.rakuten.co.jp/terms/

証明書交付等手数料

	邦文（円）	英文（円）
在学証明書	500	1,200
在籍証明書	500	1,200
卒業証明書	500	1,200
卒業見込証明書	500	1,200
成績証明書	500	1,200
推薦書	500	1,200
調査書	500	1,200
学生証再交付	（初回）2,000	－
	（２回目）3,000	－
健康診断証明書	500	－
健康診断通知書	－	－
抗体価証明書	500	1,200
その他証明書	500	1,200

※ 手数料（再試験料，受験許可証発行手数料及び駐車場使用料を含む。）の決済は，学生証等に付帯する電子マネー「楽天 Edy」で行います。現金での取扱いは一切行わないので注意してください。

※ 通学証明書　医学部生各種届出ポータルから申込むとメールにて送付します。



交通ルールを守ろう

愛知県は他の都道府県に比べて交通死亡事故が多発しています。交通安全には十分注意してください。

特に医学生は，社会のルールを率先して守る必要があります。駐車違反やスピード違反などこれらの社会的な信用を失墜する行為は厳に謹んでください。

◆　自動車通学について

自動車通学者は，「愛知医科大学学生の自動車による通学及び駐車の規制に関する規定」により，本学が開催する交通安全講習会受講し，かつ，自動車通学許可願を「医学部生各種届出ポータル」から提出し，自動車通学を許可された場合に限り認められています。自動車通学を希望する者は使用開始月の前月の 10 日までに提出してください。

なお，キャンパス内及び本学の周辺道路において，迷惑駐車・違法駐車をした場合は，「学生の駐車違反者等に対する懲戒要項」により厳罰を科せられることになりますので，絶対にしないでください。

【医学部生各種届出ポータル】

https://amumail.sharepoint.com/sites/gakuseika

※　学内メールアドレス，パスワードでログインしてください。

◆　自転車・バイク通学について

自転車・バイクで通学する場合は，必ず指定された場所（駐輪場）に置くことになっていますが，それ以外の場所に置く迷惑駐輪が見受けられます。公共交通機関等及び歩行者に支障を来すばかりか，来学者から見ても恥ずかしいことでもあります。

他人に迷惑がかかる行為はつつしみましょう。

◆　公共交通機関等での通学

公共交通機関等を利用して通学する学生の中に，車内において身体の不自由な人に席を譲らない者や，スマートフォン・携帯電話の使用，大声での会話及び飲食等で他人に迷惑をかけている者がいます。

マナーを守り，周りの人に配慮して行動しましょう。

【交通の案内】

https://www.aichi-med-u.ac.jp/su16/index.html

◆　もし罰金以上の刑に……

医師免許申請（国家試験合格後）に際し，申請時から過去 5 年以内に交通事犯を含む罰金以上の刑に処せられていた場合は，申請時に①判決謄本又は略式命令書，②領収証書が必要になるので，当時の関係書類を必ず保管しておくこと。

防犯意識について



昨今，新聞等で多数の犯罪被害が報道されています。その一例として，「人気の少ない夜間等の時間帯に女性のアパートの玄関前で不審人物に待ち伏せをされ被害に遭う。」，「夜間，女性一人でコンビニエンスストアに立ち寄ってから帰宅したとき，一人暮らしと思われ後をつけられ被害に遭う。」などが挙げられます。**被害を防ぐには，何よりも各自の防犯意識の向上が被害を未然に防ぐ決め手となります。**

「私は，被害に遭っていないから大丈夫」などと思わず，**普段から防犯意識を忘れず**に次のことに十分注意を払いましょう。万が一被害にあった場合には最寄りの警察署，国民生活センター（https://www.kokusen.go.jp）又は学生課へ相談してください。

☆犯罪から身を守る。

・夜間，遅い時間帯には出歩かない。
・危険な場所を避ける。
・家にいるときも，戸締りや見知らぬ訪問者には用心する。
・玄関を出入りするときやエレベーターに乗るときも，不審な人物がいないか必ず確認する。
・見知らぬ人から声をかけられても相手にしない。そして，防犯ブザーなどの護身グッズを持つ等の自衛手段も忘れない。

☆だましのテクニックには十分注意する。



ウマい話にはウラがある！
金を奪い取るための手口に乗るな！

悪質商法の主な手口とその対策

うまい話には乗らないことが悪質商法対策の第一歩

キャッチセールス	**資格商法**	**マルチ商法・マルチまがい商法**
街頭で目星をつけた人に「簡単なアンケートをお願いします。」などと声をかけ，喫茶店などに連れ込んで商品の契約を結ぶ商法。脅迫まがいのことをしてきたり，法律を知らない未成年を狙ってくることも多いようです。	「講座を受ければ国家試験が免除になる」などをうたい文句に，資格取得の講座を高い価格で契約させます。契約取り消しに応じなかったり，公的な団体と混同するような紛らわしい名称を使うことも多いようです。	商品を購入して，自分でまた商品の買い手を探し，買い手が増えるごとにマージンが入り，利益が得られるという商法。売れない商品を抱え込む事が多く，知人に被害を遭わせてしまう恐れもあります。

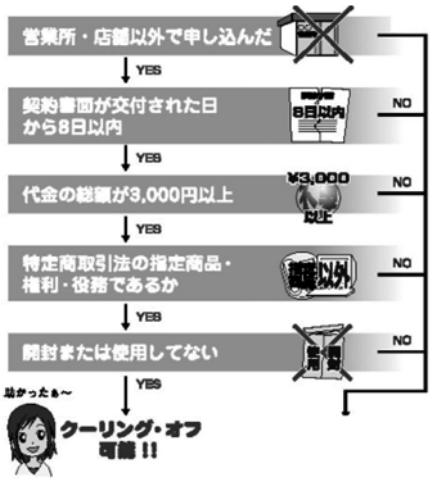
対策として，**ハッキリと断る**ことが大事です。

「結構です。」等のあいまいな態度は付け入られる要因になります。

「いらない」という意思表示を明確に示すべきです。

万が一，これらの悪質商法と契約してしまった場合は，クーリング・オフを行使しましょう。

クーリング・オフ仕組み　不本意な契約をしてしまったらクーリング・オフ



一定期間内に考え直した結果「契約を解除したい」旨を伝えた場合，一切の経済的負担を負うことなく消費者が無条件で契約を解除することが出来るという制度です。契約書面の契約交付の日付から８日以内等と，期間が決まっていますので，行使する場合は契約交付の日付を確認して，早めに行使しましょう。（マルチ商法は 20 日以内，現物まがい商法は 14 日以内）行使した場合，損害賠償金や違約金を払う義務は全くありません。また，商品を受け取っている時は販売業者の負担で引き取りを請求できます。手続きは必ず書面にて相手方に通知しましょう。（はがきの両面をコピーして，郵便局の窓口で「内容証明郵便（配達証明付き）」で通知）また，クレジット会社にも同じ内容で通知します。書面は発進した時点で成立することとなり，例え，書面が業者に届くのが９日目以降であっても，８日以内の消印であれば有効です。

被害に遭ってしまったがどうしていいのかわからない…
そんな時は！！

突然被害に遭うと混乱してしまって冷静な判断は困難。そんな時はまず国民生活センターや地方自治体に設置されている消費生活センターに相談してみましょう。

消費者ホットライン

消費者ホットラインとは「誰もがアクセスしやすい相談窓口」として開設されたもので，市区町村の消費生活センター相談窓口，もしくは都道府県の消費生活センターをご案内します。

☎局番なし 188　※IP 電話など一部の電話からは繋がりません。

消費生活センターについてはコチラ
https://www.kokusen.go.jp/map/
都道府県・地域別の消費生活センターの連絡先や相談対応時間などが確認出来ます。

☆麻薬，覚せい剤，大麻，MDMA，違法ドラッグなどの薬物は絶対に使用しない。

芸能人，スポーツ選手や大学生などの麻薬や大麻・覚せい剤などの薬物乱用が増えています。薬物乱用は，脳が侵されるなど体や生命に害を与えるだけでなく，殺人などの犯罪を引き起こす要因になることもあります。

誘惑に負けない強い意志を持ち，絶対に使用してはいけません。

〈麻薬・覚せい剤乱用防止センター〉

℡03-5544-8436

https://www.dapc.or.jp/

全国各県の警察及び精神保健福祉センターが相談窓口になっています。詳しくは薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ」ホームページの「相談窓口一覧」をご覧ください。

https://www.dapc.or.jp/kiso/51_consultation_desks.html

☆ひったくりには十分注意する。



自分に限って…と思わない！

アナタが狙われている！

自分自身の事前の備えが盗難対策の第一歩！！今，アナタはどちらにあてはまる？

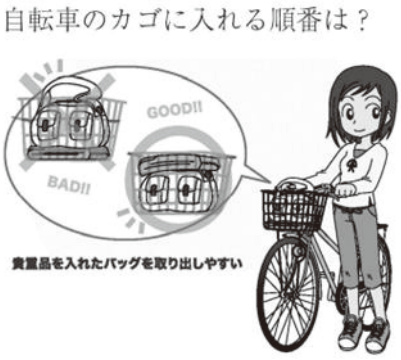
ひったくりに遭わないために

徒歩の場合



バッグ等の所持品は車道側（自動車やオートバイなどが通る側）に持たず，建物側・壁側に持ち，胸にしっかり抱え，タスキ掛けにするなど持ち方を工夫しましょう。
歩きながらの携帯メールなどは，注意が散漫になりますので控えた方がよいでしょう。
ひったくり犯は，強引に奪ったあと逃走しやすいためにバイク（原動付自転車等）を使用するケースが多い。車道側に持っていたら，相手に差し出すようなもの。持ち手を変えるなどの一工夫を。

自転車の場合



オートバイ・自転車で追い越しざまにひったくるケースがほとんどなので，バッグなど，かごに入れる順番を一工夫するだけで予防になります。ひったくり犯は通り過ぎた後，再度近づいて犯行に及ぶ場合もあるので気を抜かず，警戒しましょう。
☆カゴを覆いかぶせるような防犯ネットは，ひったくり対策の有効な手段です。

ひったくり
被害に
遭ったら

●大声を上げて周囲に知らせる。
●早急に 110 番し，犯人の特徴をできる限り伝える。
※　車種・色・ナンバープレート，または犯人の特徴（服装など）や逃げた方向

ストーカー被害８つの行為類型の対策　主な対策を紹介します。



つきまとい・待ち伏せ・押し掛け★

・不安な時はタクシーなどを利用しましょう。

・防犯ベル・110 番が出来るように懈怠電話等を用意しましょう。

・万一の場合は，警察や近隣の人に助けを求めましょう。

監視していると告げる行為★

・状況や内容をメモして警察に届けましょう。

・すりガラスでもカーテンをつけ出来るだけ閉めましょう。

面会・交際の要求★

・はっきりと拒否の姿勢を示しましょう。

乱暴な言動★

・危険を感じた時は，防犯ブザーや携帯電話で助けを求めましょう。

無言電話・連絡した電話・FAX

・「警察に訴えます」とはっきり伝えましょう。

・電話会社に相談しましょう。（さまざま対応策を教えてくれます。）

汚物などの送付

・届いた時間と内容などはメモを取りましょう。

・送り主の不明な届け物などは受け取りを拒否し，開封せずに送り返しましょう。

名誉を傷つける

・状況を記録し，中傷ビラやインターネット文書などはすべて保存しましょう。

性的羞恥心の侵害

・インターネットなどへの個人情報の掲載は控えましょう（住所や電話番号はもちろん，メールアドレスも）。

・送りつけられた物（わいせつ写真など）は警察に届け相談しましょう。



ストーカー規制法とは

上記８つのうち，ストーカー規制法による規制法の対象となるものは，★験のつの行為で，“身体の安全，住居などの平穏もしくは名誉が侵害される，または行動の自由が著しく害される可能性があり，かつ不安をおぼえさせる方法をもって行われた”場合に限定されます。

◆　情報セキュリティって？

情報セキュリティとは，「パソコンやスマートフォン自身やそこにある様々な情報を守ることによって，その情報がだれかに勝手に使われてしまったり，その情報がだれかに勝手に変更されてしまうことを無くすとともに，あなたがその情報を利用したい時に

利用できるようにすること」です。

パソコンやスマートフォンは生活を快適で便利にすることができます。ところが，ちょっとした不注意で，あなた自身やあなたのお友達などが辛い思いをすることがあります。そのような思いをしないよう，便利で快適に楽しく使うための取り組みをいっしょに行いましょう。

出典：内閣サーバーセキュリティセンター「インターネットの安全・安心ハンドブック」https://security-portal.nisc.go.jp/guidance/handbook.html

☆電子版のアプリを無料でダウンロードして閲覧できます。



（参考）情報セキュリティ　10 大脅威 2024【個人】

「個人」向け脅威（五十音順）	初選出年	10大脅威での取り扱い（2016年以降）
インターネット上のサービスからの個人情報の窃取	2016年	5年連続8回目
インターネット上のサービスへの不正ログイン	2016年	9年連続9回目
クレジットカード情報の不正利用	2016年	9年連続9回目
スマホ決済の不正利用	2020年	5年連続5回目
偽警告によるインターネット詐欺	2020年	5年連続5回目
ネット上の誹謗・中傷・デマ	2016年	9年連続9回目
フィッシングによる個人情報等の詐取	2019年	6年連続6回目
不正アプリによるスマートフォン利用者への被害	2016年	9年連続9回目
メールやSMS等を使った脅迫・詐欺の手口による金銭要求	2019年	6年連続6回目
ワンクリック請求等の不当請求による金銭被害	2016年	2年連続4回目

（参考）情報セキュリティ　10 大脅威 2024【組織】

順位	「組織」向け脅威	初選出年	10大脅威での取り扱い（2016年以降）
1	ランサムウェアによる被害	2016年	9年連続9回目
2	サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃	2019年	6年連続6回目
3	内部不正による情報漏えい等の被害	2016年	9年連続9回目
4	標的型攻撃による機密情報の窃取	2016年	9年連続9回目
5	修正プログラムの公開前を狙う攻撃（ゼロデイ攻撃）	2022年	3年連続3回目
6	不注意による情報漏えい等の被害	2016年	6年連続7回目
7	脆弱性対策情報の公開に伴う悪用増加	2016年	4年連続7回目
8	ビジネスメール詐欺による金銭被害	2018年	7年連続7回目
9	テレワーク等のニューノーマルな働き方を狙った攻撃	2021年	4年連続4回目
10	犯罪のビジネス化（アンダーグラウンドサービス）	2017年	2年連続4回目

出典：情報処理推進機構「情報セキュリティ 10 大脅威 2024」
https://www.ipa.go.jp/security/10threats/nq6ept000000g22h-att/kaisetsu_2024.pdf

◆　依存症

一般的にニコチン，アルコール，薬物，ギャンブル等，ゲームなどを「やめたくてもやめられない」状態のことを「依存症」といいますが，医学的には「嗜癖（しへき）」という用語を使います。

「嗜癖」の対象は，ニコチン，アルコール，薬物などの特定の「物質」の接種と，ギャンブル等の「行動」に分けられます。その対象が「物質」の摂取の場合は「物質依存」といい，対象が「行動」の場合は「行動嗜癖」といいます。

◆　行動嗜癖が及ぼす影響

行動嗜癖は日常生活に大きく悪影響を及ぼします。

ギャンブルやゲームなどの嗜癖行動にのめり込むと，生活の中での優先順位が変わってしまいます。対象となる行動が最優先され，食事，睡眠などの時間が削られ，本人の体や心に悪影響を及ぼします。さらに，学校を休みがちになり，ひきこもりになることもあります。また，対象となる行動を継続するために嘘をついたり，家族とのコミュニケーションをとらなくなったりして，人間関係が悪化していきます。

◆　ゲーム障害

国際疾病分類 ICD-11 では，「ゲーム障害」が「物質及び嗜癖行動による障害」に位置付けられました。従来のパソコンを利用したオンラインゲームに加えて，最近ではスマートフォンや携帯ゲーム機等を利用してゲームをする人が増えています。これらは，いつでも，どこでもゲームを行うことができるため，ゲームへののめり込みが社会的に問題になっています。

ゲーム障害の定義（ICD-11）

Definifion of gaming disorder（ICD-11）

臨床的特徴

●ゲームのコントロールができない。

●他の生活上の関心事や日常の活動よりゲームを選ぶほどゲームを優先。

●問題が起きているがゲームを続ける，または，より多くゲームをする。

重症度

ゲーム行動パターンは重症で，個人，家族，社会，教育，職業や他の重要な機能分野において著しい障害を引き起こしている。

期間

上記 4 項目が，12 カ月以上続く場合に診断する。しかし，4 症状が存在し，しかも重症である場合には，それより短くとも診断可能。

出典：文部科学省，ギャンブル等依存症指導参考資料について

https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1415166.htm



愛知医科大学医学部学生総合補償制度

◆　愛知医科大学医学部学生総合補償制度の概要

☆　ケガの補償

通学途上，旅行など，日常生活における学生自身の不慮の事故及び学生生活（学校管理下中）によるさまざまなケガを補償します。

☆　他人への賠償責任を補償

国内外での日常生活において他人にケガをさせたり，他人の物を壊したりして学生自身が法律上の賠償責任を負った場合に，損害を補償します。

☆　実習中の感染症事故を補償

臨床実習中に針刺し事故（院内感染を含む。）が発生し，事故による感染がある場合に，感染または発症を予防することを目的として行う検査・予防費用を補償します。

		死亡保険金	後遺障害保険金	入院加算金	医療保険金
傷害補償	正課中 学校行事中	2,000万円	120万円～ 3,000万円	1日につき 4千円	3千円～30万円
	学校施設内 課外活動中	1,000万円	60万円～ 1,500万円	1日につき 4千円	治療日数14日 以上の場合 3万円～30万円
	通学途上 学校施設間等 移動中	1,000万円	60万円～ 1,500万円	1日につき 4千円	治療日数4日 以上の場合 6千円～30万円
	上記以外の 日常生活	300万円	12万円～ 300万円	1日につき 5千円※1	1日あたり 3千円※1
救援者費用等		300万円程度			
個人賠償責任保険		1億円限度（記録情報限度額500万円）※2			
感染症予防措置費用		保険期間中を通じて50万円限度			
接触感染予防保険金 （臨床実習中）		1事故につき1万5千円（定額払い）			

※1　2020年度以降に入学された方は実費となります。

※2　2020年度以降に入学された方は3億円限度（記録情報限度額500万円）となります。

障害等を被った場合は，次の窓口に申し出て，所定の手続きをしてください。

⇨2019 年度までに入学された方　学生課　電話 0561-61-5314

⇨2020 年度以降に入学された方　相談デスク　電話 0120-873-588（大岩保険事務所）

※　医学部生各種届出ポータルにパンフレットを掲載しています。

＜学校管理下中の定義＞

① 正課中

講義，実験・実習，演習又は実技による授業（以下「授業」）を受けている間，指導教員の指示に基づき授業の準備若しくは後始末を行っている間又は授業を行う場所，大学の図書館・資料室若しくは語学学習施設において研究活動を行っている間

② 学校行事中

大学の主催する入学生，オリエンテーション，卒業式など教育活動の一環としての各種学校行事に参加している間，専ら大学管理下で実施されるものを指します。

③ ①②以外で学校施設内にいる間

大学が教育活動のために所有，使用又は管理している施設内にいる間。ただし，寄宿舎にいる間，大学が禁じた時間若しくは場所にいる間又は大学が禁じた行為を行っている間を除く。

④ 大学施設外で大学に届け出た課外活動を行っている間

大学の規則に則った所定の手続きにより，大学の認めた学内学生団体の管理下で行う文化活動又は体育活動を行っている間。ただし，山岳登はんやハンググライダーなどの危険なスポーツを行っている間を除く。

⑤ 通学途上

大学の授業等，学校行事又は課外活動への参加の目的をもって，合理的な経路及び方法（大学が禁じた方法を除く。）により，住居と学校施設等との間を往復する間

⑥ 学校施設間等移動中

合理的な経路及び方法（大学が禁じた方法を除く。）により，大学が教育研究のために所有，使用又は管理している施設のほか，授業等，学校行事又は課外活動の行われる場所の相互間を移動している間

学納金について

前学期分（入学手続者を除く。）は４月中旬までに，後学期分は 10 月中旬までに，学納金口座振替のご案内を送付したうえで，前学期分は**４月 27 日**に，後学期分は**10 月 27 日**に指定された口座から口座振替（自動引落し）いたします。（金融機関が休業日の場合は翌営業日となります。）

【2016 年度までの入学者】

納期別 / 区分	初年度納付金		２年度以降納付金	
	入学手続時	後学期分（10月）	前学期分（４月）	後学期分（10月）
入学金	1,500,000			
教育充実費	4,000,000		750,000	750,000
授業料	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
施設維持費	500,000	500,000	600,000	600,000
納期別計	7,500,000	2,000,000	2,850,000	2,850,000

【2017 年度以降の入学者】

納期別 / 区分	初年度納付金		２年度以降納付金	
	入学手続時	後学期分（10月）	前学期分（４月）	後学期分（10月）
入学金	1,500,000			
教育充実費	2,700,000		600,000	600,000
授業料	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
施設維持費	500,000	500,000	500,000	500,000
納期別計	6,200,000	2,000,000	2,600,000	2,600,000

奨学・共済制度

奨学制度には，人物・学業が優秀な学生に対して人材の育成を目的にするものや，経済的理由により修学が困難な学生に対して学資資金の一部を貸与・減免することで安心して学生生活が送れるよう支援することを目的とするものがあります。詳細については，学生課に問い合わせてください。

◆　愛知医科大学医学部奨学金貸与制度

本学医学部に在籍する５学年次以上の学生が卒業後，直ちに本学に勤務（臨床研修医及び大学院学生を含む。）する場合に，年額 300 万円を貸与し，本学の勤務期間が奨学金の貸与を受けた期間の２倍に相当する期間を勤務したときは返還債務の全額を免除する制度です。

募集時期：毎年４月～６月頃　※詳細は，学生課に問い合わせてください。

◆　学納金減免及び表彰

在学中の成績が特に優秀であった学生に対する授業料減免の制度があり，毎年４月に表彰しています。

対象者は，２～６学年次です。各学年上位２名の者には，前学期分の授業料のうち 100 万円を納付免除します。また上位５名の者に対して表彰します。

選考対象となる条件として，成績が上位であること，他の学生の模範となる勤勉態度であること等のすべての要件を満たすことが必要です。

◆　愛知医科大学医学部互助会

学資負担者で，互助会費を納めた方が，死亡又は，高度障害を受けた場合は，学納金代替納入制度があります。その他貸付制度として，疾病等により学納金納入が困難になった会員に，学納金を１年間（互助会が必要と認めたときは２年間）貸し付ける制度があります。

詳細については，医学部後援会事務室（本館７階）に問い合わせて下さい。

◆　高等教育の修学支援新制度（文部科学省）・日本学生支援機構（JASSO）給付奨学金

国の修学支援新制度により，意欲と能力のある若者が経済的理由により進学及び修学の継続を断念することのないよう，入学金・授業料の減免や日本学生支援機構（JASSO）の給付型奨学金の支援を受けることができます。

対象は，住民税非課税世帯・準ずる世帯・多子世帯（扶養する子供が３人以上いる世帯）の学生です。

	学納金減免額		給付奨学金（月額）	
世帯の所得金額に基づく区分	入学金	授業料（年間上限額）	自宅通学	自宅外通学
第Ⅰ区分	260,000	700,000	38,300	75,800
第Ⅱ区分	173,400	466,700	25,600	50,600
第Ⅲ区分	86,700	233,400	12,800	25,300
多子世帯	260,000	700,000		

・高等教育の修学支援新制度（文部科学省）
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm

・奨学金の制度（給付型）（JASSO）
https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/kyufu/index.html

◆　日本学生支援機構（JASSO）貸与奨学金（返還の必要がある奨学金）

勉学に励む意欲があり，またそれにふさわしい能力を持った学生・生徒が経済的理由により修学をあきらめることのないよう支援することを目的として国が実施する貸付制度です。

<table>
<tr><td>種類</td><td colspan="5">概要</td></tr>
<tr><td rowspan="5">第一種奨学金
（無利息）</td><td>区分
月額の種類</td><td colspan="2">2018年度以降入学者</td><td colspan="2">2017年度以前入学者</td></tr>
<tr><td>自宅</td><td>自宅外</td><td>自宅</td><td>自宅外</td></tr>
<tr><td>最高月額</td><td>54,000円</td><td>64,000円</td><td>54,000円</td><td>64,000円</td></tr>
<tr><td>最高月額
以外の月額</td><td>
40,000円
30,000円
20,000円</td><td>50,000円
40,000円
30,000円
20,000円</td><td colspan="2">30,000円</td></tr>
<tr><td colspan="4">【2020年度以降採用の給付奨学金受給中の第一種奨学金の貸与月額】
<table><tr><td>給付奨学金の区分</td><td>自宅</td><td>自宅外</td></tr><tr><td>第Ⅰ区分</td><td>0円</td><td>0円</td></tr><tr><td>第Ⅱ区分</td><td>0円</td><td>0円</td></tr><tr><td>第Ⅲ区分</td><td>21,700円
（20,000円，30,300円）</td><td>19,200円</td></tr><tr><td>多子世帯</td><td>0円</td><td>0円</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>第二種奨学金
（在学中は無利息）</td><td colspan="5">貸与月額は２万円から12万円までの間で１万円単位で額を選択できます。
医学部に在籍する人は12万円を選択した場合に限り，４万円増額ができます。</td></tr>
<tr><td>入学時特別増額貸与奨学金（一時金）</td><td colspan="5">入学時の諸費用の負担を補うことを目的として10万円から50万円までの間で10万円単位で額を選択できます。申込は入学時の１回に限ります。
同時に申し込む第一種奨学金・第二種奨学金の貸与始期を入学年月とする必要があります。</td></tr>
</table>

・奨学金の制度（貸与型）（JASSO）
https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/index.html

◆　日本政策金融公庫による「国の教育ローン」制度

日本政策金融公庫の各支店や最寄りの金融機関の窓口に問い合わせてください。

日本政策金融公庫ホームページ
https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html

国民政策金融公庫教育ローン専門ダイヤル
コールセンター　0570-008656　又は　03-5321-8656

◆　都道府県・市町村・民間育英団体等の奨学金

民間育英団体の奨学金，公衆衛生修学資金など大学を通じて募集があるものに関してはその都度 web 掲示板に掲載します。

地方公共団体等の奨学金は大学を通じての募集がないので，出身地の教育委員会等へ問い合わせてください。

主な募集元：静岡県医学修学研修資金制度（静岡県健康福祉部地域医療課　ふじのくに地域医療支援センター）
岐阜県選奨生奨学金（岐阜県教育委員会）
医師修学資金貸与制度（三重県医療保険部）
育英学芸事業・留学生助成事業（公益財団法人大幸財団）

その他多数の団体から募集があります。

詳細は，学生課に問い合わせてください。

◆　提携学費分割制度

学費分割制度は 2 社と提携しています。詳細は，各提携会社に問い合わせてください。

① 株式会社オリエントコーポレーション　℡0120-517-325
教育ローン「ドクター奨学プラン（学費分割制度）」

② 三井住友カード株式会社　℡050-3827-0375
「C-web 学費ローン」

こんなときはどうしたら？

学生生活に必要なQ&A集を，医学部生各種届出ポータルに掲載しています。
アクセスして確認してみてください。

Q&A一覧（参考）

◆ 証明書の取得・届が必要となったことについて

Q
学生証を紛失・汚損した
氏名を変更した
保証人（正・副）を変更した
保証人（正・副）の住所・電話番号を変更した
本人の住所を変更した
在学証明書・卒業見込証明書が必要になった
在籍証明書が必要になった
英文証明書が必要になった
定期健康診断結果に関する証明書が必要になった
成績証明書が必要になった
抗体価証明書が必要になった

◆ 健康及びその他の相談について

Q
奨学金を受けたい
急に具合が悪くなった
病院実習中に感染の可能性のある事故にあった（針刺し事故，結核患者への接触があった，感染予防措置を指示された等）
授業中，通学途上中及び部活動でケガをした
悩みがある
臨床実習中のインフルエンザ罹患予防について

◆ 通学・課外活動について

Q
学会発表に係る旅費を申請したい
自動車で通学したい
自転車・バイクで通学したい
バスで通学したい
通学定期券を買いたい
学割証（学校学生生徒旅客運賃割引証）を取りたい
団体旅行割引を利用したい
部活に入部したい
医大祭実行委員会に参加したい
新しい部活を結成したい
学生掲示板に掲示したい
部活で対外試合や行事をしたい
部活で合宿をしたい
部活で懇親会を行いたい
その他部活動中の諸問題

◆その他

Q
愛知県陶磁美術館を利用したい
学内で落し物を拾った
学内で落し物・忘れ物をした
学内で盗難に遭った
アルバイトの紹介を受けたい
マンション・アパートの紹介を受けたい
20歳になったら国民年金
もしも地震が起きたら
もしも火災が起きたら
災害避難場所

教　務　ガ　イ　ド
教　　科　　案　　内

教　務　ガ　イ　ド

出席確認について

【 出席管理システムによる出席確認 】



大学へ出校した際には，学生証とＩＣカードリーダー（以下「リーダー」という）による出席確認を必ず行ってください。

⑴ 学生証による打刻

授業の**開始前**と**終了後**には，必ずリーダーに**学生証を打刻（タッチ）してください。**特別な場合を除き，**授業開始前と終了後の２回打刻しないと出席になりません。**

リーダーの内蔵カメラにより顔を認識し，本人確認を行います（カメラが顔を認識する位置で打刻してください）。

正常に打刻されるとリーダーの画面に**「受付完了」**と**認識した顔の画像**が表示されますので**必ず確認してください**（正常に打刻されていない場合，出席に変更することはできませんので確実に打刻処理を行ってください）。

⑵ 打刻する時間

１回目打刻：授業開始50分前～授業開始まで（昼休み後の授業は授業開始30分前～授業開始まで）

※　授業開始５分後～開始30分後までに１回目を打刻すると遅刻となります。

２回目打刻：授業終了15分後まで

※　**次の授業が前の授業と同じ教室で授業を行う場合，この打刻が次の授業の１回目打刻になりますが，昼休み後は授業開始30分前～授業開始までに改めて１回目打刻が必要です。**

※　**前の時限と教室が異なる場合，改めて１回目打刻が必要です。**

注：１　授業が早く終了した場合又は延長した場合は，授業が終了した時点で打刻を行ってください（上記の打刻時間は基本的なパターンです）。

２　大多数の者の退出時間帯から極端に早い（又は遅い）時間に２回目の打刻をした場合などは途中退出したとみなし欠席として取り扱います。

３　打刻忘れも欠席となります。修正はできませんので打刻忘れのないよう十分注意してください。

⑶ 授業中の抜け出し

打刻をしていても，授業中に抜け出していることが明白な場合は欠席として取り扱います。

⑷ 出席情報の確認

自分の出席状況は，出席管理システムの管理画面＜https://sk-web.aichi-med-u.ac.jp/igaku/＞から確認することができます。

また，学内ＬＡＮに接続されたＰＣでは，学生ポータルサイト KINKAN の「出席管理」からもアクセスすることができます。

⑸ 学生証を忘れた際の出席について

学生証を忘れた，紛失・破損などで再発行中の場合は，毎朝 8:30 以降，教務課窓口で打刻用カードを貸し出しますので，打刻用カードでリーダーに打刻を行ってください。顔認証はエラー表示になりますが，学生証の代わりに打刻時間が記録されます。

打刻用カードは当日の 17:30 までに教務課窓口に返却してください。やむを得ず打刻用カードを 17:30 までに返却できない場合は，当日の 17:30～18:00 または翌日の 8:00～8:30 に限り，教務課窓口の返却箱で返却を受け付けます。**翌日（翌日が土・日・祝日の場合は次の平日）の 8:30 までに打刻用カードを返却しなかった場合，貸し出し日の打刻は無効とします。**

打刻用カードの貸し出し回数に上限はありませんが，３回目以降は 1 回 500 円の手数料を学生負担とし，貸し出し回数は年度毎にリセットします。打刻用カードを紛失した場合は，再発行手数料 2,000 円を学生負担とします。

※　打刻用カードを悪用する行為は懲戒処分等の対象となります。

欠席について

⑴　授業を欠席

病気などやむを得ない理由で１週間以上授業を欠席する（した）場合は，欠席届を教務課に速やかに提出しなければなりません。なお，病気の場合には，診断書が必要になります。特に，授業日数の少ない科目では受験資格に影響する可能性が高いことから，教務課に速やかに連絡すること。

①　感染症の場合

欠席日数が１週間未満であってもインフルエンザや新型コロナウイルス感染症等の感染症に罹患したと診断された場合は，発症日から３週間以内に欠席届及び診断書を教務課へ提出してください。

例　インフルエンザ

発症日を０日とし５日間を経過し，かつ，解熱日を０日とし２日間を経過するまで出席停止

新型コロナウイルス感染症

発症日を０日とし５日間を経過し，かつ，症状が軽快した日を０日とし１日経過するまで出席停止　　＜学校保健安全法施行規則 令和５年５月８日施行（現在）の第18条，第19条参照＞

②　忌引きの場合

忌引きで欠席する（した）場合は欠席届及び確認書類（コピー可）を事由発生から２週間以内に教務課に提出してください。忌引きでの欠席日数は，死亡した日を１日として，１親等及び配偶者は連続５日以内（休日を含む），２親等は連続３日以内（休日を含む）です。

③　その他の突発的な事象が生じた場合

事象発生直後に可能な限り教務課に電話連絡してください（直後に連絡できなかった場合は，その理由書を後日教務課に提出すること）。事後に，突発的な事象の詳細とそれに伴う欠席の理由書を教務課に提出すること。理由書の内容を教務委員会で検討し，妥当性を判断します。

⑵　試験を欠席

①　定期試験

定期試験を欠席した者は，当該試験終了後，10日以内に試験欠席届を教務課に提出しなければなりません。

ただし，やむを得ない理由で定期試験を欠席した場合は，試験欠席届に代わり，所定の追試験願に診断書又は理由書を添付して，追試験を申し出ることができます。この場合，試験欠席届の提出の必要はありません。

②　総合試験，共用試験

総合試験，共用試験を欠席した場合は，当該試験終了後，10日以内に試験欠席届を教務課に提出しなければなりません。

③　追試験・再試験

追試験・再試験を欠席した者は，当該試験終了後，10日以内に試験欠席届を教務課に提出しなければなりません。

なお，欠席した追試験・再試験の振替は行いません。

⑶　欠席届，追試験願，試験欠席届の様式について

SharePoint「医学部生各種届出ポータル」に掲載しています。各自ダウンロードして，定められた提出期限内に教務課へ提出してください。

なお，期限内に提出できない場合は事前に教務課へ連絡ください。

URL：https://amumail.sharepoint.com/sites/gakuseika/SitePages/kyomuka.aspx

今年度に履修すべき授業科目は，医学部履修規程の別表に学年次ごとに定められています。履修にあたっては，医学部履修規程をよく読み，間違いのないようにしてください。



試験を受ける際の注意事項

試験を受けるときは，全ての試験において以下の点に注意してください。

1　学生証を必ず机上に置かなければなりません。
　学生証を忘れた者は，教務課で受験許可証の交付を受けなければなりません。
　学生証(又は受験許可証)のない者は受験できません。
2　学生証，筆記用具及び許可された物以外の物は机上に置けません。
3　机の中には何も入れてはいけません。
4　不正行為（カンニング，試験問題情報の不正な持出し 等）を行ってはいけません。
5　試験中は，携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末，タブレット端末，電子辞書，ＩＣレコーダー，イヤホン，カメラ・ビデオ機能を有する機器等の電子機器類を身に付け，又は手に持たないようにしてください。身に付け，又は手に持っていた場合は不正行為とみなします。
6　指定された座席で受験してください。
7　遅刻者は，試験監督者の許可を受けなければなりません。
　ただし，試験開始から20分を経過した場合は入場できません。
8　試験開始から30分経過しないと退場はできません。
　試験において不正行為を行った者は，その学年のすべての開講科目の単位を認定しないこととし，学則51条に規定する懲戒の対象となります。

※　医学部履修規程　第15条，第16条

気象警報の発令及び大規模災害の発生時の措置等について

気象警報の発令及び大規模災害の発生による授業の取扱いは次のとおりです。ただし，状況に応じて変更となる場合がありますので，各自掲示等を確認してください。

⑴　気象警報の発令に伴う休講
　①　午前６時現在において愛知県長久手市に暴風警報，暴風雪警報，大雪警報，大雨特別警報，暴風特別警報，暴風雪特別警報，大雪特別警報（以下「対象気象警報」といいます）のいずれかが発令されていた場合，又はその後午前８時30分までの間に愛知県長久手市に対象気象警報のいずれかが発令された場合は，午前(１，２，３時限目)の授業を休講とします。
　②　午前10時現在において愛知県長久手市に対象気象警報のいずれかが発令されていた場合は，午後(４，５，６時限目)の授業を休講とします。
　③　①②の場合，学生は登校することを要しません。
　④　①②③にかかわらず，授業開始後に愛知県長久手市に対象気象警報のいずれかが発令された場合の授業の取扱いは，学生の安全に配慮した上でその都度定めます。

⑵　遅刻・欠席の取扱い
　愛知県長久手市に対象気象警報のいずれもが発令されておらず，学生の居住地域及び通学経路に対象気象警報のいずれかが発令されている場合の遅刻・欠席の取扱いについては，学生の申出により考慮します。

⑶　大規模災害発生時の対応
　大地震などの大規模災害が発生した場合については，その都度，大学で対応措置を決定します。

⑷　学外での実習の場合の対応
　学外での実習においては，実習施設等の規程に準じますが，その都度，大学で対応措置を決定します。

⑸　情報
　報道機関の最新情報を確認して，自身の安全確保に努めてください。



受講態度の厳格化について

学生は,医学生としての自覚をもち,社会に求められる医師になるために,学業に努めるとともに,以下のことを厳守しなければならない。

■講義開始時刻には座席についていること。
■講義開始時刻以降に講義室後ろのドアからの入室，退出を禁止する。
講義開始時刻以降に入室，退出する者は教室の前から出入りすること。
（講義室後ろの扉に，“講義開始後はここからの入退室を禁止する”の貼紙を掲示する）
■他人の迷惑になる行為をしてはならない。（特に私語は厳に慎むこと。）
■帽子は着用してはならない。
■食事をしてはならない。（飲み物は可，ガム・飴等のお菓子は不可）
■打刻の不正をしてはならない。
複数の学生が関わる場合，連帯責任となる。
■講義中は SNS やゲームなど講義と無関係な行為をしてはならない。
■アンプロフェッショナルな行為をしてはならない。

＊上記は学内での実習においても適用される。

＊学内，学外を問わず，上記を守れない場合や不適切行為が認められた学生については，教員によって別紙様式１（以下，イエローカード）及び別紙様式２（以下，レッドカード）が提出され，教務委員会に報告される。

＊イエローカード及びレッドカードは当該学生が在学期間中累積される。

＊イエローカードが３名以上の教員によって合計３枚以上提出された場合，もしくはレッドカードが１枚でも提出された場合は,単位取得の有無に関係なく,進級判定会議で進級の審議の対象とし,内容によっては懲戒の対象となる。その後，翌年度以降さらにイエローカードが１枚でも提出された場合は，新たに提出された年度の進級判定会議にて，それまでの累積状況を踏まえた進級の審議が行われる。

＊イエローカード及びレッドカードが提出された学生には，提出された旨の通知を行い，必要に応じて意見聴取が行われる。

別紙１

受講に関して問題のある学生の報告書（イエローカード）

（３名以上の教員から報告があった場合は進級判定会議の審議対象とします）

提出先：教務課

● 報告書記載教員名　：［講座・診療科］＿＿＿＿＿＿　［氏名］＿＿＿＿＿＿

■ 学生の氏名　：［学年］＿＿＿＿＿＿　［氏名］＿＿＿＿＿＿

■ 授業科目・実習診療科　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

■ 問題行動の日時　：　　年　　月　　日　　限目（または，時間＿＿＿＿＿＿）

■ 以下の厳守事項のうち，違反した項目にチェックをしてください

□ 講義開始時刻には座席についていること。

□ 講義開始時刻以降に入室，退出する者は教室の前から出入りすること。
（講義開始時刻以降に講義室後ろのドアからの入室，退出を禁止する。）

□ 他人の迷惑になる行為をしてはならない。（特に私語は厳に慎むこと。）

□ 帽子は着用してはならない。

□ 食事をしてはならない。（飲み物は可，ガム・飴等のお菓子は不可）

□ 打刻の不正をしてはならない。
複数の学生が関わる場合，連帯責任となる。

□ 講義中は SNS やゲームなど講義と無関係な行為をしてはならない。

□ アンプロフェッショナルな行為をしてはならない。

□ その他

■ 問題行動を具体的に下記に記載してください。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

別紙２

受講に関して著しく不良で緊急の対応が必要な学生の報告書（レッドカード）

（本報告書が１枚でも提出された場合は進級判定会議の審議対象とします）

提出先：教務課

● 報告書記載教員名　：［講座・診療科］＿＿＿＿＿＿　［氏名］＿＿＿＿＿＿

■ 学生の氏名　：［学年］＿＿＿＿＿＿　［氏名］＿＿＿＿＿＿

■ 授業科目・実習診療科　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

■ 問題行動の日時　：　　年　　月　　日　　限目（または，時間＿＿＿＿＿＿）

■ 問題行動を具体的に下記に記載してください。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ＧＰＡ制度について

学修到達度を客観的に評価することにより，教育の質を保証するとともに，きめ細やかな学生支援等に資することを目的として，グレード・ポイント・アベレージ（以下「ＧＰＡ」という。）を次のとおり定める。

１　ＧＰＡの評価基準は次のとおりとする。

判定	総合成績	成績評価	グレードポイント (GP)
合格	90～100 点	A+	4.3
	80～89 点	A	4.0
	77～79 点	A－	3.7
	74～76 点	B+	3.3
	70～73 点	B	3.0
	67～69 点	B－	2.7
	60～66 点	C	2.0
	60 点（再試験）	D	1.0
不合格	60 点未満	F	0

２　ＧＰＡの算出方法は次のとおりとする。（小数第２位を四捨五入し，小数第１位までとする。）

$$\text{ＧＰＡ} = \frac{\text{（評価を受けた授業科目の GP} \times \text{当該科目の単位数）の合計}}{\text{評価を受けた授業科目の単位数の合計}}$$

入学年度から当該年度までの累積の GPA を算出する。
合格・不合格のみの評価の科目は計算に含めない。

３　留年・休学などにより，再履修した場合には，最も新しい成績に基づいて計算する。

４　退学した場合，未修得科目は計算の対象に含めない。

５　平成 31 年度入学生から適用することとし，平成 30 年度以前の入学生には，修学指導に活用する。

６　ＧＰＡは，成績通知書に記載し，成績の総合評価の資料として，得点及び順位を本人・保護者及び指導教員に通知する。ＧＰＡが著しく低い学生には，面談を行い，修学意思の確認等を行う。

７　ＧＰＡは，成績証明書に記載する。
ただし，平成 30 年度以前の入学生には適用しない。

８　この裁定は，平成 31 年４月１日から施行する。

学外の病院での研修について

学外の病院での研修を希望する学生は，以下の手続きをとる必要があります。

各自で希望する研修病院と連絡を取り，日程及び研修内容についての内諾を得る。
その際，大学からの依頼状の要否を確認する。
必要な場合は，その提出方法を併せて確認する。
（例：大学からの郵送，学生本人が持参など）

↓

教務課で「病院研修許可願」（以下「許可願」）を受け取り必要事項を記入する。

《注意》
依頼状の発行には，時間を要するため，遅くても**2週間前**には提出すること。

↓

教務課に「許可願」を提出する。

依頼状が必要 → 大学が依頼状発行処理を行う。

- 大学から郵送する。
- 学生が教務課で受領する。

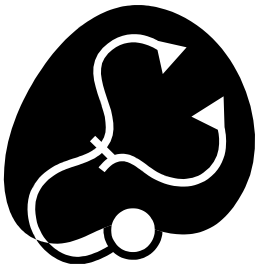
依頼状が不要

↓

病　院　研　修

↓

研修終了後，教務課に「学生個人研修報告書」を提出する。



セミナー室・講義室の使用について

授業及び学内行事等での使用がない場合，セミナー室や講義室を使用することができます。
※ セミナー室の使用状況は右記ＱＲコードから確認してください。
※ 講義室の使用状況は教務課窓口でお問い合わせください。

◆　セミナー室の使用

少人数による学習会等でセミナー室を使用することができます。

⑴　セミナー室は，１号館（大学本館）２階に６室，３階に 14 室あります。
　１室あたり収容人数は，10～12 名です。

⑵　使用できる時間は，8:30～22:00 ですが，時間帯によっては予約が必要です。

	予約が不要な時間帯	予約が必要な時間帯
月曜～金曜	８:30 ～ 17:30	17:30 ～ 22:00
土曜・休日	―	８:30 ～ 22:00

⑶　予約は，教務課において「セミナー室使用予約申請書」に記入し，許可を得てください。

⑷　予約は，予約当日を含めて１週間先まで行うことができます。

⑸　使用にあたっては，以下のことを遵守してください。
　①　使用時間を守る。(22 時までには必ず退室してください。)
　②　室内での飲食は禁止です。
　③　盗難・忘れ物など各自で注意してください。
　④　室内にカバン・書物等を留置したまま部屋を離れないでください。
　⑤　室内に放置されている物品は不用品とみなし，発見次第処分します。
　⑥　使用後は，机・椅子等を原状復帰し，照明を消し，窓を閉め，ブラインドを下ろし，ゴミ等を残さないでください。
　⑦　室内の備品等を破損させた場合は，必ず教務課に届け出てください。
　⑧　遵守事項が守られない場合，セミナー室の使用を禁止することがあります。

◆　講義室の使用

多人数による学習会等で講義室を使用することができます。

⑴　講義室は，１号館（大学本館）１階に１室，２階に５室，３階に５室あります。
　収容人数は，下表のとおりです。

⑵　使用できる時間は，８:30～22:00 です。

⑶　使用する場合は，使用希望日の１週間前までに教務課において「講義室使用願」に記入し，許可を得てください。

⑷　使用にあたっては，上記 ◆セミナー室の使用⑸の遵守事項と併せて，「講義室使用願」に記載の注意事項を確認してください。

１号館１階	収容人数	１号館２階	収容人数	１号館３階	収容人数
101 講義室	140 名	201 講義室	130 名	301 講義室	148 名
		202 講義室	132 名	302 講義室	134 名
		203 講義室	117 名	303 講義室	162 名
		204 講義室	66 名	304 講義室	58 名
		205 講義室	90 名	305 講義室	58 名

学会参加に伴う授業の取扱いについて

次の「1.学会参加条件①～④」のいずれかに該当し，「2.所定の手続き」をした学生は，学会参加に伴う授業の欠席を出席の扱いとします。

1.学会参加条件

① 当該科目の授業として参加する場合。
② 発表者，または共同発表者である場合。
③ 全国規模の学会から大学に対して正式な依頼文書がある場合。
④ クリニカル・クラークシップB期間中で，引率する講座及び本人の希望がある場合（1クールにつき病院見学と学会参加回数は合計2回まで)。

学会参加条件①に該当しない場合の追加条件

・欠席可能日は移動日を含めて2日間までとする。
・欠席する当該科目の科目責任者・実習診療科教授の許可を得ること。
（許可が得られない場合は不可）
・欠席する当該科目の科目・実習診療科は補習課題を課すことができる。

2.所定の手続き

・ 学会参加条件①～④のいずれかに該当するか確認する。
・ 欠席する当該科目及び引率する科目の科目責任者・実習診療科教授の許可を得る。
・ 学会参加日の**1か月前まで**に教務課に申請書(※)を提出する。
・ 学会参加後，**1週間以内**に教務課に報告書を提出する。

※申請書は学会参加条件によって異なります。
※申請書，報告書の様式は教務課窓口で受け取り，またはWeb掲示板の「医学部生各種届出ポータル」「教務関係の届出書類」からダウンロードしてください。

教　科　案　内

２０２５年度　　１年次授業時間割

前学期

曜	時限	時間		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	夏季休業			
月	授業			4/7	4/14	4/21	4/28	5/5	5/12	5/19	5/26	6/2	6/9	6/16	6/23	6/30	7/7	7/14	7/21	7/28	8/4	8/11	8/18	8/25
	1	8:50–10:00		新入生ガイダンス	ICTリテラシー	細胞生物学		こどもの日	早期体験実習1a	細胞生物学	早期体験実習1b	細胞生物学					(補講)	(補講)	海の日			山の日		再試験
	2	10:10–11:20													医学英語1b									
	3	11:30–12:40				基礎科学実習				基礎科学実習		基礎科学実習								統計学				
	4	13:30–14:40																						
	5	14:50–16:00																						
	6	16:10–17:20							学修支援															
火	授業		4/1	4/8	4/15	4/22	4/29	5/6	5/13	5/20	5/27	6/3	6/10	6/17	6/24	7/1	7/8	7/15	7/22	7/29	8/5	8/12	8/19	8/26
	1	8:50–10:00		新入生研修	医学英語1b		昭和の日	振替休日	早期体験実習1a	医学英語1b	早期体験実習1b	医学英語1b												再試験
	2	10:10–11:20			生体分子の化学					生体分子の化学		生体分子の化学												
	3	11:30–12:40																	自然科学演習	解剖学1a				
	4	13:30–14:40			自然科学演習					自然科学演習		自然科学演習												
	5	14:50–16:00			初年次医科学セミナー					初年次医科学セミナー		初年次医科学セミナー												
	6	16:10–17:20																						
水	授業		4/2	4/9	4/16	4/23	4/30	5/7	5/14	5/21	5/28	6/4	6/11	6/18	6/25	7/2	7/9	7/16	7/23	7/30	8/6	8/13	8/20	8/27
	1	8:50–10:00		新入生研修	医用心理学				早期体験実習1a	医用心理学	早期体験実習1b	医用心理学						(補講)	医用心理学					再試験
	2	10:10–11:20			行動科学1a					行動科学1a		行動科学1a			プロフェッショナリズム1b									
	3	11:30–12:40			プロフェッショナリズム1a					プロフェッショナリズム1a			プロフェッショナリズム1a							生体分子の化学				
	4	13:30–14:40			スポーツ科学					スポーツ科学		スポーツ科学			医療のための情報学	ICTリテラシー								
	5	14:50–16:00													医学英語1a	プロフェッショナリズム1b								
	6	16:10–17:20																						
木	授業		4/3	4/10	4/17	4/24	5/1	5/8	5/15	5/22	5/29	6/5	6/12	6/19	6/26	7/3	7/10	7/17	7/24	7/31	8/7	8/14	8/21	8/28
	1	8:50–10:00		新入生ガイダンス	解剖学1a				早期体験実習1a	多職種連携演習1	早期体験実習1b	解剖学1a						(補講)	医学英語1b					再試験
	2	10:10–11:20																						
	3	11:30–12:40			解剖学実習1a							解剖学実習1a								医用物理学				
	4	13:30–14:40																						
	5	14:50–16:00			統計学1							統計学1												
	6	16:10–17:20																						
金	授業		4/4	4/11	4/18	4/25	5/2	5/9	5/16	5/23	5/30	6/6	6/13	6/20	6/27	7/4	7/11	7/18	7/25	8/1	8/8	8/15	8/22	8/29
	1	8:50–10:00		新入生ガイダンス	A 医学英語1a B 医療のための情報学				早期体験実習1a	A 医学英語1a B 医療のための情報学	早期体験実習1b	A 医学英語1a B 医療のための情報学							医学英語1a	医療のための情報学				再試験
	2	10:10–11:20			A 医療のための情報学 B 医学英語1a					A 医療のための情報学 B 医学英語1a		A 医療のための情報学 B 医学英語1a												
	3	11:30–12:40			医用物理学					医用物理学		医用物理学					(補講)	(補講)						
	4	13:30–14:40																						
	5	14:50–16:00			健康診断																			
	6	16:10–17:20																						
土			4/5	4/12	4/19	4/26	5/3	5/10	5/17	5/24	5/31	6/7	6/14	6/21	6/28	7/5	7/12	7/19	7/26	8/2	8/9	8/16	8/23	8/30
							憲法記念日																	
日			4/6	4/13	4/20	4/27	5/4	5/11	5/18	5/25	6/1	6/8	6/15	6/22	6/29	7/6	7/13	7/20	7/27	8/3	8/10	8/17	8/24	8/31
			入学式				みどりの日																	

後学期

曜	時限	時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	冬季休業		17	18	20	21	22	23	春季休業					
月	授業		9/1	9/8	9/15	9/22	9/29	10/6	10/13	10/20	10/27	11/3	11/10	11/17	11/24	12/1	12/8	12/15	12/22	12/29	1/5	1/12	1/19	1/26	2/2	2/9	2/16	2/23	3/2	3/9	3/16	3/23
	1	8:50–10:00	細胞生物学		敬老の日	生理学1	細胞生物学		スポーツの日	早期体験実習1c		文化の日			振替休日	(補講)	細胞生物学				総合試験2	成人の日	行動科学1c	基礎科学・基礎医学統合演習	PBL	コミュニケーション演習1	再試験	天皇誕生日				
	2	10:10–11:20									細胞生物学		細胞生物学																			
	3	11:30–12:40	生理学1								生理学1		生理学1					生理学1														
	4	13:30–14:40					生理学1														行動科学1c											
	5	14:50–16:00																														
	6	16:10–17:20	学修支援				学修支援			学修支援			学修支援			学修支援																
火	授業		9/2	9/9	9/16	9/23	9/30	10/7	10/14	10/21	10/28	11/4	11/11	11/18	11/25	12/2	12/9	12/16	12/23	12/30	1/6	1/13	1/20	1/27	2/3	2/10	2/17	2/24	3/3	3/10	3/17	3/24
	1	8:50–10:00	解剖学1b			秋分の日	解剖学実習1b	解剖学1b		早期体験実習1c	解剖学1b	解剖学実習1b	解剖学1b			解剖学実習1b					アカデミックリテラシー		(入試予定)	基礎科学・基礎医学統合演習	PBL	コミュニケーション演習1	再試験					
	2	10:10–11:20																				生命倫理1										
	3	11:30–12:40	生化学1				生化学1				生化学1										Preparation for the USMLE											
	4	13:30–14:40																														
	5	14:50–16:00	初年次医科学セミナー				初年次医科学セミナー				初年次医科学セミナー																					
	6	16:10–17:20	選択講座/自主活動				選択講座/自主活動														選択講座/自主活動											
水	授業		9/3	9/10	9/17	9/24	10/1	10/8	10/15	10/22	10/29	11/5	11/12	11/19	11/26	12/3	12/10	12/17	12/24	12/31	1/7	1/14	1/21	1/28	2/4	2/11	2/18	2/25	3/4	3/11	3/18	3/25
	1	8:50–10:00	第二外国語/リベラルアーツ							早期体験実習1c	第二外国語/リベラルアーツ						第二外国語				生命倫理1	行動科学1c	(入試予定)	基礎科学・基礎医学統合演習	PBL	建国記念日	再試験					
	2	10:10–11:20																														
	3	11:30–12:40	リベラルアーツ								リベラルアーツ										プロフェッショナリズム1b											
	4	13:30–14:40	解剖学1b								解剖学1b					(補講)		生化学1			Preparation for the USMLE											
	5	14:50–16:00																														
	6	16:10–17:20	選択講座/自主活動																		選択講座/自主活動											
木	授業		9/4	9/11	9/18	9/25	10/2	10/9	10/16	10/23	10/30	11/6	11/13	11/20	11/27	12/4	12/11	12/18	12/25	1/1	1/8	1/15	1/22	1/29	2/5	2/12	2/19	2/26	3/5	3/12	3/19	3/26
	1	8:50–10:00	解剖学1b			解剖学実習1b	解剖学1b			早期体験実習1c	解剖学実習1b	解剖学1b			解剖学実習1b	(補講)					行動科学1c	アカデミックリテラシー	基礎科学・基礎医学統合演習		(入試予定)	コミュニケーション演習1	(入試予定)	再試験				
	2	10:10–11:20																						行動科学1c								
	3	11:30–12:40	生理学1						防災訓練		生理学1						解剖学1b	行動科学1b			プロフェッショナリズム1b											
	4	13:30–14:40																			Preparation for the USMLE	生命倫理1		プロフェッショナリズム1b								
	5	14:50–16:00																														
	6	16:10–17:20	選択講座/自主活動							選択講座/自主活動											選択講座/自主活動											
金	授業		9/5	9/12	9/19	9/26	10/3	10/10	10/17	10/24	10/31	11/7	11/14	11/21	11/28	12/5	12/12	12/19	12/26	1/2	1/9	1/16	1/23	1/30	2/6	2/13	2/20	2/27	3/6	3/13	3/20	3/27
	1	8:50–10:00	A 医学英語1b B 医療のための情報学							早期体験実習1c		A 医学英語1b B 医療のための情報学					医学英語1b	医療のための情報学					基礎科学・基礎医学統合演習	PBL	(入試予定)	コミュニケーション演習1	再試験					
	2	10:10–11:20	A 医療のための情報学 B 医学英語1b									A 医療のための情報学 B 医学英語1b																				
	3	11:30–12:40	生化学1			行動科学1b						行動科学1b									生命倫理1										春分の日	
	4	13:30–14:40					生化学1				生化学1	プロフェッショナリズム1b									アカデミックリテラシー											
	5	14:50–16:00																														
	6	16:10–17:20	選択講座/自主活動																		選択講座/自主活動											
土			9/6	9/13	9/20	9/27	10/4	10/11	10/18	10/25	11/1	11/8	11/15	11/22	11/29	12/6	12/13	12/20	12/27	1/3	1/10	1/17	1/24	1/31	2/7	2/14	2/21	2/28	3/7	3/14	3/21	3/28
											医大祭																					
日			9/7	9/14	9/21	9/28	10/5	10/12	10/19	10/26	11/2	11/9	11/16	11/23	11/30	12/7	12/14	12/21	12/28	1/4	1/11	1/18	1/25	2/1	2/8	2/15	2/22	3/1	3/8	3/15	3/22	3/29
											医大祭			勤労感謝の日																		

注　休日や夏季・冬季・春季の休業を除いて，授業のない時間には補講が行われることがあります。

２０２５年度　２年次授業時間割

前学期

曜	時限	時間		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	夏季休業			
月	授業			4/7	4/14	4/21	4/28	5/5	5/12	5/19	5/26	6/2	6/9	6/16	6/23	6/30	7/7	7/14	7/21	7/28	8/4	8/11	8/18	8/25
	1	8:50–10:00			医学英語2			こどもの日	解剖慰霊祭	医学英語2			生理学2	医学英語2	生理学実習			(補講)	海の日	外来案内実習		山の日		再試験
	2	10:10–11:20			生理学2					生理学2			医学英語2	免疫学実習										
	3	11:30–12:40																						
	4	13:30–14:40																						
	5	14:50–16:00																						
	6	16:10–17:20			学修支援					学修支援														
火	授業		4/1	4/8	4/15	4/22	4/29	5/6	5/13	5/20	5/27	6/3	6/10	6/17	6/24	7/1	7/8	7/15	7/22	7/29	8/5	8/12	8/19	8/26
	1	8:50–10:00		学年ガイダンス	分子発生学		昭和の日	振替休日	分子発生学							生化学実習		(補講)	分子発生学	外来案内実習				再試験
	2	10:10–11:20																						
	3	11:30–12:40			解剖学実習2				解剖学実習2					免疫学実習										
	4	13:30–14:40		健康診断																				
	5	14:50–16:00																						
	6	16:10–17:20			選択講座/自主活動				選択講座/自主活動															
水	授業		4/2	4/9	4/16	4/23	4/30	5/7	5/14	5/21	5/28	6/4	6/11	6/18	6/25	7/2	7/9	7/16	7/23	7/30	8/6	8/13	8/20	8/27
	1	8:50–10:00			生理学2								免疫学	分子発生学	生理学実習			(補講)		外来案内実習				再試験
	2	10:10–11:20																						
	3	11:30–12:40			解剖学実習2									免疫学実習					生理学2					
	4	13:30–14:40																						
	5	14:50–16:00																						
	6	16:10–17:20			選択講座/自主活動																			
木	授業		4/3	4/10	4/17	4/24	5/1	5/8	5/15	5/22	5/29	6/5	6/12	6/19	6/26	7/3	7/10	7/17	7/24	7/31	8/7	8/14	8/21	8/28
	1	8:50–10:00			免疫学									生理学実習	医学英語2	生化学実習		(補講)		外来案内実習				再試験
	2	10:10–11:20																						
	3	11:30–12:40			プロフェッショナリズム2									免疫学実習	プロフェッショナリズム2				生化学2					
	4	13:30–14:40			生理学2																			
	5	14:50–16:00																						
	6	16:10–17:20			選択講座/自主活動																			
金	授業		4/4	4/11	4/18	4/25	5/2	5/9	5/16	5/23	5/30	6/6	6/13	6/20	6/27	7/4	7/11	7/18	7/25	8/1	8/8	8/15	8/22	8/29
	1	8:50–10:00			生化学2										免疫学	生理学実習		(補講)		外来案内実習				再試験
	2	10:10–11:20																						
	3	11:30–12:40			解剖学実習2																			
	4	13:30–14:40																						
	5	14:50–16:00																						
	6	16:10–17:20			選択講座/自主活動																免疫学					
土			4/5	4/12	4/19	4/26	5/3	5/10	5/17	5/24	5/31	6/7	6/14	6/21	6/28	7/5	7/12	7/19	7/26	8/2	8/9	8/16	8/23	8/30
							憲法記念日																	
日			4/6	4/13	4/20	4/27	5/4	5/11	5/18	5/25	6/1	6/8	6/15	6/22	6/29	7/6	7/13	7/20	7/27	8/3	8/10	8/17	8/24	8/31
							みどりの日																	

後学期

曜	時限	時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	冬季休業	
月	授業		9/1	9/8	9/15	9/22	9/29	10/6	10/13	10/20	10/27	11/3	11/10	11/17	11/24	12/1	12/8	12/15	12/22	12/29
	1	8:50–10:00	統合講義（腫瘍学）	医学英語2	敬老の日	病理学		微生物学	スポーツの日	病理学実習		文化の日	病理学実習	チーム医療実習	振替休日	地域社会医学実習				
	2	10:10–11:20																		
	3	11:30–12:40		薬理学		薬理学				薬理学実習			行動科学2							
	4	13:30–14:40		病理学		医学英語2					医学英語2			コミュニケーション演習1			炎症学	微生物(細菌)		
	5	14:50–16:00											プロフェッショナリズム2							
	6	16:10–17:20	学修支援			学修支援				学修支援			学修支援							
火	授業		9/2	9/9	9/16	9/23	9/30	10/7	10/14	10/21	10/28	11/4	11/11	11/18	11/25	12/2	12/9	12/16	12/23	12/30
	1	8:50–10:00	統合講義（腫瘍学）	寄生虫学		秋分の日	寄生虫学		病理学	寄生虫学			統合講義（炎症学）	チーム医療実習／コミュニケーション演習2	チーム医療実習	地域社会医学実習				
	2	10:10–11:20							病理学実習											
	3	11:30–12:40		病理学			微生物学	病理学	微生物学	薬理学実習	微生物学	病理学								
	4	13:30–14:40													コミュニケーション演習2		行動科学2	病理学		
	5	14:50–16:00																		
	6	16:10–17:20	選択講座/自主活動				選択講座/自主活動													
水	授業		9/3	9/10	9/17	9/24	10/1	10/8	10/15	10/22	10/29	11/5	11/12	11/19	11/26	12/3	12/10	12/17	12/24	12/31
	1	8:50–10:00	統合講義（腫瘍学）	プロフェッショナリズム2	行動科学2								統合講義（炎症学）	チーム医療実習／コミュニケーション演習2	地域社会医学実習	(補講)				
	2	10:10–11:20		行動科学2	プロフェッショナリズム2															
	3	11:30–12:40		薬理学				微生物学		薬理学実習	寄生虫学	病理学実習					医学英語2			
	4	13:30–14:40																		
	5	14:50–16:00		病理学	微生物学															
	6	16:10–17:20	選択講座/自主活動																	
木	授業		9/4	9/11	9/18	9/25	10/2	10/9	10/16	10/23	10/30	11/6	11/13	11/20	11/27	12/4	12/11	12/18	12/25	1/1
	1	8:50–10:00	統合講義（腫瘍学）	薬理学						微生物学	薬理学		統合講義（炎症学）	チーム医療実習／コミュニケーション演習2	地域社会医学実習	(補講)				
	2	10:10–11:20																		
	3	11:30–12:40		微生物学				病理学	防災訓練	薬理学実習	微生物学	寄生虫学								
	4	13:30–14:40															プロフェッショナリズム2	薬理学		
	5	14:50–16:00																		
	6	16:10–17:20	選択講座/自主活動							選択講座/自主活動										
金	授業		9/5	9/12	9/19	9/26	10/3	10/10	10/17	10/24	10/31	11/7	11/14	11/21	11/28	12/5	12/12	12/19	12/26	1/2
	1	8:50–10:00	病理学	多職種連携演習2	病理学			寄生虫学	病理学実習	薬理学実習	薬理学		病理学	チーム医療実習／コミュニケーション演習2	地域社会医学実習	(補講)				
	2	10:10–11:20	微生物学																	
	3	11:30–12:40			微生物学			微生物学				微生物学	寄生虫学							
	4	13:30–14:40					微生物学										微生物(ウイルス)	寄生虫学		
	5	14:50–16:00																		
	6	16:10–17:20	選択講座/自主活動																	
土			9/6	9/13	9/20	9/27	10/4	10/11	10/18	10/25	11/1	11/8	11/15	11/22	11/29	12/6	12/13	12/20	12/27	1/3
											医大祭									
日			9/7	9/14	9/21	9/28	10/5	10/12	10/19	10/26	11/2	11/9	11/16	11/23	11/30	12/7	12/14	12/21	12/28	1/4
											医大祭			勤労感謝の日						

曜	時限	時間	17	18	19	20	21	22	春季休業					
月	授業		1/5	1/12	1/19	1/26	2/2	2/9	2/16	2/23	3/2	3/9	3/16	3/23
	1	8:50–10:00	総合試験2	成人の日	統計学2	生命倫理2	基礎医学セミナー	基礎医学セミナー	再試験	天皇誕生日				
	2	10:10–11:20												
	3	11:30–12:40			生命倫理2	統計学2								
	4	13:30–14:40												
	5	14:50–16:00												
	6	16:10–17:20												
火	授業		1/6	1/13	1/20	1/27	2/3	2/10	2/17	2/24	3/3	3/10	3/17	3/24
	1	8:50–10:00	検査医学	放射線医学	（入試予定）	基礎医学セミナー	基礎医学セミナー	基礎医学セミナー	再試験					
	2	10:10–11:20												
	3	11:30–12:40												
	4	13:30–14:40												
	5	14:50–16:00												
	6	16:10–17:20	選択講座/自主活動											
水	授業		1/7	1/14	1/21	1/28	2/4	2/11	2/18	2/25	3/4	3/11	3/18	3/25
	1	8:50–10:00	検査医学	放射線医学	（入試予定）	基礎医学セミナー	基礎医学セミナー	建国記念日	再試験					
	2	10:10–11:20												
	3	11:30–12:40												
	4	13:30–14:40												
	5	14:50–16:00												
	6	16:10–17:20	選択講座/自主活動											
木	授業		1/8	1/15	1/22	1/29	2/5	2/12	2/19	2/26	3/5	3/12	3/19	3/26
	1	8:50–10:00	検査医学	放射線医学	統計学2	基礎医学セミナー	（入試予定）	基礎医学セミナー	（入試予定）	再試験				
	2	10:10–11:20			生命倫理2									
	3	11:30–12:40												
	4	13:30–14:40												
	5	14:50–16:00												
	6	16:10–17:20	選択講座/自主活動											
金	授業		1/9	1/16	1/23	1/30	2/6	2/13	2/20	2/27	3/6	3/13	3/20	3/27
	1	8:50–10:00	放射線医学	放射線医学	統計学2	基礎医学セミナー	（入試予定）	（補講）	再試験				春分の日	
	2	10:10–11:20												
	3	11:30–12:40			生命倫理2									
	4	13:30–14:40												
	5	14:50–16:00												
	6	16:10–17:20	選択講座/自主活動											
土			1/10	1/17	1/24	1/31	2/7	2/14	2/21	2/28	3/7	3/14	3/21	3/28
日			1/11	1/18	1/25	2/1	2/8	2/15	2/22	3/1	3/8	3/15	3/22	3/29

注　休日や夏季・冬季・春季の休業を除いて，授業のない時間には補講が行われることがあります。

２０２５年度　　３年次授業時間割

学期	曜	時限	時間	前学期																夏季休業			後学期																		冬季休業		春季休業																	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			18	19	20	21	22	23														
月																																																												
	授業			4/7	4/14	4/21	4/28	5/5	5/12	5/19	5/26	6/2	6/9	6/16	6/23	6/30	7/7	7/14	7/21	7/28	8/4	8/11	8/18	8/25	9/1	9/8	9/15	9/22	9/29	10/6	10/13	10/20	10/27	11/3	11/10	11/17	11/24	12/1	12/8	12/15	12/22	12/29	1/5	1/12	1/19	1/26	2/2	2/9	2/16	2/23	3/2	3/9	3/16	3/23						
	1	8:50 | 10:00			循環器学	循環器学	循環器学	こどもの日	腎・膠原病学	腎・膠原病学	泌尿器科学	血液・造血器学	呼吸器・アレルギー学	東洋医学	東洋医学	東洋医学	精神科学	整形外科学	海の日			山の日	再試験	地域包括ケア実習	消化器学	敬老の日	消化器学	消化器学	内分泌・代謝・糖尿病学	スポーツの日	産科学	婦人科学	文化の日	小児科学	小児科学	振替休日	脳・神経学（脳神経外科学）	リハビリテーション医学	プロフェッショナリズム3			再試験	成人の日	疼痛医療学	高齢医学	症候学／コミュニケーション演習3		再試験	天皇誕生日										
	2	10:10 | 11:20																																																									
	3	11:30 | 12:40																																																									
	4	13:30 | 14:40																																																								
	5	14:50 | 16:00																																																								
	6	16:10 | 17:20			学修支援				学修支援															学修支援				学修支援				学修支援				学修支援																								
火																																																										
	授業			4/1	4/8	4/15	4/22	4/29	5/6	5/13	5/20	5/27	6/3	6/10	6/17	6/24	7/1	7/8	7/15	7/22	7/29	8/5	8/12	8/19	8/26	9/2	9/9	9/16	9/23	9/30	10/7	10/14	10/21	10/28	11/4	11/11	11/18	11/25	12/2	12/9	12/16	12/23	12/30	1/6	1/13	1/20	1/27	2/3	2/10	2/17	2/24	3/3	3/10	3/17	3/24						
	1	8:50 | 10:00			学年ガイダンス	循環器学	循環器学	昭和の日	振替休日	腎・膠原病学	泌尿器科学	泌尿器科学	血液・造血器学	呼吸器・アレルギー学	呼吸器・アレルギー学	呼吸器・アレルギー学	精神科学	精神科学	整形外科学				再試験	地域包括ケア実習	消化器学	消化器学	秋分の日	消化器学	内分泌・代謝・糖尿病学	内分泌・代謝・糖尿病学	内分泌・代謝・糖尿病学	産科学	婦人科学	婦人科学	小児科学	小児科学	脳・神経学（神経内科学）	脳・神経学（脳神経外科学）	リハビリテーション医学	健康増進と疾病予防			再試験	疼痛医療学	（入試予定）	高齢医学	症候学／コミュニケーション演習3		再試験											
	2	10:10 | 11:20			健康診断																																																							
	3	11:30 | 12:40																																																									
	4	13:30 | 14:40																																																									
	5	14:50 | 16:00																																																									
	6	16:10 | 17:20				選択講座/自主活動				選択講座/自主活動														選択講座/自主活動				選択講座/自主活動																																							
水																																																										
	授業			4/2	4/9	4/16	4/23	4/30	5/7	5/14	5/21	5/28	6/4	6/11	6/18	6/25	7/2	7/9	7/16	7/23	7/30	8/6	8/13	8/20	8/27	9/3	9/10	9/17	9/24	10/1	10/8	10/15	10/22	10/29	11/5	11/12	11/19	11/26	12/3	12/10	12/17	12/24	12/31	1/7	1/14	1/21	1/28	2/4	2/11	2/18	2/25	3/4	3/11	3/18	3/25						
	1	8:50 | 10:00				医学英語3																																																							
	2	10:10 | 11:20																																																									
	3	11:30 | 12:40				公衆衛生学						衛生学						英語3	整形外科学				再試験	地域包括ケア実習	健康増進と疾病予防		公衆衛生学実習			健康増進と疾病予防				プロフェッショナリズム3	脳・神経学（神経内科学）	脳・神経学（脳神経外科学）	リハビリテーション医学	法医学		再試験	ＥＢＭ実習				症候学／コミュニケーション演習3	建国記念日	再試験										
	4	13:30 | 14:40																プロフェッショナリズム3	東洋医学						法医学						法医学																																
	5	14:50 | 16:00																																																									
	6	16:10 | 17:20				選択講座/自主活動				選択講座/自主活動														選択講座/自主活動				選択講座/自主活動																																							
木																																																										
	授業			4/3	4/10	4/17	4/24	5/1	5/8	5/15	5/22	5/29	6/5	6/12	6/19	6/26	7/3	7/10	7/17	7/24	7/31	8/7	8/14	8/21	8/28	9/4	9/11	9/18	9/25	10/2	10/9	10/16	10/23	10/30	11/6	11/13	11/20	11/27	12/4	12/11	12/18	12/25	1/1	1/8	1/15	1/22	1/29	2/5	2/12	2/19	2/26	3/5	3/12	3/19	3/26						
	1	8:50 | 10:00				循環器学	循環器学		腎・膠原病学	腎・膠原病学	泌尿器科学	血液・造血器学	血液・造血器学	呼吸器・アレルギー学	呼吸器・アレルギー学	精神科学	精神科学	整形外科学				再試験	地域包括ケア実習	消化器学	消化器学	消化器学	消化器学	内分泌・代謝・糖尿病学	内分泌・代謝・糖尿病学	生命倫理3	産科学	婦人科学	小児科学	小児科学	脳・神経学（神経内科学）	脳・神経学（脳神経外科学）	脳・神経学（脳神経外科学）		生命倫理3			再試験	症候学	疼痛医療学	高齢医学	症候学／コミュニケーション演習3	（入試予定）	（入試予定）	再試験										
	2	10:10 | 11:20																												防災訓練																															
	3	11:30 | 12:40																																																									
	4	13:30 | 14:40																	公衆衛生学																		

２０２５年度　　４年次授業時間割

| 学期 | | | 前学期 | | | | | | | | | | | | | | | | 夏季休業 | | | | | | | | | | 後学期 | | | | | | | | | | | | | | | |

２０２５年度　５学年次　授業時間割

時限	時間
1	8:50–10:00
2	10:05–11:15
3	11:20–12:30
4	13:30–14:40
5	14:45–15:55
6	16:00–17:10

学期	週	月	火	水	木	金	土	日
前学期	21	3/31 クリニカル・クラークシップA	4/1 クリニカル・クラークシップA	4/2 クリニカル・クラークシップA	4/3 クリニカル・クラークシップA	4/4 クリニカル・クラークシップA	4/5	4/6
前学期	22	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11	4/12	4/13
前学期	23	4/14	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	4/20
前学期	24	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27
前学期		4/28 （クリニカル・クラークシップ予備日）	4/29 昭和の日	4/30 （クリニカル・クラークシップ予備日）	5/1 （クリニカル・クラークシップ予備日）	5/2 （クリニカル・クラークシップ予備日）	5/3 憲法記念日	5/4 みどりの日
前学期		5/5 こどもの日	5/6 振替休日	5/7	5/8	5/9 **総合試験５A**（1–3限）／健康診断（4–6限）	5/10	5/11
前学期	25	5/12 クリニカル・クラークシップA	5/13 クリニカル・クラークシップA	5/14 クリニカル・クラークシップA	5/15 クリニカル・クラークシップA	5/16 クリニカル・クラークシップA	5/17	5/18
前学期	26	5/19	5/20	5/21	5/22	5/23	5/24	5/25
前学期	27	5/26	5/27	5/28	5/29	5/30	5/31	6/1
前学期	28	6/2	6/3	6/4	6/5	6/6	6/7	6/8
前学期	29	6/9	6/10	6/11	6/12	6/13	6/14	6/15
前学期	30	6/16	6/17	6/18	6/19	6/20	6/21	6/22
前学期	31	6/23	6/24	6/25	6/26	6/27	6/28	6/29
前学期	32	6/30	7/1	7/2	7/3	7/4	7/5	7/6
前学期	33	7/7	7/8	7/9	7/10	7/11	7/12	7/13
前学期	34	7/14	7/15	7/16	7/17	7/18	7/19	7/20
夏季休業		7/21 海の日	7/22 （クリニカル・クラークシップ予備日）	7/23 （クリニカル・クラークシップ予備日）	7/24 （クリニカル・クラークシップ予備日）	7/25 （クリニカル・クラークシップ予備日）	7/26	7/27
夏季休業		7/28	7/29	7/30	7/31	8/1	8/2	8/3
夏季休業		8/4	8/5	8/6	8/7	8/8	8/9	8/10
夏季休業		8/11 山の日	8/12 （クリニカル・クラークシップ予備日）	8/13 （クリニカル・クラークシップ予備日）	8/14 （クリニカル・クラークシップ予備日）	8/15 （クリニカル・クラークシップ予備日）	8/16	8/17
前学期	35	8/18 クリニカル・クラークシップA	8/19 クリニカル・クラークシップA	8/20 クリニカル・クラークシップA	8/21 クリニカル・クラークシップA	8/22 クリニカル・クラークシップA	8/23	8/24
前学期	36	8/25	8/26	8/27	8/28	8/29 クリニカル・クラークシップA振り返り	8/30	8/31
	1	9/1 クリニカル・クラークシップB	9/2 クリニカル・クラークシップB	9/3 クリニカル・クラークシップB	9/4 クリニカル・クラークシップB	9/5 クリニカル・クラークシップB	9/6	9/7
	2	9/8	9/9	9/10	9/11	9/12	9/13	9/14
	3	9/15 敬老の日	9/16	9/17	9/18	9/19	9/20	9/21
	4	9/22 クリニカル・クラークシップB	9/23 秋分の日	9/24	9/25	9/26	9/27	9/28
後学期		9/29 （クリニカル・クラークシップ予備日）	9/30 （クリニカル・クラークシップ予備日）	10/1 （クリニカル・クラークシップ予備日）	10/2 （クリニカル・クラークシップ予備日）	10/3 （クリニカル・クラークシップ予備日）	10/4	10/5
後学期		10/6	10/7	10/8	10/9 **総合試験５B**	10/10 **総合試験５B**	10/11	10/12
後学期	5	10/13 スポーツの日	10/14 クリニカル・クラークシップB	10/15 クリニカル・クラークシップB	10/16 クリニカル・クラークシップB	10/17 クリニカル・クラークシップB	10/18	10/19
後学期	6	10/20 クリニカル・クラークシップB	10/21	10/22	10/23	10/24	10/25	10/26
後学期	7	10/27	10/28	10/29	10/30	10/31	11/1	11/2
後学期	8	11/3 文化の日	11/4	11/5	11/6	11/7	11/8	11/9
後学期	9	11/10 クリニカル・クラークシップB	11/11	11/12	11/13	11/14	11/15	11/16
後学期	10	11/17	11/18	11/19	11/20	11/21	11/22	11/23 勤労感謝の日
後学期	11	11/24 振替休日	11/25	11/26	11/27	11/28	11/29	11/30
後学期	12	12/1 クリニカル・クラークシップB	12/2	12/3	12/4	12/5	12/6	12/7
後学期	13	12/8	12/9	12/10	12/11	12/12	12/13	12/14
後学期	14	12/15	12/16	12/17	12/18	12/19	12/20	12/21
冬季休業		12/22	12/23	12/24	12/25	12/26	12/27	12/28
冬季休業		12/29	12/30	12/31	1/1 元日	1/2	1/3	1/4
後学期	15	1/5 クリニカル・クラークシップB	1/6 クリニカル・クラークシップB	1/7 クリニカル・クラークシップB	1/8 クリニカル・クラークシップB	1/9 クリニカル・クラークシップB	1/10	1/11
後学期	16	1/12 成人の日	1/13	1/14	1/15	1/16	1/17 **総合試験５C**	1/18
後学期	17	1/19 クリニカル・クラークシップB	1/20	1/21	1/22	1/23	1/24	1/25
後学期	18	1/26	1/27	1/28	1/29	1/30	1/31	2/1
後学期	19	2/2	2/3	2/4	2/5	2/6	2/7	2/8
後学期	20	2/9	2/10	2/11 建国記念の日	2/12	2/13	2/14 **再試験**	2/15
後学期	21	2/16	2/17	2/18 クリニカル・クラークシップB	2/19	2/20	2/21	2/22
後学期	22	2/23 天皇誕生日	2/24	2/25	2/26	2/27	2/28	3/1
後学期	23	3/2 クリニカル・クラークシップB	3/3	3/4	3/5	3/6	3/7	3/8
後学期	24	3/9	3/10	3/11	3/12	3/13	3/14	3/15
春季休業		3/16	3/17	3/18	3/19	3/20 春分の日	3/21	3/22
春季休業		3/23	3/24	3/25	3/26	3/27	3/28	3/29

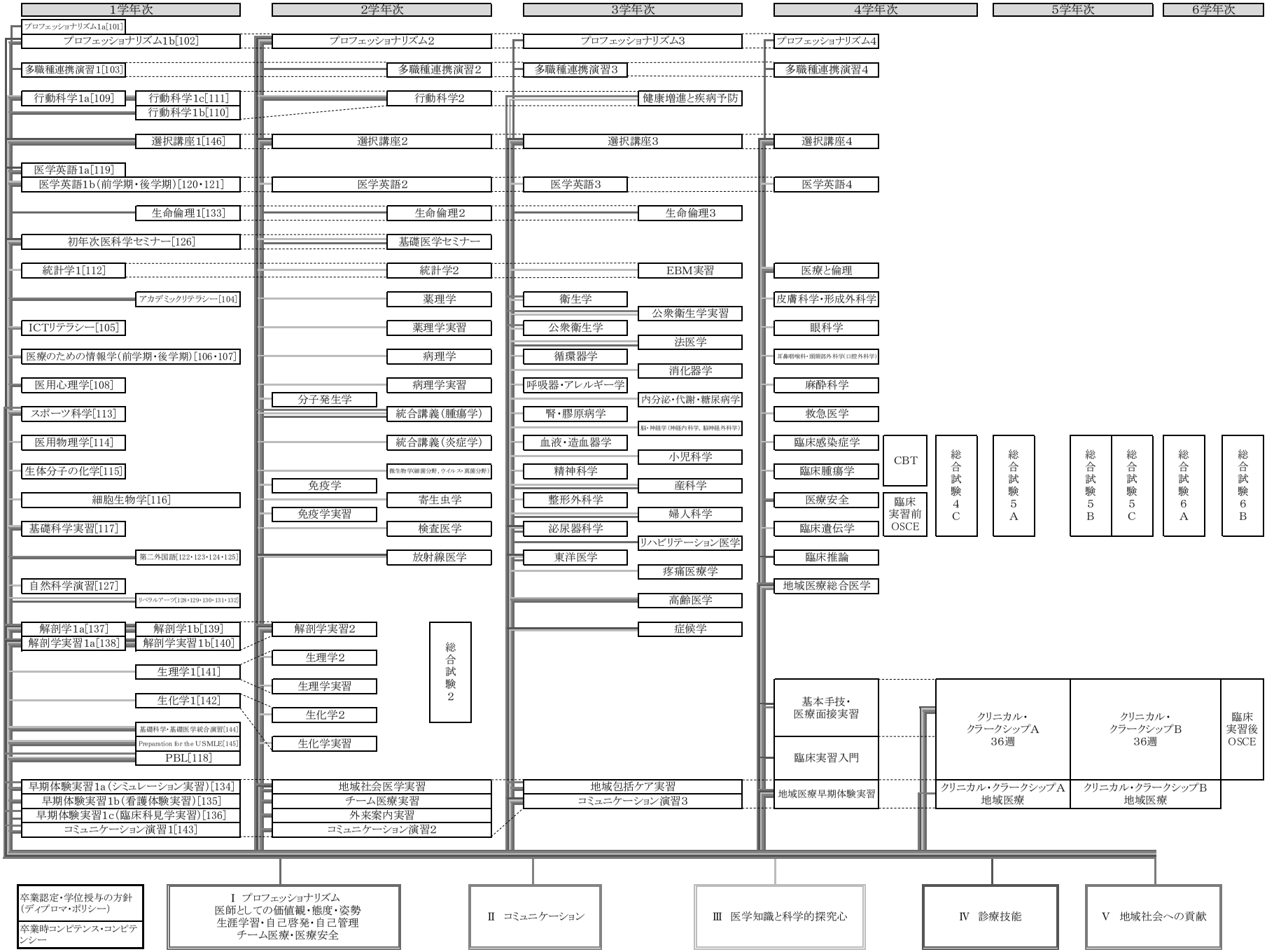
注　休日や夏季・冬季・春季の休業を除いて，授業のない時間には補講が行われることがあります。

２０２５年度　６学年次　授業時間割

| 曜 | 時限 | 時間 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 夏季休業 | | |

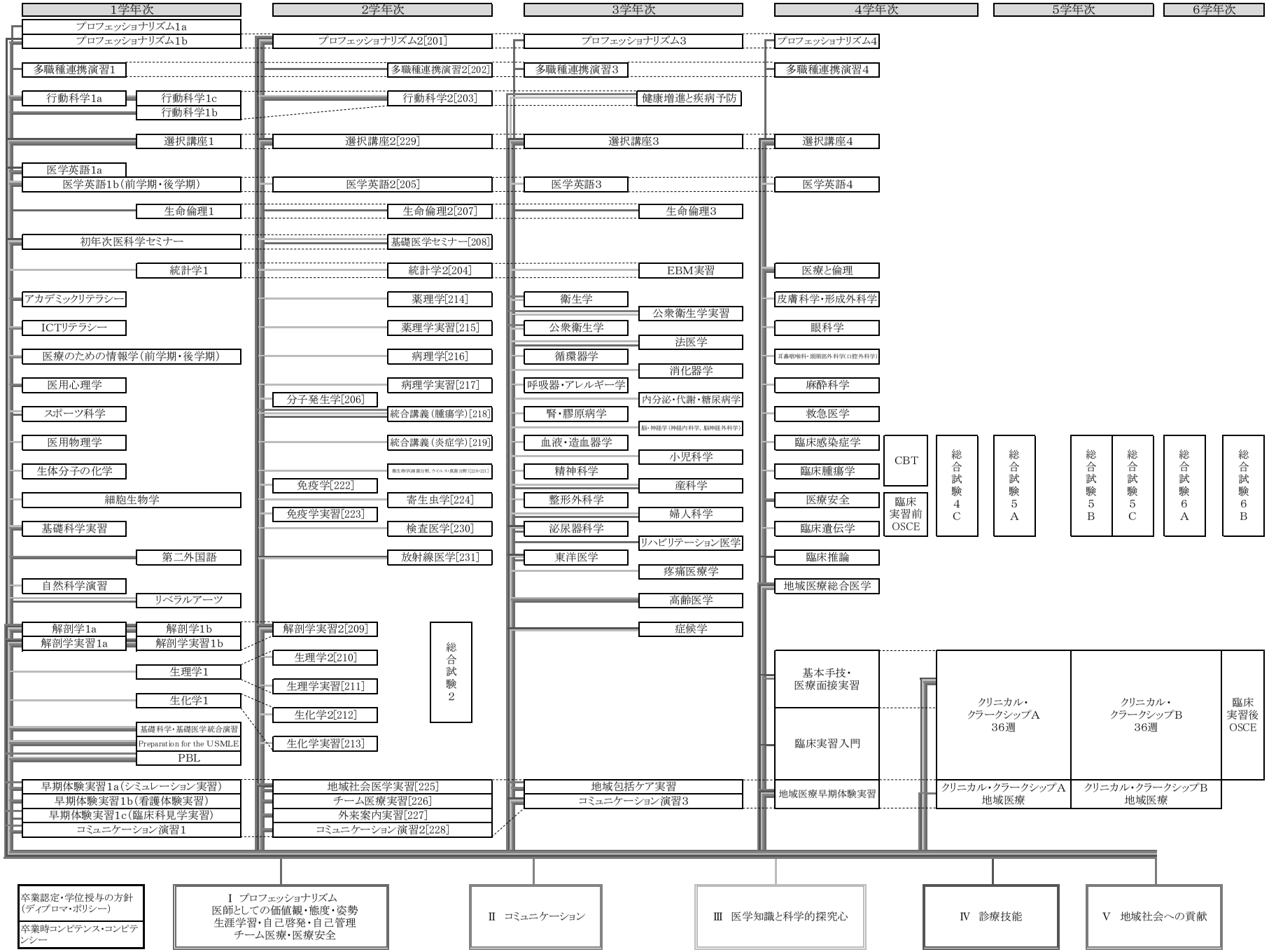
履修系統図 2025年度入学生

［ ］は科目コード一覧を参照。



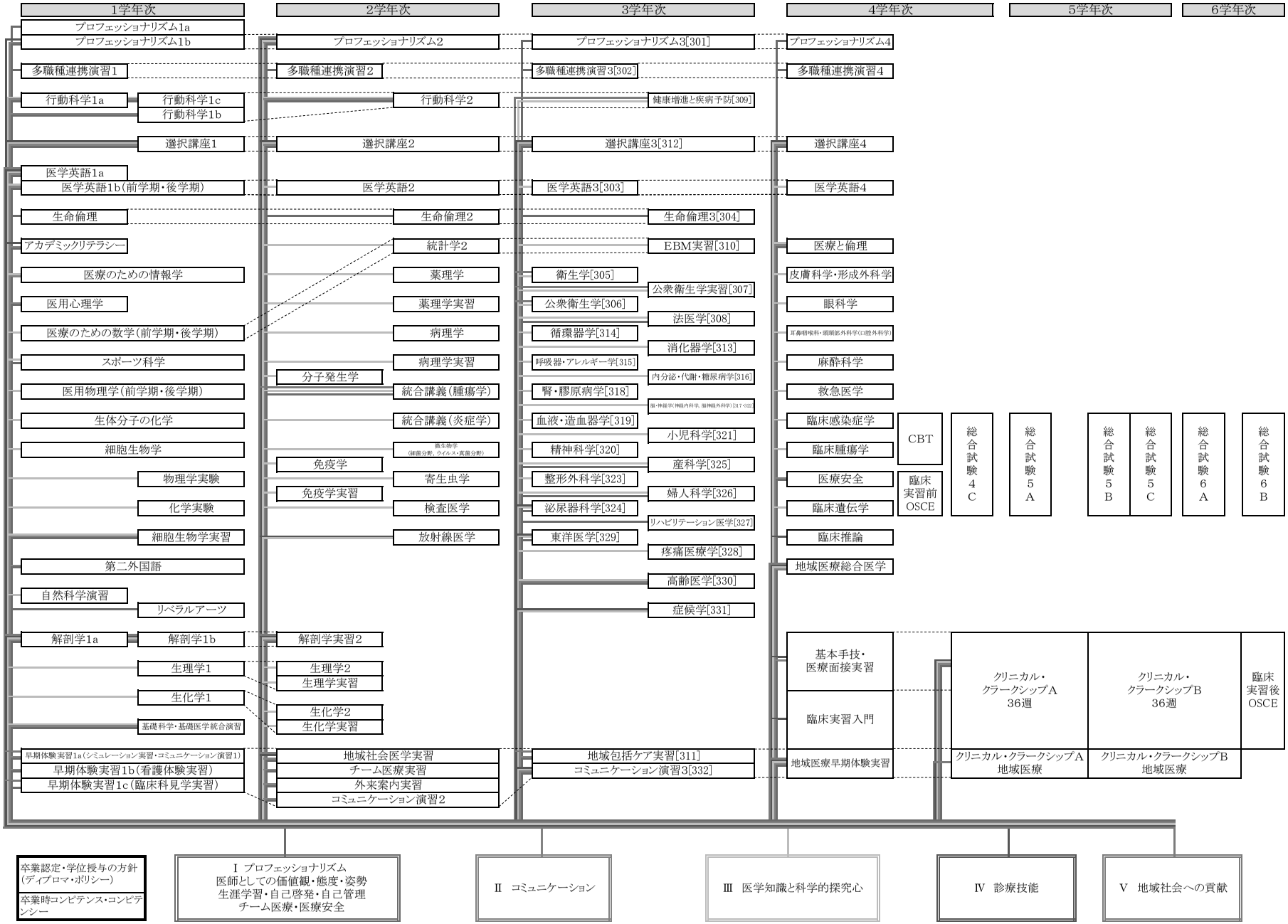
履修系統図 2024年度入学生

［ ］は科目コード一覧を参照。



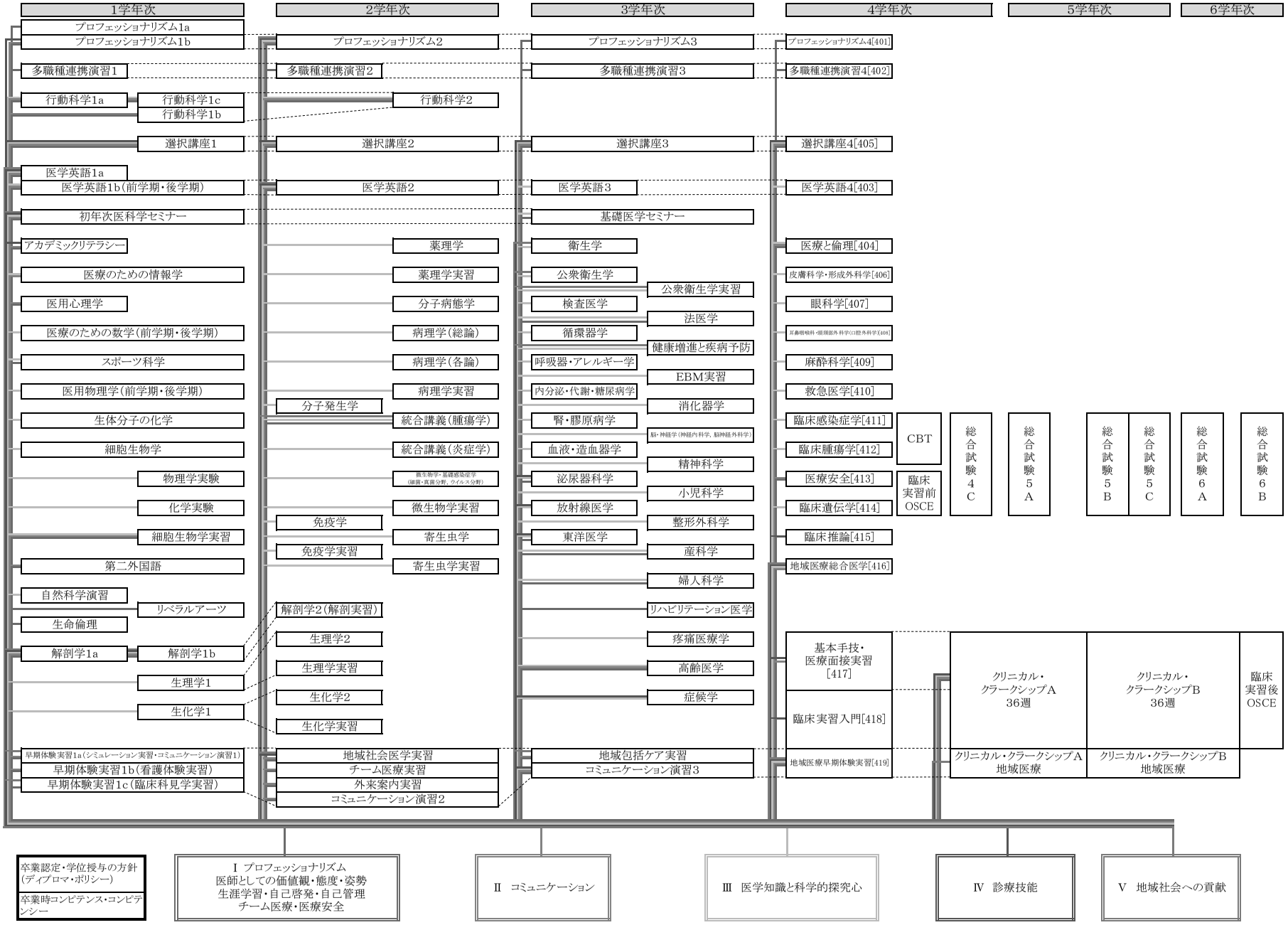
履修系統図 2023年度入学生

［ ］は科目コード一覧を参照。



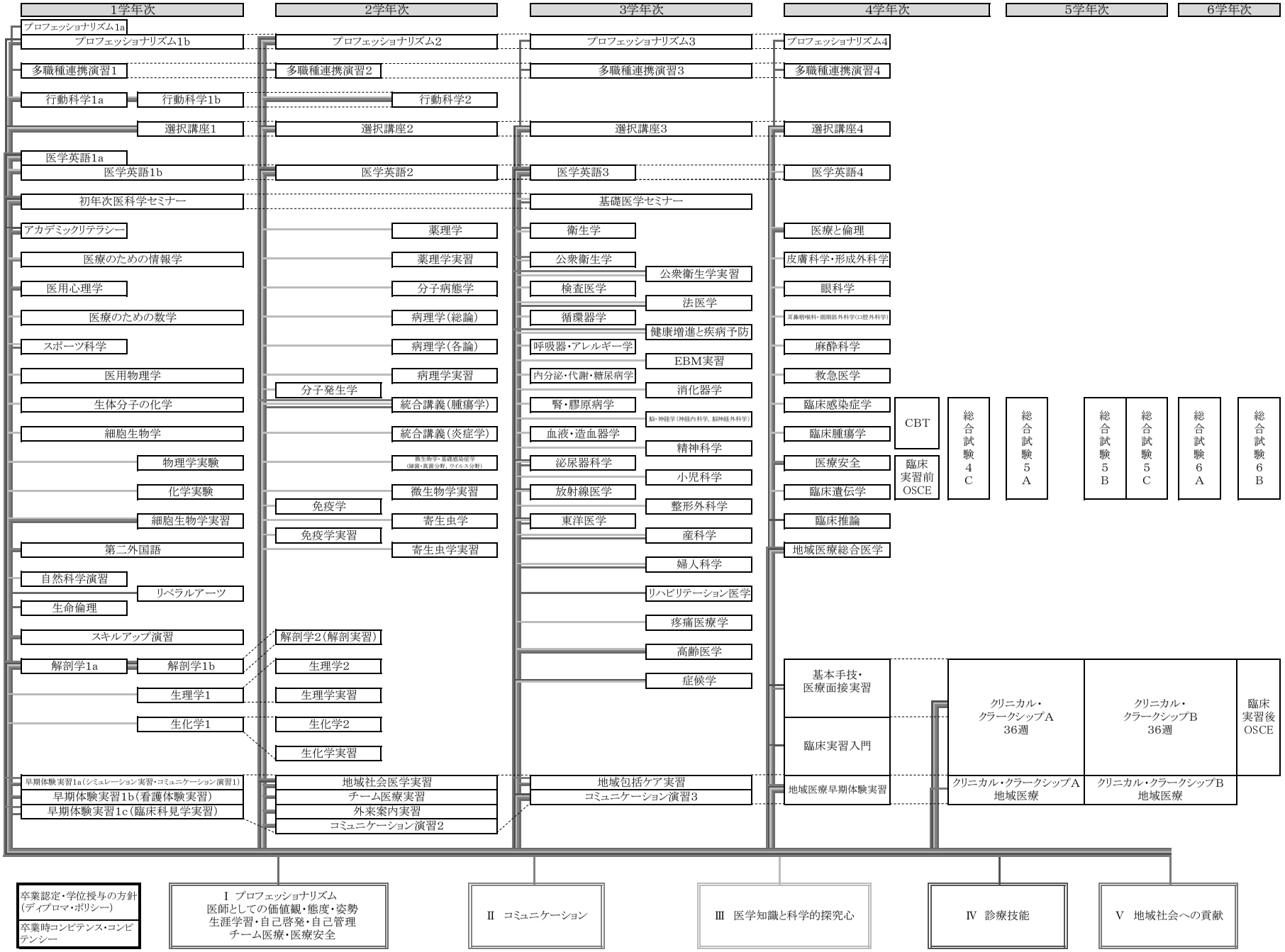
履修系統図 2022年度入学生

［］は科目コード一覧を参照。



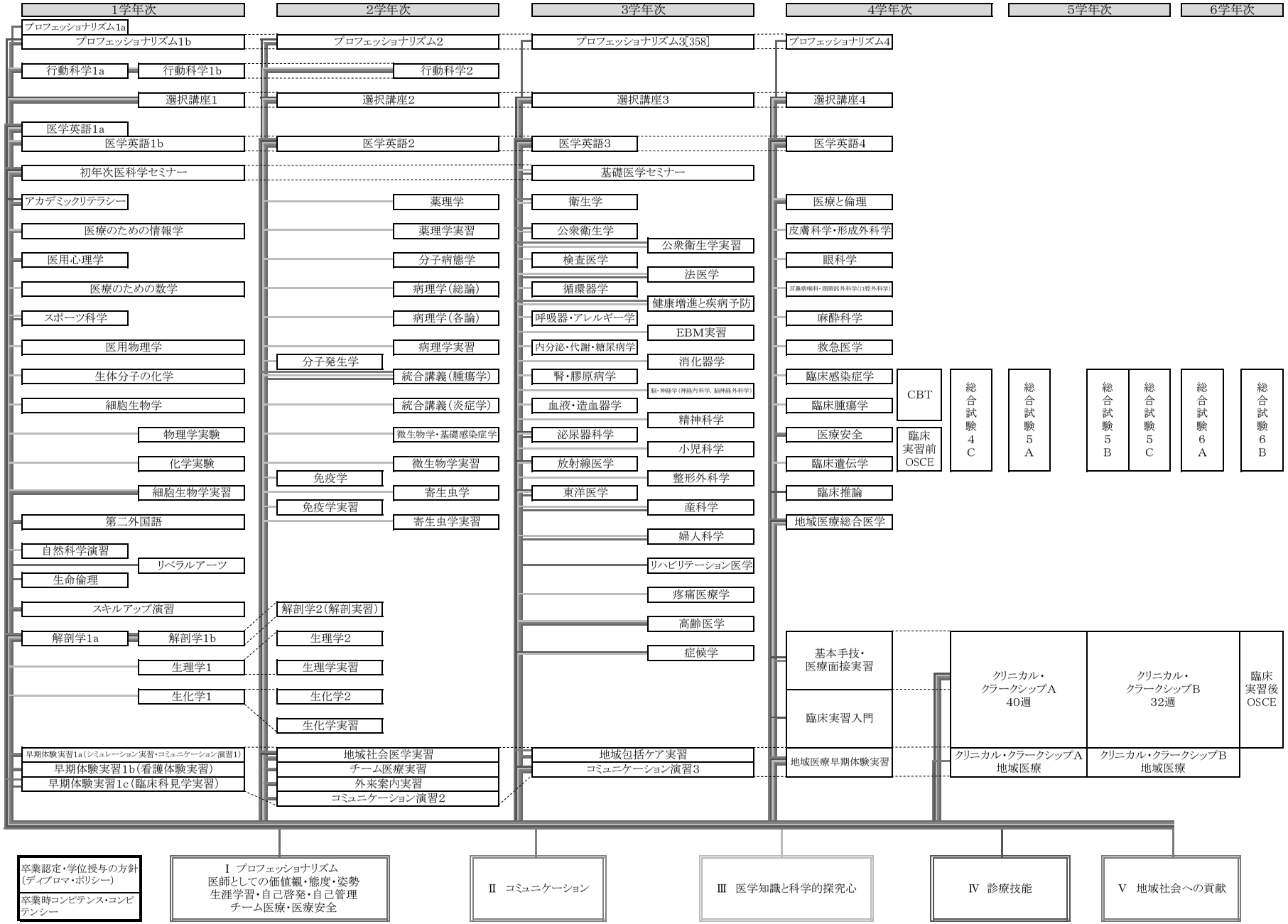
履修系統図 2021年度入学生

［］は科目コード一覧を参照。



履修系統図 2020年度入学生

［］は科目コード一覧を参照。



科目コード一覧

＊4学年次に単位認定するため科目コードなし

学年	学則科目名	科目コード	履修系統図付番
1	プロフェッショナリズム1a	25AA0010	101
1	プロフェッショナリズム1b	25AA0020	102
1	多職種連携演習1	＊	103
1	アカデミックリテラシー	25AA0070	104
1	ICTリテラシー	25AA0080	105
1	医療のための情報学(前学期)	25AA0090	106
1	医療のための情報学(後学期)	25AA0100	107
1	医用心理学	25AA0110	108
1	行動科学1a	25AA0120	109
1	行動科学1b	25AA0130	110
1	行動科学1c	25AA0140	111
1	統計学1	25AA0160	112
1	スポーツ科学	25AA0180	113
1	医用物理学	25AA0190	114
1	生体分子の化学	25AA0200	115
1	細胞生物学	25AA0210	116
1	基礎科学実習	25AA0220	117
1	PBL	25AA0230	118
1	医学英語1a	25AA0240	119
1	医学英語1b(前学期)	25AA0250	120
1	医学英語1b(後学期)	25AA0260	121
1	ポルトガル語	25AA0300	122
1	中国語	25AA0310	123
1	韓国語	25AA0320	124
1	ドイツ語	25AA0330	125
1	初年次医科学セミナー	25AA0340	126
1	自然科学演習	25AA0350	127
1	哲学と医療	25AA0360	128
1	経済と医療	25AA0370	129
1	文学と医療	25AA0380	130
1	宗教と医療	25AA0390	131
1	数学と医療	25AA0400	132
1	生命倫理1	25AA0420	133
1	早期体験実習1a(シミュレーション実習)	25AA0450	134
1	早期体験実習1b(看護体験実習)	25AA0460	135
1	早期体験実習1c(臨床科見学実習)	25AA0470	136
1	解剖学1a	25AA0490	137
1	解剖学実習1a	25AA0500	138
1	解剖学1b	25AA0510	139
1	解剖学実習1b	25AA0520	140
1	生理学1	25AA0540	141
1	生化学1	25AA0570	142
1	コミュニケーション演習1	25AA0810	143
1	基礎科学・基礎医学統合演習	25AA0840	144
1	Preparation for the USMLE	25AA0850	145
1	選択講座1	25AA0860	146

学年	学則科目名	科目コード	履修系統図付番
2	プロフェッショナリズム2	24AA0030	201
2	多職種連携演習2	＊	202
2	行動科学2	24AA0150	203
2	統計学2	24AA0170	204
2	医学英語2	24AA0270	205
2	分子発生学	24AA0410	206
2	生命倫理2	24AA0430	207
2	基礎医学セミナー	24AA0470	208
2	解剖学実習2	24AA0520	209
2	生理学2	24AA0540	210
2	生理学実習	24AA0550	211
2	生化学2	24AA0570	212
2	生化学実習	24AA0580	213
2	薬理学	24AA0590	214
2	薬理学実習	24AA0600	215
2	病理学	24AA0610	216
2	病理学実習	24AA0620	217
2	統合講義(腫瘍学)	24AA0630	218
2	統合講義(炎症学)	24AA0640	219
2	微生物学(細菌分野)	24AA0650	220
2	微生物学(ウイルス・真菌分野)	24AA0660	221
2	免疫学	24AA0670	222
2	免疫学実習	24AA0680	223
2	寄生虫学	24AA0690	224
2	地域社会医学実習	24AA0770	225
2	チーム医療実習	24AA0780	226
2	外来案内実習	24AA0790	227
2	コミュニケーション演習2	24AA0810	228
2	選択講座2	24AA0860	229
2	検査医学	24BB0010	230
2	放射線医学	24BB0190	231

学年	学則科目名	科目コード	履修系統図付番
3	プロフェッショナリズム3	23AA0040	301
3	多職種連携演習3	＊	302
3	医学英語3	23AA0290	303
3	生命倫理3	23AA0426	304
3	衛生学	23AA0710	305
3	公衆衛生学	23AA0720	306
3	公衆衛生学実習	23AA0730	307
3	法医学	23AA0740	308
3	健康増進と疾病予防	23AA0760	309
3	EBM実習	23AA0770	310
3	地域包括ケア実習	23AA0820	311
3	選択講座3	23AA0860	312
3	消化器学	23BB0020	313
3	循環器学	23BB0030	314
3	呼吸器・アレルギー学	23BB0040	315
3	内分泌・代謝・糖尿病学	23BB0050	316
3	脳・神経学(神経内科学)	23BB0060	317
3	腎・膠原病学	23BB0070	318
3	血液・造血器学	23BB0080	319
3	精神科学	23BB0090	320
3	小児科学	23BB0100	321
3	脳・神経学(脳神経外科学)	23BB0110	322
3	整形外科学	23BB0120	323
3	泌尿器科学	23BB0140	324
3	産科学	23BB0170	325
3	婦人科学	23BB0180	326
3	リハビリテーション医学	23BB0220	327
3	疼痛医療学	23BB0240	328
3	東洋医学	23BB0270	329
3	高齢医学	23BB0280	330
3	症候学	23BB0320	331
3	コミュニケーション演習3	23BB0330	332

学年	学則科目名	科目コード	履修系統図付番
4	プロフェッショナリズム4	22AA0050	401
4	多職種連携演習4	22AA0060	402
4	医学英語4	22AA0300	403
4	医療と倫理	22AA0760	404
4	選択講座4	22AA0870	405
4	皮膚科学・形成外科学	22BB0130	406
4	眼科学	22BB0150	407
4	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学(口腔外科学)	22BB0160	408
4	麻酔科学	22BB0200	409
4	救急医学	22BB0210	410
4	臨床感染症学	22BB0230	411
4	臨床腫瘍学	22BB0250	412
4	医療安全	22BB0260	413
4	臨床遺伝学	22BB0290	414
4	臨床推論	22BB0300	415
4	地域医療総合医学	22BB0310	416
4	基本手技・医療面接実習	22BB0340	417
4	臨床実習入門	22BB0350	418
4	地域医療早期体験実習	22BB0360	419

1 学 年 次 履 修 科 目

プロフェッショナリズム１ａ（医療人入門）

【単位数：1単位，授業13コマ】

1　科目責任者

鈴木孝太　教授（衛生学）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ｉ-1-c，Ｉ-2-c，Ｉ-7-c）

① コンピテンス「プロフェッショナリズム」における，医師としての価値観・態度・姿勢を身につけるための基本的な生活習慣などを学び，生涯学習・自己啓発・自己管理ができる学生となることを目標とする。
特に，自己の目標を設定し，目標達成のための方法を見いだすとともに実行できることを目指す。

② 時代が求める「医療人」となるために，自分が将来どのような医学生・医師となるかをイメージし，本学で学ぶ意欲を高め，さらに知的運用能力としてのスタディスキル，円滑な人間関係のためのソーシャルスキル，また自己の心身の健康増進，疾病予防など日常生活のためのライフスキルを学修する。

（２）　学修目標

① すぐれた医師になるため，「学びつづける」という強い意欲をもつ。
② 愛知医科大学の歴史・使命・組織を理解し，その一員として誇りを持って適切に行動する。
③ 効果的な学習のために必要な一般原則，基本的な学習術を理解し，身につけて実践する。
④ 医療人に求められる礼儀・礼節，円滑なコミュニケーションの基本を理解し，身につけて実践する。
⑤ 科学的な理解の上に立って自己の生活を律し，健康的な行動を身につけ，不調時に適切な対処を図る。
⑥ 常に学習目標を明確にし，自分の客観的な評価を行うことができる。
⑦ 短期的，長期的に，どのような医学生・医師となりたいかを常にイメージできる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	80%	全ての講義・演習で実施する。
その他	○	20%	演習の準備，またその作業内容などを評価する。

出席：　成績評価の対象となるためには講義の欠席率が3分の1を超えてはならない。
演習については全出席を必要とする。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

レポート，その他の合計が60%未満の場合は，再試験を実施する。再試験は原則として実習とし，レポートを課す（60%以上で合格）。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

レポート，演習については，講評を作成し適宜メールで通知する。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
保健・医療・福祉における 行動科学入門 生活習慣の評価から行動変容の実践まで	鈴木孝太 柿崎真沙子 菊池宏幸 （編・著）	大修館書店	本学のカリキュラムと，医学教育コアカリキュラムに沿ったテキスト。プロフェッショナリズム1a（医療人入門），行動科学1c，行動科学2，健康増進と疾病予防の内容に準拠している。
各講義における配付資料			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
特に指定しないが，講義で都度，担当教員が示す。			

6　準備学習（予習・復習）

予習は特に必要ないが，講義後，講義内で何を初めて知り，そして何はすでに知っていたことだったのかを，振り返って確認すること（1コマあたり0.5時間程度）。また，それぞれの講義から，医療人となるために，具体的にどのようなことに気をつけて生活するのか説明できるようにすること（1コマあたり0.5時間程度）。

7　授業計画

（１）　講義の方法

講義については，基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが，講義中，一部，小グループ討論や講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

演習では，学生が自発的に進行を行い，討論し，相互評価も行う。

（２）　講義の内容

学生生活で必要なスタディスキル，ソーシャルスキル，ライフスキルについて，さまざまな講師により，具体的な例などを用いて，学生として身につけなければならないスキルと，それらを身につける方法を紹介する。

プロフェッショナリズム１a

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/16(水)	3	ー	講義	ガイダンス:科目の進行と内容に関して	衛生学	教授	鈴木　孝太	303講
2025/4/23(水)	3	ー	講義	医学部における学修について	衛生学	教授	鈴木　孝太	303講
2025/4/30(水)	3	ー	講義	アルコールと健康	衛生学	教授	鈴木　孝太	303講
2025/5/7(水)	3	ー	講義	タバコと健康・禁煙	衛生学	教授	鈴木　孝太	303講
2025/5/21(水)	3	ー	講義	こころの健康	ー	非常勤講師	古井　由美子	303講
2025/6/11(水)	2	ー	講義	歯・口腔の健康	ー	非常勤講師	森田　一三	303講
2025/6/11(水)	3	ー	講義	豊かな食生活のために (食生活をどう改善し，維持するか)	ー	非常勤講師	鈴木　まゆみ	303講
2025/6/18(水)	3	ー	演習	食事・栄養に関する演習	衛生学 ー	教授 非常勤講師	鈴木　孝太 鈴木　まゆみ	101講
2025/6/18(水)	4	ー	演習	食事・栄養に関する演習	衛生学 ー	教授 非常勤講師	鈴木　孝太 鈴木　まゆみ	101講
2025/6/18(水)	5	ー	演習	食事・栄養に関する演習	衛生学 ー	教授 非常勤講師	鈴木　孝太 鈴木　まゆみ	101講
2025/6/25(水)	3	ー	講義	社会的弱者，健康格差について	ー	名誉教授	小林　章雄	303講
2025/7/2(水)	3	ー	講義	災害に備える	ー	非常勤講師	柿崎　真沙子	303講
2025/7/9(水)	3	ー	講義	性を考える	衛生学	助教	若山　怜	303講

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
鈴木 孝太	教授	衛生学講座	水曜日 （不定期）	17:30～18:30	2号館研究棟M3階371号室 （部署宛に要事前連絡）
若山 怜	助教	衛生学講座	月～金曜日	10:00～17:00	2号館研究棟M3階370号室 （要事前連絡）
柿崎 真沙子	非常勤講師	名古屋市立大学大学院医学研究科 医学・医療教育学分野講師	講義終了後，講義室にて		
小林 章雄	非常勤講師	愛知医科大学名誉教授	講義終了後，講義室にて		
鈴木 まゆみ	非常勤講師	名古屋市保健センター管理栄養士	講義終了後，講義室にて		
古井 由美子	非常勤講師	長久手心理オフィス臨床心理士／公認心理師	講義終了後，講義室にて		
森田 一三	非常勤講師	日本赤十字豊田看護大学教授	講義終了後，講義室にて		

プロフェッショナリズム１ｂ

【単位数：1単位，授業14コマ（定期試験含まず）】

1　科目責任者

早稲田勝久　教授（医学教育センター）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅰ-1-c，Ⅰ-2-c，Ⅰ-3-c，Ⅰ-4-c，Ⅰ-5-c，Ⅰ-6-c，Ⅰ-11-c，Ⅰ-12-c，Ⅰ-13-c，Ⅱ-1-c，Ⅱ-2-c，Ⅱ-3-c，Ⅱ-5-c，Ⅳ-3-c，Ⅳ-8-c）

① 本学のコンピテンスである「プロフェッショナリズム」，「コミュニケーション」，「診療技能」について学ぶ。

② 医師として社会の多様なニーズ対応できるようになるのみならず，多様なキャリアパスを展望できるようになるために，「医師として求められる基本的な資質・能力」である‘プロフェッショナリズム’，‘医学知識と問題対応能力’，‘診療技能と患者ケア’，‘コミュニケーション能力’，‘チーム医療の実践’，‘医療の質と安全の管理’，‘社会における医療の実践’，‘科学的探究心’，‘生涯にわたって共に学ぶ姿勢’などについて概要を理解し，様々な医療専門職と議論をしながら学修をすすめる。

（２）　学修目標

① 医師としての必要な多様な価値観，診療に対する姿勢を述べることができる。

② 生命活動の基本を説明できる。

③ 医療は多職種協働で，チーム医療の大切さを説明できる。

④ チーム医療を体験し，医師のみならず従事するスタッフの役割を説明できる。

⑤ 医療情報の守秘義務，キャリアパス，医療倫理を説明できる。

⑥ 医療におけるコミュニケーションの重要性を説明できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	100％	A4サイズ2枚程度の記述式
態度	○	―	受講態度が不良の場合は10点を限度に減点をする。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

再試験はレポートを課す（60％以上で合格）。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験の成績についての総括を学内メールで実施する。

答案に記載された内容について，理解が不十分と判断された場合は個々に理解度の確認を行う。

答案は基本的に返却され，採点項目を個々で確認する。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
平静の心―オスラー博士講演集	ウィリアム・オスラー	医学書院	「医学はサイエンスに支えられたアートである」と述べた，臨床医・研究者として生き，医学教育の基礎を築いたオスラー博士の講演集。医学・医療に臨むすべての医療者の心構えについて啓発される。
医学を選んだ君たちに問う	河崎一夫	朝日新聞 2002.4.16 オピニオン『私の視点』	すべての医学生が繰り返して読むべき講演内容である。医師になることの厳しさについて語られており，心が引き締まらずを得ない（ウェブ上で入手できる）。
医学部	鳥集　徹	文春文庫	一般人からみた医学・医療の現状・内情について解説されており，医学部・医療に入ってきた者として，今後の自身の在り方について考えさせられる。
医の知の羅針盤　良医であるためのヒント	ロバート・テイラー	メディカル・サイエンス・インターナショナル	医師として，人間としての成長のためにどうあるべきか，様々な視点からの助言集。手元に置いて，繰り返して読みたい内容である。
対話する医療　人間全体を診て癒すために	孫　大輔	さくら舎	あらゆる病いの緩和につながる対話する医療。患者の後ろに「家族の木」を見る家庭医の診察方法。医師の雑談やユーモア，共感力がもたらす癒しと治療の効果。新しい医療のカタチを明示している。
ケアの本質　－生きることの意味－	ミルトン・メイヤロフ	ゆみる出版	患者を診る（ケアする）とはどういうことか，その要素は何か，病める人と関わる者の姿勢，自身の在り方について考えさせられる。

6　準備学習（予習・復習）

講義終了後に，講義内容で印象深い点・今後学生生活を送るにあたって参考になる点などをまとめて記載しておく（1コマあたり0.5時間）。

7　授業計画

（１）　講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが，講義中，一部小グループ討論や講師との質疑応答などの双方向の講義を導入する。

（２）　講義の内容

「医師として求められる基本的な資質・能力」の具体を，医師，コ・メディカルなどからそれぞれの領域の話題を提供してもらい，理解を深めていく。

プロフェッショナリズム１b

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/6/18(水)	2	ー	演習	救急蘇生	救集治医 救集治医	准教授 助教	苛原 隆之 久下 祐史	Sim1
2025/6/25(水)	2	ー	講義	救急蘇生	救集治医 救集治医	准教授 助教	苛原 隆之 久下 祐史	Sim1
2025/7/2(水)	5	ー	演習	医師としての心構え	医教C	教授	早稲田 勝久	303講
2025/7/9(水)	5	ー	講義	医師という職業	感染症	教授	三鴨 廣繁	303講
2025/11/7(金)	4	ー	講義	医師の働き方	医教C	准教授	河合 聖子	303講
2025/11/14(金)	4	ー	講義	プロフェッショナリズム	地域(寄)	教授(特任)	宮田 靖志	303講
2025/11/21(金)	4	ー	講義	プロフェッショナリズム	地域(寄)	教授(特任)	宮田 靖志	303講
2025/11/28(金)	4	ー	講義	企業から医療への貢献	ー	客員教授	田中 英成	303講
2025/12/5(金)	4	ー	講義	障害者の自立・社会参加における医師の役割：介助犬・動物介在療法の可能性	ー	客員教授	髙栁 友子	303講
2026/1/7(水)	3	ー	講義	患者さんより学ぶ	ー	非常勤講師	本田 睦子	303講
2026/1/8(木)	3	ー	講義	医師という職業	救集治医	教授	渡邉 栄三	303講
2026/1/14(水)	3	ー	講義	多職種連携（医師と看護師）	看護部	部長	井上 里恵	Sim1
2026/1/14(水)	4	ー	講義	多職種連携（医師と看護師）	看護部	部長	井上 里恵	Sim1
2026/1/15(木)	3	ー	講義	医療と倫理	医教C	教授	早稲田 勝久	303講
2026/1/29(木)	**4**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**医教C**	**教授**	**早稲田 勝久**	**101講**

8 オフィスアワー　　プロフェッショナリズム1b

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
早稲田　勝久	教授	医学教育センター	木曜日 金曜日	14:00～17:00 15:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
河合　聖子	准教授	医学教育センター	木曜日	16:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
渡邉　栄三	教授	救急集中治療医学講座	月・水・金	15:00～17:00	救急・災害管理棟3階 救急集中治療医学講座 教授室
宮田　靖志	教授(特任)	地域総合診療医学寄附講座	月・火曜日	13:00～16:00	2号館研究棟3階355室
苛原　隆之	准教授	救急集中治療医学講座	月・火・水曜日	15:00～17:00	救急・災害管理棟1階准教授室
久下　祐史	助教	救急集中治療医学講座	月～木曜日	10:00～17:00	救急・災害管理棟1階医局
三鴨　廣繁	教授	臨床感染症学講座	水曜日	8:00～8:20	C棟8階教授室
井上　里恵	部長	看護部事務室	講義終了後，講義室にて		
髙栁　友子	非常勤講師	愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		
田中　英成	非常勤講師	愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		
本田　睦子	非常勤講師	難病のこども支援全国ネットワーク	講義終了後，講義室にて		

多 職 種 連 携 演 習 1

【単位数：1.5単位，授業25コマ（内5コマ）】

1　科目責任者

早稲田勝久　教授（医学教育センター）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ｉ-1-c）

① 本学のコンピテンスである「プロフェッショナリズム」，「コミュニケーション」について学ぶ。

② 医師として社会の多様なニーズに対応できるように，また医師の役割を様々な角度から考察できるようになるために，「医師として求められる基本的な資質・能力」である‘プロフェッショナリズム’，‘医学知識と問題対応能力’，‘コミュニケーション能力’，‘チーム医療の実践’，‘医療の質と安全の管理’，‘社会における医療の実践’，‘生涯にわたって共に学ぶ姿勢’などについて考える機会を持ち，様々な医療専門職と議論をしながら学修をすすめる。

（2）　学修目標

全体目標

① 他学部学生との協働を体験し，自己のコミュニケーションの課題を見出すことができる。

② 医療チームにおける多職種のコミュニケーションの重要性を説明できる。

1学年次

・ 医師として必要な多様な価値観を持つことができる。良いチームとは何か，自己と他者の理解に対する姿勢，コミュニケーションの重要性を述べることができる。

2学年次

・ 医療は多職種協働であることを理解し，医療チームを構成する上での課題を抽出出来る。

3学年次

・ 患者・家族の視点に立ち，チームとして課題解決に取り組むことの重要性を説明できる。

4学年次

・ 臨床場面において，患者・家族中心の多職種協働を実践できる。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	90%	事前課題・事後課題を評価する。提出期限の厳守，指示に則って記載できていない場合は再提出を求めることがある。
態度	○	10%	演習に対する参加度を評価する（グループ討議に参加しない、居眠り、ゲームや内職は減点の対象とする）。

出席：　演習の単位を修得するためには，欠席をしてはならない。

（2）　合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

ただし，本科目は1学年次から4学年次に開講される多職種連携演習1～4全ての評価をもとに「多職種連携演習」として4学年次に単位認定をする（各学年での単位認定は行わないが，各学年で合格基準を満たすこと）。

1学年次では，5コマ開講する。

（3）　再試験・再評価の方法

再評価は教員と面接の上，課題を課す。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

レポートに記載された内容について，理解が不十分と判断された場合は個々に理解度の確認を行う。

４ 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

５ 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
他者と働く	宇田川元一	News Picks Publishing	「知識として正しいことと，実践の間には大きな隔たりがある」として分かりあえなさを基盤に他者とのかかわりの大切さを考察できる。
異文化コミュニケーションワークブック	矢代京子 荒木晶子 他	三修社	自分自身の「異文化」に対する価値観を多様なセルフチェックで知ることができ，価値観を考えるきっかけとなる。
最強組織の法則―新時代のチームワークとは何か	ピーター・M・センゲ 守部信之 訳	徳間書店	すばらしいチームとはどのような要素で成り立っているのか，また，様々なタイプのリーダーについて考察することができる。

６ 準備学習（予習・復習）

他学部との合同セッションになるため，身だしなみ，言葉遣いなど，参加するための準備をしておく（1日あたり0.5時間）。

７ 授業計画

（１） 講義の方法

小グループによる討論・発表や講師との質疑応答を行う。

（２） 講義の内容

看護学部学生・薬学部生と合同でグループワーク，発表を行う。

多職種連携演習１

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/5/22(木)	1	ー	演習	演習準備	医教C 糖内 医教C 医教C Sim 循内・医教C 医教C ー	教授 教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 特命教育教授 非常勤講師	早稲田　勝久 神谷　英紀 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 伴　信太郎 川原　千香子	Sim1
2025/5/22(木)	2	ー	演習	演習準備	医教C 糖内 医教C 医教C Sim 循内・医教C 医教C ー	教授 教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 特命教育教授 非常勤講師	早稲田　勝久 神谷　英紀 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 伴　信太郎 川原　千香子	Sim1
2025/5/22(木)	3	ー	演習	演習準備	医教C 糖内 医教C 医教C Sim 循内・医教C 医教C ー	教授 教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 特命教育教授 非常勤講師	早稲田　勝久 神谷　英紀 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 伴　信太郎 川原　千香子	Sim1
2025/5/22(木)	4	ー	演習	他学部との合同演習	医教C 糖内 医教C 医教C Sim 循内・医教C 医教C 看護学部 看護学部 看護学部 看護学部 看護学部 看護学部 看護学部 看護学部 看護学部 ー ー	教授 教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 特命教育教授 教授 教授 教授 教授 准教授 准教授 講師 講師 講師 客員教授 非常勤講師	早稲田　勝久 神谷　英紀 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 伴　信太郎 山中　真 谷口　千枝 篠田　かおる 山本　恵美子 青山　恵美 黒澤　昌洋 上坂　真弓 横山　剛志 伊藤　真規 築山　郁人 川原　千香子	Sim1 Sim3

多職種連携演習１

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/5/22(木)	5	ー	演習	他学部との合同演習	医教C 糖内 医教C 医教C Sim 循内・医教C 医教C 看護学部 看護学部 看護学部 看護学部 看護学部 看護学部 看護学部 看護学部 看護学部 ー ー	教授 教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 特命教育教授 教授 教授 教授 教授 准教授 准教授 講師 講師 講師 客員教授 非常勤講師	早稲田　勝久 神谷　英紀 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 伴　信太郎 山中　真 谷口　千枝 篠田　かおる 山本　恵美子 青山　恵美 黒澤　昌洋 上坂　真弓 横山　剛志 伊藤　真規 築山　郁人 川原　千香子	Sim1 Sim3

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
早稲田　勝久	教授	医学教育センター	木曜日 金曜日	14:00～17:00 15:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
河合　聖子	准教授	医学教育センター	木曜日	16:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
山口　奈緒子	准教授	薬理学講座	月曜日	13:00～18:00	1号館大学本館7階医学教育センター
松尾　幸果	助教(医員助教)	循環器内科	講義終了後，講義室にて		
神谷　英紀	教授	内科学講座（糖尿病内科）	木・金曜日	14:00～15:00	C棟5階糖尿病内科教授室
森下　啓明	准教授	シミュレーションセンター	火曜日	9:00～16:00	シミュレーションセンター事務室
伴　信太郎	特命教育教授	メディカルセンター	講義終了後，講義室にて		
谷口　千枝	教授	看護学部	講義終了後，講義室にて		
山中　真	教授	看護学部	講義終了後，講義室にて		
青山　恵美	准教授	看護学部	講義終了後，講義室にて		
黒澤　昌洋	准教授	看護学部	講義終了後，講義室にて		
篠田　かおる	教授	看護学部	講義終了後，講義室にて		
山本　恵美子	教授	看護学部	講義終了後，講義室にて		
上坂　真弓	講師	看護学部	講義終了後，講義室にて		
横山　剛志	講師	看護学部	講義終了後，講義室にて		
伊藤　真規	講師	看護学部	講義終了後，講義室にて		
川原　千香子	非常勤講師	帝京大学医学部准教授	講義終了後，講義室にて		
築山　郁人	非常勤講師	愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		

アカデミックリテラシー

【単位数:0.5単位，授業9コマ】

1　科目責任者

橋本貴宏　教授(特任)(数学)

2　教育目標

(1)　ねらい(Ⅰ-8-c，Ⅱ-3-c，Ⅱ-6-c)

① 様々なICTやデータ等を利用して，伝える相手に応じた必要な情報の取捨選択や，論理的な文章の作成，に関する基本的なスキルを学び，生涯学習に必要な自己学習を自律的に行うための基礎知識を習得する。また，グループ学習による他者との議論や課題への取り組みを通して，さまざまな役割を体験し協調性を養い，効果的な協働作業を行うために必要なスキルを学ぶ。

② 対話を通じて，良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力や，自分の力で課題を発見し，自己学習によってそれを解決するための基礎的な能力を獲得する。

(2)　学修目標

① 与えられたテーマや論点について，それらに関連する様々な側面を適切に取り上げることができる。

② 明らかにしたいことを述べるために，様々な観点から情報を批判的に吟味し，大学初年次にふさわしい必要性の高い根拠を適切に提示することができる。

③ 設定された問題に対して，調査で得た結果に基づき，論理的な結論を導くことができる。

④ 指定されたルールを守り，読み手に正しく意味が伝わる言葉でレポートを作成することができる。

⑤ 論理的な表現の特徴を理解し，分かりやすい文章を書くことができる。

⑥ グループでの討論・議論を通して，適切なコミュニケーションを取りながら問題解決に向けて協力し，グループ内での役割を果たすことができる。

3　成績の判定・評価

(1)　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	65%	提出された最終レポートをルーブリックにより評価する。
活動状況	○	35%	講義で行う各ワークで実施した課題，演習や提出物を評価する。
態度	○	—	受講態度が不良の場合は10%を限度に減点する。

出席:　単位を修得するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2)　合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3)　再試験・再評価の方法

再試験は課題・レポートを課す。60%以上を合格とする。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

それぞれのワークについて，講義内，又はAIDLE-K等を通して指導及び修正点等の指摘や総括を行う。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
レジュメ配付			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
思考を鍛えるレポート・論文作成法	井下千以子	慶應義塾大学出版会	大学生のレポート作成に必要で重要な内容がコンパクトにまとめられている。
知のナヴィゲーター	中澤 務 森 貴史 本村康哲	くろしお出版	この授業での文献参照の形式は，この書籍のフォーマットに従って記入する。

6 準備学習（予習・復習）

各ワークについて，講義終了後，テーマに関する調査や内容の復習，レポートの作成を行う。レポートの作成については，グループで協働して作業を行うこと（1日あたり約2時間）。

7 授業計画

（１） 講義の方法

グループワーク，個人作業，協働レポート作成，演習など，授業時間中は討論や作業を中心に行う。PCを積極的に活用するので，毎回ノートPC又はタブレットを必ず持参すること。

（２） 講義の内容

講義前半は，レポートを書くためのさまざまな基礎的スキルについて学び，講義後半でレポート作成について実践を通して学ぶ。各作業の最初に概要について説明する。

アカデミックリテラシー

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2026/1/6(火)	1	ー	講義	ガイダンス, 論証型レポートの概要	数学	教授(特任)	橋本 貴宏	マルチAB
2026/1/6(火)	2	ー	AL	レポート作成の準備	数学 心理学 物理学 外国語 哲学 外国語 アドミC	教授(特任) 教授 准教授 准教授 講師 助教 教授	橋本 貴宏 宮本 淳 山下 敏史 平田 亜紀 川﨑 優 小川 恭佑 仙石 昌也	203講 204講 205講 304講 305講 マルチAB
2026/1/9(金)	4	ー	講義	論証の方法	数学	教授(特任)	橋本 貴宏	マルチAB
2026/1/9(金)	5	ー	AL	データの収集と論拠の構築	数学 心理学 物理学 外国語 哲学 外国語 アドミC	教授(特任) 教授 准教授 准教授 講師 助教 教授	橋本 貴宏 宮本 淳 山下 敏史 平田 亜紀 川﨑 優 小川 恭佑 仙石 昌也	203講 204講 205講 304講 305講 マルチAB
2026/1/13(火)	1	ー	講義	論証型レポートの構成	数学	教授(特任)	橋本 貴宏	マルチAB
2026/1/15(木)	1	ー	AL	レポート作成	数学 心理学 物理学 外国語 哲学 外国語 アドミC	教授(特任) 教授 准教授 准教授 講師 助教 教授	橋本 貴宏 宮本 淳 山下 敏史 平田 亜紀 川﨑 優 小川 恭佑 仙石 昌也	203講 204講 205講 304講 305講 マルチAB
2026/1/15(木)	2	ー	AL	レポート作成	数学 心理学 物理学 外国語 哲学 外国語 アドミC	教授(特任) 教授 准教授 准教授 講師 助教 教授	橋本 貴宏 宮本 淳 山下 敏史 平田 亜紀 川﨑 優 小川 恭佑 仙石 昌也	203講 204講 205講 304講 305講 マルチAB
2026/1/16(金)	4	ー	AL	レポートの評価と検討	数学 心理学 物理学 外国語 哲学 外国語	教授(特任) 教授 准教授 准教授 講師 助教	橋本 貴宏 宮本 淳 山下 敏史 平田 亜紀 川﨑 優 小川 恭佑	203講 204講 205講 304講 305講 マルチAB
2026/1/16(金)	5	ー	AL	レポートの評価と検討	数学 心理学 物理学 外国語 哲学 外国語 アドミC	教授(特任) 教授 准教授 准教授 講師 助教 教授	橋本 貴宏 宮本 淳 山下 敏史 平田 亜紀 川﨑 優 小川 恭佑 仙石 昌也	203講 204講 205講 304講 305講 マルチAB

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
橋本 貴宏	教授(特任)	数学	金曜日	15:00～16:00	3号館基礎科学棟2階B202研究室
川﨑 優	講師	哲学	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階 B203研究室
宮本 淳	教授	心理学	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階 B216研究室
山下 敏史	准教授	物理学	火曜日 金曜日	16:30～18:00 15:30～17:00	3号館基礎科学棟2階 B209研究室
平田 亜紀	准教授	外国語	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階B201研究室
小川 恭佑	助教	外国語	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階B210研究室
仙石 昌也	教授	ｱﾄﾞﾐｯｼｮﾝｾﾝﾀｰ	火曜日	16:00～18:00	3号館基礎科学棟1階B101号室(アドミッションセンター)

Ｉ　Ｃ　Ｔ　リ　テ　ラ　シ　ー

【単位数：0.5単位，授業10コマ】

1　科目責任者

早稲田勝久　教授（医学教育センター）

科目担当者
橋本貴宏　教授(特任)(数学)

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅱ-６-ｃ，Ⅲ-９-ｃ）

① コンピテンス「コミュニケーション」の中の「ICT（Information and Communication Technology）の活用」に向けて，情報を適切に処理し，正しく活用していく技術を身につける。
② 情報・科学技術を医療に活用する際のルールを理解した上で，医学の学修に向けた情報機器の活用スキルを身につける。

（２）　学修目標

① 医学部での学修において必要なICTツールを使えるようになる。
② 情報検索を適切に行い，図書館資料を含め様々な文献を利用することができる。
③ 医療情報の安全な管理のための情報セキュリティ・個人情報保護について説明することができる。
④ データ・情報を扱う際に必要な倫理観を身につける。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
活動状況	○	―	各講義でのワーク及び課題により評価する。
態度	○	―	態度不良の場合は，10点を限度に減点をする。

出席：　単位を修得するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする（合否の2段階で判定）。

（３）　再試験・再評価の方法

課題・レポートを課す。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

各講義でのワーク及び課題は，次回の講義又はAIDLE-Kにおいて指導や解説を行う。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
基礎から学ぶ ICT リテラシー	江口悦弘他(編)	日経 BP 社	「医療のための情報学」の指定教科書であり，ICT 活用のためのオンライン資料も充実している。

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
データサイエンス入門	竹村彰通他(編)	学術図書出版社	数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラム(改訂版)に準拠している。

6　準備学習（予習・復習）

事前にAIDLE-Kに学修項目を掲載するので，教科書及び資料に目を通しておくこと(1コマあたり約1時間)。
授業内に消化できなかった項目を復習しておくこと(1コマあたり約1時間)。

7　授業計画

（1）　講義の方法

マルチメディア教室で行う授業では，1人1台のパソコン(指定席制)を用いて，演習やグループワークを伴った講義をおこなう。 AIDLE-Kに配付資料を事前に掲載し，予習をしておくことで，授業終了時までに課題を終わらせることを原則とする。なお，各自所有の情報端末も持参すること。

（2）　講義の内容

情報倫理及び情報セキュリティを踏まえた上で，医学部の学修のためのICTの利活用方法を修得する。初日の授業は，1学年次担当の複数の教員によるアカデミックスキルの講義があり，2週目と3週目には 2学年次の学生によるICT活用法のプレゼンテーションがある。

ＩＣＴリテラシー

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/14(月)	1	ー	講義	ガイダンス, 受講のためのICTスキル	数学	教授(特任)	橋本 貴宏	マルチAB
2025/4/14(月)	2	ー	演習	学術情報の検索	数学	教授(特任)	橋本 貴宏	マルチAB
2025/4/14(月)	3	ー	AL	学びを深めるための文章表現入門	数学 心理学 外国語 哲学 外国語	教授(特任) 教授 准教授 講師 助教	橋本 貴宏 宮本 淳 平田 亜紀 川﨑 優 小川 恭佑	303講
2025/4/14(月)	4	ー	演習	メール演習	数学 アドミC	教授(特任) 教授	橋本 貴宏 仙石 昌也	303講
2025/4/14(月)	5	ー	講義	学生生活を始めるにあたって	医教C 数学	教授 教授(特任)	早稲田 勝久 橋本 貴宏	303講
2025/4/14(月)	6	ー	講義	情報セキュリティ	数学	教授(特任)	橋本 貴宏	マルチAB
2025/4/21(月)	6	ー	AL	学修のためのICT活用(1)	数学	教授(特任)	橋本 貴宏	マルチAB
2025/4/28(月)	6	ー	AL	学修のためのICT活用(2)	数学	教授(特任)	橋本 貴宏	マルチAB
2025/7/2(水)	4	ー	講義	情報倫理	数学	教授(特任)	橋本 貴宏	マルチAB
2025/7/9(水)	4	ー	講義	個人情報・プライバシー	数学	教授(特任)	橋本 貴宏	マルチAB

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
早稲田　勝久	教授	医学教育ｾﾝﾀｰ	木曜日 金曜日	14:00～17:00 15:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
橋本　貴宏	教授(特任)	数学	金曜日	15:00～16:00	3号館基礎科学棟2階B202研究室
川﨑　優	講師	哲学	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階　B203研究室
宮本　淳	教授	心理学	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階 B216研究室
平田　亜紀	准教授	外国語	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階B201研究室
小川　恭佑	助教	外国語	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階B210研究室
仙石　昌也	教授	ｱﾄﾞﾐｯｼｮﾝｾﾝﾀｰ	火曜日	16:00～18:00	3号館基礎科学棟1階B101号室(アドミッションセンター)

医　療　の　た　め　の　情　報　学

【医療のための情報学（前学期）　単位数：1単位，授業13コマ（定期試験含まず）】
【医療のための情報学（後学期）　単位数：1単位，授業13コマ（定期試験含まず）】

1　科目責任者

橋本貴宏　教授（特任）（数学）

科目担当者
箕浦哲嗣（非常勤講師）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅱ-6-c，Ⅲ-9-c，Ⅲ-10-c）

① コンピテンス「コミュニケーション」の中の「ICT(Information and Communication Technology)の活用」に向けて，医学，医療データを適切に処理し，プレゼンテーションする技術を身につける。
② 確率を用いた統計・推計学の有用性と限界を理解し，医学，生物学でよく遭遇するデータに統計手法を適用する際に生じる問題点及び統計パッケージの利用を含めた具体的な扱い方を修得する。また，データサイエンス・AIの基本的事項を学び，利活用に向けた基礎的なスキルを身につける。

（2）　学修目標

医療のための情報学（前学期）：
① コンピューターとネットワーク，ファイルシステムなどの基本的な仕組みを説明できる。
② ワープロソフトの機能を活用して効果的なレポートを書くことができる。
③ 医学文献のデータベースを適切に使用することができる。
④ 医学・医療・情報技術に関連する倫理問題を列挙し，対応を説明できる。
⑤ 画像処理の基本を理解し，目的に応じた画像処理を行うことができる。
⑥ 表計算ソフト，統計ソフトを利用して，データの集計，分析，適切なグラフ化ができる。
⑦ 医学・医療に関する情報を処理し，効果的なプレゼンテーションを行うことができる。
⑧ 社会におけるデータ・AI利活用の基本事項を説明できる。

医療のための情報学（後学期）：
① データの記述と要約ができる。
② 表計算ソフトを利用して，データの集計，可視化ができる。
③ 2変量の散布図を描き，回帰と相関の違いを説明できる。
④ 表計算ソフトを利用したデータの分析ができる。
⑤ Python を用いた簡単なプログラミングができる。
⑥ 統計ソフトを利用したデータの分析ができる。
⑦ 扱うデータに応じた適切な分析手法を選択できる。
⑧ 社会におけるデータ・AI利活用の基本事項を説明できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

医療のための情報学(前学期):

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	70%	記述式を原則とし，一部多肢選択問題を含む場合がある。
活動状況	○	30%	各講義の配付資料及び課題について，AIDLE-Kに記録されたアクティビティを点数化する。
態度	○	—	態度不良の場合は，10点を限度に減点をする。

出席:　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

医療のための情報学(後学期):

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	70%	記述式を原則とし，一部多肢選択問題を含む場合がある。
活動状況	○	30%	各講義の配付資料及び課題について，AIDLE-Kに記録されたアクティビティを点数化する。
態度	○	—	態度不良の場合は，10点を限度に減点をする。

出席:　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

医療のための情報学(前学期・後学期)共通:　評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

医療のための情報学(前学期・後学期)共通:　再試験はレポートにより評価する(60%以上で合格)。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

医療のための情報学(前学期・後学期)共通:

試験で正答率の低かった問題，理解が不十分と思われた問題，及び総括をAIDLE-Kに掲載する。

4　教科書

医療のための情報学(前学期・後学期)共通:

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
基礎から学ぶ ICT リテラシー	江口悦弘他(編)	日経 BP 社	授業で使うデジタル教材「日経パソコン Edu」と連携した教科書である。

5　参考図書

医療のための情報学(前学期・後学期)共通:

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
医療系のための入門統計	勝野恵子ほか	共立出版	「統計学1」との連携が取れる。
データサイエンスの基本	滋賀大学データサイエンス学部(編)	日本実業出版社	データ分析の実例が多く記載されている。
EZRでやさしく学ぶ統計学	神田善伸	中外医学社	授業で使うEZRの詳細な解説書

６　準備学習（予習・復習）

医療のための情報学（前学期・後学期）共通：

授業前日までにAIDLE-Kに配付資料を掲載するので，印刷し目を通しておくこと（1コマあたり約1時間）。
判らない語句に関しては，検索などして調べておくこと（1コマあたり約1時間）。

７　授業計画

（１）　講義の方法

医療のための情報学（前学期）：

マルチメディア教室において，１人１台のパソコン（指定席制）を用いて，演習を伴った講義をおこなう。AIDLE-Kを用い，事前に配付資料と課題を掲載し，授業終了時までに課題を回収する。なお，配付資料は各自印刷して授業に臨むこと。水曜日の授業はAB組合同で行う。

医療のための情報学（後学期）：

マルチメディア教室において，１人１台のパソコン（指定席制）を用いて，演習を伴った講義をおこなう。AIDLE-Kを用い，事前に配付資料と課題を掲載し，授業終了時に課題を回収する。

（２）　講義の内容

医療のための情報学（前学期）：

情報倫理及び情報セキュリティを踏まえた上で，データ・AIを含めたICTの利活用方法を修得する。ワープロソフト，表計算ソフト，プレゼンテーションソフトを中心に演習する。

医療のための情報学（後学期）：

データの取り扱いについての基本的なことを学んだ後，医学，生物学に関するデータに対する統計手法を学び，統計パッケージの利用を含めた具体的な扱い方を修得する。プログラミングの演習も行う。

医療のための情報学（前学期）

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/18(金)	1	B	講義	ガイダンス，活用が進むデータ	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチA
2025/4/18(金)	2	A	講義		数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチA
2025/4/25(金)	1	B	講義	コンピューターの仕組み	ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
2025/4/25(金)	2	A	講義		ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
2025/5/2(金)	1	B	講義	学術活動のためのインターネット利用	ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
2025/5/2(金)	2	A	講義		ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
2025/5/9(金)	1	B	演習	アカデミックライティングを実現する文字入力	ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
2025/5/9(金)	2	A	演習		ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
2025/5/23(金)	1	B	演習	アカデミックライティングを実現する文書処理	ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
2025/5/23(金)	2	A	演習		ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
2025/6/6(金)	1	B	演習	アカデミックライティング及びプレゼンテーションのための静止画の編集，図形の描画	ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
2025/6/6(金)	2	A	演習		ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
2025/6/13(金)	1	B	演習	表計算ソフトの基本操作	ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
2025/6/13(金)	2	A	演習		ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
2025/6/20(金)	1	B	演習	学術活動に必要なデータ処理（データ入力，表作成，簡単な計算，代表的な関数）	ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
2025/6/20(金)	2	A	演習		ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
2025/6/25(水)	4	AB	講義	社会におけるデータ・AI	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチAB
2025/6/27(金)	1	B	演習	データ集計，表とグラフ作成，エクセルの分析ツールの使い方	ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
2025/6/27(金)	2	A	演習		ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
2025/7/4(金)	1	B	演習	学術活動に必要なデータの可視化	ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
2025/7/4(金)	2	A	演習		ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
2025/7/11(金)	1	B	演習	説明技術としてのプレゼンテーション	ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
2025/7/11(金)	2	A	演習		ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
2025/7/18(金)	1	B	演習	プレゼンテーションの作成と発表方法	ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
2025/7/18(金)	2	A	演習		ー	非常勤講師	箕浦　哲嗣	マルチA
2025/8/1(金)	**1**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**数学**	**教授(特任)**	**橋本　貴宏**	**101講**

医療のための情報学（後学期）

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/9/5(金)	1	B	講義	人工知能の仕組み	数学	教授(特任)	橋本 貴宏	マルチA
2025/9/5(金)	2	A	講義		数学	教授(特任)	橋本 貴宏	マルチA
2025/9/12(金)	1	B	演習	データ分析の基本	数学	教授(特任)	橋本 貴宏	マルチA
2025/9/12(金)	2	A	演習		数学	教授(特任)	橋本 貴宏	マルチA
2025/9/19(金)	1	B	演習	データの取り扱いと表現	数学	教授(特任)	橋本 貴宏	マルチA
2025/9/19(金)	2	A	演習		数学	教授(特任)	橋本 貴宏	マルチA
2025/9/26(金)	1	B	演習	表計算ソフトによるデータ分析(1)	数学	教授(特任)	橋本 貴宏	マルチA
2025/9/26(金)	2	A	演習		数学	教授(特任)	橋本 貴宏	マルチA
2025/10/3(金)	1	B	演習	表計算ソフトによるデータ分析(2)	数学	教授(特任)	橋本 貴宏	マルチA
2025/10/3(金)	2	A	演習		数学	教授(特任)	橋本 貴宏	マルチA
2025/10/10(金)	1	B	演習	プログラミング言語	数学	教授(特任)	橋本 貴宏	マルチA
2025/10/10(金)	2	A	演習		数学	教授(特任)	橋本 貴宏	マルチA
2025/10/17(金)	1	B	演習	プログラムとアルゴリズム	数学	教授(特任)	橋本 貴宏	マルチA
2025/10/17(金)	2	A	演習		数学	教授(特任)	橋本 貴宏	マルチA
2025/10/31(金)	1	B	演習	Pythonによるデータ分析（1）	数学	教授(特任)	橋本 貴宏	マルチA
2025/10/31(金)	2	A	演習		数学	教授(特任)	橋本 貴宏	マルチA
2025/11/7(金)	1	B	演習	Pythonによるデータ分析（2）	数学	教授(特任)	橋本 貴宏	マルチA
2025/11/7(金)	2	A	演習		数学	教授(特任)	橋本 貴宏	マルチA
2025/11/14(金)	1	B	演習	医療統計と解析ソフト	数学	教授(特任)	橋本 貴宏	マルチA
2025/11/14(金)	2	A	演習		数学	教授(特任)	橋本 貴宏	マルチA
2025/11/21(金)	1	B	演習	統計解析ソフトEZR	数学	教授(特任)	橋本 貴宏	マルチA
2025/11/21(金)	2	A	演習		数学	教授(特任)	橋本 貴宏	マルチA
2025/11/28(金)	1	B	演習	EZRによる回帰分析	数学	教授(特任)	橋本 貴宏	マルチA
2025/11/28(金)	2	A	演習		数学	教授(特任)	橋本 貴宏	マルチA
2025/12/5(金)	1	B	講義	情報学まとめ	数学	教授(特任)	橋本 貴宏	マルチA
2025/12/5(金)	2	A	講義		数学	教授(特任)	橋本 貴宏	マルチA
2025/12/19(金)	**1**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**数学**	**教授(特任)**	**橋本 貴宏**	**101講**

8 オフィスアワー　　医療のための情報学(前学期・後学期)

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
橋本　貴宏	教授(特任)	数学	金曜日	15:00～16:00	3号館基礎科学棟2階B202研究室
箕浦　哲嗣	非常勤講師	愛知県立大学 看護学部教授	講義終了後，講義室にて		

医　用　心　理　学

【単位数：1単位，授業13コマ（定期試験含まず）】

1　科目責任者

宮本　淳　教授（心理学）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅰ-2-c，Ⅰ-5-c，Ⅱ-5-c）

① コンピテンスの“プロフェッショナリズム”における「全人的対応」のための感性を高めるために，心理学を通して自己理解・他者理解を深め，良好な“コミュニケーション”についての見識を深める。

② 人の行動と心理を理解するための基本的な知識と考え方を学ぶ。また，心理的な問題，カウンセリングや心理療法に関する基本的な知識を身につけ，他者を適切に理解し，思いやりを持って接するための視野を広げる。

（2）　学修目標

① 対人関係における心理学の基本的な理論を説明できる。
② 様々な動機や動機づけの概念について説明できる。
③ 防衛機制について理解し，具体例を踏まえた説明ができる。
④ カウンセリングや心理療法について，それぞれの治療理論の説明ができる。
⑤ 様々な心理的不適応状態について，その状態像，及び対応の仕方についてそれぞれ説明できる。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	75%	多肢選択問題を原則とし，一部記述式問題を含む場合がある。
復習課題	○	25%	学習内容の定着・応用のための復習課題をAIDLE-Kにて毎回行う。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は，10点を限度に減点をする。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）　合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（3）　再試験・再評価の方法

再試験は定期試験に準ずる方法で実施する。評価対象の合計が60%以上で合格とする。

（4）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

試験で正答率の低かった問題，理解が不十分と思われた問題についてはAIDLE-Kに掲載する。

これにて理解が不十分な項目について再確認を促すとともに，定期試験で不合格となった者は再試験に備える。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
資料・レジュメ配付			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
医療系のための心理学	樫村正美 野村俊明	講談社	医療に関係した心理学の基礎知識がまとまった「心理学」のテキストである。
行動医学テキスト	日本行動医学会	中外医学社	行動科学科目との関連事項を学ぶことができる。

6　準備学習（予習・復習）

① 予習として，授業に臨むにあたり，参考図書などにて次回内容のキーワードについて簡単な知識を得ておくこと（1コマあたり約1時間）。

② 復習として，配付された資料・レジュメを参照し，講義後に内容を再確認しておくこと（1コマあたり約1時間）。

7　授業計画

（1）　講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが，講義中，一部，小グループ討論などのアクティブ・ラーニングを導入する。

（2）　講義の内容

医用心理学の導入として，日常例も豊富である対人関係とコミュニケーションに関する分野である社会心理学について学ぶ。後半では臨床心理学を学ぶことで様々な心理的不適応状態について，その状態像，及び対応の仕方について理解を進めていく。

医用心理学

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/16(水)	1	ー	講義	心理学概論 心理学と医学について	心理学	教授	宮本 淳	303講
2025/4/23(水)	1	ー	講義	社会心理学(1) 他者を理解する	心理学	教授	宮本 淳	303講
2025/4/30(水)	1	ー	講義	社会心理学(2) 他者の存在が与える影響	心理学	教授	宮本 淳	303講
2025/5/7(水)	1	ー	講義	社会心理学(3) 対人関係における心理	心理学	教授	宮本 淳	303講
2025/5/21(水)	1	ー	講義	学習心理学 学習，動機，動機付け	心理学	教授	宮本 淳	303講
2025/6/4(水)	1	ー	AL	臨床心理学(1) 臨床心理学の概念① TBL 精神分析理論 防衛機制	心理学	教授	宮本 淳	303講
2025/6/11(水)	1	ー	講義	臨床心理学(2) 臨床心理学の概念② 構造論とエゴグラム	心理学	教授	宮本 淳	303講
2025/6/18(水)	1	ー	講義	臨床心理学(3) 心理療法 精神分析的心理療法	心理学	教授	宮本 淳	303講
2025/6/25(水)	1	ー	講義	臨床心理学(4) 心理療法 来談者中心療法	心理学	教授	宮本 淳	303講
2025/7/2(水)	1	ー	講義	臨床心理学(5) 心の問題について	心理学	教授	宮本 淳	303講
2025/7/2(水)	2	ー	講義	臨床心理学(6) パーソナリティ障害について	心理学	教授	宮本 淳	303講
2025/7/9(水)	1	ー	講義	臨床心理学(7) 精神病の心理的理解	心理学	教授	宮本 淳	303講
2025/7/9(水)	2	ー	AL	TBL 心理障害関連	心理学	教授	宮本 淳	303講
2025/7/23(水)	**1**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**心理学**	**教授**	**宮本 淳**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
宮本　淳	教授	心理学	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階 B216研究室

行　動　科　学　１　ａ

【単位数：0.5単位，授業7コマ（定期試験含まず）】

１　科目責任者

武内恒成　教授（生物学）

２　教育目標

（１）　ねらい（Ⅰ-1-c，Ⅰ-2-c，Ⅰ-3-c，Ⅰ-4-c，Ⅰ-5-c，Ⅰ-6-c，Ⅰ-7-c，Ⅰ-8-c，Ⅱ-5-c，Ⅲ-6-c）

① “医学知識と科学的探究”における，生物学的（脳神経科学・精神科学・神経薬理学・動物行動学）・心理学・社会的要因が，いかに統合的に健康行動・行動変容に繋がっているかを“科学的に”理解することを通して，医師としての価値観・態度・コミュニケーション能力を高める準備を理解し自ら進める。

コンピテンス「プロフェッショナリズム」，「コミュニケーション」における，医師としての価値観・態度とともに個人だけではなく集団，社会との適切なコミュニケーションをとることの重要性と，その論理的理論を「医学知識と科学的探究心」に基づいて学び，臨床的応用へつなげるための基礎を構築する。さらにそれらの理論を「診療技能」の涵養につなげるための体系的理解を進める。

② 行動科学とは，「健康と疾病に関する心理社会科学的，行動科学的及び医学生物学的知見と技術を集積統合し，これらの知識と技術を病因の解明と疾病の予防，診断，及びリハビリテーションなどに応用していくことを目的とする学際的学術である」（国際行動医学学会憲章，1990）にあるように，単なる理念ではなく，多くの専門分野にまたがる学際領域，学問・科学として理解するための第一歩とする。

③ 人の行動と心理を理解するための医科学的な視点からの知識と考え方を学び，心理学・ヘルスプロモーション・行動変容などの概念とともに今後習得する社会医学的理解の重要性を理解し，統合的に考える基礎を培う。

行動科学及び社会医学がサイエンスとして成り立つためのデータサイエンスの重要性を理解し，また，個別の生物学的原理と，社会集団としてのデータの重要性とその扱いについての基礎を理解する。

（２）　学修目標

① 人の行動と心理について，神経科学的観点からの分子メカニズム，さらに心理学的観点，内的要因への概念から多面的に概説できる。

② 行動の成り立ちを，神経科学的かつ心理学的な学習行動，社会的学習から概説できる。

③ 動機付けを例示し，適応機制などの観点からも概説できる。

④ ストレス学説と主なストレス対処法を概説できる。

⑤ 行動及び心と精神の成り立ちに関わる知見を，神経科学・生理学・精神医学及び神経内科学の最新の多様な知見から捉えることの重要性を概説できる。

⑥ 生物学的・精神科学的側面からの，行動と心の異常についてその基礎を神経科学・精神科学の観点から概説できる。

⑦ パーソナリティの形成・類型・特性及びジェンダー形成を心理学的・神経科学的理論から概説できる。

⑧ 対人関係と対人コミュニケーションの概要の基礎を行動科学の観点から説明できる。

⑨ 神経科学的及び精神科学的側面からの，行動と心の異常についての基礎を概説できる。またその現実の問題点を挙げることができる。

⑩ マインドフルネスや行動療法，運動習慣形成など行動変容技法の理論的基盤と意識づけについて，概説できる。

⑪ 企業や地域組織との協働に基づく実データ分析とともに，実践的な「データサイエンス」の重要性と医療におけるデータサイエンスの現状と将来について説明できる。

⑫ 行動科学は，特定の領域（心理学や神経科学，精神科学のみ）に基づくものではなく，科学的裏付けとサイエンスとしての統合的な学問体系を持っていることを認識し説明できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
確認テスト	○	50%	記述式及び多肢選択問題
レポート	○	50%	AIDLE-Kでの提出など適宜実施し，記述内容により評価する。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合には，総合成績から10%まで減点をする。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

上記（2）で総合成績が60%未満の場合は，多くの再レポートを実施する。60%以上を合格とする。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

課題・レポートに関するフィードバックや確認テストについての総括については，AIDLE-Kも利用するので留意すること。

確認テストの成績についての総括を学内メールで実施する。

理解が不十分な項目について，再確認を促すとともに，不合格となった者は再試験に備えること。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
行動医学テキスト	日本行動医学会	中外医学社	医学教育コアカリキュラムに準拠し行動科学を網羅した良書。

6　準備学習（予習・復習）

○　AIDLE-Kに掲載された電子資料などで，どのような事項が取り上げられるのか確認しておく（1コマあたり約15分）。

○　講義内容の振り返りを積極的に進めること（1コマあたり約1時間）。

○　AIDLE-Kに提示された電子資料，当日配付の資料，参考書など関連する内容を参照すること。確認テストなどにおいては，これらからの出題もあるので注意を要する。

7　授業計画

（１）　講義の方法

基本的に大教室での講義を中心とするが，アクティブ・ラーニング，小グループでの討論も盛り込まれる。レポートを積極的に数回導入する。AIDLE-Kでのレポートなども求めることもある。一部，クリッカーやAIDLE-Kによる講義もあるため留意すること。

オムニバス形式での講義が多いが，体系的な学修を進めるためにも，積極的な自学自修を求める。

確認テストについては，講義での概説や実践箇所双方を含むものとして学修をすすめること。

（２）　講義の内容

1コマ目ではイントロダクションとして，行動科学とはどのような学問領域であるのかについて，行動科学という学問が生まれた経緯と歴史を含めて本来の体系と方針を，生物学的・心理学・社会的側面から概説する。それ以降は，精神医学，生理学，神経解剖学など様々な立場からの行動理解及び行動変容に関する講義を聴くことで，行動科学の意義について理解を深める。

行動科学1aでは，幅広い観点から本来の行動科学という学問を捉えるとともに，社会医学的観点からの行動科学1c,行動科学2へ繋ぐものとなる。さらにプロフェッショナリズムとも連携して，総合的な理解を進め，実践につなげることを求めるものである。

行動科学１ａ

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/16(水)	2	ー	講義	行動科学とは何か	生物学	教授	武内　恒成	303講
2025/4/23(水)	2	ー	JS(水平)	健康行動とヘルスプロモーション	衛生学	教授	鈴木　孝太	303講
2025/4/30(水)	2	ー	JS(水平)	行動の心理学的理解	心理学	教授	宮本　淳	303講
2025/5/7(水)	2	ー	JS(水平)	行動の精神薬理学的理解と動物行動学	研創支C	准教授	服部　聡子	303講
2025/5/21(水)	2	ー	講義	行動とエピジェネティクス	生物学	教授(特任)	池野　正史	303講
2025/6/4(水)	2	ー	講義	データサイエンスによる行動の理解(1)	ー	非常勤講師	小玉　亮	303講
2025/6/4(水)	3	ー	講義	データサイエンスによる行動の理解(2)	ー	非常勤講師	小玉　亮	303講

8 オフィスアワー　　行動科学1a

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
武内　恒成	教授	生物学	月曜日	16:00～18:00	3号館基礎科学棟2階B213号室
池野　正史	教授(特任)	生物学	火曜日	16:00～18:00	3号館基礎科学棟2階B208号室
宮本　淳	教授	心理学	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階 B216研究室
鈴木　孝太	教授	衛生学講座	水曜日 (不定期)	17:30～18:30	2号館研究棟M3階371号室 (部署宛に要事前連絡)
服部　聡子	准教授	研究創出支援ｾﾝﾀｰ	月曜日	16:00～18:00	2号館1階研究創出支援センター
小玉　亮	非常勤講師	株式会社豊田中央研究所	講義終了後，講義室にて		

行　動　科　学　１　ｂ

【単位数：１単位，授業13コマ（定期試験含まず）】

１　科目責任者

宮本　淳　教授（心理学）

２　教育目標

（１）　ねらい（Ⅰ-２-ｃ，Ⅰ-５-ｃ，Ⅱ-２-ｃ）

① コンピテンスの“プロフェッショナリズム”における「他者の多様な価値観を尊重できる」ための感性の涵養を図るために行動の心理学的理解について学び，「支持的・共感的なコミュニケーション」についての見識を深める。

② 行動の心理学的理解として，行動変容技法，心理行動アセスメント，ライフサイクルと発達課題についての基本的な知識を身につけ，医用心理学で学んだ知識とともに，患者や家族の心理・社会的背景を理解するための視野を広げる。

（２）　学修目標

① 学習と行動変容における基本的な理論を説明できる。
② 個人差について，パーソナリティの類型と特性，知能，発達の視点から説明できる。
③ 行動の心理学的測定法について説明できる。
④ ライフサイクルの各段階におけるこころの発達と発達課題を概説できる。

３　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	75％	多肢選択問題を原則とし，一部記述式問題を含む場合がある。
復習課題	○	25％	学習内容の定着・応用のための復習課題をAIDLE-Kにて毎回行う。
態度	○	―	受講態度が著しく不良の場合は，10点を限度に減点する。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

定期試験に準ずる再試験を行う。評価対象の合計が60％以上で合格とする。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

試験で正答率の低かった問題，理解が不十分と思われた問題についてはAIDLE-Kに掲載する。
これにて理解が不十分な項目について再確認を促すとともに，定期試験で不合格となった者は再試験に備える。

４　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
資料・レジュメ配付			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
医療系のための心理学	樫村正美 野村俊明	講談社	医療に関係した心理学の基礎知識がまとまった「心理学」のテキストである。
ライフサイクルの臨床心理学	馬場礼子 永井　撤 (共編)	培風館	ライフサイクルごとの発達課題や病理の特徴について，具体的な事例も含めてわかりやすくまとめられている。
行動医学テキスト	日本行動医学会	中外医学社	医学教育コアカリキュラムに準拠し行動科学を網羅した良書

6　準備学習（予習・復習）

① 予習として，授業に臨むにあたり，参考図書などにて次回内容のキーワードについて簡単な知識を得ておくこと（1コマあたり約1時間）。

② 復習として，配付された資料・レジュメを参照し，講義後に内容を再確認しておくこと（1コマあたり約1時間）。

7　授業計画

（1）　講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが，講義中，一部，小グループ討論などのアクティブ・ラーニングを導入する。

（2）　講義の内容

基本的な知識について講義を通して学ぶことに加えて，行動変容技法・心理行動アセスメントでは体験的な学びを，行動とライフサイクルでは，クリッカーやフィードバックを用いた双方向型授業を行うことで自己理解と他者理解を深めていく。

行動科学１ｂ

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/9/19(金)	3	ー	講義	条件付け 行動療法	心理学	教授	宮本 淳	303講
2025/9/19(金)	4	ー	AL	TBL行動療法,認知行動療法	心理学	教授	宮本 淳	303講
2025/9/26(金)	3	ー	講義	心理行動アセスメント(1) 質問紙法とパーソナリティ 知能検査	心理学	教授	宮本 淳	303講
2025/9/26(金)	4	ー	講義	心理行動アセスメント(2) 投影法とパーソナリティ	心理学	教授	宮本 淳	303講
2025/10/3(金)	3	ー	講義	ストレスと聴くこと カウンセリング技法	心理学	教授	宮本 淳	303講
2025/10/10(金)	3	ー	講義	発達障害児・者の心理(1)	心理学	教授	宮本 淳	303講
2025/10/17(金)	3	ー	講義	発達障害児・者の心理(2)	心理学	教授	宮本 淳	303講
2025/10/31(金)	3	ー	講義	行動とライフサイクル(1) ライフサイクルとは 乳幼児期の発達課題	心理学	教授	宮本 淳	303講
2025/11/7(金)	3	ー	講義	行動とライフサイクル(2) 幼児期の発達課題	心理学	教授	宮本 淳	303講
2025/11/14(金)	3	ー	講義	行動とライフサイクル(3) 児童期の発達課題	心理学	教授	宮本 淳	303講
2025/11/21(金)	3	ー	講義	行動とライフサイクル(4) 思春期の発達課題	心理学	教授	宮本 淳	303講
2025/11/28(金)	3	ー	講義	行動とライフサイクル(5) 青年期の発達課題	心理学	教授	宮本 淳	303講
2025/12/5(金)	3	ー	講義	行動とライフサイクル(6) 成人期・中年期・老人期の発達課題	心理学	教授	宮本 淳	303講
2025/12/18(木)	**3**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**心理学**	**教授**	**宮本 淳**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
宮本 淳	教授	心理学	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階 B216研究室

行　動　科　学　１　ｃ

【単位数：0.5単位，授業8コマ（定期試験含まず）】

１　科目責任者

鈴木孝太　教授（衛生学）

２　教育目標

（１）　ねらい（Ⅰ-7-c，Ⅱ-1-c，Ⅲ-6-c）

① コンピテンス「プロフェッショナリズム」における，医師としての価値観・態度・姿勢を身につけるために，自分の行為と決断を振り返り，客観的に自己評価を行った上で，自己の目標を設定し，どのように達成することができるか，その方法を見出すことができる。

さらに，「コミュニケーション」における，個人同士だけではなく，集団，社会との適切なコミュニケーションをとり，「医学知識と科学的探究心」に基づいて人の健康行動につながる特に心理的，社会的要因について理解し，健康増進の方法を説明できる。

② 行動科学1cではまず，自らの行動や生活習慣について，健康増進や疾病予防，医学・医療におけるさまざまな場面をもとに客観的に評価することを目的として，医療に関わる多様で具体的な事例を学ぶ。

さらに人の行動・個人の多様な行動を知る。その上で，健康増進（ヘルスプロモーション）につながるさまざまな行動変容についての理論を学ぶことで，行動変容のためにどのような方法があるのかを知り，まずは自らの行動や生活習慣を改善するための具体的な方法論を身につける。

これらを通して，プロフェッショナリズム1a，行動科学1a，1bで学んだ知識・概念についての理解を深める。

また，2学年次の行動科学2で，自身のみならず他者を含む集団について，健康なコミュニティづくりを目標とした社会の仕組みを学ぶ上で，基礎的な知識，スキルを身につけることを目標とする。

行動科学は，プロフェッショナリズムとも連携して，総合的な理解を進め，実践につなげることを求めるものである。

（２）　学修目標

① 社会で生活する人々の多様な行動，生活習慣を知り，自らの行動，生活習慣について客観的に説明できる。

② 医学・医療における具体的な事例について，医療従事者，患者・家族など多様な視点でその行動を説明できる。

③ 健康増進（ヘルスプロモーション）や疾病予防における行動変容について，基本的な理論を説明できる。

④ 行動変容の理論を用いて，自らの行動や生活習慣を改善する方法を提案できる。

⑤ 非日常的な場面での人間の心理や多様な行動について学び，リスク管理，危機管理の概念を具体的に説明できる。

３　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
確認テスト	○	20%	記述式及び多肢選択問題
レポート	○	80%	適宜実施し，記述内容により評価する。
その他	○	—	受講態度などにより，総合成績に加減点（最大10%）する。加点により100点を超える場合は100点とする。

出席：　成績評価の対象となるためには講義の欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

再試験は，原則として確認テストに準ずる方法で実施する。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

レポート，確認テストについては，講評を作成し適宜メールで通知する。

４　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
保健・医療・福祉における 行動科学入門 生活習慣の評価から行動変容の実践まで	鈴木孝太 柿崎真沙子 菊池宏幸 （編・著）	大修館書店	本学のカリキュラムと，医学教育コアカリキュラムに沿ったテキスト。プロフェッショナリズム1a（医療人入門），行動科学1c，行動科学2，健康増進と疾病予防の内容に準拠している。
各講義における配付資料			

５　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
行動医学テキスト	日本行動医学会	中外医学社	医学教育コアカリキュラムに準拠し行動科学を網羅した良書。
Behavioral Science(7th edition)	Barbara Fadem	Wolkers Kluwer	アメリカの行動科学の標準テキスト。米国USMLEの問題も掲載し，利用価値は高い。
行動科学　健康づくりのための理論と応用	畑　栄一， 土井由利子編	南江堂	個人の行動変容を促す方法を学ぶ上で有用。
医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎　生活習慣病を中心に	松本千明	医歯薬出版	特に生活習慣病を対象に，実際に行動変容を促す方法を学ぶのに有用。
健康行動と健康教育	Karen Glanzら（曽根智史ら訳）	医学書院	健康教育を含め，行動変容を促す方法を学ぶのに有用。
Theory in a Nutshell	Don Nutbeamら	McGraw-Hill Education	ヘルスプロモーションのさまざまな理論がまとめられている。
医療現場の行動経済学　すれ違う医者と患者	大竹文雄， 平井　啓	東洋経済新報社	行動経済学の視点から，医療者，患者の考え方を説明している良書。

６　準備学習（予習・復習）

授業に臨むにあたり，「保健・医療・福祉における 行動科学入門」などで，講義内容について簡単に情報取集しておく（1コマあたり0.5時間程度）。

授業後，その授業までに知っていたこと，また授業で初めて知ったこと，さらに自らの生活や学習について，講義内容をどのように役立てることが可能か，というテーマなどのレポートを課すので，それらのテーマに沿ってレポートを作成する（1コマあたり0.5時間程度）。

７　授業計画

（１）　講義の方法

講義については，基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが，講義中，一部，小グループ討論や講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

（２）　講義の内容

さまざまな状況における人間の行動について，実際の例を中心にその背景にある理論などを学ぶ。

行動科学１ｃ

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2026/1/5(月)	4	ー	講義	ガイダンス，行動科学と健康増進，疾病予防・行動変容に関するさまざまな理論	衛生学	教授	鈴木　孝太	303講
2026/1/5(月)	5	ー	講義	社会医学的な視点から見た発展途上国に住む人々の生活	衛生学	講師	梅村　朋弘	303講
2026/1/8(木)	1	ー	講義	職場における安全管理	ー	非常勤講師	成定　明彦	303講
2026/1/8(木)	2	ー	講義	患者・健診受診者の心理	ー	名誉教授	菊地　正悟	303講
2026/1/14(水)	1	ー	講義	リスク管理・危機管理とは	衛生学	教授	鈴木　孝太	303講
2026/1/19(月)	1	ー	講義	行動と脳，行動の神経内分泌学，ストレスコーピング（バイオフィードバック）	衛生学	准教授	松永　昌宏	303講
2026/1/19(月)	2	ー	講義	被災地における人々の行動について	ー	名誉教授	中川　隆	303講
2026/1/29(木)	**2**	**ー**	**ー**	**確認テスト**	**衛生学**	**教授**	**鈴木　孝太**	**101講**

8 オフィスアワー　　行動科学1c

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
鈴木 孝太	教授	衛生学講座	水曜日 (不定期)	17:30～18:30	2号館研究棟M3階371号室 (部署宛に要事前連絡)
松永 昌宏	准教授	衛生学講座	月～金曜日	10:00～17:00	2号館研究棟3階312号室 (要事前連絡)
梅村 朋弘	講師	衛生学講座	月～金曜日	10:00～18:00	2号館研究棟M3階370号室 (要事前連絡)
菊地 正悟	非常勤講師	愛知医科大学名誉教授	講義終了後，講義室にて		
中川 隆	非常勤講師	愛知医科大学名誉教授	講義終了後，講義室にて		
成定 明彦	非常勤講師	愛知県立看護大学准教授	講義終了後，講義室にて		

統　計　学　1

【単位数:0.5単位，授業10コマ】

1　科目責任者

橋本貴宏　教授(特任)(数学)

2　教育目標

(1)　ねらい(Ⅲ-1-c，Ⅲ-10-c)

① コンピテンス「医学知識と科学的探究心」の中の「根拠に基づく医療」(EBM)を理解するために必要な統計学を学び，併せてデータサイエンスを含めた諸科学への応用へとつなげる。

② 身体の検査から薬効の判断，そして人工知能まで，様々な応用がある統計学の知識を身に付け，それらを正しく運用する能力を養うことを目標とする。

(2)　学修目標

① データを読み，説明し，正しく扱うことができる。
② 推測統計の考え方を説明できる。
③ 相関と回帰について説明できる。
④ 母平均や母比率の信頼区間について説明できる。
⑤ 2×2 分割表の独立性の検定ができる。
⑥ 平均値の差を検定できる。
⑦ データに応じて，最適な検定の方法を述べることができる。

3　成績の判定・評価

(1)　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	65%	記述式で出題する。
演習課題	○	35%	毎回の課題及びAIDLE-Kにおける活動により評価する。
態度	○	—	態度不良の場合は，10点を限度として減点をする。

出席:　単位を修得するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2)　合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3)　再試験・再評価の方法

課題・レポートにより評価する(60%以上で合格)。

(4)　課題(試験やレポート)へのフィードバック

毎回の授業プリントにおける質問には，次回の授業で答える。
定期試験についての総括はAIDLE-Kを用いて行う。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
医療系のための入門統計	勝野恵子ほか	共立出版	医療系で使われる統計手法について，数学的な面も記述されている。

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
医療系のための統計入門	藤井良宣（編）	実教出版	医療系に必要な統計学の基礎知識がまとめられている。
臨床検査学講座　数学／統計学	宇田川誠一ほか	医歯薬出版	数学と統計学の基礎が一冊にまとまっていて理解しやすい。

6　準備学習（予習・復習）

授業前日までに授業のレジュメをAIDLE-Kにアップロードするので予習しておく（1コマあたり約1時間）。
授業での課題プリントを中心として講義内容を復習し，次回の授業に臨む（1コマあたり約1時間）。

7　授業計画

（1）　講義の方法

授業の前半に前回の振り返りと当日分の講義をした後，後半に課題演習を行い，AIDLE-Kに提出する。演習主体であるので能動的に受講すること。また，この科目用のノート及び平方根計算が可能な電卓を用意すること。

（2）　講義の内容

医学から人文科学に至るまで，さまざまな科学の土台となっている統計学を学修する。医療統計やEBMを学ぶ準備にもなっている。高等学校数学I「データの分析」，数学A「場合の数と確率」及び数学B「確率分布と統計的な推測」の知識を前提として講義する。

統計学１

（３） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/17(木)	5	－	講義	統計入門	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	303講
2025/4/24(木)	5	－	講義	標本分布	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	303講
2025/5/1(木)	5	－	講義	推定	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	303講
2025/5/8(木)	5	－	講義	区間推定	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	303講
2025/6/5(木)	5	－	講義	仮説検定の基礎	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	303講
2025/6/12(木)	5	－	講義	母平均の差の検定(1)	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	303講
2025/6/19(木)	5	－	講義	母平均の差の検定(2)	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	303講
2025/6/26(木)	5	－	講義	独立性の検定	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	303講
2025/7/3(木)	5	－	講義	相関と回帰	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	303講
2025/7/10(木)	5	－	講義	統計学のまとめ	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	303講
2025/7/28(月)	**3**	**－**	**－**	**定期試験**	**数学**	**教授(特任)**	**橋本　貴宏**	**101講**

8 オフィスアワー　　統計学1

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
橋本　貴宏	教授(特任)	数学	金曜日	15:00～16:00	3号館基礎科学棟2階B202研究室

ス　ポ　ー　ツ　科　学

【単位数：1単位・授業14コマ】

1　科目責任者

牛田享宏　教授（疼痛医学講座）

科目担当者
西須大徳　助教（運動療育センター）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅰ-7-c，Ⅰ-10-c，Ⅱ-5-c，Ⅲ-6-c，Ⅴ-1-c）

① コアコンピテンスである生涯学習・自己啓発・自己管理に関して，スポーツ，トレーニングを科学として捉え，“人の健康行動につながる生物学的・心理学的要因を理解して，健康増進の方法を説明できる”ようになる。また実践にあたり，自己評価，自己目標，自己管理をするための精神を学ぶ。

② スポーツを単に体を動かすだけの事として捉えずに，スポーツがすべての人々が共有する文化であり，それぞれの人の価値観にあわせた考え方が必要であることを学ぶ。そして，未病つまり健康人を対象とした疾病予防・健康維持において活かすことのできるようにする。

（2）　学修目標

① スポーツ科学の講義を通して，スポーツ活動，健康・体力の維持・増進，スポーツ障害防止などの基礎知識を理解し，自ら実践し述べることができる。

② 幅広いスポーツの知識を持ち，若年者から高齢者まで対象者に合わせて，身体面・精神面からの指導ができる。

③ 生涯を通してスポーツ活動に積極的に参加することの意義を学ぶ。

④ 医師としての病気・けがの予防と治療，運動に関する相談・指導ができる。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	90%	提出状況，内容に応じて5段階評価とする。
態度	○	10%	実技への取り組みに対して評価する。著しく態度不良の場合は総合成績から減点を考慮する。

出席：　単位を修得するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）　合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（3）　再評価の方法

成績対象項目の合計が 60%未満の場合は，レポート再作成を課す。（60 点以上で合格）

（4）　課題（レポート）へのフィードバック

必要に応じ，個別に学生に対してのみ回答する。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
健康・フィットネスと生涯スポーツ	東海大学一般体育研究室	大修館書店	健康・スポーツの基本的内容が網羅されている。
大学生の健康・スポーツ科学 第5版	大学生の健康・スポーツ科学研究会	道和書院	これだけは知っておいてほしい，健康・スポーツの基礎知識をわかりやすく解説している健康スポーツ科学入門書である。
最新フィットネス基礎理論	小沢治夫 西端　泉	日本エアロビックフィットネス協会	解剖生理学，心肺機能の医学，トレーニングストレッチングの理論が収載されている。

6　準備学習（予習・復習）

○　スポーツ実践に関して，事前に取り組むスポーツについて，自らルールを調べ，動画などを視聴し，スポーツに関するイメージを掴んでおく（1コマあたり 0.5 時間）。

○　スポーツ実践に関して，取り組んだスポーツについて，振り返りを行いスポーツの教養が深まるように努める（1コマあたり 0.5 時間）。

7　授業計画

（１）　講義の方法

基本的には大教室での知識伝達型の講義である。実技は，主にグループでの活動が中心となり，主体的に動くことを求める。

（２）　講義の内容

講座は講義と実技に分け実施する。講義は，身体やスポーツに関わる様々な領域について，広く教養を得る機会とする。実技では，実際に身体を動かすことを通じて，身体に関する情報をわが身に起こる実学として感じ取ってほしい。そうすることで，スポーツを単に体を動かすだけの事として捉えずに，スポーツがすべての人々が共有する文化であり，それぞれの人の価値観にあわせた考え方ができるように，具体的な例を提示しながら，理解を進めていく。

スポーツ科学

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/16(水)	4	AB	講義	スポーツ科学総論	疼痛	教授	牛田 享宏	303講
2025/4/16(水)	5	AB	講義	スポーツ障がい，予防の実践	疼痛	教授	牛田 享宏	303講
2025/4/23(水)	4	A	講義	体力テストの理論	運療C	助教	西須 大徳	303講
		B	実習	体力テスト	ー	非常勤講師	木村 明日佳	体育館
					ー	非常勤講師	西川 浩太郎	
2025/4/23(水)	5	A	実習	体力テスト	ー	非常勤講師	木村 明日佳	体育館
					ー	非常勤講師	西川 浩太郎	
		B	講義	体力テストの理論	運療C	助教	西須 大徳	303講
2025/4/30(水)	4	A	講義	運動器解剖生理学	疼痛	助教	尾張 慶子	303講
		B	実習	スポーツの実践1	ー	非常勤講師	木村 明日佳	体育館
					ー	非常勤講師	西川 浩太郎	グラウンド
2025/4/30(水)	5	A	実習	スポーツの実践1	ー	非常勤講師	木村 明日佳	体育館
					ー	非常勤講師	西川 浩太郎	グラウンド
		B	講義	運動器解剖生理学	疼痛	助教	尾張 慶子	303講
2025/5/7(水)	4	A	講義	スポーツ外傷	リハ	理学療法士	井上 雅之	303講
		B	実習	スポーツの実践2	ー	非常勤講師	木村 明日佳	体育館
					ー	非常勤講師	西川 浩太郎	グラウンド
2025/5/7(水)	5	A	実習	スポーツの実践2	ー	非常勤講師	木村 明日佳	体育館
					ー	非常勤講師	西川 浩太郎	グラウンド
		B	講義	スポーツ外傷	リハ	理学療法士	井上 雅之	303講
2025/5/21(水)	4	A	講義	スポーツでも使われる瞑想	運療C	特務事務長	若林 淑子	303講
		B	実習	スポーツの実践3	ー	非常勤講師	木村 明日佳	体育館
					ー	非常勤講師	西川 浩太郎	グラウンド
2025/5/21(水)	5	A	実習	スポーツの実践3	ー	非常勤講師	木村 明日佳	体育館
					ー	非常勤講師	西川 浩太郎	グラウンド
		B	講義	心肺機能と運動	運療C	助教	西須 大徳	303講
2025/6/4(水)	4	A	講義	トレーニング理論	解剖学	講師	大塚 俊	303講
		B	実習	スポーツの実践4	ー	非常勤講師	木村 明日佳	体育館
					ー	非常勤講師	西川 浩太郎	グラウンド
2025/6/4(水)	5	A	実習	スポーツの実践4	ー	非常勤講師	木村 明日佳	体育館
					ー	非常勤講師	西川 浩太郎	グラウンド
		B	講義	トレーニング理論	解剖学	講師	大塚 俊	303講
2025/6/11(水)	4	B	講義	スポーツでも使われる瞑想	運療C	特務事務長	若林 淑子	303講
		A	実習	スポーツの実践5	ー	非常勤講師	木村 明日佳	体育館
					ー	非常勤講師	西川 浩太郎	グラウンド
2025/6/11(水)	5	B	演習	スポーツの実践5	ー	非常勤講師	木村 明日佳	体育館
					ー	非常勤講師	西川 浩太郎	グラウンド
		A	講義	心肺機能と運動	運療C	助教	西須 大徳	303講

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
牛田 享宏	教授	疼痛医学講座	月曜日	15:00～17:00	6号館疼痛医学講座医局
西須 大徳	助教	運動療育ｾﾝﾀｰ	水曜日	9:00～12:00	6号館 疼痛医学講座内
大塚 俊	講師	解剖学講座	月～水曜日	14:00～16:00	2号館研究棟2階256号室
尾張 慶子	助教	疼痛医学講座	月曜日	10:00～12:00	6号館疼痛医学講座医局
井上 雅之	理学療法士	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ部	講義終了後，講義室にて		
木村 明日佳	非常勤講師	―	講義終了後，講義室にて		
西川 浩太郎	非常勤講師	―	講義終了後，講義室にて		
若林 淑子	特務事務長	運動療育ｾﾝﾀｰ事務室	講義終了後，講義室にて		

医　用　物　理　学

【単位数：1.5単位，授業20コマ（定期試験含まず）】

1　科目責任者

山下敏史　准教授（物理学）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅲ-１-ｃ）

① コンピテンスの“医学知識と科学的探究心”に関し，“医学的発見の基礎”となってきた物理学における“科学的理論と方法論”について理解し，発展し続ける医学や診断・治療機器に関して生涯にわたって自律的に学び続けるための基盤を作る。

② 複雑な自然現象の中にも規則性があり，それらは基本的な法則により統一的に説明できることを理解する。

（２）　学修目標

① 生体現象を含む様々な現象を物理学の観点から説明できる。

② 様々な現象を理解するために必要な物理量の定義，意味等を説明できる。

③ 物体に働く力と運動，流体，振動と波動，熱，電磁気，原子物理に関する様々な現象を学び，それを支配する法則や原理を，医学と関連づけて説明できる。また，それらの法則を適用して計算ができる。

④ 物理の法則や理論について，発見された過程や方法論，考え方を説明できる。

⑤ 最新の診断・治療機器がどのような物理学の基本原理や法則に基づいているか説明できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	80％	記述式を原則とし，答えに至る過程も重視する。
その他	○	20％	課題や演習，提出物等の取り組みに関して評価する。
態度	○	―	受講態度が著しく不良の場合は10％を上限として減点をする。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

再試験は定期試験に準ずる試験を行う。60％以上を合格とする。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験の総括は AIDLE-K で実施する。課題や演習については次の講義で解説又は，AIDLE-K でフィードバックし，自己学習により解決できるようにする。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
医歯系の物理学　第二版	赤野松太郎 鮎川武二 藤城敏幸 村田　浩	東京教学社	一般教養としての物理学の基礎事項を広くカバーし，さらに人体や医学への応用例が豊富に掲載されている。
レジュメ配付			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
医歯薬系の物理学	林　一編	丸善	医療関連項目が物理学の基本原理をベースにしてトピック別に書かれている。
ライフサイエンス物理学	ケーン＝スターンハイム著 石井千穎 監訳	廣川書店	教科書に比べ，詳細に説明されており，さらに演習問題が豊富なため，自習に利用しやすい。

6　準備学習（予習・復習）

○　初回を除き，講義前に，AIDLE-Kに公開される自習用の講義スライド及び教科書の該当箇所を確認する（1コマあたり約0.5時間）。

○　学習したことを基に新しい概念を順次導入していくため，受講前までに前回の講義内容，教科書の該当箇所や演習問題を復習し，理解しておく（1コマあたり約1.5時間）。

7　授業計画

（１）　講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが，講義中に問題の答えをAIDLE-Kで投票したり，演習問題を解いたり，教員から質疑応答したり等の双方向対話形式も一部導入する。

一部の単元では，教室においてオンデマンド講義を視聴する「対面オンデマンド型講義」と呼ばれる方法で行うため，ノートパソコン（又はタブレット）とイヤホンを持参すること。

（２）　講義の内容

物理学は，一見複雑に見える自然現象に共通する法則を見抜き，それを少数の簡単な基本原理から導出し，理解する学問である。その手法の本質は，現象をよく観察し，よく考えること（具眼考究）にあり，公式を暗記し当てはめるだけではなく，その「考え方」を身に付けることを目指す。

物理の基本となる力学を，物体を最も簡略化した質点の運動を用いて基本原理を講義した後，剛体や流体等に応用する。それらの知識を基に，波動，熱，電磁気，原子物理について生体や医療への応用例も含め，基本的な考え方を説明する。

医用物理学

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/18(金)	3	ー	講義	講義概要，医学と物理学，単位	物理学 アドミC	准教授 教授	山下 敏史 仙石 昌也	303講
2025/4/18(金)	4	ー	講義	力学の基礎①:運動の記述とニュートンの運動法則	物理学	准教授	山下 敏史	303講
2025/4/25(金)	3	ー	講義	運動の例(単振動と内耳の構造，関節の摩擦)	物理学	准教授	山下 敏史	303講
2025/4/25(金)	4	ー	講義	力学の基礎②:エネルギーと運動量	物理学	准教授	山下 敏史	303講
2025/5/2(金)	3	ー	講義	衝突現象(放射線・重粒子線治療の物理)	物理学	准教授	山下 敏史	303講
2025/5/2(金)	4	ー	講義	剛体(めまいの検査)	物理学	准教授	山下 敏史	303講
2025/5/9(金)	3	ー	講義	弾性体と流体①:応力・圧力	物理学	准教授	山下 敏史	303講
2025/5/9(金)	4	ー	講義	弾性体と流体②:ベルヌーイの定理とハーゲン・ポアズイユの法則	物理学	准教授	山下 敏史	303講
2025/5/23(金)	3	ー	講義	振動・波動に関する基本的性質	物理学	准教授	山下 敏史	303講
2025/5/23(金)	4	ー	講義	音波の性質と医療への応用	物理学	准教授	山下 敏史	303講
2025/6/6(金)	3	ー	講義	光波・レーザーの性質と医療への応用	物理学	准教授	山下 敏史	303講
2025/6/6(金)	4	ー	講義	レンズの性質，眼の光学系への応用	物理学	准教授	山下 敏史	303講
2025/6/13(金)	3	ー	講義	熱エネルギーと熱の伝達	物理学	准教授	山下 敏史	303講
2025/6/13(金)	4	ー	講義	生体電気現象①(イオンチャネルの物理)	物理学	准教授	山下 敏史	303講
2025/6/20(金)	3	ー	講義	生体電気現象②(膜電位の物理)	物理学	准教授	山下 敏史	303講
2025/6/20(金)	4	ー	講義	生体電気現象③(神経の興奮伝導の物理)	物理学	准教授	山下 敏史	303講
2025/6/27(金)	3	ー	講義	磁気(MRIの物理)，電磁波	物理学	准教授	山下 敏史	303講
2025/6/27(金)	4	ー	講義	X線の性質を利用した医療機器とその基本原理(レントゲン撮影，X線CT)	物理学	准教授	山下 敏史	303講
2025/7/4(金)	3	ー	講義	MRIを使った画像診断の基本原理とその特徴	物理学	准教授	山下 敏史	303講
2025/7/4(金)	4	ー	講義	原子核と放射線の性質と医療への応用	物理学	准教授	山下 敏史	303講
2025/7/31(木)	**3**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**物理学**	**准教授**	**山下 敏史**	**101講**

8 オフィスアワー

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
山下 敏史	准教授	物理学	火曜日 金曜日	16:30～18:00 15:30～17:00	3号館基礎科学棟2階 B209研究室
仙石 昌也	教授	ｱﾄﾞﾐｯｼｮﾝｾﾝﾀｰ	火曜日	16:00～18:00	3号館基礎科学棟1階B101号室(アドミッションセンター)

生 体 分 子 の 化 学

【単位数：1.5単位，授業20コマ（定期試験含まず）】

1　科目責任者

有信哲哉　教授（特任）（化学）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅲ-１-ｃ）

① コンピテンスの「医学的知識と科学的探求心」において“医学的発見の基礎となる科学的理論と方法”並びに“生体の正常な構造や機能”に関し，分子レベルの理解を目的に主に有機化学を体系的に学ぶ。

② 生命現象を分子レベルで理解するための基盤となる有機立体化学・反応有機化学の基礎を学ぶことで，今後も発展する医学・生命科学に対して生涯に渡って自律的に学び続けるための学力的な基盤をつくる。

（２）　学修目標

① 生体分子・医薬品等の有機化合物の立体構造を表記することができる。

② 立体配座・絶対配置について説明ができる。

③ 化学平衡・ヘンダーソン・ハッセルバルヒ式，緩衝作用について説明できる。

④ 代謝経路でみられる重要な有機反応機構等について説明ができる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	95％	記述式と多肢選択問題とする。
その他	○	５％	課題や演習，提出物などの取り組みについて評価する。
態度	○	―	受講態度が不良の場合は10％を限度に減点をする。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

評価対象科目の合計が60％未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する（60％以上で合格）。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

演習問題の解答例を提示し，理解が不十分な部分については自分で把握し，自己学習により解決できるようにする。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
スミス有機化学 （上） 第5版	Janice Gorzynski Smith	化学同人	有機化学の基礎的内容が非常にわかりやすく記載されており，これまでの代表的な教科書と比較して非常に読みやすく，演習問題も適切である。有機化学を体系的に学習する上で，初学者には最適な教科書である。

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
スミス有機化学 （下） 第5版	Janice Gorzynski Smith	化学同人	有機化学の基礎的内容が非常にわかりやすく記載されている。
スミス有機化学　問題の解き方（第5版）英語版	Janice Gorzynski Smith他	化学同人	教科書の演習問題の解答が詳細に記載されている。
マクマリー　生化学反応機構 第2版	John McMurry他	東京化学同人	代謝経路でみられる有機反応機構を学習する上では，最適な教科書である。

6　準備学習（予習・復習）

① 講義タイトルに含まれるキーワードを参考に，教科書・資料の該当箇所を読んでおく（1コマあたり約50分）。

② 講義で配付された資料，講義ノート，教科書について，講義後内容を再確認し，講義で指示した演習問題（教科書）を解き，理解をさらに深めること（1コマあたり約1時間）。

7　授業計画

（1）　講義の方法

大教室での知識伝達型の講義であるが，アクティブ・ラーニングも積極的に取り入れる。例えば，講義中に学生自身が分子模型を組み立て，分子の3次元的立体構造をイメージし，その立体構造から分子の安定性や反応性について自ら考えてもらう。また教員との質疑応答も行う。

（2）　講義の内容

分子生物学とは化学で説明する生物学のことであり，記述する学問から解析的な学問になっている。生命現象の機構には数少ない重要な原理があり，それによって多くの現象が説明できるようになってきた。この講義「生体分子の化学」では，代謝や医薬の理解に必要な有機立体化学，反応有機化学の基礎と生体を構成する有機分子の構造について解説する。有機立体化学や反応有機化学の知識がどのようにして，生命科学の分野に関連し，つながっていくかを理解できるように講義を進める。

生体分子の化学

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/15(火)	2	ー	講義	分子の形の推測，オクテット則	化学	教授(特任)	有信 哲哉	303講
2025/4/15(火)	3	ー	講義	VSEPA理論，非共有電子対をもつ分子の結合角	化学	教授(特任)	有信 哲哉	303講
2025/4/22(火)	2	ー	講義	骨格構造式(1)	化学	教授(特任)	有信 哲哉	303講
2025/4/22(火)	3	ー	講義	骨格構造式(2)	化学	教授(特任)	有信 哲哉	303講
2025/5/20(火)	2	ー	講義	極性結合，分子全体の極性	化学	教授(特任)	有信 哲哉	303講
2025/5/20(火)	3	ー	講義	分子間に存在する相互作用	化学	教授(特任)	有信 哲哉	303講
2025/6/3(火)	2	ー	講義	ヘンダーソン・ハッセルバルヒ式	化学	教授(特任)	有信 哲哉	303講
2025/6/3(火)	3	ー	講義	緩衝作用	化学	教授(特任)	有信 哲哉	303講
2025/6/10(火)	2	ー	講義	有機化合物の命名法	化学	教授(特任)	有信 哲哉	303講
2025/6/10(火)	3	ー	講義	立体配座	化学	教授(特任)	有信 哲哉	303講
2025/6/17(火)	2	ー	講義	生体分子の立体配座	化学	教授(特任)	有信 哲哉	303講
2025/6/17(火)	3	ー	講義	有機立体化学，立体中心，エナンチオマー	化学	教授(特任)	有信 哲哉	303講
2025/6/24(火)	2	ー	講義	絶対配置(RS配置)	化学	教授(特任)	有信 哲哉	303講
2025/6/24(火)	3	ー	講義	ジアステレオマー，エピマー，メソ体	化学	教授(特任)	有信 哲哉	303講
2025/7/1(火)	2	ー	講義	有機反応機構① 求核置換反応 SN2反応(その1)	化学	教授(特任)	有信 哲哉	303講
2025/7/1(火)	3	ー	講義	有機反応機構② 求核置換反応 SN2反応(その2) 立体化学からのアプローチ，Walden反転	化学	教授(特任)	有信 哲哉	303講
2025/7/8(火)	2	ー	講義	有機反応機構③ 求核置換反応 SN1反応	化学	教授(特任)	有信 哲哉	303講
2025/7/8(火)	3	ー	講義	有機反応機構④ 脱離反応 E2反応(その1)	化学	教授(特任)	有信 哲哉	303講
2025/7/15(火)	2	ー	講義	有機反応機構⑤ 脱離反応 E2反応(その2) 立体化学からのアプローチ，anti-periplanar配座	化学	教授(特任)	有信 哲哉	303講
2025/7/15(火)	3	ー	講義	有機反応機構⑥ 求核アシル置換反応	化学	教授(特任)	有信 哲哉	303講
2025/7/30(水)	**3**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**化学**	**教授(特任)**	**有信 哲哉**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
有信　哲哉	教授(特任)	化学	月・水曜日	12:40～13:30	基礎科学棟B105化学研究室

細　胞　生　物　学

【単位数：２単位，授業26コマ（定期試験含まず）】

１　科目責任者

武内恒成　教授（生物学）

２　教育目標

（１）　ねらい（Ⅲ-１-ｃ，Ⅲ-２-ｃ，Ⅲ-３-ｃ，Ⅲ-９-ｃ）

① コアコンピテンスの“医学知識と科学的探究心”における“生体の正常な構造と機能，発生，加齢及び疾病の病因を説明する”ための，最もベースとなる細胞生物学・分子生物学において広い生命現象を学修する。

② 細胞の構造とその分子機構とともに，遺伝子からタンパクへの流れに基づく生命現象を学び，遺伝子工学の手法と応用やヒトゲノムの解析を学ぶ。さらに医学的知識の基本となる，細胞の微細構造と機能を理解する。

③ 人体と細胞の関係，病気との関連といった課題を軸にして，現代の最先端の医学生物学を学ぶために新しい枠組みを提供する。細胞生物学と分子生物学の進歩を，免疫の異常，がん，生活習慣病といった臨床医学の知見と深い関わりについて，さらに「ゲノム編集技術」や「システムバイオロジー」などの最新知見も意識する。

（２）　学修目標

① 細胞の微細構造と構成，及び機能を説明できる。
② 生体高分子（タンパク質・核酸・脂質など）の物理化学的構造と機能を説明できる。
③ 細胞膜系の基本メカニズムと物質・イオンの輸送と機能を説明できる。
④ エネルギーと生体物質の代謝系システムを概説できる。
⑤ ゲノム・染色体・遺伝子の構造と機能を理解し，遺伝情報の発現と継承について説明できる。
⑥ 染色体分析・ＤＮＡ解析を含むゲノム解析技術を概説できる。
⑦ ゲノム及び形態の進化の基本的考え方を概説できる。
⑧ 細胞骨格と細胞運動及びそれらに起因する疾患を説明できる。
⑨ 上皮輸送及び細胞内物質輸送と処理機構及び関連する疾患を概説できる。
⑩ 細胞接着と細胞外基質及びそれらに起因する疾患を説明できる。
⑪ 細胞内・外のシグナル伝達機構の基本を説明できる。
⑫ 遺伝子発現の調節と細胞分化・細胞死を概説できる。
⑬ 性分化と個体の生殖機構について説明できる。
⑭ 細胞の変容としての病態として免疫・がん・神経変性疾患などを概説できる。
⑮ システムバイオロジー・情報生命科学や細胞工学の技術進展と創薬・ゲノム医療について概説できる。
⑯ 網羅的遺伝子解析，タンパク質などのオミックス技術，イメージング，ゲノム編集技術などの最新技術を概説できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	70%	記述式を原則として，CBTに準ずる多肢選択問題を60%含む形式を採用する。
レポート	○	10%	講義中に提示するレポートとともに，AIDLE-Kを利用したネット上での回答及び提出を実施する。
小テスト	○	20%	講義中に行う小テストとともに，AIDLE-Kを利用したネット上での理解度振り返りチェックを実施する。
態度	○	—	態度不良の場合には総合成績から上限10%まで減点をする。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

上記（2）で総合成績が60%未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる試験を行う。60%以上を合格とする。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

○　積極的なAIDLE-Kでの資料提示及び動画の視聴・課題確認を促すため，AIDLE-Kとeポートフォリオにおいてのフィードバックを行う。

○　レポートについては，紙媒体での提出ではなくAIDLE-Kでの提出を促すとともに，ネット上でのフィードバックを行う。

○　定期試験の成績についての総括を学内メールで配信だけではなく，講義においても都度振り返りフィードバックを行う。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
『カラー図解　人体の細胞生物学』第2版	坂井建雄 石崎泰樹 武内恒成　ら	日本医事新報社	ネットでの図表の提示・電子書籍の入手ができ，検索や内容の対応が容易に取れる。イラストが多用されており，かつ生理学・解剖学・人体発生学との統合を意識された内容となっている。上位学年まで使用できる。
コアカリ準拠　臨床遺伝学テキストノート -ゲノム医療に必要な考え方を身につける　第2版	日本人類遺伝学会編集	診断と治療社	細胞生物学で扱うゲノムと遺伝学的知見を臨床までつなぐ内容が盛り込まれている。4年次の「臨床遺伝学」でも教科書指定されており継続利用を願う。初年時から臨床につながる遺伝学を理解してもらうためにも，前半の項目を講義にて取りあげる。
『Essential 細胞生物学』第5版（日本語版）	B Alberts 他著 中村桂子他監訳	南江堂	世界的に最もベーシックかつ広く使われる「細胞の分子生物学　Molecular Biology of the Cell」の簡易版。優れた教科書であり，内容も網羅されている。上記の教科書で不明な個所などはすべて当書で調べることを要求する。

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
『理系総合のための生命科学』改訂第3版	東京大学生命科学教科書編集委員会	羊土社	国内では最も代表的かつ標準の生命科学テキストである。講義では本書の図なども利用する。簡潔にして要を得ているが，初学者には難しい。生物学履修者を対象とし，国内での生命科学教育の標準を知るには最もお勧めである。
『フロンティア生命科学』	京都大学生命科学研究科編	講談社	上記と対をなす生命科学テキストである。記載が細かくさまざまな生命科学の概念の詳細が記載されている。最新の知見が盛り込まれている。
『大学生物学の教科書』 第1巻・細胞生物学	D・サダファ著 石崎泰樹，丸山敬監　訳	講談社ブルーバックス	アメリカにおける代表的なテキストの翻訳かつ小判で扱いやすい読み物としても絶妙である。自学自習向きであり，生物未履修の学生には購入を積極的に勧める。
『大学生物学の教科書』 第2巻・分子生物学	D・サダファ著 石崎泰樹，丸山敬監　訳	講談社ブルーバックス	内容は簡潔かつ扱いやすい。生物未履修者には必須。自学自習に勧める。学生には積極的な購入を勧める。
『視覚でとらえるフォトサイエンス生物図録』	鈴木孝仁監修	数研出版	基本と生物学全体を見直すためには実は最もくみしやすい良書。生物未履修者には勧める。生命科学への導入としても勧められる。ただし，講義の後半では，当書の内容だけでは不足する。

6　準備学習（予習・復習）

○　教科書「カラー図解　人体の細胞生物学」は単元ごとに見開きページとなっている。講義で行う該当項目の概略，イメージ図などを一読し，AIDLE-Kに講義前にあらかじめアップされている動画や資料などの視聴を勧める（1コマあたり約15分）。
○　教科書「Essential 細胞生物学」で，内容の総括とまとめを行い確認する（1コマあたり約0.5時間）。
○　教科書及びAIDLE-Kにアップされた資料を中心に内容の再確認を行う（1コマあたり約0.5時間）。
○　教科書「Essential 細胞生物学」の巻末資料参考テスト問題を確認して，翌週などの小テスト及び次回の講義に備えること（章及び単元終了ごとに0.5時間）。
○　AIDLE-Kでの振り返りもウェブ上で参加状況を都度確認して評価に加えるので，留意すること。

7　授業計画

（1）　講義の方法

○　大教室での講義を中心とするが，AIDLE-Kを利用した動画及び資料解説とクリッカーなどを用いた双方向性の講義を導入している。小グループでの討論とアクティブ・ラーニングとともに，小テストやAIDLE-Kでの課題に対する回答，積極的な自学を求める。
○　スマートフォンやラップトップコンピュータを用いた動画やクリッカーでの双方向性の講義，検索なども進めているため，これら機器を携帯することを求める（但し，講義中の別用途での利用は禁止する）。
○　特に教科書の積極的な利用は必須である。教科書に付随するネット環境下での資料視聴，さらには教科書の利用について講義で都度確認するので，講義中の使用と携帯は必須とする。

（2）　講義の内容

○　頻繁な小テストや振り返り確認を進めるので注意を要する。
○　教科書に準じて進めるため，教科書を常に活用すること。
○　初回の前半で導入の講義を行う。「自然科学演習（細胞生物学・生命科学）」はこれまで「生物学」を履修してこなかった学生のために設定しているが，当該講義とも内容をリンクしているので，自然科学演習のテキストなどの持ち込み利用も歓迎する。2回目以降はそれぞれ教科書のテーマ別の内容に特化しながら基本的知識の提示とその応用研究をとおして理解を深めていく。
○　後学期は，講義内容においても解剖学・生理学など他教科目との連携を密に進めるので，その連携やつながりを意識しながら講義を受けることを求める。

細胞生物学

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/21(月)	1	ー	講義	細胞とは何か	生物学	教授	武内 恒成	303講
2025/4/21(月)	2	ー	講義	細胞の膜系(1)	生物学	教授	武内 恒成	303講
2025/4/28(月)	1	ー	講義	細胞の膜系(2)	生物学	教授	武内 恒成	303講
2025/4/28(月)	2	ー	講義	遺伝情報の発現と継承(1)タンパク質とアミノ酸の構造と機能	生物学	教授	武内 恒成	303講
2025/5/19(月)	1	ー	講義	エネルギーと生体物質の代謝(1)	生物学	教授(特任)	池野 正史	303講
2025/5/19(月)	2	ー	講義	遺伝情報の発現と継承(2)DNAと染色体	生物学	教授(特任)	池野 正史	303講
2025/6/2(月)	1	ー	講義	遺伝情報の発現と継承(3)DNA複製と修復	生物学	教授(特任)	池野 正史	303講
2025/6/2(月)	2	ー	講義	遺伝情報の発現と継承(4)転写・翻訳	生物学	教授(特任)	池野 正史	303講
2025/6/9(月)	1	ー	講義	**【小テスト1】**4/21～6/2の範囲 遺伝情報の発現と継承(5)細胞周期(1)	生物学	教授(特任)	池野 正史	303講
2025/6/9(月)	2	ー	講義	遺伝情報の発現と継承(6)細胞周期(2)	生物学	教授(特任)	池野 正史	303講
2025/6/16(月)	1	ー	講義	上皮輸送	生物学	教授	武内 恒成	303講
2025/6/23(月)	1	ー	講義	細胞骨格(1)	生物学	教授	武内 恒成	303講
2025/6/30(月)	1	ー	講義	細胞骨格(2)	生物学	教授	武内 恒成	303講
2025/9/1(月)	1	ー	講義	エネルギーと生体物質の代謝(2)	生物学	教授(特任)	池野 正史	303講
2025/9/1(月)	2	ー	講義	エネルギーと生体物質の代謝(3)	生物学	教授(特任)	池野 正史	303講
2025/9/8(月)	1	ー	講義	**【小テスト2】**6/9～9/1の範囲 細胞のシグナル伝達(1)	生物学	教授	武内 恒成	303講
2025/9/8(月)	2	ー	講義	細胞のシグナル伝達(2)	生物学	教授	武内 恒成	303講
2025/9/22(月)	2	ー	講義	細胞のシグナル伝達(3)	生物学	教授	武内 恒成	303講
2025/9/22(月)	3	ー	講義	細胞接着と細胞外基質(1)	生物学	教授	武内 恒成	303講
2025/9/29(月)	1	ー	講義	細胞接着と細胞外基質(2)	生物学	教授	武内 恒成	303講
2025/9/29(月)	2	ー	講義	細胞内の物質輸送と処理(1)	生物学	教授	武内 恒成	303講
2025/10/6(月)	1	ー	講義	細胞内の物質輸送と処理(2)	生物学	教授	武内 恒成	303講
2025/10/6(月)	2	ー	講義	**【小テスト3】**9/8～9/29の範囲 遺伝形式と臨床遺伝(1)	生物学	教授(特任)	池野 正史	303講
2025/10/27(月)	2	ー	講義	遺伝形式と臨床遺伝(2)	生物学	教授(特任)	池野 正史	303講
2025/11/10(月)	2	ー	講義	細胞の変容と病態(1)	生物学	教授(特任)	池野 正史	303講
2025/11/17(月)	2	ー	講義	細胞の変容と病態(2)，振り返り	生物学	教授	武内 恒成	303講
2025/12/8(月)	**1**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**生物学**	**教授**	**武内 恒成**	**101講**

8 オフィスアワー　　細胞生物学

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
武内　恒成	教授	生物学	月曜日	16:00～18:00	3号館基礎科学棟2階B213号室
池野　正史	教授(特任)	生物学	火曜日	16:00～18:00	3号館基礎科学棟2階B208号室

基 礎 科 学 実 習

【単位数:0.5単位，授業24コマ】

1　科目責任者

内藤宗和　教授(解剖学)

科目担当者
武内恒成　教授(生物学)
有信哲哉　教授(特任)(化学)
山下敏史　准教授(物理学)

2　教育目標

(1)　ねらい(Ⅰ-1-c，Ⅰ-4-c，Ⅰ-8-c，Ⅱ-3-c，Ⅲ-1-c，Ⅲ-2-c，Ⅲ-3-c)

物理学

① コンピテンスの“医学知識と科学的探究心”に関し，医学の発展の基礎となる，流体力学，エレクトロニクス，原子物理等の物理学の分野について，“科学的理論”に基づき測定・観察をすることにより，それらの背後にある法則，原理や実験の“方法論”をより深く理解する。
② 基本的な実験課題を通して，測定データ等の客観的根拠に基づいて考える能力や，実験技術・実験態度を学ぶ。

化学

① コンピテンスの「医学的知識と科学的探求心」に沿って，医学的発見の基礎となる科学的論理と方法論を説明できるように，化学・実験操作を体系的に学ぶ。
② 化学実験を通じ，化学物質の取り扱い方法や実験に関わる一連の技術等(実験準備・実験操作・実験データのまとめ)を身につけ，客観的根拠に基づいて考える訓練を行う。

生物学

① コアコンピテンスの“医学知識と科学的探究心”において，医学系科目の最も基礎として“生体の正常な構造と機能，発生，加齢及び疾病の病因を説明する”ための基本的な生命現象の科学を，実習を通して学修する。単に生命科学実習を行うだけではなく，技法や効果的な解析を調査発表することや，様々な実習への取り組みを通して“効果的な協働のために，適切な方法での情報の収集・集約・伝達を行うことができる”ように意識して進める能力を身につける。
② 生物学及び解剖学での実習を通して，様々な情報を客観的・批判的に取捨選択して統合整理し，表現する基本的能力を意識し進める。
生命倫理，倫理原則に基づいて解剖の重要性を認識すること，さらに動物を用いての攝子・鉗子，縫合などに至る実習も進める。

(2)　学修目標

物理学

① 物理学の知識を基に，その原理や方法論を考えながら実験できる。
② 測定機器を正しく取り扱い，基本的な測定が正確にできる。
③ 測定で得られた実験データの計算処理，誤差の見積り，結果の検討ができる。
④ 表計算ソフトを用いて測定値をグラフ化し，近似曲線を求め物理定数を計算できる。
⑤ 簡潔で正確なレポートを記述できる。
⑥ 実験内容が，医療や生体現象の計測にどのように結びついているか説明できる。

化学

① 基本的な実験器具を適切に使用し，試薬を適切に取り扱うことができる。
② 実験データを適切に処理し，整理，まとめることができる。
③ 精密天秤・分光光度計などの測定機器の原理を理解し，適切に使用できる。
④ 酸化還元滴定の原理を説明できる。
⑤ クロマトグラフィーの原理を理解し，化学分離の具体例に適用できる。

生物学

① 実験・実習の内容を決められた様式に従って進めるとともに，文書と口頭で発表できる。
② 実習を通して，課題を解決する具体的な方法と実験手法を学び，課題を解決できる。
③ 解剖学・生化学・生理学につながる基本的な実験手法と手順を説明できる。
④ 生体の基本構造を解析する手法を説明でき，さらに顕微鏡などの解析機器のメカニズムを概説できる。
⑤ 組織の固定と組織化学による微細構造解析の方法，遺伝子の単離の基本を説明できる。
⑥ 講義で得た生体構成分子の解析方法を理解し，医学における分析方法の基本を説明できるとともに，最新の分析解析技術を説明できる。あるいはそれを知るためのサイトなどの情報を的確に選び出せる。
⑦ 攝子・鉗子，縫合などの作業演習を通して，技能実習の在り方を説明できる。
⑧ ネット環境を駆使して，ライフサイエンス情報を得るとともに新しい知見を正しく選別して得る方法を示すことができる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
物理学	○	30％	レポート・態度を 7:3 の割合で評価する。
化学	○	30％	レポート・態度を 8:2 の割合で評価する。
生物学	○	40％	レポート・態度を 8:2 の割合で評価する。

出席：　実習を修得するためには，欠席をしてはならない。

物理学

○ レポートの内容に加え，実験に取り組む姿勢や事前の準備等を含めて評価する。
○ 欠席した場合は，後日実験等を行う。必要に応じ追加課題を課す。

化学

○ レポートの内容に加え，事前の準備，実験中の態度・参加度も加味して，上記表の割合で評価を行う。
○ 欠席した場合は，後日実験等を行う。必要に応じ追加課題を課す。

生物学

○ 実習の内容は「細胞生物学」，「解剖学」とも直結する内容が多いので，連携を意識しつつ，実習内容がこれらの科目における試験でも取り上げられるものとする。
○ レポートは，実習時間内に求めるレポート，個人発表・チーム発表レポートなどを複数名の教員（実習指導員も含む）にて総合的に評価する。
○ 実習中には，学生間の相互評価や教員・実習指導員からの評価（360度評価）を，配付する評価表にて進める。また学生から我々教員への評価も実施する。これらをすべて総合的に評価し，態度評価とする。

（２）　合格基準

物理学，化学，生物学の評価対象がそれぞれの60％以上で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

物理学，化学，生物学のいずれかの評価対象がそれぞれの60％未満の場合は，該当する科目についてレポート再提出あるいは追加課題を求める。（60点以上で合格とする）

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

物理学

実験終了時に毎回記録ノートをチェックする。
レポートは，必要に応じて個別に再提出や口頭試問等の指導を行う。

化学

講義中に行う確認テストについては，解説，解答例の提示を行う。また，レポートは，提出前にも必要に応じて個別に口頭試問等を行い，各学生に問題点等を指摘することで，解決の糸口を与える。

生物学

細胞生物学のAIDLE-Kサイトを用いて，PDFファイル化したレポートや画像データを提出する。この提出とアクセスに対応してフィードバックを行う。なお，WEB上においてのみ課題に対する指摘や全体評価のみを教員側からは行うため，課題提出物や資料などを再提出や返却などの作業は行わず効率化を求める。自身の手元に電子媒体として保管することを求める。また，実習期間中には都度相互評価内容を複数回フィードバックするが，最終的な総合評価のフィードバックは，再評価が必要な場合のみ実習中に行い，実習期間終了後には一切作業が残らないように進める。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
それぞれに実習プリントを配付して進める。			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
理科系の作文技術	木下是雄	中央公論新社	自然科学系のレポートや論文を書く際の参考図書として，多くの人が推薦する名著。
化学実験のルールとレポートの書き方	岩本振武	明現社	レポートの書き方について，わかりやすく記載されている。
マウス解剖イラストレイテッド	野村慎太郎著	学研秀潤社	解剖の項目に関しては実習の参考になる。マウスの扱いや留意すべき事項についても詳しい。
マウス実験の基礎	小出　剛著	オーム社	マウス及びラットの実験法について，ほぼすべての領域を網羅した良書。マウスを使ってどのような実験が可能かを概観できる。
視覚でとらえるフォトサイエンス生物図録	鈴木孝仁監修	数研出版	最新の知見が入っており，やっている内容がどのようなつながりを持つかを理解しやすい。
動画でまなぶ　切開・結紮・縫合	真船健一著	学研秀潤社	手術道具の持ち方から，切開・結紮・縫合の手順が詳しく述べられており，かつ付属のDVDは他の動画よりも丁寧かつ分かりやすい

6　準備学習（予習・復習）

物理学

○　毎回，実験のプリントや実験講義・演習・AIDLE-Kの動画を参考に，事前に実施手順や考察について予習する。事前課題が出ている場合には，実験開始前までにできるようになっておく（1日あたり約1時間）。

○　時間内にレポートが完成しなかった場合は，次週までに完成させて提出する（1日あたり約1時間）。

化学

○　テキストの熟読とAIDLE-Kの動画を参考に，実験操作，手順，原理を予習する（1日あたり1.5時間以上）。

○　実験結果のまとめとレポート作成を行う（1日あたり1時間）。

生物学

○　実習内容などは，初回及び連日開始時に繰り返し行うガイダンスによって伝達する。またAIDLE-Kに事前に動画資料などによって実習内容をアップしておくので，アクセスして視聴することで留意しつつ予習しておくこと（1日あたり約20～30分）。

○　グループワークの取りまとめと各自のレポート作成実習はできる限り実習時間内に行うこととし，実習時間外に持ち越さないように留意すること。他の講義学科目の学修に影響するような，実習終了後も多大な時間をかけて行うことは求めない。出来る限り実習時間内に実験実習作業と並行して解決できる課題として進めるので，実習時間内にレポート作成等は終えること。復習を含めても最大1日あたり1時間を限度として進めること。そのためにも準備学修を求める。

7　授業計画

（１）　講義の方法

物理学

初回は知識伝達型の講義と演習を行い，残りは物理学実験室において，指定された組合せにしたがって原則として二人一組となって実験を行う。

化学

初回は安全教育に関する知識伝達型の講義と演習を行い，残りの回は化学実験室において，指定された組合せにしたがって三人又は四人一組となって実験を行う。各回の実験前には講義又は動画による解説を行い，実験内容の定着を図る。終了時には質疑応答の時間をつくり，学生の理解度をみる。

生物学

WEBによる実習準備と実習そのものを併行して推進する。 AIDLE-Kにあらかじめアップされた実習の説明と方法や詳細にあらかじめアクセスして，把握したうえで実習に臨むこと。

実際の手技演習や解剖，組織プレパラート作成と組織実習，動物個体を用いての縫合や固定作業の前に行うシミュレーション実習などにおいては，研究棟106実習室，303講義室，生物学実習室での実習を基本とする。教室についても初回及び都度，詳細の通知をするので留意を要する。

解剖・組織・分析実習ともに，個々の実習作業とともに，グループワークを基本とする。グループでのチーム一員としての行動と作業の実践を心がけること。グループ内での相互評価及びグループ間での相互評価，個人評価も導入し，実習への取り組みについては総合的な評価とするので留意すること。

詳細な内容及び動画資料，WEBアクセスによる調べなどがあるため，コンピュータあるいはタブレットを必須とする。自宅だけではなく登校時も持参すること。なお，スマートフォンによる視聴は，画像・画面，組織切片の画像拡大などに支障をともなうため認めない。大型画面を用いること。

（２）　講義の内容

物理学

単位や有効数字に気を付けて測定値を記録ノートに，後日自分が見直したときに理解できるように記録し，計算処理，誤差の見積り，結果の検討を行う。「３．放射線の測定」においては，計算処理は表計算ソフトを用いて行うため，ノートパソコン（又はタブレット）とイヤホンを持参すること。

教員のチェックを受けた後，簡潔で正確な実験レポートを丁寧な字で作成する。実験レポート作成が時間内に終わらない場合には，後日提出する。

化学

初回のガイダンスでは，安全教育に関する講義をおこない，2回目以降は酸化還元滴定，有機物の抽出と化学分離・定量の実験を行う。医学分野の各専門実験・実習を安全かつ正確に実施するためには，その基礎的技術と知識の修得が必要であり，本化学実験では実験器具や装置の名称・使用方法並びに実験に関わる一連の操作等が身につけられるように講義・実験を行う。

生物学

マウスの解剖，組織観察，顕微鏡実習（組織標本作成と組織標本の観察）を主とする。とくに攝子・メスなどを扱うので，保持方法や扱い方なども，その後に続く解剖学実習・生理学実習につながる重要な内容であることを理解する。組織観察・顕微鏡技術も，解剖学（組織学），免疫寄生虫学，病理学につながるので十分な原理と操作の留意に努める。自主的な取り組みと相互でのチームワークを必要とするので，調査内容の発表については都度準備を進めること。

一部応用編において，イメージングやＤＮＡ解析の選択制での実習を導入する。さらに，意欲ある学生は継続的にさらに応用編での実習内容を深めて実験を進行できるようにする。

基礎科学実習

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/21(月)	3	AB	ー	ガイダンス 生物学実習	生物学	教授(特任)	池野 正史	303講
2025/4/21(月)	4	AB	ー	ガイダンス 物理学実験	物理学 アドミC	准教授 教授	山下 敏史 仙石 昌也	303講
2025/4/21(月)	5	AB	ー	ガイダンス 化学実験	化学	教授(特任)	有信 哲哉	303講
2025/4/28(月)	3	A	実習	物理学実験:1. 液体の粘性係数の測定, 2. オシロスコープ, 3. 放射線の測定のいずれかを行う	物理学 アドミC	准教授 教授	山下 敏史 仙石 昌也	物理学実
		B	実習	化学実験:酸化還元滴定	化学	教授(特任)	有信 哲哉	化学実
2025/4/28(月)	4	A	実習	物理学実験:1. 液体の粘性係数の測定, 2. オシロスコープ, 3. 放射線の測定のいずれかを行う	物理学 アドミC	准教授 教授	山下 敏史 仙石 昌也	物理学実
		B	実習	化学実験:酸化還元滴定	化学	教授(特任)	有信 哲哉	化学実
2025/4/28(月)	5	A	実習	物理学実験:1. 液体の粘性係数の測定, 2. オシロスコープ, 3. 放射線の測定のいずれかを行う	物理学 アドミC	准教授 教授	山下 敏史 仙石 昌也	物理学実
		B	実習	化学実験:酸化還元滴定	化学	教授(特任)	有信 哲哉	化学実
2025/5/19(月)	3	A	実習	化学実験:酸化還元滴定	化学	教授(特任)	有信 哲哉	化学実
		B	実習	物理学実験:1. 液体の粘性係数の測定, 2. オシロスコープ, 3. 放射線の測定のいずれかを行う	物理学 アドミC	准教授 教授	山下 敏史 仙石 昌也	物理学実
2025/5/19(月)	4	A	実習	化学実験:酸化還元滴定	化学	教授(特任)	有信 哲哉	化学実
		B	実習	物理学実験:1. 液体の粘性係数の測定, 2. オシロスコープ, 3. 放射線の測定のいずれかを行う	物理学 アドミC	准教授 教授	山下 敏史 仙石 昌也	物理学実
2025/5/19(月)	5	A	実習	化学実験:酸化還元滴定	化学	教授(特任)	有信 哲哉	化学実
		B	実習	物理学実験:1. 液体の粘性係数の測定, 2. オシロスコープ, 3. 放射線の測定のいずれかを行う	物理学 アドミC	准教授 教授	山下 敏史 仙石 昌也	物理学実
2025/6/2(月)	3	A	実習	物理学実験:1. 液体の粘性係数の測定, 2. オシロスコープ, 3. 放射線の測定のいずれかを行う	物理学 アドミC	准教授 教授	山下 敏史 仙石 昌也	物理学実
		B	実習	化学実験:プロビタミンAの抽出と化学分離・定量	化学	教授(特任)	有信 哲哉	化学実
2025/6/2(月)	4	A	実習	物理学実験:1. 液体の粘性係数の測定, 2. オシロスコープ, 3. 放射線の測定のいずれかを行う	物理学 アドミC	准教授 教授	山下 敏史 仙石 昌也	物理学実
		B	実習	化学実験:プロビタミンAの抽出と化学分離・定量	化学	教授(特任)	有信 哲哉	化学実
2025/6/2(月)	5	A	実習	物理学実験:1. 液体の粘性係数の測定, 2. オシロスコープ, 3. 放射線の測定のいずれかを行う	物理学 アドミC	准教授 教授	山下 敏史 仙石 昌也	物理学実
		B	実習	化学実験:プロビタミンAの抽出と化学分離・定量	化学	教授(特任)	有信 哲哉	化学実
2025/6/9(月)	3	A	実習	化学実験:プロビタミンAの抽出と化学分離・定量	化学	教授(特任)	有信 哲哉	化学実
		B	実習	物理学実験:1. 液体の粘性係数の測定, 2. オシロスコープ, 3. 放射線の測定のいずれかを行う	物理学 アドミC	准教授 教授	山下 敏史 仙石 昌也	物理学実
2025/6/9(月)	4	A	実習	化学実験:プロビタミンAの抽出と化学分離・定量	化学	教授(特任)	有信 哲哉	化学実
		B	実習	物理学実験:1. 液体の粘性係数の測定, 2. オシロスコープ, 3. 放射線の測定のいずれかを行う	物理学 アドミC	准教授 教授	山下 敏史 仙石 昌也	物理学実

基礎科学実習

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/6/9(月)	5	A	実習	化学実験:プロビタミンAの抽出と化学分離・定量	化学	教授(特任)	有信 哲哉	化学実
		B	実習	物理学実験:1. 液体の粘性係数の測定, 2. オシロスコープ, 3. 放射線の測定のいずれかを行う	物理学 アドミC	准教授 教授	山下 敏史 仙石 昌也	物理学実
2025/6/16(月)	3	ー	実習	生物学実習:マウス・マクロ解剖	生物学 生物学 研創支C 分医研	教授 教授(特任) 准教授 助教	武内 恒成 池野 正史 服部 聡子 土本 純	生物実 研106
2025/6/16(月)	4	ー	実習	生物学実習:マウス・マクロ解剖	生物学 生物学 研創支C 分医研	教授 教授(特任) 准教授 助教	武内 恒成 池野 正史 服部 聡子 土本 純	生物実 研106
2025/6/16(月)	5	ー	実習	生物学実習:マウス・マクロ解剖	生物学 生物学 研創支C 分医研	教授 教授(特任) 准教授 助教	武内 恒成 池野 正史 服部 聡子 土本 純	生物実 研106
2025/6/23(月)	3	ー	実習	生物学実習:組織からのDNA抽出と分析	生物学 生物学 動物実験 分医研	教授 教授(特任) 准教授 助教	武内 恒成 池野 正史 松下 夏樹 土本 純	生物実 研106
2025/6/23(月)	4	ー	実習	生物学実習:組織からのDNA抽出と分析	生物学 生物学 動物実験 分医研	教授 教授(特任) 准教授 助教	武内 恒成 池野 正史 松下 夏樹 土本 純	生物実 研106
2025/6/23(月)	5	ー	実習	生物学実習:組織からのDNA抽出と分析	生物学 生物学 動物実験 分医研	教授 教授(特任) 准教授 助教	武内 恒成 池野 正史 松下 夏樹 土本 純	生物実 研106
2025/6/30(月)	3	ー	実習	生物学実習:マウス組織/組織化学・ミクロ顕微鏡実習	生物学 生物学 動物実験 研創支C	教授 教授(特任) 准教授 准教授	武内 恒成 池野 正史 松下 夏樹 服部 聡子	生物実 研106
2025/6/30(月)	4	ー	実習	生物学実習:マウス組織/組織化学・ミクロ顕微鏡実習	生物学 生物学 動物実験 研創支C	教授 教授(特任) 准教授 准教授	武内 恒成 池野 正史 松下 夏樹 服部 聡子	生物実 研106
2025/6/30(月)	5	ー	実習	生物学実習:マウス組織/組織化学・ミクロ顕微鏡実習	生物学 生物学 動物実験 研創支C	教授 教授(特任) 准教授 准教授	武内 恒成 池野 正史 松下 夏樹 服部 聡子	生物実 研106

8 オフィスアワー　　基礎科学実習

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
内藤　宗和	教授	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟2階254号室
武内　恒成	教授	生物学	月曜日	16:00～18:00	3号館基礎科学棟2階B213号室
池野　正史	教授(特任)	生物学	火曜日	16:00～18:00	3号館基礎科学棟2階B208号室
仙石　昌也	教授	ｱﾄﾞﾐｯｼｮﾝｾﾝﾀｰ	火曜日	16:00～18:00	3号館基礎科学棟1階B101号室(アドミッションセンター)
有信　哲哉	教授(特任)	化学	月・水曜日	12:40～13:30	基礎科学棟B105化学研究室
山下　敏史	准教授	物理学	火曜日 金曜日	16:30～18:00 15:30～17:00	3号館基礎科学棟2階 B209研究室
松下　夏樹	准教授	総合医学研究機構動物実験部門	月～金	16:00～18:00	5号館総合実験研究棟1階動物実験部門
服部　聡子	准教授	研究創出支援ｾﾝﾀｰ	月曜日	16:00～18:00	2号館1階研究創出支援センター
土本　純	助教	分子医科学研究所	月曜日	15:00～17:00	5号館　総合実験研究棟2階

Ｐ　Ｂ　Ｌ

【単位数:1.5単位，授業20コマ】

1　科目責任者

早稲田勝久　教授（医学教育センター）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅰ-7-c，Ⅰ-8-c，Ⅱ-1-c，Ⅱ-2-c，Ⅱ-3-c，Ⅱ-5-c，Ⅲ-1-c，Ⅲ-3-c，Ⅲ-4-c，Ⅲ-8-c，Ⅲ-9-c，Ⅲ-10-c，Ⅴ-5-c）

① 本学のコンピテンスである「プロフェッショナリズム（生涯学習・自己啓発・自己管理）」，「コミュニケーション」，「医学知識と科学的探究心」について，グループワークを通して，その意義を理解する。
② グループワークを通して，他者との協働や情報収集のためのコミュニケーションを身につける。
③ 与えられたトピックに対して，自身の考えを述べ，グループ内での議論を通して論理的な思考を身につける。

（２）　学修目標

① グループ学習を通し，能動的学修の意義と自己の課題を説明できる。
② 「話す」「聴く」「伝える」ために必要なコミュニケーションスキルを説明できる。
③ ICTを使用して与えられた課題を調べることができる。
④ グループ内で役割分担をし，円滑に議論を進めることができる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	—	提示した課題に対するレポート
態度	○	—	グループ学習の参加度（役割遂行）の自己評価，他者評価

出席：単位を修得するためには，欠席をしてはならない。

（２）　合格基準

すべての評価対象において，不可がないこと（合否の2段階判定）。

（３）　再試験・再評価の方法

課題・レポートを課す。
演習を欠席した場合は，面接後，補習又は追加レポートを課す。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

各演習時に，その都度全員にフィードバックする。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
指定なし			

６　準備学習（予習・復習）

グループ内での役割分担で自身の担当分に関して，情報収集など準備をする（毎日１時間）。

７　授業計画

（１）　講義の方法

講義室での全体説明とセミナー室でのグループワークを行う。

（２）　講義の内容

提示した話題について，グループ内で議論を行い課題解決の案をまとめプレゼンテーションを行う。

ＰＢＬ

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2026/1/30(金)	1	ー	講義	オリエンテーション	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C 数学	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 教授(特任)	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 橋本　貴宏	101講 Sim3
2026/1/30(金)	2	ー	演習	演習	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C 数学	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 教授(特任)	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 橋本　貴宏	101講 Sim3
2026/1/30(金)	3	ー	演習	演習	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C 数学	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 教授(特任)	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 橋本　貴宏	101講 Sim3
2026/1/30(金)	4	ー	演習	演習	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C 数学	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 教授(特任)	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 橋本　貴宏	101講 Sim3
2026/1/30(金)	5	ー	演習	演習	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C 数学	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 教授(特任)	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 橋本　貴宏	101講 Sim3
2026/2/2(月)	1	ー	演習	演習	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C 数学	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 教授(特任)	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 橋本　貴宏	101講 Sim3
2026/2/2(月)	2	ー	演習	演習	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C 数学	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 教授(特任)	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 橋本　貴宏	101講 Sim3
2026/2/2(月)	3	ー	演習	演習	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C 数学	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 教授(特任)	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 橋本　貴宏	101講 Sim3

ＰＢＬ

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2026/2/2(月)	4	ー	演習	演習	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C 数学	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 教授(特任)	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 橋本　貴宏	101講 Sim3
2026/2/2(月)	5	ー	演習	演習	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C 数学	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 教授(特任)	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 橋本　貴宏	101講 Sim3
2026/2/3(火)	1	ー	演習	演習	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C 数学	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 教授(特任)	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 橋本　貴宏	101講 Sim3
2026/2/3(火)	2	ー	演習	演習	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C 数学	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 教授(特任)	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 橋本　貴宏	101講 Sim3
2026/2/3(火)	3	ー	演習	演習	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C 数学	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 教授(特任)	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 橋本　貴宏	101講 Sim3
2026/2/3(火)	4	ー	演習	演習	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C 数学	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 教授(特任)	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 橋本　貴宏	101講 Sim3
2026/2/3(火)	5	ー	演習	演習	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C 数学	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 教授(特任)	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 橋本　貴宏	101講 Sim3
2026/2/4(水)	1	ー	演習	演習	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C 数学	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 教授(特任)	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 橋本　貴宏	101講 Sim3

ＰＢＬ

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2026/2/4(水)	2	ー	演習	演習	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C 数学	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 教授(特任)	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 橋本　貴宏	101講 Sim3
2026/2/4(水)	3	ー	演習	演習	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C 数学	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 教授(特任)	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 橋本　貴宏	101講 Sim3
2026/2/4(水)	4	ー	演習	まとめ	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C 数学	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 教授(特任)	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 橋本　貴宏	101講 Sim3
2026/2/4(水)	5	ー	演習	まとめ	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C 数学	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 教授(特任)	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 橋本　貴宏	101講 Sim3

8 オフィスアワー　　PBL

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
早稲田　勝久	教授	医学教育センター	木曜日 金曜日	14:00～17:00 15:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
河合　聖子	准教授	医学教育センター	木曜日	16:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
橋本　貴宏	教授(特任)	数学	金曜日	15:00～16:00	3号館基礎科学棟2階B202研究室
山口　奈緒子	准教授	薬理学講座	月曜日	13:00～18:00	1号館大学本館7階医学教育センター
森下　啓明	准教授	シミュレーションセンター	火曜日	9:00～16:00	シミュレーションセンター事務室
松尾　幸果	助教(医員助教)	循環器内科	講義終了後，講義室にて		

医 学 英 語 1 a

【単位数：1単位，授業13コマ（定期試験含まず）】

1 科目責任者

平田亜紀 准教授（外国語）

科目担当者

James Herron（非常勤講師）

2 教育目標

（1） ねらい（Ⅰ-2-c，Ⅱ-4-c，Ⅳ-1-c）

① コンピテンス「プロフェッショナリズム」“他者の多様な価値観を尊重できる”こと，「コミュニケーション」“患者・家族の疾病と治療に対する捉え方に配慮した意思決定の重要性について説明できる”こと，そして「診療技能」“心理・社会的状況を含め患者の病歴を正確に聴取できる”ようになることを，他言語を学ぶことを通して高めてゆく。

② 本講義は（1）患者やその家族，また他の業種の人々が自分とは異なる背景を持ち，それゆえに異なる選択をすることへの理解を深め，（2）患者を生活者として捉えるための基本的な概念や面接技術を習得し，（3）自らの偏見と向き合う気づきの機会を得ることがねらいである。（1），（2）を促進するための医療英会話や，それを成立させるための背景・知識を英語で学習する。

（2） 学修目標

① 主観的健康観について概説できる。
② 英語で基本的な病歴（主訴，現病歴，既往歴，家族歴，生活歴，社会歴・職業歴等）が聴取できる。
③ 得られた情報を整理したり要点をまとめたりすることができる。
④ 異文化や日本の文化に対する自らの「思い込み」や偏見への気づきが得られる。
⑤ 英語で書かれた教科書・論文・検索情報に頻出する表現が理解できる。
⑥ 人体の構造と機能，及びよく見られる病気や症状に関する基礎的な語の意味・綴り・発音が理解できる。

3 成績の判定・評価

（1） 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	40%	The final exam will be a written test in multiple-choice format.
演習点（Quizzes）	○	20%	Weekly review quizzes will account for 20% of the overall grade.
演習点（In-class Activities）	○	40%	In-class activities will be submitted via Google Classroom and will make up the remaining 40% of the overall grade.
態度	○	—	遅刻・欠席を含め受講態度不良の場合は10%を限度に減点をする。

出席： 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2） 合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（３） 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は，再試験を実施する。

再試験は定期試験に準ずる試験と，追加課題を課す。60%以上を合格とする。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

Google Classroomに記載ほか，授業冒頭にて口頭で行う。

４ 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
Medical English: English for Medical Purposes	Virginia Allum	Cengage	This is a communication-based textbook that prepares students to be able to communicate treatment information and explain medical procedures to English-speaking patients in a healthcare setting.

５ 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
The Complete Subjective Health Assessment https://ecampusontario.pressbooks.pub/healthassessment/	Jennifer Lapum et al.	licensed under a Creative Commons Attribution-ShareAlike 4.0 International License	主観的健康観と文化的背景を平易な英語で患者に尋ねる技法が記載された open textbookである。

６ 準備学習（予習・復習）

予習と，復習を1コマあたり最低でも各 0.5 時間は取り組みましょう。

具体的には，紹介された単語や表現を習得するよう努めるのはもちろん，気になる表現を調べたり，付属・参考資料に積極的に目を通して，広く関心を持って英語を「使って」学習を進めてください。

Please prepare for the class by reading the textbook before the lesson. The classroom explanation will be much easier to understand if you are already familiar with the main ideas and vocabulary to be discussed. Continue to review previous units and vocabulary throughout the semester as your understanding will be assessed on a weekly basis.

Finally, please come to class prepared to ask questions and ready to actively participate. Don’t forget to take advantage of opportunities to practice what you’ve learned inside and outside of class. Learning a language is a lifelong process!

７ 授業計画

（１） 講義の方法

教員と学生，また学生同士のインタラクションを重視したアクティブ・ラーニング型授業を行う。

（２） 講義の内容

外国にルーツを持つ患者の価値観をはじめ多様な価値観が世の中に存在することと，自らの想像力の限界を認めつつも相手の状況をより深く理解するために必要とされる英語での質疑ができるようになるよう学習を進める。

医学英語１ａ

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/18(金)	1	A	AL	Guidance, Introduction to the Google Classroom	ー 外国語	非常勤講師 准教授	James William Bennett Herron 平田　亜紀	203講
2025/4/18(金)	2	B	AL		ー 外国語	非常勤講師 准教授	James William Bennett Herron 平田　亜紀	203講
2025/4/25(金)	1	A	AL	Introducing Yourself	ー	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
2025/4/25(金)	2	B	AL		ー	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
2025/5/2(金)	1	A	AL	Starting the Patient Interview	ー	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
2025/5/2(金)	2	B	AL		ー	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
2025/5/9(金)	1	A	AL	Talking to Patients About the Current Health Issue	ー	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
2025/5/9(金)	2	B	AL		ー	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
2025/5/23(金)	1	A	AL	Discussing Vital Signs	ー	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
2025/5/23(金)	2	B	AL		ー	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
2025/6/6(金)	1	A	AL	Examining a Patient	ー	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
2025/6/6(金)	2	B	AL		ー	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
2025/6/13(金)	1	A	AL	Talking About Pain Level	ー	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
2025/6/13(金)	2	B	AL		ー	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
2025/6/20(金)	1	A	AL	Talking About Tests	ー	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
2025/6/20(金)	2	B	AL		ー	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
2025/6/25(水)	5	AB	AL	Discussing a Diagnosis	ー	非常勤講師	James William Bennett Herron	303講
2025/6/27(金)	1	A	AL	Discussing Surgery Options	ー	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
2025/6/27(金)	2	B	AL		ー	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
2025/7/4(金)	1	A	AL	Wounds, Infections and Allergies	ー	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
2025/7/4(金)	2	B	AL		ー	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
2025/7/11(金)	1	A	AL	Talking About Treatment	ー	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
2025/7/11(金)	2	B	AL		ー	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
2025/7/18(金)	1	A	AL	Final Exam Review	ー	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
2025/7/18(金)	2	B	AL		ー	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
2025/7/25(金)	**1**	**AB**	**ー**	**定期試験**	**外国語**	**准教授**	**平田　亜紀**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
平田　亜紀	准教授	外国語	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階B201研究室
James　William Bennett　Herron	非常勤講師	―	講義終了後，講義室にて		

医　学　英　語　１　ｂ

【医学英語1b（前学期）単位数：1単位，授業13コマ（定期試験含まず）】
【医学英語1b（後学期）単位数：1単位，授業13コマ（定期試験含まず）】

１　科目責任者

平田亜紀　准教授（外国語）

科目担当者
小川恭佑　助教（外国語）
James Herron （非常勤講師）

２　教育目標

（１）　ねらい（I-２-c，Ⅱ-４-c，Ⅲ-２-c，Ⅲ-10-c）

① コアコンピテンスの“医学，医療における客観的根拠を適切に探索し，EBMを実践できる（医学知識と科学的探究心）”を修得するために，1年生及び2年生の医学英語では生体の正常な構造や機能について英語で学習する。導入にあたる本講義では，前学期・後学期通して語彙力や文章理解力，リスニング力を培う。さらに後学期では，“他者の多様な価値観を尊重できる”ことと，“患者・家族の疾病と治療に対する捉え方に配慮した意思決定の重要性について説明できる”ことに加え，“根拠のある情報を選択し，情報源を明示することの重要性を説明できる”よう，引き続き医療英会話も学習する。

② 生涯にわたって自律的に学び続け，また自ら発信することができるようになるための基礎となる語学力を身に付けること，患者の社会的背景(経済的・制度的側面等)が病いに及ぼす影響への理解を深めることがねらいである。

（２）　学修目標

① 人体の構造と機能，common diseasesとその症状に関する語の意味を理解し，綴り・発音が実践できる。
② 医学用語の名詞に頻出する不規則複数形を理解し，未知語に対して応用できる。
③ 医学用語に頻出する接頭辞・接尾辞・連結形を理解し，未知語に対して応用できる。
④ 人体の構造と機能，common diseasesとその症状に関する英文や動画の内容の意味をくみ取ることができる。
⑤ 分詞構文を含む英文の構造を正しく理解することができる。
⑥ 関係代名詞，分詞，動名詞，不定詞，並列などが使用された英文の構造を正しく理解することができる。
⑦ 医療小説を通じて，医療現場での患者対応における共感力の重要性が理解できる。
⑧ 異なる文化的背景に根差した医療観や倫理観が理解できる。
⑨ Students will develop communication skills to build good relationships through dialog with patients and their families and will be able to explain medical content in an easy-to-understand manner.
⑩ Students will be able to critically select and express various information via presentations.

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

医学英語1b(前学期):

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	60%	記述式を原則とする(選択問題含む)。
演習点	○	40%	内訳: ・5%　各回の開始時に実施される e-ラーニングアプリ（ALC NetAcademy Next)に準拠した小テスト演習の合計点 ・25%　各回の終了時に実施される復習小テスト演習や参加型演習 ・10%　「英語で倫理を考える」 小テスト演習の採点方法：演習は原則「参加をしている・トライをしている」ことに点数を付けます。正答率は採点基準ではありませんが，期末試験の準備も兼ねているので丁寧に取り組みましょう。 その他の演習の採点方法:指示されたタスクの完成度により判断。当日の授業内の課題のみではなく前後の回に実施される内容も含まれるので注意すること。
態度	○	—	遅刻・欠席を含め受講態度不良の場合は10%を限度に減点をする。

出席:　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。
（ファイナルプレゼンテーションは原則，授業最終日に実施され，定期試験日ではないので留意すること。）

医学英語1b(後学期):

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	40%	20%　平田・小川回　記述式を原則とする(選択問題含む)。 20%　James Herron 回　A final presentation created by the student will be delivered to the class and account for 20%　of the overall grade. (ファイナルプレゼンテーションは原則，授業最終日に実施され，定期試験日ではないので留意すること。)
演習点	○	60%	30%　平田・小川回 内訳: ・5%　各回の開始時に実施される e-ラーニングアプリ（ALC NetAcademy Next)に準拠した小テスト演習の合計点 ・25%　各回の終了時に実施される復習小テスト演習や参加型演習 小テスト演習の採点方法：演習は原則「参加をしている・トライをしている」ことに点数を付けます。正答率は採点基準ではありませんが，期末試験の準備も兼ねているので丁寧に取り組みましょう。 その他の演習の採点方法：指示されたタスクの完成度により判断。当日の授業内の課題のみではなく前後の回に実施される内容も含まれるので注意すること。 倫理解は授業内ガイダンスで説明する。 30%　James Herron 回 内訳: In-class activities will be submitted via Google Classroom and account for 30%　of the overall grade.
態度	○	—	遅刻・欠席を含め受講態度不良の場合は10%を限度に減点をする。

出席:　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

前学期・後学期　共通:

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

（３） 再試験・再評価の方法

前学期・後学期 共通:

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は，再試験を実施する。

再試験は定期試験に準ずる試験と，追加課題を課す。60%以上を合格とする。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

前学期・後学期 共通:

AIDLE-KやGoogle Classroomに記載ほか，授業冒頭にて口頭で行う。

4 教科書

前学期・後学期 共通:

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
The Concise Human Body Book	Steve Parker	Dorling Kindersley Limited	一般書ながら，人体の構造や機能について簡潔な文章と詳細なイラストでまとめられている。

5 参考図書

前学期・後学期 共通:

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
英文法どっちがどっち 単語の品詞がわかる本	伊藤和夫	復刊ドットコム	英文理解のための基礎となる文法で学習者が迷いやすいものを対比させながら解説。分かりやすく必要なところだけを読むことができる。文法が苦手な人に推奨。
Medical Terminology for Healthcare Professions https://pressbooks.uwf.edu/medicalterminology/	Andrea M. Nelson et al.	University of West Florida Pressbooks	接頭辞・接尾辞・連結形などが丁寧に解説されている。また，いわゆる「単語帳」にとどまることなく，解剖学・生理学の文脈の中で医学専門用語を理解することができる。
Anatomy and Physiology 2e - 2e https://open.umn.edu/opentextbooks/textbooks/169	J. Gordon Betts et al.	OpenStax	教科書として採用している Human Body の説明文の少なさを補う意味において有効。下記 プロメテウスと合わせて読むと，医学専門用語のみならず，医学書に頻出する動詞などの習得ができる。
Anatomy: An Essential Textbook (Thieme Illustrated Reviews) 第 3 版	Anne M. Gilroy et a.	Thieme Medical Pub	教科書として採用している Human Body の説明文の少なさを補う意味において有効。下記 プロメテウスと合わせて読むと，医学専門用語のみならず，医学書に頻出する動詞などの習得ができる。
プロメテウス解剖学 エッセンシャルテキスト	Anne M Gilroy (著),中野隆（監訳）	医学書院	医学専門用語（解剖の用語）の基本的な知識を日本語で理解する上で有用。
Exploring Public Speaking - 4th Edition https://open.umn.edu/opentextbooks/textbooks/411	K. Barton et al.	University System of Georgia	This textbook describes the theories of public speaking and offers practical advice to improve communication with an audience, including developing presentation aids and accounting for cultural diversity.

６　準備学習（予習・復習）

予習・マインドセットとして授業開始前に，学習範囲を確認するクセをつけましょう。

復習を1コマあたり最低でも各 0.5 時間勉強することを推奨します。

医用英単語の「からくり」は講義からある程度学ぶことができます。一方，英語を使いこなすには自立・自律学習が求められます。キャリアを通して一生使うものですので，毎回コツコツと身に着けていきましょう。その意味では授業はペースメーカーの役割でしかなく，小テストの正答率などをその目的地としてはいけません。また，上記の勉強時間はあくまで目安です。時間を費やすことを主とするのではなく，自分に必要な勉強時間数を確保してください。

【授業を受ける際の注意】

授業には，ノートパソコンかタブレットを持参すること。スマートフォンの小さい画面は学習に不向きのため不可。

上記「3　成績の判定・評価」にもある通り，小テスト演習は定期試験の準備も含まれていますので，わからない箇所はその都度丁寧に解消していきましょう。

【欠席した場合の注意】

① 教務課だけではなく，科目責任者とその回の担当者に連絡を入れること。
② AIDLE-K上の資料や，友人に確認するなどして，学習が途切れないよう心掛けてください。
③ 平田・小川回では，欠席した日の小テスト演習は別途受験することができます（点数は事由により多少の減点をする場合があります）。

７　授業計画

（１）　講義の方法

＜前学期・後学期，平田・小川回　共通＞

医学専門用語と構文読解に重点を置く回では，動画視聴・リスニング，構文読解，Study Guide（学習ガイドシート)での演習とその解説講義（知識伝達）。

＜後学期，James Herron 回＞

医療英会話の重点を置く回では，教員と学生，また学生同士のインタラクションを重視したアクティブ・ラーニング型授業を少人数で行う。

（２）　講義の内容

＜前学期・後学期，平田・小川回　共通＞

医学専門用語，とくに身体の器官の英語での名称を学習する。語の暗記だけではなく，英文で書かれた機能に関する記述や動画の説明などの理解も通して，語学の基礎的な4技能のうち読む・書く（スペリング）・聴く・話す（発話）の強化を行う。また，授業冒頭で e-ラーニングアプリ（ALC NetAcademy Next)に準拠した小テスト演習を，終了時にその回の復習語彙テスト演習を行う。いずれも演習であるため参加点を原則とする。

「英語で倫理を考える」回では，倫理にまつわる英文を読解し，多角的な視野を獲得する。

英米医療小説講読では，小説を通して医療について学ぶ。

＜後学期，James Herron 回＞

医学英語1aに引き続き，外国にルーツを持つ患者の多様な価値観が世の中に存在すること，自らの想像力の限界を認めつつも相手の状況をより深く理解するために必要とされる英語での質疑ができるようになるよう学習を進める。こちらは語学の応用的な技能のうちコミュニケーション（対話）の訓練に相当する。

医学英語１ｂ（前学期）

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/15(火)	1	ー	講義	ガイダンス, Medical Terminology	外国語 外国語	准教授 助教	平田　亜紀 小川　恭佑	303講
2025/4/22(火)	1	ー	AL	**英語運用能力テスト**	外国語 外国語	准教授 助教	平田　亜紀 小川　恭佑	マルチAB
2025/5/20(火)	1	ー	講義	演習(NetAcademy語彙4問**小テスト**)１ Anatomical Position	外国語 外国語	准教授 助教	平田　亜紀 小川　恭佑	303講
2025/6/3(火)	1	ー	講義	演習(NetAcademy語彙4問**小テスト**)２ Skeletal System (1)	外国語 外国語	准教授 助教	平田　亜紀 小川　恭佑	303講
2025/6/10(火)	1	ー	講義	演習(NetAcademy語彙4問**小テスト**)３ Skeletal System (2)	外国語 外国語	准教授 助教	平田　亜紀 小川　恭佑	303講
2025/6/16(月)	2	ー	JS(水平)	英語で倫理を考える(1)	外国語 哲学 外国語	助教 講師 准教授	小川　恭佑 川﨑　優 平田　亜紀	303講
2025/6/17(火)	1	ー	講義	演習(NetAcademy語彙4問**小テスト**)４ Digestive System (1)	外国語 外国語	准教授 助教	平田　亜紀 小川　恭佑	303講
2025/6/23(月)	2	ー	JS(水平)	英語で倫理を考える(2)	外国語 哲学 外国語	助教 講師 准教授	小川　恭佑 川﨑　優 平田　亜紀	303講
2025/6/24(火)	1	ー	講義	演習(NetAcademy語彙4問**小テスト**)５ Digestive System (2)	外国語 外国語	准教授 助教	平田　亜紀 小川　恭佑	303講
2025/6/30(月)	2	ー	JS(水平)	英語で倫理を考える(3)	外国語 哲学 外国語	助教 講師 准教授	小川　恭佑 川﨑　優 平田　亜紀	303講
2025/7/1(火)	1	ー	講義	演習(NetAcademy語彙4問**小テスト**)６ Digestive System (3)	外国語 外国語	准教授 助教	平田　亜紀 小川　恭佑	303講
2025/7/8(火)	1	ー	講義	演習(NetAcademy語彙4問**小テスト**)７ Cardiovascular System (1)	外国語 外国語	准教授 助教	平田　亜紀 小川　恭佑	303講
2025/7/15(火)	1	ー	講義	演習(NetAcademy語彙4問**小テスト**)８ Cardiovascular System (2)	外国語 外国語	准教授 助教	平田　亜紀 小川　恭佑	303講
2025/7/24(木)	**1**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**外国語**	**准教授**	**平田　亜紀**	**101講**

医学英語１ｂ（後学期）

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/9/5(金)	1	A	AL	A-1組, A-2組合同 ガイダンス, Introduction to Google Classroom	外国語 外国語 －	准教授 助教 非常勤講師	平田　亜紀 小川　恭佑 James William Bennett Herron	303講
2025/9/5(金)	2	B	AL	B-1組, B-2組合同 ガイダンス, Introduction to Google Classroom	外国語 外国語 －	准教授 助教 非常勤講師	平田　亜紀 小川　恭佑 James William Bennett Herron	303講
2025/9/12(金)	1	A-1	AL	英米医療小説講読(1) 演習(NetAcademy語彙**小テスト**)(1)	外国語	助教	小川　恭佑	303講
		A-2	AL	Icebreakers and the Importance of Self-Reflection	－	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
2025/9/12(金)	2	B-1	講義	英米医療小説講読(1) 演習(NetAcademy語彙**小テスト**)(1)	外国語	助教	小川　恭佑	303講
		B-2	AL	Icebreakers and the Importance of Self-Reflection	－	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
2025/9/19(金)	1	A-1	AL	Icebreakers and the Importance of Self-Reflection	－	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
		A-2	講義	英米医療小説講読(1) 演習(NetAcademy語彙**小テスト**)(1)	外国語	助教	小川　恭佑	303講
2025/9/19(金)	2	B-1	AL	Icebreakers and the Importance of Self-Reflection	－	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
		B-2	講義	英米医療小説講読(1) 演習(NetAcademy語彙**小テスト**)(1)	外国語	助教	小川　恭佑	303講
2025/9/26(金)	1	A-1	講義	英米医療小説講読(2)	外国語	助教	小川　恭佑	303講
		A-2	AL	Partner Interviews and Emulating Speakers	－	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
2025/9/26(金)	2	B-1	講義	英米医療小説講読(2)	外国語	助教	小川　恭佑	303講
		B-2	AL	Partner Interviews and Emulating Speakers	－	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
2025/10/3(金)	1	A-1	AL	Partner Interviews and Emulating Speakers	－	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
		A-2	講義	英米医療小説講読(2)	外国語	助教	小川　恭佑	303講
2025/10/3(金)	2	B-1	AL	Partner Interviews and Emulating Speakers	－	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
		B-2	講義	英米医療小説講読(2)	外国語	助教	小川　恭佑	303講
2025/10/10(金)	1	A-1	講義	英米医療小説講読(3) 演習(NetAcademy語彙**小テスト**)(2)	外国語	助教	小川　恭佑	303講
		A-2	AL	TED Talks and Gestures	－	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
2025/10/10(金)	2	B-1	講義	英米医療小説講読(3) 演習(NetAcademy語彙**小テスト**)(2)	外国語	助教	小川　恭佑	303講
		B-2	AL	TED Talks and Gestures	－	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
2025/10/17(金)	1	A-1	AL	TED Talks and Gestures	－	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
		A-2	講義	英米医療小説講読(3) 演習(NetAcademy語彙**小テスト**)(2)	外国語	助教	小川　恭佑	303講
2025/10/17(金)	2	B-1	AL	TED Talks and Gestures	－	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
		B-2	講義	英米医療小説講読(3) 演習(NetAcademy語彙**小テスト**)(2)	外国語	助教	小川　恭佑	303講
2025/10/31(金)	1	A-1	講義	英米医療小説講読(4)	外国語	助教	小川　恭佑	303講
		A-2	AL	Demonstration Presentation	－	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講

医学英語１ｂ（後学期）

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/10/31(金)	2	B-1	講義	英米医療小説講読(4)	外国語	助教	小川　恭佑	303講
		B-2	AL	Demonstration Presentation	―	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
2025/11/7(金)	1	A-1	AL	Demonstration Presentation	―	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
		A-2	講義	英米医療小説講読(4)	外国語	助教	小川　恭佑	303講
2025/11/7(金)	2	B-1	AL	Demonstration Presentation	―	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
		B-2	講義	英米医療小説講読(4)	外国語	助教	小川　恭佑	303講
2025/11/14(金)	1	A-1	講義	英米医療小説講読(5) 演習(NetAcademy語彙**小テスト**)(3)	外国語	助教	小川　恭佑	303講
		A-2	AL	Visual Aids and Final Presentation Preparation	―	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
2025/11/14(金)	2	B-1	講義	英米医療小説講読(5) 演習(NetAcademy語彙**小テスト**)(3)	外国語	助教	小川　恭佑	303講
		B-2	AL	Visual Aids and Final Presentation Preparation	―	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
2025/11/21(金)	1	A-1	AL	Visual Aids and Final Presentation Preparation	―	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
		A-2	講義	英米医療小説講読(5) 演習(NetAcademy語彙**小テスト**)(3)	外国語	助教	小川　恭佑	303講
2025/11/21(金)	2	B-1	AL	Visual Aids and Final Presentation Preparation	―	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
		B-2	講義	英米医療小説講読(5) 演習(NetAcademy語彙**小テスト**)(3)	外国語	助教	小川　恭佑	303講
2025/11/28(金)	1	A-1	講義	英米医療小説講読(6)	外国語	助教	小川　恭佑	303講
		A-2	AL	Final Presentation	―	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
2025/11/28(金)	2	B-1	講義	英米医療小説講読(6)	外国語	助教	小川　恭佑	303講
		B-2	AL	Final Presentation	―	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
2025/12/5(金)	1	A-1	AL	Final Presentation	―	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
		A-2	講義	英米医療小説講読(6)	外国語	助教	小川　恭佑	303講
2025/12/5(金)	2	B-1	AL	Final Presentation	―	非常勤講師	James William Bennett Herron	203講
		B-2	講義	英米医療小説講読(6)	外国語	助教	小川　恭佑	303講
2025/12/12(金)	**1**	**AB**	**ー**	**定期試験**	**外国語**	**准教授**	**平田　亜紀**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
平田　亜紀	准教授	外国語	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階B201研究室
小川　恭佑	助教	外国語	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階B210研究室
川﨑　優	講師	哲学	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階　B203研究室
James William Bennett Herron	非常勤講師	―	講義終了後，講義室にて		

ポ　ル　ト　ガ　ル　語

【単位数：1単位，授業13コマ（定期試験含まず）】

1　科目責任者

平田亜紀　准教授（外国語）

科目担当者
久保原信司（非常勤講師）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅰ-2-c，Ⅰ-5-c，Ⅱ-1-c，Ⅱ-2-c）

① コアコンピテンスの「他者の多様な価値観を尊重できる」，「患者と家族の心理・社会的背景を理解し，全人的に対応できる」，「患者・家族・医療チームメンバー・住民・社会と良好な関係を構築できる」ため，また「心理・生活・文化的背景を適切に把握するための，支持的・共感的なコミュニケーションをとることができる」ようになるために，外国語でのコミュニケーション能力を高めるとともに，異文化に対する理解を深める。
② 個や集団に及ぼす文化・慣習による影響(コミュニケーションの在り方等)が理解できるようになる。

（2）　学修目標

① 患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し，柔軟に対応できる。
② 良好な人間関係を構築するために必要なスキルとして，開講される外国語を母語とする患者へ簡単な挨拶や声かけをすることができる。
③ 言語・文化・慣習によってコミュニケーションのあり方が異なることを例を挙げながら概説できる。
④ 基本的なポルトガル語文法が理解できる。
⑤ ポルトガル語で簡単な会話ができる。
⑥ 地域のブラジル人やブラジルにルーツを持つ人を身近な存在として感じられるようになる。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
平常点	○	40%	語彙・文法の小テスト，実技試験，提出物など
定期試験	○	60%	記述式の筆記試験(一部多肢選択問題を含む)
態度	○	—	遅刻・欠席を含め受講態度不良の場合は，10%を限度に減点する。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）　合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（3）　再試験・再評価の方法

上記（2）で総合成績が60%未満の場合は，再試験を実施する。
再試験は定期試験に準ずる試験を実施する。60%以上を合格とする。

（4）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

毎回の小テストとレポートに対する解説は，授業中に随時行う。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
生きたブラジル・ポルトガル語・初級	兼安シルビア典子	同学社	ポルトガル語を学習する初学者に適した内容とレベルである。

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
プログレッシブ・ポルトガル語	市之瀬　敦	小学館	ポルトガル語を学習する初学者から中級者に適した内容とレベルの辞書である。

6　準備学習（予習・復習）

○　予習は求めないが，復習は重要である。授業時間内にやり残した課題や十分に理解できなかったところは，復習しておくこと。それでも不明なことがある場合は，早めに質問をするように。

○　語彙については，こまめに復習し，習得の機会を増やすことが重要である（1コマあたり約0.5時間）。

○　毎週か隔週に行われる小テストの成績は配点が大きいので十分に準備して臨むこと（1コマあたり約40分）。

7　授業計画

（１）　講義の方法

基本的な文字の読み方と，発音練習を授業内で繰り返し行う。また文法等の演習課題を行うことと，理解のポイントについての解説が授業の中心となる。少人数できめ細かい語学指導を行う。授業には，教科書と前週までのハンドアウトを持参すること。

なおＡＢ組の分け方は他の科目の分け方とは一致しないので注意すること。

（２）　講義の内容

ポルトガル語を初めて学修するための初中級向けの授業内容である。課題と解説を通じて発音，語彙，文法，重要表現の基本を身に付ける。授業中は，間違うことを恐れずに，積極的に声に出して発音練習をすることが重要である。発音，語彙，文法の理解については，学生の理解度を確認しながら調整して解説を進めていく。また，疑問点や確認したいことがあれば，その都度，積極的に質問することを推奨する。

ポルトガル語

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/9/3(水)	1	A	講義	愛知県におけるブラジル・コミュニティー，かつてブラジルに渡った日本移民についての概説。医療従事者としてポルトガル語を学習する意義などについて考える。	ー	非常勤講師	久保原 信司	304講
2025/9/3(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	久保原 信司	304講
2025/9/10(水)	1	A	講義	文字と発音：英語にない文字，アクセント，発音について学習する。	ー	非常勤講師	久保原 信司	304講
2025/9/10(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	久保原 信司	304講
2025/9/17(水)	1	A	講義	ser動詞：ポルトガル語のbe動詞に当たるser動詞の活用と用法を学習する。	ー	非常勤講師	久保原 信司	304講
2025/9/17(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	久保原 信司	304講
2025/9/24(水)	1	A	講義	ser動詞を使った名前，出身，国籍，職業など自己紹介のフレーズを学習する。	ー	非常勤講師	久保原 信司	304講
2025/9/24(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	久保原 信司	304講
2025/10/1(水)	1	A	講義	所有詞①：所有詞「私の」「あなたの」「私たちの」の使い方を学習する。	ー	非常勤講師	久保原 信司	304講
2025/10/1(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	久保原 信司	304講
2025/10/8(水)	1	A	講義	所有詞②：上記以外の所有の表現を学習する。	ー	非常勤講師	久保原 信司	304講
2025/10/8(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	久保原 信司	304講
2025/10/15(水)	1	A	講義	ここまでの学習内容を使った対話暗唱と発表	ー	非常勤講師	久保原 信司	304講
2025/10/15(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	久保原 信司	304講
2025/10/29(水)	1	A	講義	規則動詞：語尾が「-ar」「-er」「-ir」で終わる3種類の一般動詞の活用パターンを学習する。	ー	非常勤講師	久保原 信司	304講
2025/10/29(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	久保原 信司	304講
2025/11/5(水)	1	A	講義	前置詞：場所，方向，時間などを表す前置詞の用法を学習する。	ー	非常勤講師	久保原 信司	304講
2025/11/5(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	久保原 信司	304講
2025/11/12(水)	1	A	講義	疑問詞：「いつ」「どこで」「だれが」「なにを」といった疑問詞を用いた疑問文の作り方を学習する。	ー	非常勤講師	久保原 信司	304講
2025/11/12(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	久保原 信司	304講
2025/11/19(水)	1	A	講義	estar動詞：serとの区別，場所の表現を学ぶ。	ー	非常勤講師	久保原 信司	304講
2025/11/19(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	久保原 信司	304講
2025/11/26(水)	1	A	講義	estar comを用いた体調や感情の表現を学ぶ。	ー	非常勤講師	久保原 信司	304講
2025/11/26(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	久保原 信司	304講
2025/12/3(水)	1	A	講義	総まとめ	ー	非常勤講師	久保原 信司	304講
2025/12/3(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	久保原 信司	304講
2025/12/10(水)	**1**	**AB**	**ー**	**定期試験**	**外国語**	**准教授**	**平田 亜紀**	**304講**

8 オフィスアワー　　ポルトガル語

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
平田　亜紀	准教授	外国語	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階B201研究室
久保原　信司	非常勤講師	―	講義終了後，講義室にて		

中　　国　　語

【単位数：1単位，授業13コマ（定期試験含まず）】

1　科目責任者

平田亜紀　准教授（外国語）

科目担当者

李（リ）　恩郷（オンキョウ）（非常勤講師）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅰ-2-c，Ⅰ-5-c，Ⅱ-1-c，Ⅱ-2-c）

① コアコンピテンスの「他者の多様な価値観を尊重できる」，「患者と家族の心理・社会的背景を理解し，全人的に対応できる」，「患者・家族・医療チームメンバー・住民・社会と良好な関係を構築できる」ため，また「心理・生活・文化的背景を適切に把握するための，支持的・共感的なコミュニケーションをとることができる」ようになるために，外国語でのコミュニケーション能力を高めるとともに，異文化に対する理解を深める。

② 個や集団に及ぼす文化・慣習による影響（コミュニケーションの在り方等）が理解できるようになる。

（2）　学修目標

① 患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し，柔軟に対応できる。

② 良好な人間関係を構築するために必要なスキルとして，講じられる外国語を母語とする患者へ簡単な挨拶や声かけをすることができる。

③ 言語・文化・慣習によってコミュニケーションのあり方が異なることについて例を挙げながら概説できる。

④ 中国語の発音を身につけ，文法を理解することで，中国語で基本的なコミュニケーションをとることができる。

⑤ 異なる文化圏としての中国文化を理解することにより，他の多様な価値観を尊重できる。

⑥ 中国語の辞書の調べ方や基本的な勉強法を習得することで，今後の中国語自習を続けることができる。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
平常点	○	30％	語彙・文法の小テスト，実技試験，提出物など
定期試験	○	70％	記述式の筆記試験（一部多肢選択問題を含む）
態度	○	―	遅刻・欠席を含め受講態度不良の場合は，10％を限度に減点する。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（3）　再試験・再評価の方法

上記（2）で総合成績が60％未満の場合は，再試験を実施する。

再試験は定期試験に準ずる試験を実施する。60％以上を合格とする。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

毎回の小テストとレポートに対する解説は授業中に随時行う。

４　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
メディカル初級実践中国語	王　宇南・王　美蘭	朝日出版社	中国語を学習する初学者に適した内容とレベルである。

５　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
日中辞典	北京・対外経済貿易大学，北京商務印書館，小学館共同編集	小学館	中国語を学習する初学者から中級者に適した内容とレベルの辞書である。

６　準備学習（予習・復習）

○　予習は求めないが，復習は重要である。授業時間内にやり残した課題や十分に理解できなかったところは，復習しておくこと。それでも不明なことがある場合は，早めに質問をするように。

○　語彙については，こまめに復習し，習得の機会を増やすことが重要である（1コマあたり約0.5時間）。

○　ほぼ毎週行われる小テストの成績は配点が大きいので十分に準備して臨むこと（1コマあたり約40分）。

７　授業計画

（１）　講義の方法

基本的な文字の読み方と，発音練習を授業内で繰り返し行う。また文法等の演習課題を行うことと，理解のポイントについての解説が授業の中心となる。少人数できめ細かい語学指導を行う。授業には，教科書と前週までのハンドアウトを持参すること。なおAB組の分け方は他の科目の分け方とは一致しないので注意すること。

（２）　講義の内容

中国語を初めて学修するための初中級向けの授業内容である。課題と解説を通じて発音，語彙，文法，重要表現の基本を身につける。授業中は，間違うことを恐れずに，積極的に声に出して発音練習をすることが重要である。発音，語彙，文法の理解については，学生の理解度を確認しながら調整して解説を進めていく。また，疑問点や確認したいことがあれば，その都度，積極的に質問することを推奨する。

中国語

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/9/3(水)	1	A	講義	単母音，声調，子音	―	非常勤講師	李 恩郷	204講
2025/9/3(水)	2	B	講義		―	非常勤講師	李 恩郷	204講
2025/9/10(水)	1	A	講義	複母音，声調のつけ方，鼻母音，r化音	―	非常勤講師	李 恩郷	204講
2025/9/10(水)	2	B	講義		―	非常勤講師	李 恩郷	204講
2025/9/17(水)	1	A	講義	声調の変化，ピンインの復習，中国語辞書の使い方，中国語の入力法	―	非常勤講師	李 恩郷	204講
2025/9/17(水)	2	B	講義		―	非常勤講師	李 恩郷	204講
2025/9/24(水)	1	A	講義	第6課の単語・本文	―	非常勤講師	李 恩郷	204講
2025/9/24(水)	2	B	講義		―	非常勤講師	李 恩郷	204講
2025/10/1(水)	1	A	講義	第6課の文法・練習問題	―	非常勤講師	李 恩郷	204講
2025/10/1(水)	2	B	講義		―	非常勤講師	李 恩郷	204講
2025/10/8(水)	1	A	講義	第7課の単語・本文	―	非常勤講師	李 恩郷	204講
2025/10/8(水)	2	B	講義		―	非常勤講師	李 恩郷	204講
2025/10/15(水)	1	A	講義	第7課の文法・練習問題	―	非常勤講師	李 恩郷	204講
2025/10/15(水)	2	B	講義		―	非常勤講師	李 恩郷	204講
2025/10/29(水)	1	A	講義	第8課の単語・本文	―	非常勤講師	李 恩郷	204講
2025/10/29(水)	2	B	講義		―	非常勤講師	李 恩郷	204講
2025/11/5(水)	1	A	講義	第8課の文法・練習問題	―	非常勤講師	李 恩郷	204講
2025/11/5(水)	2	B	講義		―	非常勤講師	李 恩郷	204講
2025/11/12(水)	1	A	講義	第9課の単語・本文	―	非常勤講師	李 恩郷	204講
2025/11/12(水)	2	B	講義		―	非常勤講師	李 恩郷	204講
2025/11/19(水)	1	A	講義	第9課の文法・練習問題	―	非常勤講師	李 恩郷	204講
2025/11/19(水)	2	B	講義		―	非常勤講師	李 恩郷	204講
2025/11/26(水)	1	A	講義	最近の翻訳アプリ，翻訳機などの紹介，メディカルハンドブック・実践練習	―	非常勤講師	李 恩郷	204講
2025/11/26(水)	2	B	講義		―	非常勤講師	李 恩郷	204講
2025/12/3(水)	1	A	講義	総復習	―	非常勤講師	李 恩郷	204講
2025/12/3(水)	2	B	講義		―	非常勤講師	李 恩郷	204講
2025/12/10(水)	**1**	**AB**	**ー**	**定期試験**	**外国語**	**准教授**	**平田 亜紀**	**204講**

8 オフィスアワー　　中国語

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
平田　亜紀	准教授	外国語	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階B201研究室
李　恩郷	非常勤講師	―	講義終了後，講義室にて		

韓　　国　　語

【単位数：1単位，授業13コマ（定期試験含まず）】

1　科目責任者

平田亜紀　准教授（外国語）

科目担当者

朴（パク）　成柱（ソンジュ）（非常勤講師）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅰ-2-c，Ⅰ-5-c，Ⅱ-1-c，Ⅱ-2-c）

① コアコンピテンスの「他者の多様な価値観を尊重できる」，「患者と家族の心理・社会的背景を理解し，全人的に対応できる」，「患者・家族・医療チームメンバー・住民・社会と良好な関係を構築できる」ために，また「心理・生活・文化的背景を適切に把握するための，支持的・共感的なコミュニケーションをとることができる」ようになるために，外国語でのコミュニケーション能力を高めるとともに，異文化に対する理解を深める。

② 個や集団に及ぼす文化・慣習による影響(コミュニケーションの在り方等)が理解できるようになる。

（2）　学修目標

① 患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し，柔軟に対応できる。

② 良好な人間関係を構築するために必要なスキルとして，開講される外国語を母語とする患者へ簡単な挨拶や声かけをすることができる。

③ 言語・文化・慣習によってコミュニケーションのあり方が異なることを例示できる。

④ ハングルを習得し，テキストの読解を通して語彙力を身につけ，韓国語で書かれた簡単な文を理解できる。

⑤ 旅行によく使われる表現など，実際の場面で役に立つ基本的な会話を行うことができる。

⑥ 日本の文化との対比から隣国である韓国の文化を理解し，文化の多様性や多様な価値観を尊重できる。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
平常点	○	40%	語彙・文法の練習問題，実技試験，提出物など
定期試験	○	60%	記述式の筆記試験
態度	○	—	遅刻・欠席を含め受講態度不良の場合は，10%を限度に減点する。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）　合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（3）　再試験・再評価の方法

上記（2）で総合成績が60%未満の場合は，再試験を実施する。

再試験は定期試験に準ずる試験を実施する。60%以上を合格とする。

（4）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

毎回の小テストとレポートに対する解説は授業中に随時行う。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
三訂版 パランセ韓国語初級	金京子/喜多恵美子	朝日出版社	韓国語を学習する初学者に適した内容であるため。

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
韓国朝鮮語初級テキスト ことばの架け橋（말의 가교） （改訂版）	生越直樹/曺喜徹	白帝社	韓国語を学ぶのに必要な文法が丁寧に解説されているため。

6　準備学習（予習・復習）

○　予習は求められないが，復習は重要である。授業時間内にやり残した課題や十分に理解できなかったところは，復習しておくこと。それでも不明なことがある場合は，早めに質問をすること。

○　語彙については，こまめに復習し，習得の機会を増やすことが重要である（1コマあたり約0.5時間）。

○　ほぼ毎週行われる小テストの成績は配点が大きいので十分に準備して臨むこと（1コマあたり約40分）。

7　授業計画

（１）　講義の方法

基本的な文字の読み方と，発音練習を授業内で繰り返し行う。また文法等の演習課題を行うことと，理解のポイントについての解説が授業の中心となる。少人数できめ細かい語学指導を行う。授業には，教科書と前週までのハンドアウトを持参すること。なおAB組の分け方は他の科目の分け方とは一致しないので注意すること。

（２）　講義の内容

韓国語を初めて学ぶ受講生を対象に，基礎的な文法や語彙の学習，初歩的な言語の実践を通じて韓国語圏の文化や世界観を知り，その理解のプロセスによって多様な人々との協働，多文化に対する開かれた寛容な態度，想定外の諸局面に対応する柔軟性を培う。

韓国語

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/9/3(水)	1	A	講義	オリエンテーション:ハングルの仕組みについて	ー	非常勤講師	朴 成柱	203講
2025/9/3(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	朴 成柱	203講
2025/9/10(水)	1	A	講義	文字と発音:母音(1), 子音(1)	ー	非常勤講師	朴 成柱	203講
2025/9/10(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	朴 成柱	203講
2025/9/17(水)	1	A	講義	文字と発音:母音(2), 子音(2)	ー	非常勤講師	朴 成柱	203講
2025/9/17(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	朴 成柱	203講
2025/9/24(水)	1	A	講義	文字と発音:発音変化の規則	ー	非常勤講師	朴 成柱	203講
2025/9/24(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	朴 成柱	203講
2025/10/1(水)	1	A	講義	名詞文(-입니다)とその疑問形	ー	非常勤講師	朴 成柱	203講
2025/10/1(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	朴 成柱	203講
2025/10/8(水)	1	A	講義	動詞・形容詞の否定文:**小テスト①**	ー	非常勤講師	朴 成柱	203講
2025/10/8(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	朴 成柱	203講
2025/10/15(水)	1	A	講義	固有数詞, 時間の表現方法	ー	非常勤講師	朴 成柱	203講
2025/10/15(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	朴 成柱	203講
2025/10/29(水)	1	A	講義	スピーチ:韓国語での自己紹介	ー	非常勤講師	朴 成柱	203講
2025/10/29(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	朴 成柱	203講
2025/11/5(水)	1	A	講義	予定の表現	ー	非常勤講師	朴 成柱	203講
2025/11/5(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	朴 成柱	203講
2025/11/12(水)	1	A	講義	丁寧形の語尾:**小テスト②**	ー	非常勤講師	朴 成柱	203講
2025/11/12(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	朴 成柱	203講
2025/11/19(水)	1	A	講義	해요体の終結語尾	ー	非常勤講師	朴 成柱	203講
2025/11/19(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	朴 成柱	203講
2025/11/26(水)	1	A	講義	希望表現, 過去形:**小テスト③**	ー	非常勤講師	朴 成柱	203講
2025/11/26(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	朴 成柱	203講
2025/12/3(水)	1	A	講義	まとめと練習問題	ー	非常勤講師	朴 成柱	203講
2025/12/3(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	朴 成柱	203講
2025/12/10(水)	**1**	**AB**	**ー**	**定期試験**	**外国語**	**准教授**	**平田 亜紀**	**203講**

8 オフィスアワー　　韓国語

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
平田　亜紀	准教授	外国語	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階B201研究室
朴　成柱	非常勤講師	名古屋大学	講義終了後，講義室にて		

ド　イ　ツ　語

【単位数：1単位，授業 13 コマ（定期試験含まず）】

1　科目責任者

平田亜紀　准教授（外国語）

科目担当者
中川拓哉（非常勤講師）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅰ-2-c，Ⅰ-5-c，Ⅱ-1-c，Ⅱ-2-c）

① コアコンピテンスの「他者の多様な価値観を尊重できる」，「患者と家族の心理・社会的背景を理解し，全人的に対応できる」，「患者・家族・医療チームメンバー・住民・社会と良好な関係を構築できる」ために，また「心理・生活・文化的背景を適切に把握するための，支持的・共感的なコミュニケーションをとることができる」ようになるために，外国語でのコミュニケーション能力を高めるとともに，異文化に対する理解を深める。
② 個や集団に及ぼす文化・慣習による影響(コミュニケーションの在り方等)が理解できるようになる。

（2）　学修目標

① 患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し，柔軟に対応できる。
② 良好な人間関係を構築するために必要なスキルとして，開講される外国語を母語とする患者へ簡単な挨拶や声かけをすることができる。
③ 言語・文化・慣習によってコミュニケーションのあり方が異なることを例示できる。
④ 「読む」「書く」「聞く」「話す」というドイツ語の4技能を培い，ドイツ語で簡単なコミュニケーションをとることができる。
⑤ ドイツの文化についての理解を深めることで，日本文化にはない多様な価値観を尊重できる。
⑥ 基礎的な文法の習得に加え，ペアワーク，グループワーク，プレゼンテーションといった実践的な練習を通じて，自身で試行錯誤しながら行うコミュニケーション力を身につける。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
平常点	○	30%	AIDLE-Kを通じた課題・小テスト・音読練習など。
定期試験	○	70%	記述式の筆記試験(一部多肢選択問題を含む)
態度	○	—	遅刻・欠席を含め受講態度不良の場合は，10%を限度に減点する。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）　合格基準

評価対象の合計が60%以上で合格とする。

（3）　再試験・再評価の方法

上記（2）で総合成績が60%未満の場合は，再試験を実施する。
再試験は定期試験に準ずる試験を実施する。60%以上を合格とする。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

毎回の小テストとレポートに対する解説は授業中に随時行う。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
つながるドイツ語みっとりーベ	中村　修 中川拓哉 大澤タカコ	朝日出版社	ドイツ語を学習する初学者に適した内容とレベルである。

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
ドイツ語学習用インターネットサイト Deutsche Welle https://learngerman.dw.com/en/beginners/s-62078399			ドイツが提供している。レベルに応じた様々なコンテンツがある。ページの言語は英語だが平易に書かれている。

6　準備学習（予習・復習）

○　予習は求めないが，復習は重要である。授業時間内にやり残した課題や十分に理解できなかったところは，復習しておくこと。それでも不明なことがある場合は，早めに質問をするように。

○　語彙や表現については，教科書や参考書籍によって復習し，実践の機会を継続することが重要である（1コマあたり約0.5時間）。

○　単元のまとめに実施する提出課題などにも十分に準備して臨むこと（1コマあたり約40分）。

7　授業計画

（１）　講義の方法

基本的な文字の読み方と，発音練習を授業内で繰り返し行う。また文法等の演習課題を行うことと，理解のポイントについての解説が授業の中心となる。きめ細かい語学指導を行う。授業には，教科書と前週までのハンドアウトを持参すること。なおAB組の分け方は他の科目の分け方とは一致しないので注意すること。

（２）　講義の内容

ドイツ語を初めて学修するための初中級向けの授業内容である。課題と解説を通じて発音，語彙，文法，重要表現の基本を身につける。授業中は，間違うことを恐れずに，積極的に声に出して発音練習をすることが重要である。発音，語彙，文法の理解については，学生の理解度を確認しながら調整して解説を進めていく。また，疑問点や確認したいことがあれば，その都度，積極的に質問することを推奨する。

ドイツ語

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/9/3(水)	1	A	講義	アルファベート，発音，基本のあいさつ	ー	非常勤講師	中川　拓哉	205講
2025/9/3(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	中川　拓哉	205講
2025/9/10(水)	1	A	講義	動詞①:人称代名詞，動詞の現在人称変化，疑問文の作り方	ー	非常勤講師	中川　拓哉	205講
2025/9/10(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	中川　拓哉	205講
2025/9/17(水)	1	A	講義	動詞②:sein，自己紹介	ー	非常勤講師	中川　拓哉	205講
2025/9/17(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	中川　拓哉	205講
2025/9/24(水)	1	A	講義	動詞③:haben，名詞の性と格①:定冠詞	ー	非常勤講師	中川　拓哉	205講
2025/9/24(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	中川　拓哉	205講
2025/10/1(水)	1	A	講義	名詞の性と格②:不定冠詞	ー	非常勤講師	中川　拓哉	205講
2025/10/1(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	中川　拓哉	205講
2025/10/8(水)	1	A	講義	名詞の性と格③:否定冠詞kein	ー	非常勤講師	中川　拓哉	205講
2025/10/8(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	中川　拓哉	205講
2025/10/15(水)	1	A	講義	名詞の性と格③:所有冠詞	ー	非常勤講師	中川　拓哉	205講
2025/10/15(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	中川　拓哉	205講
2025/10/29(水)	1	A	講義	代名詞:格変化，3人称の使い分け	ー	非常勤講師	中川　拓哉	205講
2025/10/29(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	中川　拓哉	205講
2025/11/5(水)	1	A	講義	数字①　数字の読み方	ー	非常勤講師	中川　拓哉	205講
2025/11/5(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	中川　拓哉	205講
2025/11/12(水)	1	A	講義	数字②　時間表現	ー	非常勤講師	中川　拓哉	205講
2025/11/12(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	中川　拓哉	205講
2025/11/19(水)	1	A	講義	助動詞①:「できる」，「したい」	ー	非常勤講師	中川　拓哉	205講
2025/11/19(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	中川　拓哉	205講
2025/11/26(水)	1	A	講義	助動詞②:「しなければならない」	ー	非常勤講師	中川　拓哉	205講
2025/11/26(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	中川　拓哉	205講
2025/12/3(水)	1	A	講義	学習内容のまとめ	ー	非常勤講師	中川　拓哉	205講
2025/12/3(水)	2	B	講義		ー	非常勤講師	中川　拓哉	205講
2025/12/10(水)	**1**	**AB**	**ー**	**定期試験**	**外国語**	**准教授**	**平田　亜紀**	**205講**

8 オフィスアワー　　ドイツ語

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
平田　亜紀	准教授	外国語	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階B201研究室
中川　拓哉	非常勤講師	―	講義終了後，講義室にて		

初年次医科学セミナー

【単位数：1.5単位，授業22コマ】

1　科目責任者

宮本　淳　教授（心理学）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅰ-6-c，Ⅰ-7-c，Ⅰ-8-c，Ⅱ-3-c，Ⅲ-1-c，Ⅲ-10-c，Ⅳ-5-c）

① コアコンピテンスの「医学的知識」の概念を理解し「科学的探究心」を涵養するために，人文・社会・自然科学的事象を多角的に捉え，自分の力で課題を発見し，自己学習で問題解決するための能力を獲得する。演習等を通して，「コミュニケーション」における効果的な協働のために，相手に応じて適切な方法で情報の収集・集約・伝達を行うための基本的な技能・態度を習得する。

② 少人数セミナー単位での学修から，生涯にわたって共に学ぶ姿勢や学び続ける価値観を培う。医学生に相応しい教養を身につける。

（２）　学修目標

① 必要な課題を自ら発見できる。
② 自分に必要な課題を，重要性・必要性に照らして順位付けできる。
③ 課題を解決する具体的な方法を発見し，解決できる。
④ 課題の解決に当たり，他の学生や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。
⑤ 適切な自己評価ができ，改善のための具体的方策を立てることができる。
⑥ 得られた情報を統合し，客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
態度	○	50%	授業内での様々な活動への参加及びその取り組みの状況を評価する。
その他	○	50%	授業内外でのレポート課題や発表内容（プレゼンテーション等）を評価する。

出席：　単位修得のためには欠席率が3分の1を超えてはならない。
評価は各セミナーで行われる。各セミナーの評価方法とその割合はガイダンスで説明される。

（２）　合格基準

定期試験は行わない。
各担当教員が評価し，評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

各担当教員の指示に従う。60%以上を合格とする。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

課題や発表に対する教員からのフィードバックは，その都度，講義や演習において行われる。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
各担当者が適宜指示する。			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
各担当者が適宜指示する。			

6　準備学習（予習・復習）

毎週の授業内容は各担当者からあらかじめ指示されるので，それに従って事前準備を行うこと（1コマあたり約0.5時間）。

7　授業計画

（１）　講義の方法

セミナーの割り振りは，ガイダンスでの希望調査に基づいた上，人数調整を経て行う。毎週のセミナーでは，各担当教員のもと，ねらいに沿って少人数教育を行う。

（２）　講義の内容

具体的な1年間の授業内容は各担当教員から提示される。原則，前期は各教員の専門性に基づいた単独セミナーを行う。後期は複数のセミナーが融合し，複数の専門領域にまたがる学際的な合同セミナーを行う場合もある。

初年次医科学セミナー

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/15(火)	5	ー	演習	（前期：各教員のテーマは以下の通りである。 下記テーマのうちから選択受講をする。） ・体験から学ぶ心理学 ・臨床につながる基礎医学演習 ・物理を楽しむ ・数理とデータサイエンスとAI ・有機化学を楽しもう ・生命科学の最前線 ・科学番組を題材とした物理 ・「ことば」から考えるコミュニケーション ・現代の問題を考える倫理学 ・英米文学の世界：想像力／創造力の探求 （後期は，各教員が融合し学際的なテーマを設定して進行する合同セミナーを行う場合もある。）	心理学	教授	宮本 淳	201講 203講 204講 205講 303講 304講 305講 N211 マルチA マルチB 物理実 化学実
					生物学	教授	武内 恒成	
					アドミC	教授	仙石 昌也	
					数学	教授(特任)	橋本 貴宏	
					化学	教授(特任)	有信 哲哉	
					生物学	教授(特任)	池野 正史	
					物理学	准教授	山下 敏史	
					外国語	准教授	平田 亜紀	
					哲学	講師	川﨑 優	
					外国語	助教	小川 恭佑	
2025/4/22(火)	5	ー	演習		心理学	教授	宮本 淳	201講 203講 204講 205講 303講 304講 305講 N211 マルチA マルチB 物理実 化学実
					生物学	教授	武内 恒成	
					アドミC	教授	仙石 昌也	
					数学	教授(特任)	橋本 貴宏	
					化学	教授(特任)	有信 哲哉	
					生物学	教授(特任)	池野 正史	
					物理学	准教授	山下 敏史	
					外国語	准教授	平田 亜紀	
					哲学	講師	川﨑 優	
					外国語	助教	小川 恭佑	
2025/5/20(火)	5	ー	演習		心理学	教授	宮本 淳	201講 203講 204講 205講 303講 304講 305講 N211 マルチA マルチB 物理実 化学実
					生物学	教授	武内 恒成	
					アドミC	教授	仙石 昌也	
					数学	教授(特任)	橋本 貴宏	
					化学	教授(特任)	有信 哲哉	
					生物学	教授(特任)	池野 正史	
					物理学	准教授	山下 敏史	
					外国語	准教授	平田 亜紀	
					哲学	講師	川﨑 優	
					外国語	助教	小川 恭佑	
2025/6/3(火)	5	ー	演習		心理学	教授	宮本 淳	201講 203講 204講 205講 303講 304講 305講 N211 マルチA マルチB 物理実 化学実
					生物学	教授	武内 恒成	
					アドミC	教授	仙石 昌也	
					数学	教授(特任)	橋本 貴宏	
					化学	教授(特任)	有信 哲哉	
					生物学	教授(特任)	池野 正史	
					物理学	准教授	山下 敏史	
					外国語	准教授	平田 亜紀	
					哲学	講師	川﨑 優	
					外国語	助教	小川 恭佑	
2025/6/10(火)	5	ー	演習		心理学	教授	宮本 淳	201講 203講 204講 205講 303講 304講 305講 N211 マルチA マルチB 物理実 化学実
					生物学	教授	武内 恒成	
					アドミC	教授	仙石 昌也	
					数学	教授(特任)	橋本 貴宏	
					化学	教授(特任)	有信 哲哉	
					生物学	教授(特任)	池野 正史	
					物理学	准教授	山下 敏史	
					外国語	准教授	平田 亜紀	
					哲学	講師	川﨑 優	
					外国語	助教	小川 恭佑	

初年次医科学セミナー

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/6/17(火)	5	ー	演習	（前期：各教員のテーマは以下の通りである。 下記テーマのうちから選択受講をする。） ・体験から学ぶ心理学 ・臨床につながる基礎医学演習 ・物理を楽しむ ・数理とデータサイエンスとAI ・有機化学を楽しもう ・生命科学の最前線 ・科学番組を題材とした物理 ・「ことば」から考えるコミュニケーション ・現代の問題を考える倫理学 ・英米文学の世界：想像力／創造力の探求 （後期は，各教員が融合し学際的なテーマを設定して進行する合同セミナーを行う場合もある。）	心理学	教授	宮本 淳	201講 203講 204講 205講 303講 304講 305講 N211 マルチA マルチB 物理実 化学実
					生物学	教授	武内 恒成	
					アドミC	教授	仙石 昌也	
					数学	教授(特任)	橋本 貴宏	
					化学	教授(特任)	有信 哲哉	
					生物学	教授(特任)	池野 正史	
					物理学	准教授	山下 敏史	
					外国語	准教授	平田 亜紀	
					哲学	講師	川﨑 優	
					外国語	助教	小川 恭佑	
2025/6/24(火)	5	ー	演習		心理学	教授	宮本 淳	201講 203講 204講 205講 303講 304講 305講 N211 マルチA マルチB 物理実 化学実
					生物学	教授	武内 恒成	
					アドミC	教授	仙石 昌也	
					数学	教授(特任)	橋本 貴宏	
					化学	教授(特任)	有信 哲哉	
					生物学	教授(特任)	池野 正史	
					物理学	准教授	山下 敏史	
					外国語	准教授	平田 亜紀	
					哲学	講師	川﨑 優	
					外国語	助教	小川 恭佑	
2025/7/1(火)	5	ー	演習		心理学	教授	宮本 淳	201講 203講 204講 205講 303講 304講 305講 N211 マルチA マルチB 物理実 化学実
					生物学	教授	武内 恒成	
					アドミC	教授	仙石 昌也	
					数学	教授(特任)	橋本 貴宏	
					化学	教授(特任)	有信 哲哉	
					生物学	教授(特任)	池野 正史	
					物理学	准教授	山下 敏史	
					外国語	准教授	平田 亜紀	
					哲学	講師	川﨑 優	
					外国語	助教	小川 恭佑	
2025/7/8(火)	5	ー	演習		心理学	教授	宮本 淳	201講 203講 204講 205講 303講 304講 305講 N211 マルチA マルチB 物理実 化学実
					生物学	教授	武内 恒成	
					アドミC	教授	仙石 昌也	
					数学	教授(特任)	橋本 貴宏	
					化学	教授(特任)	有信 哲哉	
					生物学	教授(特任)	池野 正史	
					物理学	准教授	山下 敏史	
					外国語	准教授	平田 亜紀	
					哲学	講師	川﨑 優	
					外国語	助教	小川 恭佑	
2025/7/15(火)	5	ー	演習		心理学	教授	宮本 淳	201講 203講 204講 205講 303講 304講 305講 N211 マルチA マルチB 物理実 化学実
					生物学	教授	武内 恒成	
					アドミC	教授	仙石 昌也	
					数学	教授(特任)	橋本 貴宏	
					化学	教授(特任)	有信 哲哉	
					生物学	教授(特任)	池野 正史	
					物理学	准教授	山下 敏史	
					外国語	准教授	平田 亜紀	
					哲学	講師	川﨑 優	
					外国語	助教	小川 恭佑	

初年次医科学セミナー

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/9/2(火)	5	ー	演習	（前期：各教員のテーマは以下の通りである。 下記テーマのうちから選択受講をする。） ・体験から学ぶ心理学 ・臨床につながる基礎医学演習 ・物理を楽しむ ・数理とデータサイエンスとAI ・有機化学を楽しもう ・生命科学の最前線 ・科学番組を題材とした物理 ・「ことば」から考えるコミュニケーション ・現代の問題を考える倫理学 ・英米文学の世界：想像力／創造力の探求 （後期は，各教員が融合し学際的なテーマを設定して進行する合同セミナーを行う場合もある。）	心理学	教授	宮本 淳	201講 203講 204講 205講 303講 304講 305講 N211 マルチA マルチB 物理実 化学実
					生物学	教授	武内 恒成	
					アドミC	教授	仙石 昌也	
					数学	教授(特任)	橋本 貴宏	
					化学	教授(特任)	有信 哲哉	
					生物学	教授(特任)	池野 正史	
					物理学	准教授	山下 敏史	
					外国語	准教授	平田 亜紀	
					哲学	講師	川﨑 優	
					外国語	助教	小川 恭佑	
2025/9/9(火)	5	ー	演習		心理学	教授	宮本 淳	201講 203講 204講 205講 303講 304講 305講 N211 マルチA マルチB 物理実 化学実
					生物学	教授	武内 恒成	
					アドミC	教授	仙石 昌也	
					数学	教授(特任)	橋本 貴宏	
					化学	教授(特任)	有信 哲哉	
					生物学	教授(特任)	池野 正史	
					物理学	准教授	山下 敏史	
					外国語	准教授	平田 亜紀	
					哲学	講師	川﨑 優	
					外国語	助教	小川 恭佑	
2025/9/16(火)	5	ー	演習		心理学	教授	宮本 淳	201講 203講 204講 205講 303講 304講 305講 N211 マルチA マルチB 物理実 化学実
					生物学	教授	武内 恒成	
					アドミC	教授	仙石 昌也	
					数学	教授(特任)	橋本 貴宏	
					化学	教授(特任)	有信 哲哉	
					生物学	教授(特任)	池野 正史	
					物理学	准教授	山下 敏史	
					外国語	准教授	平田 亜紀	
					哲学	講師	川﨑 優	
					外国語	助教	小川 恭佑	
2025/9/30(火)	5	ー	演習		心理学	教授	宮本 淳	201講 203講 204講 205講 303講 304講 305講 N211 マルチA マルチB 物理実 化学実
					生物学	教授	武内 恒成	
					アドミC	教授	仙石 昌也	
					数学	教授(特任)	橋本 貴宏	
					化学	教授(特任)	有信 哲哉	
					生物学	教授(特任)	池野 正史	
					物理学	准教授	山下 敏史	
					外国語	准教授	平田 亜紀	
					哲学	講師	川﨑 優	
					外国語	助教	小川 恭佑	
2025/10/7(火)	5	ー	演習		心理学	教授	宮本 淳	201講 203講 204講 205講 303講 304講 305講 N211 マルチA マルチB 物理実 化学実
					生物学	教授	武内 恒成	
					アドミC	教授	仙石 昌也	
					数学	教授(特任)	橋本 貴宏	
					化学	教授(特任)	有信 哲哉	
					生物学	教授(特任)	池野 正史	
					物理学	准教授	山下 敏史	
					外国語	准教授	平田 亜紀	
					哲学	講師	川﨑 優	
					外国語	助教	小川 恭佑	

初年次医科学セミナー

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/10/14(火)	5	ー	演習		心理学 生物学 アドミC 数学 化学 生物学 物理学 外国語 哲学 外国語	教授 教授 教授 教授(特任) 教授(特任) 教授(特任) 准教授 准教授 講師 助教	宮本 淳 武内 恒成 仙石 昌也 橋本 貴宏 有信 哲哉 池野 正史 山下 敏史 平田 亜紀 川﨑 優 小川 恭佑	201講 203講 204講 205講 303講 304講 305講 N211 マルチA マルチB 物理実 化学実
2025/10/28(火)	5	ー	演習		心理学 生物学 アドミC 数学 化学 生物学 物理学 外国語 哲学 外国語	教授 教授 教授 教授(特任) 教授(特任) 教授(特任) 准教授 准教授 講師 助教	宮本 淳 武内 恒成 仙石 昌也 橋本 貴宏 有信 哲哉 池野 正史 山下 敏史 平田 亜紀 川﨑 優 小川 恭佑	201講 203講 204講 205講 303講 304講 305講 N211 マルチA マルチB 物理実 化学実
2025/11/4(火)	5	ー	演習	（前期：各教員のテーマは以下の通りである。 下記テーマのうちから選択受講をする。） ・体験から学ぶ心理学 ・臨床につながる基礎医学演習 ・物理を楽しむ ・数理とデータサイエンスとAI ・有機化学を楽しもう ・生命科学の最前線 ・科学番組を題材とした物理 ・「ことば」から考えるコミュニケーション ・現代の問題を考える倫理学 ・英米文学の世界：想像力／創造力の探求 （後期は，各教員が融合し学際的なテーマを設定して進行する合同セミナーを行う場合もある。）	心理学 生物学 アドミC 数学 化学 生物学 物理学 外国語 哲学 外国語	教授 教授 教授 教授(特任) 教授(特任) 教授(特任) 准教授 准教授 講師 助教	宮本 淳 武内 恒成 仙石 昌也 橋本 貴宏 有信 哲哉 池野 正史 山下 敏史 平田 亜紀 川﨑 優 小川 恭佑	201講 203講 204講 205講 303講 304講 305講 N211 マルチA マルチB 物理実 化学実
2025/11/11(火)	5	ー	演習		心理学 生物学 アドミC 数学 化学 生物学 物理学 外国語 哲学 外国語	教授 教授 教授 教授(特任) 教授(特任) 教授(特任) 准教授 准教授 講師 助教	宮本 淳 武内 恒成 仙石 昌也 橋本 貴宏 有信 哲哉 池野 正史 山下 敏史 平田 亜紀 川﨑 優 小川 恭佑	201講 203講 204講 205講 303講 304講 305講 N211 マルチA マルチB 物理実 化学実
2025/11/18(火)	5	ー	演習		心理学 生物学 アドミC 数学 化学 生物学 物理学 外国語 哲学 外国語	教授 教授 教授 教授(特任) 教授(特任) 教授(特任) 准教授 准教授 講師 助教	宮本 淳 武内 恒成 仙石 昌也 橋本 貴宏 有信 哲哉 池野 正史 山下 敏史 平田 亜紀 川﨑 優 小川 恭佑	201講 203講 204講 205講 303講 304講 305講 N211 マルチA マルチB 物理実 化学実

初年次医科学セミナー

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/11/25(火)	5	ー	演習	(前期:各教員のテーマは以下の通りである。 下記テーマのうちから選択受講をする。) ・体験から学ぶ心理学 ・臨床につながる基礎医学演習 ・物理を楽しむ ・数理とデータサイエンスとAI ・有機化学を楽しもう ・生命科学の最前線 ・科学番組を題材とした物理 ・「ことば」から考えるコミュニケーション ・現代の問題を考える倫理学 ・英米文学の世界:想像力／創造力の探求 (後期は，各教員が融合し学際的なテーマを設定して進行する合同セミナーを行う場合もある。)	心理学 生物学 アドミC 数学 化学 生物学 物理学 外国語 哲学 外国語	教授 教授 教授 教授(特任) 教授(特任) 教授(特任) 准教授 准教授 講師 助教	宮本 淳 武内 恒成 仙石 昌也 橋本 貴宏 有信 哲哉 池野 正史 山下 敏史 平田 亜紀 川﨑 優 小川 恭佑	201講 203講 204講 205講 303講 304講 305講 N211 マルチA マルチB 物理実 化学実
2025/12/2(火)	5	ー	演習		心理学 生物学 アドミC 数学 化学 生物学 物理学 外国語 哲学 外国語	教授 教授 教授 教授(特任) 教授(特任) 教授(特任) 准教授 准教授 講師 助教	宮本 淳 武内 恒成 仙石 昌也 橋本 貴宏 有信 哲哉 池野 正史 山下 敏史 平田 亜紀 川﨑 優 小川 恭佑	201講 203講 204講 205講 303講 304講 305講 N211 マルチA マルチB 物理実 化学実

8 オフィスアワー　　初年次医科学セミナー

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
宮本　淳	教授	心理学	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階 B216研究室
武内　恒成	教授	生物学	月曜日	16:00～18:00	3号館基礎科学棟2階B213号室
仙石　昌也	教授	ｱﾄﾞﾐｯｼｮﾝｾﾝﾀｰ	火曜日	16:00～18:00	3号館基礎科学棟1階B101号室(アドミッションセンター)
橋本　貴宏	教授(特任)	数学	金曜日	15:00～16:00	3号館基礎科学棟2階B202研究室
有信　哲哉	教授(特任)	化学	月・水曜日	12:40～13:30	基礎科学棟B105化学研究室
池野　正史	教授(特任)	生物学	火曜日	16:00～18:00	3号館基礎科学棟2階B208号室
山下　敏史	准教授	物理学	火曜日 金曜日	16:30～18:00 15:30～17:00	3号館基礎科学棟2階 B209研究室
平田　亜紀	准教授	外国語	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階B201研究室
川﨑　優	講師	哲学	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階　B203研究室
小川　恭佑	助教	外国語	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階B210研究室

自然科学演習（物理学）

【単位数：0.5単位，授業10コマ（定期試験含まず）】

1　科目責任者

山下敏史　准教授（物理学）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅲ-１-ｃ）

① コンピテンスの“医学知識と科学的探究心”に関し，“医学的発見の基礎”となってきた物理学における“科学的理論と方法論”を学ぶうえで必要な基礎的事項について，討論や演習問題を通して考え方を身につける。

② 高校での物理非選択者，入試での物理非選択者が，高校の物理で学習する内容のうち力学，電気を中心に，医用物理学でこの分野における講義内容の不足を補う。

（２）　学修目標

① 様々な自然現象を物理学の観点から説明できる。

② 様々な自然現象を理解するために必要な物理量の定義，意味等を説明できる。

③ 物体に働く力と運動，電気に関する様々な現象を学び，それらを支配する基本的な法則，原理を説明できる。そして，それらの法則を適用して様々な問題を解くことができる。

④ 演習問題の結果を実際の現象と関連づけることができる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	50％	記述式を原則とし，答えに至る過程も重視する。
小テスト	○	30％	記述式を原則とし，答えに至る過程も重視する。
その他	○	20％	演習問題の発表や提出物等への取り組みに関して評価する。
態度	○	―	受講態度が著しく不良の場合は10％を上限として減点をする。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

再試験は定期試験に準ずる試験を行う。60％以上を合格とする。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

演習問題や小テストの解答例をAIDLE-Kに公開し，理解が不十分な項目を自分で把握し，自己学習により解決できるようにする。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
レジュメ配付			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
医歯系の物理学　第二版	赤野松太郎 鮎川武二 藤城敏幸 村田浩	東京教学社	一般教養としての物理学の基礎事項を広くカバーし，さらに人体や医学への応用例が豊富に掲載されている。 医用物理学の教科書。

6　準備学習（予習・復習）

○　初回を除き，講義前に，AIDLE-Kに公開される自習用の講義スライド及び教科書の該当箇所を予習し，理解しておく。あるいは理解できていない項目を明らかにしておく（1コマあたり約0.5時間）。

○　毎回の講義内容を復習し，「分かったこと」と「まだ分からないこと」をそれぞれ書き出す（1コマあたり約0.5時間）。物理では，以前に学んだことを基に新しい概念を順次導入していくため，毎回の講義を理解していくことが重要である。

○　AIDLE-Kに公開される演習問題や振り返りの問題のうち，学習した範囲の問題を解き，理解度を確認する（1コマあたり約1時間）。

7　授業計画

（1）　講義の方法

初回を除き，AIDLE-Kに公開される自習用スライドの内容の確認を知識伝達型の講義で行った後，演習問題を解く。演習問題の残りは次の時間の初めに発表を行う。時間に余裕があれば，小グループに分かれて討論を行う。

（2）　講義の内容

物理学は，一見複雑に見える自然現象に共通する法則を見抜き，それを少数の簡単な基本原理から導出し，理解する学問である。その手法の本質は，現象をよく観察しよく考えること（具眼考究）にあり，公式を暗記し当てはめるだけではなく，その「考え方」を身に付けることを目指す。

医用物理学と同様に，高校物理では用いられなかった微積分やベクトル等の数学を用いるため，初回に必要な数学知識を復習した後，質点の運動から剛体の回転運動，その後電気現象について学習する。

自然科学演習（物理学）

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/15(火)	4	ー	演習	講義概要，事前理解度チェック，数学の復習（有効数字，微分・積分，ベクトル）	物理学	准教授	山下 敏史	204講
2025/4/22(火)	4	ー	演習	運動の記述（単位，座標，速度・加速度）	物理学	准教授	山下 敏史	204講
2025/5/20(火)	4	ー	演習	ニュートンの運動法則（慣性・運動・作用反作用の法則）	物理学	准教授	山下 敏史	204講
2025/6/3(火)	4	ー	演習	運動の例①（等速度運動，等加速度運動）	物理学	准教授	山下 敏史	204講
2025/6/10(火)	4	ー	演習	**小テスト**，運動の例②（円運動，単振動）	物理学	准教授	山下 敏史	203講
2025/6/17(火)	4	ー	演習	運動法則の応用例（摩擦力，慣性力），運動の勢い（運動量，運動エネルギー，仕事）	物理学	准教授	山下 敏史	204講
2025/6/24(火)	4	ー	演習	エネルギー保存則（位置エネルギー，保存力，力学的エネルギー）	物理学	准教授	山下 敏史	204講
2025/7/1(火)	4	ー	演習	運動量保存則（力積，衝突現象）	物理学	准教授	山下 敏史	204講
2025/7/8(火)	4	ー	演習	剛体（質点系，重心，トルク，剛体のつり合い）	物理学	准教授	山下 敏史	204講
2025/7/15(火)	4	ー	演習	静電気（クーロンの法則，電場）	物理学	准教授	山下 敏史	204講
2025/7/22(火)	**3**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**物理学**	**准教授**	**山下 敏史**	**203講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
山下 敏史	准教授	物理学	火曜日 金曜日	16:30～18:00 15:30～17:00	3号館基礎科学棟2階 B209研究室

自然科学演習（化学）

【単位数：0.5単位，授業10コマ（定期試験含まず）】

1　科目責任者

有信哲哉　教授（特任）（化学）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅲ-１-ｃ）

① コンピテンスの「医学的知識と科学的探求心」に沿って，医学的発見の基礎となる科学的論理と方法論を説明できるように，有機化学の基礎を体系的に学ぶ。

② 生命現象を理解するための化学的な考え方を身につける。

（２）　学修目標

① 有機化合物の立体構造を説明できる。

② 重要な有機化合物の構造・性質・反応性を説明できる。

③ 生体を構成する分子の構造的特徴について述べることができ，その役割を説明できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	70％	記述式と多肢選択問題とする。
その他	○	30％	課題や演習，提出物などの取り組みに関して評価する。
態度	○	―	受講態度が不良の場合は，最大10％減点をする。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

評価対象項目の合計が60％未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する（60％以上で合格）。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

演習問題の解答例を公開し，理解が不十分な部分については自分で把握し，自己学習により解決できるようにする。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
配付プリント等			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
Primary 大学テキスト これだけはおさえたい化学	井口洋夫 他	実教出版	高等学校で化学が未履修の学生にとっては，とてもわかりやすく書かれている。

６　準備学習（予習・復習）

毎回講義前後に，予習（1コマあたり50分）・復習（1時間）を行うこと。また，講義で扱った内容の演習問題を解き，理解を深めること。

７　授業計画

（１）　講義の方法

少人数の講義であるため，学生との質疑応答を頻繁に行い，学生の理解度を確認しながら講義を進めていく。講義中に学生自身が分子模型を組み立てることで，分子の安定性や反応性について自ら考えてもらう。

（２）　講義の内容

高校における履修状況は多種多様であり，必ずしも化学の全分野を履修してきていない場合がある。医学・生化学を学んでいく上で，有機化学に関する知識は必須である。この分野の理解をより確実なものとするために，有機化合物の構造，物理化学的性質，反応機構などを提示しながら，化学現象の根底にある原理や法則性を見出す能力が身につくように講義を進めていく。

自然科学演習（化学）

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/15(火)	4	ー	講義	物質の構造，電子配置	化学	教授(特任)	有信　哲哉	化学研
2025/4/22(火)	4	ー	講義	周期表，化学結合，分子間相互作用	化学	教授(特任)	有信　哲哉	化学研
2025/5/20(火)	4	ー	講義	極性と分子の形，VSEPR則，結合角	化学	教授(特任)	有信　哲哉	化学研
2025/6/3(火)	4	ー	講義	有機化学の基礎，官能基，異性体，骨格構造式	化学	教授(特任)	有信　哲哉	化学研
2025/6/10(火)	4	ー	講義	アルカンと立体配座	化学	教授(特任)	有信　哲哉	化学研
2025/6/17(火)	4	ー	講義	シクロアルカンと立体配座（いす形・舟形）	化学	教授(特任)	有信　哲哉	化学研
2025/6/24(火)	4	ー	講義	アルケン，アルキン，付加反応	化学	教授(特任)	有信　哲哉	化学研
2025/7/1(火)	4	ー	講義	アルコール，エーテル，アルデヒド，ケトン	化学	教授(特任)	有信　哲哉	化学研
2025/7/8(火)	4	ー	講義	カルボン酸，エステル,芳香族化合物	化学	教授(特任)	有信　哲哉	化学研
2025/7/15(火)	4	ー	講義	生体分子	化学	教授(特任)	有信　哲哉	化学研
2025/7/22(火)	**3**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**化学**	**教授(特任)**	**有信　哲哉**	**化学研**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
有信　哲哉	教授(特任)	化学	月・水曜日	12:40～13:30	基礎科学棟B105化学研究室

自然科学演習（生命科学・生物学）

【単位数:0.5単位，授業10コマ(定期試験含まず)】

1　科目責任者

武内恒成　教授(生物学)

科目担当者
池野正史　教授(特任)(生物学)

2　教育目標

(1)　ねらい(Ⅲ-1-c，Ⅲ-2-c，Ⅲ-3-c，Ⅲ-9-c)

① “医学知識と科学的探究心”のコンピテンスに沿って，医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できるよう，生命科学(医学のベースとなる生命科学・生物学)の考え方と基礎知識を得る。
② とくに生物学を履修してこなかった学生に対して，生命科学的観点と知識で医学をとらえることができるように，さらに，分子解析や生物物理の観点で現代生命科学は成り立っていることを理解する。

(2)　学修目標

① 細胞の全体像を図示し，その構造及び機能，観察法を説明できる。
② ゲノム・染色体・遺伝子について概説できる。特にDNA/RNAの構造と塩基相補性の重要性を説明できる。
③ タンパク質の構造とアミノ酸組成，その1～4次構造の化学的裏付け，細胞生物学的重要性を機能と合わせて概説できる。
④ 生体分子の概要と，アミノ酸・核酸・脂質などと水分子の相関，疎水親水性などの理論を説明できる。
⑤ タンパク質の構造化学の重要性と，そこから導かれる酵素の基本概念を説明できる。
⑥ Mendel 遺伝，ミトコンドリア遺伝，インプリンティングと多因子遺伝について概説できる。
⑦ 生体物質と代謝の動態を概説できる。関連する酵素の構造と機能，反応速度論について概説できる。
⑧ 細胞骨格・細胞膜などの構造機能を概説できる。
⑨ 生体内物質の基礎と化学的成り立ち，タンパク質・脂質・核酸の構造機能を概説できる。
⑩ 生物化学と生物物理学的側面からのさまざまな先端生命科学の方法とその応用を列記できる。

3　成績の判定・評価

(1)　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	70%	多肢選択問題(マークシート)と記述問題を50%ずつ用いる。図示や概念図を記載するものを多用する。
レポート	○	30%	都度教科書に沿ったレポートを課すので，その提出(AIDLE-K利用での提出を求める)と取り組みを評価する。講義中あるいは途中での簡易小テストや提出(AIDLE-Kによる作業が中心となる)の結果もレポート配点として加味する。
態度	○	—	態度不良の場合，総合成績から上限10%まで減点をすることがある。

出席:　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2)　合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。レポートの取り組みや途中の課題の成績が不良の場合，さらにレポートなどの課題をレポート評価点として課すこともある。

（３） 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は，再試験を実施する。
再試験は定期試験に準ずる試験を行う。60%以上を合格とする。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

○ 積極的なAIDLE-Kでの資料及び動画の視聴・課題確認を怠らずに進めるよう留意すること。AIDLE-Kとeポートフォリオにおいてのフィードバックを行うので，頻繁な確認とともに備えること。この取り組みについてはレポート評価とともに進めて，不備が見られる場合にはAIDLE-Kなどを通して，連絡フィードバックを行う。

○ レポート課題や評価，あるいは講義中に出した課題の内容や総括をAIDLE-Kあるいは学内メールで配信する。

○ 講義の内容は全て教科書を中心に進めるので，教科書の積極的利用とその結果としてのレポートなどの提出は積極的に進めること。都度，課題と評価についてはAIDLE-Kなどを通してフィードバックを行う。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
『Essential 細胞生物学』第５版（日本語版）	B Alberts 他著 中村桂子他監訳	南江堂	世界的に最もベーシックかつ広く使われる「細胞の分子生物学 Molecular Biology of the Cell」の簡易版。優れた教科書であり，内容も網羅されている。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
『現代生命科学 第2版』	東京大学生命科学教科書編集委員会	羊土社	多くの大学において，生物学未履修者に対する入門用生命科学テキストとして定番として利用される。最新の知見も盛り込まれており，読み物としても興味深い。
『理系総合のための生命科学 第４版』	東京大学生命科学教科書編集委員会	羊土社	東大における英知を詰め込んだ絶妙な教科書で定評がある。最新の知見も盛り込まれ，深く読み込むほどに高度の知識がある。
好きになる分子生物学	萩原清文	講談社サイエンティフィク	簡易かつイラストも多用して基本的知識を整理している。項目ごとになっており使いやすい。
『大学生物学の教科書』 第１巻・細胞生物学	D・サダファ著 石崎泰樹，丸山敬監訳	講談社 ブルーバックス	アメリカにおける代表的なテキストの翻訳かつ小判で扱いやすい。広く受け入れられている教科書であり，お勧め。
『大学生物学の教科書』 第２巻・分子生物学	D・サダファ著 石崎泰樹，丸山敬監訳	講談社 ブルーバックス	内容は簡潔かつ扱いやすい。生物未履修者にはとても扱いやすい内容となっている。
『視覚でとらえるフォトサイエンス生物図録』	鈴木孝仁 監修	数研出版	基本を見直すためには最善の書籍。高校レベルの必要な知識が網羅されている。生物未履修者には必須。

6　準備学習（予習・復習）

○ 教科書「Essential 細胞生物学」の該当項目の概略，イメージ図，本文などを一読し，あらかじめ個人の理解度確認と内容の把握に勧める（1コマあたり約20分）。

○ 教科書とAIDLE-Kにアップされた資料を中心に内容の再確認とまとめを行う。教科書に準拠して進めるため該当箇所の確認と都度の一読を求める。AIDLE-Kに質問や課題が提示されていた場合には必ず答え，フィードバックすること（1コマあたり約0.5時間）。

○ 「細胞生物学」科目の教科書である「人体の細胞生物学」の同項目同領域を必ず確認して，相関をおさえておくこと。次回の講義とともに細胞生物学の講義に備えること（1コマあたり約0.5時間）。

7　授業計画

（1）　講義の方法

○ 講義を中心とするが，AIDLE-Kを利用した動画及び資料解説やAIDLE-Kあるいはクリッカーを用いた双方向性の講義を導入する。

○ 小グループでの討論とアクティブ・ラーニングとともに，簡易小テストやAIDLE-Kでの回答や振り返り及び講義後のAIDLE-Kでの課題提出を求めながら進めるので留意すること。

○ 主には大教室での知識伝達型の講義を前半に，後半は教科書を利用した積極的な自学を進めてもらうために，課題解決や当該科目の教科書と「細胞生物学」の教科書との連携を図るための調べ（レポート）などの取り組みとグループでの分担検索などのアクティブ・ラーニング（AL）を行う。

○ 今後の他科目の修得のためにも，教科書の徹底した利用を積極的に行うことを求める。

○ 動画資料の視聴やAIDLE-Kでの振り返り，課題などの共有のために，コンピュータ・タブレットの情報機器の講義持ち込みを必須とする（ただし講義使用以外は許可しない，受講態度として評価することもある）。

（2）　講義の内容

現代生命科学は，分子細胞生物学を中心として進み，情報科学や工学技術を取りこんだ劇的な進展を遂げている。分子生物学は，物理学的側面の生物物理学をその黎明期から基盤として展開し，もはや化学的解析を超えた理論科学や物理的解析を必要としている。これら知見や技術は様々な臨床応用にもつながっている。タンパク質・核酸・脂質の振る舞いは，生物物理学的な解析からの分子の構造（形）及び振る舞いに立脚していること，その統合として成り立つ細胞はシステム生命科学として理論的な解釈が進められている。さらに高次な臓器・器官も統合的な理解が進んでいる。そのための解析の技術の一端を意識しながら，生命科学を統合的な学問としてみるために，「細胞生物学」やその後の基礎医学をトータルに捉えて理解するために必要最低限の知識を得てもらうことを目標とする。当科目だけで完結するものではなく，常に「細胞生物学」の科目内容とその教科書などと相互に補完するものであることを強く意識して学修することを求める。

自然科学演習（生命科学・生物学）

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/15(火)	4	ー	講義	生命の基礎単位，細胞小器官	生物学	教授	武内 恒成	303講
2025/4/22(火)	4	ー	講義	分子遺伝学の基礎，セントラルドグマ	動物実験	准教授	松下 夏樹	303講
2025/5/20(火)	4	ー	講義	タンパク質の機能，膜の構造	生物学	教授(特任)	池野 正史	303講
2025/6/3(火)	4	ー	講義	細胞の分裂，DNAの複製	動物実験	准教授	松下 夏樹	303講
2025/6/10(火)	4	ー	講義	遺伝子発現1・転写	動物実験	准教授	松下 夏樹	303講
2025/6/17(火)	4	ー	講義	代謝と生体エネルギー生産	研創支C	准教授	服部 聡子	303講
2025/6/24(火)	4	ー	講義	遺伝子発現2・翻訳と修飾	動物実験	准教授	松下 夏樹	303講
2025/7/1(火)	4	ー	講義	遺伝子発現の調節	動物実験	准教授	松下 夏樹	303講
2025/7/8(火)	4	ー	講義	有性生殖，減数分裂，遺伝	動物実験	准教授	松下 夏樹	303講
2025/7/15(火)	4	ー	演習	振り返り	生物学	教授(特任)	池野 正史	303講
2025/7/22(火)	**3**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**生物学**	**教授**	**武内 恒成**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
武内　恒成	教授	生物学	月曜日	16:00～18:00	3号館基礎科学棟2階B213号室
池野　正史	教授(特任)	生物学	火曜日	16:00～18:00	3号館基礎科学棟2階B208号室
松下　夏樹	准教授	総合医学研究機構動物実験部門	月～金	16:00～18:00	5号館総合実験研究棟1階動物実験部門
服部　聡子	准教授	研究創出支援センター	月曜日	16:00～18:00	2号館1階研究創出支援センター

哲　学　と　医　療

【単位数：1単位，授業13コマ】

1　科目責任者

川﨑　優　講師（哲学）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅰ-2-c）

① コンピテンスである「プロフェッショナリズム」の「他者の多様な価値観を尊重できる」ようになるため，哲学・倫理学をとおして学ぶ。
② 倫理的問題についての対話をとおして多様な価値観を学び，尊重できる。
③ 哲学的議論について批判的に検討する力を身につける。

（2）　学修目標

① 医療技術の進歩がどのような倫理的問題をもたらしうるか説明できる。
② 遺伝子操作やエンハンスメントをめぐる哲学的議論を説明できる。
③ 遺伝子操作やエンハンスメントに対する自分の考えを論理的に説明できる。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
小レポート	○	100％	毎回の講義で提出するリアクションペーパーの内容を評価する。
態度	○	－	受講態度が著しく不良の場合は，総合成績の10％を限度に減点をする。

出席：　単位を修得するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（3）　再試験・再評価の方法

上記（2）で総合成績が60％未満の場合は，課題・レポートを課す。60％以上を合格とする。

（4）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

リアクションペーパーの内容に対して，授業の中でフィードバックを行う。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
完全な人間を目指さなくてもよい理由―遺伝子操作とエンハンスメントの倫理	マイケル・サンデル	ナカニシヤ出版	遺伝子操作やエンハンスメントをめぐる倫理についてわかりやすく述べられている。

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
人間〈改良〉の倫理学―合理性と遺伝的難問	マッティ・ハユリュ	ナカニシヤ出版	授業内で扱う遺伝子操作をめぐるトピックについて，より具体的な哲学的議論が詳説されている。

６　準備学習（予習・復習）

教科書の該当箇所を読んで予習・復習を行うこと。（1コマあたり約1時間）。

７　授業計画

（１）　講義の方法

講義以外にも討論・質疑応答などの対話型講義方法を導入する。

（２）　講義の内容

はじめに映画「ガタカ」を視聴することで，遺伝子操作やエンハンスメントが発展した世界のイメージを共有する。その後，教科書の読解や意見交換をとおして，遺伝子操作やエンハンスメントをめぐる哲学的議論への理解を進めていく。

哲学と医療

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/9/3(水)	1	A	講義	ガタカの世界①	哲学	講師	川﨑 優	305講
2025/9/3(水)	3	B	講義		哲学	講師	川﨑 優	304講
2025/9/10(水)	1	A	講義	ガタカの世界②	哲学	講師	川﨑 優	305講
2025/9/10(水)	3	B	講義		哲学	講師	川﨑 優	304講
2025/9/17(水)	1	A	講義	エンハンスメントの倫理①	哲学	講師	川﨑 優	305講
2025/9/17(水)	3	B	講義		哲学	講師	川﨑 優	304講
2025/9/24(水)	1	A	AL	エンハンスメントの倫理②	哲学	講師	川﨑 優	305講
2025/9/24(水)	3	B	AL		哲学	講師	川﨑 優	304講
2025/10/1(水)	1	A	講義	サイボーグ選手①	哲学	講師	川﨑 優	305講
2025/10/1(水)	3	B	講義		哲学	講師	川﨑 優	304講
2025/10/8(水)	1	A	講義	サイボーグ選手②	哲学	講師	川﨑 優	305講
2025/10/8(水)	3	B	講義		哲学	講師	川﨑 優	304講
2025/10/15(水)	1	A	講義	設計される子ども，設計する親①	哲学	講師	川﨑 優	305講
2025/10/15(水)	3	B	講義		哲学	講師	川﨑 優	304講
2025/10/29(水)	1	A	講義	設計される子ども，設計する親②	哲学	講師	川﨑 優	305講
2025/10/29(水)	3	B	講義		哲学	講師	川﨑 優	304講
2025/11/5(水)	1	A	AL	新旧の優生学①	哲学	講師	川﨑 優	305講
2025/11/5(水)	3	B	AL		哲学	講師	川﨑 優	304講
2025/11/12(水)	1	A	講義	新旧の優生学②	哲学	講師	川﨑 優	305講
2025/11/12(水)	3	B	講義		哲学	講師	川﨑 優	304講
2025/11/19(水)	1	A	講義	支配と贈与①	哲学	講師	川﨑 優	305講
2025/11/19(水)	3	B	講義		哲学	講師	川﨑 優	304講
2025/11/26(水)	1	A	講義	支配と贈与②	哲学	講師	川﨑 優	305講
2025/11/26(水)	3	B	講義		哲学	講師	川﨑 優	304講
2025/12/3(水)	1	A	講義	胚の倫理	哲学	講師	川﨑 優	305講
2025/12/3(水)	3	B	講義		哲学	講師	川﨑 優	304講

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
川﨑　優	講師	哲学	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階　B203研究室

経　済　と　医　療

【単位数：1単位，授業13コマ】

1　科目責任者

橋本貴宏　教授（特任）（数学）

科目担当者
石田昌夫（非常勤講師）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅰ-2-c）

① コンピテンスである「プロフェッショナリズム」の「他者の多様な価値観を尊重できる」ようになるため，経済学の視点を通して学ぶ。
② 現代の世界が直面する様々な問題を，他者の多様な価値観を含めて経済の側面から考察する。経済学の歴史を概観し，経済学のものの考え方を理解する。
③ 日本及び世界の経済に起きている経済問題の大要を把握するとともに，問題解明のための方法論を学習する。
④ 学習した内容に基づき，問題解決の方途を探求する。

（2）　学修目標

① 日常の経済問題の正しい意味を深い水準で説明できる。
② 今日の経済が抱えている主要な課題の解決策を考察し，説明できる。
③ ミクロ経済学とマクロ経済学の考え方を説明することができる。
④ 市場での自由な経済活動の成果と限界とを述べることができる。
⑤ 自由経済の中に強制力を伴う政府が存在する意味が説明できる。
⑥ 経済的厚生を高めるための，政府の果たすべき役割とその手段を説明できる。
⑦ 医療の経済的側面について，主な論点を述べることができる。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
小テスト	○	100%	講義内容の理解確認のため，簡単な小テストを行う（3回）。
態度	○	—	受講態度が不良な場合は，10%を限度に減点する。

出席：　単位を修得するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）　合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（3）　再試験・再評価の方法

総合成績が60%未満の場合は，再試験を実施する。再試験はレポートを課す（60%以上で合格）。

（4）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

講義内で詳しく説明する。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
ゼミナール日本経済入門	三橋規宏 他	日本経済 新聞出版社	日本経済の主要課題が詳説されている。
スタンダードミクロ経済学	竹内信仁 他	中央経済社	講義の内容をより深く理解できる。

6　準備学習（予習・復習）

① 講義に臨むに当たり，日頃から新聞・雑誌・ネットなどの経済に関する記事をよく読んでおくこと。
② 講義内容を十分理解し，再確認したうえで，次回の講義に出席する（1コマあたり約1時間）。

7　授業計画

（１）　講義の方法

講義形式を基本とし，随時講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

（２）　講義の内容

1コマ目に総論として経済の仕組みを説明する。2コマ目以降，家計・企業・政府という経済主体の働きを解説する。市場機構の有効性と限界，政府の役割について，実例を挙げながら詳述する。最後に，医療の経済的側面について考察する。

経済と医療

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/9/3(水)	2	A	講義	1. 序論:経済学の視点	ー	非常勤医師	石田 昌夫	303講
2025/9/3(水)	3	B	講義		ー	非常勤医師	石田 昌夫	303講
2025/9/10(水)	2	A	講義	2. ミクロとマクロ	ー	非常勤医師	石田 昌夫	303講
2025/9/10(水)	3	B	講義		ー	非常勤医師	石田 昌夫	303講
2025/9/17(水)	2	A	講義	3. 家計の行動	ー	非常勤医師	石田 昌夫	303講
2025/9/17(水)	3	B	講義		ー	非常勤医師	石田 昌夫	303講
2025/9/24(水)	2	A	講義	4. 需要曲線	ー	非常勤医師	石田 昌夫	303講
2025/9/24(水)	3	B	講義		ー	非常勤医師	石田 昌夫	303講
2025/10/1(水)	2	A	講義	5. 企業の行動	ー	非常勤医師	石田 昌夫	303講
2025/10/1(水)	3	B	講義		ー	非常勤医師	石田 昌夫	303講
2025/10/8(水)	2	A	講義	6. 供給曲線	ー	非常勤医師	石田 昌夫	303講
2025/10/8(水)	3	B	講義		ー	非常勤医師	石田 昌夫	303講
2025/10/15(水)	2	A	講義	7. 消費者余剰と生産者余剰	ー	非常勤医師	石田 昌夫	303講
2025/10/15(水)	3	B	講義		ー	非常勤医師	石田 昌夫	303講
2025/10/29(水)	2	A	講義	8. 市場の失敗と政府の役割	ー	非常勤医師	石田 昌夫	303講
2025/10/29(水)	3	B	講義		ー	非常勤医師	石田 昌夫	303講
2025/11/5(水)	2	A	講義	9. 公共財	ー	非常勤医師	石田 昌夫	303講
2025/11/5(水)	3	B	講義		ー	非常勤医師	石田 昌夫	303講
2025/11/12(水)	2	A	講義	10. 外部経済・不経済	ー	非常勤医師	石田 昌夫	303講
2025/11/12(水)	3	B	講義		ー	非常勤医師	石田 昌夫	303講
2025/11/19(水)	2	A	講義	11. 所得分配・再分配	ー	非常勤医師	石田 昌夫	303講
2025/11/19(水)	3	B	講義		ー	非常勤医師	石田 昌夫	303講
2025/11/26(水)	2	A	講義	12. ローレンツ曲線	ー	非常勤医師	石田 昌夫	303講
2025/11/26(水)	3	B	講義		ー	非常勤医師	石田 昌夫	303講
2025/12/3(水)	2	A	講義	13. ジニ係数	ー	非常勤医師	石田 昌夫	303講
2025/12/3(水)	3	B	講義		ー	非常勤医師	石田 昌夫	303講

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
橋本　貴宏	教授(特任)	数学	金曜日	15:00～16:00	3号館基礎科学棟2階B202研究室
石田　昌夫	非常勤医師	中部大学名誉教授	講義終了後，講義室にて		

文　学　と　医　療

【単位数：1単位，授業13コマ】

1　科目責任者

橋本貴宏　教授（特任）（数学）

科目担当者
稲垣広和（非常勤講師）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅰ-2-c）

① コンピテンスである「プロフェッショナリズム」の「他者の多様な価値観を尊重できる」ようになるため，文学の視点を通して学ぶ。
② 文学を学ぶことによって，日本の文化的特質や言語表現の特徴などを学ぶ。それによって他者の多様な価値観を知ると共に一人の社会人として教養を身につける。
③ 文学作品を理解することによって，読解力を身につける。加えて豊かな人間性を涵養し，さらに社会的視野を広げると共に将来社会人として必要な学術文化の知的蓄積である教養の有用性を理解する。

（2）　学修目標

① 文学テクストの基本的な構造を理解し，読解することができる。
② 文学テクスト及びそのコンテクストについて関係性を認識し説明することができる。
③ 文学テクストに描かれた医療アイテムを弁別した上で，社会通念としての医療に対する認識を説明できる。
④ 文学テクストに対する感想や自己の意見を音声言語表現を使って説明することができる。
⑤ 文学テクストに対する感想や自己の意見を文字言語表現を使って文章化することができる。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
小テスト	○	100％	講義毎に講義課題（600字以上）を作成し，AIDLE-Kの課題ボックスに提出。それらを得点化し，受講態度等を加味した上で総合的に評価を行う。 定期テストは行わない。各講義の課題期限内に講義課題を提出することで出席とする。3分の1以上課題不提出の場合は，単位認定をしない。 出席点はなし。
態度	○	―	受講態度が著しく不良の場合は，10％を限度に減点をする。

出席：　単位を修得するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（3）　再試験・再評価の方法

評点が60％未満の場合は，再試験を1回に限り実施する。再試験はレポート作成の上，口頭試問とする（評価100点満点の60点以上で合格）。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

講義課題に関しては，クラス全体の感想・意見・質問を取りまとめ次講義時に紹介・解説を行い，情報の共有化を図る。

また学生からのさらなる質疑及び説明の希望があれば，後日解説の機会を設ける。

講義6回の時点で受講生の得点状況に関して説明を行う。単位取得が懸念される受講生に関しては個別に連絡をする場合もある。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
「海と毒薬」	遠藤周作	新潮社	遠藤周作の文学テクスト(「海と毒薬」)を通して文学と医療倫理，医療哲学，医療文化史等との関係性を学修できるだけでなく，基本的な読解力を学修するのに適しているから。

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
小説の処方箋―小説にみる薬と症状	二瓶浩明他	鼎書房	文学テクストに描かれている病気及び薬に関して文学と医療の両面からアプローチの方法をわかりやすく示している。
小説で読む生老病死	梅谷　薫	医学書院	「生老病死」というキーワードをもとに現役の医師が対人援助職のために「小説の読み方」を示したものである。

6　準備学習（予習・復習）

○　（予習）AIDLE-Kにアップロードした各講義回の講義資料を通読する（1コマあたり約0.5時間以上）。

○　（予習）講義資料で不明な用語や事柄について事前にインターネット等で調べる（1コマあたり約0.5時間以上）。

○　（復習）講義後は講義内容を確認し，疑義及び講義の要点をノートにまとめる。それをもとに講義課題を作成する（1コマあたり約1時間以上）。

7　授業計画

（１）　講義の方法

基本的には知識伝達型の講義方法をとるが，「文学」という学問の性質上，受講生が一方的に講義内容を覚え，それを定着すれば良いといった講義ではない。講義中の教員との質疑応答や，講義毎に行う講義課題を通して，インタラクティブな講義を行う。

また，講義の中に受講生が発見した問題に対し小グループでの議論をしたり，教室プレゼンテーションを行うことによりアクティブ・ラーニング型の講義を行うこともある。

（２）　講義の内容

初回ガイダンスは講義の全体像を示すとともに，受講のルール等を説明する。初回ガイダンス以降は遠藤周作の「海と毒薬」を主たるテキストとして，作品内容や文学全般に関する色々な検討課題について教員の解説や映像視聴及びグループディスカッション等を行い，作品内容の理解を深めていきたい。

またこの講義は単なる文学作品読解を主たる内容とするのではなく，多くの学問分野との関連性や学際的分野についても扱っていく（例えば歴史や文化，思想など）。

文学と医療

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/9/3(水)	2	A	講義	講義ガイダンス(講義総論)	―	非常勤講師	稲垣　広和	201講
2025/9/3(水)	3	B	講義		―	非常勤講師	稲垣　広和	201講
2025/9/10(水)	2	A	講義	遠藤周作「海と毒薬」を読む　作品のコンテクスト①	―	非常勤講師	稲垣　広和	201講
2025/9/10(水)	3	B	講義		―	非常勤講師	稲垣　広和	201講
2025/9/17(水)	2	A	講義	遠藤周作「海と毒薬」を読む　作品のコンテクスト②	―	非常勤講師	稲垣　広和	201講
2025/9/17(水)	3	B	講義		―	非常勤講師	稲垣　広和	201講
2025/9/24(水)	2	A	講義	遠藤周作「海と毒薬」を読む　作品のコンテクスト③	―	非常勤講師	稲垣　広和	201講
2025/9/24(水)	3	B	講義		―	非常勤講師	稲垣　広和	201講
2025/10/1(水)	2	A	講義	遠藤周作「海と毒薬」を読む　小説構造の分析と理解①	―	非常勤講師	稲垣　広和	201講
2025/10/1(水)	3	B	講義		―	非常勤講師	稲垣　広和	201講
2025/10/8(水)	2	A	講義	遠藤周作「海と毒薬」を読む　小説構造の分析と理解②	―	非常勤講師	稲垣　広和	201講
2025/10/8(水)	3	B	講義		―	非常勤講師	稲垣　広和	201講
2025/10/15(水)	2	A	講義	遠藤周作「海と毒薬」を読む　小説構造の分析と理解③	―	非常勤講師	稲垣　広和	201講
2025/10/15(水)	3	B	講義		―	非常勤講師	稲垣　広和	201講
2025/10/29(水)	2	A	講義	遠藤周作「海と毒薬」を読む　小説構造の分析と理解④	―	非常勤講師	稲垣　広和	201講
2025/10/29(水)	3	B	講義		―	非常勤講師	稲垣　広和	201講
2025/11/5(水)	2	A	講義	遠藤周作「海と毒薬」を読む　小説構造の分析と理解⑤	―	非常勤講師	稲垣　広和	201講
2025/11/5(水)	3	B	講義		―	非常勤講師	稲垣　広和	201講
2025/11/12(水)	2	A	講義	遠藤周作「海と毒薬」を読む　小説構造の分析と理解⑥	―	非常勤講師	稲垣　広和	201講
2025/11/12(水)	3	B	講義		―	非常勤講師	稲垣　広和	201講
2025/11/19(水)	2	A	講義	遠藤周作「海と毒薬」を読む　小説構造の分析と理解⑦	―	非常勤講師	稲垣　広和	201講
2025/11/19(水)	3	B	講義		―	非常勤講師	稲垣　広和	201講
2025/11/26(水)	2	A	講義	遠藤周作「海と毒薬」を読む　小説構造の分析と理解⑧	―	非常勤講師	稲垣　広和	201講
2025/11/26(水)	3	B	講義		―	非常勤講師	稲垣　広和	201講
2025/12/3(水)	2	A	講義	遠藤周作「海と毒薬」を読む　小説構造の分析と理解⑨	―	非常勤講師	稲垣　広和	201講
2025/12/3(水)	3	B	講義		―	非常勤講師	稲垣　広和	201講

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
橋本 貴宏	教授(特任)	数学	金曜日	15:00～16:00	3号館基礎科学棟2階B202研究室
稲垣 広和	非常勤講師	―	講義終了後，講義室にて		

宗　教　と　医　療

【単位数：1単位，授業13コマ】

1　科目責任者

橋本貴宏　教授（特任）（数学）

科目担当者
岡島秀隆（非常勤講師）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅰ-2-c）

① コンピテンスにおける「プロフェッショナリズム」（医師としての価値観・態度・姿勢など），及び「コミュニケーション」（患者・家族・社会との良好な関係の構築など）の涵養に努める。
② 多様な宗教的価値観の理解を通して医師としての人格を磨き，倫理観を養い，さらに患者・家族・地域との共感的コミュニケーション能力の育成に努める。
③ 宗教，殊に禅仏教の方法論（瞑想と思量）を用いて，医療現場に不可欠の不動心の鍛錬と集中力の育成，及び柔軟心の涵養を目指す。

（2）　学修目標

① 国際社会を見据えて多様な宗教に関する基本的知識を習得する。
② 宗教を通じて多様な人間観・世界観・価値観を学ぶ。
③ 一般的教養を身につけ，医師としての倫理観や他者への共感能力を培う。
④ キリスト教的信条と医療現場の具体的課題を考える。
⑤ イスラム教的信条と医療現場の具体的課題を考える。
⑥ 禅の瞑想法（椅子坐禅）によって平常心を培う。
⑦ 禅問答の具体例を学びながら柔軟な思考能力を養う。
⑧ 禅・仏教の金言名句に触れ生きる意味を再考する。
⑨ 禅・仏教の言葉を通して死生観を考える。
⑩ 終末期ケアへの宗教者の参与可能性（スピリチュアル・ケアなど）を考える。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
課題レポート	○	60%	講義内容（教科書など）から論題を与え，レポートを提出させる。
小レポート	○	40%	毎回の講義で提出するリアクションペーパーの内容を吟味して評価する。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は，10%を限度に減点をする。

出席：　単位を修得するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）　合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（3）　再試験・再評価の方法

課題レポート，小レポートの合計が60%未満の場合は，再試験を実施する。
再試験はレポートを課す（60%以上で合格）。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

小レポートへの講評は，授業中に行う。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
『思考禅のススメ 仏祖の言葉を読んでみよう』	岡島秀隆	北樹出版	禅・仏教の格言などをわかりやすく紹介している。

必要に応じて AIDLE-K に資料ファイルなどを配付する。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
教養としての宗教入門―基礎から学べる信仰と文化（中公新書）	中村圭志	中央公論社	網羅的で購入しやすい。
宗教学の名著30（ちくま新書）	島薗 進	筑摩書房	基本図書の紹介であり購入しやすい。
仏教入門（岩波新書）	三枝充悳	岩波書店	定番で購入しやすい。
禅学入門（文庫）	鈴木大拙	講談社	定番で購入しやすい。

必要に応じて講義中に紹介する。

6 準備学習（予習・復習）

○ 予習： 教科書・参考図書・ネット情報などを参照して，講義タイトルに関連する知識を可能な限り収集しておく（1コマあたり約0.5時間）。

○ 復習： 講義で取り上げられた教科書の内容，配付された資料，及び自己作成メモ・ノートを講義後に再確認する（1コマあたり約1時間）。

7 授業計画

（１） 講義の方法

基本的に教室での知識伝達型の講義である。適宜アクティブ・ラーニング手法を導入する。毎回講義終了前に質疑応答の時間を設ける。

（２） 講義の内容

○ 宗教的信条が医療に関わる事例などをできる限り紹介するように努める。
場合によっては小レポート（リアクションペーパーで代替）のテーマにする。

○ 毎回瞑想（椅子坐禅）を行い，心を鎮め身心を統一する訓練を行う。

○ 禅・仏教の金言名句に触れて生きる意味と多様な考え方を学ぶ。

宗教と医療

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/9/3(水)	2	A	講義	はじめに:瞑想の仕方(椅子坐禅)・ストレス社会と瞑想―医師の不動心	―	非常勤講師	岡島 秀隆	305講
2025/9/3(水)	3	B	講義		―	非常勤講師	岡島 秀隆	305講
2025/9/10(水)	2	A	講義	宗教教義と医療(輸血拒否問題)	―	非常勤講師	岡島 秀隆	305講
2025/9/10(水)	3	B	講義		―	非常勤講師	岡島 秀隆	305講
2025/9/17(水)	2	A	講義	宗教教義と医療(ムスリム患者の対応)	―	非常勤講師	岡島 秀隆	305講
2025/9/17(水)	3	B	講義		―	非常勤講師	岡島 秀隆	305講
2025/9/24(水)	2	A	講義	仏教と医療(布施行と臓器移植)	―	非常勤講師	岡島 秀隆	305講
2025/9/24(水)	3	B	講義		―	非常勤講師	岡島 秀隆	305講
2025/10/1(水)	2	A	講義	日本人の宗教意識(国際比較の中で)	―	非常勤講師	岡島 秀隆	305講
2025/10/1(水)	3	B	講義		―	非常勤講師	岡島 秀隆	305講
2025/10/8(水)	2	A	講義	禅問答を学ぶ①(柔軟心を培う)	―	非常勤講師	岡島 秀隆	305講
2025/10/8(水)	3	B	講義		―	非常勤講師	岡島 秀隆	305講
2025/10/15(水)	2	A	講義	禅問答を学ぶ②(柔軟心を培う)	―	非常勤講師	岡島 秀隆	305講
2025/10/15(水)	3	B	講義		―	非常勤講師	岡島 秀隆	305講
2025/10/29(水)	2	A	講義	禅問答を学ぶ③(柔軟心を培う)	―	非常勤講師	岡島 秀隆	305講
2025/10/29(水)	3	B	講義		―	非常勤講師	岡島 秀隆	305講
2025/11/5(水)	2	A	講義	禅・仏教の金言名句①(生きる意味を考える)	―	非常勤講師	岡島 秀隆	305講
2025/11/5(水)	3	B	講義		―	非常勤講師	岡島 秀隆	305講
2025/11/12(水)	2	A	講義	禅・仏教の金言名句②(生きる意味を考える)	―	非常勤講師	岡島 秀隆	305講
2025/11/12(水)	3	B	講義		―	非常勤講師	岡島 秀隆	305講
2025/11/19(水)	2	A	講義	禅・仏教の金言名句③(生きる意味を考える)	―	非常勤講師	岡島 秀隆	305講
2025/11/19(水)	3	B	講義		―	非常勤講師	岡島 秀隆	305講
2025/11/26(水)	2	A	講義	仏祖の言葉に学ぶ(身心で思惟する)	―	非常勤講師	岡島 秀隆	305講
2025/11/26(水)	3	B	講義		―	非常勤講師	岡島 秀隆	305講
2025/12/3(水)	2	A	講義	まとめ:禅文化と癒し	―	非常勤講師	岡島 秀隆	305講
2025/12/3(水)	3	B	講義		―	非常勤講師	岡島 秀隆	305講

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
橋本　貴宏	教授(特任)	数学	金曜日	15:00～16:00	3号館基礎科学棟2階B202研究室
岡島　秀隆	非常勤講師	愛知学院大学　教授	講義終了後，講義室にて		

数　学　と　医　療

【単位数：1単位，授業13コマ】

1　科目責任者

橋本貴宏　教授（特任）（数学）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅲ-1-c，Ⅲ-10-c）

① コンピテンス「医学知識と科学的探究心」の中の「根拠に基づく医療」（EBM）を理解するために必要な統計学，及びその理論的基盤である数学を学び，併せてデータサイエンスを含めた諸科学への応用へとつなげる。

② 前半の統計分野では，前学期「統計学1」で概略を学んだ確率と確率分布について詳説し統計学のさらなる理解へとつなげる。後半では，行列や微積分の医学への応用について考察していくことを目標とする。

（2）　学修目標

① 命題論理を学ぶことにより，数学的論証ができる。
② 行列を活用する意味を説明できる。
③ 微分方程式でモデルを考えることの意味を説明できる。
④ 微分方程式の医学への応用を述べることができる。
⑤ 確率のさまざまな考え方を説明できる。
⑥ 確率分布について理解し，統計学の学修に活かすことができる。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
演習課題	○	70%	毎回の課題及びAIDLE-Kにおける活動により評価する。
レポート	○	30%	全講義終了後にレポート課題を提出する。
態度	○	—	態度不良の場合は，10点を限度として減点をする。

出席：　単位を修得するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）　合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（3）　再試験・再評価の方法

AIDLE-Kで課された課題・レポートにより評価する（60%以上で合格）。

（4）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

毎回の授業プリントにおける質問には，次回の授業又はAIDLE-Kにより答える。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
AIDLE-K にて資料配布			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
医療系のための入門統計	勝野恵子 ほか	共立出版	必修科目「統計学1」の指定教科書である。
臨床検査学講座　数学／統計学	宇田川誠 一ほか	医歯薬 出版	数学の基礎が一冊にまとまっていて理解しやすい。
高校数学の教科書・参考書			高校数学を土台として講義をするため。

6　準備学習（予習・復習）

授業前日までに授業のレジュメをAIDLE-Kにアップロードするので予習しておく（1コマあたり約1時間）。
授業での課題プリントを中心として講義内容を復習し，次回の授業に臨む（1コマあたり約1時間）。

7　授業計画

（１）　講義の方法

授業の前半に前回の振り返りと当日分の講義をした後，後半に課題演習を行い，AIDLE-Kに提出する。演習主体であるので能動的に受講すること。また，この科目用のノート及び表計算が可能な情報端末を用意すること。

（２）　講義の内容

「医療のための情報学」においてデータ分析，「統計学1」において統計学を学修するが，数学的な議論は省略されることが多い。この授業においてその部分を補う。後半は微分方程式を中心とした数学モデルを学び，医学への応用を講義していく。

数学と医療

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/9/3(水)	1	ー	講義	集合と命題	数学	教授(特任)	橋本 貴宏	303講
2025/9/10(水)	1	ー	講義	確率	数学	教授(特任)	橋本 貴宏	303講
2025/9/17(水)	1	ー	講義	確率変数と確率分布	数学	教授(特任)	橋本 貴宏	303講
2025/9/24(水)	1	ー	講義	離散型確率分布	数学	教授(特任)	橋本 貴宏	303講
2025/10/1(水)	1	ー	講義	連続型確率分布	数学	教授(特任)	橋本 貴宏	303講
2025/10/8(水)	1	ー	講義	母集団と標本	数学	教授(特任)	橋本 貴宏	303講
2025/10/15(水)	1	ー	講義	標本分布	数学	教授(特任)	橋本 貴宏	303講
2025/10/29(水)	1	ー	講義	ベクトルと行列(1)	数学	教授(特任)	橋本 貴宏	303講
2025/11/5(水)	1	ー	講義	ベクトルと行列(2)	数学	教授(特任)	橋本 貴宏	303講
2025/11/12(水)	1	ー	講義	微分方程式	数学	教授(特任)	橋本 貴宏	303講
2025/11/19(水)	1	ー	講義	薬の吸収	数学	教授(特任)	橋本 貴宏	303講
2025/11/26(水)	1	ー	講義	感染症モデル	数学	教授(特任)	橋本 貴宏	303講
2025/12/3(水)	1	ー	AL	医療のための数学	数学	教授(特任)	橋本 貴宏	303講

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
橋本　貴宏	教授(特任)	数学	金曜日	15:00～16:00	3号館基礎科学棟2階B202研究室

生　命　倫　理　1

【単位数:0.5単位，授業9コマ】

1　科目責任者

川﨑 優 講師(哲学)

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅰ-1-c，Ⅰ-2-c，Ⅰ-4-c）

① コンピテンスの「プロフェッショナリズム」における「医療従事者に求められる態度」とはどのようなものか学ぶ。
② コンピテンスの「プロフェッショナリズム」における「多様な価値観」に関して，生命倫理の諸問題を題材としたグループワークでの対話をとおして，他者の多様な価値観について知る。
③ コンピテンスの「プロフェッショナリズム」における「基本的な倫理の4原則」とは何か学ぶ。

（2）　学修目標

① 倫理がなぜ人間に必要なのかを説明できる。
② 医療従事者に求められる態度について説明できる。
③ 生命倫理の諸問題をめぐる多様な価値観を説明できる。
④ 基本的な倫理の4原則について説明できる。
⑤ 生命倫理の諸問題に関する基礎的な知識を修得する。
⑥ 医療の領域において，どのような倫理的問題が生じているか説明できる。
⑦ 生命倫理の諸問題に対する自分の考えを説明できる。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	80%	授業の最終日にレポートを課す。
小レポート	○	20%	講義内で小レポートを数回課す。
態度	○	－	受講態度が著しく不良の場合は，総合成績の10%を限度に減点をする。

出席：　単位を修得するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）　合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（3）　再試験・再評価の方法

上記（2）で総合成績が60%未満の場合は，課題・レポートを課す。60%以上を合格とする。

（4）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

小レポートについては講義で解説する。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
考えよう！生と死のこと―基礎から学ぶ生命倫理と死生学	波多江伸子，寺田篤史，脇　崇晴	木星舎	生命倫理の諸問題について端的にわかりやすく概説されている。
入門・医療倫理Ⅰ〔改訂版〕	赤林　朗〔編〕	勁草書房	生命倫理の諸問題について，より具体的な国内外の現状や哲学的議論が詳説されている。
看護のための生命倫理〔改定三版〕	小林亜津子	ナカニシヤ出版	タイトルに「看護のための」と記されているが，専門問わずおすすめの内容。

6　準備学習（予習・復習）

AIDLE-Kに講義資料が挙げられている場合には事前に内容を確認すること。また講義後に内容を再確認し，次回以降の講義に臨むこと（1コマあたり約1時間）。

7　授業計画

（1）　講義の方法

大教室での知識伝達型の講義であるが，講義中にグループワークや講師との双方向性応答などのアクティブ・ラーニングも導入する。

（2）　講義の内容

生命倫理に関する基礎的な知識を網羅する。人工妊娠中絶や安楽死などの生命倫理の諸問題について，それらがどのような医療技術なのか，国内外でどのように規制されているのか，どのような点が倫理的に問題なのか学ぶ。基本的な倫理の原則の学習や思考実験をとおして，具体的な倫理的問題について考える上で役立つ倫理的思考力の基盤を培う。

生命倫理１

（３） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2026/1/7(水)	1	―	講義	生命倫理とは／生命倫理の4原則	哲学	講師	川﨑 優	303講
2026/1/7(水)	2	―	講義	パターナリズムとインフォームド・コンセント	哲学	講師	川﨑 優	303講
2026/1/9(金)	2	―	講義	生殖補助医療	哲学	講師	川﨑 優	303講
2026/1/9(金)	3	―	講義	人工妊娠中絶と出生前診断	哲学	講師	川﨑 優	303講
2026/1/13(火)	2	―	講義	臓器移植と脳死	哲学	講師	川﨑 優	303講
2026/1/14(水)	2	―	AL	臓器移植の制度検討	哲学	講師	川﨑 優	303講
2026/1/15(木)	4	―	AL	終末期の事例検討	哲学	講師	川﨑 優	101講
2026/1/16(金)	2	―	講義	安楽死の分類／意図と予見／作為と不作為	哲学	講師	川﨑 優	303講
2026/1/16(金)	3	―	AL	安楽死の条件検討	哲学	講師	川﨑 優	303講

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
川﨑 優	講師	哲学	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階 B203研究室

早期体験実習１ａ（シミュレーション実習）

【単位数:0.5単位，授業25コマ】

１　科目責任者

早稲田勝久　教授（医学教育センター）

科目担当者
森下　啓明　准教授（シミュレーションセンター）

２　教育目標

（１）　ねらい（Ⅰ-1-c，Ⅰ-12-c，Ⅰ-13-c，Ⅰ-14-c，Ⅰ-15-c，Ⅱ-1-c，Ⅱ-2-c，Ⅱ-3-c，Ⅱ-5-c，Ⅴ-5-c）

① 本学のコンピテンスである「プロフェッショナリズム（チーム医療・医療安全）」，「コミュニケーション」について，シミュレーション（グループ学習・能動的学修）を通して，その意義を理解する。
② 早期から医療現場を体験するにあたり，演習で多様な人々，場面でのコミュニケーション方法を体験し，医学生として良好なコミュニケーションに必要なスキルを身につける。
③ 早期体験実習1b，1cで，指導者と共に実施可能なケア技術を，身につける。

（２）　学修目標

① グループ学習を通し，能動的学修の意義と自己の課題を説明できる。
② 様々なコミュニケーションを体験し，「話す」「聴く」「伝える」ために必要なスキルを説明できる。
③ バイタルサイン（呼吸，脈拍，血圧）測定，移乗・移送介助，体位変換，衛生的手洗い，個人防護具の着脱について，知識を得ることができる。
④ バイタルサイン（呼吸，脈拍，血圧）測定，移乗・移送介助，体位変換，衛生的手洗い，個人防護具の着脱を実施できる。
⑤ 学んだ診療補助業務について，お互いに指導・評価することができる。

３　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	60%	コミュニケーション及び担当した技術に関するレポート
態度	○	20%	・グループ学習の参加度（役割遂行）の自己評価，他者評価 ・技術指導時の参加度（役割遂行）の自己評価，他者評価
小テスト	○	20%	演習した項目に対する知識確認

出席：実習を修得するためには，欠席をしてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

面接の上，課題・レポートを課す。
実習を欠席した場合は，面接後，補習又は追加レポートを課す。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

各演習時に，その都度全員にフィードバックする。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
診療ができるVol. 1	古谷伸之 他編集	Medic Media	学習する手技の解説が掲載されている（バイタルサイン，手洗い，心肺蘇生法）。
診療ができるVol. 2	近藤一郎 他監修	Medic Media	学修する手技の解説が掲載されている（注射・心肺蘇生法）。
看護技術がみえる1	藤本真紀 子他監修	Medic Media	学修する手技の解説が掲載されている（体位変換他）。
看護技術がみえる2	佐藤久美 他監修	Medic Media	学修する手技の解説が掲載されている（感染予防，酸素療法他）。

6 準備学習（予習・復習）

予習

総合学術情報センター（図書館）から配布される「ナーシングスキル®」のID及びパスワードを各自確認しておく。
実習内容を復習し，後日実施される早期体験実習1b（看護体験実習）で実際に患者さんに実施できるようにする（毎日0.5時間）。

7 授業計画

（１） 講義の方法

シミュレーションセンターにおいて，全体講義及びグループ学習を行う。

（２） 講義の内容

「話す」「聞く」「伝える」のコミュニケーションスキルの基本を学習し，ロールプレイを行う。
診療補助業務の技術をグループで学習した後，お互いで指導しながら，身につける。

早期体験実習１ａ（シミュレーション実習）

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/5/12(月)	1	ー	演習	ガイダンス	医教C	教授	早稲田　勝久	Sim1
					医教C	准教授	河合　聖子	
					医教C	准教授	山口　奈緒子	
					Sim	准教授	森下　啓明	
					循内・医教C	助教(医員助教)	松尾　幸果	
					Sim	看護師	村松　有紀	
					Sim	看護師	神原　和代	
					ー	非常勤講師	川原　千香子	
2025/5/12(月)	2	ー	演習	コミュニケーション演習	医教C	教授	早稲田　勝久	Sim1
					医教C	准教授	河合　聖子	
					医教C	准教授	山口　奈緒子	
					Sim	准教授	森下　啓明	
					循内・医教C	助教(医員助教)	松尾　幸果	
					Sim	看護師	村松　有紀	
					Sim	看護師	神原　和代	
					ー	非常勤講師	川原　千香子	
2025/5/12(月)	3	ー	演習	コミュニケーション演習	医教C	教授	早稲田　勝久	Sim1
					医教C	准教授	河合　聖子	
					医教C	准教授	山口　奈緒子	
					Sim	准教授	森下　啓明	
					循内・医教C	助教(医員助教)	松尾　幸果	
					Sim	看護師	村松　有紀	
					Sim	看護師	神原　和代	
					ー	非常勤講師	川原　千香子	
2025/5/12(月)	4	ー	演習	シミュレーション教育の意義	Sim	准教授	森下　啓明	Sim1
					Sim	看護師	村松　有紀	
					Sim	看護師	神原　和代	
					ー	非常勤講師	川原　千香子	
2025/5/12(月)	5	ー	演習	体験学習	Sim	准教授	森下　啓明	Sim1
					Sim	看護師	村松　有紀	
					Sim	看護師	神原　和代	
					ー	非常勤講師	川原　千香子	
2025/5/13(火)	1	ー	演習	学修内容の決定と学修方法	Sim	准教授	森下　啓明	Sim1
					Sim	看護師	村松　有紀	
					Sim	看護師	神原　和代	
					ー	非常勤講師	川原　千香子	
2025/5/13(火)	2	ー	演習	学修内容の決定と学修方法	Sim	准教授	森下　啓明	Sim1
					Sim	看護師	村松　有紀	
					Sim	看護師	神原　和代	
					ー	非常勤講師	川原　千香子	
2025/5/13(火)	3	ー	演習	グループ学習	Sim	准教授	森下　啓明	Sim1
					Sim	看護師	村松　有紀	
					Sim	看護師	神原　和代	
					ー	非常勤講師	川原　千香子	
2025/5/13(火)	4	ー	演習	グループ学習	Sim	准教授	森下　啓明	Sim1
					Sim	看護師	村松　有紀	
					Sim	看護師	神原　和代	
					ー	非常勤講師	川原　千香子	

早期体験実習１ａ（シミュレーション実習）

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/5/13(火)	5	ー	演習	グループ学習	Sim Sim Sim ー	准教授 看護師 看護師 非常勤講師	森下 啓明 村松 有紀 神原 和代 川原 千香子	Sim1
2025/5/14(水)	1	ー	演習	指導内容の確認	Sim Sim Sim ー 看護部	准教授 看護師 看護師 非常勤講師 －	森下 啓明 村松 有紀 神原 和代 川原 千香子 病棟看護師	Sim1
2025/5/14(水)	2	ー	演習	グループ内指導の実践	Sim Sim Sim ー 看護部	准教授 看護師 看護師 非常勤講師 －	森下 啓明 村松 有紀 神原 和代 川原 千香子 病棟看護師	Sim1
2025/5/14(水)	3	ー	演習	グループ内指導の実践	Sim Sim Sim ー 看護部	准教授 看護師 看護師 非常勤講師 －	森下 啓明 村松 有紀 神原 和代 川原 千香子 病棟看護師	Sim1
2025/5/14(水)	4	ー	演習	グループ内指導の実践	Sim Sim Sim ー 看護部	准教授 看護師 看護師 非常勤講師 －	森下 啓明 村松 有紀 神原 和代 川原 千香子 病棟看護師	Sim1
2025/5/14(水)	5	ー	演習	グループ内指導の実践	Sim Sim Sim ー 看護部	准教授 看護師 看護師 非常勤講師 －	森下 啓明 村松 有紀 神原 和代 川原 千香子 病棟看護師	Sim1
2025/5/15(木)	1	ー	演習	他者指導と評価	Sim Sim Sim ー 看護部	准教授 看護師 看護師 非常勤講師 －	森下 啓明 村松 有紀 神原 和代 川原 千香子 病棟看護師	Sim1
2025/5/15(木)	2	ー	演習	他者指導と評価	Sim Sim Sim ー 看護部	准教授 看護師 看護師 非常勤講師 －	森下 啓明 村松 有紀 神原 和代 川原 千香子 病棟看護師	Sim1
2025/5/15(木)	3	ー	演習	他者指導と評価	Sim Sim Sim ー 看護部	准教授 看護師 看護師 非常勤講師 －	森下 啓明 村松 有紀 神原 和代 川原 千香子 病棟看護師	Sim1

早期体験実習１ａ（シミュレーション実習）

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/5/15(木)	4	ー	演習	他者指導と評価	Sim Sim Sim ー 看護部	准教授 看護師 看護師 非常勤講師 -	森下 啓明 村松 有紀 神原 和代 川原 千香子 病棟看護師	Sim1
2025/5/15(木)	5	ー	演習	他者指導と評価	Sim Sim Sim ー 看護部	准教授 看護師 看護師 非常勤講師 -	森下 啓明 村松 有紀 神原 和代 川原 千香子 病棟看護師	Sim1
2025/5/16(金)	1	ー	演習	まとめ	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C Sim Sim ー	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師 非常勤講師	早稲田 勝久 河合 聖子 山口 奈緒子 森下 啓明 松尾 幸果 村松 有紀 神原 和代 川原 千香子	Sim1
2025/5/16(金)	2	ー	演習	まとめ	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C Sim Sim ー	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師 非常勤講師	早稲田 勝久 河合 聖子 山口 奈緒子 森下 啓明 松尾 幸果 村松 有紀 神原 和代 川原 千香子	Sim1
2025/5/16(金)	3	ー	演習	まとめ	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C Sim Sim ー	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師 非常勤講師	早稲田 勝久 河合 聖子 山口 奈緒子 森下 啓明 松尾 幸果 村松 有紀 神原 和代 川原 千香子	Sim1
2025/5/16(金)	4	ー	演習	まとめ	医教C 医教C 医教C 循内・医教C Sim Sim Sim	教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師 准教授	早稲田 勝久 河合 聖子 山口 奈緒子 松尾 幸果 村松 有紀 神原 和代 森下 啓明	303講
2025/5/16(金)	5	ー	演習	まとめ	医教C 医教C 医教C 循内・医教C Sim Sim Sim	教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師 准教授	早稲田 勝久 河合 聖子 山口 奈緒子 松尾 幸果 村松 有紀 神原 和代 森下 啓明	303講

8 オフィスアワー　　早期体験実習1a（シミュレーション実習）

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
早稲田　勝久	教授	医学教育センター	木曜日 金曜日	14:00～17:00 15:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
河合　聖子	准教授	医学教育センター	木曜日	16:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
山口　奈緒子	准教授	薬理学講座	月曜日	13:00～18:00	1号館大学本館7階医学教育センター
森下　啓明	准教授	シミュレーションセンター	火曜日	9:00～16:00	シミュレーションセンター事務室
松尾　幸果	助教(医員助教)	循環器内科	講義終了後，講義室にて		
神原　和代	看護師	シミュレーションセンター	講義終了後，講義室にて		
村松　有紀	看護師	シミュレーションセンター	講義終了後，講義室にて		
川原　千香子	非常勤講師	帝京大学医学部准教授	講義終了後，講義室にて		

早期体験実習１ｂ（看護体験実習）

【単位数:0.5単位，授業25コマ】

1　科目責任者

早稲田勝久　教授（医学教育センター）

科目担当者
森下　啓明　准教授（シミュレーションセンター）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅰ-1-c，Ⅰ-2-c，Ⅰ-3-c，Ⅰ-5-c，Ⅰ-6-c，Ⅰ-11-c，Ⅰ-12-c，Ⅰ-13-c，Ⅰ-14-c，Ⅱ-2-c，Ⅱ-3-c，Ⅱ-5-c，）

① 本学のコンピテンスである「プロフェッショナリズム」，「コミュニケーション」を達成するために，看護師のシャドーイングを行い，医師と協働する他職種の考えや役割を理解しチーム医療の基礎を体験する。
② 病院は，患者さんを中心にして，多数の医療スタッフ（事務，看護師，技師，補助士，医師）が共同で仕事をしていることを理解する。
③ 病棟業務を体験することによって，コミュニケーションの重要性，医師としての態度，今後必要な医学的知識・技能を確認し，今後の学習へのモチベーションを高める。

（２）　学修目標

① 早期に医療現場で実習するための，健康状態，態度，言葉使いを整えることができる。
② 様々な職種のスタッフが連携・協力して成り立っている医療現場の仕組みとそれぞれの役割を説明できる。
③ 患者さんや医療スタッフとコミュニケーションをとり，医療現場におけるTPOに合わせたコミュニケーションについて説明することができる。
④ 医療現場の体験を通して，現状の知識・技能・態度を振り返り，今後，どのような学習をするべきか自己の課題を説明できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	60％	事前課題・事後課題を評価する。課題の意図にあった内容であること。実習レポート及びSEAは，体験に基づいた自己の課題を明確に書き表していること。
態度	○	40％	３日間の実習の評価。遅刻，身だしなみ，実習参加態度について，実習部署指導者による他者評価を実施する。

出席：　実習を修得するためには，欠席をしてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

課題・レポートを課す。
実習を欠席した場合は，面接後，補習又は追加レポートを課す。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

全学生を対象に実習最終日の実習振り返り時にフィードバックを行う。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
診療ができるVol. 1	古谷伸之 他編集	Medic Media	臨床で参加する可能性の高い手技の解説が掲載されている（バイタルサイン，手洗い，心肺蘇生法）。
診療ができるVol. 2	近藤一郎 他監修	Medic Media	臨床で参加する可能性の高い手技の解説が掲載されている（注射・心肺蘇生法）。
看護技術がみえる1	藤本真紀子 他監修	Medic Media	臨床で参加する可能性の高い手技の解説が掲載されている（ベッドメーキング，体位変換他）。
看護技術がみえる2	佐藤久美 他監修	Medic Media	臨床で参加する可能性の高い手技の解説が掲載されている（感染予防，酸素療法他）。

6 準備学習（予習・復習）

予習

1日目のオリエンテーションの際に，実習先の病棟の診療科・その特性などについて学習をする。

実習に行く前に，早期体験実習1aで身につけたケア技術について復習する（1日あたり0.5時間）。

復習

実習終了後直ちに，実習で体験したこと，その考察等実習記録を記載する。

7 授業計画

（１） 講義の方法

1日目に実習オリエンテーションを施行。2日目から4日目は割り当てられた部署にて実習を行う。最終日は実習の振り返りを行う。

（２） 講義の内容

看護師のシャドーイングを行い，様々な職種のスタッフが連携・協力して成り立っている医療現場の仕組みとそれぞれの役割を体験し，考察をする。

早期体験実習１ｂ（看護体験実習）

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/5/26(月)	1	ー	演習	ガイダンス	医教C	教授	早稲田　勝久	Sim1
					医教C	准教授	河合　聖子	
					医教C	准教授	山口　奈緒子	
					Sim	准教授	森下　啓明	
					循内・医教C	助教(医員助教)	松尾　幸果	
					Sim	看護師	村松　有紀	
					Sim	看護師	神原　和代	
2025/5/26(月)	2	ー	演習	実習に関する事前学習	Sim	准教授	森下　啓明	Sim1
					Sim	看護師	村松　有紀	
					Sim	看護師	神原　和代	
2025/5/26(月)	3	ー	演習	実習に関する事前学習	Sim	准教授	森下　啓明	Sim1
					Sim	看護師	村松　有紀	
					Sim	看護師	神原　和代	
2025/5/26(月)	4	ー	講義	看護部・看護師の役割	看護部	部長	井上　里恵	Sim1
2025/5/26(月)	5	ー	演習	実習病棟担当者とのディスカッション	看護部	ー	実習指導者	Sim1
2025/5/27(火)	1	ー	実習	病棟実習	Sim	准教授	森下　啓明	各病棟
					Sim	看護師	村松　有紀	
					Sim	看護師	神原　和代	
					看護部	ー	実習指導者	
2025/5/27(火)	2	ー	実習	病棟実習	Sim	准教授	森下　啓明	各病棟
					Sim	看護師	村松　有紀	
					Sim	看護師	神原　和代	
					看護部	ー	実習指導者	
2025/5/27(火)	3	ー	実習	病棟実習	Sim	准教授	森下　啓明	各病棟
					Sim	看護師	村松　有紀	
					Sim	看護師	神原　和代	
					看護部	ー	実習指導者	
2025/5/27(火)	4	ー	実習	病棟実習	Sim	准教授	森下　啓明	各病棟
					Sim	看護師	村松　有紀	
					Sim	看護師	神原　和代	
					看護部	ー	実習指導者	
2025/5/27(火)	5	ー	実習	病棟実習	Sim	准教授	森下　啓明	各病棟
					Sim	看護師	村松　有紀	
					Sim	看護師	神原　和代	
					看護部	ー	実習指導者	
2025/5/28(水)	1	ー	実習	病棟実習	Sim	准教授	森下　啓明	各病棟
					Sim	看護師	村松　有紀	
					Sim	看護師	神原　和代	
					看護部	ー	実習指導者	
2025/5/28(水)	2	ー	実習	病棟実習	Sim	准教授	森下　啓明	各病棟
					Sim	看護師	村松　有紀	
					Sim	看護師	神原　和代	
					看護部	ー	実習指導者	
2025/5/28(水)	3	ー	実習	病棟実習	Sim	准教授	森下　啓明	各病棟
					Sim	看護師	村松　有紀	
					Sim	看護師	神原　和代	
					看護部	ー	実習指導者	

早期体験実習１ｂ（看護体験実習）

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/5/28(水)	4	－	実習	病棟実習	Sim	准教授	森下 啓明	各病棟
					Sim	看護師	村松 有紀	
					Sim	看護師	神原 和代	
					看護部	－	実習指導者	
2025/5/28(水)	5	－	実習	病棟実習	Sim	准教授	森下 啓明	各病棟
					Sim	看護師	村松 有紀	
					Sim	看護師	神原 和代	
					看護部	－	実習指導者	
2025/5/29(木)	1	－	実習	病棟実習	Sim	准教授	森下 啓明	各病棟
					Sim	看護師	村松 有紀	
					Sim	看護師	神原 和代	
					看護部	－	実習指導者	
2025/5/29(木)	2	－	実習	病棟実習	Sim	准教授	森下 啓明	各病棟
					Sim	看護師	村松 有紀	
					Sim	看護師	神原 和代	
					看護部	－	実習指導者	
2025/5/29(木)	3	－	実習	病棟実習	Sim	准教授	森下 啓明	各病棟
					Sim	看護師	村松 有紀	
					Sim	看護師	神原 和代	
					看護部	－	実習指導者	
2025/5/29(木)	4	－	実習	病棟実習	Sim	准教授	森下 啓明	各病棟
					Sim	看護師	村松 有紀	
					Sim	看護師	神原 和代	
					看護部	－	実習指導者	
2025/5/29(木)	5	－	実習	病棟実習	Sim	准教授	森下 啓明	各病棟
					Sim	看護師	村松 有紀	
					Sim	看護師	神原 和代	
					看護部	－	実習指導者	
2025/5/30(金)	1	－	演習	まとめ	医教C	教授	早稲田 勝久	101講
					医教C	准教授	河合 聖子	
					医教C	准教授	山口 奈緒子	
					Sim	准教授	森下 啓明	
					循内・医教C	助教(医員助教)	松尾 幸果	
					Sim	看護師	村松 有紀	
					Sim	看護師	神原 和代	
2025/5/30(金)	2	－	演習	まとめ	医教C	教授	早稲田 勝久	101講
					医教C	准教授	河合 聖子	
					医教C	准教授	山口 奈緒子	
					Sim	准教授	森下 啓明	
					循内・医教C	助教(医員助教)	松尾 幸果	
					Sim	看護師	村松 有紀	
					Sim	看護師	神原 和代	
2025/5/30(金)	3	－	演習	まとめ	医教C	教授	早稲田 勝久	101講
					医教C	准教授	河合 聖子	
					医教C	准教授	山口 奈緒子	
					Sim	准教授	森下 啓明	
					循内・医教C	助教(医員助教)	松尾 幸果	
					Sim	看護師	村松 有紀	
					Sim	看護師	神原 和代	

早期体験実習１ｂ（看護体験実習）

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/5/30(金)	4	ー	演習	レポート作成	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C Sim Sim	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代	303講
2025/5/30(金)	5	ー	演習	レポート作成	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C Sim Sim	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代	303講

8 オフィスアワー　　早期体験実習1b(看護体験実習)

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
早稲田　勝久	教授	医学教育センター	木曜日 金曜日	14:00～17:00 15:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
河合　聖子	准教授	医学教育センター	木曜日	16:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
山口　奈緒子	准教授	薬理学講座	月曜日	13:00～18:00	1号館大学本館7階医学教育センター
森下　啓明	准教授	シミュレーションセンター	火曜日	9:00～16:00	シミュレーションセンター事務室
松尾　幸果	助教(医員助教)	循環器内科	講義終了後，講義室にて		
井上　里恵	部長	看護部事務室	講義終了後，講義室にて		
神原　和代	看護師	シミュレーションセンター	講義終了後，講義室にて		
村松　有紀	看護師	シミュレーションセンター	講義終了後，講義室にて		

早期体験実習１ｃ（臨床科見学実習）

【単位数:0.5単位，授業25コマ】

１　科目責任者

早稲田勝久　教授（医学教育センター）

科目担当者
森下　啓明　准教授（シミュレーションセンター）

２　教育目標

（１）　ねらい（Ｉ-1-c，Ｉ-2-c，Ｉ-3-c，Ｉ-4-c，Ｉ-5-c，Ｉ-6-c，Ｉ-11-c，Ｉ-12-c，Ｉ-13-c，Ｉ-14-c，　Ｉ-15-c，Ⅴ-1-c）

① 医師の業務内容を実際に見学し，本学のコンピテンシーの「医師としての価値観・態度・姿勢」，「チーム医療・医療安全」，「地域社会へ貢献」を学び，今後の学習課題を考えられるようになる。
② 医療は看護師をはじめ多職種連携の上成り立っていることを実習したことに加え，医師の指導の下に医療を行う上での多職種連携の理解を深める。
③ 早期に医師としての思考・人間性・倫理観を身につける契機とする。

（２）　学修目標

① 臨床医の患者さんへの対応・診断・検査などを体験する。
② 患者さんの苦痛・不安を理解し，共感できる心を養う。
③ 医療における連携・協力を一層理解する。
④ 医師の診療，思考，決断，探求心を疑似体験して，その考えを共有する。
⑤ 臨床医学への興味を深め，自己の目標点と到達法を展望する。

３　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	60％	事前課題・事後課題を評価する（プロフィール，挨拶状，お礼状を含む）。課題の意図にあった内容であること。実習レポート，SEAは体験に基づいた自己の課題を明確に書き表していること。
態度	○	40％	３日間の実習の評価。遅刻，身だしなみ，実習参加態度について，実習部署指導者による他者評価を実施する。

出席：　実習を修得するためには，欠席をしてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

課題・レポートを課す。
実習を欠席した場合は，面談後，補習又は追加レポートを課す。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

全学生を対象に実習最終日の実習振り返り時に，フィードバックを行う。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
元気ホスピタル 最善の医療をめざして　2018年	愛知医科大学病院	バリューメディカル	本学の診療科，コ・メディカル部署の解説をしている。

6　準備学習（予習・復習）

1日目のオリエンテーションの際に，実習先の病棟の診療科・その特性などについて事前学習をするので，関連する資料を集めておく(0.5時間/回)。

実習に行く前に，早期体験実習1aで学修した内容を復習する(1日あたり1時間)。

7　授業計画

（1）　講義の方法

1日目に実習オリエンテーションを施行。2日目から4日目は割り当てられた部署にて実習(シャドーイング)を行い，チーム医療を体験する(病棟実習：2日間，学外実習：1日)。最終日は実習の振り返りを行う。

（2）　講義の内容

医療は，様々な職種のスタッフが連携・協力して成り立っていることを体験し，その医療の現場を通して「医療者の姿」を学ぶ。

早期体験実習１ｃ（臨床科見学実習）

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/10/20(月)	1	ー	演習	ガイダンス	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C Sim Sim ー	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師 非常勤講師	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代 川原　千香子	Sim1
2025/10/20(月)	2	ー	演習	実習施設の事前学習	Sim Sim Sim ー	准教授 看護師 看護師 非常勤講師	森下　啓明 村松　有紀 神原　和代 川原　千香子	Sim1
2025/10/20(月)	3	ー	演習	実習施設の事前学習	Sim Sim Sim ー	准教授 看護師 看護師 非常勤講師	森下　啓明 村松　有紀 神原　和代 川原　千香子	Sim1
2025/10/20(月)	4	ー	演習	実習目標の設定	Sim Sim Sim ー	准教授 看護師 看護師 非常勤講師	森下　啓明 村松　有紀 神原　和代 川原　千香子	Sim1
2025/10/20(月)	5	ー	演習	実習目標の設定	Sim Sim Sim ー	准教授 看護師 看護師 非常勤講師	森下　啓明 村松　有紀 神原　和代 川原　千香子	Sim1
2025/10/21(火)	1	ー	実習	病院実習・学外実習	Sim Sim Sim ー	准教授 看護師 看護師 ー	森下　啓明 村松　有紀 神原　和代 実習担当医	各病棟
2025/10/21(火)	2	ー	実習	病院実習・学外実習	Sim Sim Sim ー	准教授 看護師 看護師 ー	森下　啓明 村松　有紀 神原　和代 実習担当医	各病棟
2025/10/21(火)	3	ー	実習	病院実習・学外実習	Sim Sim Sim ー	准教授 看護師 看護師 ー	森下　啓明 村松　有紀 神原　和代 実習担当医	各病棟
2025/10/21(火)	4	ー	実習	病院実習・学外実習	Sim Sim Sim ー	准教授 看護師 看護師 ー	森下　啓明 村松　有紀 神原　和代 実習担当医	各病棟
2025/10/21(火)	5	ー	実習	病院実習・学外実習	Sim Sim Sim ー	准教授 看護師 看護師 ー	森下　啓明 村松　有紀 神原　和代 実習担当医	各病棟
2025/10/22(水)	1	ー	実習	病院実習・学外実習	Sim Sim Sim ー	准教授 看護師 看護師 ー	森下　啓明 村松　有紀 神原　和代 実習担当医	各病棟

早期体験実習１ｃ（臨床科見学実習）

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/10/22(水)	2	－	実習	病院実習・学外実習	Sim Sim Sim －	准教授 看護師 看護師 －	森下　啓明 村松　有紀 神原　和代 実習担当医	各病棟
2025/10/22(水)	3	－	実習	病院実習・学外実習	Sim Sim Sim －	准教授 看護師 看護師 －	森下　啓明 村松　有紀 神原　和代 実習担当医	各病棟
2025/10/22(水)	4	－	実習	病院実習・学外実習	Sim Sim Sim －	准教授 看護師 看護師 －	森下　啓明 村松　有紀 神原　和代 実習担当医	各病棟
2025/10/22(水)	5	－	実習	病院実習・学外実習	Sim Sim Sim －	准教授 看護師 看護師 －	森下　啓明 村松　有紀 神原　和代 実習担当医	各病棟
2025/10/23(木)	1	－	実習	病院実習・学外実習	Sim Sim Sim －	准教授 看護師 看護師 －	森下　啓明 村松　有紀 神原　和代 実習担当医	各病棟
2025/10/23(木)	2	－	実習	病院実習・学外実習	Sim Sim Sim －	准教授 看護師 看護師 －	森下　啓明 村松　有紀 神原　和代 実習担当医	各病棟
2025/10/23(木)	3	－	実習	病院実習・学外実習	Sim Sim Sim －	准教授 看護師 看護師 －	森下　啓明 村松　有紀 神原　和代 実習担当医	各病棟
2025/10/23(木)	4	－	実習	病院実習・学外実習	Sim Sim Sim －	准教授 看護師 看護師 －	森下　啓明 村松　有紀 神原　和代 実習担当医	各病棟
2025/10/23(木)	5	－	実習	病院実習・学外実習	Sim Sim Sim －	准教授 看護師 看護師 －	森下　啓明 村松　有紀 神原　和代 実習担当医	各病棟
2025/10/24(金)	1	－	演習	まとめ	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C Sim Sim	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代	Sim1
2025/10/24(金)	2	－	演習	まとめ	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C Sim Sim	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代	Sim1

早期体験実習１ｃ（臨床科見学実習）

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/10/24(金)	3	ー	演習	まとめ	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C Sim Sim	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代	Sim1
2025/10/24(金)	4	ー	演習	レポート作成	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C Sim Sim	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代	Sim1
2025/10/24(金)	5	ー	演習	レポート作成	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C Sim Sim	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代	Sim1

8 オフィスアワー　　早期体験実習1c(臨床科見学実習)

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
早稲田　勝久	教授	医学教育センター	木曜日 金曜日	14:00～17:00 15:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
河合　聖子	准教授	医学教育センター	木曜日	16:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
山口　奈緒子	准教授	薬理学講座	月曜日	13:00～18:00	1号館大学本館7階医学教育センター
森下　啓明	准教授	シミュレーションセンター	火曜日	9:00～16:00	シミュレーションセンター事務室
松尾　幸果	助教(医員助教)	循環器内科	講義終了後，講義室にて		
神原　和代	看護師	シミュレーションセンター	講義終了後，講義室にて		
村松　有紀	看護師	シミュレーションセンター	講義終了後，講義室にて		
川原　千香子	非常勤講師	帝京大学医学部准教授	講義終了後，講義室にて		

コミュニケーション演習１

【単位数:1単位，授業15コマ】

１　科目責任者

早稲田勝久　教授（医学教育センター）

２　教育目標

（１）　ねらい（Ⅰ-1-c，Ⅰ-12-c，Ⅰ-13-c，Ⅰ-14-c，Ⅰ-15-c，Ⅱ-1-c，Ⅱ-2-c，Ⅱ-3-c，Ⅱ-5-c，Ⅴ-5-c）

① 本学のコンピテンスである「プロフェッショナリズム（チーム医療・医療安全）」，「コミュニケーション」について，グループ学習・能動的学修を通して，その意義を理解する。

② 演習で多様な人々，場面でのコミュニケーション方法を体験し，医学生として良好なコミュニケーションに必要なスキルを身につける。

③ 自らのコミュニケーションスキルについて振り返り、自己の課題を明確にする。

④ 他者とコミュニケーションを図るにあたり、自己の性格・価値観の傾向について理解する。

（２）　学修目標

① グループ学習を通し，能動的学修の意義と自己の課題を説明できる。

② 様々なコミュニケーションを体験し，「話す」「聴く」「伝える」ために必要なスキルを説明できる。

③ コミュニケーションを図るうえで、性格や価値観等が異なる相手が対象となることを理解できる。

３　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	60%	コミュニケーションに関するレポート
態度	○	20%	・グループ学習の参加度（役割遂行）の自己評価，他者評価 ・コミュニケーション演習の参加度（役割遂行）の自己評価，他者評価
小テスト	○	20%	演習した項目に対する知識確認

出席：実習を修得するためには，欠席をしてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

面接の上，課題・レポートを課す。

実習を欠席した場合は，面接後，補習又は追加レポートを課す。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

各演習時に，その都度全員にフィードバックする。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
チームが機能するとはどういうことか	エイミー・C・エドモンド（野津智子訳）	英治出版	チームコミュニケーションについて理解しやすい書籍である。
診療場面のコミュニケーション	ジョン・ヘリテッジ，ダグラス・メイナード（川島理恵他訳）	勁草書房	会話分析という研究分野からみた医療面接について述べられており，問い方とその答えについて具体例が多いため，「目的をもった会話」の重要性を考えるきっかけになる。

6　準備学習（予習・復習）

日常のコミュニケーションについて，演習前後に振り返る機会を持つこと（1日あたり約0.5時間）。

7　授業計画

（1）　講義の方法

シミュレーションセンターにおいて，全体講義及びグループ学習を行う。

（2）　講義の内容

「話す」「聞く」「伝える」のコミュニケーションスキルの基本を学習し，ロールプレイを行う。

コミュニケーション演習１

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2026/2/9(月)	1	―	実習	ガイダンス	医教C	教授	早稲田　勝久	Sim1
2026/2/9(月)	2	―	実習	グループワーク(コミュニケーションについて事前学習)	医教C 医教C 医教C 循内・医教C Sim Sim ―	教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師 非常勤講師	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代 川原　千香子	Sim1
2026/2/9(月)	3	―	実習	グループワーク(医療面接について事前学習)	医教C 医教C 医教C 循内・医教C Sim Sim ―	教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師 非常勤講師	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代 川原　千香子	Sim1
2026/2/9(月)	4	―	実習	講義	看護学部	教授	山本　恵美子	Sim1
2026/2/9(月)	5	―	実習	グループワーク(プレゼンテーション準備)	医教C 医教C 医教C 循内・医教C Sim Sim ― 看護学部	教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師 非常勤講師 教授	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代 川原　千香子 山本　恵美子	Sim1
2026/2/10(火)	1	―	実習	グループワーク(プレゼンテーション準備)	医教C 医教C 医教C 循内・医教C Sim Sim 看護学部	教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師 教授	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代 山本　恵美子	Sim1
2026/2/10(火)	2	―	実習	グループ発表	医教C 医教C 医教C 循内・医教C Sim Sim 看護学部	教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師 教授	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代 山本　恵美子	Sim1
2026/2/10(火)	3	―	実習	グループワーク(症例検討、動画作成準備)	医教C 医教C 医教C 循内・医教C Sim Sim 看護学部	教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師 教授	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代 山本　恵美子	Sim1

コミュニケーション演習１

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2026/2/10(火)	4	－	実習	グループワーク(動画・発表スライドの作成)	医教C 医教C 医教C 循内・医教C Sim Sim 看護学部	教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師 教授	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代 山本　恵美子	Sim1
2026/2/10(火)	5	－	実習	グループワーク(動画・発表スライドの作成)	医教C 医教C 医教C 循内・医教C Sim Sim 看護学部	教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師 教授	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代 山本　恵美子	Sim1
2026/2/12(木)	1	－	実習	グループワーク(発表スライドの作成)	医教C 医教C 医教C 循内・医教C Sim Sim 看護学部	教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師 教授	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代 山本　恵美子	Sim1
2026/2/12(木)	2	－	実習	医療面接発表会	医教C 医教C 医教C 循内・医教C Sim Sim 看護学部	教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師 教授	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代 山本　恵美子	Sim1
2026/2/12(木)	3	－	実習	医療面接発表会	医教C 医教C 医教C 循内・医教C Sim Sim 看護学部	教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師 教授	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代 山本　恵美子	Sim1
2026/2/12(木)	4	－	実習	医療面接発表会	医教C 医教C 医教C 循内・医教C Sim Sim 看護学部	教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師 教授	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代 山本　恵美子	Sim1
2026/2/12(木)	5	－	実習	グループワーク(振り返り、ロールプレイの準備)	医教C 医教C 医教C 循内・医教C Sim Sim 看護学部	教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師 教授	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代 山本　恵美子	Sim1

コミュニケーション演習１

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2026/2/13(金)	1	ー	実習	グループワーク(ロールプレイ)	医教C 医教C 医教C 循内・医教C Sim Sim 看護学部	教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師 教授	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代 山本　恵美子	Sim1
2026/2/13(金)	2	ー	実習	グループワーク(ロールプレイ)	医教C 医教C 医教C 循内・医教C Sim Sim 看護学部	教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師 教授	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代 山本　恵美子	Sim1
2026/2/13(金)	3	ー	実習	グループワーク(ロールプレイ)	医教C 医教C 医教C 循内・医教C Sim Sim 看護学部	教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師 教授	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代 山本　恵美子	Sim1
2026/2/13(金)	4	ー	実習	まとめ・事後課題作成	医教C 医教C 医教C 循内・医教C Sim Sim 看護学部	教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師 教授	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代 山本　恵美子	Sim1
2026/2/13(金)	5	ー	実習	まとめ・事後課題作成	医教C 医教C 医教C 循内・医教C Sim Sim 看護学部	教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師 教授	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代 山本　恵美子	Sim1

8 オフィスアワー　　コミュニケーション演習1

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
早稲田　勝久	教授	医学教育センター	木曜日 金曜日	14:00～17:00 15:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
河合　聖子	准教授	医学教育センター	木曜日	16:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
山口　奈緒子	准教授	薬理学講座	月曜日	13:00～18:00	1号館大学本館7階医学教育センター
松尾　幸果	助教(医員助教)	循環器内科	講義終了後，講義室にて		
山本　恵美子	教授	看護学部	講義終了後，講義室にて		
神原　和代	看護師	シミュレーションセンター	講義終了後，講義室にて		
村松　有紀	看護師	シミュレーションセンター	講義終了後，講義室にて		
川原　千香子	非常勤講師	帝京大学医学部准教授	講義終了後，講義室にて		

解　剖　学　１　ａ

【単位数：1.5単位，授業22コマ（定期試験含まず）】

１　科目責任者

内藤宗和　教授（解剖学講座）

科目担当者
大塚　俊　講師（解剖学講座）

２　教育目標

（１）　ねらい（Ⅰ-1-c，Ⅰ-2-c，Ⅰ-3-c，Ⅰ-4-c，Ⅰ-5-c，Ⅰ-6-c，Ⅰ-7-c，Ⅰ-8-c，Ⅰ-9-c，Ⅰ-10-c，Ⅰ-11-c，Ⅰ-13-c，Ⅰ-14-c，Ⅰ-15-c，Ⅱ-1-c，Ⅱ-2-c，Ⅱ-3-c，Ⅱ-4-c，Ⅱ-5-c，Ⅱ-6-c，Ⅲ-1-c，Ⅲ-2-c，Ⅲ-3-c，Ⅲ-4-c，Ⅲ-5-c，Ⅲ-6-c，Ⅲ-7-c，Ⅲ-8-c，Ⅲ-10-c，Ⅳ-2-c，Ⅳ-4-c，Ⅳ-9-c，Ⅴ-1-c，Ⅴ-4-c）

① 『医学知識と科学的探求』のため，生体の正常な構造や機能を理解し，疾病の病因・病態・治療につながる基礎医学知識を学ぶ。また，実習を通して『コミュニケーション』と『プロフェッショナリズム』を習得する。

② 次世代の医学のため無報酬で自らの身体を提供する献体の精神に学び，医の倫理を身につける。人体の構造の美しさ，精巧さ，多様性を学び，医療人としての観察眼を養う。

（２）　学修目標

① 人体構造の系統を把握し，解剖用語によって正確に述べることができる。
② 骨格，臓器の機能的及び臨床的意義，細胞・組織の特徴を説明できる。
③ 骨学，組織学，神経解剖学，肉眼解剖学，臨床解剖学の知識を統合し，説明できる。
④ 画像解剖学と対応させ，人体の三次元構造を説明できる。
⑤ グループ学習において，班員同士で協力して作業ができる。
⑥ グループ学習において，解剖学の知識を正しく使うことができる。
⑦ 身体診察と基本的臨床手技を実践するための基礎知識を説明できる。
⑧ 解剖学の学習，とくに実習を通して，医療安全の重要性を説明できる。

３　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	94％	多肢選択問題と記述式を含む（配付する過去問を参照）。
小テスト	○	6％	多肢選択問題もしくは記述式の試験を行う。
態度	○	―	態度不良の場合は10％を限度に減点をする。

出席：　定期試験を受験するためには，欠席率が3分の1を超えてはならない。

＊定期試験の模範解答を提示し，学生から質疑を受ける。質疑に対して返答し，解答の見直しを行う。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60％以上で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60％未満の場合は，再試験を実施する。
再試験は，定期試験に準ずる試験を行う。60％以上を合格とする。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

小テストは，AIDLE-Kで行い，模範解答を掲載する。定期試験の問題を配付し，定期試験の成績についての総括を学内メールで実施する。定期試験については，模範解答を提示し，学生から質疑を受ける。質疑に対して返答し，解答の見直しを行う。不合格となった者は，配付した問題を参考にして理解が不十分な項目を中心に学習する。

４ 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
プロメテウス解剖学 エッセンシャルテキスト	Anne M Gilroy（著）， 中野　隆 （監訳）	医学書院	医学生に必要な解剖学のエッセンスがコンパクトにまとまった内容であるため。
骨学のすゝめ	中野　隆	南江堂	愛知医科大学の学生が作成したテキストがもととなっており,学生の目線を盛り込んだわかりやすい内容であるため。
バーチャルスライド　組織学 改訂版	駒﨑伸二	羊土社	実績ある組織学の教科書の一つであるため。
ヒューマン・アナトミー・アトラス		Visible Body	インタラクティブな3D解剖リソースであるため。
レジュメ配布（Subtext）			講義において効率的に能動的な学習を促進するため，学習ポイントが理解できる書き込み式のレジュメを配布する。

＊解剖学1a，解剖学実習1a，解剖学1b，解剖学実習b，解剖学実習2で骨学，組織学（ミクロ），肉眼解剖学（マクロ）を体系的に学ぶため，すべての科目で共通して教科書3冊と3D アプリを使用する。

５ 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
解剖学講義	伊藤　隆	南山堂	実績ある解剖学の教科書の一つであるため。
ムーア臨床解剖学	坂井建雄 （監訳）	メディカル・サイエンス・インターナショナル	臨床のための解剖学を学ぶために有用であるため。
プロメテウス解剖学コアアトラス	坂井建雄 （監訳）	医学書院	美麗なイラストが解剖学を学ぶために有用であるため。

６ 準備学習（予習・復習）

○ Subtextを用いてどの事項が取り上げられているのか確認しておく（1コマあたり約10分）。
○ 講義で習った内容を復習する（1コマあたり約10分）。
○ 過去に出題された問題を用いて，知識を定着させる（1コマあたり約10分）。

７ 授業計画

（１） 講義の方法

○ 講義において効率的に能動的な学習を促進するため，学習ポイントが理解できる書き込み式のレジュメを用いる。
○ グループ学習における小グループでのタスク解決や，講義における講師との質疑応答など，アクティブ・ラーニングを導入する。

（２） 講義の内容

○ 人体構造の系統を把握し，骨格，臓器の機能的及び臨床的意義，細胞・組織の特徴を説明できるように解説する。
○ 疾病の病因・病態・治療につながる基礎知識及び身体診察と基本的臨床手技を実践するための基礎知識を習得することができるように，学習を促進する。

解剖学１ａ

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/17(木)	1	ー	講義	総論1	解剖学	教授	内藤　宗和	303講
2025/4/17(木)	2	ー	講義	総論2	解剖学	教授	内藤　宗和	303講
2025/4/24(木)	1	ー	講義	総論3	解剖学	教授	内藤　宗和	303講
2025/4/24(木)	2	ー	講義	総論4	解剖学	教授	内藤　宗和	303講
2025/5/1(木)	1	ー	講義	総論5	解剖学	教授	内藤　宗和	303講
2025/5/1(木)	2	ー	講義	総論6	解剖学	教授	内藤　宗和	303講
2025/5/8(木)	1	ー	講義	総論7	解剖学	教授	内藤　宗和	303講
2025/5/8(木)	2	ー	講義	総論8	解剖学	教授	内藤　宗和	303講
2025/6/5(木)	1	ー	講義	総論9	解剖学	教授	内藤　宗和	303講
2025/6/5(木)	2	ー	講義	総論10	解剖学	教授	内藤　宗和	303講
2025/6/12(木)	1	ー	講義	総論11	解剖学	教授	内藤　宗和	303講
2025/6/12(木)	2	ー	講義	総論12	解剖学	教授	内藤　宗和	303講
2025/6/19(木)	1	ー	講義	まとめ**・小テスト**	解剖学 解剖学 解剖学	講師 助教 助教	大塚　俊 玉置　優貴 後藤　瑛一	201講 203講 303講
2025/6/19(木)	2	ー	AL	グループ学習	解剖学 解剖学 解剖学	講師 助教 助教	大塚　俊 玉置　優貴 後藤　瑛一	201講 203講 303講
2025/6/26(木)	1	ー	講義	運動器1	解剖学	講師	大塚　俊	303講
2025/6/26(木)	2	ー	講義	運動器2	解剖学	講師	大塚　俊	303講
2025/7/3(木)	1	ー	講義	運動器3	解剖学	講師	大塚　俊	303講
2025/7/3(木)	2	ー	講義	運動器4	解剖学	講師	大塚　俊	303講
2025/7/10(木)	1	ー	講義	運動器5	解剖学	講師	大塚　俊	303講
2025/7/10(木)	2	ー	講義	運動器6	解剖学	講師	大塚　俊	303講
2025/7/10(木)	3	ー	講義	まとめ	解剖学 解剖学 解剖学	講師 助教 助教	大塚　俊 大久保　友人 後藤　瑛一	201講 203講 303講
2025/7/10(木)	4	ー	講義	まとめ	解剖学 解剖学 解剖学	講師 助教 助教	大塚　俊 大久保　友人 後藤　瑛一	201講 203講 303講
2025/7/29(火)	**3**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**解剖学**	**教授**	**内藤　宗和**	**101講**

8 オフィスアワー

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
内藤 宗和	教授	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟2階254号室
大塚 俊	講師	解剖学講座	月～水曜日	14:00～16:00	2号館研究棟2階256号室
大久保 友人	助教	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟3階365号室
玉置 優貴	助教	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟3階364号室
後藤 瑛一	助教	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟3階364号室

解 剖 学 実 習 １ ａ

【単位数：0.5単位，授業18コマ】

１　科目責任者

内藤宗和　教授（解剖学講座）

科目担当者
大塚　俊　講師（解剖学講座）

２　教育目標

（１）　ねらい（Ⅰ-1-c，Ⅰ-2-c，Ⅰ-3-c，Ⅰ-4-c，Ⅰ-5-c，Ⅰ-6-c，Ⅰ-7-c，Ⅰ-8-c，Ⅰ-9-c，Ⅰ-10-c，Ⅰ-11-c，Ⅰ-13-c，Ⅰ-14-c，Ⅰ-15-c，Ⅱ-1-c，Ⅱ-2-c，Ⅱ-3-c，Ⅱ-4-c，Ⅱ-5-c，Ⅱ-6-c，Ⅲ-1-c，Ⅲ-2-c，Ⅲ-3-c，Ⅲ-4-c，Ⅲ-5-c，Ⅲ-6-c，Ⅲ-7-c，Ⅲ-8-c，Ⅲ-10-c，Ⅳ-2-c，Ⅳ-4-c，Ⅳ-9-c，Ⅴ-1-c，Ⅴ-4-c）

① 『医学知識と科学的探求』のため，生体の正常な構造や機能を理解し，疾病の病因・病態・治療につながる基礎医学知識を学ぶ。また，実習を通して『コミュニケーション』と『プロフェッショナリズム』を習得する。

② 次世代の医学のため無報酬で自らの身体を提供する献体の精神に学び，医の倫理を身につける。人体の構造の美しさ，精巧さ，多様性を学び，医療人としての観察眼を養う。

（２）　学修目標

① 人体構造の系統を把握し，解剖用語によって正確に述べることができる。
② 骨格，臓器の機能的及び臨床的意義，細胞・組織の特徴を説明できる。
③ 骨学，組織学，神経解剖学，肉眼解剖学，臨床解剖学の知識を統合し，説明できる。
④ 画像解剖学と対応させ，人体の三次元構造を説明できる。
⑤ 実習において，班員同士で協力して作業ができる。
⑥ 実習において，解剖学の知識を正しく使うことができる。
⑦ 身体診察と基本的臨床手技を実践するための基礎知識を説明できる。
⑧ 解剖学の学習，とくに実習を通して，医療安全の重要性を説明できる。

３　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
課題	○	70%	AIDLE-Kを利用して，実習の予習・復習課題を行う。
口頭試問	○	20%	骨標本及び組織画像を用いて，口頭試問を行う。
レポート	○	10%	実習内容に沿ったレポートを課す。
態度	○	—	態度不良の場合は40%を限度に減点をする。

出席：実習を修得するためには，欠席をしてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60%以上で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

上記（2）で総合成績が60%未満の場合は，追加で課題・口頭試問・レポートを課す。60%以上を合格とする。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

課題は，AIDLE-Kで行い，模範解答を掲載する。口頭試問とレポートは，講義内で解説する。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
プロメテウス解剖学 エッセンシャルテキスト	Anne M Gilroy（著）， 中野　隆 （監訳）	医学書院	医学生に必要な解剖学のエッセンスがコンパクトにまとまった内容であるため。
骨学のすゝめ	中野　隆	南江堂	愛知医科大学の学生が作成したテキストがもととなっており,学生の目線を盛り込んだわかりやすい内容であるため。
バーチャルスライド　組織学	駒﨑伸二	羊土社	実績ある組織学の教科書の一つであるため。
ヒューマン・アナトミー・アトラス		Visible Body	インタラクティブな3D解剖リソースであるため。
レジュメ配布（Subtext）			講義において効率的に能動的な学習を促進するため，学習ポイントが理解できる書き込み式のレジュメを配布する。

＊解剖学1a，解剖学実習1a，解剖学1b，解剖学実習1b，解剖学実習2で骨学，組織学（ミクロ），肉眼解剖学（マクロ）を体系的に学ぶため，すべての科目で共通して教科書3冊と3D アプリを使用する。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
解剖学講義	伊藤　隆	南山堂	実績ある解剖学の教科書の一つであるため。
ムーア臨床解剖学	坂井建雄 （監訳）	メディカル・サイエンス・インターナショナル	臨床のための解剖学を学ぶために有用であるため。
プロメテウス解剖学コアアトラス	坂井建雄 （監訳）	医学書院	美麗なイラストが解剖学を学ぶために有用であるため。

6 準備学習（予習・復習）

○ 教科書を用いてどの事項が取り上げられているのか確認しておく（1日あたり約15分）。
○ AIDLE-Kを用いて実習内容の予習・復習を行う（1日あたり約45分）。

7 授業計画

（１） 講義の方法

○ 2学年次の解剖実習早期体験として，解剖実習見学を実施する。
○ 真骨を用いた骨学実習を実施する。
○ バーチャルスライド（eSlide）を用いた組織学実習（総論）を実施する。
○ 実習は複数の班に分けて実施し，班員とのグループ学習や，講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

（２） 講義の内容

○ 人体構造の系統を把握し，骨格，臓器の機能的及び臨床的意義，細胞・組織の特徴を説明できるように解説する。
○ 疾病の病因・病態・治療につながる基礎知識及び身体診察と基本的臨床手技を実践するための基礎知識を習得することができるように，学習を促進する。

解剖学実習１ａ

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/17(木)	3	ー	実習	2学年次解剖実習早期体験	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 講師 助教 助教 助教	内藤　宗和 大塚　俊 竹内　堂朗 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/4/17(木)	4	ー	実習	2学年次解剖実習早期体験	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 講師 助教 助教 助教	内藤　宗和 大塚　俊 竹内　堂朗 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/4/24(木)	3	ー	実習	骨学実習	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	講師 助教 助教 助教	大塚　俊 名仁澤　英里 大久保　友人 後藤　瑛一	研106
2025/4/24(木)	4	ー	実習	骨学実習	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	講師 助教 助教 助教	大塚　俊 名仁澤　英里 大久保　友人 後藤　瑛一	研106
2025/5/1(木)	3	ー	実習	2学年次解剖実習早期体験	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	講師 助教 助教 助教	大塚　俊 名仁澤　英里 大久保　友人 後藤　瑛一	研101 研106
2025/5/1(木)	4	ー	実習	2学年次解剖実習早期体験	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	講師 助教 助教 助教	大塚　俊 名仁澤　英里 大久保　友人 後藤　瑛一	研101 研106
2025/5/8(木)	3	ー	実習	骨学実習	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	講師 助教 助教 助教	大塚　俊 竹内　堂朗 玉置　優貴 後藤　瑛一	研106
2025/5/8(木)	4	ー	実習	骨学実習	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	講師 助教 助教 助教	大塚　俊 竹内　堂朗 玉置　優貴 後藤　瑛一	研106
2025/6/5(木)	3	ー	実習	骨学実習	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	講師 助教 助教 助教	大塚　俊 名仁澤　英里 玉置　優貴 後藤　瑛一	研106
2025/6/5(木)	4	ー	実習	骨学実習	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	講師 助教 助教 助教	大塚　俊 名仁澤　英里 玉置　優貴 後藤　瑛一	研106
2025/6/12(木)	3	ー	実習	組織学実習	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	講師 助教 助教 助教	福重　香 竹内　堂朗 大久保　友人 後藤　瑛一	研106
2025/6/12(木)	4	ー	実習	組織学実習	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	講師 助教 助教 助教	福重　香 竹内　堂朗 大久保　友人 後藤　瑛一	研106

解剖学実習１ａ

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/6/19(木)	3	ー	実習	口頭試問	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	内藤　宗和 畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	303講 Sim3
2025/6/19(木)	4	ー	実習	口頭試問	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	内藤　宗和 畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	303講 Sim3
2025/6/26(木)	3	ー	実習	口頭試問	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 准教授 講師 講師 助教 助教	内藤　宗和 畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 玉置　優貴	303講 301セ 302セ 303セ 304セ 305セ 306セ 研106
2025/6/26(木)	4	ー	実習	口頭試問	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 准教授 講師 講師 助教 助教	内藤　宗和 畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 玉置　優貴	303講 301セ 302セ 303セ 304セ 305セ 306セ 研106
2025/7/3(木)	3	ー	実習	組織学実習	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	講師 助教 助教 助教	福重　香 竹内　堂朗 大久保　友人 後藤　瑛一	研106
2025/7/3(木)	4	ー	実習	組織学実習	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	講師 助教 助教 助教	福重　香 竹内　堂朗 大久保　友人 後藤　瑛一	研106

8 オフィスアワー

解剖学実習1a

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
内藤 宗和	教授	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟2階254号室
畑山 直之	准教授	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟2階255号室
福重 香	講師	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟3階365号室
大塚 俊	講師	解剖学講座	月～水曜日	14:00～16:00	2号館研究棟2階256号室
名仁澤 英里	助教	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟3階364号室
竹内 堂朗	助教	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟3階365号室
大久保 友人	助教	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟3階365号室
玉置 優貴	助教	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟3階364号室
後藤 瑛一	助教	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟3階364号室

解　剖　学　１　ｂ

【単位数：4.5単位，授業63コマ（定期試験含まず）】

１　科目責任者

内藤宗和　教授（解剖学講座）

科目担当者
福重　香　講師（解剖学講座）

２　教育目標

（１）　ねらい（Ⅰ-1-c，Ⅰ-2-c，Ⅰ-3-c，Ⅰ-4-c，Ⅰ-5-c，Ⅰ-6-c，Ⅰ-7-c，Ⅰ-8-c，Ⅰ-9-c，Ⅰ-10-c，Ⅰ-11-c，Ⅰ-13-c，Ⅰ-14-c，Ⅰ-15-c，Ⅱ-1-c，Ⅱ-2-c，Ⅱ-3-c，Ⅱ-4-c，Ⅱ-5-c，Ⅱ-6-c，Ⅲ-1-c，Ⅲ-2-c，Ⅲ-3-c，Ⅲ-4-c，Ⅲ-5-c，Ⅲ-6-c，Ⅲ-7-c，Ⅲ-8-c，Ⅲ-10-c，Ⅳ-2-c，Ⅳ-4-c，Ⅳ-9-c，Ⅴ-1-c，Ⅴ-4-c）

① 『医学知識と科学的探求』のため，生体の正常な構造や機能を理解し，疾病の病因・病態・治療につながる基礎医学知識を学ぶ。また，実習を通して『コミュニケーション』と『プロフェッショナリズム』を習得する。

② 次世代の医学のため無報酬で自らの身体を提供する献体の精神に学び，医の倫理を身につける。人体の構造の美しさ，精巧さ，多様性を学び，医療人としての観察眼を養う。

（２）　学修目標

① 人体構造の系統を把握し，解剖用語によって正確に述べることができる。
② 骨格，臓器の機能的及び臨床的意義，細胞・組織の特徴を説明できる。
③ 骨学，組織学，神経解剖学，肉眼解剖学，臨床解剖学の知識を統合し，説明できる。
④ 画像解剖学と対応させ，人体の三次元構造を説明できる。
⑤ グループ学習において，班員同士で協力して作業ができる。
⑥ グループ学習において，解剖学の知識を正しく使うことができる。
⑦ 身体診察と基本的臨床手技を実践するための基礎知識を説明できる。
⑧ 解剖学の学習，とくに実習を通して，医療安全の重要性を説明できる。

３　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	91％	多肢選択問題と記述式を含む（配付する過去問を参照）。
小テスト	○	9％	多肢選択問題もしくは記述式問題の試験を行う。
態度	○	―	態度不良の場合は10％を限度に減点をする。

出席：　定期試験を受験するためには，講義の欠席率が3分の1を超えてはならない。
＊定期試験の模範解答を提示し，学生から質疑を受ける。質疑に対して返答し，解答の見直しを行う。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60％以上で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60％未満の場合は，再試験を実施する。
再試験は，定期試験に準ずる試験を行う。60％以上で合格とする。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

小テストは，AIDLE-Kで行い，模範解答を掲載する。定期試験の問題を配付し，定期試験の成績についての総括を学内メールで実施する。定期試験については，模範解答を提示し，学生から質疑を受ける。質疑に対して返答し，解答の見直しを行う。不合格となった者は，配付した問題を参考にして理解が不十分な項目を中心に学習する。

４　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
プロメテウス解剖学 エッセンシャルテキスト	Anne M Gilroy (著),中野　隆 (監訳)	医学書院	医学生に必要な解剖学のエッセンスがコンパクトにまとまった内容であるため。
骨学のすゝめ	中野　隆	南江堂	愛知医科大学の学生が作成したテキストがもととなっており,学生の目線を盛り込んだわかりやすい内容であるため。
バーチャルスライド　組織学 改訂版	駒﨑伸二	羊土社	実績ある組織学の教科書の一つであるため。
ヒューマン・アナトミー・アトラス		Visible Body	インタラクティブな3D解剖リソースであるため。
レジュメ配布（Subtext）			講義において効率的に能動的な学習を促進するため，学習ポイントが理解できる書き込み式のレジュメを配布する。

＊解剖学1a，解剖学実習1a，解剖学1b，解剖学実習1b，解剖学実習2で骨学，組織学（ミクロ），肉眼解剖学（マクロ）を体系的に学ぶため，すべての科目で共通して教科書3冊と3Dアプリを使用する。

５　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
解剖学講義	伊藤　隆	南山堂	実績ある解剖学の教科書の一つであるため。
ムーア臨床解剖学	坂井建雄 (監訳)	メディカル・サイエンス・インターナショナル	臨床のための解剖学を学ぶために有用であるため。
プロメテウス解剖学コアアトラス	坂井建雄 (監訳)	医学書院	美麗なイラストが解剖学を学ぶために有用であるため。

６　準備学習（予習・復習）

○　Subtextを用いてどの事項が取り上げられているのか確認しておく（1コマあたり約10分）。
○　講義で習った内容を復習する（1コマあたり約10分）。
○　過去に出題された問題を用いて，知識を定着させる（1コマあたり約10分）。

７　授業計画

（１）　講義の方法

○　講義において効率的に能動的な学習を促進するため，学習ポイントが理解できる書き込み式のレジュメを用いる。
○　グループ学習における小グループでのタスク解決や，講義における講師との質疑応答など，アクティブ・ラーニングを導入する。

（２）　講義の内容

○　人体構造の系統を把握し，骨格，臓器の機能的及び臨床的意義，細胞・組織の特徴を説明できるように解説する。
○　疾病の病因・病態・治療につながる基礎知識及び身体診察と基本的臨床手技を実践するための基礎知識を習得することができるように，学習を促進する。

解剖学１ｂ

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/9/2(火)	1	―	講義	消化器1	解剖学	准教授	畑山　直之	303講
2025/9/2(火)	2	―	講義	消化器2	解剖学	准教授	畑山　直之	303講
2025/9/3(水)	4	―	講義	消化器3	解剖学	准教授	畑山　直之	303講
2025/9/3(水)	5	―	講義	消化器4	解剖学	准教授	畑山　直之	303講
2025/9/4(木)	1	―	講義	消化器5	解剖学	准教授	畑山　直之	303講
2025/9/4(木)	2	―	講義	消化器6	解剖学	准教授	畑山　直之	303講
2025/9/9(火)	1	―	講義	消化器7	解剖学	准教授	畑山　直之	303講
2025/9/9(火)	2	―	講義	消化器8	解剖学	准教授	畑山　直之	303講
2025/9/10(水)	4	―	講義	循環器1	解剖学	准教授	畑山　直之	303講
2025/9/10(水)	5	―	講義	循環器2	解剖学	准教授	畑山　直之	303講
2025/9/11(木)	1	―	講義	循環器3	解剖学	准教授	畑山　直之	303講
2025/9/11(木)	2	―	講義	循環器4	解剖学	准教授	畑山　直之	303講
2025/9/16(火)	1	―	講義	循環器5	解剖学	准教授	畑山　直之	303講
2025/9/16(火)	2	―	講義	循環器6	解剖学	准教授	畑山　直之	303講
2025/9/17(水)	4	―	講義	呼吸器1	解剖学	助教	大久保　友人	303講
2025/9/17(水)	5	―	講義	呼吸器2	解剖学	助教	大久保　友人	303講
2025/9/18(木)	1	―	講義	呼吸器3	解剖学	助教	大久保　友人	303講
2025/9/18(木)	2	―	講義	呼吸器4	解剖学	助教	大久保　友人	303講
2025/9/24(水)	4	―	講義	まとめ・**小テスト**	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 准教授 助教 助教	内藤　宗和 畑山　直之 大久保　友人 後藤　瑛一	301講 303講 305講
2025/9/24(水)	5	―	AL	グループ学習	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 准教授 助教 助教	内藤　宗和 畑山　直之 大久保　友人 後藤　瑛一	301講 303講 305講
2025/10/1(水)	4	―	講義	神経1	解剖学	教授	内藤　宗和	303講
2025/10/1(水)	5	―	講義	神経2	解剖学	教授	内藤　宗和	303講
2025/10/2(木)	1	―	講義	神経3	解剖学	教授	内藤　宗和	303講
2025/10/2(木)	2	―	講義	神経4	解剖学	教授	内藤　宗和	303講
2025/10/7(火)	1	―	講義	神経5	解剖学	教授	内藤　宗和	303講
2025/10/7(火)	2	―	講義	神経6	解剖学	教授	内藤　宗和	303講
2025/10/8(水)	4	―	講義	神経7	解剖学	教授	内藤　宗和	303講
2025/10/8(水)	5	―	講義	神経8	解剖学	教授	内藤　宗和	303講
2025/10/9(木)	1	―	講義	神経9	解剖学	教授	内藤　宗和	303講
2025/10/9(木)	2	―	講義	神経10	解剖学	教授	内藤　宗和	303講
2025/10/14(火)	1	―	講義	神経11	解剖学	教授	内藤　宗和	303講
2025/10/14(火)	2	―	講義	神経12	解剖学	教授	内藤　宗和	303講
2025/10/15(水)	4	―	講義	感覚器1	解剖学	助教	名仁澤　英里	303講
2025/10/15(水)	5	―	講義	感覚器2	解剖学	助教	名仁澤　英里	303講
2025/10/16(木)	1	―	講義	感覚器3	解剖学	助教	名仁澤　英里	303講
2025/10/16(木)	2	―	講義	感覚器4	解剖学	助教	名仁澤　英里	303講

解剖学１ｂ

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/10/28(火)	1	ー	講義	感覚器5	解剖学	助教	名仁澤　英里	303講
2025/10/28(火)	2	ー	講義	感覚器6	解剖学	助教	名仁澤　英里	303講
2025/10/29(水)	4	ー	講義	まとめ・**小テスト**	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 准教授 助教 助教	内藤　宗和 畑山　直之 名仁澤　英里 後藤　瑛一	301講 303講 305講
2025/10/29(水)	5	ー	AL	グループ学習	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 准教授 助教 助教	内藤　宗和 畑山　直之 名仁澤　英里 後藤　瑛一	301講 303講 305講
2025/11/5(水)	4	ー	講義	血液1	解剖学	助教	玉置　優貴	303講
2025/11/5(水)	5	ー	講義	血液2	解剖学	助教	玉置　優貴	303講
2025/11/6(木)	1	ー	講義	血液3	解剖学	助教	玉置　優貴	303講
2025/11/6(木)	2	ー	講義	血液4	解剖学	助教	玉置　優貴	303講
2025/11/6(木)	3	ー	講義	臨床解剖1	解剖学	助教	大久保　友人	303講
2025/11/11(火)	1	ー	講義	内分泌1	解剖学	助教	玉置　優貴	303講
2025/11/11(火)	2	ー	講義	内分泌2	解剖学	助教	玉置　優貴	303講
2025/11/12(水)	4	ー	講義	泌尿器1	解剖学	助教	竹内　堂朗	303講
2025/11/12(水)	5	ー	講義	泌尿器2	解剖学	助教	竹内　堂朗	303講
2025/11/13(木)	1	ー	講義	泌尿器3	解剖学	助教	竹内　堂朗	303講
2025/11/13(木)	2	ー	講義	男性生殖器1	解剖学	助教	竹内　堂朗	303講
2025/11/13(木)	3	ー	講義	臨床解剖2	解剖学	助教	大久保　友人	303講
2025/11/18(火)	1	ー	講義	男性生殖器2	解剖学	助教	竹内　堂朗	303講
2025/11/18(火)	2	ー	講義	女性生殖器1	解剖学	講師	福重　香	303講
2025/11/19(水)	4	ー	講義	女性生殖器2	解剖学	講師	福重　香	303講
2025/11/19(水)	5	ー	講義	女性生殖器3	解剖学	講師	福重　香	303講
2025/11/20(木)	1	ー	講義	女性生殖器4	解剖学	講師	福重　香	303講
2025/11/20(木)	2	ー	講義	女性生殖器5	解剖学	講師	福重　香	303講
2025/11/20(木)	3	ー	講義	臨床解剖3	解剖学	助教	大久保　友人	303講
2025/11/25(火)	1	ー	講義	女性生殖器6	解剖学	講師	福重　香	303講
2025/11/25(火)	2	ー	講義	女性生殖器7	解剖学	講師	福重　香	303講
2025/11/26(水)	4	ー	講義	まとめ・**小テスト**	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 講師 助教 助教	内藤　宗和 福重　香 竹内　堂朗 玉置　優貴	301講 303講 305講
2025/11/26(水)	5	ー	AL	グループ学習	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 講師 助教 助教	内藤　宗和 福重　香 竹内　堂朗 玉置　優貴	301講 303講 305講
2025/12/11(木)	**3**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**解剖学**	**教授**	**内藤　宗和**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
内藤　宗和	教授	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟2階254号室
畑山　直之	准教授	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟2階255号室
福重　香	講師	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟3階365号室
名仁澤　英里	助教	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟3階364号室
竹内　堂朗	助教	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟3階365号室
大久保　友人	助教	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟3階365号室
玉置　優貴	助教	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟3階364号室
後藤　瑛一	助教	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟3階364号室

解 剖 学 実 習 １ ｂ

【単位数：0.5単位，授業14コマ】

１　科目責任者

内藤宗和　教授（解剖学講座）

科目担当者
福重　香　講師（解剖学講座）

２　教育目標

（１）　ねらい（Ⅰ-1-c，Ⅰ-2-c，Ⅰ-3-c，Ⅰ-4-c，Ⅰ-5-c，Ⅰ-6-c，Ⅰ-7-c，Ⅰ-8-c，Ⅰ-9-c，Ⅰ-10-c，Ⅰ-11-c，Ⅰ-13-c，Ⅰ-14-c，Ⅰ-15-c，Ⅱ-1-c，Ⅱ-2-c，Ⅱ-3-c，Ⅱ-4-c，Ⅱ-5-c，Ⅱ-6-c，Ⅲ-1-c，Ⅲ-2-c，Ⅲ-3-c，Ⅲ-4-c，Ⅲ-5-c，Ⅲ-6-c，Ⅲ-7-c，Ⅲ-8-c，Ⅲ-10-c，Ⅳ-2-c，Ⅳ-4-c，Ⅳ-9-c，Ⅴ-1-c，Ⅴ-4-c）

① 『医学知識と科学的探求』のため，生体の正常な構造や機能を理解し，疾病の病因・病態・治療につながる基礎医学知識を学ぶ。また，実習を通して『コミュニケーション』と『プロフェッショナリズム』を習得する。

② 次世代の医学のため無報酬で自らの身体を提供する献体の精神に学び，医の倫理を身につける。人体の構造の美しさ，精巧さ，多様性を学び，医療人としての観察眼を養う。

（２）　学修目標

① 人体構造の系統を把握し，解剖用語によって正確に述べることができる。
② 骨格，臓器の機能的及び臨床的意義，細胞・組織の特徴を説明できる。
③ 骨学，組織学，神経解剖学，肉眼解剖学，臨床解剖学の知識を統合し，説明できる。
④ 画像解剖学と対応させ，人体の三次元構造を説明できる。
⑤ 実習において，班員同士で協力して作業ができる。
⑥ 実習において，解剖学の知識を正しく使うことができる。
⑦ 身体診察と基本的臨床手技を実践するための基礎知識を説明できる。
⑧ 解剖学の学習，とくに実習を通して，医療安全の重要性を説明できる。

３　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	40%	実習内容に沿ったレポートを課す。
課題	○	30%	AIDLE-Kを利用して，実習の予習・復習課題を行う。 多肢選択問題を原則とし，一部記述式問題を含む場合がある。
口頭試問	○	30%	組織画像を用いて，口頭試問を行う。 多肢選択問題もしくは記述式問題を用いる。
態度	○	—	態度不良の場合は40%を限度に減点をする。

出席：　実習を修得するためには，欠席をしてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60%以上で合格とする。

（３） 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60％未満の場合は，レポート・課題・口頭試問を課す。60％以上を合格とする。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

課題は，AIDLE-Kで行い，模範解答を掲載する。口頭試問とレポートは，講義内で解説する。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
プロメテウス解剖学 エッセンシャルテキスト	Anne M Gilroy (著),中野　隆 (監訳)	医学書院	医学生に必要な解剖学のエッセンスがコンパクトにまとまった内容であるため。
骨学のすゝめ	中野　隆	南江堂	愛知医科大学の学生が作成したテキストがもととなっており,学生の目線を盛り込んだわかりやすい内容であるため。
バーチャルスライド　組織学	駒﨑伸二	羊土社	実績ある組織学の教科書の一つであるため。
ヒューマン・アナトミー・アトラス		Visible Body	インタラクティブな3D解剖リソースであるため。
レジュメ配布（Subtext）			講義において効率的に能動的な学習を促進するため，学習ポイントが理解できる書き込み式のレジュメを配布する。

＊解剖学1a，解剖学実習1a，解剖学1b，解剖学実習1b，解剖学実習2で骨学，組織学（ミクロ），肉眼解剖学（マクロ）を体系的に学ぶため，すべての科目で共通して教科書3冊と3D アプリを使用する。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
解剖学講義	伊藤　隆	南山堂	実績ある解剖学の教科書の一つであるため。
ムーア臨床解剖学	坂井建雄 (監訳)	メディカル・サイエンス・インターナショナル	臨床のための解剖学を学ぶために有用であるため。
プロメテウス解剖学コアアトラス	坂井建雄 (監訳)	医学書院	美麗なイラストが解剖学を学ぶために有用であるため。

6 準備学習（予習・復習）

○ 教科書を用いてどの事項が取り上げられているのか確認しておく（1日あたり約15分）。
○ AIDLE-Kを用いて実習内容の予習・復習を行う（1日あたり約45分）。

7 授業計画

（１） 講義の方法

○ バーチャルスライド（eSlide）を用いた，組織学実習を実施する。
○ 組織学実習及び口頭試問は，複数の班に分けて実施し，班員とのグループ学習や，講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

（２） 講義の内容

○ 人体構造の系統を把握し，骨格，臓器の機能的及び臨床的意義，細胞・組織の特徴を説明できるように解説する。
○ 疾病の病因・病態・治療につながる基礎知識及び身体診察と基本的臨床手技を実践するための基礎知識を習得することができるように，学習を促進する。

解剖学実習１ｂ

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/9/25(木)	1	ー	実習	組織学実習	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 助教 助教	畑山　直之 福重　香 大久保　友人 後藤　瑛一	研106
2025/9/25(木)	2	ー	実習	組織学実習	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 助教 助教	畑山　直之 福重　香 大久保　友人 後藤　瑛一	研106
2025/9/30(火)	1	ー	実習	**口頭試問**・学習指導	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教	畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴	研106 303講 301セ 302セ 303セ 304セ 305セ 306セ
2025/9/30(火)	2	ー	実習	**口頭試問**・学習指導	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教	畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴	研106 303講 301セ 302セ 303セ 304セ 305セ 306セ
2025/10/30(木)	1	ー	実習	組織学実習	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 講師 助教 助教	内藤　宗和 福重　香 名仁澤　英里 後藤　瑛一	研106
2025/10/30(木)	2	ー	実習	組織学実習	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 講師 助教 助教	内藤　宗和 福重　香 名仁澤　英里 後藤　瑛一	研106
2025/10/30(木)	3	ー	実習	組織学実習	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 講師 助教 助教	内藤　宗和 福重　香 名仁澤　英里 後藤　瑛一	研106
2025/11/4(火)	1	ー	実習	**口頭試問**・学習指導	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 講師 助教 助教 助教 助教 助教	内藤　宗和 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研106 303講 301セ 302セ 303セ 304セ 305セ 306セ

解剖学実習１ｂ

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/11/4(火)	2	ー	実習	**口頭試問**・学習指導	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 講師 助教 助教 助教 助教 助教	内藤　宗和 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研106 303講 301セ 302セ 303セ 304セ 305セ 306セ
2025/11/27(木)	1	ー	実習	まとめ	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	講師 助教 助教 助教	福重　香 竹内　堂朗 玉置　優貴 後藤　瑛一	研106
2025/11/27(木)	2	ー	実習	組織学実習	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	講師 助教 助教 助教	福重　香 竹内　堂朗 玉置　優貴 後藤　瑛一	研106
2025/11/27(木)	3	ー	実習	組織学実習	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	講師 助教 助教 助教	福重　香 竹内　堂朗 玉置　優貴 後藤　瑛一	研106
2025/12/2(火)	1	ー	実習	**口頭試問**・学習指導	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	内藤　宗和 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研106 303講 301セ 302セ 303セ 304セ 305セ 306セ
2025/12/2(火)	2	ー	実習	**口頭試問**・学習指導	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	内藤　宗和 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研106 303講 301セ 302セ 303セ 304セ 305セ 306セ

8 オフィスアワー

解剖学実習1b

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
内藤 宗和	教授	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟2階254号室
畑山 直之	准教授	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟2階255号室
福重 香	講師	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟3階365号室
大塚 俊	講師	解剖学講座	月～水曜日	14:00～16:00	2号館研究棟2階256号室
名仁澤 英里	助教	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟3階364号室
竹内 堂朗	助教	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟3階365号室
大久保 友人	助教	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟3階365号室
玉置 優貴	助教	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟3階364号室
後藤 瑛一	助教	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟3階364号室

生　理　学　1

【単位数：4単位，授業 52 コマ（定期試験含まず）】

1　科目責任者

増渕 悟　教授（生理学）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅲ-2-c，Ⅲ-3-c）

① コアコンピテンスの“人体各種組織や器官，及び器官系の正常機能，並びにそれらの相互作用による生体協関や恒常性”を理解し，“疾病の病因・病態・治療につながる基礎医学的な要素”を理解することを目的として生理学を学ぶ。そのことによって医学生としての“医学知識と科学的探究心”を身につける。

② 生理学は生体の正常な機能についての学問である。生理学1では神経生理学，内分泌生理学について学ぶ。膨大な臨床医学の知識を系統的に習得し実際の患者の病態を理解にするためには生理学の知識は不可欠である。生理学を含む基礎医学の学力が薬理学などの応用的な基礎医学や臨床医学の学修の基礎となるため知識と理解の完全な定着を目指す。

（2）　学修目標

① 神経・筋細胞・内分泌細胞・血液細胞などの構成と機能を説明できる。
② 神経細胞の機能，感覚系の機能及び調節を説明できる。高次脳機能を説明できる。
③ ホルモンの作用と分泌調節を説明できる。
④ 血液細胞の機能の調節を説明できる。
⑤ 生理学で学ぶ神経系疾患，内分泌疾患，血液疾患の病態生理を説明できる。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
試験1	○	約15%	試験は3回行う。記述式と，多肢選択問題で行う。試験1は試験1までの講義の内容（9/1-9/18の講義分　オンデマンド講義「甲状腺（増渕）」を含む）について行う。
試験2	○	約20%	試験2は試験1以降，試験2までの講義の内容（9/22-10/27の講義分）について行う。
試験3	○	約65%	試験3（12月の試験期間内で実施）は全講義（オンデマンド講義「甲状腺・カルシウム代謝（増渕）」，学生による USMLE問題集の解説も含む）を範囲として行う。
態度	○	—	受講態度が不良の場合は，10%を限度に減点する。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）　合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（3）　再試験・再評価の方法

試験（3回）の合計が60%未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法（全範囲）で実施する（60%以上で合格）。

（4）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

試験1，試験2の結果は本人にだけわかるニックネームを決めてもらい掲示する。
試験1，試験2のあとに解説を行う。**オンライン，オンデマンドで行うことがある（出席はカウントされない）。**

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
標準生理学	本間研一 監修	医学書院	国内の生理学研究者の執筆による代表的な教科書。2019年改訂（第9版）
ガイトン生理学	石川義弘 他総監訳	エルゼビア・ ジャパン	医学的視点から，生理学事象を丁寧に解説した教科書。2018年改訂
ギャノング生理学	岡田泰伸 他監修	丸善株式 会社	長く評価を得ている生理学書の1つ。 2022年原著26版翻訳本 岡田泰伸客員教授が監修
生理学テキスト	大地陸男 著	文光堂	コンパクトな教科書　2022年改訂
生理学問題集 （CBT準拠）	日本生理 学会教育 委員会編	文光堂	CBT形式（選択式問題）の問題集
カンデル神経科学	宮下保司 監訳	MedSi	神経科学の名著中の名著。大部なので，全部を読むことは難しい。 2022年原著2版翻訳本
ベアー コノーズ パラディーソ 神経科学 脳の探求 改訂版	藤井 聡 監修，翻訳	西村書店	欧米の生理学の教科書は優れたものがあるが神経生理学，神経科学の記載が少ない。それを補う分量，内容ともに妥当な教科書。2021年改訂版
USMLE Step 1 Qbook: 850 Exam-Like Practice Questions to Boost Your Score (USMLE Prep)		Kaplan Publishing	USMLE Step 1問題集 2025年11版

6　準備学習（予習・復習）

各自，自分に合った参考図書を選んで勉強すること。
予習：参考図書で講義に相当する内容を読んでおく（1日あたり15分）。
復習：講義で聴いた内容について参考図書を読んで確認する（1日あたり0.5～1時間）。
分からなかったところはそのままにせず理解できるまで調べるか質問する。
将来必ず必要になるので低学年のうちから成書を読む習慣を身につけること。

※ 感染症の感染状況に応じて講義スケジュールを変更することがあるので注意すること。

7　授業計画

（1）　講義の方法

ほとんどが大教室での通常の講義である。一部オンデマンド講義を行う（甲状腺，カルシウム制御）。USMLEの問題集の関連問題につき学生による解説を行い学習する。

（2）　講義の内容

主に神経生理学，内分泌生理学，血液生理学の系統講義を行う。関連するUSMLEの問題集を学修する。学習・記憶の講義の一部として 「アクティブ・ラーニング」についての講義を行う。

生理学１

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/9/1(月)	3	－	講義	体液・電解質	生理学	教授	増渕　悟	303講
2025/9/1(月)	4	－	講義	シグナル伝達・応用(1)	生物学	教授	武内　恒成	303講
2025/9/1(月)	5	－	講義	膜電位	生理学	講師	榊原　伊織	303講
2025/9/4(木)	3	－	講義	興奮性細胞(1) 活動電位	生理学	講師	榊原　伊織	303講
2025/9/4(木)	4	－	講義	興奮性細胞(2) 刺激と興奮　興奮の伝導	生理学	講師	榊原　伊織	303講
2025/9/4(木)	5	－	講義	内分泌生理学総論	生理学	教授	増渕　悟	303講
2025/9/8(月)	3	－	講義	シグナル伝達・応用(2)	生物学	教授	武内　恒成	303講
2025/9/8(月)	4	－	講義	シナプス・光遺伝学(1)	－	非常勤講師	小野　大輔	303講
2025/9/8(月)	5	－	講義	シナプス・光遺伝学(2)	－	非常勤講師	小野　大輔	303講
2025/9/11(木)	3	－	講義	骨格筋(1)	生理学	講師	榊原　伊織	303講
2025/9/11(木)	4	－	講義	感覚総論	生理学	講師	犬束　歩	303講
2025/9/11(木)	5	－	講義	視床下部・下垂体(1)	生理学	教授	増渕　悟	303講
2025/9/18(木)	3	－	講義	骨格筋(2)	生理学	講師	榊原　伊織	303講
2025/9/18(木)	4	－	講義	体性感覚	生理学	講師	犬束　歩	303講
2025/9/18(木)	5	－	講義	下垂体(2)	生理学	教授	増渕　悟	303講
2025/9/22(月)	1	－	－	**試験1**(9/1-9/18の講義分　オンデマンド講義「甲状腺(増渕)」を含む)	生理学	教授	増渕　悟	101講
2025/9/22(月)	4	－	講義	副腎髄質	生理学	教授	増渕　悟	303講
2025/9/22(月)	5	－	講義	血液総論	生理学	講師	松井　卓哉	303講
2025/9/25(木)	3	－	講義	学習・記憶(1)	生理学	教授	増渕　悟	303講
2025/9/25(木)	4	－	講義	味覚・嗅覚	生理学	講師	犬束　歩	303講
2025/9/25(木)	5	－	講義	血清タンパク	生理学	講師	松井　卓哉	303講
2025/9/29(月)	3	－	講義	学習・記憶(2) 「アクティブラーニング」	－	客員教授	小針　誠	303講
2025/9/29(月)	4	－	講義	平滑筋	生理学	講師	榊原　伊織	303講
2025/9/29(月)	5	－	講義	赤血球(1)	生理学	講師	松井　卓哉	303講
2025/10/2(木)	3	－	講義	視覚(1)	生理学	教授	増渕　悟	303講
2025/10/2(木)	4	－	講義	視覚(2)	生理学	教授	増渕　悟	303講
2025/10/2(木)	5	－	講義	赤血球(2)	生理学	講師	松井　卓哉	303講
2025/10/6(月)	3	－	講義	膵島(1)	生理学	講師	小松　紘司	303講
2025/10/6(月)	4	－	講義	聴覚(1)	生理学	教授	増渕　悟	303講
2025/10/6(月)	5	－	講義	白血球(1)	生理学	講師	松井　卓哉	303講
2025/10/9(木)	3	－	講義	膵島(2)	生理学	講師	小松　紘司	303講
2025/10/9(木)	4	－	講義	聴覚(2)	生理学	教授	増渕　悟	303講
2025/10/9(木)	5	－	講義	白血球(2)	生理学	講師	松井　卓哉	303講
2025/10/27(月)	3	－	講義	副腎皮質(1)	生理学	講師	小松　紘司	303講
2025/10/27(月)	4	－	講義	平衡感覚	生理学	教授	増渕　悟	303講
2025/10/27(月)	5	－	講義	血小板　凝固・線溶	生理学	講師	松井　卓哉	303講
2025/10/30(木)	4	－	－	**試験2**(9/22-10/27の講義分)	生理学	教授	増渕　悟	101講
2025/10/30(木)	5	－	講義	副腎皮質(2)	生理学	講師	小松　紘司	303講
2025/11/6(木)	4	－	講義	性腺(1)	生理学	講師	小松　紘司	303講
2025/11/6(木)	5	－	講義	性腺(2)	生理学	講師	小松　紘司	303講
2025/11/10(月)	3	－	講義	神経回路	生物学	教授	武内　恒成	303講

生理学１

（３） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/11/10(月)	4	－	講義	本能	生理学	講師	犬束 歩	303講
2025/11/10(月)	5	－	講義	病態生理(血液)	生理学	講師	松井 卓哉	303講
2025/11/13(木)	4	－	講義	細胞容積調節機構と細胞死誘導:チャネル/トランスポータの役割	－	客員教授	岡田 泰伸	303講
2025/11/13(木)	5	－	講義	USMLE演習１ (USMLE Step1 問題集の中から生理学関連項目を学修する)	生理学	教授	増渕 悟	303講
2025/11/17(月)	3	－	講義	神経治療学	生物学	教授	武内 恒成	303講
2025/11/17(月)	4	－	講義	USMLE演習２	生理学	教授	増渕 悟	303講
2025/11/17(月)	5	－	講義	USMLE演習３	生理学	教授	増渕 悟	303講
2025/11/20(木)	4	－	講義	老化の生理学	生物学	教授(特任)	池野 正史	303講
2025/11/20(木)	5	－	講義	生物リズム	－	客員教授	池上啓介	303講
2025/11/27(木)	4	－	講義	情動・睡眠	生理学	講師	犬束 歩	303講
2025/11/27(木)	5	－	講義	大脳皮質の機能局在	生理学	教授	増渕 悟	303講
2025/12/15(月)	**3**	**－**	**－**	**定期試験(全講義が試験範囲 オンデマンド講義「甲状腺・カルシウム制御(増渕)」を含む)90分**	**生理学**	**教授**	**増渕 悟**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
増渕　悟	教授	生理学講座	月曜日	16:00～18:00	2号館研究棟257号室
犬束　歩	講師	生理学講座	火・木曜日	13:00～17:00	2号館研究棟259号室
小松　紘司	講師	生理学講座	月～金曜日	17:00～19:00	2号館研究棟259号室
榊原　伊織	講師	生理学講座	火・木曜日	13:00～17:00	2号館研究棟259号室
松井　卓哉	講師	生理学講座	月・火・水曜日	16:30～18:00	2号館研究棟303号室
武内　恒成	教授	生物学	月曜日	16:00～18:00	3号館基礎科学棟2階B213号室
池野　正史	教授(特任)	生物学	火曜日	16:00～18:00	3号館基礎科学棟2階B208号室
池上啓介	非常勤講師	九州大学大学院農学研究院 動物・海洋生物科学講座 代謝・行動制御学研究分野客員教授	講義終了後，講義室にて		
岡田　泰伸	非常勤講師	元生理学研究所長 元総合研究大学院大学学長 愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		
小野　大輔	非常勤講師	名古屋大学 環境医学研究所講師	講義終了後，講義室にて		
小針　誠	非常勤講師	青山学院大学教育人間科学部教授 愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		

生　化　学　1

【単位数：2単位，授業30コマ，予備2コマ（定期試験含まず）】

1　科目責任者

細川好孝　教授（生化学）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅲ-3-c）

① コアコンピテンスの医学知識と科学的探究心の理解のため，生化学の基礎である生体の代謝学を学び，そのことによって，疾病の病因と病態・治療につながる基礎医学的な要素への理解を深める。
② 生化学の講義・実習で得た知識を基にして，将来診療で経験した病態の解析につながる学修を行う。
③ 疾患を含む全ての生命現象は，基本物質の相互作用と代謝の上に成立していることを学ぶ。

（2）　学修目標

① 生化学における重要な基本物質（糖質，脂質，アミノ酸など）の構造，機能を説明できる。
② 糖質，脂質，タンパク質，核酸の代謝の代謝経路について，経路の概略と調節機構，生理的意義，病態生理的意義を説明することができる。
③ 糖質，脂質，タンパク質，核酸の代謝の代謝経路について，経路の調節に関与する酵素，補酵素，調節因子について説明することができる。
④ 高エネルギーリン酸化合物の生成機構とこの生体エネルギーが生体機能にどのように利用されているかについて説明できる。
⑤ 酵素の性質と作用機序及びその活性の調節機構を説明することができる。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	80%	原則記述式とする。基本的に80点を満点とする。
中間テスト	○	20%	20点を満点とする。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は10%を限度に減点をする。
その他	—	—	再試験は100点満点とし，中間試験を加味しない。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）　合格基準

評価対象の合計が60%以上で合格とする。

（3）　再試験・再評価の方法

評価対象の合計が60%未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する（60%以上で合格，中間試験の点数は含まない）。

（4）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

○ 試験の問題の解説を行う。
○ 講義の中で，定期試験に向けた課題を配付し，解説を行う。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
イラストレイテッド生化学	石崎泰樹，丸山 敬 監訳	丸善株式会社	イラストを駆使して，生化学全般に網羅性・簡潔性に優れている。一部講義プリントの作成に利用している。
「レーニンジャーの新生化学」（上・下）	山科郁男 監修	廣川書店	講義プリントはレーニンジャーに基づいて作成しているため，理解を深める目的で，辞書として使用するとよい。

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
Lehninger Principles of Biochemistry	David L. Nelson & Michael M Cox	W.H. Freeman and Company	英文が平易であり，英語学習の第一歩として適している。一部講義プリントに利用している。

6　準備学習（予習・復習）

予習：特別な予習は要求しない。可能であれば，授業計画表を参考にして，イラストレイテッド生化学で概要をつかんでおくとよい（1日あたり約20分）。

復習：講義プリントの内容を中心に，イラストレイテッド生化学や生化学レーニンジャーの新生化学を参考にしながら理解を深めてほしい（1日あたり約1時間）。

7　授業計画

（1）　講義の方法

大教室での授業プリント，スライドを用いた知識伝達型の講義が主体であるが，できる限り講師側から質問を投げかけ，双方向性の講義になるように努めている。レーニンジャー生化学の英語版の一部も使用して，医学英語を学ぶきっかけとしたい。

（2）　講義の内容

1コマ目に代謝学全般を概観しながら総論を解説し，次いで生化学の基本である糖質・タンパク質・脂質及び酵素学を学び，さらに代謝学の詳細へと理解を深めていく。人体の働き・疾病への理解につながる講義としたい。

生化学１

（３） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/9/2(火)	3	ー	講義	生化学概要	生化学	教授	細川　好孝	303講
2025/9/2(火)	4	ー	講義	代謝経路の概要と調節	生化学	教授	細川　好孝	303講
2025/9/5(金)	3	ー	講義	アミノ酸の構造と性質，糖脂質	生化学	准教授(特任)	兵頭　寿典	303講
2025/9/5(金)	4	ー	講義	タンパク質の高次構造，変性疾患	生化学	准教授(特任)	兵頭　寿典	303講
2025/9/9(火)	3	ー	講義	酵素，補酵素の分類と触媒作用	生化学	准教授(特任)	兵頭　寿典	303講
2025/9/9(火)	4	ー	講義	活性化エネルギー	生化学	准教授(特任)	兵頭　寿典	303講
2025/9/12(金)	3	ー	講義	反応速度論，阻害形式	生化学	准教授(特任)	兵頭　寿典	303講
2025/9/12(金)	4	ー	講義	調節酵素	生化学	准教授(特任)	兵頭　寿典	303講
2025/9/16(火)	3	ー	講義	解糖経路	生化学	教授	細川　好孝	303講
2025/9/16(火)	4	ー	講義	ペントースリン酸経路	生化学	教授	細川　好孝	303講
2025/9/30(火)	3	ー	講義	TCA回路	生化学	教授	細川　好孝	303講
2025/9/30(火)	4	ー	講義	電子伝達系	生化学	教授	細川　好孝	303講
2025/10/3(金)	4	ー	講義	酸化的リン酸化	生化学	教授	細川　好孝	303講
2025/10/7(火)	3	ー	講義	糖新生，コリ回路	生化学	教授(特任)	都築　忍	303講
2025/10/7(火)	4	ー	講義	グリコーゲン代謝	生化学	教授(特任)	都築　忍	303講
2025/10/10(金)	4	ー	講義	脂質・構造脂質，脂質代謝異常	ー	非常勤講師	坪内　凉子	303講
2025/10/14(火)	3	ー	講義	脂質の消化，動員，輸送	生化学	教授(特任)	小西　裕之	303講
2025/10/14(火)	4	ー	講義	脂肪酸の活性化とβ酸化・ケトン体	生化学	教授(特任)	小西　裕之	303講
2025/10/17(金)	4	ー	ー	予備				
2025/10/28(火)	3	ー	講義	脂肪酸・コレステロール生合成	生化学	教授(特任)	小西　裕之	303講
2025/10/28(火)	4	ー	講義	ステロイド・胆汁酸合成	生化学	教授(特任)	小西　裕之	303講
2025/10/31(金)	4	ー	講義	血漿リポタンパク質・関連疾患	生化学	教授(特任)	小西　裕之	303講
2025/11/4(火)	3	ー	講義	アミノ基転移・酸化的脱アミノ反応	ー	非常勤講師	竹内　章夫	303講
2025/11/4(火)	4	ー	講義	尿素回路	ー	非常勤講師	竹内　章夫	303講
2025/11/11(火)	3	ー	講義	生体物質の生合成	ー	非常勤講師	竹内　章夫	303講
2025/11/11(火)	4	ー	講義	分岐鎖アミノ酸，ヘムの合成と分解	ー	非常勤講師	竹内　章夫	303講
2025/11/18(火)	3	ー	ー	予備				
2025/11/18(火)	4	ー	講義	**中間テスト**	生化学	教授	細川　好孝	101講
2025/11/25(火)	3	ー	講義	各臓器での代謝の統合	生化学	教授	細川　好孝	303講
2025/11/25(火)	4	ー	講義	燃料代謝のホルモンによる調節	生化学	教授	細川　好孝	303講
2025/12/2(火)	3	ー	講義	糖尿病	生化学	教授(特任)	都築　忍	303講
2025/12/2(火)	4	ー	講義	メタボリックシンドローム	生化学	教授(特任)	都築　忍	303講
2025/12/17(水)	**4**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**生化学**	**教授**	**細川　好孝**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
細川　好孝	教授	生化学講座	火・水・金	16:00～18:00	2号館研究棟3階361号室
小西　裕之	教授(特任)	生化学講座	月・木曜日	15:00～17:00	2号館研究棟3階362号室
都築　忍	教授(特任)	生化学講座	月・木曜日	15:00～17:00	2号館研究棟3階362号室
兵頭　寿典	准教授(特任)	生化学講座	月・木曜日	16:00～18:00	2号館研究棟3階304号室
竹内　章夫	非常勤講師	愛知医科大学　非常勤講師	講義終了後，講義室にて		
坪内　凉子	非常勤講師	愛知医科大学　非常勤講師	講義終了後，講義室にて		

基礎科学・基礎医学統合演習

【単位数:1.5 単位，授業 25 コマ】

1　科目責任者

早稲田勝久　教授(医学教育センター)

科目担当者
内藤宗和　教授(解剖学)

2　教育目標

(1)　ねらい(Ⅰ-8-a，Ⅱ-6-a，Ⅲ-1-a，Ⅲ-2-a，Ⅲ-8-a，Ⅲ-9-a)

① コアコンピテンスの“プロフェッショナリズム”の理解のため，自己学習した内容を発表できることを目標とする。
② コアコンピテンスの“医学知識と科学的探究心”の理解のため，特に1学年次で修得した知識を横断的に整理し，医学の土台となる基礎科学と基礎医学の繋がりを理解する。
③ コアコンピテンスの“コミュニケーション”の理解のため，ICTを活用して学ぶ技術を高め，個人だけでなく集団，社会と適切に交流できることを目指す。

(2)　学修目標

① 1学年次で修得した知識を説明できる。
② 基礎科学と基礎医学の繋がりを概説できる。
③ ICTを活用して学修できる。

3　成績の判定・評価

(1)　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
成果物	○	100%	1学年次で修得した科目の内容を動画にまとめ，提出する。

出席:　単位を修得するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2)　合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3)　再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は，再試験を実施する。再試験の内容はレポートを課す。レポートが60%以上の場合，合格とする。

(4)　課題(試験やレポート)へのフィードバック

レポートの総括を学内メールで通知する。これにより，理解が不十分な項目について再確認を促す。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
1学年次で履修した科目の教科書			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
1学年次で履修した科目の参考図書			

6　準備学習（予習・復習）

1学年次で学修した知識の予習・復習を行うこと（1日あたり約1時間）。

7　授業計画

（1）　講義の方法

1学年次で修得した科目の内容を動画にまとめ，提出する。詳細は事前にオンデマンド動画で説明する。

（2）　講義の内容

1学年次で学修した基礎科学と基礎医学の知識を整理するため， ICTを活用してその知識を動画にまとめる。

基礎科学・基礎医学統合演習

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2026/1/22(木)	1	ー	演習	グループ学習(ガイダンス)	解剖学 解剖学	教授 講師	内藤 宗和 大塚 俊	303講
2026/1/22(木)	2	ー	演習	発表のための準備	解剖学 解剖学 医教C 医教C 医教C 循内・医教C	教授 講師 教授 准教授 准教授 助教(医員助教)	内藤 宗和 大塚 俊 早稲田 勝久 河合 聖子 山口 奈緒子 松尾 幸果	303講
2026/1/22(木)	3	ー	演習	発表のための準備	解剖学 解剖学 医教C 医教C 医教C 循内・医教C	教授 講師 教授 准教授 准教授 助教(医員助教)	内藤 宗和 大塚 俊 早稲田 勝久 河合 聖子 山口 奈緒子 松尾 幸果	303講
2026/1/22(木)	4	ー	演習	発表のための準備	解剖学 解剖学 医教C 医教C 医教C 循内・医教C	教授 講師 教授 准教授 准教授 助教(医員助教)	内藤 宗和 大塚 俊 早稲田 勝久 河合 聖子 山口 奈緒子 松尾 幸果	303講
2026/1/22(木)	5	ー	演習	発表のための準備	解剖学 解剖学 医教C 医教C 医教C 循内・医教C	教授 講師 教授 准教授 准教授 助教(医員助教)	内藤 宗和 大塚 俊 早稲田 勝久 河合 聖子 山口 奈緒子 松尾 幸果	303講
2026/1/23(金)	1	ー	演習	発表のための準備	解剖学 解剖学 医教C 医教C 医教C 循内・医教C	教授 講師 教授 准教授 准教授 助教(医員助教)	内藤 宗和 大塚 俊 早稲田 勝久 河合 聖子 山口 奈緒子 松尾 幸果	303講
2026/1/23(金)	2	ー	演習	発表のための準備	解剖学 解剖学 医教C 医教C 医教C 循内・医教C	教授 講師 教授 准教授 准教授 助教(医員助教)	内藤 宗和 大塚 俊 早稲田 勝久 河合 聖子 山口 奈緒子 松尾 幸果	303講
2026/1/23(金)	3	ー	演習	発表のための準備	解剖学 解剖学 医教C 医教C 医教C 循内・医教C	教授 講師 教授 准教授 准教授 助教(医員助教)	内藤 宗和 大塚 俊 早稲田 勝久 河合 聖子 山口 奈緒子 松尾 幸果	303講
2026/1/23(金)	4	ー	演習	発表のための準備	解剖学 解剖学 医教C 医教C 医教C 循内・医教C	教授 講師 教授 准教授 准教授 助教(医員助教)	内藤 宗和 大塚 俊 早稲田 勝久 河合 聖子 山口 奈緒子 松尾 幸果	303講
2026/1/23(金)	5	ー	演習	発表のための準備	解剖学 解剖学 医教C 医教C 医教C 循内・医教C	教授 講師 教授 准教授 准教授 助教(医員助教)	内藤 宗和 大塚 俊 早稲田 勝久 河合 聖子 山口 奈緒子 松尾 幸果	303講

基礎科学・基礎医学統合演習

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2026/1/26(月)	1	ー	演習	発表のための準備	解剖学 解剖学 医教C 医教C 医教C 循内・医教C	教授 講師 教授 准教授 准教授 助教(医員助教)	内藤 宗和 大塚 俊 早稲田 勝久 河合 聖子 山口 奈緒子 松尾 幸果	303講
2026/1/26(月)	2	ー	演習	発表のための準備	解剖学 解剖学 医教C 医教C 医教C 循内・医教C	教授 講師 教授 准教授 准教授 助教(医員助教)	内藤 宗和 大塚 俊 早稲田 勝久 河合 聖子 山口 奈緒子 松尾 幸果	303講
2026/1/26(月)	3	ー	演習	発表のための準備	解剖学 解剖学 医教C 医教C 医教C 循内・医教C	教授 講師 教授 准教授 准教授 助教(医員助教)	内藤 宗和 大塚 俊 早稲田 勝久 河合 聖子 山口 奈緒子 松尾 幸果	303講
2026/1/26(月)	4	ー	演習	発表のための準備	解剖学 解剖学 医教C 医教C 医教C 循内・医教C	教授 講師 教授 准教授 准教授 助教(医員助教)	内藤 宗和 大塚 俊 早稲田 勝久 河合 聖子 山口 奈緒子 松尾 幸果	303講
2026/1/26(月)	5	ー	演習	発表のための準備	解剖学 解剖学 医教C 医教C 医教C 循内・医教C	教授 講師 教授 准教授 准教授 助教(医員助教)	内藤 宗和 大塚 俊 早稲田 勝久 河合 聖子 山口 奈緒子 松尾 幸果	303講
2026/1/27(火)	1	ー	演習	発表のための準備	解剖学 解剖学 医教C 医教C 医教C 循内・医教C	教授 講師 教授 准教授 准教授 助教(医員助教)	内藤 宗和 大塚 俊 早稲田 勝久 河合 聖子 山口 奈緒子 松尾 幸果	303講
2026/1/27(火)	2	ー	演習	発表のための準備	解剖学 解剖学 医教C 医教C 医教C 循内・医教C	教授 講師 教授 准教授 准教授 助教(医員助教)	内藤 宗和 大塚 俊 早稲田 勝久 河合 聖子 山口 奈緒子 松尾 幸果	303講
2026/1/27(火)	3	ー	演習	発表のための準備	解剖学 解剖学 医教C 医教C 医教C 循内・医教C	教授 講師 教授 准教授 准教授 助教(医員助教)	内藤 宗和 大塚 俊 早稲田 勝久 河合 聖子 山口 奈緒子 松尾 幸果	303講
2026/1/27(火)	4	ー	演習	発表のための準備	解剖学 解剖学 医教C 医教C 医教C 循内・医教C	教授 講師 教授 准教授 准教授 助教(医員助教)	内藤 宗和 大塚 俊 早稲田 勝久 河合 聖子 山口 奈緒子 松尾 幸果	303講

基礎科学・基礎医学統合演習

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2026/1/27(火)	5	ー	演習	発表のための準備	解剖学 解剖学 医教C 医教C 医教C 循内・医教C	教授 講師 教授 准教授 准教授 助教(医員助教)	内藤 宗和 大塚 俊 早稲田 勝久 河合 聖子 山口 奈緒子 松尾 幸果	303講
2026/1/28(水)	1	ー	演習	発表	解剖学 解剖学 医教C 医教C 医教C 循内・医教C	教授 講師 教授 准教授 准教授 助教(医員助教)	内藤 宗和 大塚 俊 早稲田 勝久 河合 聖子 山口 奈緒子 松尾 幸果	303講
2026/1/28(水)	2	ー	演習	発表	解剖学 解剖学 医教C 医教C 医教C 循内・医教C	教授 講師 教授 准教授 准教授 助教(医員助教)	内藤 宗和 大塚 俊 早稲田 勝久 河合 聖子 山口 奈緒子 松尾 幸果	303講
2026/1/28(水)	3	ー	演習	発表	解剖学 解剖学 医教C 医教C 医教C 循内・医教C	教授 講師 教授 准教授 准教授 助教(医員助教)	内藤 宗和 大塚 俊 早稲田 勝久 河合 聖子 山口 奈緒子 松尾 幸果	303講
2026/1/28(水)	4	ー	演習	発表	解剖学 解剖学 医教C 医教C 医教C 循内・医教C	教授 講師 教授 准教授 准教授 助教(医員助教)	内藤 宗和 大塚 俊 早稲田 勝久 河合 聖子 山口 奈緒子 松尾 幸果	303講
2026/1/28(水)	5	ー	演習	総括	医教C 医教C 医教C	教授 准教授 准教授	早稲田 勝久 河合 聖子 山口 奈緒子	303講

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
早稲田　勝久	教授	医学教育センター	木曜日 金曜日	14:00～17:00 15:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
河合　聖子	准教授	医学教育センター	木曜日	16:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
内藤　宗和	教授	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟2階254号室
大塚　俊	講師	解剖学講座	月～水曜日	14:00～16:00	2号館研究棟2階256号室
山口　奈緒子	准教授	薬理学講座	月曜日	13:00～18:00	1号館大学本館7階医学教育センター
松尾　幸果	助教(医員助教)	循環器内科	講義終了後，講義室にて		

Preparation for the ＵＳＭＬＥ

【単位数:0.5単位，授業7コマ】

1　科目責任者

早稲田勝久　教授（医学教育センター）

科目担当者
内藤宗和　教授（解剖学）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅰ-7-c，Ⅱ-3-c，Ⅲ-2-c，Ⅲ-5-c，Ⅲ-9-b，Ⅲ-10-c）

① 英語で“新しい医学・医療情報を探索”することができる。
英語で“医学，医療における客観的根拠を適切に探索しEBMを実践できる”。

② 英語で書かれた問題を正しく理解すると同時に，その要点を整理することを通じて，重要事項や問題点を抽出する力を養う。

（２）　学修目標

① 米国医師国家試験である United States Medical Licensing Examination (USMLE) STEP1に関する医学知識と医学英語スキルを身に付けることができる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
小テスト	○	－	演習した項目に対する知識確認（AIDLE-Kを用いたテスト）

出席：　単位を修得するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

評価対象において，不可がないこと（合否の2段階で判定）。

（３）　再試験・再評価の方法

不合格の場合は，補習又は追加レポートを課す。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

各演習時に，その都度全員にフィードバックする。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
First Aid for the USMLE Step 1	Le, Tao 他	南江堂	USMLE STEP1の内容が詳しく解説されているため。

６　準備学習（予習・復習）

AIDLE-Kにアップされた資料を用いて予習する（1コマあたり0.5時間）。また，授業時間内にやり残した課題や十分に理解できなかったところは，AIDLE-Kに掲載される授業資料を活用して復習する（1コマあたり約0.5時間）。

７　授業計画

（１）　講義の方法

演習課題に取り組む時間と，理解のポイントについての解説が中心となる。

（２）　講義の内容

課題と解説を通じて英語力を養う。課題は試験ではないため，間違いを恐れずに，自分で考えて答えることが重要である。解説を聞きながら自分の解答を訂正していくこと。学生からの質問に応える形でインタラクティブな講義を行う。

Preparation for the ＵＳＭＬＥ

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2026/1/6(火)	3	―	講義	解剖学	解剖学	教授	内藤　宗和	303講
2026/1/6(火)	4	―	講義	解剖学	解剖学	教授	内藤　宗和	303講
2026/1/7(水)	4	―	講義	細胞生物学・分子生物学	生物学	教授	武内　恒成	303講
2026/1/7(水)	5	―	講義	細胞生物学・分子生物学	生物学	教授	武内　恒成	303講
2026/1/8(木)	4	―	講義	生化学	生化学	教授	細川　好孝	303講
2026/1/13(火)	3	―	講義	解剖学	解剖学	教授	内藤　宗和	303講
2026/1/13(火)	4	―	講義	解剖学	解剖学	教授	内藤　宗和	303講

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
早稲田　勝久	教授	医学教育ｾﾝﾀｰ	木曜日 金曜日	14:00～17:00 15:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
内藤　宗和	教授	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟2階254号室
武内　恒成	教授	生物学	月曜日	16:00～18:00	3号館基礎科学棟2階B213号室
細川　好孝	教授	生化学講座	火・水・金	16:00～18:00	2号館研究棟3階361号室

選　択　講　座　1

【単位数:0.5単位，授業7コマ】

1　科目責任者

早稲田勝久　教授（医学教育センター）

2　教育目標

（1）　ねらい

① 医学教育モデルコアカリキュラムに定められている指針にとらわれず，「プロフェッショナリズム」，「コミュニケーション」，「医学知識と科学的探究心」，「診療技能」，「地域社会への貢献」について理解を深め，幅広い知識・技能・態度/姿勢を身につける。

② 医学教育モデルコアカリキュラムの選択科目を創出し，上級生が屋根瓦式に下級生を指導する体制を構築する。

（2）　学修目標

選択するコースにより学修目標は異なるが，医療従事者になるものとして，多様な知識・技能・態度/姿勢を修得できる。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は不可とする。
その他	○	—	1コース（3コマ）毎に評価する。評価方法はコース毎に異なる。

出席：　全ての講義・演習に出席する必要がある。

（2）　合格基準

すべての評価対象において，不可がないこと（合否の2段階で判定）。

（3）　再試験・再評価の方法

課題・レポートを課す。

（4）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

各授業で与えられる課題について，その場で口頭にてフィードバックする（選択コースによって差異あり）。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
コースにより異なる。			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
コースにより異なる。			

6　準備学習（予習・復習）

選択コース毎のコース内容案内を参照すること。

7　授業計画

（１）　講義の方法

選択するコース毎に授業の方法は異なる。

（２）　講義の内容

選択コース毎のコース内容案内を参照すること。
開講するコースについては，AIDLE-K を参照すること。

（３）　開催日時

別途掲示する日程表を参照すること。

２　学　年　次　履　修　科　目

プロフェッショナリズム２

【単位数：1.5単位，授業20コマ（定期試験含まず）】

１　科目責任者

早稲田勝久　教授（医学教育センター）

２　教育目標

（１）　ねらい（Ⅰ-1-c，Ⅰ-2-c，Ⅰ-3-c，Ⅰ-4-c，Ⅰ-5-c，Ⅰ-6-c,Ⅰ-11-c，Ⅰ-12-c，Ⅰ-13-c，Ⅰ-14-c，Ⅰ-15-c，Ⅱ-1-c，Ⅱ-2-c，Ⅱ-3-c，Ⅱ-5-c，Ⅲ-8-c，Ⅳ-8-c，Ⅴ-1-c）

① 本学のコンピテンスである「プロフェッショナリズム」，「コミュニケーション」，「医学知識と科学的探究心」，「診療技能」，「地域社会への貢献」について学ぶ。

② 医師として社会の多様なニーズ対応できるようになるのみならず，多様なキャリアパスを展望できるようになるために，「医師として求められる基本的な資質・能力」である‘プロフェッショナリズム’，‘医学知識と問題対応能力’，‘診療技能と患者ケア’，‘コミュニケーション能力’，‘チーム医療の実践’，‘医療の質と安全の管理’，‘社会における医療の実践’，‘科学的探究心’，‘生涯にわたって共に学ぶ姿勢’などについて概要を理解し，様々な医療専門職と議論をしながら学修をすすめる。

（２）　学修目標

① 医療面接に必要な基本的スキルを実践できる。
② 医学の各領域の代表的疾患の基本的病態・治療法を説明できる。
③ 医療を行う上で，関与している職種とその役割を説明できる。
④ チーム医療における医師の果たす役割を説明できる。
⑤ 医師に求められる倫理規範について概説できる。
⑥ 医師の説明責任について概説できる。

３　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	100％	A4　2枚程度の記述式
態度	○	―	受講態度が不良の場合は10点を限度に減点をする。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

再試験はレポートを課す（60％以上で合格）。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験の成績についての総括を学内メールで実施する。
答案に記載された内容について，理解が不十分と判断された場合は個々に理解度の確認を行う。
答案は基本的に返却され，採点項目を個々で確認する。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
平静の心―オスラー博士講演集	ウィリアム・オスラー	医学書院	「医学はサイエンスに支えられたアートである」と述べた，臨床医・研究者として生き，医学教育の基礎を築いたオスラー博士の講演集。医学・医療に臨むすべての医療者の心構えについて啓発される。
医学を選んだ君たちに問う	河崎一夫	朝日新聞 2002.4.16 オピニオン『私の視点』	すべての医学生が繰り返して読むべき講演内容である。医師になることの厳しさについて語られており，心が引き締まらずを得ない(ウェブ上で入手できる)。
医学部	鳥集　徹	文春文庫	一般人からみた医学・医療の現状・内情について解説されており，医学部・医療に入ってきた者として，今後の自身の在り方について考えさせられる。
医の知の羅針盤　良医であるためのヒント	ロバート・テイラー	メディカル・サイエンス・インターナショナル	医師として，人間としての成長のためにどうあるべきか，様々な視点からの助言集。手元に置いて，繰り返して読みたい内容である。
対話する医療　人間全体を診て癒すために	孫　大輔	さくら舎	あらゆる病いの緩和につながる対話する医療。患者の後ろに「家族の木」を見る家庭医の診察方法。医師の雑談やユーモア，共感力がもたらす癒しと治療の効果。新しい医療のカタチを明示している。
ケアの本質　－生きることの意味-	ミルトン・メイヤロフ	ゆみる出版	患者を診る(ケアする)とはどういうことか，その要素は何か,病める人と関わる者の姿勢,自身の在り方について考えさせられる。

6　準備学習（予習・復習）

講義終了後に，講義内容で印象深い点・今後学生生活を送るにあたって参考になる点などをまとめて記載しておく(1コマあたり0.5時間)。

7　授業計画

（1）　講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが，講義中，一部小グループ討論や講師との質疑応答などの双方向の講義を導入する。

（2）　講義の内容

「医師として求められる基本的な資質・能力」の具体を，医師，コ・メディカルなどからそれぞれの領域の話題を提供してもらい，理解を深めていく。

プロフェッショナリズム２

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/17(木)	3	ー	講義	多職種連携（総論）	医教C	教授	早稲田　勝久	302講
2025/4/24(木)	3	ー	講義	多職種連携（医師と放射線技師）	中放	診療放射線技師	金田　直樹	302講
2025/5/1(木)	3	ー	講義	多職種連携（医師と臨床工学技師）	臨工部	臨床工学技士	勝　啓佑	302講
2025/5/8(木)	3	ー	講義	多職種連携（医師と薬剤師）	薬剤部	薬剤師	塩田　有史	302講
2025/5/15(木)	3	ー	講義	多職種連携（医師とソーシャルワーカー）	医療福祉相談部	社会福祉士	對馬　清美	302講
2025/5/22(木)	3	ー	講義	多職種連携（医師と検査技師）	中検	臨床検査技師	谷　浩也	302講
2025/5/29(木)	3	ー	講義	多職種連携（医師と栄養士）	栄養部	管理栄養士	原　なおり	302講
2025/6/5(木)	3	ー	講義	先輩から聞く医師のキャリア	ー ー	非常勤講師 非常勤講師	池野　文昭 森　智世	302講
2025/6/12(木)	3	ー	講義	矯正医療	ー	ー	調整中	302講
2025/6/26(木)	3	ー	講義	調整中				302講
2025/6/26(木)	4	ー	講義	医師の働き方	ー	非常勤講師	石川　敦子	302講
2025/6/26(木)	5	ー	講義	患者さんから学ぶ	ー	非常勤講師	大柄　嘉宏	302講
2025/9/10(水)	1	ー	講義	プロフェッショナリズム	地域(寄)	教授(特任)	宮田　靖志	302講
2025/9/17(水)	2	ー	講義	医師はなぜ患者のために働くのか？	ー	客員教授	錦織　宏	302講
2025/9/24(水)	2	ー	講義	外科医になろう！	消外 乳外	助教 助教	加藤　翔子 髙阪　絢子	302講
2025/10/1(水)	2	ー	講義	救急蘇生	救集治医 救集治医	准教授 助教	苛原　隆之 久下　祐史	302講
2025/10/8(水)	2	A	演習	救急蘇生	救集治医 救集治医	准教授 助教	苛原　隆之 久下　祐史	Sim1
2025/10/15(水)	2	B	演習	救急蘇生	救集治医 救集治医	准教授 助教	苛原　隆之 久下　祐史	Sim1
2025/10/22(水)	2	ー	講義	医療被害者を通して良い医療を考える	ー	非常勤講師	加藤　良夫	302講
2025/11/10(月)	5	ー	講義	プロフェッショナリズム	地域(寄)	教授(特任)	宮田　靖志	302講
2025/12/11(木)	**4**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**医教C**	**教授**	**早稲田　勝久**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
早稲田 勝久	教授	医学教育センター	木曜日 金曜日	14:00～17:00 15:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
加藤 翔子	助教	消化器外科	金曜日	16:00～17:00	病院中央棟2階 小児科外来
髙阪 絢子	助教	外科学講座(乳腺・内分泌外科)	木曜日	13:00～14:00	C棟11階外科医局
苛原 隆之	准教授	救急集中治療医学講座	月・火・水曜日	15:00～17:00	救急・災害管理棟1階准教授室
久下 祐史	助教	救急集中治療医学講座	月～木曜日	10:00～17:00	救急・災害管理棟1階医局
谷 浩也	臨床検査技師	中央臨床検査部	講義終了後，講義室にて		
金田 直樹	診療放射線技師	中央放射線部	講義終了後，講義室にて		
勝 啓佑	臨床工学技士	臨床工学部	講義終了後，講義室にて		
宮田 靖志	教授(特任)	地域総合診療医学寄附講座	月・火曜日	13:00～16:00	2号館研究棟3階355室
塩田 有史	薬剤師	薬剤部	講義終了後，講義室にて		
對馬 清美	社会福祉士	医療福祉相談部	講義終了後，講義室にて		
原 なおり	管理栄養士	栄養部	講義終了後，講義室にて		
池野 文昭	非常勤講師	スタンフォード大学	講義終了後，講義室にて		
石川 敦子	非常勤講師	野村医院	講義終了後，講義室にて		
大柄 嘉宏	非常勤講師	マルファン協会	講義終了後，講義室にて		
加藤 良夫	非常勤講師	栄法律事務所	講義終了後，講義室にて		
錦織 宏	非常勤講師	愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		
森 智世	非常勤講師	株式会社Fast Track Initiative	講義終了後，講義室にて		

多 職 種 連 携 演 習 2

【単位数：1.5単位，授業25コマ（内5コマ）】

1　科目責任者

早稲田勝久　教授（医学教育センター）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅰ-1-c）

① 本学のコンピテンスである「プロフェッショナリズム」，「コミュニケーション」について学ぶ。

② 医師として社会の多様なニーズに対応できるように，また医師の役割を様々な角度から考察できるようになるために，「医師として求められる基本的な資質・能力」である‘プロフェッショナリズム’，‘医学知識と問題対応能力’，‘コミュニケーション能力’，‘チーム医療の実践’，‘医療の質と安全の管理’，‘社会における医療の実践’，‘生涯にわたって共に学ぶ姿勢’などについて考える機会を持ち，様々な医療専門職と議論をしながら学修をすすめる。

（2）　学修目標

全体目標

① 他学部学生との協働を体験し，自己のコミュニケーションの課題を見出すことができる。

② 医療チームにおける多職種のコミュニケーションの重要性を説明できる。

1学年次

・ 医師として必要な多様な価値観を持つことができる。良いチームとは何か，自己と他者の理解に対する姿勢，コミュニケーションの重要性を述べることができる。

2学年次

・ 医療は多職種協働であることを理解し，医療チームを構成する上での課題を抽出出来る。

3学年次

・ 患者・家族の視点に立ち，チームとして課題解決に取り組むことの重要性を説明できる。

4学年次

・ 臨床場面において，患者・家族中心の多職種協働を実践できる。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	90％	事前課題・事後課題を評価する。提出期限の厳守，指示に則って記載できていない場合は再提出を求めることがある。
態度	○	10％	演習に対する参加度を評価する（グループ討議に参加しない，居眠り，ゲームや内職は減点の対象とする）。

出席：　演習の単位を修得するためには，欠席をしてはならない。

（2）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

ただし，本科目は1学年次から4学年次に開講される多職種連携演習1～4全ての評価をもとに「多職種連携演習」として4学年次に単位認定をする（各学年での単位認定は行わないが，各学年で合格基準を満たすこと）。

2学年次では，5コマ開講する。

（3）　再試験・再評価の方法

再評価は教員と面接の上，課題を課す。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

レポートに記載された内容について，理解が不十分と判断された場合は個々に理解度の確認を行う。

４ 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

５ 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
他者と働く	宇田川元一	News Picks Publishing	「知識として正しいことと，実践の間には大きな隔たりがある」として分かりあえなさを基盤に他者とのかかわりの大切さを考察できる。
異文化コミュニケーションワークブック	矢代京子 荒木晶子 他	三修社	自分自身の「異文化」に対する価値観を多様なセルフチェックで知ることができ，価値観を考えるきっかけとなる。
最強組織の法則―新時代のチームワークとは何か	ピーター・M・センゲ 守部信之 訳	徳間書店	すばらしいチームとはどのような要素で成り立っているのか，また，様々なタイプのリーダーについて考察することができる。

６ 準備学習（予習・復習）

他学部との合同セッションになるため，身だしなみ，言葉遣いなど，参加するための準備をしておく（１日あたり0.5時間）。

７ 授業計画

（１） 講義の方法

小グループによる討論・発表や講師との質疑応答を行う。

（２） 講義の内容

看護学部学生・薬学部生と合同でグループワーク，発表を行う。

多職種連携演習２

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/9/12(金)	1	ー	演習	演習準備	医教C 糖内 医教C 医教C Sim 循内・医教C 医教C ー ー ー	教授 教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 特命教育教授 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師	早稲田　勝久 神谷　英紀 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 伴　信太郎 川原　千香子 淺田　義和 村岡　千種	Sim1
2025/9/12(金)	2	ー	演習	演習準備	医教C 糖内 医教C 医教C Sim 循内・医教C 医教C ー ー ー	教授 教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 特命教育教授 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師	早稲田　勝久 神谷　英紀 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 伴　信太郎 川原　千香子 淺田　義和 村岡　千種	Sim1
2025/9/12(金)	3	ー	演習	演習準備	医教C 糖内 医教C 医教C Sim 循内・医教C 医教C ー ー ー	教授 教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 特命教育教授 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師	早稲田　勝久 神谷　英紀 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 伴　信太郎 川原　千香子 淺田　義和 村岡　千種	Sim1
2025/9/12(金)	4	ー	演習	他学部との合同演習	医教C 糖内 医教C 医教C Sim 循内・医教C 医教C 看護学部 看護学部 看護学部 看護学部 看護学部 看護学部 看護学部 看護学部 ー ー ー ー	教授 教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 特命教育教授 教授 教授 教授 教授 准教授 准教授 講師 講師 講師 客員教授 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師	早稲田　勝久 神谷　英紀 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 伴　信太郎 山中　真 谷口　千枝 篠田　かおる 山本　恵美子 青山　恵美 黒澤　昌洋 上坂　真弓 横山　剛志 伊藤　真規 築山　郁人 川原　千香子 淺田　義和 村岡　千種	Sim1 Sim3
2025/9/12(金)	5	ー	演習	他学部との合同演習	医教C 糖内 医教C 医教C Sim 循内・医教C 医教C 看護学部 看護学部 看護学部 看護学部 看護学部 看護学部 看護学部 看護学部 ー ー ー ー	教授 教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 特命教育教授 教授 教授 教授 教授 准教授 准教授 講師 講師 講師 客員教授 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師	早稲田　勝久 神谷　英紀 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 伴　信太郎 山中　真 谷口　千枝 篠田　かおる 山本　恵美子 青山　恵美 黒澤　昌洋 上坂　真弓 横山　剛志 伊藤　真規 築山　郁人 川原　千香子 淺田　義和 村岡　千種	Sim1 Sim3

8 オフィスアワー

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
早稲田 勝久	教授	医学教育センター	木曜日 金曜日	14:00～17:00 15:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
河合 聖子	准教授	医学教育センター	木曜日	16:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
山口 奈緒子	准教授	薬理学講座	月曜日	13:00～18:00	1号館大学本館7階医学教育センター
松尾 幸果	助教(医員助教)	循環器内科	講義終了後，講義室にて		
神谷 英紀	教授	内科学講座(糖尿病内科)	木・金曜日	14:00～15:00	C棟5階糖尿病内科教授室
森下 啓明	准教授	シミュレーションセンター	火曜日	9:00～16:00	シミュレーションセンター事務室
伴 信太郎	特命教育教授	メディカルセンター	講義終了後，講義室にて		
谷口 千枝	教授	看護学部	講義終了後，講義室にて		
山中 真	教授	看護学部	講義終了後，講義室にて		
青山 恵美	准教授	看護学部	講義終了後，講義室にて		
黒澤 昌洋	准教授	看護学部	講義終了後，講義室にて		
篠田 かおる	教授	看護学部	講義終了後，講義室にて		
山本 恵美子	教授	看護学部	講義終了後，講義室にて		
上坂 真弓	講師	看護学部	講義終了後，講義室にて		
横山 剛志	講師	看護学部	講義終了後，講義室にて		
伊藤 真規	講師	看護学部	講義終了後，講義室にて		
淺田 義和	非常勤講師	自治医科大学 医学教育センター 准教授	講義終了後，講義室にて		
川原 千香子	非常勤講師	帝京大学医学部准教授	講義終了後，講義室にて		
築山 郁人	非常勤講師	愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		
村岡 千種	非常勤講師	藤田医科大学 保健衛生学部リハビリテーション学科 講師	講義終了後，講義室にて		

行　動　科　学　2

【単位数：1単位，授業13コマ（定期試験含まず）】

1　科目責任者

鈴木孝太　教授（衛生学）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅰ-7-c，Ⅱ-1-c，Ⅲ-6-c）

① コンピテンス「プロフェッショナリズム」における，医師としての価値観・態度・姿勢を身につけるために，自分の行為と決断を振り返り，客観的に自己評価を行った上で，自己の目標を設定し，どのように達成することができるか，その方法を見出すことができる。

さらに，「コミュニケーション」における，個人同士だけではなく，集団，社会との適切なコミュニケーションをとり，「医学知識と科学的探究心」に基づいて人の健康行動につながる特に心理的，社会的要因について理解し，健康増進の方法を説明できる。

② 1学年次に学んだ行動科学1cでは個人を対象に人の行動について学んだが，行動科学2では，全ての人の行動を支える社会の仕組みを理解するために，社会医学の基礎的事項について学ぶ。そのことから，健康や疾病，障害が社会のあり方と密接に関連していることを理解し，医学・医療をとりまく社会のしくみとその実際を理解する。

（2）　学修目標

以下について，例などを用いて具体的に説明できることを目標とする。

① 健康の社会的決定要因及び，その他の環境要因
② 一次～三次予防と，ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチ
③ 生存権，社会保障の4つの柱
④ 医療保険と介護保険，保険診療，自由診療，混合診療
⑤ 国民医療費に含まれるもの，またその変遷
⑥ 一般保健（公衆衛生）行政のシステム（厚生労働省，都道府県，保健所，市町村の役割や根拠法）
⑦ 災害発生からの時期に応じた医療ニーズとそれに対する対応
⑧ 日本における健康問題と，海外における健康問題の共通点及び違い

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	60%	記述式及び多肢選択問題
レポート	○	40%	適宜実施し，記述内容により評価する。
その他	○	—	受講態度などにより，総合成績に加減点（最大10%）する。加点により100点を超える場合は100点とする。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）　合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（3）　再試験・再評価の方法

定期試験，レポートの合計が60%未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する（60%以上で合格）。

（4）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

レポート，確認テストについては，講評を作成し適宜メールで通知する。
また，定期試験で不合格となった者については，必要に応じ，補講を実施する。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
保健・医療・福祉における 行動科学入門 生活習慣の評価から行動変容の実践まで	鈴木孝太 柿崎真沙子 菊池宏幸 （編・著）	大修館書店	本学のカリキュラムと，医学教育コアカリキュラムに沿ったテキスト。プロフェッショナリズム1a（医療人入門），行動科学1c，行動科学2，健康増進と疾病予防の内容に準拠している。
公衆衛生がみえる	医療情報科学研究所編	MEDIC MEDIA	医学，医療に関する，倫理的，法律的，社会的な事柄がわかりやすく整理されている。
各講義における配付資料			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
行動医学テキスト	日本行動医学会	中外医学社	医学教育コアカリキュラムに準拠し行動科学を網羅した良書。
Behavioral Science (7th edition)	Barbara Fadem	Wolkers Kluwer	アメリカの行動科学の標準テキスト。米国USMLEの問題も掲載し，利用価値は高い。
行動科学　健康づくりのための理論と応用	畑　栄一，土井由利子編	南江堂	個人の行動変容を促す方法を学ぶ上で有用。
医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎　生活習慣病を中心に	松本千明	医歯薬出版	特に生活習慣病を対象に，実際に行動変容を促す方法を学ぶのに有用。
健康行動と健康教育	Karen Glanzら（曽根智史ら訳）	医学書院	健康教育を含め，行動変容を促す方法を学ぶのに有用。
Theory in a Nutshell	Don Nutbeamら	McGraw-Hill Education	ヘルスプロモーションのさまざまな理論がまとめられている。
医療現場の行動経済学 すれ違う医者と患者	大竹文雄，平井 啓	東洋経済新報社	行動経済学の視点から，医療者，患者の考え方を説明している良書。

6　準備学習（予習・復習）

○ 授業に臨むにあたり，「保健・医療・福祉における 行動科学入門」「公衆衛生がみえる」などの教科書，参考書で，講義内容に関わる事柄について簡単に情報取集しておく（1日あたり約0.5時間）。

○ 非常勤講師の授業後を中心に，その授業までに知っていたこと，また授業で初めて知ったことというテーマなどのレポートを課すので，それらのテーマに沿ってレポートを作成する（1日あたり約0.5時間）。

7　授業計画

（１）　講義の方法

講義については，基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが，講義中，一部，小グループ討論や講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

（２）　講義の内容

1学年次の行動科学1cを中心に学んださまざまな人の行動について，今度は個人レベルから集団レベルまで幅広く学ぶために，社会における多様な健康に関する問題を，事例を中心に専門家から紹介する。さらに，そのような人間集団の行動を支える社会の仕組みについて，特に，医学・医療を中心に学ぶ。

行動科学２

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/9/10(水)	2	ー	講義	ガイダンス 健康，障害と疾病の概念，社会構造と健康・疾病との関連を示す	衛生学	教授	鈴木　孝太	302講
2025/9/17(水)	1	ー	講義	医療の現場における行動科学	看護学部	教授	谷口　千枝	302講
2025/9/24(水)	1	ー	講義	災害医療対応システム	ー	名誉教授	中川　隆	302講
2025/10/1(水)	1	ー	講義	救急医療の現場における人々の行動	ー	非常勤医師	青木　瑠里	302講
2025/10/8(水)	1	ー	講義	医療訴訟における患者・家族と医師	ー	非常勤講師	宮澤　俊夫	302講
2025/10/15(水)	1	ー	講義	保健・医療・福祉・介護のしくみを概説する	衛生学	助教	若山　怜	302講
2025/10/22(水)	1	ー	講義	働く人を守るさまざまなしくみの紹介	衛生学	教授	鈴木　孝太	302講
2025/10/29(水)	1	ー	講義	子どもの健康と社会	ー	非常勤講師	濱口　典子	302講
2025/10/29(水)	2	ー	講義	障がいと医学・医療・社会	ー	名誉教授	二村　真秀	302講
2025/11/5(水)	1	ー	講義	民間企業での健康増進活動	衛生学	講師	川越　隆	302講
2025/11/5(水)	2	ー	講義	国際保健のあり方と南アジアを中心とする具体的な活動の紹介	衛生学	講師	梅村　朋弘	302講
2025/11/10(月)	3	ー	講義	疫学入門	衛生学	教授	鈴木　孝太	302講
2025/11/10(月)	4	ー	講義	地域社会医学実習に向けての心構え	ー 衛生学	非常勤講師 教授	加藤　正雄 鈴木　孝太	302講
2025/12/9(火)	**4**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**衛生学**	**教授**	**鈴木　孝太**	**101講**

8 オフィスアワー　　行動科学2

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
鈴木 孝太	教授	衛生学講座	水曜日 (不定期)	17:30～18:30	2号館研究棟M3階371号室 (部署宛に要事前連絡)
若山 怜	助教	衛生学講座	月～金曜日	10:00～17:00	2号館研究棟M3階370号室 (要事前連絡)
梅村 朋弘	講師	衛生学講座	月～金曜日	10:00～18:00	2号館研究棟M3階370号室 (要事前連絡)
川越 隆	講師	衛生学講座	水曜日	16:00～18:30	2号館研究棟3階312号室 (要事前連絡)
谷口 千枝	教授	看護学部	講義終了後，講義室にて		
青木 瑠里	非常勤医師	福友病院 医師	講義終了後，講義室にて		
加藤 正雄	非常勤講師	エムケイ教育アド研究所代表	講義終了後，講義室にて		
中川 隆	非常勤講師	愛知医科大学名誉教授	講義終了後，講義室にて		
濱口 典子	非常勤講師	国立病院機構東名古屋病院 小児科医師	講義終了後，講義室にて		
二村 真秀	非常勤講師	愛知医科大学名誉教授	講義終了後，講義室にて		
宮澤 俊夫	非常勤講師	宮澤俊夫法律事務所弁護士	講義終了後，講義室にて		

統　計　学　2

【単位数:0.5単位，授業7コマ】

1　科目責任者

橋本貴宏　教授(特任)(数学)

2　教育目標

(1)　ねらい(Ⅲ-1-c，Ⅲ-10-c)

① コンピテンス「医学知識と科学的探究心」の中の「根拠に基づく医療」(EBM)を理解するために必要な統計学を学び，併せてデータサイエンスを含めた諸科学への応用へとつなげる。

② 身体の検査から薬効の判断，そして人工知能まで，様々な応用がある統計学の知識を身に付け，それらを正しく運用する能力を養うことを目標とする。

(2)　学修目標

① 母平均や母比率の信頼区間について説明できる。
② 仮説検定の基礎が説明できる。
③ 2×2 分割表の分析方法を述べることができる。
④ 分散分析について説明することができる。
⑤ 重回帰分析の意味を説明できる。
⑥ 2値変数に対するロジスティック回帰分析を適用できる。
⑦ データに応じて，最適な検定の方法を述べることができる。

3　成績の判定・評価

(1)　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
演習課題	○	70%	毎回の課題及びAIDLE-Kにおける活動により評価する。
レポート	○	30%	全講義終了後にレポート課題の提出をする。
態度	○	—	態度不良の場合は，10点を限度として減点をする。

出席:　単位修得のためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2)　合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3)　再試験・再評価の方法

課題・レポートにより評価する(60%以上で合格)。

(4)　課題(試験やレポート)へのフィードバック

毎回の授業プリントにおける質問には，次回の授業で答える。
定期試験についての総括はAIDLE-Kを用いて行う。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
医療系のための入門統計	勝野恵子ほか	共立出版	1学年次における必修科目「統計学1」の指定教科書であった。

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
医療系のための統計入門	藤井良宣（編）	実教出版	医療系に必要な統計学の基礎知識がまとめられている。
入門統計学（第2版）	栗原伸一	オーム社	医療系の統計解析で必要な手法が網羅されている。

6　準備学習（予習・復習）

授業前日までに授業のレジュメを AIDLE-K にアップロードするので予習しておく（1コマあたり約1時間）。
授業での課題プリントを中心として講義内容を復習し，次回の授業に臨む（1コマあたり約1時間）。

7　授業計画

（1）　講義の方法

授業の前半に前回の振り返りと当日分の講義をした後，後半に課題演習を行い，AIDLE-Kに提出する。昨年度履修した「統計学1」の講義ノートを用いた予習を欠かさないこと。また，この科目用のノート及び統計計算可能な情報端末を用意すること。

（2）　講義の内容

1学年次で学修した統計学のうち，記述統計，推定と検定の基礎を最初に振り返る。3学年次で学修するEBMの基礎にもなっている。

統計学２

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2026/1/19(月)	1	－	講義	統計入門	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチAB
2026/1/19(月)	2	－	講義	推定と検定	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチAB
2026/1/22(木)	1	－	講義	分散分析法	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	302講
2026/1/23(金)	1	－	講義	分割表の解析	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	302講
2026/1/23(金)	2	－	講義	重回帰分析	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	302講
2026/1/26(月)	3	－	講義	ロジスティック回帰分析	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチAB
2026/1/26(月)	4	－	講義	医療統計まとめ	数学	教授(特任)	橋本　貴宏	マルチAB

8 オフィスアワー　　統計学2

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
橋本　貴宏	教授(特任)	数学	金曜日	15:00～16:00	3号館基礎科学棟2階B202研究室

医　学　英　語　2

【単位数：1.5単位，授業20コマ（定期試験含まず）】

1　科目責任者

平田亜紀　准教授（外国語）

科目担当者
小川恭佑　助教（外国語）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅲ-2-c，Ⅲ-4-b，Ⅲ-10-c）

① 前半は主にコンピテンス“「医学知識と科学的探究心」（医学，医療における客観的根拠を適切に探索し，EBMを実践できる）”を培うために，1年生及び2年生の医学英語では生体の正常な構造や機能について英語で学習する。本講義では引き続き，語彙力や文章理解力，リスニング力を向上させる。とくに構文などの理解力を重点的に深める。後半は主にコンピテンスの“疾患の概略について説明でき，鑑別を要する疾患を列挙し，病態や診断基準等と照らし合わせて考察できる”ことを英語でも実践できるよう語学力を獲得する。

② 生涯にわたって自律的に学び続け，また自ら発信することができるようになるための基礎となる語学力を身に着けることと，患者の社会的背景(経済的・制度的側面等)が病いに及ぼす影響への理解を深めることがねらいである。

（2）　学修目標

① 人体の構造と機能，common diseasesとその症状に関する語の意味を理解し，綴り・発音が実践できる。
② 医学用語の名詞に頻出する不規則複数形を理解し，未知語に対して応用できる。
③ 医学用語に頻出する接頭辞・接尾辞・連結形を理解し，未知語に対して応用できる。
④ 人体の構造と機能，common diseasesとその症状に関する英文や動画の内容の意味をくみ取ることができる。
⑤ 分詞構文を含む英文の構造を正しく理解することができる。
⑥ 関係代名詞，分詞，動名詞，不定詞，並列などが使用された英文の構造を正しく理解することができる。
⑦ 身体の構造や機能，疾患・症状に関する基礎的な語の意味を理解し，綴り・発音が実践できる。
⑧ 医療面接で使用されるより実践的な英会話が理解できる。
⑨ ケーススタディや研究論文で登場する疾患・症候について自ら調べることができる。
⑩ 調べものをするときに使用すべき信頼性の高いソースを見分けることができる。
⑪ 医療小説を通じて，医療問題を多角的に考察できる視野を獲得する。
⑫ 異なる文化的背景に根差した医療観や倫理観が説明できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
中間テスト	○	30%	出題範囲は前学期授業内容から（記述式を原則とする）
定期試験	○	20%	出題範囲は後学期授業内容から（記述式を原則とする）
前学期 演習点	○	15%	主に前学期に実施される各回の終了時に実施される復習小テスト演習の合計* *採点方法：演習は原則「参加をしている・トライをしている」ことに点数を付けます。正答率は採点基準ではありませんが，中間テスト・定期試験の準備も兼ねているので丁寧に取り組みましょう。
後学期 演習点	○	20%	5% 「英米医療小説講読」回のフィードバック及びレポート 15%　ケーススタディ演習（PBL） いずれも指示されたタスクの完成度により判断。当日の授業内の課題のみではなく前後の回に実施される内容も含まれるので注意すること。
演習（語彙小テスト）	○	15%	e-ラーニングアプリ（ALC NetAcademy Next)から語彙小テスト3回 （各5%，自己採点式）
態度	○	—	遅刻・欠席を含め受講態度不良の場合は10%を限度に減点をする。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

上記（2）で総合成績が 60%未満の場合は，再試験を実施する。
再試験は定期試験に準ずる試験と，追加課題を課す。60%以上を合格とする。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

小テストや演習課題については，適宜振り返りと解説を授業内で行う。定期試験については，AIDLE-Kを通じて総括を行う。その中で，再確認が必要な項目を指摘する。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
The Concise Human Body Book	Steve Parker	Dorling Kindersley Limited	一般読者及びコ・メディカルを対象として，人体の構造と機能について書かれた洋書。難しすぎない内容が簡潔な文章で書かれており，英語で医学の内容を読むことの導入にふさわしい。

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
英文法どっちがどっち　単語の品詞がわかる本	伊藤和夫	復刊ドットコム	英文理解のための基礎となる文法で学習者が迷いやすいものを対比させながら解説。分かりやすく必要なところだけを読むことができる。文法が苦手な人に推奨。
Medical Terminology for Healthcare Professions https://pressbooks.uwf.edu/medicalterminology/	Andrea M. Nelson et al.	University of West Florida Pressbooks	接頭辞・接尾辞・連結形などが丁寧に解説されている。また，いわゆる「単語帳」にとどまることなく，解剖学・生理学の文脈の中で医学専門用語を理解することができる。
Anatomy and Physiology 2e – 2e https://open.umn.edu/opentextbooks/textbooks/169			教科書として採用している Human Body の説明文の少なさを補う意味において有効。下記　プロメテウスと合わせて読むと，医学専門用のみならず，医学書に頻出する動詞などの習得ができる。
Anatomy: An Essential Textbook (Thieme Illustrated Reviews) 第 3 版	Anne M. Gilroy et a.	Thieme Medical Pub	教科書として採用している Human Body の説明文の少なさを補う意味において有効。下記　プロメテウスと合わせて読むと，医学専門用のみならず，医学書に頻出する動詞などの習得ができる。
プロメテウス解剖学 エッセンシャルテキスト	Anne M Gilroy (著),中野隆（監訳）	医学書院	医学専門用語（解剖の用語）の基本的な知識を日本語で理解する上で有用。
Dr.押味のあなたの医学英語なんとかします！	押味貴之	メジカルビュー社	プレゼンテーションと病歴聴取のコツが具体的に書かれており，授業で扱っている内容を効果的に復習することができる。
The Complete Subjective Health Assessment https://ecampusontario.pressbooks.pub/healthassessment/	Jennifer Lapum et al.	licensed under a Creative Commons Attribution-ShareAlike 4.0 International License	主観的健康観と文化的背景を平易な英語で患者に尋ねる技法が記載された open textbook である。

６　準備学習（予習・復習）

【それぞれの演習の予習と復習の方法】

予習・マインドセットとして授業開始前に，学習範囲を確認するクセをつけましょう。

復習を1コマあたり最低でも各 0.5 時間勉強することを推奨します。

小テストの準備のために，e-ラーニングアプリ（ALC NetAcademy Next)での学習を日々進めてください（1日あたり 10 分）。

医用英単語の「からくり」は講義からある程度学ぶことができます。一方，英語を使いこなすには自立・自律学習が求められます。キャリアを通して一生使うものですので，毎回コツコツと身に付けましょう。その意味では授業はペースメーカーの役割でしかなく，小テストの正答率などをその目的地としてはいけません。また，上記の勉強時間はあくまで目安です。時間を費やすことを主とするのではなく，自分に必要な勉強時間数を確保してください。

【授業を受ける際の注意】

授業には，ノートパソコンかタブレットを持参すること。スマートフォンの小さい画面は学習に不向きのため不可。

小テスト演習は中間テスト及び定期試験の準備も含まれていますのでわからない箇所はその都度丁寧に解消していきましょう。

【欠席した場合の注意】

① 教務課だけではなく，科目責任者とその回の担当者に連絡を入れること。

② AIDLE-K 上の資料や，友人に確認するなどして，学習が途切れないよう心掛けてください。

③ 欠席した日の小テスト演習は別途受験することができますので希望する場合は申告してください（点数は事由により多少の減点をする場合があります。）

７　授業計画

（１）　講義の方法

大教室での知識伝達型講義と，問題解決型の演習の併用。

（２）　講義の内容

前学期は医学英語1bに引き続き，医学専門用語，とくに身体の器官の英語での名称を学習する。語の暗記だけではなく，英文で書かれた機能に関する記述や動画の説明などの理解も通して，語学の基礎的な4技能のうち読む・書く（スペリング）・聴く・話す（発話）の強化を行う。また e-ラーニングアプリ（ALC NetAcademy Next)に準拠した小テスト演習を行う。これは演習であるため参加点を原則とする。

Case Study 演習では，英語で行われる医療面接をシーンごとに区切り英語表現を学習したうえで，関連領域の専門家による解説講義が行われる。PBL 方式の学習を採用する。なお専門家の回では質疑応答の場面が設けられるため，学生は能動的に参加することが求められる。

英米医療小説講読では，小説を通して医療について学ぶ。

医学英語２

（３） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/14(月)	1	ー	講義	ガイダンス Respiratory System (1)	外国語	准教授	平田 亜紀	302講
2025/4/21(月)	1	ー	講義	Respiratory System (2)	外国語	准教授	平田 亜紀	302講
2025/4/28(月)	1	ー	講義	演習(NetAcademy語彙**小テスト**) 1回目 Respiratory System (3)	外国語	准教授	平田 亜紀	302講
2025/5/19(月)	1	ー	講義	Respiratory System (4)	外国語	准教授	平田 亜紀	302講
2025/5/26(月)	1	ー	講義	演習(NetAcademy語彙**小テスト**) 2回目 Respiratory System (5)	外国語	准教授	平田 亜紀	302講
2025/6/2(月)	1	ー	講義	Lymph and immune systems (1)	外国語	准教授	平田 亜紀	302講
2025/6/9(月)	2	ー	講義	Lymph and immune systems (2)	外国語	准教授	平田 亜紀	302講
2025/6/16(月)	1	ー	講義	Lymph and immune systems (3)	外国語	准教授	平田 亜紀	302講
2025/6/26(木)	1	ー	講義	演習(NetAcademy語彙**小テスト**) 3回目 Lymph and immune systems (4)	外国語	准教授	平田 亜紀	302講
2025/6/26(木)	2	ー	講義	Lymph and immune systems (5) 夏休みの課題の説明	外国語	准教授	平田 亜紀	302講
2025/9/8(月)	1	ー	講義	**中間テスト**	外国語	准教授	平田 亜紀	101講
2025/9/8(月)	2	ー	講義	英米医療小説講読(1)	外国語	助教	小川 恭佑	302講
2025/9/22(月)	4	ー	講義	英米医療小説講読(2)	外国語	助教	小川 恭佑	302講
2025/9/22(月)	5	ー	講義	英米医療小説講読(3)/ Case Study:医療面接の英語表現(1)	外国語 外国語	准教授 助教	平田 亜紀 小川 恭佑	302講
2025/9/29(月)	4	ー	講義	Case Study:医療面接の英語表現(2)	外国語	准教授	平田 亜紀	302講
2025/9/29(月)	5	ー	講義	Case Study:医療面接の英語表現(3)	外国語	准教授	平田 亜紀	302講
2025/10/6(月)	4	ー	講義	Case Study:医療面接の英語表現(4)	外国語	准教授	平田 亜紀	302講
2025/10/6(月)	5	ー	講義	Case Study:医療面接の英語表現(5)	外国語	准教授	平田 亜紀	302講
2025/10/27(月)	4	ー	JS(垂直)	Case Study:専門科解説回 (1)	ー 外国語	非常勤講師 准教授	安田 宗義 平田 亜紀	302講
2025/10/27(月)	5	ー	JS(垂直)	Case Study:専門科解説回 (2)	ー 外国語	非常勤講師 准教授	安田 宗義 平田 亜紀	302講
2025/12/10(水)	**3**	**ー**	ー	**定期試験**	**外国語**	**准教授**	**平田 亜紀**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
平田　亜紀	准教授	外国語	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階B201研究室
小川　恭佑	助教	外国語	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階B210研究室
安田　宗義	非常勤講師	一宮西病院 脳神経外科部長	講義終了後，講義室にて		

分　子　発　生　学

【単位数：1.5単位，授業20コマ（定期試験含まず）】

1　科目責任者

武内恒成　教授（生物学）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅲ-１-ｃ，Ⅲ-２-ｃ，Ⅲ-３-ｃ，Ⅲ-９-ｃ）

① コアコンピテンスの“医学知識と科学的探究心”において，“生体の正常な構造と機能の発生，加齢及び死を生命科学的知識によって説明する”ための，人体の発生の基本的かつ必須の概念を学修する。

解剖学で学修した人体の正常機能と構造に対して，その正常構造の形成過程についてのはじめての時系列の概念が加わる。さらに，学んできた正常構造に対して，はじめて“異常”な形成，つまり“疾患”の観点が発生学から見えてくる。正常と異常の違いと，何が疾患なのかを意識するために，人体発生・形成過程だけではなく，臨床につながる分子やその分子機構及びその破綻などの発生メカニズムを学修する。

さらに，分子発生学・人体発生学においては，遺伝及び形態形成遺伝子・プログラミング異常による疾患の観点を必要とする。最新の分子発生学知見から，“発生疾病の病因や治療につながる基礎医学的要素を説明できる”ための理解を進める。

② 個体と器官が形成される発生過程を理解する。特にマクロ解剖学的な観点のみならず，最新の分子発生学的知見を理解し，ゲノム・遺伝子の遺伝学的側面からの今後の臨床応用につながる進展を理解する。

③ 発生異常，遺伝子プログラミングや形態形成と疾患の関連といった課題を軸にして，分子発生学の進歩が，がん，生活習慣病といった臨床医学の知見と深い関わりを持っており，がんをはじめとする疾病や再生医学など最先端医療を理解するためにも必須であること，その概要を認識する。さらに「再生医療」，「ゲノム編集技術」などの最新知見の理解を進める。

（２）　学修目標

① 配偶子の形成から出生に至る一連の経過と胚形成の全体像を説明できる。
② 体節の形成と分化及びそれに伴う疾患を説明できる。
③ 体幹と四肢の骨格と筋の形成過程及びそれに伴う疾患を概説できる。
④ 消化・呼吸器系各器官の形成過程及びそれに伴う疾患を概説できる。
⑤ 心血管系の形成過程及びそれに伴う疾患を説明できる。
⑥ 泌尿生殖器の形成過程とそれに伴う疾患を説明できる（女性生殖器の詳細は産婦人科学で再掲する）。
⑦ 胚内体腔の形成過程を概説できる。
⑧ 鰓弓・鰓嚢の分化と頭・頸部と顔面・口腔の形成過程及びそれに伴う疾患を概説できる。
⑨ 神経管の分化と脳，脊髄，視覚器，平衡聴覚器と自律神経系の形成過程及びそれに伴う疾患を説明できる。
⑩ 発生過程における分子メカニズムの概要と重要な情報伝達系を分子・ゲノム・遺伝学の観点からも説明できる。
⑪ 網羅的遺伝子解析，イメージング，ゲノム編集技術などの発生・疾患解析における最新技術を概説できる。
⑫ 最新再生医療（幹細胞・ES/iPS細胞，オルガノイド・人工臓器）の現状と今後の医療展開展望について概要を説明できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	80%	記述式を原則とし，CBTに準ずる多肢選択問題を60%含む形式を採用する。
レポート	○	10%	講義中に提示するレポート課題とともに，AIDLE-Kを利用したネット上での回答及び提出を実施する。
小テスト	○	10%	講義中に行う小テスト（理解度チェック）とともに， AIDLE-Kを利用したネット上での小テスト（理解度振返りチェック）を実施する。多肢選択問題を原則とする。
態度	○	—	受講態度及びAIDLE-K提出や課題取り組みが著しく不良の場合には総合成績の上限10%まで減点をする。

出席： 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。
ビデオ解説及びAIDLE-K提示資料による反転学修：動画での理解取り組みや，AIDLE-K利用の方法などは初回4月15日（火）に説明する。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

上記（2）で総合成績が60%未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる試験を行う。60%以上を合格とする。レポートや再試験結果などで大きな不足がある場合には，講義資料動画などを視聴の上でのレポートも課すこともある。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

○ 積極的なAIDLE-Kでの資料提示及び動画の視聴・課題確認を促すため，AIDLE-Kとeポートフォリオにおいてのフィードバックを行う。

○ レポートについては，紙媒体での提示ではなくAIDLE-KでのPDFファイル提出を促すとともに，ネット上でのフィードバックを行う。

○ 定期試験の成績についての総括を学内メールで配信するとともに，AIDLE-K及び教室ホームページの教育項目などを駆使して，振り返りフィードバックを行う。

これによって理解が不十分な項目について，教科書による再確認を促すとともに，定期試験で不合格となったものは再試験に向けて学修を進めること。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
ラングマン人体発生学第12版（原書13版）	著者 T.W.Sadler 訳 安田峯生 山田重人	メディカル・サイエンス・インターナショナル	発生学的知識を網羅するとともに分子レベルの最新の知見と疾患との関連が詳しい。章ごとに提示されている演習問題とその解説もそれぞれの臓器器官の発生過程でのポイントと重要な疾患との関連性を示唆しているため，参考となる。
ビジュアル　人体発生学	山田重人著	羊土社	CBT/国試，一般臨床に役立つ要点をおさえたスリムな解説とともにイラストが簡潔にまとめられている。

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
カラー図説　人体発生学講義ノート	塩田浩平著	金芳堂	内容が簡潔にして明快であり，項目ごとに記載されるMemoは臨床疾患を理解するうえで非常に参考になる。
新　発生学	白澤信行著	日本医事新報社	内容が簡潔であり，総括的な知識の整理に有効である。一昨年まで教科書サブノートとして利用した。
エッセンシャル発生生物学	J.Slack著 大隅典子訳	羊土社	最新の分子発生学の総合的な内容を網羅している。発生学の全体像をつかむには最適。
ギルバート発生生物学	阿形清和，高橋淑子監訳	メディカルサイエンスIS	最新の分子発生学の総合的な内容を網羅している。

6　準備学習（予習・復習）

○　授業に臨むにあたって教科書「ラングマン人体発生学」の該当項目の概略，イメージ図などを一読して，概要と簡単な知識を得ておくこと（1コマあたり約15分）。

○　時系列を理解するために，AIDLE-Kにアップされている関連動画や資料などをあらかじめ視聴し，講義に臨むこと（1コマあたり約5分弱の動画となっているため，2回繰り返しての約10分程度）。

○　講義の後にはAIDLE-Kのレジュメ及び教科書「ラングマン人体発生学」で内容の総括とまとめを，サブノート（新　発生学）も利用し復習と確認を行うこと（1コマあたり約50分）。

○　教科書とAIDLE-Kにアップされた動画及び資料を中心に内容の再確認を行う（1コマあたり約10分）。

○　教科書「ラングマン人体発生学」の内容と掲載問題を確認して，翌週などの小課題・小テスト及び次回の講義に備えること（1コマあたり約0.5時間）。

7　授業計画

（1）　講義の方法

○　基本的に大教室での知識伝達型講義を中心とするが，特に3次元的イメージの理解（発生学は時間軸を重要視する）を助けるために，動画及び立体画像データなどを多用する。これら講義資料及び資料解説において，さらに講義中もAIDLE-Kあるいはクリッカーを利用した双方向性の回答なども講義に導入する。討論とアクティブ・ラーニングとともに，小テストやAIDLE-Kでの回答を頻繁に行うので，積極的な自学を求める。

○　タブレットやラップトップコンピュータを用いた動画による説明と配信も進めているため，これら機器いずれかを講義に携帯することを求める（但し，講義中の別用途での利用は強く禁止する）。

○　教科書2冊の積極的な利用とネット環境下での資料視聴は必須である。コンピュータ・タブレット等情報機器の講義持ち込みも必須とし，資料動画及び資料の閲覧についてもAIDLE-Kによる教員側からのチェックを進めながら進行する。

（2）　講義の内容

○　頻繁な小テストや振り返り確認を進めるので注意を要する。

○　教科書に準じて進めるため，常に活用し，サブテキスト（ビジュアル人体発生学）などへの適宜記載を行いながら講義を進める。

○　講義内容においては臨床系科目など他教科目との連携も密に進めるので，その連携やつながりを意識しながら講義を受けることを求める。特に産科・婦人科学及び内分泌内科学などからの出生前診断と遺伝子異常などの臨床遺伝学的知見も組み込まれるので，教科書の当該箇所を含めて押さえておくこと。

分子発生学

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/15(火)	1	ー	講義	総論(1)生殖子形成～発生第1週	生物学	教授	武内 恒成	302講
2025/4/15(火)	2	ー	講義	総論(2)発生第2週	生物学	教授	武内 恒成	302講
2025/4/22(火)	1	ー	講義	総論(3)発生第3週	生物学	教授	武内 恒成	302講
2025/4/22(火)	2	ー	講義	総論(4)発生第3週～8週	生物学	教授	武内 恒成	302講
2025/5/13(火)	1	ー	講義	総論(5)発生3か月～出産，先天異常	生物学	教授	武内 恒成	302講
2025/5/13(火)	2	ー	講義	各論(1)軸骨格，頭蓋骨，筋系	生物学	教授(特任)	池野 正史	302講
2025/5/20(火)	1	ー	講義	各論(2)体肢，外皮系	生物学	教授(特任)	池野 正史	302講
2025/5/20(火)	2	ー	講義	各論(3)心臓脈管系1	生物学	教授	武内 恒成	302講
2025/5/27(火)	1	ー	講義	各論(4)心臓脈管系2	生物学	教授	武内 恒成	302講
2025/5/27(火)	2	ー	講義	各論(5)心臓脈管系3	生物学	教授	武内 恒成	302講
2025/6/3(火)	1	ー	講義	各論(6)呼吸器系，(7)消化器系1	生物学	教授(特任)	池野 正史	302講
2025/6/3(火)	2	ー	講義	各論(8)消化器系2	生物学	教授	武内 恒成	302講
2025/6/10(火)	1	ー	講義	各論(9)尿生殖器1	生物学	教授	武内 恒成	302講
2025/6/10(火)	2	ー	講義	各論(10)尿生殖器2	生物学	教授	武内 恒成	302講
2025/6/17(火)	1	ー	講義	各論(11)神経系1	生物学	教授	武内 恒成	302講
2025/6/17(火)	2	ー	講義	各論(12)神経系2	生物学	教授	武内 恒成	302講
2025/6/18(水)	1	ー	講義	各論(13)神経系3	生物学	教授	武内 恒成	302講
2025/6/18(水)	2	ー	講義	各論(14)頭頚部1	生物学	教授(特任)	池野 正史	302講
2025/6/24(火)	1	ー	講義	各論(15)頭頚部2	生物学	教授	武内 恒成	302講
2025/6/24(火)	2	ー	講義	各論(16)感覚器	生物学	教授	武内 恒成	302講
2025/7/22(火)	**1**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**生物学**	**教授**	**武内 恒成**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
武内　恒成	教授	生物学	月曜日	16:00～18:00	3号館基礎科学棟2階B213号室
池野　正史	教授(特任)	生物学	火曜日	16:00～18:00	3号館基礎科学棟2階B208号室

生　命　倫　理　2

【単位数:0.5単位，授業7コマ】

1　科目責任者

川﨑　優　講師(哲学)

2　教育目標

（１）　ねらい（Ｉ-1-c，Ｉ-2-c，Ｉ-4-c）

① コンピテンスの「プロフェッショナリズム」における「医療従事者に求められる態度」について議論し，自分の考えをわかりやすく説明するための術を身につける。

② コンピテンスの「プロフェッショナリズム」における「多様な価値観」に関して，生命倫理の諸問題をめぐる多様な価値観にはどのようなものがあるか学ぶ。

③ コンピテンスの「プロフェッショナリズム」における「基本的な倫理の4原則」についてわかりやすく説明できるようになるために，具体的な事例において4原則がどのように活用されるか学ぶ。

（２）　学修目標

① 倫理がなぜ人間に必要なのかを説明できる。
② 医療従事者に求められる態度について議論し，自分の考えを説明できる。
③ 生命倫理の諸問題をめぐる多様な価値観を説明できる。
④ 基本的な倫理の4原則について具体的にわかりやすく説明できる。
⑤ 生命倫理の諸問題に関する発展的な知識を修得する。
⑥ 医療や医学研究の領域において，どのような倫理的問題が生じているか具体的に説明できる。
⑦ 生命倫理の諸問題に対する自分の考えをわかりやすく説明できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	80%	授業の最終日にレポートを課す。
小レポート	○	20%	講義内で小レポートを数回課す。
態度	○	－	受講態度が著しく不良の場合は，総合成績の10%を限度に減点をする。

出席：　単位を修得するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

上記（2）で総合成績が60%未満の場合は，課題・レポートを課す。60%以上を合格とする。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

小レポートについては講義で解説する。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
考えよう！生と死のこと―基礎から学ぶ生命倫理と死生学	波多江伸子，寺田篤史，脇　崇晴	木星舎	生命倫理の諸問題について端的にわかりやすく概説されている。
入門・医療倫理Ⅰ〔改訂版〕	赤林　朗〔編〕	勁草書房	生命倫理の諸問題について，より具体的な国内外の現状や哲学的議論が詳説されている。
看護のための生命倫理〔改定三版〕	小林亜津子	ナカニシヤ出版	タイトルに「看護のための」と記されているが，専門問わずおすすめの内容。

6　準備学習（予習・復習）

AIDLE-Kに講義資料が挙げられている場合には事前に内容を確認すること。また講義後に内容を再確認し，次回以降の講義に臨むこと（1コマあたり約1時間）。

7　授業計画

（1）　講義の方法

大教室での知識伝達型の講義であるが，講義中にグループワークや講師との双方向性応答などのアクティブ・ラーニングも導入する。

（2）　講義の内容

1学年次で学修した生命倫理1の講義における基礎的な内容を踏まえて，生命倫理に関するより具体的・発展的な内容について学ぶ。医療における倫理的問題に加えて，医学研究における倫理的問題について，歴史的背景や哲学的な議論，国内外の現状を踏まえつつ，多角的な視点から学ぶ。

生命倫理２

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2026/1/19(月)	3	ー	講義	医療倫理	哲学	講師	川﨑　優	302講
2026/1/22(木)	2	ー	講義	研究倫理(タスキギー梅毒事件，ベルモント・レポート)	哲学	講師	川﨑　優	302講
2026/1/22(木)	3	ー	講義	臨床研究の規制，医学系研究指針の規制、臨床研究法の規制	研創支C	准教授	服部　聡子	302講
2026/1/23(金)	3	ー	講義	遺伝子改変技術の発展と倫理	動物実験	准教授	松下　夏樹	302講
2026/1/23(金)	4	ー	講義	いのちの始まりをめぐる倫理	哲学	講師	川﨑　優	302講
2026/1/26(月)	1	ー	講義	資源の配分をめぐる問題	哲学	講師	川﨑　優	302講
2026/1/26(月)	2	ー	講義	いのちの終わりをめぐる倫理	哲学	講師	川﨑　優	302講

8 オフィスアワー　　生命倫理2

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
川﨑 優	講師	哲学	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階 B203研究室
松下 夏樹	准教授	総合医学研究機構動物実験部門	月～金	16:00～18:00	5号館総合実験研究棟1階動物実験部門
服部 聡子	准教授	研究創出支援ｾﾝﾀｰ	月曜日	16:00～18:00	2号館1階研究創出支援センター

基 礎 医 学 セミナー

【単位数:3.5単位，授業50コマ】

1　科目責任者

笠井謙次　教授(病理学)

科目担当者
細川好孝　教授(生化学)
早稲田勝久　教授(医学教育センター)

2　教育目標

(1)　ねらい(Ⅰ-7-c，Ⅰ-8-c，Ⅰ-15-c，Ⅲ-1-c，Ⅲ-3-c，Ⅲ-10-c)

① 本学のコンピテンスである「プロフェッショナリズム:生涯学習」，「医学知識と科学的探究心」を学ぶために，様々な分野から特定の課題を選択し，その課題について調査・研究を行う。
② 医学の進歩は日進月歩であり，その膨大な情報から取捨選択しながら学ぶ必要があり，自ら考え，学び続ける一歩として本セミナーに取り組む。

(2)　学修目標

① 課題から新たな問題点を抽出できる。
② 課題に沿った調査・研究計画の立案ができる。
③ 課題に積極的に取り組むことができる。
④ 調査・研究内容を適切にまとめ，分かりやすくポスター発表することができる。

3　成績の判定・評価

(1)　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
セミナーへの取り組み	○	50%	セミナーへの取り組む姿勢，積極性などを評価する。
ポスター発表	○	50%	ポスター発表会の発表内容・発表方法及びその工夫について学生間で相互評価する。

出席:　基礎医学セミナーの単位を修得するためには，正当な理由なく欠席してはならない。

(2)　合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3)　再試験・再評価の方法

不合格の場合は，面談の上，課題レポートを課し再評価する。課題レポートを採点して60点以上を合格とする。

(4)　課題(試験やレポート)へのフィードバック

選択コースごとに与えられる課題について，口頭にて解説する(選択コースによって若干の差異がありえる)。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
各セミナーで指定される。			

6　準備学習（予習・復習）

課題テーマに関連する事項を事前に学習する（１日あたり約0.5時間）。

7　授業計画

（１）　講義の方法

講義・個人ワーク・グループ討論・全体討論を組み合わせて，様々な考え方を共有・議論できるようにする。

（２）　講義の内容

各セミナーや取り組む課題については，別途通知する。

基礎医学セミナー

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2026/1/27(火)	1	―	実習	各講座・部門にて実習			実習担当者	複数教室利用
2026/1/27(火)	2	―						
2026/1/27(火)	3	―						
2026/1/27(火)	4	―						
2026/1/27(火)	5	―						
2026/1/28(水)	1	―	実習	各講座・部門にて実習			実習担当者	複数教室利用
2026/1/28(水)	2	―						
2026/1/28(水)	3	―						
2026/1/28(水)	4	―						
2026/1/28(水)	5	―						
2026/1/29(木)	1	―	実習	各講座・部門にて実習			実習担当者	複数教室利用
2026/1/29(木)	2	―						
2026/1/29(木)	3	―						
2026/1/29(木)	4	―						
2026/1/29(木)	5	―						
2026/1/30(金)	1	―	実習	各講座・部門にて実習			実習担当者	複数教室利用
2026/1/30(金)	2	―						
2026/1/30(金)	3	―						
2026/1/30(金)	4	―						
2026/1/30(金)	5	―						
2026/2/2(月)	1	―	実習	各講座・部門にて実習			実習担当者	複数教室利用
2026/2/2(月)	2	―						
2026/2/2(月)	3	―						
2026/2/2(月)	4	―						
2026/2/2(月)	5	―						
2026/2/3(火)	1	―	実習	各講座・部門にて実習			実習担当者	複数教室利用
2026/2/3(火)	2	―						
2026/2/3(火)	3	―						
2026/2/3(火)	4	―						
2026/2/3(火)	5	―						
2026/2/4(水)	1	―	実習	各講座・部門にて実習			実習担当者	複数教室利用
2026/2/4(水)	2	―						
2026/2/4(水)	3	―						
2026/2/4(水)	4	―						
2026/2/4(水)	5	―						
2026/2/9(月)	1	―	実習	各講座・部門にて実習			実習担当者	複数教室利用
2026/2/9(月)	2	―						
2026/2/9(月)	3	―						
2026/2/9(月)	4	―						
2026/2/9(月)	5	―						
2026/2/10(火)	1	―	実習	各講座・部門にて実習			実習担当者	複数教室利用
2026/2/10(火)	2	―						
2026/2/10(火)	3	―						
2026/2/10(火)	4	―						
2026/2/10(火)	5	―						
2026/2/12(木)	1	―	実習	ポスター発表会	病理学 生化学	教授 教授	笠井　謙次 細川　好孝	302講
2026/2/12(木)	2	―			病理学 生化学	教授 教授	笠井　謙次 細川　好孝	302講
2026/2/12(木)	3	―			病理学 生化学	教授 教授	笠井　謙次 細川　好孝	302講
2026/2/12(木)	4	―			病理学 生化学	教授 教授	笠井　謙次 細川　好孝	302講
2026/2/12(木)	5	―			病理学 生化学	教授 教授	笠井　謙次 細川　好孝	302講

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
笠井　謙次	教授	病理学講座	月・水曜日	10:00～17:00	2号館研究棟2階265号室
細川　好孝	教授	生化学講座	火・水・金	16:00～18:00	2号館研究棟3階361号室
早稲田　勝久	教授	医学教育センター	木曜日 金曜日	14:00～17:00 15:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター

解　剖　学　実　習　2

【単位数：3単位，授業84コマ】

1　科目責任者

内藤宗和　教授（解剖学講座）

科目担当者
畑山直之　准教授（解剖学講座）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅰ-1-c，Ⅰ-2-c，Ⅰ-3-c，Ⅰ-4-c，Ⅰ-5-c，Ⅰ-6-c，Ⅰ-7-c，Ⅰ-8-c，Ⅰ-9-c，Ⅰ-10-c，Ⅰ-11-c，Ⅰ-13-c，Ⅰ-14-c，Ⅰ-15-c，Ⅱ-1-c，Ⅱ-2-c，Ⅱ-3-c，Ⅱ-4-c，Ⅱ-5-c，Ⅱ-6-c，Ⅲ-1-c，Ⅲ-2-c，Ⅲ-3-c，Ⅲ-4-c，Ⅲ-5-c，Ⅲ-6-c，Ⅲ-7-c，Ⅲ-8-c，Ⅲ-10-c，Ⅳ-2-c，Ⅳ-4-c，Ⅳ-9-c，Ⅴ-1-c，Ⅴ-4-c）

① 『医学知識と科学的探求』のため，生体の正常な構造や機能を理解し，疾病の病因・病態・治療につながる基礎医学知識を学ぶ。また，実習を通して『コミュニケーション』と『プロフェッショナリズム』を習得する。

② 「次世代の医学のため無報酬で自らの身体を提供する」献体の精神に学び，医の倫理を身につける。人体の構造の美しさ，精巧さ，多様性を学び，医療人としての観察眼を養う。

（2）　学修目標

① 人体構造の系統を把握し，解剖用語によって正確に述べることができる。
② 骨格，臓器の機能的及び臨床的意義，細胞・組織の特徴を説明できる。
③ 骨学，組織学，神経解剖学，肉眼解剖学，臨床解剖学の知識を統合し，説明できる。
④ 画像解剖学と対応させ，人体の三次元構造を説明できる。
⑤ 実習において，班員同士で協力して作業ができる。
⑥ 実習において，解剖学の知識を正しく使うことができる。
⑦ 身体診察と基本的臨床手技を実践するための基礎知識を説明できる。
⑧ 解剖学の学習，特に実習を通して，医療安全の重要性を説明できる。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	85%	実習内容に即した多肢選択問題と記述式を含む。
課題	○	12%	実習内容の予習・復習のための課題を行う。
口頭試問	○	3%	実習内容に即した口頭試問を1回行う。
態度	○	—	態度不良の場合は40%を限度に減点をする。

出席：　実習を修得するためには，欠席をしてはならない。
＊定期試験の模範解答を提示し，学生から質疑を受ける。質疑に対して返答し，解答の見直しを行う。

（2）　合格基準

評価対象の合計が60%以上で合格とする。

（３） 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60％未満の場合は，再試験を実施する。
再試験は，定期試験に準ずる試験を行う。60％以上を合格とする。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

課題は，AIDLE-Kで行い，模範解答を掲載する。口頭試問は，講義内で解説する。定期試験の問題を配付し，定期試験の成績についての総括を学内メールで実施する。定期試験については，模範解答を提示し，学生から質疑を受ける。質疑に対して返答し，解答の見直しを行う。不合格となった者は，配付した問題を参考にして理解が不十分な項目を中心に学習すること。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
解剖実習カラーテキスト	坂井建雄	医学書院	解剖実習の標準的手技を，コンパクトかつビジュアルにまとめた実習書であるため。
プロメテウス解剖学 エッセンシャルテキスト	Anne M Gilroy (著),中野　隆 (監修)	医学書院	医学生に必要な解剖学のエッセンスがコンパクトにまとまった内容であるため。
骨学のすゝめ	中野　隆	南江堂	愛知医科大学の学生が作成したテキストがもととなっており,学生の目線を盛り込んだわかりやすい内容であるため。
バーチャルスライド　組織学	駒﨑伸二	羊土社	実績ある組織学の教科書の一つであるため。
ヒューマン・アナトミー・アトラス		Visible Body	インタラクティブな3D解剖リソースであるため。
レジュメ配布（Subtext）			講義において効率的に能動的な学習を促進するため，学習ポイントが理解できる書き込み式のレジュメを配布する。

＊　解剖学1a，解剖学実習1a，解剖学1b，解剖学実習1b，解剖学実習2で骨学，組織学（ミクロ），肉眼解剖学（マクロ）を体系的に学ぶため，すべての科目で共通して教科書3冊と3D アプリを使用する。加えて解剖学実習2では，実習の手順の教科書として解剖実習カラーテキストを用いる。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
解剖学講義	伊藤　隆	南山堂	実績ある解剖学の教科書の一つであるため。
ムーア臨床解剖学	坂井建雄 (監訳)	メディカル・ サイエンス・ インターナショナル	臨床のための解剖学を学ぶために有用であるため。
プロメテウス解剖学コアアトラス	坂井建雄 (監訳)	医学書院	美麗なイラストが解剖学を学ぶために有用であるため。

6 準備学習（予習・復習）

○　動画資料及び小テストを用いて，どの事項が取り上げられているのか確認しておく（1日あたり約0.5時間）。
○　実習で習った内容を復習する（1日あたり約15分）。
○　過去に出題された問題を用いて，知識を定着させる（1日あたり約15分）。

7　授業計画

（１）　講義の方法

○　解剖体を対象とした解剖実習を実施する。

○　実習は複数の班に分けて実施し，班員とのグループ学習や，講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

（２）　講義の内容

○　人体構造の系統を把握し，骨格，臓器の機能的及び臨床的意義，細胞・組織の特徴を説明できるように解説する。

○　疾病の病因・病態・治療につながる基礎知識及び身体診察と基本的臨床手技を実践するための基礎知識を習得することができるように，学習を促進する。

解剖学実習２

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/15(火)	3	ー	実習	解剖実習1	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	内藤　宗和 畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/4/15(火)	4	ー	実習	解剖実習1	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	内藤　宗和 畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/4/15(火)	5	ー	実習	解剖実習1	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	内藤　宗和 畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/4/16(水)	3	ー	実習	解剖実習2	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 助教 助教 助教	畑山　直之 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/4/16(水)	4	ー	実習	解剖実習2	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 助教 助教 助教	畑山　直之 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/4/16(水)	5	ー	実習	解剖実習2	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 助教 助教 助教	畑山　直之 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/4/18(金)	3	ー	実習	解剖実習3	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 看護学部 看護学部	准教授 講師 助教 助教 教授 准教授	畑山　直之 大塚　俊 竹内　堂朗 後藤　瑛一 篠田　かおる 黒澤　昌洋	研101 研106
2025/4/18(金)	4	ー	実習	解剖実習3	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 看護学部 看護学部	准教授 講師 助教 助教 教授 准教授	畑山　直之 大塚　俊 竹内　堂朗 後藤　瑛一 篠田　かおる 黒澤　昌洋	研101 研106
2025/4/18(金)	5	ー	実習	解剖実習3	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 看護学部 看護学部	准教授 講師 助教 助教 教授 准教授	畑山　直之 大塚　俊 竹内　堂朗 後藤　瑛一 篠田　かおる 黒澤　昌洋	研101 研106
2025/4/22(火)	3	ー	実習	解剖実習4	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 助教 助教	畑山　直之 大塚　俊 大久保　友人 後藤　瑛一	研101 研106
2025/4/22(火)	4	ー	実習	解剖実習4	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 助教 助教	畑山　直之 大塚　俊 大久保　友人 後藤　瑛一	研101 研106

解剖学実習２

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/22(火)	5	－	実習	解剖実習4	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 助教 助教	畑山　直之 大塚　俊 大久保　友人 後藤　瑛一	研101 研106
2025/4/23(水)	3	－	実習	解剖実習5	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	助教 助教 助教 助教	名仁澤　英里 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/4/23(水)	4	－	実習	解剖実習5	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	助教 助教 助教 助教	名仁澤　英里 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/4/23(水)	5	－	実習	解剖実習5	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	助教 助教 助教 助教	名仁澤　英里 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/4/25(金)	3	－	実習	解剖実習6	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 助教 助教	畑山　直之 大塚　俊 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/4/25(金)	4	－	実習	解剖実習6	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 助教 助教	畑山　直之 大塚　俊 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/4/25(金)	5	－	実習	解剖実習6	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 助教 助教	畑山　直之 大塚　俊 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/4/30(水)	3	－	実習	解剖実習7	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/4/30(水)	4	－	実習	解剖実習7	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/4/30(水)	5	－	実習	解剖実習7	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/5/2(金)	3	－	実習	解剖実習8	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/5/2(金)	4	－	実習	解剖実習8	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106

解剖学実習２

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/5/2(金)	5	－	実習	解剖実習8	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教	畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/5/7(水)	3	－	実習	解剖実習9	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/5/7(水)	4	－	実習	解剖実習9	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/5/7(水)	5	－	実習	解剖実習9	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/5/9(金)	3	－	実習	解剖実習10	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/5/9(金)	4	－	実習	解剖実習10	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/5/9(金)	5	－	実習	解剖実習10	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/5/12(月)	1	－	実習	解剖実習(慰霊祭・つどいの会)	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	内藤　宗和 畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	日泰寺 研106

解剖学実習２

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/5/12(月)	2	－	実習	解剖実習(慰霊祭・つどいの会)	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教	内藤　宗和 畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	日泰寺 研106
2025/5/12(月)	3	－	実習	解剖実習(慰霊祭・つどいの会)	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教	内藤　宗和 畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	日泰寺 研106
2025/5/12(月)	4	－	実習	解剖実習(慰霊祭・つどいの会)	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教	内藤　宗和 畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	日泰寺 研106
2025/5/12(月)	5	－	実習	解剖実習(慰霊祭・つどいの会)	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教	内藤　宗和 畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	日泰寺 研106
2025/5/12(月)	6	－	実習	解剖実習(慰霊祭・つどいの会)	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教	内藤　宗和 畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	日泰寺 研106
2025/5/13(火)	3	－	実習	解剖実習11	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/5/13(火)	4	－	実習	解剖実習11	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106

解剖学実習２

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/5/13(火)	5	－	実習	解剖実習11	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/5/14(水)	3	－	実習	解剖実習(口頭試問)	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教	内藤　宗和 畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/5/14(水)	4	－	実習	解剖実習(口頭試問)	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教	内藤　宗和 畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/5/14(水)	5	－	実習	解剖実習(口頭試問)	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教	内藤　宗和 畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/5/16(金)	3	－	実習	解剖実習12	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 看護学部 看護学部	准教授 講師 助教 助教 教授 准教授	畑山　直之 大塚　俊 竹内　堂朗 後藤　瑛一 篠田　かおる 黒澤　昌洋	研101 研106
2025/5/16(金)	4	－	実習	解剖実習12	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 看護学部 看護学部	准教授 講師 助教 助教 教授 准教授	畑山　直之 大塚　俊 竹内　堂朗 後藤　瑛一 篠田　かおる 黒澤　昌洋	研101 研106
2025/5/16(金)	5	－	実習	解剖実習12	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 看護学部 看護学部	准教授 講師 助教 助教 教授 准教授	畑山　直之 大塚　俊 竹内　堂朗 後藤　瑛一 篠田　かおる 黒澤　昌洋	研101 研106
2025/5/20(火)	3	－	実習	解剖実習13	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106

解剖学実習２

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/5/20(火)	4	－	実習	解剖実習13	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/5/20(火)	5	－	実習	解剖実習13	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/5/21(水)	3	－	実習	解剖実習14	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/5/21(水)	4	－	実習	解剖実習14	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/5/21(水)	5	－	実習	解剖実習14	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/5/23(金)	3	－	実習	解剖実習15	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 助教 助教 助教	畑山　直之 竹内　堂朗 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/5/23(金)	4	－	実習	解剖実習15	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 助教 助教 助教	畑山　直之 竹内　堂朗 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/5/23(金)	5	－	実習	解剖実習15	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 助教 助教 助教	畑山　直之 竹内　堂朗 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/5/27(火)	3	－	実習	解剖実習16	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	講師 助教 助教 助教	大塚　俊 名仁澤　英里 大久保　友人 後藤　瑛一	研101 研106
2025/5/27(火)	4	－	実習	解剖実習16	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	講師 助教 助教 助教	大塚　俊 名仁澤　英里 大久保　友人 後藤　瑛一	研101 研106
2025/5/27(火)	5	－	実習	解剖実習16	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	講師 助教 助教 助教	大塚　俊 名仁澤　英里 大久保　友人 後藤　瑛一	研101 研106

解剖学実習２

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/5/28(水)	3	－	実習	解剖実習17	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/5/28(水)	4	－	実習	解剖実習17	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/5/28(水)	5	－	実習	解剖実習17	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/5/30(金)	3	－	実習	解剖実習18	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/5/30(金)	4	－	実習	解剖実習18	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/5/30(金)	5	－	実習	解剖実習18	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/6/3(火)	3	－	実習	解剖実習19	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/6/3(火)	4	－	実習	解剖実習19	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106

解剖学実習２

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/6/3(火)	5	－	実習	解剖実習19	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教	畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/6/4(水)	3	－	実習	解剖実習20	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 助教 助教 助教	畑山　直之 名仁澤　英里 大久保　友人 後藤　瑛一	研101 研106
2025/6/4(水)	4	－	実習	解剖実習20	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 助教 助教 助教	畑山　直之 名仁澤　英里 大久保　友人 後藤　瑛一	研101 研106
2025/6/4(水)	5	－	実習	解剖実習20	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 助教 助教 助教	畑山　直之 名仁澤　英里 大久保　友人 後藤　瑛一	研101 研106
2025/6/6(金)	3	－	実習	解剖実習21	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 看護学部	講師 助教 助教 助教 教授	大塚　俊 竹内　堂朗 玉置　優貴 後藤　瑛一 篠田　かおる	研101 研106
2025/6/6(金)	4	－	実習	解剖実習21	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 看護学部	講師 助教 助教 助教 教授	大塚　俊 竹内　堂朗 玉置　優貴 後藤　瑛一 篠田　かおる	研101 研106
2025/6/6(金)	5	－	実習	解剖実習21	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 看護学部	講師 助教 助教 助教 教授	大塚　俊 竹内　堂朗 玉置　優貴 後藤　瑛一 篠田　かおる	研101 研106
2025/6/10(火)	3	－	実習	解剖実習22	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 助教 助教 助教	畑山　直之 名仁澤　英里 竹内　堂朗 後藤　瑛一	研101 研106
2025/6/10(火)	4	－	実習	解剖実習22	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 助教 助教 助教	畑山　直之 名仁澤　英里 竹内　堂朗 後藤　瑛一	研101 研106
2025/6/10(火)	5	－	実習	解剖実習22	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 助教 助教 助教	畑山　直之 名仁澤　英里 竹内　堂朗 後藤　瑛一	研101 研106
2025/6/11(水)	3	－	実習	解剖実習(感謝文を提出)	解剖学 解剖学 解剖学	助教 助教 助教	名仁澤　英里 大久保　友人 後藤　瑛一	研101 研106
2025/6/11(水)	4	－	実習	解剖実習(感謝文を提出)	解剖学 解剖学 解剖学	助教 助教 助教	名仁澤　英里 大久保　友人 後藤　瑛一	研101 研106
2025/6/11(水)	5	－	実習	解剖実習(感謝文を提出)	解剖学 解剖学 解剖学	助教 助教 助教	名仁澤　英里 大久保　友人 後藤　瑛一	研101 研106

解剖学実習２

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/6/13(金)	3	ー	実習	実習試験	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	内藤　宗和 畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/6/13(金)	4	ー	実習	実習試験	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	内藤　宗和 畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/6/13(金)	5	ー	実習	実習試験	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	内藤　宗和 畑山　直之 福重　香 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 大久保　友人 玉置　優貴 後藤　瑛一	研101 研106
2025/6/20(金)	3	ー	実習	解剖実習（納棺の儀）	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 看護学部	教授 准教授 講師 助教 助教 助教 助教 教授	内藤　宗和 畑山　直之 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 玉置　優貴 後藤　瑛一 篠田　かおる	研101 研106
2025/6/20(金)	4	ー	実習	解剖実習（納棺の儀）	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 看護学部	教授 准教授 講師 助教 助教 助教 助教 教授	内藤　宗和 畑山　直之 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 玉置　優貴 後藤　瑛一 篠田　かおる	研101 研106
2025/6/20(金)	5	ー	実習	解剖実習（納棺の儀）	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 看護学部	教授 准教授 講師 助教 助教 助教 助教 教授	内藤　宗和 畑山　直之 大塚　俊 名仁澤　英里 竹内　堂朗 玉置　優貴 後藤　瑛一 篠田　かおる	研101 研106

8 オフィスアワー　　解剖学実習2

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
内藤 宗和	教授	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟2階254号室
畑山 直之	准教授	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟2階255号室
大塚 俊	講師	解剖学講座	月～水曜日	14:00～16:00	2号館研究棟2階256号室
福重 香	講師	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟3階365号室
名仁澤 英里	助教	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟3階364号室
竹内 堂朗	助教	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟3階365号室
大久保 友人	助教	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟3階365号室
玉置 優貴	助教	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟3階364号室
後藤 瑛一	助教	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟3階364号室
黒澤 昌洋	准教授	看護学部	講義終了後，講義室にて		
篠田 かおる	教授	看護学部	講義終了後，講義室にて		

生　理　学　2

【単位数：4.5単位，授業62コマ（定期試験含まず）】

1　科目責任者

佐藤元彦　教授（生理学）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅲ-２-ｃ，Ⅲ-３-ｃ）

① 人体各種組織や器官及び器官系の正常機能，並びにそれらの相互作用による生体協関や恒常性を理解し，疾病の病因・病態・治療につながる基礎医学的な要素を理解する。

② 生理学は生命現象を機能から追究する学問であって，論理的な思考・モデルに基づいて生命事象を理解・推論する分野である。各臓器系に特徴的な生理調節機構を理解し，恒常性維持機構の破綻から疾病へ至るしくみを理解する。さらに，病態下での生理現象についての理解を進める。

（２）　学修目標

① 体液の区分と組成を述べることができ，酸塩基平衡の原理などホメオスタシスを説明できる。

② 呼吸器系の意義を述べることができ，換気のメカニズムや血液ガスの役割を説明できる。呼吸の調節機能について説明できる。

③ 基礎代謝とその測定法を説明することができる。

④ 心筋細胞の電気現象と収縮機構を説明できる。

⑤ 心臓の興奮伝導系と心電図の成因を説明できる。

⑥ 血管系の機能を分類し，循環系における血管の意義を説明できる。

⑦ 循環制御の基本原理を心機能と血管系の調節に基づいて説明することができる。

⑧ 中枢性運動調節の各器官の役割，全体像を述べることができる。また，病態のメカニズムを予測できる。

⑨ 電気生理学的検査を理解できる。

⑩ 自律神経による生体制御の基本的な仕組みを説明できる。

⑪ 腎臓の機能を列挙できる。また，ネフロンの役割を体液調節と関連づけて説明できる。

⑫ 消化管の運動，胃液など消化液の働きと分泌調節，栄養素や電解質の吸収を説明できる。

⑬ 正常体温について述べることができ，その調節機構を説明できる。体温異常について列挙できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	89％	多肢選択問題と記述問題を含む試験を行う。
レポート	○	5％	レポート提出を適時指示する。1つのレポートあたり0.5点を最終評価に加算する。記載が不十分なレポートは加算対象とならない。
小テスト	○	6％	AIDLE-Kを利用した小テストを6分野ごとに実施する。それぞれ70％以上の正解により各1点を最終評価に加算する。
態度	○	—	態度不良の場合は10点を限度に減点をする。このうち，レポート未提出は1回につき0.2点，小テスト未受験は1分野につき0.5点を減点する。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（３） 再試験・再評価の方法

定期試験，小テスト，レポートの合計が60％未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する（60％以上で合格）。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験の成績についての総括は，学年掲示板に掲示する。
小テストは，AIDLE-K上でコメントによるフィードバックを確認できる。
定期試験で不合格となり，著しく成績不良の者については個別にフィードバックを行う。

４ 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし 参考図書から選択すること。			

５ 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
標準生理学	本間研一 監修	医学書院	国内の執筆陣により各領域が網羅されている。 第9版（2019年発行）
ガイトン生理学	石川義弘， 岡村康司， 尾仲達史， 河野憲二， 総監訳	エルゼビア・ ジャパン	医学的視点から生理学事象を丁寧に解説した教科書 原著第13版（2018年発行）
生理学テキスト	大地陸男 著	文光堂	コンパクトな教科書であり関連分野を通読しやすい。第9版（2022年発行）
ギャノング生理学	岡田泰伸 監修	丸善株式会社	長く評価を得ている生理学書の1つ。 原著第26版（2022年発行）
コスタンゾ 明解生理学	林 俊宏， 高橋倫子 翻訳	エルゼビア・ ジャパン	豊富なイラストを用いて比較的端的に記述。原著第6版（2019年発行）
生理学用語ハンドブック	日本生理学会 監修 日本生理学会用語委員会 編	丸善出版	生理学の用語に対し簡潔な解説がなされ，生理学の概念を理解するのに役立つ。

６ 準備学習（予習・復習）

○ 参考図書の関連分野を読んでおく（１日あたり約0.5時間）。
○ AIDLE-Kの関連分野のセルフチェックテストを行い，解答コメントを確認する（１日あたり約20分）。
○ 授業後，配付資料を確認し，参考図書で関連記述を再確認する（１日あたり約40分）。
○ レポート課題がある場合は記述する（１日あたり約15分）。
○ AIDLE-Kのセルフチェックテストを行い，理解度を確認する（１日あたり約20分）。

７ 授業計画

（１） 講義の方法

大教室での知識伝達型の講義が基本となる。適宜，小グループ討論や講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。アクティブ・ラーニングの進め方についてはAIDLE-K等を通して周知する。

（２） 講義の内容

生理学分野における，循環，呼吸，腎臓，神経，消化器，代謝・運動，自律神経について系統的な講義を行い，単元ごとにAIDLE-Kを用いた小テストを行う。適宜，講義の中で示された課題に対してレポートを提出する。病態生理学では問題を解きながら基礎知識の応用を目指す。最後に，生理学全領域の知識の整理を行い，生理学的課題の議論を行う。

生理学２

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/14(月)	2	－	講義	呼吸器の構造と機能	生理学	教授	佐藤　元彦	302講
2025/4/14(月)	3	－	講義	肺機能と検査法	生理学	教授	佐藤　元彦	302講
2025/4/14(月)	4	－	講義	脊髄(Ⅰ)	生理学	講師	坂本　洋子	302講
2025/4/14(月)	5	－	講義	脊髄(Ⅱ)	生理学	講師	坂本　洋子	302講
2025/4/16(水)	1	－	講義	換気力学	生理学	教授	佐藤　元彦	302講
2025/4/16(水)	2	－	講義	肺胞におけるガス交換	生理学	教授	佐藤　元彦	302講
2025/4/17(木)	4	－	講義	誘発筋電図	生理学	講師	坂本　洋子	302講
2025/4/17(木)	5	－	講義	脳幹(Ⅰ)	生理学	講師	坂本　洋子	302講
2025/4/21(月)	2	－	講義	正常体温と体温測定法	－	非常勤講師	西村　直記	302講
2025/4/21(月)	3	－	講義	環境適応と体温異常	－	非常勤講師	西村　直記	302講
2025/4/21(月)	4	－	講義	骨格筋組成とトレーニング	－	非常勤講師	西村　直記	302講
2025/4/21(月)	5	－	講義	酸素と二酸化炭素の運搬	生理学 生理学	教授 助教	佐藤　元彦 家﨑　高志	302講
2025/4/23(水)	1	－	講義	酸塩基平衡と呼吸	生理学 生理学	教授 助教	佐藤　元彦 家﨑　高志	302講
2025/4/23(水)	2	－	講義	酸塩基平衡と血液ガス	生理学 生理学	教授 助教	佐藤　元彦 家﨑　高志	302講
2025/4/24(木)	4	－	講義	脳幹(Ⅱ)	生理学	講師	坂本　洋子	302講
2025/4/24(木)	5	－	講義	小脳	生理学	講師	坂本　洋子	302講
2025/4/28(月)	2	－	講義	大脳基底核	生理学	講師	坂本　洋子	302講
2025/4/28(月)	3	－	講義	運動野	生理学	講師	坂本　洋子	302講
2025/4/28(月)	4	－	講義	肺循環	生理学	講師	山村　彩	302講
2025/4/28(月)	5	－	講義	肺高血圧の生理	生理学	講師	山村　彩	302講
2025/4/30(水)	1	－	講義	基礎代謝	－	非常勤講師	松本　孝朗	302講
2025/4/30(水)	2	－	講義	自律神経	生理学	講師	坂本　洋子	302講
2025/5/1(木)	4	－	講義	呼吸中枢と特殊環境での呼吸生理	生理学	教授	佐藤　元彦	302講
2025/5/1(木)	5	－	講義	心臓の構造と心周期	生理学	教授	佐藤　元彦	302講
2025/5/7(水)	1	－	講義	腎臓の機構と構造	生理学	講師	林　寿来	302講
2025/5/7(水)	2	－	講義	尿細管の機能	生理学	講師	林　寿来	302講
2025/5/8(木)	4	－	講義	心音と聴診所見	生理学	教授	佐藤　元彦	302講
2025/5/8(木)	5	－	講義	心電図の原理	生理学	教授	佐藤　元彦	302講
2025/5/14(水)	1	－	講義	腎クリアランス	生理学	講師	林　寿来	302講
2025/5/14(水)	2	－	講義	腎臓による酸塩基平衡の調節	生理学	講師	林　寿来	302講
2025/5/15(木)	4	－	講義	心筋の電気現象	生理学	教授	佐藤　元彦	302講
2025/5/15(木)	5	－	講義	心臓の興奮収縮連関	生理学	教授	佐藤　元彦	302講
2025/5/19(月)	2	－	講義	心拍出量と心機能曲線	生理学	教授	佐藤　元彦	302講
2025/5/19(月)	3	－	講義	血圧	生理学	教授	佐藤　元彦	302講
2025/5/19(月)	4	－	講義	排尿の機序	生理学	講師	林　寿来	302講
2025/5/19(月)	5	－	講義	体液量と体液分画	生理学	講師	林　寿来	302講
2025/5/21(水)	1	－	講義	循環の調節(Ⅰ)	生理学	教授	佐藤　元彦	302講
2025/5/21(水)	2	－	講義	循環の調節(Ⅱ)	生理学	講師	林　寿来	302講

生理学２

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/5/22(木)	4	ー	講義	腎臓と内分泌	ー	非常勤講師	藤田　孝之	302講
2025/5/22(木)	5	ー	AL	病態生理(腎臓)	生理学	講師	林　寿来	302講
2025/5/26(月)	2	ー	講義	微小循環，リンパ系	生理学	講師	林　寿来	302講
2025/5/26(月)	3	ー	AL	病態生理(呼吸生理)	生理学	教授	佐藤　元彦	302講
2025/5/26(月)	4	ー	講義	消化・吸収総論・神経支配	生理学	講師	山村　彩	302講
2025/5/26(月)	5	ー	講義	消化管運動・消化管ペプチド	生理学	講師	山村　彩	302講
2025/5/28(水)	1	ー	講義	口腔・食道	生理学	講師	山村　彩	302講
2025/5/28(水)	2	ー	講義	心機能の病態調節	ー	非常勤講師	梅村　将就	302講
2025/5/29(木)	4	ー	講義	AIDLE-K 腎臓・代謝・運動セルフチェックテスト	生理学 生理学	教授 講師	佐藤　元彦 林　寿来	マルチAB
2025/5/29(木)	5	ー	講義	臓器循環と胎児循環	ー	非常勤講師	横山　詩子	302講
2025/6/2(月)	2	ー	講義	胃・小腸	生理学	講師	山村　彩	302講
2025/6/2(月)	3	ー	講義	大腸・肝臓・胆嚢・膵臓	生理学	講師	山村　彩	302講
2025/6/2(月)	4	ー	AL	病態生理(循環生理)	生理学	教授	佐藤　元彦	302講
2025/6/2(月)	5	ー	講義	生理学総合講義(心電図・血圧)	生理学	教授	佐藤　元彦	302講
2025/6/4(水)	1	ー	講義	腸管吸収	生理学	講師	山村　彩	302講
2025/6/4(水)	2	ー	AL	病態生理(消化器)	生理学	講師	山村　彩	302講
2025/6/5(木)	4	ー	講義	AIDLE-K 循環・呼吸セルフチェックテスト	生理学	教授	佐藤　元彦	マルチAB
2025/6/5(木)	5	ー	AL	病態生理(神経性調節のCBL (Case-based Lecture)症例基盤型講義)	生理学	講師	坂本　洋子	302講
2025/6/9(月)	1	ー	講義	AIDLE-K 神経・消化吸収セルフチェックテスト	生理学 生理学 生理学	教授 講師 講師	佐藤　元彦 坂本　洋子 山村　彩	マルチAB
2025/6/9(月)	3	ー	講義	生理学総合講義(心機能・腎機能・呼吸機能・代謝)	生理学 生理学 生理学	教授 講師 講師	佐藤　元彦 林　寿来 山村　彩	302講
2025/6/9(月)	4	ー	講義	生理学総合講義(糖代謝)	生理学 生理学	教授 講師	増渕　悟 小松　紘司	302講
2025/6/9(月)	5	ー	講義	生理学総合講義(血液)	生理学	講師	松井　卓哉	302講
2025/6/12(木)	4	ー	講義	生理学総合講義(筋収縮)	生理学	講師	榊原　伊織	302講
2025/6/12(木)	5	ー	講義	生理学総合講義(補足)	生理学	教授	佐藤　元彦	302講
2025/7/23(水)	**3**	**ー**	**ー**	**定期試験(90分)**	**生理学**	**教授**	**佐藤　元彦**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
佐藤　元彦	教授	生理学講座	月・水曜日	17:00～19:00	2号館研究棟M2階274号室
坂本　洋子	講師	生理学講座	月～金曜日	16:00～19:00	2号館，Web面談 研究棟M2階272号室
林　寿来	講師	生理学講座	木曜日	17:00～18:30	2号館研究棟4階401号室
山村　彩	講師	生理学講座	水曜日	17:00～18:30	2号館研究棟4階401号室
家﨑　高志	助教	生理学講座	木曜日	17:00～18:30	2号館研究棟4階401号室
増渕　悟	教授	生理学講座	月曜日	16:00～18:00	2号館研究棟257号室
松井　卓哉	講師	生理学講座	月・火・水曜日	16:30～18:00	2号館研究棟303号室
小松　紘司	講師	生理学講座	月～金曜日	17:00～19:00	2号館研究棟259号室
榊原　伊織	講師	生理学講座	火・木曜日	13:00～17:00	2号館研究棟259号室
松本　孝朗	非常勤講師	中京大学教授	講義終了後，講義室にて		
横山　詩子	非常勤講師	東京医科大学教授	講義終了後，講義室にて		
藤田　孝之	非常勤講師	福岡大学教授	講義終了後，講義室にて		
西村　直記	非常勤講師	日本福祉大学教授	講義終了後，講義室にて		
梅村　将就	非常勤講師	横浜市立大学准教授	講義終了後，講義室にて		

生　理　学　実　習

【単位数：1.5単位，授業42コマ】

1　科目責任者

佐藤元彦　教授（生理学）

科目担当者
増渕　悟　教授（生理学）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅲ-２-ｃ，Ⅲ-３-ｃ）

① コアコンピテンスの“人体各種組織や器官及び器官系の正常機能，並びにそれらの相互作用による生体協関や恒常性”を理解し，“疾病の病因・病態・治療につながる基礎医学的な要素”を理解することを目的として生理学実習を行う。そのことによって，医学生としての“医学知識と科学的探究心”を身につける。

② 生理学は生命現象を機能から追究する学問であって，論理的な仮説と検証から理論モデルを創出する分野である。得られた観察事項に対して知識に基づいた生理学的解釈を行い，病態生理を理解する基礎を築く。

（２）　学修目標

① 筋･神経における興奮の発生と伝導･伝達，骨格筋と平滑筋の収縮機構を説明できる。
② 呼吸器系の意義を述べることができ，換気のメカニズムや血液ガスの役割を説明できる。呼吸の調節機能について説明できる。
③ エネルギー代謝量の測定法を説明することができる。
④ 心電図の記録とその原理を説明でき，基本的読影ができる。
⑤ 血圧の測定ができ，その原理を説明できる。
⑥ 正常心音の成因と聴診部位，また病的心雑音について説明できる。
⑦ 血液組成，細胞成分の役割や産生とその調節，鉄代謝，止血機構を説明できる。
⑧ 腎臓の機能を列挙できる。また，ネフロンの役割を体液調節と関連づけて説明できる。
⑨ 糖代謝異常などの病態と関連づけてホルモンの作用と分泌調節を説明できる。
⑩ 脳波の導出・記録を行うことができ，基本的な脳波の解釈ができる。
⑪ 実験に基づく医学研究ついて説明できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
実習レポート	○	80%	実習レポートは指定期日までに提出する。
小テスト又は口頭試問	○	20%	実習後に小テスト，あるいは口頭試問を行う。口頭試問は実習中に随時行う場合もある。
態度	○	—	実習態度が不良の場合は10点を限度に減点をする。

出席：　実習を修得するためには，欠席をしてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（３） 再試験・再評価の方法

実習レポートが60％未満の場合は，再提出を求める（基準に満たない場合は，不合格となる）。
小テスト・口頭試問の合計が60％未満の場合は，課題を課す。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

教員からの意見は，各実習中に適時フィードバックされる。また，各課題の最後に，実習への取り組み方，記録，結果の解釈等を教員と共に討議する。教員は総括的なフィードバックを行う。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
新訂・生理学実習書	日本生理学会教育委員会監修	南江堂	生理学実習の手技が具体的に記載されている。
標準生理学	本間研一監修	医学書院	国内の執筆陣により各領域が網羅されている。2019年改訂版
ガイトン生理学	石川義弘他総監訳	エルゼビア・ジャパン	医学的視点から，生理学事象を丁寧に解説した教科書。2018年改訂
生理学テキスト	大地陸男著	文光堂	コンパクトな教科書であり関連分野を通読しやすい。2022年改訂
ギャノング生理学	岡田泰伸他監修	丸善株式会社	長く評価を得ている生理学書の1つ。2022年原著26版翻訳本
カンデル神経科学	宮下保司監訳	MedSi	神経科学の名著中の名著。大部なので，全部を読むことは難しい。2022年原著2版翻訳本
ベアー コノーズ パラディーソ 神経科学 脳の探求 改訂版	藤井 聡監修，翻訳	西村書店	欧米の生理学の教科書は優れたものがあるが神経生理学，神経科学の記載が少ない。それを補う分量，内容ともに妥当な教科書。2021年改訂版

6 準備学習（予習・復習）

○ 実習関連分野に関して，講義資料，参考図書を読むこと（１日あたり約0.5時間）。
○ 配付される生理学実習書で，必要器具，摂飲食準備，手順，観察事項，予想結果とその意義を確認・整理しておくこと（１日あたり約0.5時間）。
○ 実習後，得られたデータに基づいて実習書にレポートを記載する（１日あたり約0.5時間）。
○ 予想と異なった結果でも，生理学的な解釈を考察すること（１日あたり約20分）。

7　授業計画

（１）　実習の方法

履修学生を6グループに分け，6課題を1日1課題のローテーション形式で学ぶ。また，これとは別に全グループが同時に参加する2課題を設け，全員参加型の実習を行う。各課題ともに指定時刻に集合し，その日の課題の説明を受け，実習を開始する。実習終了後に項目により口頭試問，小テスト，データ発表などを行う。実習レポートの提出形式，締切は課題ごとに異なるので，教員の指示をよく聞き，注意すること。レポートの不備，提出の遅れは減点対象になる場合がある。

また新型コロナウィルスの感染状況によって内容を変更することがある。

（２）　実習の内容

全員同時参加型実習	
1）神経：脳波	脳波の記録と解析
2）実験医学	生理学の古典的名著「実験医学序説（クロード・ベルナール）」から実験に基づく医学研究の考え方を学ぶ。
ローテーション実習	
3）糖代謝	ブドウ糖負荷試験，血糖値測定
4）血液	採血方法，血球観察，血球数測定，出血時間測定，凝固時間測定，ヘマトクリット測定，ヘモグロビン測定
5）筋収縮	神経・筋標本作製，極興奮の法則観察，閾値測定，単収縮・強縮・疲労曲線の観察
6）心電図・血圧・心音	心電図の記録・分析，血圧測定の手技の修得，正常心音，心雑音の聴取
7）腎機能	尿希釈と尿濃縮の機序の分析
8）呼吸機能・代謝	肺換気機能の測定，酸素消費量の測定，安静時と運動時のエネルギー代謝の測定

生理学実習

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/6/19(木)	1	ー	講義	実習講義	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志	302講
2025/6/19(木)	2	ー	講義	実習講義	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志	302講
2025/6/23(月)	1	ー	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 302講
2025/6/23(月)	2	ー	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 302講
2025/6/23(月)	3	ー	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 302講

生理学実習

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/6/23(月)	4	ー	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 302講
2025/6/23(月)	5	ー	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 302講
2025/6/25(水)	1	ー	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 Sim1 Sim2 302講
2025/6/25(水)	2	ー	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 Sim1 Sim2 302講
2025/6/25(水)	3	ー	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 Sim1 Sim2 302講

生理学実習

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/6/25(水)	4	ー	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 Sim1 Sim2 302講
2025/6/25(水)	5	ー	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 Sim1 Sim2 302講
2025/6/30(月)	1	ー	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 Sim1 Sim2 302講
2025/6/30(月)	2	ー	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 Sim1 Sim2 302講
2025/6/30(月)	3	ー	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 Sim1 Sim2 302講

生理学実習

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/6/30(月)	4	ー	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 Sim1 Sim2 302講
2025/6/30(月)	5	ー	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 Sim1 Sim2 302講
2025/7/2(水)	1	ー	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 Sim1 Sim2 302講
2025/7/2(水)	2	ー	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 Sim1 Sim2 302講
2025/7/2(水)	3	ー	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 Sim1 Sim2 302講

生理学実習

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/7/2(水)	4	ー	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 Sim1 Sim2 302講
2025/7/2(水)	5	ー	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 Sim1 Sim2 302講
2025/7/4(金)	1	ー	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 Sim1 Sim2 302講
2025/7/4(金)	2	ー	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 Sim1 Sim2 302講
2025/7/4(金)	3	ー	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 Sim1 Sim2 302講

生理学実習

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/7/4(金)	4	―	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 Sim1 Sim2 302講
2025/7/4(金)	5	―	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 Sim1 Sim2 302講
2025/7/7(月)	1	―	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 Sim1 Sim2 302講
2025/7/7(月)	2	―	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 Sim1 Sim2 302講
2025/7/7(月)	3	―	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 Sim1 Sim2 302講

生理学実習

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/7/7(月)	4	ー	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 Sim1 Sim2 302講
2025/7/7(月)	5	ー	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 Sim1 Sim2 302講
2025/7/9(水)	1	ー	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 Sim1 Sim2 302講
2025/7/9(水)	2	ー	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 Sim1 Sim2 302講
2025/7/9(水)	3	ー	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 Sim1 Sim2 302講

生理学実習

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/7/9(水)	4	ー	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 Sim1 Sim2 302講
2025/7/9(水)	5	ー	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 Sim1 Sim2 302講
2025/7/11(金)	1	ー	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 302講
2025/7/11(金)	2	ー	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 302講
2025/7/11(金)	3	ー	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 302講

生理学実習

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/7/11(金)	4	ー	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 302講
2025/7/11(金)	5	ー	実習	実習課題 [生理学1] 糖代謝(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧・心音(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 生理学 糖内 糖内 IR室	教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 講師 助教 教授 准教授 講師	増渕 悟 松井 卓哉 小松 紘司 榊原 伊織 佐藤 元彦 坂本 洋子 林 寿来 山村 彩 家﨑 高志 神谷 英紀 姫野 龍仁 佐藤 麻紀	研201 研202 医学研究科セミナー室1,2 302講

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
佐藤　元彦	教授	生理学講座	月・水曜日	17:00～19:00	2号館研究棟M2階274号室
坂本　洋子	講師	生理学講座	月～金曜日	16:00～19:00	2号館，Web面談 研究棟M2階272号室
林　寿来	講師	生理学講座	木曜日	17:00～18:30	2号館研究棟4階401号室
山村　彩	講師	生理学講座	水曜日	17:00～18:30	2号館研究棟4階401号室
家﨑　高志	助教	生理学講座	木曜日	17:00～18:30	2号館研究棟4階401号室
増渕　悟	教授	生理学講座	月曜日	16:00～18:00	2号館研究棟257号室
松井　卓哉	講師	生理学講座	月・火・水曜日	16:30～18:00	2号館研究棟303号室
小松　紘司	講師	生理学講座	月～金曜日	17:00～19:00	2号館研究棟259号室
榊原　伊織	講師	生理学講座	火・木曜日	13:00～17:00	2号館研究棟259号室
神谷　英紀	教授	内科学講座(糖尿病内科)	木・金曜日	14:00～15:00	C棟5階糖尿病内科教授室
姫野　龍仁	准教授	内科学講座(糖尿病内科)	木曜日	16:00～17:00	C棟5階糖尿病内科医局
佐藤　麻紀	講師	IR室	金曜日	15:00～17:00	本館7階IR室

生　化　学　2

【単位数：1.5単位，授業20コマ（定期試験含まず）】

1　科目責任者

細川好孝　教授（生化学）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅲ-３-ｃ）

① コアコンピテンスの医学知識と科学的探究心の理解のため，遺伝学・分子生物学の基礎を学び，そのことによって，疾病の病因と病態・治療につながる基礎医学的な要素への理解を深める。
② 生化学の講義・実習で得た知識を基にして，将来診療で経験した病態の解析につながる学修を行う。
③ 疾患を含む全ての生命現象は遺伝情報の上に成立していることを学ぶ。

（２）　学修目標

① 生化学における重要な基本物質（核酸，ヌクレオチドなど）の構造，機能を説明できる。
② 分子生物学の基本となるDNAの複製・修復，RNAの転写及びタンパク質の翻訳の機構を説明できる。
③ 分子生物学の基本的技術と概念を説明することができる。
④ シグナル伝達・細胞周期の概要及び細胞癌化の基本的な機構を説明できる。
⑤ ゲノム医学の概念を説明することができる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	80％	原則記述式とする。基本的に80点を満点とする。
中間試験	○	20％	20点を満点とする。
態度	○	―	受講態度が著しく不良の場合は10％を限度に減点をする。
その他	―	―	再試験は100点満点とし，中間試験を加味しない。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60％以上で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

評価対象の合計が60％未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する（60％以上で合格，中間試験の点数は含まない）。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

○ 試験の問題の解説を行う。
○ 講義の中で，定期試験に向けた課題を配付し，解説を行う。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
イラストレイテッド生化学	石崎泰樹，丸山 敬 監訳	丸善株式会社	イラストを駆使して，生化学全般に網羅性・簡潔性に優れている。一部講義プリントの作製に利用している。
「レーニンジャーの新生化学」(上・下)	山科郁男 監修	廣川書店	講義プリントはレーニンジャーに基づいて作製しているため，理解を深める目的で，辞書として使用するとよい。

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
Lehninger　Principles of Biochemistry	David L. Nelson & Michael M Cox	W.H. Freeman and Company	英文が平易であり，英語学習の第一歩として適している。一部講義プリントに利用している。

6　準備学習（予習・復習）

予習：　特別な予習は要求しない。可能であれば，授業計画表を参考にして，イラストレイテッド生化学で概要をつかんでおくとよい（1日あたり約20分）。

復習：　講義プリントの内容を中心に，イラストレイテッド生化学や生化学レーニンジャーの新生化学を参考しながら理解を深めてほしい（1日あたり約0.5時間）。

7　授業計画

（1）　講義の方法

大教室での授業プリント，スライドを用いた知識伝達型の講義が主体であるが，出来る限り講師側から質問を投げかけ，双方向性の講義になるように努めている。レーニンジャー生化学の英語版の英文の一部も使用して，医学英語を学ぶきっかけとしたい。

（2）　講義の内容

1コマ目に代謝学を概観しながら総論を解説し，次いで生化学の基本である糖質・タンパク質・脂質及び酵素学を学び，さらに代謝学の詳細へと理解を深めていく。人体の働き・疾病への理解につながる講義としたい。

生化学２

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/18(金)	1	ー	講義	プリンヌクレオチドの合成	生化学	教授	細川　好孝	302講
2025/4/18(金)	2	ー	講義	ピリミジンヌクレオチドの合成	生化学	教授	細川　好孝	302講
2025/4/25(金)	1	ー	講義	DNA複製機構，DNA修復機構	生化学	教授	細川　好孝	302講
2025/4/25(金)	2	ー	講義	DNA修復機構，DNAの組換え	生化学	教授	細川　好孝	302講
2025/5/2(金)	1	ー	講義	転写の機構	生化学	教授	細川　好孝	302講
2025/5/2(金)	2	ー	講義	遺伝子発現調節機構	生化学	教授	細川　好孝	302講
2025/5/9(金)	1	ー	講義	遺伝暗号，タンパク質合成の機構	生化学	准教授(特任)	兵頭　寿典	302講
2025/5/9(金)	2	ー	講義	タンパク質の細胞内輸送と分解	生化学	准教授(特任)	兵頭　寿典	302講
2025/5/16(金)	1	ー	講義	ホルモン・神経伝達物質	生化学	教授(特任)	都築　忍	302講
2025/5/16(金)	2	ー	講義	シグナル伝達	生化学	教授(特任)	都築　忍	302講
2025/5/23(金)	1	ー	講義	分子生物学	生化学	教授(特任)	小西　裕之	302講
2025/5/23(金)	2	ー	講義	分子生物学	生化学	教授(特任)	小西　裕之	302講
2025/5/30(金)	1	ー	講義	分子生物学	生化学	教授(特任)	小西　裕之	302講
2025/5/30(金)	2	ー	講義	分子生物学	生化学	教授(特任)	小西　裕之	302講
2025/6/6(金)	1	ー	講義	分子生物学	生化学	教授(特任)	小西　裕之	302講
2025/6/6(金)	2	ー	講義	分子生物学	生化学	教授(特任)	小西　裕之	302講
2025/6/13(金)	1	ー	講義	細胞周期，がん化，アポトーシス	生化学	教授(特任)	小西　裕之	302講
2025/6/13(金)	2	ー	講義	ゲノム医学，分子標的治療	生化学	教授(特任)	小西　裕之	302講
2025/6/20(金)	1	ー	講義	**中間テスト**	生化学	教授	細川　好孝	101講
2025/6/20(金)	2	ー	講義	実習書配布	生化学	教授	細川　好孝	302講
2025/7/24(木)	**3**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**生化学**	**教授**	**細川　好孝**	**101講**

8 オフィスアワー

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
細川　好孝	教授	生化学講座	火・水・金	16:00～18:00	2号館研究棟3階361号室
小西　裕之	教授(特任)	生化学講座	月・木曜日	15:00～17:00	2号館研究棟3階362号室
都築　忍	教授(特任)	生化学講座	月・木曜日	15:00～17:00	2号館研究棟3階362号室
兵頭　寿典	准教授(特任)	生化学講座	月・木曜日	16:00～18:00	2号館研究棟3階304号室

生　化　学　実　習

【単位数：0.5単位，授業20コマ】

1　科目責任者

細川好孝　教授（生化学）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅲ-３-ｃ）

① コアコンピテンスの医学知識と科学的探究心の理解のため，遺伝学・分子生物学の基礎を学び，そのことによって，疾病の病因と病態・治療につながる基礎医学的な要素への理解を深める。
② 生化学の講義・実習で得た知識を基にして，将来診療で経験した病態の解析につながる学修を行う。
③ 疾患を含む全ての生命現象は遺伝情報の上に成立していることを学ぶ。

（２）　学修目標

① 生化学における重要な基本物質（糖質，脂質，アミノ酸など）の構造，機能を説明できる。
② 糖質，脂質，タンパク質，核酸の代謝の代謝経路について，経路の概略と調節機構，生理的意義，病態生理的意義を説明することができる。
③ 糖質，脂質，タンパク質，核酸の代謝の代謝経路について，経路の調節に関与する酵素，補酵素，調節因子について説明することができる。
④ 高エネルギーリン酸化合物の生成機構と，この生体エネルギーが生体機能にどのように利用されているかについて説明できる。
⑤ 酵素の性質と作用機序及びその活性の調節機構を説明することができる。
⑥ 生化学における重要な基本物質（核酸，ヌクレオチドなど）の構造，機能を説明できる。
⑦ 分子生物学の基本となるDNAの複製・修復，RNAの転写及びタンパク質の翻訳の機構を説明できる。
⑧ 分子生物学の基本的技術と概念を説明することができる。
⑨ シグナル伝達・細胞周期の概要及び細胞癌化の基本的な機構を説明できる。
⑩ ゲノム医学の概念を説明することができる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	80％	レポートに加えて，口頭試問を課す可能性もある。
実習態度	○	20％	実習態度が著しく不良の場合は20％を上限として減点をする。

出席：　実習を修得するためには，欠席をしてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

レポートの再提出を求める。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

レポートの不備な点を指摘し，直接本人にフィードバックする。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
生化学実習書(生化学講座作成)	生化学講座	生化学講座	実習の概要と方法がまとまっている。

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
イラストレイテッド生化学	石崎泰樹， 丸山　敬 監訳	丸善株式 会社	イラストを駆使して，生化学全般に網羅性・簡潔性に優れている。一部講義プリントの作製に利用している。
「レーニンジャーの新生化学」(上・下)	山科郁男 監修	廣川書店	講義プリントはレーニンジャーに基づいて作製しているため，理解を深める目的で，辞書として使用するとよい。

6　準備学習（予習・復習）

予習：授業計画表を参考にして，生化学実習書で実習内容の概要をつかんでおくとよい(1日あたり約20分)。
復習：生化学実習書を参考にして，実習内容の振り返りを行い，理解を深めてほしい(1日あたり約20分)。

7　授業計画

(1)　講義の方法

生化学実習書，スライドを用いた知識伝達型の講義が主体であるが，出来る限り講師側から質問を投げかけ，双方向性の講義になるように努めている。

(2)　講義の内容

実習内容の総論と概要を解説，次いで実習内容の詳細へと講義を進めていく。講義・実習を通じて，生化学の基礎である生体の代謝学及び遺伝学・分子生物学を学び，人体の働き，疾病への理解につながる内容としたい。

生化学実習

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/7/1(火)	1	－	実習	II.酵素の精製・構造と活性調節 III.制限酵素, アガロース電気泳動, PCR法 IV.酵素学(反応速度論)	生化学	教授	細川 好孝	研112
2025/7/1(火)	2	－			生化学	教授(特任)	小西 裕之	
2025/7/1(火)	3	－			生化学	教授(特任)	都築 忍	
2025/7/1(火)	4	－			生化学	准教授(特任)	兵頭 寿典	
2025/7/1(火)	5	－			生化学	講師	Sivasundaram karnan	
2025/7/3(木)	1	－	実習	II.酵素の精製・構造と活性調節 III.制限酵素, アガロース電気泳動, PCR法 IV.酵素学(反応速度論)	生化学	教授	細川 好孝	研112
2025/7/3(木)	2	－			生化学	教授(特任)	小西 裕之	
2025/7/3(木)	3	－			生化学	教授(特任)	都築 忍	
2025/7/3(木)	4	－			生化学	准教授(特任)	兵頭 寿典	
2025/7/3(木)	5	－			生化学	講師	Sivasundaram karnan	
2025/7/8(火)	1	－	実習	II.酵素の精製・構造と活性調節 III.制限酵素, アガロース電気泳動, PCR法 IV.酵素学(反応速度論)	生化学	教授	細川 好孝	研112
2025/7/8(火)	2	－			生化学	教授(特任)	小西 裕之	
2025/7/8(火)	3	－			生化学	教授(特任)	都築 忍	
2025/7/8(火)	4	－			生化学	准教授(特任)	兵頭 寿典	
2025/7/8(火)	5	－			生化学	講師	Sivasundaram karnan	
2025/7/10(木)	1	－	実習	II.酵素の精製・構造と活性調節 III.制限酵素, アガロース電気泳動, PCR法 IV.酵素学(反応速度論)	生化学	教授	細川 好孝	研112
2025/7/10(木)	2	－			生化学	教授(特任)	小西 裕之	
2025/7/10(木)	3	－			生化学	教授(特任)	都築 忍	
2025/7/10(木)	4	－			生化学	准教授(特任)	兵頭 寿典	
2025/7/10(木)	5	－			生化学	講師	Sivasundaram karnan	

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
細川 好孝	教授	生化学講座	火・水・金	16:00～18:00	2号館研究棟3階361号室
小西 裕之	教授(特任)	生化学講座	月・木曜日	15:00～17:00	2号館研究棟3階362号室
都築 忍	教授(特任)	生化学講座	月・木曜日	15:00～17:00	2号館研究棟3階362号室
兵頭 寿典	准教授(特任)	生化学講座	月・木曜日	16:00～18:00	2号館研究棟3階304号室
Sivasundaram karnan	講師	生化学講座	月・木曜日	16:00～17:00	2号館研究棟3階364号室

薬　　理　　学

【単位数：2.5単位，授業35コマ（定期試験含まず）】

1　科目責任者

丸山健太　教授（薬理学）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅲ-３-ｃ）

① コアコンピテンスの“疾患の病因･病態･治療につながる基礎医学的な要素”の理解を深めることを目的に，代表的な薬の作用機序を学ぶ。
② 薬の開発史を学ぶことで，薬理学を一種の文化として楽しめるようになることを目指す。
③ 薬理学にまつわる研究活動を俯瞰することで，未来の医学を創出するための方法を知る。

（２）　学修目標

① 受容体作動薬と受容体遮断薬の概念を説明できる。
② 薬物の有効量･中毒量･致死量を説明できる。
③ 薬物の吸収，分布，代謝，排泄を説明できる。
④ 薬物相互作用を説明できる。
⑤ 主要な薬物の開発された歴史的経緯を説明できる。
⑥ 主要な薬物の個体･細胞･分子レベルにおける作用機序と副作用を説明できる。
⑦ 主要な疾患に対する薬物療法を計画できる。
⑧ 治験のプロセスを説明できる。
⑨ 主要な薬害を説明できる。
⑩ 薬の治療標的を探るための研究活動について説明できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	70％	多肢選択問題と穴埋め問題形式を原則とする。
中間テスト	○	30％	多肢選択問題と穴埋め問題形式を原則とし，1回実施。試験時間は40分とし，終了後に解説を行う。
態度	○	―	受講態度が著しく不良の場合は，5％を上限として減点する。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

上記（2）で総合成績が60％未満の場合は，再試験を実施。
再試験は定期試験に準ずる方法で実施し，60％以上を合格とする。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

中間テストと定期試験の解答は試験後にAIDLE-Kにアップロードする。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
スライド（AIDLE-Kにアップロード）			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
Goodman & Gillman's The Pharmacological Basis of Therapeutics	Laurence L. Bruton	McGraw-Hill Companies	薬理学学習のグローバルスタンダード
今日の治療薬	川合眞一ら編集	南江堂	本邦で使われている医薬品を薬効群ごとに解説したベストセラー
Dancing Naked in the Mind Field	Kary Mullis	Vintage	全ての医科学者の必読書
人間この未知なるもの	Alexis Carrel	三笠書房	全ての医科学者の必読書
ノーベル賞からみた免疫学入門	石田寅夫	化学同人	生物学的製剤の歴史を理解するための必読書
本庶佑 生命科学の未来	本庶佑	藤原書店	免疫チェックポイントの発見史
病院の世紀の理論	猪飼周平	有斐閣	本邦の医療を理解するための必読書
エイズウイルスと人間の未来	Luc Montagnier	紀伊國屋書店	エイズ研究史の決定版
血液の歴史	Douglas Starr	河出書房新社	血液製剤の歴史を総括した名著
不死細胞ヒーラ	Rebecca Skloot	講談社	がん治療研究の礎となった細胞の開発史
自分の体で実験したい	Leslie Dendy and Mel Boring	紀伊國屋書店	自分の体で実験して世界を一変させた人々の記録
薬害とはなにか-新しい薬害の社会学	本郷正武 佐藤哲彦	ミネルヴァ書房	本邦の薬害史を総括した入門書

6　準備学習（予習・復習）

○　スライドの内容を予習（1コマあたり0.5時間）。

○　スライドの最後に列挙した“重要な用語”を重点的に復習（1コマあたり0.5時間）。

7　授業計画

（1）　講義の方法

大教室での知識伝達型講義に加えて，小グループによるアクティブ・ラーニングを実施する。

（2）　講義の内容

薬理学総論として，受容体作動薬及び受容体遮断薬の概念，薬物の有効量·中毒量·致死量の関係を概説する。ついで各論として，各種疾患に対する代表的治療薬の作用機序と開発史に焦点を当てた講義を展開する。最後に，薬理学の研究活動（テーマの選定，資金調達，論文作成）の全体像について概説する。

薬理学

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/9/8(月)	3	ー	講義	薬理学総論1	薬理学	教授	丸山 健太	302講
2025/9/10(水)	3	ー	講義	薬理学総論2	薬理学	教授	丸山 健太	302講
2025/9/10(水)	4	ー	講義	自律神経薬理学1	薬理学	准教授	山口 奈緒子	302講
2025/9/11(木)	1	ー	講義	自律神経薬理学2	薬理学	准教授	山口 奈緒子	302講
2025/9/11(木)	2	ー	講義	降圧薬	薬理学	教授	丸山 健太	302講
2025/9/17(水)	3	ー	講義	利尿薬	薬理学	教授	丸山 健太	302講
2025/9/17(水)	4	ー	講義	狭心症治療薬	薬理学	助教	藤川 誠	302講
2025/9/18(木)	1	ー	講義	不整脈 心不全治療薬	薬理学	助教	藤川 誠	302講
2025/9/18(木)	2	ー	講義	麻酔薬 麻薬	薬理学	教授	丸山 健太	302講
2025/9/22(月)	3	ー	講義	抗不安薬 睡眠薬 抗てんかん薬	薬理学	教授	丸山 健太	302講
2025/9/24(水)	3	ー	講義	抗精神病薬 抗そう薬	薬理学	教授	丸山 健太	302講
2025/9/24(水)	4	ー	講義	実習・論文抄読会・薬理学ロールプレイ説明会	薬理学 薬理学 薬理学 薬理学 薬理学	教授 准教授 助教 助教 助教	丸山 健太 山口 奈緒子 上田 昌史 藤川 誠 淺井 遥	302講
2025/9/25(木)	1	ー	講義	**中間テスト**(50分間，終了後に解説)	薬理学 薬理学 薬理学 薬理学 薬理学	教授 准教授 助教 助教 助教	丸山 健太 山口 奈緒子 上田 昌史 藤川 誠 淺井 遥	101講
2025/9/25(木)	2	ー	講義	抗うつ薬 抗パーキンソン病薬 抗認知症薬1	薬理学	助教	上田 昌史	302講
2025/9/29(月)	3	ー	講義	抗うつ薬 抗パーキンソン病薬 抗認知症薬2	薬理学	助教	上田 昌史	302講
2025/10/1(水)	3	ー	講義	抗菌薬 抗真菌薬	薬理学	助教	淺井 遥	302講
2025/10/1(水)	4	ー	講義	抗ウイルス薬	薬理学	教授	丸山 健太	302講
2025/10/2(木)	1	ー	講義	免疫抑制薬	薬理学	教授	丸山 健太	302講
2025/10/2(木)	2	ー	講義	ホルモン関連治療薬	薬理学	助教	上田 昌史	302講
2025/10/6(月)	3	ー	講義	消化器 呼吸器作用薬	薬理学	助教	淺井 遥	302講
2025/10/9(木)	1	ー	講義	骨粗鬆症治療薬	薬理学	教授	丸山 健太	302講
2025/10/9(木)	2	ー	講義	抗がん剤1	薬理学	教授	丸山 健太	302講
2025/10/16(木)	1	ー	講義	抗がん剤2	薬理学	教授	丸山 健太	302講
2025/10/16(木)	2	ー	講義	薬害 毒物と解毒薬	薬理学	教授	丸山 健太	302講
2025/10/30(木)	1	ー	講義	薬理学研究1	薬理学	教授	丸山 健太	302講
2025/10/30(木)	2	ー	講義	薬理学研究2	薬理学	助教	藤川 誠	302講
2025/10/31(金)	1	ー	AL	薬理学ロールプレイ	ー 薬理学 薬理学 薬理学 薬理学 薬理学	非常勤講師 教授 准教授 助教 助教 助教	柳田 俊彦 丸山 健太 山口 奈緒子 上田 昌史 藤川 誠 淺井 遥	302講
2025/10/31(金)	2	ー	AL	薬理学ロールプレイ	ー 薬理学 薬理学 薬理学 薬理学 薬理学	非常勤講師 教授 准教授 助教 助教 助教	柳田 俊彦 丸山 健太 山口 奈緒子 上田 昌史 藤川 誠 淺井 遥	302講
2025/10/31(金)	3	ー	AL	薬理学ロールプレイ	ー 薬理学 薬理学 薬理学 薬理学 薬理学	非常勤講師 教授 准教授 助教 助教 助教	柳田 俊彦 丸山 健太 山口 奈緒子 上田 昌史 藤川 誠 淺井 遥	302講
2025/10/31(金)	4	ー	講義	薬の副作用と相互作用1	薬理学	教授	丸山 健太	302講
2025/10/31(金)	5	ー	講義	薬の副作用と相互作用2	薬理学	教授	丸山 健太	302講
2025/11/6(木)	1	ー	講義	臨床薬理学	薬理学	教授	丸山 健太	302講
2025/11/6(木)	2	ー	講義	漢方薬	薬理学	教授	丸山 健太	302講
2025/11/7(金)	1	ー	講義	薬の治療標的を探る1	薬理学	教授	丸山 健太	302講
2025/11/7(金)	2	ー	講義	薬の治療標的を探る2	薬理学	教授	丸山 健太	302講
2025/12/18(木)	**4**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**薬理学**	**教授**	**丸山 健太**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
丸山　健太	教授	薬理学講座	月曜日	16:00～18:00	2号館研究棟3階357号室
山口　奈緒子	准教授	薬理学講座	月曜日	13:00～18:00	1号館大学本館7階医学教育センター
上田　昌史	助教	薬理学講座	月曜日	16:00～18:00	2号館研究棟4階402号室
藤川　誠	助教	薬理学講座	月曜日	16:00～18:00	2号館研究棟4階402号室
淺井　遥	助教	薬理学講座	講義終了後，講義室にて		
柳田　俊彦	非常勤講師	宮崎大学医学部看護学科 成人・老年看護学講座　臨床薬理学　教授	講義終了後，講義室にて		

薬　理　学　実　習

【単位数：0.5単位，授業17コマ】

1　科目責任者

丸山健太　教授（薬理学）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅲ-３-ｃ）

① コアコンピテンスの“疾患の病因･病態･治療につながる基礎医学的な要素”の理解を深めることを目的に，代表的な薬の作用機序を学ぶ。
② 薬の開発史を学ぶことで，薬理学を一種の文化として楽しめるようになることを目指す。
③ 薬理学にまつわる研究活動を俯瞰することで，未来の医学を創出するための方法を知る。

（２）　学修目標

① 受容体作動薬と受容体遮断薬の概念を説明できる。
② 薬物の有効量･中毒量･致死量を説明できる。
③ 薬物の吸収，分布，代謝，排泄を説明できる。
④ 薬物相互作用を説明できる。
⑤ 主要な薬物の開発された歴史的経緯を説明できる。
⑥ 主要な薬物の個体･細胞･分子レベルにおける作用機序と副作用を説明できる。
⑦ 主要な疾患に対する薬物療法を計画できる。
⑧ 治験のプロセスを説明できる。
⑨ 主要な薬害を説明できる。
⑩ 薬の治療標的を探るための研究活動について説明できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
口頭試問	○	100％	出題は薬理学の講義で学んだ全ての範囲からおこなう。
態度	○	―	実習態度が著しく不良の場合は，５％を上限として減点する。

出席：　実習を修得するためには，欠席してはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

上記（2）で，口頭試問が60％未満の場合は，再試験を実施。
再試験は，口頭試問に準ずる試験を行い，60％以上を合格とする。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

口頭試問の成績についての総括を学内メールで実施する。
口頭試問で不合格となった者は再試験に備えること。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
特に指定なし			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
カッツング薬理学　原書10版	柳沢輝行監訳	丸善出版	学生に必要十分な量の内容がまとめられている。
FLASH　薬理学	丸山　敬	羊土社	詳しすぎず，易しすぎず，コンパクトにまとめられている。
Goodman & Gillman's The Pharmacological Basis of Therapeutics 13th	Laurence L. Bruton et al.	McGraw-Hill Companies	薬理学書のバイブル
薬理学実習の実際とデータの見方	日本私立薬科大学協会編	南山堂	薬理学実習のアウトラインが理解できる。

6　準備学習（予習・復習）

○　薬理学実習では，講義で学修した受容体刺激薬もしくは受容体遮断薬を用いて実習を行う。観察される薬理学的現象をこれら薬物の作用機序との関連で考察し理解を深めてほしい（1日あたり0.5時間）。

○　教員が実習中にピックアップする各項目のキーワード2～3つは必ず理解する（1日あたり15分）。

○　実習の手引きの中でも特に重要な図及び解説は必ず復習する（1日あたり15分）。

7　授業計画

（1）　講義（実習）の方法

以下の3つのグループにわかれて実習を行う。(1) 摘出心房に影響を及ぼす薬物の作用，(2) 麻酔ラットの血圧及び心拍数に影響を及ぼす薬物の作用，(3) 中枢神経系に影響を及ぼす薬物の作用。個人に配付する薬理学実習書には，実習に対する心構えに加えて，個々の実習内容のアウトライン，操作等が記載されているので，少なくとも実習で使われる薬物の作用機序は必ず予習しておくこと。

（2）　講義（実習）の内容

① 摘出心房実験では，摘出したモルモットの心房をマグヌス槽内のKrebs-Henseleit液中に懸垂し，各種の薬物（主に自律神経系に影響を与える薬物）を投与し，心房の機能に及ぼす影響を観察する。機能変化の指標として，心房の収縮力及び拍動数を測定する。

② 血圧実験では，麻酔したラットの大腿動静脈にカニューレを留置し，動脈カニューレを圧トランスデューサーに接続する。静脈カニューレを介して各種の薬物（主に自律神経系に影響を与える薬物）を投与し，麻酔ラットの血圧及び心拍数に及ぼす影響を観察する。

③ 中枢実験では，マウスに各種の薬物（主に中枢神経系に影響を与える薬物）を腹腔内投与し，行動の変化を観察する。

薬理学実習

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/10/20(月)	3	ー	実習	薬理学実習	薬理学 薬理学 薬理学	助教 助教 助教	淺井 遥 藤川 誠 上田 昌史	研201 研202
2025/10/20(月)	4	ー	実習	薬理学実習	薬理学 薬理学 薬理学	助教 助教 助教	淺井 遥 藤川 誠 上田 昌史	研201 研202
2025/10/20(月)	5	ー	実習	薬理学実習	薬理学 薬理学 薬理学	助教 助教 助教	淺井 遥 藤川 誠 上田 昌史	研201 研202
2025/10/21(火)	3	ー	実習	薬理学実習	薬理学 薬理学 薬理学	助教 助教 助教	淺井 遥 藤川 誠 上田 昌史	研201 研202
2025/10/21(火)	4	ー	実習	薬理学実習	薬理学 薬理学 薬理学	助教 助教 助教	淺井 遥 藤川 誠 上田 昌史	研201 研202
2025/10/21(火)	5	ー	実習	薬理学実習	薬理学 薬理学 薬理学	助教 助教 助教	淺井 遥 藤川 誠 上田 昌史	研201 研202
2025/10/22(水)	3	ー	実習	薬理学実習	薬理学 薬理学 薬理学	助教 助教 助教	淺井 遥 藤川 誠 上田 昌史	研201 研202
2025/10/22(水)	4	ー	実習	薬理学実習	薬理学 薬理学 薬理学	助教 助教 助教	淺井 遥 藤川 誠 上田 昌史	研201 研202
2025/10/22(水)	5	ー	実習	薬理学実習	薬理学 薬理学 薬理学	助教 助教 助教	淺井 遥 藤川 誠 上田 昌史	研201 研202
2025/10/23(木)	3	ー	AL	薬理学論文抄読会	薬理学 薬理学 薬理学 薬理学	教授 助教 助教 助教	丸山 健太 淺井 遥 藤川 誠 上田 昌史	302講
2025/10/23(木)	4	ー	AL	薬理学論文抄読会	薬理学 薬理学 薬理学 薬理学	教授 助教 助教 助教	丸山 健太 淺井 遥 藤川 誠 上田 昌史	302講
2025/10/23(木)	5	ー	AL	薬理学論文抄読会	薬理学 薬理学 薬理学 薬理学	教授 助教 助教 助教	丸山 健太 淺井 遥 藤川 誠 上田 昌史	302講
2025/10/24(金)	1	ー	実習	薬理学口頭試問	薬理学 薬理学 薬理学 薬理学	教授 助教 助教 助教	丸山 健太 淺井 遥 藤川 誠 上田 昌史	研357 研358 研359 研402
2025/10/24(金)	2	ー	実習	薬理学口頭試問	薬理学 薬理学 薬理学 薬理学	教授 助教 助教 助教	丸山 健太 淺井 遥 藤川 誠 上田 昌史	研357 研358 研359 研402
2025/10/24(金)	3	ー	実習	薬理学口頭試問	薬理学 薬理学 薬理学 薬理学	教授 助教 助教 助教	丸山 健太 淺井 遥 藤川 誠 上田 昌史	研357 研358 研359 研402
2025/10/24(金)	4	ー	実習	薬理学口頭試問	薬理学 薬理学 薬理学 薬理学	教授 助教 助教 助教	丸山 健太 淺井 遥 藤川 誠 上田 昌史	研357 研358 研359 研402
2025/10/24(金)	5	ー	実習	薬理学口頭試問	薬理学 薬理学 薬理学 薬理学	教授 助教 助教 助教	丸山 健太 淺井 遥 藤川 誠 上田 昌史	研357 研358 研359 研402

8 オフィスアワー

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
丸山 健太	教授	薬理学講座	月曜日	16:00～18:00	2号館研究棟3階357号室
上田 昌史	助教	薬理学講座	月曜日	16:00～18:00	2号館研究棟4階402号室
藤川 誠	助教	薬理学講座	月曜日	16:00～18:00	2号館研究棟4階402号室
淺井 遥	助教	薬理学講座	講義終了後，講義室にて		

病　　理　　学

【単位数：2.5単位，授業35コマ，予備2コマ（定期試験含まず）】

1　科目責任者

笠井謙次　教授（病理学）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅲ-３-ｃ，Ⅲ-４-ｃ）

① コアコンピテンス“医学知識と科学的探究心”の理解のため，疾患の概念，基本的事項を理解し，病因・病態の基礎医学的要素と共に，鑑別と治療につながる病態を学ぶ。

② 人体に発生する様々な疾患を，「細胞傷害・変性と細胞死」，「染色体・遺伝子異常」，「代謝障害・退行変性」，「循環障害」，「炎症と創傷治癒・感染症・免疫異常」，「腫瘍」に分類し，その様態を学ぶことにより，疾病の成り立ちの基本メカニズムを理解することを目指す。

（２）　学修目標

① ゲノム・染色体・遺伝子の異常と疾患との関係を説明できる。
② 細胞障害・変性・細胞死の病因と形態学的変化を説明できる。
③ 代謝異常による病態を説明できる。
④ 循環障害・臓器不全の病因と病態を説明できる。
⑤ 炎症・感染症・創傷の概念と経時的変化及び治癒過程，免疫異常による疾患を説明できる。
⑦ 腫瘍の概念・分類・定義と病態・進展過程及び病理所見を説明できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	35%	多肢選択問題を原則とし，一部記述式を含む場合がある。 試験範囲は9/8（月）1限～11/14（金）2限の講義・AL・CBL・病理学実習の全て及び別途指示した教科書の該当範囲，課題学修。 なお病理学実習のレポート完了を病理学実習単位修得及び病理学修了の条件とする。また不十分なレポートは再提出を課す。詳細は病理学実習の項を参照。
小テスト1	○	40%	多肢選択問題を原則とし，一部記述式を含む場合がある。 試験範囲は9/8（月）1限～9/26(金)5限の講義・ALと別途指示した教科書の該当範囲，課題学修。
小テスト2	○	25%	多肢選択問題を原則とし，一部記述式を含む場合がある。 試験範囲は9/29(月)2限～10/9（木）5限の講義・AL・CBLと別途指示した教科書の該当範囲，課題学修。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は，総合成績の10%を上限として減点をする。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２） 合格基準

小テスト1・小テスト2及び定期試験を合算して総合成績とする。総合成績が60点以上を合格とする。
ただし，実習レポート完了を条件とする。
また，著しく受講態度不良の場合，総合成績の10％を上限として減点したものを最終的な総合成績とする。

（３） 再試験・再評価の方法

上記（2）で総合成績が60点に満たない場合，100点満点の再試験を行い60点以上を合格とする。再試験では，講義・AL・CBL・病理学実習の全てと別途指示した教科書の該当範囲，課題学修を試験範囲とする。
試験形式は多肢選択問題を原則とし，一部記述式を含む場合がある。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

小テスト1の結果が6割に達しない場合は個別に成績を開示し，今後の学修への取り組み方の改善を促す。
小テスト1及び定期試験の結果概要を学内メールで開示する。これにて各自の理解が不十分な項目の再確認を促すとともに，再試験対象となった者は再試験に備える。

４ 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
標準病理学	坂本穆彦 監修	医学書院	学修内容が網羅されている。

５ 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
集中講義　病理学	清水道生 内藤善哉 編集	メディカル ビュー	テーマごと簡潔に記載され，要点が良く纏まっている。
ロビンス　基礎病理学	豊國伸哉 髙橋雅英 監訳	丸善出版	記述にストーリー性があり秀逸。
日本病理学会「病理コア画像」 http://pathology.or.jp	日本病理 学会教育 委員会	日本病理学 会	付）病理学総論的索引を参照。 登録疾患が厳選されている。

６ 準備学習（予習・復習）

○ 教科書又は参考図書の該当範囲を予習すること（1日あたり 15 分間）。
○ 講義資料，教科書又は参考図書の該当範囲を復習すること（1日あたり1時間）。
○ 病理学講義では極めて多くの専門用語を学ぶ。これらの定義・意味を正確に理解すること。
○ 疾患のメカニズムについて，ストーリー性を持った論理的説明ができるよう学修すること。教科書で記述不十分な箇所は参考図書（特にロビンス基礎病理学）での学修を薦める。
○ 教科書・参考図書（特に日本病理学会「病理コア画像」）や実習標本を通じて，病理組織像に慣れ親しむこと。
○ 異常と正常とは表裏一体である。適宜解剖学，生理学，生化学，免疫学等の振り返り学修を行うこと。

７ 授業計画

（１） 講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが，講義中，一部，小グループ討論や講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニング（AL）を実施する。症例提示を含めた case-based learing（CBL）を実施する。

（２） 講義の内容

講義資料を基に，適宜スライドにて病理組織画像を提示しつつ講義を行う。

病理学

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/9/5(金)	1	―	講義	＜ガイダンス＞ 病理学の概説，講義・実習・試験の説明	病理学	教授	笠井 謙次	302講
2025/9/8(月)	4	―	講義	＜細胞病理学1＞細胞の損傷・細胞死の病因病態	病理学	講師	猪子 誠人	302講
2025/9/8(月)	5	―	講義	＜細胞病理学2＞細胞増殖と分化，適応	病理学	講師	猪子 誠人	302講
2025/9/9(火)	3	―	講義	＜炎症1＞炎症の定義，概要，急性炎症の経過と転帰	病理学	教授	笠井 謙次	302講
2025/9/9(火)	4	―	講義	＜炎症2＞慢性炎症，肉芽腫，創傷治癒	病理学	講師	大西 紘二	302講
2025/9/9(火)	5	―	講義	＜炎症3＞IgG4関連疾患，マクロファージ	病理学	講師	大西 紘二	302講
2025/9/10(水)	5	―	AL	炎症性疾患	病理学	講師	大西 紘二	302講
2025/9/16(火)	3	―	講義	＜代謝異常1＞	病理学	講師	猪子 誠人	302講
2025/9/16(火)	4	―	講義	＜代謝異常2＞	病理学	講師	猪子 誠人	302講
2025/9/16(火)	5	―	講義	＜代謝異常3＞	病理学	講師	猪子 誠人	302講
2025/9/19(金)	1	―	講義	＜代謝異常4＞	病理学	講師	猪子 誠人	302講
2025/9/19(金)	2	―	講義	＜染色体・遺伝子異常1＞染色体・遺伝子異常の基礎	病理学	講師	猪子 誠人	302講
2025/9/22(月)	1	―	講義	＜免疫異常1＞アレルギー性疾患	病理学	講師	大西 紘二	302講
2025/9/22(月)	2	―	講義	＜免疫異常2＞自己免疫疾患	病理学	講師	大西 紘二	302講
2025/9/26(金)	1	―	講義	＜染色体・遺伝子異常2＞発生異常・染色体異常	病理学	講師	中村 律子	302講
2025/9/26(金)	2	―	講義	＜染色体・遺伝子異常3＞腫瘍と遺伝子異常	病理学	講師	中村 律子	302講
2025/9/26(金)	3	―	講義	＜染色体・遺伝子異常4＞遺伝子異常による疾患	病理学	講師	中村 律子	302講
2025/9/26(金)	4	―	講義	＜外科病理＞	病理学	講師	中村 律子	302講
2025/9/26(金)	5	―	講義	＜循環器＞血管炎	―	非常勤講師	岩下 寿秀	302講
2025/9/29(月)	1	―	講義	小テスト1	病理学	教授	笠井 謙次	101講
2025/9/29(月)	2	―	講義	＜がんゲノムと病理診断＞	―	非常勤講師	谷田 部恭	302講
2025/10/3(金)	1	―	講義	＜腫瘍1＞腫瘍の定義，命名法，概要	病理学	教授	笠井 謙次	302講
2025/10/3(金)	2	―	講義	＜腫瘍2＞	病理学	教授	笠井 謙次	302講
2025/10/3(金)	3	―	AL	腫瘍	病理学	助教	陸 美穂	302講
2025/10/6(月)	2	―	講義	＜循環障害1＞循環器の概要，高血圧，心不全	病理学	講師	伊藤 秀明	302講
2025/10/7(火)	3	―	講義	＜循環障害2＞充血とうっ血，水腫，浮腫，側副循環	病理学	講師	伊藤 秀明	302講
2025/10/7(火)	4	―	講義	＜循環障害3＞止血，血液凝固異常，塞栓，虚血，梗塞	病理学	講師	伊藤 秀明	302講
2025/10/7(火)	5	―	講義	＜循環障害4＞ショック	病理学	講師	伊藤 秀明	302講
2025/10/9(木)	3	―	AL	循環障害	病理学	講師	伊藤 秀明	302講
2025/10/9(木)	4	―	AL	CBL	病理学	講師	中村 律子	302講
2025/10/9(木)	5	―	AL	CBL	病理学	講師	中村 律子	302講
2025/10/14(火)	1	―	講義	小テスト2	病理学	教授	笠井 謙次	101講
2025/11/4(火)	3	―	講義	＜神経1＞神経病理学総論，頭蓋内感染症	加齢(神)	教授	岩﨑 靖	302講
2025/11/4(火)	4	―	講義	＜神経2＞神経性の中毒，栄養障害，脱髄性疾患	加齢(神)	教授	岩﨑 靖	302講
2025/11/4(火)	5	―	講義	＜神経3＞神経変性疾患，認知症の病理	加齢(神)	教授	岩﨑 靖	302講
2025/11/14(金)	1	―	―	予備				
2025/11/14(金)	2	―	―	予備				
2025/12/16(火)	**4**	**―**	**―**	**定期試験**	**病理学**	**教授**	**笠井 謙次**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
笠井　謙次	教授	病理学講座	月・水曜日	10:00～17:00	2号館研究棟2階265号室
猪子　誠人	講師	病理学講座	月～水曜日	10:00～17:00	2号館研究棟2階264号室
伊藤　秀明	講師	病理学講座	月・火・金曜日	10:00～17:00	2号館研究棟2階261号室
中村　律子	講師	病理学講座	月・火・木曜日	10:00～17:00	2号館研究棟2階261号室
大西　紘二	講師	病理学講座	月～水曜日	10:00～17:00	2号館研究棟2階264号室
陸　美穂	助教	病理学講座	火～木曜日	10:00～17:00	2号館研究棟2階260号室
岩﨑　靖	教授	加齢医科学研究所	火・水・木曜日	9:00～17:00	5号館2階加齢医科学研究所
岩下　寿秀	非常勤講師	浜松医科大学医学部教授	講義終了後，講義室にて		
谷田部　恭	非常勤講師	国立がんセンター中央病院病理診断科科長	講義終了後，講義室にて		

病　理　学　実　習

【単位数：0.5単位，授業13コマ】

1　科目責任者

笠井謙次　教授（病理学）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅲ-３-ｂ）

① コアコンピテンス“医学知識と科学的探究心”のため，病理組織像の理解を通じて疾患の概念及び病因・病態の基礎医学的要素と共に，鑑別と治療につながる病態を学ぶ。

② 病理学実習では，病理学講義で学修する疾病の成り立ちの基本メカニズム及び各臓器の主要疾患について，形態異常として理解することを目指す。

（２）　学修目標

① 細胞障害・変性・細胞死の形態学的変化を説明できる。
② 代謝異常による病理組織像を説明できる。
③ 循環障害・臓器不全の病理組織像を説明できる。
④ 炎症，感染症及び創傷の経時的変化・治癒過程，免疫異常による疾患の病理組織像を説明できる。
⑤ 腫瘍の病理組織像を説明できる。
⑥ 呼吸器腫瘍性疾患と閉塞性肺疾患・気道異常の病理組織像を説明できる。
⑦ 虚血性心疾患・炎症性心血管疾患・特発性心筋症・心臓腫瘍の病理組織像を説明できる。
⑧ 消化器の感染症・自己免疫疾患・循環障害・腫瘍性疾患の病理組織像を説明できる。
⑨ 神経病理の基礎を理解し，代表的中枢神経疾患の病理組織像を説明できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
実習	○	100％	実習レポートが不良の場合，再提出を求める。 全てのレポート完了を以って病理学実習の単位修得とし，さらに病理学修了の条件とする。また病理学実習で学修した内容は病理学定期試験の試験範囲に含まれる。範囲は病理学の項を参照のこと。 病理学実習の総合成績は実習レポートの完了を以って60点（合格）とし，そこに病理学定期試験で出題した実習関連問題の得点割合を加点して合計100点満点とする。
態度	○	―	態度不良の場合は「問題行動学生報告書」（イエロー・レッドカード）を提出し，10点を限度に減点する。

出席：　実習を修得するためには，欠席をしてはならない。

（２）　合格基準

実習レポート完了を以って合格（60 点）とする。レポート内容が不十分の場合，再提出を求める。
再提出の期限は別途指示する。さらに実習の内容は病理学の定期試験の出題範囲に含め，
その得点割合を加点して合計 100 点満点の総合成績とする。
また，著しく受講態度不良の場合，病理学実習の単位を認めない。

（３） 再試験・再評価の方法

レポート内容が不十分の場合，再提出を求める。再提出の期限は別途指示する。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

提出されたレポートについて適宜返却するので，病理学学修の資料とすること。
不十分なレポートにはその旨記載し，再提出を求める。再提出の期限は別途指示する。

４ 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
実習プリント			実習ごとに観察ポイントや課題を記載したプリントを配付する。

５ 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
標準病理学	坂本穆彦 監修	医学書院	病理学講義の教科書であるが，実習後の振り返りにも有用。 学修内容が網羅されている。
ロビンス　基礎病理学	豊國伸哉，髙橋雅英 監訳	丸善出版	記述にストーリー性があり秀逸。
日本病理学会「病理コア画像」 http://pathology.or.jp	日本病理学会教育委員会	日本病理学会	登録疾患が厳選されている。
組織病理アトラス	森谷卓也ら	文光堂	多くの疾患が網羅されている。

６ 準備学習（予習・復習）

○ 実習範囲の講義内容の振り返りをすること（１日あたり15分）。
○ 配布資料，講義内容，教科書，参考図書の該当範囲を復習すること（１日あたり1時間）。
○ 異常と正常とは表裏一体である。病態の理解のために，適宜解剖学，組織学などの振り返り学修を行うこと。

７ 授業計画

（１） 実習の方法

２号館（研究棟）106号室でバーチャルスライドを用いて実施する。
実習の際の持ち物等は9月５日（金）１限の病理学講義ガイダンス，10月14日（火）2限の実習ガイダンスで説明する。
またバーチャルスライドの詳細は10月17日(金)1限の実習A開始時に説明する。

（２） 実習の内容

実習に当たって観察ポイントや課題を記載したプリントを適宜配付する。
詳細は9月５日（金）１限の病理学講義ガイダンス，10月14日（火）2限の実習ガイダンスで説明する。

病理学実習

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/10/14(火)	2	ー	講義	実習ガイダンス	病理学	教授	笠井 謙次	302講
2025/10/17(金)	1	ー	実習	実習A	病理学 病理学 病理学 病理学 病理学 病理学	教授 講師 講師 講師 講師 助教	笠井 謙次 猪子 誠人 中村 律子 伊藤 秀明 大西 紘二 陸 美穂	研106
2025/10/17(金)	2	ー	実習	実習A	病理学 病理学 病理学 病理学 病理学 病理学	教授 講師 講師 講師 講師 助教	笠井 謙次 猪子 誠人 中村 律子 伊藤 秀明 大西 紘二 陸 美穂	研106
2025/10/20(月)	1	ー	実習	実習B	病理学 病理学 病理学 病理学 病理学 病理学	教授 講師 講師 講師 講師 助教	笠井 謙次 猪子 誠人 中村 律子 伊藤 秀明 大西 紘二 陸 美穂	研106
2025/10/20(月)	2	ー	実習	実習B	病理学 病理学 病理学 病理学 病理学 病理学	教授 講師 講師 講師 講師 助教	笠井 謙次 猪子 誠人 中村 律子 伊藤 秀明 大西 紘二 陸 美穂	研106
2025/10/27(月)	1	ー	実習	実習C	病理学 病理学 病理学 病理学 病理学 病理学	教授 講師 講師 講師 講師 助教	笠井 謙次 猪子 誠人 中村 律子 伊藤 秀明 大西 紘二 陸 美穂	研106
2025/10/27(月)	2	ー	実習	実習C	病理学 病理学 病理学 病理学 病理学 病理学	教授 講師 講師 講師 講師 助教	笠井 謙次 猪子 誠人 中村 律子 伊藤 秀明 大西 紘二 陸 美穂	研106
2025/10/27(月)	3	ー	実習	実習C	病理学 病理学 病理学 病理学 病理学 病理学	教授 講師 講師 講師 講師 助教	笠井 謙次 猪子 誠人 中村 律子 伊藤 秀明 大西 紘二 陸 美穂	研106
2025/11/5(水)	3	ー	実習	実習D	加齢(神) 加齢(神) 加齢(神) 加齢(神) 加齢(神)	教授 教授(特任) 講師 講師 講師	岩﨑 靖 宮原 弘明 曽根 淳 陸 雄一 赤木 明生	研106
2025/11/5(水)	4	ー	実習	実習D	加齢(神) 加齢(神) 加齢(神) 加齢(神) 加齢(神)	教授 教授(特任) 講師 講師 講師	岩﨑 靖 宮原 弘明 曽根 淳 陸 雄一 赤木 明生	研106
2025/11/5(水)	5	ー	実習	実習D	加齢(神) 加齢(神) 加齢(神) 加齢(神) 加齢(神)	教授 教授(特任) 講師 講師 講師	岩﨑 靖 宮原 弘明 曽根 淳 陸 雄一 赤木 明生	研106
2025/11/10(月)	1	ー	実習	実習E	病理学 病理学 病理学 病理学 病理学 病理学	教授 講師 講師 講師 講師 助教	笠井 謙次 猪子 誠人 中村 律子 伊藤 秀明 大西 紘二 陸 美穂	研106
2025/11/10(月)	2	ー	実習	実習E	病理学 病理学 病理学 病理学 病理学 病理学	教授 講師 講師 講師 講師 助教	笠井 謙次 猪子 誠人 中村 律子 伊藤 秀明 大西 紘二 陸 美穂	研106

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
笠井 謙次	教授	病理学講座	月・水曜日	10:00～17:00	2号館研究棟2階265号室
猪子 誠人	講師	病理学講座	月～水曜日	10:00～17:00	2号館研究棟2階264号室
伊藤 秀明	講師	病理学講座	月・火・金曜日	10:00～17:00	2号館研究棟2階261号室
中村 律子	講師	病理学講座	月・火・木曜日	10:00～17:00	2号館研究棟2階261号室
大西 紘二	講師	病理学講座	月～水曜日	10:00～17:00	2号館研究棟2階264号室
陸 美穂	助教	病理学講座	火～木曜日	10:00～17:00	2号館研究棟2階260号室
岩﨑 靖	教授	加齢医科学研究所	火・水・木曜日	9:00～17:00	5号館2階加齢医科学研究所
宮原 弘明	教授(特任)	加齢医科学研究所	木曜日	9:00～12:00	5号館2階加齢医科学研究所
曽根 淳	講師	加齢医科学研究所	月・金曜日	9:00～17:00	5号館2階加齢医科学研究所
赤木 明生	講師	加齢医科学研究所	月・水・木曜日	9:00～17:00	5号館2階加齢医科学研究所
陸 雄一	講師	加齢医科学研究所	水・木・金曜日	9:00～17:00	5号館2階加齢医科学研究所

統 合 講 義 （ 腫 瘍 学 ）

【単位数：1単位，授業 15 コマ（定期試験含まず）】

1　科目責任者

早稲田勝久　教授（医学教育センター）

科目担当者
笠井謙次　教授（病理学）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅰ-13-b，Ⅲ-3-b，Ⅲ-5-c，Ⅲ-7-c，Ⅲ-9-c，Ⅲ-7-c，Ⅴ-4-c）

① コアコンピテンスの“医学知識と科学的探究心”の理解のため，特に腫瘍の病因，病態につながる基礎医学的な要素，社会医学的背景を学び，さらに腫瘍の症候と適切な治療選択の概要，チーム医療を理解する。

② 腫瘍の基礎医学，社会医学から臨床医学までを俯瞰的に理解する。

（２）　学修目標

① 腫瘍の定義・用語，病態を説明できる。
② 癌の原因や遺伝子変化，発癌機構を説明できる。
③ 癌検診制度や地域医療構想を概説できる。
④ 腫瘍の内視鏡診断・内視鏡治療を概説できる。
⑤ 腫瘍の手術療法を概説できる。
⑥ 腫瘍の放射線診断・療法を概説できる。
⑦ 腫瘍の薬物療法（殺細胞性抗癌薬，分子標的薬，免疫チェックポイント阻害剤）を概説できる。
⑧ 腫瘍の診察におけるチーム医療を概説できる。
⑨ 腫瘍における緩和ケアを概説できる。
⑩ 腫瘍の診察における生命倫理を概説できる。
⑪ 腫瘍性疾患をもつ患者の置かれている状況を認識できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	100%	多肢選択問題を原則とする。一部記述式問題を含む場合がある。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は，10点を上限として減点をする。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。
Team-based learning（TBL）の進め方などは9月1日（月）2限の講義中に説明する。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

上記（2）で総合成績が60%未満の場合は，再試験を実施する。再試験は多肢選択問題を原則とするが，一部記述式問題を含む場合がある。再試験の60%以上を合格とする。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験の成績の総括を学内メールで通知する。

これにより，理解が不十分な項目について再確認を促すとともに，定期試験が不合格となった者は再試験に備えること。

４　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
レジュメ配付			

５　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
入門腫瘍内科学	日本臨床腫瘍学会編集	南江堂	臨床腫瘍学の入門書。医学部生に必要な臨床腫瘍学の知識が，わかりやすくまとめられている。

６　準備学習（予習・復習）

レジュメの復習を行うこと（１日あたり約１時間）。

７　授業計画

（１）　講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型講義であるが，一部講義中に講師との質疑応答を導入する。

症例（9月2日(火)2限症例提示）に基づくTBLを9月3日(水)5限に実施する。

（２）　講義の内容

腫瘍の基礎医学的知識の整理と，臨床現場での癌患者の診断治療の流れを想定して講義を進める。

統合講義（腫瘍学）

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/9/1(月)	1	ー	講義	「腫瘍学」へのいざない	腫瘍C	教授	久保 昭仁	302講
2025/9/1(月)	2	ー	講義	腫瘍の病理：病理組織所見と用語解説 TBLの進め方の解説	病理学	教授	笠井 謙次	302講
2025/9/1(月)	3	ー	講義	腫瘍の分子生物学的特性1：“Hallmarks of cancer”	生化学	教授(特任)	小西 裕之	302講
2025/9/1(月)	4	ー	講義	腫瘍の分子生物学的特性2：“Hallmarks of cancer”	生化学	教授(特任)	小西 裕之	302講
2025/9/1(月)	5	ー	講義	腫瘍の発生：放射線・職業・化学発癌，遺伝子異常	ー	非常勤講師	村上 秀樹	302講
2025/9/2(火)	1	ー	講義	腫瘍の治療戦略：治療戦略作成,Cancer Board	腫瘍C	教授	久保 昭仁	302講
2025/9/2(火)	2	ー	講義	腫瘍の内視鏡的診断と治療 症例提示：TBLのシナリオ提示	消内	教授（特任）	佐々木 誠人	302講
2025/9/2(火)	3	ー	講義	腫瘍の化学療法：化学療法概論，化学療法，分子標的療法，免疫療法	腫瘍C	教授	久保 昭仁	302講
2025/9/2(火)	4	ー	講義	腫瘍の外科治療：外科治療概論	消外	講師	松村 卓樹	302講
2025/9/2(火)	5	ー	講義	腫瘍の放射線治療：放射線治療概論	放射線	准教授(特任)	大島 幸彦	302講
2025/9/3(水)	1	ー	講義	腫瘍の予防：リスクファクター，がん検診，治療と仕事の両立支援	衛生学	教授	鈴木 孝太	302講
2025/9/3(水)	2	ー	講義	腫瘍の放射線診断：放射線診断概論	放射線	教授	鈴木 耕次郎	302講
2025/9/3(水)	3	ー	講義	腫瘍のチーム医療：患者・家族の立場とチーム医療	緩ケC	教授	森 直治	302講
2025/9/3(水)	4	ー	講義	腫瘍の緩和治療：緩和医療概論	緩ケC	教授	森 直治	302講
2025/9/3(水)	5	ー	AL/JS(水平)	TBL	消内 病理学	教授(特任) 教授	小笠原 尚高 笠井 謙次	302講
2025/9/4(木)	1	ー	ー	自習				
2025/9/4(木)	2	ー	ー	自習				
2025/9/4(木)	3	ー	ー	自習				
2025/9/4(木)	4	ー	ー	自習				
2025/9/4(木)	**5**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**病理学**	**教授**	**笠井 謙次**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
早稲田 勝久	教授	医学教育ｾﾝﾀｰ	木曜日 金曜日	14:00～17:00 15:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
笠井 謙次	教授	病理学講座	月・水曜日	10:00～17:00	2号館研究棟2階265号室
小西 裕之	教授(特任)	生化学講座	月・木曜日	15:00～17:00	2号館研究棟3階362号室
鈴木 孝太	教授	衛生学講座	水曜日 (不定期)	17:30～18:30	2号館研究棟M3階371号室 (部署宛に要事前連絡)
佐々木 誠人	教授(特任)	内科学講座(消化管内科)	月曜～金曜	16:00～18:00	D棟3階消化管内科・肝胆膵内科医局
小笠原 尚高	教授(特任)	内科学講座(消化管内科)	月・水・木・金曜	16:00～18:00	D棟2階消化管内科・肝胆膵内科医局
松村 卓樹	講師	外科学講座(消化器外科)	月～金曜日	16:00～18:00	C棟11階外科学講座医局
鈴木 耕次郎	教授	放射線医学講座	月・金曜日	15:00～17:00	大学病院中央棟1階読影室
大島 幸彦	准教授(特任)	放射線科	火・水曜日	15:00～17:00	大学病院中央棟地下1階放射線治療センター
久保 昭仁	教授	臨床腫瘍ｾﾝﾀｰ腫瘍内科部門	木曜日	16:00～17:00	C棟7階教授室
森 直治	教授	緩和ｹｱｾﾝﾀｰ	月曜日	8:45～10:30	C棟7階教授室
村上 秀樹	非常勤講師	名古屋第一赤十字病院病理部細胞診分子病理診断部部長	講義終了後，講義室にて		

統 合 講 義 （ 炎 症 学 ）

【単位数：1単位，授業15コマ（定期試験含まず）】

1　科目責任者

早稲田勝久　教授（医学教育センター）

科目担当者
髙村祥子　教授（感染・免疫学）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅲ-３-ｃ）

① コンピテンスの“医学知識と科学的探究心”の理解のため，疾病の病院・病態・治療につながる基礎医学的知識から臨床につながるところまでを集中的に学び，それにより“プロフェッショナリズム”育成につなげる。
② 前学期及び後学期の講義で習得した免疫学，生化学，微生物学・基礎感染症学や病理学，薬理学などを横断的につなげて考える力を養う。また，急性期及び慢性期の感染症病態を学ぶことで救急医学・臨床感染症学など，将来学ぶ臨床医学への登竜門として縦断的な考え方を習得する。さらに，最近の話題でもある脂質蓄積による慢性炎症発症機序やNASHなどの疾患についての知識を習得する。
③ 臨床学の講義を聞いて2学年次で理解できるレベルまで基礎知識を高めるとともに，実際の病気がどういうものなのかを体感し，それにより自発的に勉強する気持ちを高める。

（２）　学修目標

① 『炎症』の定義や，各疾患の発症メカニズム・病態を説明できる。
② 『創傷治癒』について説明できる。
③ 細菌の形態や微生物学的特徴について説明できる。
④ 抗菌薬の作用機序について説明できる。
⑤ 急性炎症病態の代表的疾患として，敗血症や丹毒について理解し説明できる。
⑥ 慢性炎症の代表的疾患として，結核やNASHなどについて理解し説明できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	100％	原則的に多肢選択問題とする。
態度	○	―	受講態度が著しく不良の場合は最大10点減点をする。なお受講態度にはレポートなどの提出状況も含む。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

上記（2）で総合成績が60％未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する（60％以上で合格）。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験の成績についての総括を学内メールで実施する。

これにより理解が不十分な項目について再確認を促すとともに，定期試験で不合格となった者は再試験に備える。

４ 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし 必要な授業資料をAIDLE-Kに掲示する。			

５ 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
免疫と「病」の科学	宮坂昌之， 定岡　恵	講談社	単行本で初心者にもわかりやすい。炎症学のトピックスが網羅されている。図も多用され短時間で理解しやすい。
分子細胞免疫学(原著第10版)	アバス， リックマン， ピレ	エルゼビア・ジャパン	敗血症や結核に関する記述がある。

６ 準備学習（予習・復習）

○ 本講義や免疫学，病理学，薬理学，微生物学，生化学などの教科書，参考図書の中で関連しそうな範囲に改めて目を通してどのような事項が取り上げられそうか予想し，興味を惹いた項目について記載内容を読んでおく(1日あたり0.5時間)。

○ AIDLE-Kに挙げられている演習問題をあらかじめ解いておき，分からない点を把握したうえで授業に臨む(1日あたり0.5時間)。

○ 講義で配付された資料について講義後に内容を再確認し，以降の講義に臨むこと(1日あたり1～1.5時間)。

７ 授業計画

（１） 講義の方法

大教室での知識伝達型の講義が主体であるが，講義中，講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを可能な限り導入する。また，アドバンス授業として最先端の研究内容の話や『炎症』にまつわるよもやま話を中心とした講義も行う。これまでの座学の集大成やさらなる発展的な内容もあるため，自学自習の習慣をつけるため授業まとめレポートを提出させるなど，能動的な学習体系を構築できるように導く。

（２） 講義の内容

臨床科の講義を基軸とし，その内容を理解するのに必要な内容の基礎研究者の講義を取り入れる。また，AIDLE-Kなどに提示した演習問題なども自主学習資料として取り入れ，個人やグループで解かせて質疑応答の機会を設けることにより問題解決能力を身に着けさせる。さらに授業まとめレポートを提出させ，理解を深めさせる。

統合講義（炎症学）

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/11/11(火)	1	ー	講義	急性炎症(丹毒)・慢性炎症(結核)前半	感・免学	教授	三鴨 廣繁	302講
2025/11/11(火)	2	ー	講義	肝炎とは？～ウイルス性，自己免疫性，MASH～	肝胆膵	教授	伊藤 清顕	302講
2025/11/11(火)	3	ー	講義	アドバンス授業(前半)	肝胆膵	教授	伊藤 清顕	302講
				アドバンス授業(後半)	感・免学	助教	伴野 勧	
2025/11/11(火)	4	ー	講義	『炎症学』総論，目標・学習方法について	感・免学	教授	髙村 祥子	302講
2025/11/11(火)	5	ー	講義	アドバンス授業及びレポート作成	感・免学	教授	髙村 祥子	302講
2025/11/12(水)	1	ー	講義	慢性炎症(結核)後半及びアドバンス	感染症	教授	三鴨 廣繁	302講
2025/11/12(水)	2	ー	講義	アドバンス授業(前半)	病理学	講師	大西 紘二	302講
				アドバンス授業(後半)	ー	非常勤講師	内記 良一	
2025/11/12(水)	3	ー	講義	連鎖球菌・結核菌の微生物学的特徴	ー	非常勤講師	内記 良一	302講
2025/11/12(水)	4	ー	講義	急性炎症概論・慢性炎症概論	病理学	講師	大西 紘二	302講
2025/11/12(水)	5	ー	講義	敗血症をはじめとした救急疾患の炎症，及びアドバンス	救集治医	教授	渡邉 栄三	302講
2025/11/13(木)	1	ー	講義	急性炎症と白血球・サイトカイン	生化学	教授(特任)	都築 忍	302講
2025/11/13(木)	2	ー	講義	アドバンス授業(前半)	生化学	教授(特任)	都築 忍	302講
				アドバンス授業(後半)	薬理学	准教授	山口 奈緒子	
2025/11/13(木)	3	ー	講義	連鎖球菌・結核菌に関連する抗菌薬の作用機序	薬理学	准教授	山口 奈緒子	302講
2025/11/13(木)	4	ー	講義	脂質蓄積による慢性炎症誘導	感・免学	助教	伴野 勧	302講
2025/11/13(木)	5	ー	講義	授業まとめ(演習問題解説)，レポートへのコメントなど	感・免学	教授	髙村 祥子	302講
2025/12/8(月)	**4**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**感・免学**	**教授**	**髙村 祥子**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
早稲田　勝久	教授	医学教育センター	木曜日 金曜日	14:00～17:00 15:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
髙村　祥子	教授	感染・免疫学講座	月～金	10:00～17:00	2号館研究棟3階366号室
伴野　勧	助教	感染・免疫学講座	月～金	10:00～17:00	2号館研究棟3階368号室
都築　忍	教授(特任)	生化学講座	月・木曜日	15:00～17:00	2号館研究棟3階362号室
山口　奈緒子	准教授	薬理学講座	月曜日	13:00～18:00	1号館大学本館7階医学教育センター
大西　紘二	講師	病理学講座	月～水曜日	10:00～17:00	2号館研究棟2階264号室
伊藤　清顕	教授	内科学講座(肝胆膵内科)	月～金曜日	16:00～18:00	D棟3階教授室
渡邉　栄三	教授	救急集中治療医学講座	月・水・金	15:00～17:00	救急・災害管理棟3階 救急集中治療医学講座 教授室
三鴨　廣繁	教授	臨床感染症学講座	水曜日	8:00～8:20	C棟8階教授室
内記　良一	非常勤講師	医学部医学科	講義終了後，講義室にて		

微　　生　　物　　学

【細菌分野　単位数：2単位，授業：18 コマ　実習 13 コマ（定期試験含まず）】
【ウイルス・真菌分野　単位数：1.5 単位，授業：23 コマ（定期試験含まず）】

1　科目責任者

髙村祥子　教授（感染・免疫学）

科目担当者
細菌分野　　：永沢　亮　助教（感染・免疫学）
ウイルス・真菌分野　：森田奈央子　助教（感染・免疫学）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅲ-３-ｃ）

細菌分野，ウイルス・真菌分野　共通：

① コンピテンスの“医学の知識と科学的探究心”の理解のため，微生物による疾病の病因・病態・治療につながる基礎医学的な要素を説明できるようになる。
② 細菌，ウイルス，真菌等の病原微生物の基本的性状，病原性とそれによって生じる病態を理解する。
③ 主要な感染症の病原微生物，疫学，病態生理，症候を理解する。

（２）　学修目標

細菌分野：

① 細菌の構造を理解し，形態と染色性により分類できる。
② 細菌の感染経路を分類し，説明できる。
③ 細菌が疾病を引き起こす機序を説明できる。
④ 代表的なグラム陽性菌とグラム陰性菌，抗酸菌，スピロヘータ，マイコプラズマ，リケッチア，クラミジアの細菌学的特徴と，それが引き起こす疾患を列挙できる。
⑤ 薬剤耐性菌の種類とその耐性化機構を説明できる。

ウイルス・真菌分野：

① ウイルスの構造と性状によりウイルスを分類できる。
② ウイルスの増殖様式，種特異性，組織特異性を説明できる。
③ ウイルス感染細胞に起こる変化について説明できる。
④ 主なDNAウイルス・RNAウイルスの特徴，リスク因子，感染経路と病態を説明し，これらのウイルスが引き起こす疾患を列挙できる。
⑤ 真菌の微生物学的特徴と，それが引き起こす疾患を列挙できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

細菌分野：

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	75％	多肢選択問題が主であるが，記述式を併用することもある。
小テスト	○	20％	多肢選択問題を1回行う。
実習レポート	○	５％	実習終了時に実習レポートを提出する。
態度	○	―	受講態度不良（講義中の退席，聴講に必要以外のスマートフォンの使用，私語など）は，10％を上限に得点を減ずる。

出席：　定期試験を受験するためには講義（授業形態が講義，AL，JS(水平)と記されたもの）の欠席率が3分の1を超えてはならない。

実習を修得するためには，欠席をしてはならない。

ウイルス・真菌分野：

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	90％	多肢選択問題が主であるが，記述式を併用することもある。
講義レポート	○	10％	講義（AL，JS含む）の復習として，問題を不定期で出題する。解答はその場で提出すること。
態度	○	―	受講態度不良（講義中の退席，聴講に必要以外のスマートフォンの使用，私語，レポート不提出など）は，10％を上限に得点を減ずる。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

細菌分野：

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。ただし，実習レポートが不可の場合は再提出を求める。

ウイルス・真菌分野：

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

細菌分野，ウイルス・真菌分野　共通：

評価対象の合計が60％未満の場合は，再試験を実施する。再試験は多肢選択問題又は記述式にて実施する（60％以上で合格）。ただし，問題の難易度は上昇する。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

細菌分野，ウイルス・真菌分野　共通：

定期試験の成績についての総括及び理解不十分と思われた問題についての解説をAIDLE-Kに掲載する。

これにて理解が不十分な項目について再確認を促すとともに，定期試験で不合格となった者は再試験に備える。

希望者には個別に詳細を開示するとともに，質疑応答を行う。

4　教科書

細菌分野，ウイルス・真菌分野　共通：

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
レジュメ配布			

5　参考図書

細菌分野，ウイルス・真菌分野　共通：

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
標準微生物学	中込　治	医学書院	細菌学・真菌学・ウイルス学について基本的な内容がまとめられているため。
病気が見える⑥		メディックメディア	免疫・感染症全般について解りやすく簡潔に記載されているため。

6　準備学習（予習・復習）

細菌分野，ウイルス・真菌分野　共通：

予習：　可能であれば，授業計画表を参考にして，参考図書で概要をつかんでおくと良い。また，特に予習が必要な場合は前以て指示をするのでそれに従う（1コマあたり約10分）。

復習：　講義プリントを再度読み返し，レポートを作成，提出する。分からないところがあれば参考図書等で調べる，あるいは担当教員に質問をする（1コマあたり約0.5時間）。

7　授業計画

（1）　講義の方法

細菌分野：

講義：基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが，小テストや講師との質疑応答などで，理解度・習熟度を確認しながら進めていく。

実習：実習室にて，個人あるいはグループで実験を行ってもらい，実験結果や原理等のレポートを課す。適宜，解説及び講師との質疑応答を行い，理解を深める。

ウイルス・真菌分野：

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが，講師との質疑応答などで，理解度・習熟度を確認しながら進めていく。

（2）　講義の内容

細菌分野，ウイルス・真菌分野　共通：

まず総論として微生物学の基本的なキーワードを解説し，それ以降に各微生物における病原性や治療方法等細部について具体的に解説していく。

微生物学（細菌分野）

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/9/11(木)	3	―	講義	細菌 総論1	感・免学	助教	永沢　亮	302講
2025/9/17(水)	5	―	講義	細菌 総論2	感・免学	助教	永沢　亮	302講
2025/9/18(木)	4	―	講義	グラム陽性球菌1	感・免学	助教	永沢　亮	302講
2025/9/18(木)	5	―	講義	グラム陽性球菌2/グラム陰性球菌	感・免学	助教	永沢　亮	302講
2025/9/24(水)	5	―	講義	グラム陰性桿菌1	感・免学	助教	永沢　亮	302講
2025/9/25(木)	4	―	講義	グラム陰性桿菌2	感・免学	助教	永沢　亮	302講
2025/9/25(木)	5	―	講義	グラム陰性桿菌3	感・免学	助教	永沢　亮	302講
2025/10/1(水)	5	―	講義	薬剤耐性菌	感・免学	助教	永沢　亮	302講
2025/10/2(木)	4	―	講義	非定型細菌/抗酸菌 (結核菌を除く)	感・免学	助教	永沢　亮	302講
2025/10/2(木)	5	―	JS(水平)	結核菌/ピロリ菌	感・免学 病理学	助教 講師	永沢　亮 大西　紘二	302講
2025/10/6(月)	1	―	講義	**小テスト**	感・免学 感・免学 感・免学	助教 助教 講師	永沢　亮 森田　奈央子 奥村　彰規	101講
2025/10/8(水)	3	―	実習	グラム染色操作 細菌の培養	感・免学 感・免学 感・免学 ―	助教 助教 講師 客員教授	永沢　亮 森田　奈央子 奥村　彰規 小松　孝行	研107
2025/10/8(水)	4	―	実習	グラム染色操作 細菌の培養	感・免学 感・免学 感・免学 ―	助教 助教 講師 客員教授	永沢　亮 森田　奈央子 奥村　彰規 小松　孝行	研107
2025/10/8(水)	5	―	実習	グラム染色操作 細菌の培養	感・免学 感・免学 感・免学 ―	助教 助教 講師 客員教授	永沢　亮 森田　奈央子 奥村　彰規 小松　孝行	研107
2025/10/10(金)	3	―	実習	グラム染色操作 細菌の培養	感・免学 感・免学 感・免学 ―	助教 助教 講師 客員教授	永沢　亮 森田　奈央子 奥村　彰規 小松　孝行	研107
2025/10/10(金)	4	―	実習	グラム染色操作 細菌の培養	感・免学 感・免学 感・免学 ―	助教 助教 講師 客員教授	永沢　亮 森田　奈央子 奥村　彰規 小松　孝行	研107
2025/10/10(金)	5	―	実習	グラム染色操作 細菌の培養	感・免学 感・免学 感・免学 ―	助教 助教 講師 客員教授	永沢　亮 森田　奈央子 奥村　彰規 小松　孝行	研107
2025/10/14(火)	5	―	実習	細菌の培養 薬剤感受性試験	感・免学 感・免学 感・免学 ―	助教 助教 講師 客員教授	永沢　亮 森田　奈央子 奥村　彰規 小松　孝行	研107
2025/10/15(水)	3	―	実習	薬剤感受性試験	感・免学 感・免学 感・免学 ―	助教 助教 講師 客員教授	永沢　亮 森田　奈央子 奥村　彰規 小松　孝行	研107

微生物学（細菌分野）

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/10/15(水)	4	ー	実習	薬剤感受性試験	感・免学 感・免学 感・免学 ー	助教 助教 講師 客員教授	永沢　亮 森田　奈央子 奥村　彰規 小松　孝行	研107
2025/10/15(水)	5	ー	実習	薬剤感受性試験	感・免学 感・免学 感・免学 ー	助教 助教 講師 客員教授	永沢　亮 森田　奈央子 奥村　彰規 小松　孝行	研107
2025/10/17(金)	3	ー	実習	薬剤感受性試験	感・免学 感・免学 感・免学 ー	助教 助教 講師 客員教授	永沢　亮 森田　奈央子 奥村　彰規 小松　孝行	研107
2025/10/17(金)	4	ー	実習	薬剤感受性試験	感・免学 感・免学 感・免学 ー	助教 助教 講師 客員教授	永沢　亮 森田　奈央子 奥村　彰規 小松　孝行	研107
2025/10/17(金)	5	ー	実習	薬剤感受性試験	感・免学 感・免学 感・免学 ー	助教 助教 講師 客員教授	永沢　亮 森田　奈央子 奥村　彰規 小松　孝行	研107
2025/10/23(木)	2	ー	講義	グラム陽性桿菌1	感・免学	教授	髙村　祥子	302講
2025/10/28(火)	3	ー	講義	グラム陽性桿菌2/スピロヘータ	感・免学	教授	髙村　祥子	302講
2025/10/28(火)	4	ー	AL	細菌性食中毒1	感・免学	助教	永沢　亮	302講
2025/10/28(火)	5	ー	AL	細菌性食中毒2	感・免学	助教	永沢　亮	302講
2025/10/30(木)	3	ー	AL	細菌性肺炎1	感・免学	助教	永沢　亮	302講
2025/10/30(木)	4	ー	AL	細菌性肺炎2	感・免学	助教	永沢　亮	302講
2025/10/30(木)	5	ー	講義	まとめ	感・免学	助教	永沢　亮	302講
2025/12/15(月)	**4**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**感・免学**	**教授**	**髙村　祥子**	**101講**

微生物学（ウイルス・真菌分野）

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/9/5(金)	2	ー	講義	ウイルス総論	感・免学	助教	森田　奈央子	302講
2025/9/5(金)	3	ー	講義	ウイルス総論	感・免学	助教	森田　奈央子	302講
2025/9/5(金)	4	ー	講義	ウイルス総論	感・免学	助教	森田　奈央子	302講
2025/9/5(金)	5	ー	講義	エンベロープ陽性RNAウイルス1（インフルエンザウイルス）	感・免学	助教	森田　奈央子	302講
2025/9/11(木)	4	ー	講義	エンベロープ陽性RNAウイルス2（コロナウイルスなど）	感・免学	助教	森田　奈央子	302講
2025/9/11(木)	5	ー	講義	エンベロープ陽性RNAウイルス3（麻疹ウイルスなど）	感・免学	助教	森田　奈央子	302講
2025/9/18(木)	3	ー	講義	【真菌】 総論	感・免学	講師	奥村　彰規	302講
2025/9/19(金)	3	ー	講義	エンベロープ陽性DNAウイルス1（ヘルペスウイルス科）	感・免学	助教	森田　奈央子	302講
2025/9/19(金)	4	ー	講義	エンベロープ陽性DNAウイルス2（ヘルペスウイルス科など）	感・免学	助教	森田　奈央子	302講
2025/9/19(金)	5	ー	JS(水平)	エンベロープ陰性DNAウイルス1（パピローマウイルス）	感・免学 病理学	助教 講師	森田　奈央子 伊藤　秀明	302講
2025/9/25(木)	3	ー	講義	【真菌】 各論1	感・免学	講師	奥村　彰規	302講
2025/9/30(火)	3	ー	講義	レトロウイルス科	感・免学	助教	森田　奈央子	302講
2025/9/30(火)	4	ー	講義	肝炎ウイルス1	感・免学	助教	森田　奈央子	302講
2025/9/30(火)	5	ー	講義	肝炎ウイルス2	感・免学	助教	森田　奈央子	302講
2025/10/2(木)	3	ー	JS(水平)	【真菌】 各論2	感・免学 病理学	講師 講師	奥村　彰規 中村　律子	302講
2025/10/3(金)	4	ー	講義	エンベロープ陰性RNAウイルス（ノロウイルスなど）	感・免学	助教	森田　奈央子	302講
2025/10/3(金)	5	ー	講義	エンベロープ陰性DNAウイルス2（アデノウイルスなど）	感・免学	助教	森田　奈央子	302講
2025/10/14(火)	3	ー	AL	ウイルス各論まとめ1	感・免学	助教	森田　奈央子	302講
2025/10/14(火)	4	ー	AL	ウイルス各論まとめ2	感・免学	助教	森田　奈央子	302講
2025/10/23(木)	1	ー	講義	【真菌】 各論3	感・免学	講師	奥村　彰規	302講
2025/11/7(金)	3	ー	AL	肝炎マーカー	感・免学	助教	森田　奈央子	302講
2025/11/7(金)	4	ー	AL	肝炎マーカー	感・免学	助教	森田　奈央子	302講
2025/11/7(金)	5	ー	AL	肝炎マーカー	感・免学	助教	森田　奈央子	302講
2025/12/12(金)	**4**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**感・免学**	**教授**	**髙村　祥子**	**101講**

8 オフィスアワー　　微生物学(細菌分野, ウイルス・真菌分野)

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
髙村 祥子	教授	感染・免疫学講座	月～金	10:00～17:00	2号館研究棟3階366号室
奥村 彰規	講師	感染・免疫学講座	月～金	14:00～19:00	2号館研究棟2階270号室
永沢 亮	助教	感染・免疫学講座	月～金	16:00～18:00	2号館研究棟2階271号室
森田 奈央子	助教	感染・免疫学講座	月～金	14:00～19:00	2号館研究棟2階270号室
伊藤 秀明	講師	病理学講座	月・火・金曜日	10:00～17:00	2号館研究棟2階261号室
中村 律子	講師	病理学講座	月・火・木曜日	10:00～17:00	2号館研究棟2階261号室
大西 紘二	講師	病理学講座	月～水曜日	10:00～17:00	2号館研究棟2階264号室
小松 孝行	非常勤講師	愛知医科大学客員教授	講義終了後, 講義室にて		

免　　疫　　学

【単位数:1.5単位，授業22コマ(定期試験含まず)】

1　科目責任者

髙村祥子　教授(感染・免疫学)

2　教育目標

(1)　ねらい(Ⅲ-3-c)

① コンピテンスの“医学知識と科学的探究心”の理解のため，疾病の病因・病態・治療につながる基礎医学的な知識や方法論を学び，それにより“プロフェッショナリズム”育成につなげる。

② 免疫系の機構を分子レベルで理解し，病原体に対する免疫反応，アレルギー反応，主な自己免疫疾患，先天性免疫不全症候群と癌細胞に対する免疫系の反応を理解する。

(2)　学修目標

① 自己・非自己の認識機構とともに自然免疫と獲得免疫の概念を比較して叙述できる。

② 免疫担当細胞を列挙し，それぞれの発生分化過程，機能，相互関係を様々な角度から説明できる。

③ リンパ球の抗原受容体の形成過程を分子レベルで説明できる。

④ 主要組織適合抗原の多面的な機能を把握し，それぞれの生理的意義を具体的に説明できる。

⑤ 生体防御反応の調節機構を分類，記述し，その破綻の結果(アレルギー，自己免疫疾患)を推論できる。

⑥ 先天的免疫不全症候群の分子的背景を具体的に述べ，病態の発症理由を論理的に説明できる。

3　成績の判定・評価

(1)　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	100%	すべての授業及び実習内容，レポート，小テスト(授業中に行う)などから出題される。 記述式が原則だが，穴埋め問題，多肢選択問題，○×問題等多様な形式で問う。
態度	○	—	提出物を提出しないなど，著しく態度不良の場合は総合成績から最大10点減点をする。

出席: 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2)　合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3)　再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する(60%以上で合格)。ただし，問題の難易度は上昇する。

(4)　課題(試験やレポート)へのフィードバック

定期試験の成績についての総括を学内メールで実施する。

これにて理解が不十分な項目について再確認を促すとともに，定期試験で不合格となった者は再試験に備える。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
エッセンシャル免疫学（第4版）	Peter Parham，平野俊夫 村上正晃	メディカル・サイエンス・インターナショナル	文章が平易で図も豊富なため理解しやすい。記述も詳細で不明点検索にも使える。
レジュメはAIDLE-Kに掲示する。			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
もっとよくわかる！免疫学	河本　宏	羊土社	短時間で読みやすく免疫学全体を把握しやすい。
基礎免疫学（原著第6版）	アバス，リックマン，ピレ	エルゼビア・ジャパン	図がわかりやすく基本的内容が網羅されている。
Janeway’s免疫生物学（原著第9版）	笹月健彦，吉開泰信監訳	南江堂	記述が詳細で不明点検索の辞書代わりとして使用するのに向いている。
分子細胞免疫学（原著第7版）	アバス，リックマン，ピレ	エルゼビア・ジャパン	基礎免疫学の原本で，図がわかりやすく内容も詳細である。
ヒトの免疫学	Matthew Helbert	エルゼビア・ジャパン	病気主体に記載されており，価格・本共に手ごろであり読みやすい。

6　準備学習（予習・復習）

講義開講前に行うこと

- 高校の生物基礎の教科書のうち，免疫学に関するところを読み直しておく（1日あたり0.5時間）。
- 参考図書のどれかを選び全体に目を通しておき，免疫学全体の流れをつかむ（1日あたり0.5時間）。

毎回講義前に行うこと

- 各講義に該当する教科書の範囲に目をとおし，図や表を眺めておく（1日あたり0.5時間）。

講義後に行うこと

- 配付された資料について内容を確認し，分からないところは教科書で調べたり，次回講師に質問する準備をしておく（1日あたり1時間）。
- AIDLE-Kに添付された問題や，演習問題（エッセンシャル免疫学）などの関連問題を解いてみる（1日あたり0.5時間）。

7　授業計画

（1）　講義の方法

大教室での知識伝達型講義が主体であるが，講義中に小テストを行ったり，講師との質疑応答などを行う。また授業のまとめをレポート提出させるなど，自学自習の習慣をつけてもらう工夫も行う。

（2）　講義の内容

1コマ目に免疫学総論として全講義の概説と全体の中での位置関係を示し，免疫学講義全体の流れを把握させる。2コマ目以降はそれぞれのタイトルに関して，具体的内容を提示し概念の理解を深めていく。また研究主体の教員や臨床系教員による水平・垂直統合的内容も一部取り入れる。

免疫学

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/17(木)	1	ー	講義	免疫とは何か？自然免疫と獲得免疫(教科書第1章～3章, 12章)	感・免学	教授	髙村　祥子	302講
2025/4/17(木)	2	ー	講義	補体・補体受容体の機能(教科書第2章)	感・免学	教授	髙村　祥子	302講
2025/4/24(木)	1	ー	講義	MHCの機能と抗原提示(教科書第5章)	感・免学	講師	乾　匡範	302講
2025/4/24(木)	2	ー	講義	抗体の構造(教科書第4章)	感・免学	講師	山崎　達也	302講
2025/5/1(木)	1	ー	講義	B細胞の多様性獲得機構(教科書第4章続き)	感・免学	講師	山崎　達也	302講
2025/5/1(木)	2	ー	講義	B細胞の分化(教科書第6章)	感・免学	講師	乾　匡範	302講
2025/5/8(木)	1	ー	講義	T細胞の分化(教科書第7章)	感・免学	講師	乾　匡範	302講
2025/5/8(木)	2	ー	講義	T細胞エフェクター機構(教科書第8章)	感・免学	講師	乾　匡範	302講
2025/5/15(木)	1	ー	講義	T細胞エフェクター機構続き(教科書第8章続き)	感・免学	講師	乾　匡範	302講
2025/5/15(木)	2	ー	講義	抗体の機能・液性免疫エフェクター機構(教科書第9章)	感・免学	教授	髙村　祥子	302講
2025/5/22(木)	1	ー	講義	アレルギーとは？(教科書第14章)	感・免学	講師	乾　匡範	302講
2025/5/22(木)	2	ー	講義	免疫過剰状態について(教科書第14章続き)	感・免学	講師	乾　匡範	302講
2025/5/29(木)	1	ー	講義	免疫寛容の破綻と自己免疫疾患(教科書第16章)	感・免学	教授	髙村　祥子	302講
2025/5/29(木)	2	ー	講義	先天性免疫不全症(教科書第13章)	感・免学	教授	髙村　祥子	302講
2025/6/5(木)	1	ー	JS(垂直)	婦人科や腸管における粘膜免疫機構	感染症	教授	三鴨　廣繁	302講
2025/6/5(木)	2	ー	JS(水平)	制御性T細胞を標的としたがん治療	研創支C	教授(特任)	鈴木　進	302講
2025/6/11(水)	1	ー	講義	粘膜免疫(教科書第10章)	感・免学	講師	乾　匡範	302講
2025/6/11(水)	2	ー	JS(垂直)	皮膚における免疫機構	皮膚	教授	渡邉　大輔	302講
2025/6/12(木)	1	ー	講義	免疫記憶とワクチン(教科書第11章)	感・免学	講師	山崎　達也	302講
2025/6/12(木)	2	ー	講義	移植拒絶反応(教科書第15章)・免疫学実習概説	感・免学	教授	髙村　祥子	302講
2025/6/27(金)	1	ー	講義	がん免疫と抗体医薬(教科書第17章)	感・免学	助教	伴野　勧	302講
2025/6/27(金)	2	ー	講義	がん免疫と抗体医薬(教科書第17章続き)	感・免学	助教	伴野　勧	302講
2025/7/25(金)	**6**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**感・免学**	**教授**	**髙村　祥子**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
髙村　祥子	教授	感染・免疫学講座	月～金	10:00～17:00	2号館研究棟3階366号室
乾　匡範	講師	感染・免疫学講座	月～金	10:00～17:00	2号館研究棟3階368号室
山崎　達也	講師	感染・免疫学講座	月～金	10:00～17:00	2号館研究棟3階368号室
伴野　勧	助教	感染・免疫学講座	月～金	10:00～17:00	2号館研究棟3階368号室
渡邉　大輔	教授	皮膚科学講座	水曜日	16:30～17:30	C棟10階　皮膚科医局
三鴨　廣繁	教授	臨床感染症学講座	水曜日	8:00～8:20	C棟8階教授室
鈴木　進	教授(特任)	研究創出支援センター	月・水曜日	16:00～17:00	研究棟 研究創出支援センター2階

免　疫　学　実　習

【単位数:0.5単位，授業13コマ】

1　科目責任者

髙村祥子　教授(感染・免疫学)

2　教育目標

(１)　ねらい(Ⅲ-３-ｃ)

① コンピテンスの“医学知識と科学的探究心”の理解のため，疾病の病因・病態・治療につながる基礎医学的な知識や方法論を学び，それにより“プロフェッショナリズム”育成につなげる。

② 免疫系の機構を分子レベルで理解し，その機構を応用した実験方法を実践し解析・考察することで実際の臨床検査にどのように応用されているのかを学び，それにより『適切な検査を選択し結果を正しく解釈できる』技能育成につなげる。

(２)　学修目標

① 免疫機構を応用した検査の種類や意義を説明できる。
② 実験の手順や各段階の作業の意義を理解し，正しく実践できる。
③ 実験結果を正しくまとめて説明し，考察できる。
④ 実験機器の使い方や仕組みを理解し説明できる。

3　成績の判定・評価

(１)　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	70%	実習終了後に実習レポートを提出する(AIDLE-Kにも課題レポートを課すこともある)。記載不良の場合再提出を求める。
小テスト	○	30%	実習最終日に小テストを行う。
態度	○	－	受講態度が著しく不良の場合は最大40点減点をする。

出席:　実習を修得するためには，欠席をしてはならない。

(２)　合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(３)　再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は，課題・レポートを課す。

(４)　課題(試験やレポート)へのフィードバック

実習レポートは，添削・採点し返却する。必要に応じて，講義や実習前に解説を行なう。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
独自に作成した実習テキストを配付します。			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
Janeway’s免疫生物学 （原著第9版）	笹月健彦 吉開泰信 監訳	南江堂	付録Ⅰのところに実験に関する記述があり参照できる。

6　準備学習（予習・復習）

実習前に行うこと

○　実習書及び実習ノート（課題含む）をAIDLE-Kに挙げておくので，あらかじめ予習すること（1日あたり約1時間）。

○　実習には参考書などを持参すること。

実習後に行うこと

○　実習ノートで課題の訂正があったところなどをよく復習しておくこと（1日あたり約0.5時間）。

7　授業計画

（１）　講義の方法

最初に実習内容について解説を行うので，学生はこれに沿って実験を行う。各自実験結果を実習ノートにまとめるとともにノートに含まれている課題もまとめ，提出する。また AIDLE-K 上にも課題を課することがある。

（２）　講義の内容

実際に各自で実験を行うことで基本的な実験手技を習得する。臨床にも応用されている実験方法を行うことで，免疫学的機序がどのように利用されているのか実験方法の意味を理解するとともに検査項目の臨床的意義や意味を理解する。

免疫学実習

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/6/16(月)	2	ー	実習	ピペットマン操作の基本	感・免学	教授	髙村 祥子	研107
					感・免学	准教授(特任)	髙木 秀和	
					感・免学	講師	乾 匡範	
					感・免学	講師	山崎 達也	
					感・免学	助教	伴野 勧	
2025/6/16(月)	3	ー	実習	羊赤血球抗体による凝集反応と溶血反応	感・免学	教授	髙村 祥子	研107
					感・免学	准教授(特任)	髙木 秀和	
					感・免学	講師	乾 匡範	
					感・免学	講師	山崎 達也	
					感・免学	助教	伴野 勧	
2025/6/16(月)	4	ー	実習	羊赤血球抗体による凝集反応と溶血反応	感・免学	教授	髙村 祥子	研107
					感・免学	准教授(特任)	髙木 秀和	
					感・免学	講師	乾 匡範	
					感・免学	講師	山崎 達也	
					感・免学	助教	伴野 勧	
2025/6/16(月)	5	ー	実習	羊赤血球抗体による凝集反応と溶血反応	感・免学	教授	髙村 祥子	研107
					感・免学	准教授(特任)	髙木 秀和	
					感・免学	講師	乾 匡範	
					感・免学	講師	山崎 達也	
					感・免学	助教	伴野 勧	
2025/6/17(火)	3	ー	実習	ロゼット形成・ELISA法	感・免学	教授	髙村 祥子	研106
					感・免学	准教授(特任)	髙木 秀和	
					感・免学	講師	乾 匡範	
					感・免学	講師	山崎 達也	
					感・免学	助教	伴野 勧	
2025/6/17(火)	4	ー	実習	ロゼット形成・ELISA法	感・免学	教授	髙村 祥子	研106
					感・免学	准教授(特任)	髙木 秀和	
					感・免学	講師	乾 匡範	
					感・免学	講師	山崎 達也	
					感・免学	助教	伴野 勧	
2025/6/17(火)	5	ー	実習	ロゼット形成・ELISA法	感・免学	教授	髙村 祥子	研106
					感・免学	准教授(特任)	髙木 秀和	
					感・免学	講師	乾 匡範	
					感・免学	講師	山崎 達也	
					感・免学	助教	伴野 勧	
2025/6/18(水)	3	ー	実習	ロゼット形成・ELISA法	感・免学	教授	髙村 祥子	研106
					感・免学	准教授(特任)	髙木 秀和	
					感・免学	講師	乾 匡範	
					感・免学	講師	山崎 達也	
					感・免学	助教	伴野 勧	
2025/6/18(水)	4	ー	実習	ロゼット形成・ELISA法	感・免学	教授	髙村 祥子	研106
					感・免学	准教授(特任)	髙木 秀和	
					感・免学	講師	乾 匡範	
					感・免学	講師	山崎 達也	
					感・免学	助教	伴野 勧	

免疫学実習

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/6/18(水)	5	ー	実習	ロゼット形成・ELISA法	感・免学	教授	髙村 祥子	研106
					感・免学	准教授(特任)	髙木 秀和	
					感・免学	講師	乾 匡範	
					感・免学	講師	山崎 達也	
					感・免学	助教	伴野 勧	
2025/6/19(木)	3	ー	実習	データ解析	感・免学	教授	髙村 祥子	研106
					感・免学	准教授(特任)	髙木 秀和	
					感・免学	講師	乾 匡範	
					感・免学	講師	山崎 達也	
					感・免学	助教	伴野 勧	
2025/6/19(木)	4	ー	実習	データ解析	感・免学	教授	髙村 祥子	研106
					感・免学	准教授(特任)	髙木 秀和	
					感・免学	講師	乾 匡範	
					感・免学	講師	山崎 達也	
					感・免学	助教	伴野 勧	
2025/6/19(木)	5	ー	実習	**データ解析およびまとめ，小テスト**	感・免学	教授	髙村 祥子	研106
					感・免学	准教授(特任)	髙木 秀和	
					感・免学	講師	乾 匡範	
					感・免学	講師	山崎 達也	
					感・免学	助教	伴野 勧	

8 オフィスアワー　　免疫学実習

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
髙村　祥子	教授	感染・免疫学講座	月～金	10:00～17:00	2号館研究棟3階366号室
髙木　秀和	准教授(特任)	感染・免疫学講座	月～金	10:00～17:00	2号館研究棟2階271号室
乾　匡範	講師	感染・免疫学講座	月～金	10:00～17:00	2号館研究棟3階368号室
山崎　達也	講師	感染・免疫学講座	月～金	10:00～17:00	2号館研究棟3階368号室
伴野　勧	助教	感染・免疫学講座	月～金	10:00～17:00	2号館研究棟3階368号室

寄　生　虫　学

【単位数：1.5単位，授業25コマ（定期試験含まず）】

1　科目責任者

髙村祥子　教授（感染・免疫学）

科目担当者
髙木秀和　准教授（特任）（感染・免疫学）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅲ-３-ｃ）

① コンピテンスの“医学知識と科学的探究心”，“地域社会へ貢献”の理解ができるようになるため，寄生虫症の病因・病態・治療につながる基礎医学的な要素や，寄生虫疾患による国際社会の健康問題を把握，説明できるようになる。

② 寄生虫の感染経路や感染部位，それに伴う病因，病態が説明でき，診断，治療，予防の概念を学ぶことにより，寄生虫症に関する基礎医学的な要素を理解できるようになる。また，寄生虫疾患の流行地や発展途上国の寄生虫症の実態を学ぶことにより，国際社会の健康問題の背景や，国際医療の現状と問題を認識できるようになる。

（２）　学修目標

① 臨床上重要な寄生虫，衛生動物の基本的性状，病原性とそれによって生じる病態を理解する。
② 原虫類・蠕虫類の分類及び形態学的特徴を説明できる。
③ 寄生虫の生活史，感染経路と感染疫学的意義を説明できる。
④ 寄生虫症の診断，治療と予防の概要を説明できる。
⑤ 各臓器・器官の主な寄生虫症を説明できる。
⑥ 寄生虫感染宿主の生体防御（免疫応答）の特徴を説明できる。
⑦ 発展途上国や流行地における寄生虫症の実態について背景を理解し，医療の現状と問題を認識する。
⑧ 寄生虫症を免疫学，組織学，解剖学，生理学などと関連付けて考察できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	85％	記述式問題，多肢選択問題を出題する。
小テスト	○	9％	演習終了時毎に小テストを受験する。
レポート	○	6％	演習終了後に演習レポートを提出する。提出期限については，演習の進捗状況に応じて決める。
態度	○	―	講義時の態度不良の場合は「問題行動学生報告書」（イエロー・レッドカード）を提出する。演習時の態度不良の場合は「問題行動学生報告書」の提出のほか，最大10％減点をする。

定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。演習時に欠席の場合は補講を行う。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（３） 再試験・再評価の方法

定期試験で60点未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する。60％以上を合格とする。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

必要な場合には講義や演習前に解説を行う。演習レポートは採点し返却する。定期試験の成績についての総括をAIDLE-Kに掲示する。これにて理解が不十分な項目について再確認を促すとともに，定期試験で不合格となった者は再試験に備える。

４ 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
図説人体寄生虫病学 改訂10版	吉田幸雄 原著	南山堂	日本寄生虫学会による編集。情報量が豊富であり，免疫学・分子生物学，最新の治療に関する知見も充実している。
寄生虫学テキスト 第4版	上村 清，木村英作，金子 明，丸山治彦，所 正治，大槻 均	文光堂	寄生虫や衛生動物に関し，簡便にまとめられている。2019年に改訂されている。
レジュメ配付			

５ 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
医動物学 改訂8版	吉田幸雄，有薗直樹，山田 稔	南山堂	「図説人体寄生虫病学」の姉妹編である。寄生虫症，衛生動物媒介疾患について内容の全面改訂が行われ．医動物学の知識がわかりやすくまとめられている。
Human Parasitology, Fifth Edition	Burton J. Bogitsh, Clint E. Carter, Thomas N. Oeltmann	Academic Press	英語版の教科書。内容のバランスも非常によく，分かりやすい。イラストや写真も豊富である。

６ 準備学習（予習・復習）

予習： 教科書あるいは参考図書の該当する箇所を読み，どのような事項が取り上げられているのか確認しておく（1コマあたり約0.5時間）。演習前は対象となる寄生虫について演習のレポートを作成するのに必要な事項を確認しておき，不明な点は調べておく（1コマあたり約0.5時間）。

復習： 感染経路，寄生場所，病態（症状）を組織学・生理学・生化学・免疫学などと関連させて講義内容を再確認する（1コマあたり約0.5時間）。演習後に受験した小テストに関する確認や演習に不明だったことを自学自習しておく（1コマあたり0.5時間程度）。

７ 授業計画

（１） 講義の方法

講義室における講義では基本的に知識伝達型の講義スタイルにて授業を進めるが，講義中に個人あるいは数人での質疑応答などを行う場合がある。演習においては事前に全体的な説明，課題についての説明を行う。その後，各自で与えられた演習の課題を行う。演習終了時には各自がレポートを作成・提出し，小テストを受験する。

（２） 講義の内容

講義では教科書の内容について様々な資料，症例を掲示しながら解説していく。また，最近の研究成果から明らかになった寄生虫の分子生物学的な研究報告や話題となっているトピックなどを紹介する。演習では顕微鏡を用い，様々な寄生虫標本，病理標本をスケッチしながら自主学習し，寄生虫の生活史及びその病態・症状，寄生虫症診断に関する概念や知識を考察しながら自主的に学ぶ。

寄生虫学

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/9/9(火)	1	ー	講義	寄生虫学総論	感・免学	准教授(特任)	髙木 秀和	302講
2025/9/9(火)	2	ー	講義	腸管寄生原虫(赤痢アメーバほか)	感・免学	准教授(特任)	髙木 秀和	302講
2025/9/16(火)	1	ー	講義	腸管寄生原虫(ランブル鞭毛虫，クリプトスポリジウム)，組織寄生原虫(膣トリコモナスほか)	感・免学	准教授(特任)	髙木 秀和	302講
2025/9/16(火)	2	ー	講義	組織寄生原虫(トキソプラズマ)	感・免学	准教授(特任)	髙木 秀和	302講
2025/9/30(火)	1	ー	講義	血液・組織寄生原虫(マラリア)	感・免学	准教授(特任)	髙木 秀和	302講
2025/9/30(火)	2	ー	講義	血液・組織寄生原虫(マラリア，鞭毛虫類)	感・免学	准教授(特任)	髙木 秀和	302講
2025/10/7(火)	1	ー	講義	血液・組織寄生原虫(鞭毛虫類)，蠕虫総論，条虫類	感・免学	准教授(特任)	髙木 秀和	302講
2025/10/7(火)	2	ー	講義	条虫類	感・免学	准教授(特任)	髙木 秀和	302講
2025/10/10(金)	1	ー	講義	条虫類，吸虫類	感・免学	准教授(特任)	髙木 秀和	302講
2025/10/10(金)	2	ー	講義	吸虫類	感・免学	准教授(特任)	髙木 秀和	302講
2025/10/21(火)	1	ー	講義	線虫類	感・免学	准教授(特任)	髙木 秀和	302講
2025/10/21(火)	2	ー	講義	線虫類	感・免学	准教授(特任)	髙木 秀和	302講
2025/10/28(火)	1	ー	講義	線虫類	感・免学	准教授(特任)	髙木 秀和	302講
2025/10/28(火)	2	ー	講義	衛生動物	感・免学	准教授(特任)	髙木 秀和	302講
2025/10/29(水)	3	ー	演習	消化器，泌尿生殖器，組織寄生原虫症などに関する演習	感・免学 感・免学 感・免学 感・免学 感・免学	教授 准教授(特任) 講師 講師 助教	髙村 祥子 髙木 秀和 乾 匡範 山崎 達也 伴野 勧	研106
2025/10/29(水)	4	ー	演習	消化器，泌尿生殖器，組織寄生原虫症などに関する演習	感・免学 感・免学 感・免学 感・免学 感・免学	教授 准教授(特任) 講師 講師 助教	髙村 祥子 髙木 秀和 乾 匡範 山崎 達也 伴野 勧	研106
2025/10/29(水)	5	ー	演習	消化器，泌尿生殖器，組織寄生原虫症などに関する演習	感・免学 感・免学 感・免学 感・免学 感・免学	教授 准教授(特任) 講師 講師 助教	髙村 祥子 髙木 秀和 乾 匡範 山崎 達也 伴野 勧	研106
2025/11/4(火)	1	ー	講義	衛生動物	感・免学	准教授(特任)	髙木 秀和	302講
2025/11/4(火)	2	ー	講義	寄生虫診断法ほか	感・免学	准教授(特任)	髙木 秀和	302講
2025/11/6(木)	3	ー	演習	昆虫媒介寄生虫症，衛生動物などに関する演習	感・免学 感・免学 感・免学 感・免学 感・免学	教授 准教授(特任) 講師 講師 助教	髙村 祥子 髙木 秀和 乾 匡範 山崎 達也 伴野 勧	研106
2025/11/6(木)	4	ー	演習	昆虫媒介寄生虫症，衛生動物などに関する演習	感・免学 感・免学 感・免学 感・免学 感・免学	教授 准教授(特任) 講師 講師 助教	髙村 祥子 髙木 秀和 乾 匡範 山崎 達也 伴野 勧	研106

寄生虫学

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/11/6(木)	5	ー	演習	昆虫媒介寄生虫症，衛生動物などに関する演習	感・免学	教授	髙村 祥子	研106
					感・免学	准教授(特任)	髙木 秀和	
					感・免学	講師	乾 匡範	
					感・免学	講師	山崎 達也	
					感・免学	助教	伴野 勧	
2025/11/14(金)	3	ー	演習	土壌伝播寄生虫症，食品媒介寄生虫症などに関する演習	感・免学	教授	髙村 祥子	研106
					感・免学	准教授(特任)	髙木 秀和	
					感・免学	講師	乾 匡範	
					感・免学	講師	山崎 達也	
					感・免学	助教	伴野 勧	
2025/11/14(金)	4	ー	演習	土壌伝播寄生虫症，食品媒介寄生虫症などに関する演習	感・免学	教授	髙村 祥子	研106
					感・免学	准教授(特任)	髙木 秀和	
					感・免学	講師	乾 匡範	
					感・免学	講師	山崎 達也	
					感・免学	助教	伴野 勧	
2025/11/14(金)	5	ー	演習	土壌伝播寄生虫症，食品媒介寄生虫症などに関する演習	感・免学	教授	髙村 祥子	研106
					感・免学	准教授(特任)	髙木 秀和	
					感・免学	講師	乾 匡範	
					感・免学	講師	山崎 達也	
					感・免学	助教	伴野 勧	
2025/12/19(金)	**4**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**感・免学**	**教授**	**髙村 祥子**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
髙村　祥子	教授	感染・免疫学講座	月～金	10:00～17:00	2号館研究棟3階366号室
髙木　秀和	准教授(特任)	感染・免疫学講座	月～金	10:00～17:00	2号館研究棟2階271号室
乾　匡範	講師	感染・免疫学講座	月～金	10:00～17:00	2号館研究棟3階368号室
山崎　達也	講師	感染・免疫学講座	月～金	10:00～17:00	2号館研究棟3階368号室
伴野　勧	助教	感染・免疫学講座	月～金	10:00～17:00	2号館研究棟3階368号室

地 域 社 会 医 学 実 習

【単位数：0.5 単位，授業 20 コマ】

1　科目責任者

鈴木孝太　教授（衛生学）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅰ-3-c，Ⅱ-5-c，Ⅳ-8-c，Ⅴ-1-c）

① コンピテンス「地域社会への貢献」に基づき，地域社会における疾病予防，健康増進における医師の役割を身につける。

さらに，「プロフェッショナリズム」，「コミュニケーション」における，医師としての価値観・態度を身につけるとともに，個人だけではなく集団，社会との適切なコミュニケーションをとることを目標とする。さらに，実習内容に応じて，将来的に「診療技能」におけるプライマリ・ケア領域の救急対応ができるようになるための意識を高めることを目標とする。

② 障害者の介護，救急医療の現場，働く人々の実態を体験することにより，医師になる者としての自覚を高めるとともに，それぞれの場面におけるさまざまな人々の健康に関する悩みや苦しみを知り，社会における医師としての役割を理解する。

（２）　学修目標

各自の関心に応じて以下の実習から選択し参加する。

【介護・福祉施設（介護等体験）実習】

① 施設利用者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し，そのいずれにも柔軟に対応できる。
② コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。
③ 施設利用者・家族の話を傾聴し，共感することができる。
④ 施設利用者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。
⑤ 施設利用者の心理的及び社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し，抱える問題点を抽出・整理できる。
⑥ 施設利用者や家族のプライバシーに配慮できる。
⑦ 施設利用者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し，適切な取扱いができる。
⑧ チーム医療の意義を説明できる。
⑨ 医療チームの構成や各構成員（医師，歯科医師，薬剤師，看護師，その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明し，チームの一員として参加できる。
⑩ 保健，医療，福祉と介護のチーム連携における医師の役割を説明できる。
⑪ 障害者福祉・精神保健医療福祉の現状と制度を説明できる。
⑫ 多職種の医療・保健・福祉専門職，患者・利用者，その家族，地域の人々など，様々な立場の人が違った視点から医療現場に関わっていることを具体的に説明できる。

【地域救急医療（救急車同乗）実習】

① 地域における救急医療，在宅医療及び離島・へき地医療の体制を説明できる。
② どの科の医師になっても求められる救急診療能力について説明できる。
③ チーム医療の一員として良好なコミュニケーションを実践できる。
④ 家族や地域といった視点をもち，保健・医療・福祉・介護との連携を説明できる。
⑤ 救急隊員との連携を通じて，病院前救護体制とメディカルコントロールについて説明できる。
⑥ 地域の災害医療体制について説明できる。

【産業保健インターン実習】

① 健康（健康の定義），障害と疾病の概念と社会環境（機能障害，活動制限，参加制約，生活の質〈QOL〉，ノーマライゼーション，バリアフリー，ユニバーサルデザイン等）を説明できる。
② 人々の暮らしの現場において病気・健康がどのようにとらえられているかを説明できる。
③ 実習施設で働く人々の作業環境を，産業保健の視点から説明し，評価できる。
④ 実習施設で働く人々の作業について，産業保健の視点から説明し，評価できる。
⑤ 実習施設で働く人々の健康について，産業保健の視点から説明し，評価できる。
⑥ 上記を総合し，働く人々の健康リスクについて説明し，医学的に評価できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	20%	適宜実施するレポートと，実習報告書により評価する。
態度	—	—	ガイダンス，報告会を含む，全出席を必須とする。
その他	○	80%	実習施設の施設からの評価，報告会の準備や報告内容。

出席：　実習の単位を修得するためには，ガイダンス，施設での実習，報告会，全てで欠席をしてはならない。

なお，2024年度に指定したNPO法人のボランティア活動を，一定期間実施した学生については，単位認定を行う予定である。詳細については，2025年７～８月頃に通知する。

（２）　合格基準

求められた実習に全て参加することが必須であり，上記の点数が100点満点のうち，60点以上を合格とするが，実習施設からの評価が著しく低い場合も不合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

不合格となった学生に対し，再実習は実施しない。

また，ガイダンスや報告会における態度が著しく不良，あるいは，実習施設からの態度評価が不可の場合は，進級判定会議にて協議の上，単位認定の可否を判断する。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

実習中，問題が生じた場合には，メールなどで全員にその内容を伝える。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
保健・医療・福祉における 行動科学入門 生活習慣の評価から行動変容の実践まで	鈴木孝太 柿崎真沙子 菊池宏幸 （編・著）	大修館書店	本学のカリキュラムと，医学教育コアカリキュラムに沿ったテキスト。３つの実習テーマに即した内容が含まれている。

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
医療現場の行動経済学 すれ違う医者と患者	大竹文雄 平井 啓	東洋経済新報社	行動経済学の視点から，医療者，患者の考え方を説明している良書。
実践 医療現場の行動経済学 すれ違いの解消法	大竹文雄 平井 啓	東洋経済新報社	上記書籍の続編。医療におけるさまざまな問題について，具体的な解決策を示している。

6　準備学習（予習・復習）

○ 実習施設に事前に連絡し，初日の集合時刻，集合場所など，実習に必要な情報を確認しておくこと。
○ 実習施設によっては，事前の説明会を実施することもある。
○ 実習と関連する内容について，教科書で概要を学んでおくこと。
○ ７月に行われる外来案内実習でのコミュニケーションをもとに，学外のさまざまな人々とのコミュニケーションについて，同じ実習班のメンバーなどで事前にシミュレーションなどを行っておくこと。
○ また，それぞれの実習施設に関する予習（0.5時間），実習に関して生じうるさまざまな問題点について，その可能性を考えるとともに，対応方法についても個人，またグループ内で検討しておくこと（0.5時間）。
○ それ以外の準備学習については，説明会時に指示する。

7　授業計画

（１）　実習の方法

実習は，11月27日から12月１日までの３日間のうち，２日間実施する予定である。
基本的には，各施設の実習担当者の指示に従い実習を行う。

（２）　実習の内容

【介護・福祉施設（介護等体験）実習】
各施設で働く人々の業務の補助を行い，施設利用者を支援する。

【地域救急医療（救急車同乗）実習】
実習時間中の救急出動に同行し，救急隊の業務を見学する。

【産業保健インターン実習】
各実習施設で働く人々の業務の補助を行う。

なお，過去の実習施設は以下のとおりであるが，実習施設の事情などにより変更の可能性がある。

【介護・福祉施設（介護等体験）実習】
社会福祉法人　昭徳会
駒方寮，名古屋養育院，名古屋若松寮，小原学園，小原寮，泰山寮
瀬戸特別支援学校
青い鳥医療療育センター　･･･　愛知県青い鳥医療療育センター
とよた光の里　光の家　･･･　社会福祉法人 とよた光の里障害者支援施設　光の家
愛厚はなのきの里　･･･　社会福祉法人 愛知県厚生事業団愛厚はなのきの里
明知会　夢の家　･･･　社会福祉法人 明知会　障がい者支援施設　夢の家
刈谷市つくし作業所　･･･　社会福祉法人 觀寿々会　刈谷市つくし作業所
觀寿々会　ペガサス　･･･　社会福祉法人 觀寿々会　障害者支援施設　ペガサス
觀寿々会　ペガサス・Ⅱ　･･･　社会福祉法人 觀寿々会　障害者支援施設　ペガサス・Ⅱ
東名古屋病院　･･･　独立行政法人国立病院機構　東名古屋病院
ティンクルなごや　･･･　名古屋市重症心身障害児者施設ティンクルなごや

【地域救急医療（救急車同乗）実習】
尾三消防本部，尾張旭消防本部，瀬戸消防本部

【産業保健インターン実習】
長久手市役所
長久手市立保育園
長久手市児童館
長久手市社会福祉協議会
長久手市立南小学校
長久手市立東小学校
長久手温泉ござらっせ
長久手市中央図書館
長久手市文化の家
尾張旭市役所
堀場測量設計事務所
川本緑化（有）
鉢屋（居酒屋・焼肉）
とよ松（焼肉・串揚げ）
遠藤税理士事務所
冨田豆腐
ラーメン「こころ家」

地域社会医学実習

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/11/26(水)	1	ー	講義	実習ガイダンス	衛生学	教授	鈴木　孝太	302講
2025/11/26(水)	2	ー	講義	実習ガイダンス	衛生学	教授	鈴木　孝太	302講
2025/11/26(水)	3	ー	講義	実習ガイダンス	衛生学	教授	鈴木　孝太	302講
2025/11/26(水)	4	ー	演習	実習準備	衛生学	教授	鈴木　孝太	302講
2025/11/26(水)	5	ー	演習	実習準備	衛生学	教授	鈴木　孝太	302講
2025/11/27(木)	1	ー	実習	実習施設における実習				
2025/11/27(木)	2	ー	実習	実習施設における実習				
2025/11/27(木)	3	ー	実習	実習施設における実習				
2025/11/27(木)	4	ー	実習	実習施設における実習				
2025/11/27(木)	5	ー	実習	実習施設における実習				
2025/11/28(金)	1	ー	実習	実習施設における実習				
2025/11/28(金)	2	ー	実習	実習施設における実習				
2025/11/28(金)	3	ー	実習	実習施設における実習				
2025/11/28(金)	4	ー	実習	実習施設における実習				
2025/11/28(金)	5	ー	実習	実習施設における実習				
2025/12/1(月)	1	ー	実習	実習施設における実習				
2025/12/1(月)	2	ー	実習	実習施設における実習				
2025/12/1(月)	3	ー	実習	実習施設における実習				
2025/12/1(月)	4	ー	実習	実習施設における実習				
2025/12/1(月)	5	ー	実習	実習施設における実習				
2025/12/2(火)	1	ー	演習	実習のまとめ(グループワーク)	衛生学	教授	鈴木　孝太	101講
2025/12/2(火)	2	ー	演習	実習のまとめ(グループワーク)	衛生学	教授	鈴木　孝太	101講
2025/12/2(火)	3	ー	演習	実習のまとめ(グループワーク)	衛生学	教授	鈴木　孝太	101講
2025/12/2(火)	4	ー	演習	実習のまとめ(グループワーク)	衛生学	教授	鈴木　孝太	101講
2025/12/2(火)	5	ー	演習	実習のまとめ(グループワーク)	衛生学	教授	鈴木　孝太	101講

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
鈴木　孝太	教授	衛生学講座	水曜日 （不定期）	17:30～18:30	2号館研究棟M3階371号室 （部署宛に要事前連絡）

チ ー ム 医 療 実 習

【単位数:0.5単位，授業16コマ】

1　科目責任者

早稲田勝久　教授（医学教育センター）

科目担当者
森下啓明　准教授（シミュレーションセンター）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅰ-11-c，Ⅰ-12-c，Ⅰ-13-c，Ⅰ-14-c，Ⅰ-15-c，Ⅱ-1-c）

① 本学のコンピテンスである「プロフェッショナリズム:チーム医療」，「コミュニケーション」を理解するために，チーム医療にその一員として参加し，医師の役割や多職種の役割を体験する。

② 保健・医療・福祉・介護及び患者に関わる全ての人々の役割を理解し，相互の尊重のもとに適切な行動をとる。

（２）　学修目標

① 医療チームを構成する医師・看護師以外の職種を説明できる。

② 多職種の活動を通して，チーム医療における医師の果たす役割を説明できる。

③ 診療における多職種と医師の連携について考察し説明できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	60%	事前課題・事後課題を評価する。課題の意図にあった内容であること。また体験に基づいた学びや考察を書き表していること。
態度	○	40%	2日間の実習の評価。遅刻，身だしなみ，実習参加態度について，実習部署指導者による他者評価を実施する。

出席：　実習を修得するためには，欠席をしてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

課題・レポートを課す。

実習を欠席した場合は，面接後，再実習又は追加レポートを課す。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

評価対象の合計が60%以上で合格とする。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
元気ホスピタル　最善の医療をめざして	愛知医科大学病院	バリューメディカル2018	本学の診療科，メディカルスタッフ部門を解説している。

6　準備学習（予習・復習）

1日目のガイダンスの際に，実習先の部門・部署について事前学習をするので，関連する資料を集めておく（1日あたり0.5時間）。

7　授業計画

（1）　講義の方法

病院内のメディカルスタッフ部門（パラメディカル部門）に配属され，医療チームの一員としてチーム医療に参加し，医師の役割や他職種の役割を体験する。

（2）　講義の内容

1日目に実習オリエンテーションを施行。2日目から4日目は割り当てられた部署にて実習を行い，チーム医療を体験する。最終日は実習の振り返りを行う。

チーム医療実習

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/11/17(月)	1	ー	演習	ガイダンス・事前学習	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C Sim Sim ー	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師 非常勤講師	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代 川原　千香子	Sim1
2025/11/17(月)	2	ー	演習	ガイダンス・事前学習	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C Sim Sim ー	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師 非常勤講師	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代 川原　千香子	Sim1
2025/11/17(月)	3	ー	演習	ガイダンス・事前学習	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C Sim Sim ー	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師 非常勤講師	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代 川原　千香子	Sim1
2025/11/18(火)	1	ー	実習	本院・分院の各部署にて実習	各部署			各部署
2025/11/18(火)	2	ー	実習	本院・分院の各部署にて実習	各部署			各部署
2025/11/18(火)	3	ー	実習	本院・分院の各部署にて実習	各部署			各部署
2025/11/18(火)	4	ー	実習	本院・分院の各部署にて実習	各部署			各部署
2025/11/18(火)	5	ー	実習	本院・分院の各部署にて実習	各部署			各部署
2025/11/19(水)	1	ー	実習	本院・分院の各部署にて実習	各部署			各部署
2025/11/19(水)	2	ー	実習	本院・分院の各部署にて実習	各部署			各部署
2025/11/19(水)	3	ー	実習	本院・分院の各部署にて実習	各部署			各部署
2025/11/19(水)	4	ー	実習	本院・分院の各部署にて実習	各部署			各部署
2025/11/19(水)	5	ー	実習	本院・分院の各部署にて実習	各部署			各部署
2025/11/20(木)	1	ー	実習	本院・分院の各部署にて実習	各部署			各部署
2025/11/20(木)	2	ー	実習	本院・分院の各部署にて実習	各部署			各部署
2025/11/20(木)	3	ー	実習	本院・分院の各部署にて実習	各部署			各部署
2025/11/20(木)	4	ー	実習	本院・分院の各部署にて実習	各部署			各部署
2025/11/20(木)	5	ー	実習	本院・分院の各部署にて実習	各部署			各部署
2025/11/21(金)	1	ー	実習	本院・分院の各部署にて実習	各部署			各部署
2025/11/21(金)	2	ー	実習	本院・分院の各部署にて実習	各部署			各部署
2025/11/21(金)	3	ー	実習	本院・分院の各部署にて実習	各部署			各部署
2025/11/21(金)	4	ー	実習	本院・分院の各部署にて実習	各部署			各部署
2025/11/21(金)	5	ー	実習	本院・分院の各部署にて実習	各部署			各部署

チーム医療実習

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/11/25(火)	1	ー	演習	まとめ	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C Sim Sim	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師	早稲田 勝久 河合 聖子 山口 奈緒子 森下 啓明 松尾 幸果 村松 有紀 神原 和代	Sim1
2025/11/25(火)	2	ー	演習	まとめ	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C Sim Sim	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師	早稲田 勝久 河合 聖子 山口 奈緒子 森下 啓明 松尾 幸果 村松 有紀 神原 和代	Sim1
2025/11/25(火)	3	ー	演習	まとめ	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C Sim Sim	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師	早稲田 勝久 河合 聖子 山口 奈緒子 森下 啓明 松尾 幸果 村松 有紀 神原 和代	Sim1

8 オフィスアワー　　チーム医療実習

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
早稲田　勝久	教授	医学教育センター	木曜日 金曜日	14:00～17:00 15:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
河合　聖子	准教授	医学教育センター	木曜日	16:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
山口　奈緒子	准教授	薬理学講座	月曜日	13:00～18:00	1号館大学本館7階医学教育センター
松尾　幸果	助教(医員助教)	循環器内科	講義終了後，講義室にて		
森下　啓明	准教授	シミュレーションセンター	火曜日	9:00～16:00	シミュレーションセンター事務室
神原　和代	看護師	シミュレーションセンター	講義終了後，講義室にて		
村松　有紀	看護師	シミュレーションセンター	講義終了後，講義室にて		
川原　千香子	非常勤講師	帝京大学医学部准教授	講義終了後，講義室にて		

外 来 案 内 実 習

【単位数:0.5単位，授業25コマ】

1 科目責任者

鈴木孝太 教授(衛生学)

2 教育目標

（１） ねらい（Ⅰ-1-c，Ⅱ-1-c）

① コンピテンス「コミュニケーション」における，個人だけではなく集団，社会との適切なコミュニケーションをとり，さらに医療チームがどのように病院で活動しているのか，その実際を学ぶことを目標とする。
さらに，上記に基づき，「プロフェッショナリズム」における，医師としての価値観・態度を身につける。

② 初診，そして再診時に，診療がどのような流れで行われているのか，さらにどのような受診に関わる手続きが行われているのかを，医療者ではなく患者の視点から学ぶ。さらに，医師となったときに，患者の気持ちに寄り添えるよう，受診時の患者の思いを学ぶ。

（２） 学修目標

① 来院患者に対して，受診時から会計まで適切に案内することができる。
② 患者の質問に対し，適切に回答することができる。
③ ハンディキャップを有する患者や高齢の患者に対して，適切な介助をすることができる。
④ 来院から診察及び会計までの過程を正しく理解することができる。
⑤ 礼儀正しい言葉遣いや接遇をすることができる。
⑥ 患者及び家族の心情に対して，寄り添うことができる。

3 成績の判定・評価

（１） 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	20%	適宜実施するレポートと，実習報告書により評価する。
その他	○	80%	患者からの評価，報告会の準備や報告内容などにより評価する。

出席： 実習を修得するためには，欠席をしてはならない。

（２） 合格基準

求められた実習に全て参加することが必須であり，上記の点数が100点満点のうち，60点以上を合格とするが，患者からの評価が著しく低い場合も不合格とする。

（３） 再試験・再評価の方法

不合格となった学生に対し，再実習は実施しない。
また，ガイダンスや報告会における態度が著しく不良，あるいは，患者からの態度評価が不可の場合は，進級判定会議にて協議の上，単位認定の可否を判断する。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

実習中，問題が生じた場合には，メールなどで全員にその内容を伝える。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
医療現場の行動経済学 すれ違う医者と患者	大竹文雄，平井 啓	東洋経済新報社	行動経済学の視点から，医療者，患者の考え方を説明している良書。
実践 医療現場の行動経済学 すれ違いの解消法	大竹文雄 平井 啓	東洋経済新報社	上記書籍の続編。医療におけるさまざまな問題について，具体的な解決策を示している。

6　準備学習（予習・復習）

患者とのあいさつなどコミュニケーションについて，グループ内でシミュレーションし，練習しておくこと(0.5時間)。

患者案内に必要な車いす介助について，復習しておく(1時間)。

さらに，患者を案内する可能性のある院内各部署について，実際に病院内を歩いてみるなど，適宜予習しておくこと(0.5時間)。

また，実習で生じうる問題点について，どのようなものがあり，どのように対応すべきか，あらかじめグループ内で考えておくこと(15分)。

7　授業計画

（１）　実習の方法

愛知医科大学病院の外来患者(初診，再診)に許可を取った後，受付から会計が終了するまで受診をエスコートする。

（２）　実習の内容

(以下は予定であり，病院の状況などにより変更の可能性がある。)

■ 3日間のうち，初診患者を1日，再診患者を2日担当する。

■ 初診については，8:00集合，9:00集合，10:00集合の3グループとし，それぞれについて初診受付窓口で患者にあいさつした後に，病院内をエスコートする。原則，初診患者1人を案内したら終了とする。

■ 再診についても，8:00集合，9:00集合，10:00集合の3グループとし，原則として最低2人は案内を行う。ただし，1人目の患者の案内終了が11時以降の場合はこの限りではない。

■ 3日間の実習で初診1人，再診4人を目標とするが，上記のように時間が足りない場合には，再診患者は4人未満でも構わない。ただし，実習時間については各自しっかりと記録しておくこと。

■ 以下のような流れで実習を行う。

＊ 患者に，同行の承諾をいただく。

＊ 検査室には原則入室せず廊下で待つ。

＊ 診察室には患者の許可があれば入室する(入室前に担当医に確認，学生は席を外すように指示された場合は退室する)。

＊ 基本は，診察→会計→薬受け取り等すべてが終わり，外来の玄関又は2～3階の駐車場への入り口までお見送りして挨拶したら，終了とする。

＊ 会計又は薬の受け取りを待っている間に，アンケートの記入をお願いし，受け取る。

＊ 再診患者の場合，短時間で終了した場合は，さらに追加のエスコートをする可能性がある。

＊ エスコートが終了したら，その日のアンケートを教務課窓口に17:00までに提出する。

外来案内実習

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/7/28(月)	1	ー	講義	実習ガイダンス:外来実習の目的	衛生学	教授	鈴木 孝太	302講
2025/7/28(月)	2	ー	講義	実習ガイダンス:外来受診の流れ	衛生学 医事課	教授 ー	鈴木 孝太 事務担当者	302講
2025/7/28(月)	3	ー	講義	実習ガイダンス:実習の心得	衛生学	教授	鈴木 孝太	302講
2025/7/28(月)	4	ー	演習	実習準備	衛生学	教授	鈴木 孝太	302講
2025/7/28(月)	5	ー	演習	実習準備	衛生学	教授	鈴木 孝太	302講
2025/7/29(火)	1	ー	実習	愛知医科大学病院で実習	衛生学	教授	鈴木 孝太	
2025/7/29(火)	2	ー	実習	愛知医科大学病院で実習	衛生学	教授	鈴木 孝太	
2025/7/29(火)	3	ー	実習	愛知医科大学病院で実習	衛生学	教授	鈴木 孝太	
2025/7/29(火)	4	ー	実習	愛知医科大学病院で実習	衛生学	教授	鈴木 孝太	
2025/7/29(火)	5	ー	実習	愛知医科大学病院で実習	衛生学	教授	鈴木 孝太	
2025/7/30(水)	1	ー	実習	愛知医科大学病院で実習	衛生学	教授	鈴木 孝太	
2025/7/30(水)	2	ー	実習	愛知医科大学病院で実習	衛生学	教授	鈴木 孝太	
2025/7/30(水)	3	ー	実習	愛知医科大学病院で実習	衛生学	教授	鈴木 孝太	
2025/7/30(水)	4	ー	実習	愛知医科大学病院で実習	衛生学	教授	鈴木 孝太	
2025/7/30(水)	5	ー	実習	愛知医科大学病院で実習	衛生学	教授	鈴木 孝太	
2025/7/31(木)	1	ー	実習	愛知医科大学病院で実習	衛生学	教授	鈴木 孝太	
2025/7/31(木)	2	ー	実習	愛知医科大学病院で実習	衛生学	教授	鈴木 孝太	
2025/7/31(木)	3	ー	実習	愛知医科大学病院で実習	衛生学	教授	鈴木 孝太	
2025/7/31(木)	4	ー	実習	愛知医科大学病院で実習	衛生学	教授	鈴木 孝太	
2025/7/31(木)	5	ー	実習	愛知医科大学病院で実習	衛生学	教授	鈴木 孝太	
2025/8/1(金)	1	ー	演習	実習のまとめ:グループワーク	衛生学	教授	鈴木 孝太	Sim1
2025/8/1(金)	2	ー	演習	実習のまとめ:グループワーク	衛生学	教授	鈴木 孝太	Sim1
2025/8/1(金)	3	ー	演習	実習のまとめ:グループワーク	衛生学	教授	鈴木 孝太	Sim1
2025/8/1(金)	4	ー	演習	実習のまとめ:グループワーク	衛生学	教授	鈴木 孝太	Sim1
2025/8/1(金)	5	ー	演習	実習のまとめ:グループワーク	衛生学	教授	鈴木 孝太	Sim1

8 オフィスアワー　　外来案内実習

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
鈴木　孝太	教授	衛生学講座	水曜日 （不定期）	17:30～18:30	2号館研究棟M3階371号室 （部署宛に要事前連絡）

コミュニケーション演習２

【単位数：１単位，授業14コマ】

１　科目責任者

早稲田勝久　教授（医学教育センター）

２　教育目標

（１）　ねらい（Ⅰ-１-ｃ，Ⅰ-２-ｃ，Ⅰ-５-ｃ，Ⅰ-６-ｃ，Ⅱ-１-ｃ，　Ⅱ-２-ｃ，Ⅱ-３-ｃ）

① 本学のコンピテンスである「プロフェッショナリズム」，「コミュニケーション」の基礎を学び，チームとして良好な関係を構築できる。

② 初対面の患者と良好なコミュニケーションをとるためのスキルを身に着け，自身のコミュニケーションの傾向や課題を明確にする。

③ 安全な医療を提供するために必要なコミュニケーションについて考察する。

（２）　学修目標

① 模擬患者から，話を聴く演習を通じて，傾聴，会話のポイント，相手から情報を引き出す方法等を実践できる。

② 医師として患者・家族とコミュニケーションを図るために必要な要素を説明できる。

③ コミュニケーションに必要な基本的な技法について実践できる。

３　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	60％	事前課題・事後課題を評価する。課題の意図にあった内容であること。演習体験に基づいた自己の学びや課題を明確に書き表していること。
態度	○	30％	身だしなみ，面接技法について，模擬患者による他者評価を実施する。
その他	○	10％	グループ学習の成果物（インタビューガイド）の充実度を評価する。

出席：　演習を修得するためには，欠席をしてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

面談の上，課題・レポートを課す。

演習を欠席した場合は，補習又は追加レポートを課す。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

模擬患者とグループメンバーからのコメントなどを総合してフィードバックを行う（紙面でフィードバック）。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
チームが機能するとはどういうことか	エイミー・C・エドモンド（野津智子訳）	英治出版	チームコミュニケーションについて理解しやすい書籍である。
診療場面のコミュニケーション	ジョン・ヘリテッジ，ダグラス・メイナード（川島理恵他訳）	勁草書房	会話分析という研究分野からみた医療面接について述べられており，問い方とその答えについて具体例が多いため，「目的をもった会話」の重要性を考えるきっかけになる。

6　準備学習（予習・復習）

日常のコミュニケーションについて，演習前後に振り返る機会を持つこと（1日あたり約0.5時間）。
1学年次早期体験実習1aで学習したコミュニケーションについて振り返ること（1日あたり1時間）。

7　授業計画

（1）　講義の方法

演習を中心に双方向の講義を行う。

（2）　講義の内容

コミュニケーションの基本と医療人として求められるコミュニケーションの特徴について学習する。
模擬患者に対する「ライフストーリー」聴取，及び症状のある患者への問診を体験する。

コミュニケーション演習２

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/11/17(月)	4	－	演習	ガイダンス	医教C	教授	早稲田　勝久	Sim1
					医教C	准教授	河合　聖子	
					医教C	准教授	山口　奈緒子	
					Sim	准教授	森下　啓明	
					循内・医教C	助教(医員助教)	松尾　幸果	
					－	非常勤講師	川原　千香子	
2025/11/17(月)	5	－	演習	ガイダンス	医教C	教授	早稲田　勝久	Sim1
					医教C	准教授	河合　聖子	
					医教C	准教授	山口　奈緒子	
					Sim	准教授	森下　啓明	
					循内・医教C	助教(医員助教)	松尾　幸果	
					－	非常勤講師	川原　千香子	
2025/11/18(火)	1	－	演習	グループ学習（午後の実習準備）	医教C	教授	早稲田　勝久	Sim1
					医教C	准教授	河合　聖子	
					医教C	准教授	山口　奈緒子	
					Sim	准教授	森下　啓明	
					循内・医教C	助教(医員助教)	松尾　幸果	
					－	非常勤講師	川原　千香子	
2025/11/18(火)	2	－	演習	グループ学習（午後の実習準備）	医教C	教授	早稲田　勝久	Sim1
					医教C	准教授	河合　聖子	
					医教C	准教授	山口　奈緒子	
					Sim	准教授	森下　啓明	
					循内・医教C	助教(医員助教)	松尾　幸果	
					－	非常勤講師	川原　千香子	
2025/11/18(火)	3	－	演習	グループ学習（午後の実習準備）	医教C	教授	早稲田　勝久	Sim1
					医教C	准教授	河合　聖子	
					医教C	准教授	山口　奈緒子	
					Sim	准教授	森下　啓明	
					循内・医教C	助教(医員助教)	松尾　幸果	
					－	非常勤講師	川原　千香子	
2025/11/18(火)	4	－	実習	面接実習	医教C	教授	早稲田　勝久	3階セ
					医教C	准教授	河合　聖子	
					医教C	准教授	山口　奈緒子	
					Sim	准教授	森下　啓明	
					循内・医教C	助教(医員助教)	松尾　幸果	
					Sim	看護師	村松　有紀	
					Sim	看護師	神原　和代	
					－	非常勤講師	川原　千香子	
2025/11/18(火)	5	－	実習	面接実習	医教C	教授	早稲田　勝久	3階セ
					医教C	准教授	河合　聖子	
					医教C	准教授	山口　奈緒子	
					Sim	准教授	森下　啓明	
					循内・医教C	助教(医員助教)	松尾　幸果	
					Sim	看護師	村松　有紀	
					Sim	看護師	神原　和代	
					－	非常勤講師	川原　千香子	

コミュニケーション演習２

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/11/19(水)	1	－	演習	グループ学習（午後の実習準備）	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C －	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 非常勤講師	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 川原　千香子	Sim1
2025/11/19(水)	2	－	演習	グループ学習（午後の実習準備）	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C －	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 非常勤講師	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 川原　千香子	Sim1
2025/11/19(水)	3	－	演習	グループ学習（午後の実習準備）	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C －	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 非常勤講師	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 川原　千香子	Sim1
2025/11/19(水)	4	－	実習	面接実習	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C Sim Sim －	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師 非常勤講師	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代 川原　千香子	3階セ
2025/11/19(水)	5	－	実習	面接実習	医教C 医教C 医教C 医教C 循内・医教C Sim Sim －	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師 非常勤講師	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代 川原　千香子	3階セ
2025/11/20(木)	1	－	演習	グループ学習（午後の実習準備）	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C －	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 非常勤講師	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 川原　千香子	Sim1
2025/11/20(木)	2	－	演習	グループ学習（午後の実習準備）	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C －	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 非常勤講師	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 川原　千香子	Sim1

コミュニケーション演習２

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/11/20(木)	3	－	演習	グループ学習（午後の実習準備）	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C －	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 非常勤講師	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 川原　千香子	Sim1
2025/11/20(木)	4	－	実習	面接実習	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C Sim Sim －	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師 非常勤講師	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代 川原　千香子	3階セ
2025/11/20(木)	5	－	実習	面接実習	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C Sim Sim －	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師 非常勤講師	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代 川原　千香子	3階セ
2025/11/21(金)	1	－	演習	グループ学習（午後の実習準備）	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教)	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果	Sim1
2025/11/21(金)	2	－	演習	グループ学習（午後の実習準備）	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教)	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果	Sim1
2025/11/21(金)	3	－	演習	グループ学習（午後の実習準備）	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教)	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果	Sim1
2025/11/21(金)	4	－	実習	面接実習	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C Sim Sim	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代	3階セ

コミュニケーション演習２

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/11/21(金)	5	ー	実習	面接実習	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C Sim Sim	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代	3階セ
2025/11/25(火)	4	ー	演習	まとめ	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教)	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果	Sim1
2025/11/25(火)	5	ー	演習	まとめ	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教)	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果	Sim1

8 オフィスアワー　　コミュニケーション演習2

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
早稲田　勝久	教授	医学教育センター	木曜日 金曜日	14:00～17:00 15:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
河合　聖子	准教授	医学教育センター	木曜日	16:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
山口　奈緒子	准教授	薬理学講座	月曜日	13:00～18:00	1号館大学本館7階医学教育センター
松尾　幸果	助教(医員助教)	循環器内科	講義終了後，講義室にて		
森下　啓明	准教授	シミュレーションセンター	火曜日	9:00～16:00	シミュレーションセンター事務室
神原　和代	看護師	シミュレーションセンター	講義終了後，講義室にて		
村松　有紀	看護師	シミュレーションセンター	講義終了後，講義室にて		
川原　千香子	非常勤講師	帝京大学医学部准教授	講義終了後，講義室にて		

選　択　講　座　2

【単位数：1単位，授業13コマ】

1　科目責任者

早稲田勝久　教授（医学教育センター）

2　教育目標

（1）　ねらい

① 医学教育モデルコアカリキュラムに定められている指針にとらわれず，「プロフェッショナリズム」，「コミュニケーション」，「医学知識と科学的探究心」，「診療技能」，「地域社会への貢献」について理解を深め，幅広い知識・技能・態度/姿勢を身につける。

② 医学教育モデルコアカリキュラムの選択科目を創出し，上級生が屋根瓦式に下級生を指導する体制を構築する。

（2）　学修目標

選択するコースにより学修目標は異なるが，医療従事者になるものとして，多様な知識・技能・態度/姿勢を修得できる。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は不可とする。
その他	○	—	1コース（3コマ）毎に評価する。評価方法はコース毎に異なる。

出席：　全ての講義・演習に出席する必要がある。

（2）　合格基準

すべての評価対象において，不可がないこと（合否の2段階で判定）。

（3）　再試験・再評価の方法

課題・レポートを課す。

（4）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

各授業で与えられる課題について，その場で口頭にてフィードバックする（選択コースによって差異あり）。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
コースにより異なる。			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
コースにより異なる。			

6　準備学習（予習・復習）

選択コース毎のコース内容案内を参照すること。

7　授業計画

（１）　講義の方法

選択するコース毎に授業の方法は異なる。

（２）　講義の内容

選択コース毎のコース内容案内を参照すること。
開講するコースについては，AIDLE-K を参照すること。

（３）　開催日時

別途掲示する日程表を参照すること。

検　　査　　医　　学

【単位数：0.5単位，授業7コマ，予備3コマ（定期試験含まず）】
当該科目は医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

1　科目責任者

中山享之　教授（輸血部）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅲ-３-ｂ）

① 臨床検査が臨床医学における診断・治療に検査手法を適用する科学であることを充分に認識し，理解する。適切な検査を選択し，結果を正しく解釈できる。
② 各種検査の方法，目的，適応，解釈を学ぶ。

（２）　学修目標

① 臨床検査の基準値・カットオフ値の意味が説明できる。
② 検査の特性（感度，特異度，偽陽性，偽陰性，ROC曲線，尤度比，検査後確率）を説明できる。
③ 検査の誤差や生理的変動を説明できる。各種の検査値への影響（溶血や全血放置など）を説明できる。
④ 検体の採取・保存について説明できる。検査の精度管理について説明できる。
⑤ 以下の各種検査の目的・適応と異常所見を説明し，結果を解釈できる。
一般検査(糞便検査，尿検査，髄液検査)，血液生化学検査(酵素，蛋白，含窒素成分，血糖，脂質，電解質など)，末梢血液検査，凝固・線溶検査，血清・免疫学的検査，動脈血ガス分析（酸塩基平衡），微生物検査，細胞診

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	100％	多肢選択問題を基本とする。
態度	○	―	受講態度が不良の場合は，10点を限度に減点する。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

定期試験で60％未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する（60％以上で合格）。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験の成績についての総括を学内メールで実施する。
これにて理解が不十分な項目について再確認を促すとともに，定期試験で不合格となった者は再試験に備える。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
標準臨床検査医学	髙木　康，山田俊幸編	医学書院	検査学を理解するための基本的内容が網羅されている。

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
異常値の出るメカニズム	河合　忠他編	医学書院	異常値の出るメカニズムが分かりやすく解説されている。

6　準備学習（予習・復習）

指定教科書を予め読んでおくこと（検査総論，生理検査，血液・生化学検査，一般検査，病理検査，遺伝子検査の頁。(トータルで3時間程度必要)。

7　授業計画

（１）　講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが，講義中，講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

（２）　講義の内容

各講義タイトルに準じ，必須内容をレクチャーする。

検査医学

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2026/1/6(火)	1	ー	講義	臨床検査総論，一般検査	輸血部	教授	中山 享之	302講
2026/1/6(火)	2	ー	講義	生理検査	ー	非常勤講師	竹下 享典	302講
2026/1/6(火)	3	ー	講義	内分泌検査	内内	教授(特任)	高木 潤子	302講
2026/1/6(火)	4	ー	講義	細胞診　病理診断	病理診断	教授	都築 豊徳	302講
2026/1/6(火)	5	ー	講義	血液・生化学検査	中検	講師	小川 実加	302講
2026/1/7(水)	1	ー	講義	輸血検査	ー	客員教授	加藤 栄史	302講
2026/1/7(水)	2	ー	講義	遺伝子・染色体検査，フローサイトメトリー	輸血部	教授	中山 享之	302講
2026/1/7(水)	3	ー	ー	予備				
2026/1/7(水)	4	ー	ー	予備				
2026/1/7(水)	5	ー	ー	予備				
2026/1/8(木)	1	ー	ー	自習				
2026/1/8(木)	2	ー	ー	自習				
2026/1/8(木)	3	ー	ー	自習				
2026/1/8(木)	4	ー	ー	自習				
2026/1/8(木)	**5**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**輸血部**	**教授**	**中山 享之**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
中山　享之	教授	輸血部	月・火・金曜日	16:00～18:00	大学病院中央棟2階 輸血センター
小川　実加	講師	中央臨床検査部	月・水・金曜日	16:00～18:00	大学病院中央棟2階輸血センター
高木　潤子	教授(特任)	内科学講座(内分泌・代謝内科)	木曜日	15:00～16:00	D棟2階 内分泌・代謝内科医局
都築　豊徳	教授	病理診断学講座	月曜日	16:00～17:00	病理診断センター
加藤　栄史	非常勤講師	福友病院介護医療院 愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		
竹下　享典	非常勤講師	埼玉医科大学総合医療センター　中央検査部教授	講義終了後，講義室にて		

放　　射　　線　　医　　学

【単位数：1単位，授業18コマ，予備2コマ（定期試験含まず）】
当該科目は医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

1　科目責任者

鈴木耕次郎　教授（放射線医学）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅲ-5-b，Ⅳ-4-b）

① コンピテンスの“医学知識と科学的探究心”の理解のため，放射線医学の知識と技能を学び，そのことによって適切な検査を選択して疾患の鑑別と治療を進めることができる。
② 画像診断，IVR，放射線治療の基本を理解する。

（2）　学修目標

① 主な画像診断法の原理と特徴を説明できる。
② 単純撮影，CT，MRI，血管造影，核医学検査画像における正常解剖を説明できる。
③ 代表的疾患に関して，実際の画像から異常所見を指摘し鑑別診断をあげることができる。
④ 癌治療における放射線治療の役割と有効性を説明できる。
⑤ IVR の適応と有効性を説明できる。
⑥ 放射線の被ばくによる影響とその防護法について説明できる。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	100%	多肢選択問題を原則とする。一部記述式問題を含む場合がある。
態度	○	—	態度不良の場合は「問題行動学生報告書」（イエロー・レッドカード）を提出する。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）　合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（3）　再試験・再評価の方法

上記（2）で総合成績が60%未満の場合は，再試験を実施する。
再試験は定期試験に準ずる試験を行う。60%以上を合格とする。

（4）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験の成績の総括をAIDLE-Kに掲載する。
これにより理解が不十分な項目について再確認を促すとともに，定期試験が不合格となった者には再試験に備えること。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			
レジュメ配付			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
標準放射線医学第7版	西谷　弘，他　編集	医学書院	画像診断，IVR，放射線治療の基本的内容が網羅されている。
画像診断パワフルガイド	山下康行	メディカル・サイエンス・インターナショナル	画像所見の診断ポイントがまとまっている。
画像解剖コンパクトナビ	百島祐貴	医学教育出版社	CT，MRI，USで健常体の構造が示されており，正常画像の理解に役立つ。
核医学ノート第6版	久保敦司	金原出版	各種RIを用いた検査，治療がまとまっている。
放射線治療学改訂6版	井上俊彦	南山堂	最新治療を含め，放射線治療を体系的に理解できる。

6　準備学習（予習・復習）

○　参考図書を参考に，画像診断，放射線治療，IVRでどのような事項が取り上げられているのか参考にしておく（各事項につき1時間）。

○　参考図書等を用いて，CT，MRIでの人体の正常解剖を予習して理解しておく（2時間）。

○　配付される講義資料は講義後に内容を再確認して復習する（1日あたり約2時間）。

7　授業計画

（1）　講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型講義であるが，一部講義中に講師との質疑応答を導入する。

（2）　講義の内容

放射線医学は，大きく画像診断，放射線治療，IVRの3分野に分けられる。臨床で遭遇する頻度の高い疾患を中心に，領域毎にコンパクトにまとめた全体講義を行う。1コマ目に画像診断の総論を，2コマ目以降は，各検査の詳細，領域／臓器毎の疾患鑑別に関して具体的な画像を提示し，最適な画像検査法の選択，診断に至るプロセスとポイント，注意点などを身につける。放射線治療では，癌治療において大きな役割を果たしている放射線治療の治療方法，適応疾患，治療成績などを，IVRでは，低侵襲治療としてのIVRの役割，適応疾患，治療効果の理解を深める。

放射線医学

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2026/1/9(金)	1	―	講義	画像診断の基本・CT	放射線	教授	鈴木　耕次郎	302講
2026/1/9(金)	2	―	講義	画像検査:MRI	放射線	教授(特任)	川井　恒	302講
2026/1/9(金)	3	―	JS(垂直)	人体解剖と画像解剖	放射線 解剖学	教授 教授	鈴木　耕次郎 内藤　宗和	302講
2026/1/9(金)	4	―	講義	医療被ばく	―	非常勤講師	大野　和子	302講
2026/1/9(金)	5	―	―	予備				
2026/1/13(火)	1	―	講義	画像診断(1):中枢神経系1	放射線	講師	池田　秀次	302講
2026/1/13(火)	2	―	講義	画像診断(2):中枢神経系2・頭頸部	放射線	教授(特任)	川井　恒	302講
2026/1/13(火)	3	―	講義	画像診断(3):胸部	放射線	助教	松永　望	302講
2026/1/13(火)	4	―	講義	画像診断(4):腹部(肝胆膵)	放射線	講師	成田　晶子	302講
2026/1/13(火)	5	―	講義	画像診断(5):消化管・救急疾患	放射線	教授(特任)	下平　政史	302講
2026/1/14(水)	1	―	講義	IVR(画像下治療) 1	放射線	教授	鈴木　耕次郎	302講
2026/1/14(水)	2	―	講義	IVR(画像下治療) 2	放射線	教授	鈴木　耕次郎	302講
2026/1/14(水)	3	―	講義	画像検査:核医学/PET	放射線	講師	木村　純子	302講
2026/1/14(水)	4	―	講義	画像診断(6):泌尿器・婦人科疾患	放射線	講師	岡田　浩章	302講
2026/1/14(水)	5	―	講義	超音波検査	―	客員教授	伊吹　恵里	302講
2026/1/15(木)	1	―	講義	放射線治療(1):原理と適応	放射線	准教授(特任)	大島　幸彦	302講
2026/1/15(木)	2	―	講義	放射線治療(2):高度放射線治療	放射線	准教授(特任)	大島　幸彦	302講
2026/1/15(木)	3	―	講義	放射線治療(3):肺癌・食道癌	放射線	准教授(特任)	伊藤　誠	302講
2026/1/15(木)	4	―	講義	放射線治療(4):婦人科・泌尿器科疾患	放射線	助教	足達　崇	302講
2026/1/15(木)	5	―	―	予備				
2026/1/16(金)	1	―	―	自習				
2026/1/16(金)	2	―	―	自習				
2026/1/16(金)	3	―	―	自習				
2026/1/16(金)	4	―	―	自習				
2026/1/16(金)	**5**	**―**	**―**	**定期試験**	**放射線**	**教授**	**鈴木　耕次郎**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
内藤 宗和	教授	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟2階254号室
鈴木 耕次郎	教授	放射線医学講座	月・金曜日	15:00～17:00	大学病院中央棟1階読影室
川井 恒	教授(特任)	放射線医学講座	月・金曜日	15:00～17:00	大学病院中央棟1階読影室
下平 政史	教授(特任)	放射線医学講座	水・金曜日	15:00～17:00	大学病院中央棟1階読影室
大島 幸彦	准教授(特任)	放射線科	火・水曜日	15:00～17:00	大学病院中央棟地下1階放射線治療センター
伊藤 誠	准教授(特任)	放射線科	月・金曜日	15:00～17:00	大学病院中央棟地下1階放射線治療センター
木村 純子	講師	放射線医学講座	火・木曜日	15:00～17:00	大学病院中央棟1階読影室
池田 秀次	講師	放射線科	月・水曜日	15:00～17:00	大学病院中央棟1階読影室
成田 晶子	講師	放射線医学講座	月・金曜日	15:00～17:00	大学病院中央棟1階読影室
岡田 浩章	講師	放射線科	水・金曜日	15:00～17:00	大学病院中央棟1階読影室
足達 崇	助教	放射線科	火・水曜日	15:00～17:00	大学病院中央棟地下1階放射線治療センター
松永 望	助教	放射線科	火・金曜日	15:00～17:00	大学病院中央棟1階読影室
伊吹 恵里	非常勤講師	愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		
大野 和子	非常勤講師	京都医療科学大学教授	講義終了後，講義室にて		

3　学　年　次　履　修　科　目

プロフェッショナリズム３

【単位数：0.5単位，授業7コマ（定期試験含まず）】

1　科目責任者

宮田靖志　教授（特任）（地域総合診療医学寄附講座）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ｉ-1-b，Ｉ-2-b，Ｉ-3-b，Ｉ-4-b，Ｉ-5-b，Ｉ-6-b，Ｉ-7-b，Ｉ-8-b，Ｉ-11-b，Ｉ-12-b，Ｉ-13-b，Ｉ-14-b，Ｉ-15-b）

① コアコンピテンスの“プロフェッショナリズム（医師としての価値観・態度・姿勢，生涯学習・自己啓発・自己管理，チーム医療・医療安全）”の理解を深め，医学生としての日常の学習，生活において3学年次に応じたプロフェッショナリズムを実践できるようになる。
② プロフェッショナリズムとは，医療者，医学生として身に付けておくべき最低限の能力と，医療者，医学生として常に高みを目指す姿勢を保つ向上心的目標の2つがある。その両方の基本的概念を理解し，それらを日々の学生生活で実践することは具体的にどのようなことかを自身で考え，実践できるようになる。
③ 臨床実践には様々な倫理的課題が存在するが，それについて自身が深く考え，同僚と意見交換し，患者・医療者にとって最善の医療実践をすることが重要である。しかし，実際にはこのことは非常に難しい課題であり，ときに倫理的課題は不適切に処理されることさえある。倫理的課題に気づき，課題解消のための思考を深め，自身の考えを他者と意見交換し，チームとしての課題解消につなげることができるようになることは，プロフェッショナリズム溢れる医療者として必須のものである。このための様々な技能の基礎を理解する。
④ 患者とは何か，病気とは何かを包括的な視点から理解し，医療を一人の人間とその家族及び周囲の状況からなる物語としてとらえることができてこそ全人的な医療実践が可能となる。このことの基礎を修得する。
⑤ 医療の基盤である医師と患者とのコミュニケーションについて，その基本的なスキルを理解する。

（２）　学修目標

① 医療コミュニケーションの3つの役割軸を述べることができる。
② 医療コミュニケーションの進め方を述べることができる。
③ 非言語的コミュニケーションの方法を実施できる。
④ 共感的コミュニケーションのスキルを実施できる。
⑤ 臨床倫理的課題に気づくことができる。
⑥ 臨床倫理の4原則について理解できる。
⑦ 臨床の倫理的課題解消のための思考プロセスを明確に辿ることができる。
⑧ 臨床の倫理的課題解消のための思考を同僚と意見交換し，他者の考えにも深く考えを巡らせることができる。
⑨ Jonsenの臨床倫理4分割を理解し，活用できる。
⑩ 医療における物語の概念を理解することができる。
⑪ 患者を全人的に理解することの意味を理解できる。
⑫ 患者の物語を創造できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	70%	記述式及び多肢選択問題
レポート	○	30%	授業中に課される3つの課題。1課題に10%を充てる。
態度	○	—	著しい態度不良と判断された場合は，進級判定会議に報告する。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２） 合格基準

評価対象の合計が60％以上で合格とする。

（３） 再試験・再評価の方法

定期試験で合格基準に達しないものは，定期試験に準ずる再試験を実施する。60％以上を合格とする。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

レポート(ワークシート)の内容については，授業中に発表し，教員からのコメントを受け，自身の考えを深められるようにする。

４ 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

５ 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
ABC of 医療プロフェッショナリズム	Coope, N著 宮田靖志監訳	羊土社	プロフェッショナリズムの概念から現代の医療現場での課題まで，広くかつ簡潔に解説されている。
日常診療の中で学ぶプロフェッショナリズム	Levinson,L著 宮田靖志監訳	カイ書林	日常臨床でよく遭遇する具体的プロフェッショナリズム事項について，その対応が書かれている実践的な内容である。
白衣のポケットの中 医師のプロフェッショナリズムを考える8	宮崎　仁， 尾藤誠司， 大生定義　編	医学書院	プロフェッショナリズムの概念，具体的事例について分かりやすく記載されている。
臨床倫理入門	日本臨床倫理学会監修 其岡真子著	ヘルス出版	臨床倫理の基本的な概念が分かりやすく解説されている。
医療の倫理ジレンマ	バーナード・ロウ	西村書店	臨床における様々な具体的倫理事項を取り上げ，その解消のための考え方を詳細に説明している。
文献　Narrative-Based Medicine（物語に基づく医療）,Narrative Medicine（ナラティブ・メディスン） In 新・総合診療医学　家庭医療学編　第2版　P107-118	宮田靖志	カイ書林	医療における物語についての基本的な考え方を詳細に解説している。
はじめての医療面接	齊藤清二	医学書院	コミュニケーションの基本的技法が分かりやすく解説されている。
医療面接技法とコミュニケーションの取り方	福島　統	Medical View	様々な状況におけるコミュニケーション技法のエッセンスが記載されている。

６ 準備学習（予習・復習）

○ これまでに見たり，聞いたり，体験したりした医療において，倫理的課題が潜んでいると考えられる事例を授業で提示できるよう，いくつかピックアップしておく（１日あたり0.5時間）。〈12月５日授業のため〉

○ 医療における物語が理解できるための題材となる，自身や家族，友人などの病気に関してどのようなストーリーが展開していたかを考えておく（１日あたり0.5時間）。〈11月９日授業のため〉

７ 授業計画

（１） 講義の方法

講義・個人ワーク・グループ討論・全体討論を組み合わせて，様々な考え方を皆が共有・議論できるようにする。

（２） 講義の内容

医療コミュニケーション，臨床倫理，医療における物語の基本的概念。

プロフェッショナリズム３

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/7/9(水)	4	ー	講義	医療面接	地域(寄)	教授(特任)	宮田　靖志	101講
2025/7/9(水)	5	ー	講義	医療面接	地域(寄)	教授(特任)	宮田　靖志	101講
2025/11/19(水)	4	ー	講義	ナラティブ・メディスン	地域(寄)	教授(特任)	宮田　靖志	202講
2025/11/19(水)	5	ー	講義	ナラティブ・メディスン	地域(寄)	教授(特任)	宮田　靖志	202講
2025/12/5(金)	1	ー	講義	臨床倫理	地域(寄)	教授(特任)	宮田　靖志	101講
2025/12/5(金)	2	ー	講義	臨床倫理	地域(寄)	教授(特任)	宮田　靖志	101講
2025/12/5(金)	3	ー	講義	臨床倫理	地域(寄)	教授(特任)	宮田　靖志	101講
2025/12/15(月)	**1**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**地域(寄)**	**教授(特任)**	**宮田　靖志**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
宮田　靖志	教授(特任)	地域総合診療医学寄附講座	月・火曜日	13:00～16:00	2号館研究棟3階355室

多 職 種 連 携 演 習 3

【単位数：1.5単位，授業25コマ（内5コマ）】

1　科目責任者

早稲田勝久　教授（医学教育センター）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ｉ-1-c）

① 本学のコンピテンスである「プロフェッショナリズム」，「コミュニケーション」について学ぶ。

② 医師として社会の多様なニーズに対応できるように，また医師の役割を様々な角度から考察できるようになるために，「医師として求められる基本的な資質・能力」である‘プロフェッショナリズム’，‘医学知識と問題対応能力’，‘コミュニケーション能力’，‘チーム医療の実践’，‘医療の質と安全の管理’，‘社会における医療の実践’，‘生涯にわたって共に学ぶ姿勢’などについて考える機会を持ち，様々な医療専門職と議論をしながら学修をすすめる。

（2）　学修目標

全体目標

① 他学部学生との協働を体験し，自己のコミュニケーションの課題を見出すことができる。

② 医療チームにおける多職種のコミュニケーションの重要性を説明できる。

1学年次

・ 医師として必要な多様な価値観を持つことができる。良いチームとは何か，自己と他者の理解に対する姿勢，コミュニケーションの重要性を述べることができる。

2学年次

・ 医療は多職種協働であることを理解し，医療チームを構成する上での課題を抽出出来る。

3学年次

・ 患者・家族の視点に立ち，チームとして課題解決に取り組むことの重要性を説明できる。

4学年次

・ 臨床場面において，患者・家族中心の多職種協働を実践できる。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	90％	事前課題・事後課題を評価する。提出期限の厳守，指示に則って記載できていない場合は再提出を求めることがある。
態度	○	10％	演習に対する参加度を評価する（グループ討議に参加しない、居眠り、ゲームや内職は減点の対象とする）。

出席：　演習の単位を修得するためには，欠席をしてはならない。

（２） 合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。
ただし，本科目は1学年次から4学年次に開講される多職種連携演習１～４全ての評価をもとに「多職種連携演習」として4学年次に単位認定をする（各学年での単位認定は行わないが，各学年で合格基準を満たすこと）。
3学年次では，5コマ開講する。

（３） 再試験・再評価の方法

再評価は教員と面接の上，課題を課す。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

レポートに記載された内容について，理解が不十分と判断された場合は個々に理解度の確認を行う。

４ 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

５ 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
他者と働く	宇田川元一	News Picks Publishing	「知識として正しいことと，実践の間には大きな隔たりがある」として分かりあえなさを基盤に他者とのかかわりの大切さを考察できる。
異文化コミュニケーションワークブック	矢代京子 荒木晶子 他	三修社	自分自身の「異文化」に対する価値観を多様なセルフチェックで知ることができ，価値観を考えるきっかけとなる。
最強組織の法則―新時代のチームワークとは何か	ピーター・M・センゲ 守部信之 訳	徳間書店	すばらしいチームとはどのような要素で成り立っているのか，また，様々なタイプのリーダーについて考察することができる。

６ 準備学習（予習・復習）

他学部との合同セッションになるため，身だしなみ，言葉遣いなど，参加するための準備をしておく（1日あたり0.5時間）。

７ 授業計画

（１） 講義の方法

小グループによる討論・発表や講師との質疑応答を行う。

（２） 講義の内容

看護学部学生・薬学部生と合同でグループワーク，発表を行う。

多職種連携演習３

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/6/20(金)	1	ー	演習	他学部との合同演習	医教C	教授	早稲田　勝久	Sim1 Sim3
					糖内	教授	神谷　英紀	
					医教C	准教授	河合　聖子	
					医教C	准教授	山口　奈緒子	
					Sim	准教授	森下　啓明	
					循内・医教C	助教(医員助教)	松尾　幸果	
					医教C	特命教育教授	伴　信太郎	
					看護学部	教授	山中　真	
					看護学部	教授	谷口　千枝	
					看護学部	教授	篠田　かおる	
					看護学部	教授	山本　恵美子	
					看護学部	准教授	青山　恵美	
					看護学部	准教授	黒澤　昌洋	
					看護学部	講師	上坂　真弓	
					看護学部	講師	横山　剛志	
					看護学部	講師	伊藤　真規	
					ー	客員教授	築山　郁人	
					ー	非常勤講師	川原　千香子	
					ー	非常勤講師	宇野　千晴	
2025/6/20(金)	2	ー	演習	他学部との合同演習	医教C	教授	早稲田　勝久	Sim1 Sim3
					糖内	教授	神谷　英紀	
					医教C	准教授	河合　聖子	
					医教C	准教授	山口　奈緒子	
					Sim	准教授	森下　啓明	
					循内・医教C	助教(医員助教)	松尾　幸果	
					医教C	特命教育教授	伴　信太郎	
					看護学部	教授	山中　真	
					看護学部	教授	谷口　千枝	
					看護学部	教授	篠田　かおる	
					看護学部	教授	山本　恵美子	
					看護学部	准教授	青山　恵美	
					看護学部	准教授	黒澤　昌洋	
					看護学部	講師	上坂　真弓	
					看護学部	講師	横山　剛志	
					看護学部	講師	伊藤　真規	
					ー	客員教授	築山　郁人	
					ー	非常勤講師	川原　千香子	
					ー	非常勤講師	宇野　千晴	

多職種連携演習３

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/6/20(金)	3	ー	演習	他学部との合同演習	医教C	教授	早稲田　勝久	Sim1 Sim3
					糖内	教授	神谷　英紀	
					医教C	准教授	河合　聖子	
					医教C	准教授	山口　奈緒子	
					Sim	准教授	森下　啓明	
					循内・医教C	助教(医員助教)	松尾　幸果	
					医教C	特命教育教授	伴　信太郎	
					看護学部	教授	山中　真	
					看護学部	教授	谷口　千枝	
					看護学部	教授	篠田　かおる	
					看護学部	教授	山本　恵美子	
					看護学部	准教授	青山　恵美	
					看護学部	准教授	黒澤　昌洋	
					看護学部	講師	上坂　真弓	
					看護学部	講師	横山　剛志	
					看護学部	講師	伊藤　真規	
					ー	客員教授	築山　郁人	
					ー	非常勤講師	川原　千香子	
					ー	非常勤講師	宇野　千晴	
2025/6/20(金)	4	ー	演習	事後課題作成	医教C	教授	早稲田　勝久	Sim1
					医教C	准教授	河合　聖子	
					医教C	准教授	山口　奈緒子	
					Sim	准教授	森下　啓明	
					循内・医教C	助教(医員助教)	松尾　幸果	
					ー	非常勤講師	川原　千香子	
2025/6/20(金)	5	ー	演習	事後課題作成	医教C	教授	早稲田　勝久	Sim1
					医教C	准教授	河合　聖子	
					医教C	准教授	山口　奈緒子	
					Sim	准教授	森下　啓明	
					循内・医教C	助教(医員助教)	松尾　幸果	
					ー	非常勤講師	川原　千香子	

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
早稲田　勝久	教授	医学教育ｾﾝﾀｰ	木曜日 金曜日	14:00～17:00 15:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
河合　聖子	准教授	医学教育ｾﾝﾀｰ	木曜日	16:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
山口　奈緒子	准教授	薬理学講座	月曜日	13:00～18:00	1号館大学本館7階医学教育センター
松尾　幸果	助教(医員助教)	循環器内科	講義終了後，講義室にて		
神谷　英紀	教授	内科学講座（糖尿病内科）	木・金曜日	14:00～15:00	C棟5階糖尿病内科教授室
森下　啓明	准教授	シミュレーションセンター	火曜日	9:00～16:00	シミュレーションセンター事務室
伴　信太郎	特命教育教授	メディカルセンター	講義終了後，講義室にて		
谷口　千枝	教授	看護学部	講義終了後，講義室にて		
山中　真	教授	看護学部	講義終了後，講義室にて		
青山　恵美	准教授	看護学部	講義終了後，講義室にて		
黒澤　昌洋	准教授	看護学部	講義終了後，講義室にて		
篠田　かおる	教授	看護学部	講義終了後，講義室にて		
山本　恵美子	教授	看護学部	講義終了後，講義室にて		
上坂　真弓	講師	看護学部	講義終了後，講義室にて		
横山　剛志	講師	看護学部	講義終了後，講義室にて		
伊藤　真規	講師	看護学部	講義終了後，講義室にて		
宇野　千晴	非常勤講師	名古屋学芸大学管理栄養学部	講義終了後，講義室にて		
川原　千香子	非常勤講師	帝京大学医学部准教授	講義終了後，講義室にて		
築山　郁人	非常勤講師	愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		

医　学　英　語　3

【単位数：1単位，授業13コマ（定期試験含まず）】

1　科目責任者

平田亜紀　准教授（外国語）

科目担当者
小川恭佑　助教（外国語）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅲ-4-b，Ⅲ-10-b）

① 前半では，コンピテンスの“疾患の病態と症候を説明でき，その鑑別と診断を計画できる”ことを，英語でも実践できるよう学習をする。
後半では，コアコンピテンスの“医学，医療における客観的根拠を適切に探索し，EBM を実践できる（医学知識と科学的探究心）”に必要な基礎的な概念の習得のために，英文で書かれた医学論文を読む。

② 生涯にわたって自律的に学び続け，また自ら発信することができるようになるための基礎となる語学力を身に着けることと，患者の社会的背景(経済的・制度的側面等)が病いに及ぼす影響への理解を深めることがねらいである。

（2）　学修目標

① 身体の構造や機能，疾患・症状に関する基礎的な語の意味を理解し，綴り・発音が実践できる。
② 医療面接で使用される定型的な表現や実践的な対話表現が理解できる。
③ ケーススタディや研究論文で登場する疾患・症候について自ら調べることができる。
④ 調べものをするときに使用すべき信頼性の高いソースを見分けることができる。
⑤ 根拠に基づいた医療(EBM)の概念のうち，特に5つのステップと background question/foreground question の違いが概説できる。
⑥ 臨床研究論文の一般的な構成が概説できる。
⑦ 臨床研究論文の PICO と，用いられている研究デザインを識別することができる。
⑧ 臨床研究論文に頻出する英語表現を認識することができる。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	45%	課題論文に関する試験を行う。 記述式を原則とし，一部多肢選択問題が含まれる場合がある。
演習（語彙小テスト）	○	15%	主にe-ラーニングアプリ（ALC NetAcademy Next)から語彙小テスト　3回（各5%，自己採点式，初回テストは追加リストあり）
ケーススタディ演習	○	20%	15%　英語教員の解説回にかかる演習 5%　その他の教員の解説回にかかる演習 いずれも指示されたタスクの完成度により判断。当日の授業内の課題のみではなく前後の回に実施される内容も含まれるので注意すること。
論文読解演習	○	20%	15%　英語教員の解説回にかかる演習 5%　その他の教員の解説回にかかる演習 いずれも指示されたタスクの完成度により判断。当日の授業内でのみ課題が出されるのではなく前後の回に実施される課題も含まれるので注意すること。
態度	○	—	遅刻・欠席を含め受講態度不良の場合は10%を限度に減点をする。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２） 合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（３） 再試験・再評価の方法

上記（2）で総合成績が60％未満の場合は，再試験を実施する。
再試験は定期試験に準ずる試験と，追加課題を課す。60％以上を合格とする。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験についての総括を，AIDLE-Kを通じて行う。その中で，再確認が必要な項目を指摘する。

４ 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

５ 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
Dr.押味のあなたの医学英語なんとかします！	押味貴之	メジカルビュー社	プレゼンテーションと病歴聴取のコツが具体的に書かれており，授業で扱っている内容を効果的に復習することができる。
The Complete Subjective Health Assessment https://ecampusontario.pressbooks.pub/healthassessment/	Jennifer Lapum et al.	licensed under a Creative Commons Attribution-ShareAlike 4.0	主観的健康観と文化的背景を平易な英語で患者に尋ねる技法が記載された open textbook である。
臨床のためのEBM入門　決定版 JAMAユーザーズガイド	古川壽亮 山崎　力 (監訳)	医学書院	EBMに関する定番書籍。体系的網羅的に，丁寧に解説されている。
臨床研究のABC	名郷直樹	メディカルサイエンス社	日本のEBM教育の第一人者の著者が，例を交えて解説しており分かりやすい。
EBM・臨床疫学キーワード150	福井次矢	医学書院	EBMを理解する上で重要なキーワードごとに端的な説明がなされ使いやすい。
いまさら誰にも聞けない医学統計の基礎のキソ１～３	浅井　隆	アトムス	統計が苦手な人向けに読みやすく書かれている。

６ 準備学習（予習・復習）

【それぞれの演習の予習と復習の方法】
＜演習（語彙小テスト）＞
　小テストの準備のために，e-ラーニングアプリ（ALC NetAcademy Next)での学習を日々進めること（1日あたり 10分）。

＜ケーススタディ演習＞
　授業内で登場した英語表現を復習すること，症状や疾患については各自で参考資料や UpToDate のサイトなどを調べて確認すること（1コマあたり約 0.5 時間）。

＜論文読解演習＞

授業で扱うことになった論文は，わからない箇所に囚われすぎずに一通り目を通すこと。要所をつかむために必要とされる箇所は何度も精読すること。AI 翻訳に頼り切るのではなく，自ら構文などを読み解くよう心掛け，英語力の向上を意識して取り組むこと。また，論文の内容を理解するための背景知識の不足を補うために，扱われる疾患に関する基礎知識や標準治療について各自で調べること（予習・復習合わせて1コマあたり約2時間）。

医用英単語の「からくり」は講義からある程度学ぶことができます。一方，英語を使いこなすには自立・自律学習が求められます。キャリアを通して一生使うものですので，毎回コツコツと身に着けていきましょう。その意味では授業はペースメーカーの役割でしかなく，小テストの正答率などをその目的地としてはいけません。また，上記の勉強時間はあくまで目安です。時間を費やすことを主とするのではなく，自分に必要な勉強時間数を確保してください。

【授業を受ける際の注意】

授業には，ノートパソコンかタブレットを持参すること。スマートフォンの小さい画面は学習に不向きのため不可。
小テスト演習は定期試験の準備も含まれていますのでわからない箇所はその都度丁寧に解消していきましょう。

【欠席した場合の注意】

① 教務課だけではなく，科目責任者とその回の担当者に連絡を入れること。
② AIDLE-K 上の資料や，友人に確認するなどして，学習が途切れないよう心掛けてください。
③ 欠席した日の小テスト演習は別途受験することができますので希望する場合は申告してください。
（点数は事由により多少の減点をする場合があります。）

7 授業計画

（１） 講義の方法

大教室での知識伝達型講義と，問題解決型の演習の併用。

（２） 講義の内容

Case Study 演習では，英語で行われる医療面接をシーンごとに区切り英語表現を学習したうえで，関連領域の専門家による解説講義が行われる。PBL 方式の学習を採用する。なお専門家の回では質疑応答の場面が設けられるため，学生は能動的に参加することが求められる。

論文講読演習では，根拠に基づいた医療の基本概念，臨床研究論文の基本的な構成要素の学習と，英語で書かれた医学系の論文で頻出する英語表現の学習を主とする。その上で，関連領域の専門家による解説講義が行われる。なお複数回用意されている専門家の回では質疑応答の場面が設けられるため，学生は能動的に参加することが求められる。

医学英語３

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/16(水)	1	ー	講義	ガイダンス，論文講読：論文・英語表現(1)	外国語 外国語	准教授 助教	平田　亜紀 小川　恭佑	202講
2025/4/23(水)	1	ー	講義	Case Study： 医療面接の英語表現(1)	外国語	准教授	平田　亜紀	202講
2025/4/30(水)	1	ー	講義	Case Study： 医療面接の英語表現(2)	外国語	准教授	平田　亜紀	202講
2025/5/7(水)	1	ー	講義	演習(NetAcademy語彙**小テスト**と追加リスト)　1回目 Case Study： 医療面接の英語表現(3)	外国語	准教授	平田　亜紀	202講
2025/5/14(水)	1	ー	JS(水平)	Case Study：専門家解説回	心理学 外国語	教授 准教授	宮本　淳 平田　亜紀	202講
2025/5/21(水)	1	ー	講義	Case Study： 医療面接の英語表現(4)	外国語	准教授	平田　亜紀	202講
2025/5/28(水)	1	ー	JS(垂直)	EBM実習	公衛学 外国語	教授 准教授	菱田　朝陽 平田　亜紀	202講
2025/6/4(水)	1	ー	講義	演習(NetAcademy語彙**小テスト**)　2回目 論文講読：論文・英語表現(2)	外国語 外国語	准教授 助教	平田　亜紀 小川　恭佑	202講
2025/6/11(水)	1	ー	講義	論文講読：統計解説回	ー 外国語	客員教授 准教授	室谷　健太 平田　亜紀	202講
2025/6/18(水)	1	ー	講義	論文講読：論文・英語表現(3)	外国語 外国語	准教授 助教	平田　亜紀 小川　恭佑	202講
2025/6/25(水)	1	ー	講義	論文講読：論文・英語表現(4)	外国語 外国語	准教授 助教	平田　亜紀 小川　恭佑	202講
2025/7/2(水)	1	ー	講義	演習(NetAcademy語彙**小テスト**)　3回目 論文講読：論文・英語表現(5)	外国語 外国語	准教授 助教	平田　亜紀 小川　恭佑	202講
2025/7/9(水)	3	ー	講義	論文講読：論文・英語表現(6)	外国語 外国語	准教授 助教	平田　亜紀 小川　恭佑	202講
2025/7/24(木)	**6**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**外国語**	**准教授**	**平田　亜紀**	**101講**

8 オフィスアワー

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
平田　亜紀	准教授	外国語	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階B201研究室
小川　恭佑	助教	外国語	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階B210研究室
宮本　淳	教授	心理学	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階 B216研究室
菱田　朝陽	教授	公衆衛生学講座	月曜日	16:00～17:00	2号館研究棟3階372号室（メールにて要事前連絡）
室谷　健太	非常勤講師	久留米大学 医学部 医療検査学科教授 愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		

生　命　倫　理　３

【単位数:0.5単位，授業7コマ】

１　科目責任者

川﨑　優　講師(哲学)

２　教育目標

（１）　ねらい（Ｉ-1-b，Ｉ-4-b）

① コンピテンスの「プロフェッショナリズム」における「誠実，正直の態度を意識して行動することができる」ようになるために，臨床の場で医療従事者に求められる誠実，正直の態度とは具体的にどのようなものか学ぶ。

② コンピテンスの「プロフェッショナリズム」における「4原則以外の倫理原則」の観点から具体的な事例について議論し，自分の考えを論理的に説明できるようになるために，功利主義や義務論をはじめとした代表的な倫理理論とその活用方法について学ぶ。

（２）　学修目標

① 倫理がなぜ人間に必要なのかを説明できる。
② 医療従事者に求められる態度として，特に誠実と正直の態度について具体的に説明できる。
③ 生命倫理の諸問題をめぐる多様な価値観を説明できる。
④ 4原則以外の観点から具体的な事例について議論できる。
⑤ 生命倫理の諸問題に関する実践的な知識を修得する。
⑥ 臨床の場において，どのような倫理的問題が生じているか具体的に説明できる。
⑦ 生命倫理の諸問題に対する自分の考えを論理的に説明できる。

３　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	80%	授業の最終日にレポートを課す。
小レポート	○	20%	講義内で小レポートを数回課す。
態度	○	－	受講態度が著しく不良の場合は，総合成績の10%を限度に減点をする。

出席：　単位を修得するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

上記（2）で総合成績が60%未満の場合は，課題・レポートを課す。60%以上を合格とする。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

小レポートについては講義で解説する。

４　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
考えよう！生と死のこと―基礎から学ぶ生命倫理と死生学	波多江伸子，寺田篤史，脇　崇晴	木星舎	生命倫理の諸問題について端的にわかりやすく概説されている。
入門・医療倫理Ⅰ〔改訂版〕	赤林　朗〔編〕	勁草書房	生命倫理の諸問題について，より具体的な国内外の現状や哲学的議論が詳説されている。
看護のための生命倫理〔改定三版〕	小林亜津子	ナカニシヤ出版	タイトルに「看護のための」と記されているが，専門問わずおすすめの内容。
患者の意思決定にどう関わるか？―ロジックの統合と実践のための技法	尾藤誠司	医学書院	臨床の場で直面しうる問題について，理論編と実践編に分けてわかりやすくまとめられている。

6　準備学習（予習・復習）

AIDLE-Kに講義資料が挙げられている場合には事前に内容を確認すること。また講義後に内容を再確認し，次回以降の講義に臨むこと（1コマあたり約1時間）。

7　授業計画

（1）　講義の方法

大教室での知識伝達型の講義であるが，講義中にグループワークや講師との双方向性応答などのアクティブ・ラーニングも導入する。

（2）　講義の内容

生命倫理に関する発展的・実践的な内容について学ぶ。これまで学んだ基本的な原則を踏まえて，より複雑な倫理理論とその応用について学ぶ。具体的な事例の分析やロールプレイをとおして，より実践的な倫理的思考力を養う。

生命倫理３

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/10/16(木)	1	－	講義	倫理理論から生命倫理の諸問題を考える①	哲学	講師	川﨑　優	202講
2025/10/16(木)	2	－	講義	倫理理論から生命倫理の諸問題を考える②	哲学	講師	川﨑　優	202講
2025/12/18(木)	2	－	講義	臨床倫理①	哲学	講師	川﨑　優	202講
2025/12/18(木)	3	－	講義	臨床倫理②	哲学	講師	川﨑　優	202講
2025/12/19(金)	1	－	AL	ACP①	哲学 医療安全	講師 教授(特任)	川﨑　優 奥村　将年	202講
2025/12/19(金)	2	－	AL	ACP②	哲学 医療安全	講師 教授(特任)	川﨑　優 奥村　将年	202講
2025/12/19(金)	3	－	AL	ACP③	哲学 医療安全	講師 教授(特任)	川﨑　優 奥村　将年	202講

8 オフィスアワー　　生命倫理3

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
川﨑 優	講師	哲学	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階 B203研究室
奥村 将年	教授(特任)	医療安全管理室	金曜日	13:00～17:00	医療安全管理室

衛　　生　　学

【単位数：1.5単位，授業24コマ（定期試験含まず）】

1　科目責任者

鈴木孝太　教授（衛生学）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅲ-７-ｂ，Ⅲ-８-ｂ，Ⅴ-２-ｂ）

① 特に産業保健，環境保健，母子保健，食品衛生，精神保健分野について，コンピテンス「医学知識と科学的探究心」に基づいて人の健康行動につながる要因について理解し，さらに，疾病・障害・健康問題と社会との関係や，社会における医療問題を説明できることを目標とする。

さらに，「地域社会への貢献」における地域の医療状況，社会経済的状況を含めた特殊性や課題について説明できることを目標とする。

② 健康や疾病が，生活・労働・教育の場での諸活動や地域環境，地球環境と密接な関連をもっていることを具体的に学ぶ。医師は，疾病を治療するという働きのみではなく，人々がいきいきと生活できるよう，専門的な知識・技術を基盤とし，社会的諸関係に働きかけることを通じて職能を果たすべきことを学ぶ。

（２）　学修目標

① 人間生活と環境，環境と健康との相互関係について説明できる。
② 産業保健の意義としくみ，労働環境による影響を説明できる。
③ 食品の衛生と安全，栄養と健康の関連について説明できる。
④ 日々生起する健康問題の本質について洞察することができる。
⑤ 病院，診療所以外の場における，医師の果たすべき役割を説明することができる。
⑥ 周産期，母子保健における社会の仕組み，保健医療が果たすべき役割を説明できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	60％	全範囲を対象に実施する。 記述式を原則とし，一部多肢選択問題を含む場合がある。
レポート	○	10％	非常勤講師の講義時などに適宜実施する。
中間テスト	○	15％ ×２	30分の中間テストとして2回実施する。詳細はガイダンス時に説明するが，国家試験の過去問レベルの問題を15問出題する予定。なお，教科書，資料持ち込み可（電子資料は不可）とする。
その他	○	―	受講態度などにより，総合成績に加減点（最大10％）する。加点により100点を超える場合は100点とする。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

定期試験，レポート，小テスト（2回）の合計が60％未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する（60％以上で合格）が，追加の課題・レポートを課す場合がある。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

試験結果から，理解が不十分と思われる内容については，解説を一斉メールし再確認を促す。
また，定期試験で不合格となった者については，必要に応じ，補講を実施する。

４　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
公衆衛生がみえる	医療情報科学研究所編	MEDIC MEDIA	医学，医療に関する，倫理的，法律的，社会的な事柄がわかりやすく整理されている。
各講義における配付資料			

５　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
国民衛生の動向		厚生統計協会	さまざまな統計資料，関連法規などがタイムリーに記載されている。

６　準備学習（予習・復習）

授業に臨むにあたり，「公衆衛生がみえる」などの教科書，参考書で，講義内容に関わる事柄について簡単に情報収集しておく（１日あたり約0.5時間）。
事前に与えられた課題について学習し，提出用の用紙にまとめておく（１日あたり約0.5時間）。

７　授業計画

（１）　講義の方法

講義については，基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが，毎回，講義の前の週に課題を出すので，必ず予習してくること。さらに，適宜，グループディスカッションなどアクティブ・ラーニングを導入する。

（２）　講義の内容

講義タイトルに沿って，できるだけ具体的な実例や，教科書の中でも特に重要な内容について説明する。

衛生学

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/5/28(水)	2	ー	講義	ガイダンス	衛生学	教授	鈴木 孝太	202講
2025/5/28(水)	3	ー	講義	産業保健1 総論・産業医・健康管理	衛生学	教授	鈴木 孝太	202講
2025/5/28(水)	4	ー	講義	産業保健2 作業態様(勤務体制)	ー	非常勤講師	堀 礼子	202講
2025/5/28(水)	5	ー	講義	精神保健 総論・措置入院・福祉制度・医療観察法	ー	非常勤講師	堀 礼子	202講
2025/6/4(水)	2	ー	講義	産業保健3 働き方改革	衛生学	教授	鈴木 孝太	202講
2025/6/4(水)	3	ー	講義	産業保健4 有機溶剤中毒, 特化物	ー	客員教授	柴田 英治	202講
2025/6/4(水)	4	ー	講義	産業保健5 金属・ガス	ー	客員教授	柴田 英治	202講
2025/6/4(水)	5	ー	講義	環境保健1 総論	衛生学	講師	梅村 朋弘	202講
2025/6/11(水)	2	ー	講義	**中間テスト①**	衛生学	教授	鈴木 孝太	101講
2025/6/11(水)	3	ー	講義	環境保健2 温熱, 気圧, 騒音, 振動, 放射線	衛生学	講師	川越 隆	202講
2025/6/11(水)	4	ー	講義	産業保健6 メンタルヘルス1	ー	客員教授	古井 景	202講
2025/6/11(水)	5	ー	講義	産業保健7 じん肺	ー	非常勤講師	横山 多佳子	202講
2025/6/18(水)	2	ー	講義	産業保健8 労働災害, 頸肩腕症候群, 腰痛, VDT	ー	非常勤講師	成定 明彦	202講
2025/6/18(水)	3	ー	講義	産業保健9 職業性アレルギー, 皮膚疾患	衛生学	講師	梅村 朋弘	202講
2025/6/18(水)	4	ー	講義	母子保健1 母子保健法, 乳幼児健診	衛生学	准教授	松永 昌宏	202講
2025/6/18(水)	5	ー	講義	衛生学特論	ー	名誉教授	小林 章雄	202講
2025/6/25(水)	2	ー	講義	**中間テスト②**	衛生学	教授	鈴木 孝太	101講
2025/6/25(水)	3	ー	講義	食品衛生 食中毒・栄養食生活	衛生学	助教	若山 怜	202講
2025/6/25(水)	4	ー	講義	環境保健3 社会的環境(幸福感・ソーシャルキャピタル)	衛生学	准教授	松永 昌宏	202講
2025/6/25(水)	5	ー	講義	産業保健10 メンタルヘルス2	ー	客員教授	渡邊 美寿津	202講
2025/7/2(水)	2	ー	講義	環境保健4 大気, 水質, 土壌, 公害・室内環境	衛生学	助教	若山 怜	202講
2025/7/2(水)	3	ー	講義	学校保健 学校保健行政, 学校保健安全法, 学校医	衛生学	講師	川越 隆	202講
2025/7/2(水)	4	ー	講義	地域包括ケアシステムについて(実習準備)	衛生学 衛生学	教授 講師	鈴木 孝太 川越 隆	202講
2025/7/2(水)	5	ー	講義	産業医の実務と, キャリア形成について	ー	非常記講師	田中 完	202講
2025/7/25(金)	**3**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**衛生学**	**教授**	**鈴木 孝太**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
鈴木 孝太	教授	衛生学講座	水曜日 （不定期）	17:30～18:30	2号館研究棟M3階371号室 （部署宛に要事前連絡）
松永 昌宏	准教授	衛生学講座	月～金曜日	10:00～17:00	2号館研究棟3階312号室 （要事前連絡）
梅村 朋弘	講師	衛生学講座	月～金曜日	10:00～18:00	2号館研究棟M3階370号室 （要事前連絡）
川越 隆	講師	衛生学講座	水曜日	16:00～18:30	2号館研究棟3階312号室 （要事前連絡）
若山 怜	助教	衛生学講座	月～金曜日	10:00～17:00	2号館研究棟M3階370号室 （要事前連絡）
小林 章雄	非常勤講師	愛知医科大学名誉教授	講義終了後，講義室にて		
柴田 英治	非常勤講師	愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		
成定 明彦	非常勤講師	愛知県立看護大学准教授	講義終了後，講義室にて		
古井 景	非常勤講師	愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		
堀 礼子	非常勤講師	愛知淑徳大学 心理学部教授	講義終了後，講義室にて		
横山 多佳子	非常勤講師	独立行政法人 労働者健康安全機構 旭ろうさい病院 健康診断部部長	講義終了後，講義室にて		
渡邊 美寿津	非常勤講師	愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		

公　衆　衛　生　学

【単位数：1.5単位，授業24コマ（定期試験含まず）】

1　科目責任者

菱田朝陽　教授（公衆衛生学）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅲ-１-b，Ⅲ-７-b，Ⅲ-８-b，Ⅴ-１-b，Ⅴ-２-b，Ⅴ-３-b）

① コンピテンスの項目として，「医学知識と科学的探究心」の内，「医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる」，「疾病・障害・健康問題と社会との関係を説明できる」，「医学・医療と社会との関連，社会の医療問題を説明できる」を目標とする。

② コンピテンス「地域社会へ貢献」において，「地域社会における疾病予防，健康の維持・増進のための医師の役割を説明できる」，「地域の医療状況，社会経済的状況を含めた特殊性や課題について説明できる」，「医療計画，地域医療構想について説明できる」を目標とする。

③ 公衆衛生学は，集団の健康を向上させるための学問で，内容として人口統計，疫学，感染症，母子保健，高齢者保健，がん疫学，循環器疫学など多岐にわたるのが特徴である。講義では，公衆衛生学の幅広い分野の基本概念を学び，特に集団の健康維持と増進のための公衆衛生活動やその土台である疫学の重要性を理解する。

（２）　学修目標

① 公衆衛生学の概念を説明できる。
② 感染症予防法の概要と届出義務が説明できる。
③ 感染症の危機管理について説明できる。
④ 検疫について説明できる。
⑤ 予防接種の意義と現状を説明できる。
⑥ 人口静態統計と人口動態統計を説明できる。
⑦ 疾病の定義，分類と国際疾病分類を説明できる。
⑧ 疾病・有病・障害統計，年齢調整率と標準化死亡比を説明できる。
⑨ 疫学の概念と疫学の諸指標について説明できる。
⑩ 第一次・二次・三次予防について説明できる。
⑪ 因果関係について説明できる。
⑫ 生活習慣とがんの関係を説明できる。
⑬ 生活習慣と循環器疾患の関係を説明できる。
⑭ 検診・スクリーニングについて説明できる。
⑮ 保健所・保健センターの役割を説明できる。
⑯ 日本における社会保障制度を説明できる。
⑰ 地域保健を概説できる。
⑱ 国際保健について概説できる。
⑲ 国民医療費の収支と将来予測を概説できる。
⑳ 医師法と医療法，医療関連法について概説できる。
㉑ 医療保険と公費医療や介護保険を説明できる。
㉒ 日本の医療制度について概説できる。
㉓ 高齢者福祉と高齢者医療の特徴を説明できる。
㉔ 喫煙と疾病の関係と禁煙指導を説明できる。
㉕ 統計学を疫学に応用できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	60％	多肢選択問題80問
小テスト	○	40％	原則，同日3コマ分の講義内容につき4コマ目に小テストを実施する（1コマ10問計30問）。試験時間は設問内容により設定する。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

定期試験と小テストの点数の合計が60％未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法（再試験対象人数によって記述式に変更する場合有り）で実施する（60％以上で合格）。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験終了時に正解を配付し，成績についての総括をAIDLE-Kに掲載する。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
毎回プリントを配付する。			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
厚生の指標　増刊　国民衛生の動向 2024／2025		厚生労働統計協会	最新の衛生動向，統計データが分かる。
公衆衛生が見える 2024-2025	赤澤宏平など	メディカルメディア	保健・医療・福祉・介護スタッフの共通テキスト，分かりやすい。
シンプル衛生公衆衛生学 2025	鈴木庄亮	南江堂	公衆衛生の各分野をカバー，年度版が発行されている。

6　準備学習（予習・復習）

参考図書のどれかを選んで，各コマ（小テストを除く）の講義内容の該当部分に目を通しておくこと（各40分）。
講義の内容・配布資料と小テストで特に正解できなかった部分について各コマ1時間復習すること。

7　授業計画

（１）　講義の方法

講義は，大教室での知識伝達型の講義を行う。また，同日3コマ分の講義内容につき4コマ目で復習と小テストを実施し，学生の理解度を把握する（最後の2コマを除く）。

（２）　講義の内容

1コマ目は公衆衛生学の概要を解説し，2コマ目以降は，人口統計，疫学の基本と応用，統計学，感染症，生活習慣病の疫学，高齢者保健，社会保障制度，医療制度，医療経済，国際保健など幅広い分野について解説する。

公衆衛生学

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/16(水)	2	―	講義	公衆衛生学の総論 (健康の定義，疾病の自然史，予防など)	公衛学	教授	菱田　朝陽	202講
2025/4/16(水)	3	―	講義	人口統計，集団の健康指標	公衛学	教授	菱田　朝陽	202講
2025/4/16(水)	4	―	講義	医療に関係する法律，国民医療費	公衛学	教授	菱田　朝陽	202講
2025/4/16(水)	5	―	講義	復習，**小テスト**	公衛学 公衛学 公衛学 公衛学 公衛学	教授 教授(特任) 講師 講師 助教	菱田　朝陽 林　櫻松 川合　紗世 篠壁　多恵 景山　斎	101講
2025/4/23(水)	2	―	講義	疫学総論，疾病の頻度や分布に関する記述疫学	公衛学	講師	川合　紗世	202講
2025/4/23(水)	3	―	講義	疾病の発生要因を解明するための分子疫学:コホート研究	公衛学	講師	川合　紗世	202講
2025/4/23(水)	4	―	講義	疾病の発生要因を解明するための分子疫学:症例対照研究	公衛学	講師	川合　紗世	202講
2025/4/23(水)	5	―	講義	復習，**小テスト**	公衛学 公衛学 公衛学 公衛学 公衛学	教授 教授(特任) 講師 講師 助教	菱田　朝陽 林　櫻松 川合　紗世 篠壁　多恵 景山　斎	101講
2025/4/30(水)	2	―	講義	がん疫学(がんの罹患・死亡，リスク要因，循環器疾患対策)	公衛学	教授	菱田　朝陽	202講
2025/4/30(水)	3	―	講義	循環器疫学(循環器疾患の罹患・死亡，リスク要因，循環器疾患対策)	公衛学	教授	菱田　朝陽	202講
2025/4/30(水)	4	―	講義	行政における医師の役割	―	非常勤講師	古川　大祐	202講
2025/4/30(水)	5	―	講義	復習，**小テスト**	公衛学 公衛学 公衛学 公衛学 公衛学	教授 教授(特任) 講師 講師 助教	菱田　朝陽 林　櫻松 川合　紗世 篠壁　多恵 景山　斎	101講
2025/5/7(水)	2	―	講義	感染症疫学(感染症関連の法律，感染防止策，サーベイランス)	公衛学	教授(特任)	林　櫻松	202講
2025/5/7(水)	3	―	講義	感染症疫学(検疫と予防接種)	公衛学	教授(特任)	林　櫻松	202講
2025/5/7(水)	4	―	講義	臨床疫学，EBM	公衛学	教授(特任)	林　櫻松	202講
2025/5/7(水)	5	―	講義	復習，**小テスト**	公衛学 公衛学 公衛学 公衛学 公衛学	教授 教授(特任) 講師 講師 助教	菱田　朝陽 林　櫻松 川合　紗世 篠壁　多恵 景山　斎	101講
2025/5/14(水)	2	―	講義	栄養疫学・国際保健	公衛学	講師	篠壁　多恵	202講
2025/5/14(水)	3	―	講義	社会保障制度・医療制度	公衛学	講師	篠壁　多恵	202講
2025/5/14(水)	4	―	講義	地域医療・地域福祉	公衛学	教授	菱田　朝陽	202講
2025/5/14(水)	5	―	講義	復習，**小テスト**	公衛学 公衛学 公衛学 公衛学 公衛学	教授 教授(特任) 講師 講師 助教	菱田　朝陽 林　櫻松 川合　紗世 篠壁　多恵 景山　斎	101講

公衆衛生学

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/5/21(水)	2	ー	講義	高齢者保健，介護保険制度	公衛学	教授	菱田 朝陽	202講
2025/5/21(水)	3	ー	講義	EBMに必要な統計学	研支C	准教授	大橋 渉	202講
2025/5/21(水)	4	ー	講義	健康危機管理概論	災医C	講師	高橋 礼子	202講
2025/5/21(水)	5	ー	講義	復習，**小テスト**	公衛学 公衛学 公衛学 公衛学 公衛学	教授 教授(特任) 講師 講師 助教	菱田 朝陽 林 櫻松 川合 紗世 篠壁 多恵 景山 斎	101講
2025/7/24(木)	**4**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**公衛学**	**教授**	**菱田 朝陽**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
菱田　朝陽	教授	公衆衛生学講座	月曜日	16:00～17:00	2号館研究棟3階372号室（メールにて要事前連絡）
林　櫻松	教授(特任)	公衆衛生学講座	月曜日	16:00～17:00	2号館研究棟3階374号室（メールにて要事前連絡）
川合　紗世	講師	公衆衛生学講座	月・水・木曜日	16:00～17:00	2号館研究棟312号室（メールにて要事前連絡）
篠壁　多恵	講師	公衆衛生学講座	月曜日	16:00～17:00	2号館研究棟312号室（メールにて要事前連絡）
景山　斎	助教	公衆衛生学講座	月曜日	16:00～17:00	2号館研究棟312号室（メールにて要事前連絡）
大橋　渉	准教授	臨床研究支援センター	講義終了後，講義室にて		
高橋　礼子	講師	災害医療研究センター	火～金	10:00～17:00	2号館研究棟2階252号室
古川　大祐	非常勤講師	愛知県保健医療局技監	講義終了後，講義室にて		

公 衆 衛 生 学 実 習

【単位数:0.5単位，授業15コマ】

1　科目責任者

菱田朝陽　教授（公衆衛生学）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅲ-１-ｂ，Ⅴ-１-ｂ，Ⅴ-２-ｂ，Ⅴ-３-ｂ）

① コンピテンス「医学知識と科学的探究心」を獲得するために，疾患の集団発生があった場合，地域医療に関係する各機関と協力して，病因と広がり方を特定し，対策を立てる手順を説明することで地域社会への貢献ができる。
② グループ内でのコミュニケーションを取って，討論しながら協力して課題を解決することができる。
③ 基本的な疫学指標を計算できる。

（２）　学修目標

① 地域社会における疾病予防，健康の維持・増進のための医師の役割を説明できる。
② 地域医療に関係する機関を挙げて，それぞれの役割を説明できる。
③ 課題に応じた疫学研究をデザインすることができる。
④ 疫学研究において，データの信頼性やバイアスを考慮することができる。
⑤ 疫学の基本的な指標の計算ができる。
⑥ 疫学研究で得られた結果を科学的に解釈し，応用することができる。
⑦ グループ内で自分の意見を他のメンバーが分かるように説明できる。
⑧ グループ内の他のメンバーの意見を聞き，質問をすることで理解することができる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
参加状況	○	40%	討論や分析への参加の状況
その他	○	40%	各グループの発表内容を評価する。
レポート	○	20%	授業の前半と最終日にレポートを課す。

出席：　実習を修得するためには，欠席をしてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

評価基準に達しなかった場合は，レポートの再提出を求める。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

各グループの発表に対して，授業の中でフィードバックを行う。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
アウトブレイクの危機管理	阿彦忠之	医学書院	感染症の集団発生対応が実習の参考となるため。

6　準備学習（予習・復習）

グループ討論１－５については，公衆衛生学の授業内容（疫学・公衆衛生学）をよく復習しておくこと（１－５で3時間）。

分析１－４については，疫学の部分を復習しておくこと（１－４で2時間）。

グループでのまとめと発表準備１－３については，PowerPoint の操作を復習しておくこと（１－３で1時間）。

終了後，できなかったところ，推論を誤ったところや，足りなかったところについて振り返って復習すること（全体で2時間）。

7　授業計画

（１）　実習の方法

オリエンテーションは講義形式で行い，他はセミナー室かマルチメディア教室での討論・作業となる。発表会では，各グループが発表した内容について討論する。

（２）　実習の内容

疾患の集団発生に対して，どのようにデータを集めて分析して対応するかを紙上シミュレーションで体得する。グループに分かれて作業を行い，グループで発表する。分析には，疫学や統計学の授業で習ったことを使用する。

疫学指標の計算に関するレポートを前半に，最終日に実習のシナリオで疑問に思った点と実習の感想に関するレポートを提出してもらう。

公衆衛生学実習

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/9/24(水)	1	ー	実習	実習内容の説明, グループ討論1	公衛学	教授	菱田 朝陽	202講
					公衛学	教授(特任)	林 櫻松	2階セ
					公衛学	講師	川合 紗世	3階セ
					公衛学	講師	篠壁 多恵	マルチAB
					公衛学	助教	景山 斎	
2025/9/24(水)	2	ー	実習	グループ討論2	公衛学	教授	菱田 朝陽	2階セ
					公衛学	教授(特任)	林 櫻松	3階セ
					公衛学	講師	川合 紗世	マルチAB
					公衛学	講師	篠壁 多恵	
					公衛学	助教	景山 斎	
2025/9/24(水)	3	ー	実習	グループ討論3	公衛学	教授	菱田 朝陽	2階セ
					公衛学	教授(特任)	林 櫻松	3階セ
					公衛学	講師	川合 紗世	マルチAB
					公衛学	講師	篠壁 多恵	
					公衛学	助教	景山 斎	
2025/9/24(水)	4	ー	実習	グループ討論4	公衛学	教授	菱田 朝陽	2階セ
					公衛学	教授(特任)	林 櫻松	3階セ
					公衛学	講師	川合 紗世	マルチAB
					公衛学	講師	篠壁 多恵	
					公衛学	助教	景山 斎	
2025/9/24(水)	5	ー	実習	グループ討論5	公衛学	教授	菱田 朝陽	2階セ
					公衛学	教授(特任)	林 櫻松	3階セ
					公衛学	講師	川合 紗世	マルチAB
					公衛学	講師	篠壁 多恵	
					公衛学	助教	景山 斎	
2025/10/1(水)	1	ー	実習	データ分析1	公衛学	教授	菱田 朝陽	2階セ
					公衛学	教授(特任)	林 櫻松	3階セ
					公衛学	講師	川合 紗世	マルチAB
					公衛学	講師	篠壁 多恵	
					公衛学	助教	景山 斎	
2025/10/1(水)	2	ー	実習	データ分析2	公衛学	教授	菱田 朝陽	2階セ
					公衛学	教授(特任)	林 櫻松	3階セ
					公衛学	講師	川合 紗世	マルチAB
					公衛学	講師	篠壁 多恵	
					公衛学	助教	景山 斎	
2025/10/1(水)	3	ー	実習	データ分析3	公衛学	教授	菱田 朝陽	2階セ
					公衛学	教授(特任)	林 櫻松	3階セ
					公衛学	講師	川合 紗世	マルチAB
					公衛学	講師	篠壁 多恵	
					公衛学	助教	景山 斎	

公衆衛生学実習

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/10/1(水)	4	ー	実習	データ分析4	公衛学	教授	菱田 朝陽	2階セ
					公衛学	教授(特任)	林 櫻松	3階セ
					公衛学	講師	川合 紗世	マルチAB
					公衛学	講師	篠壁 多恵	
					公衛学	助教	景山 斎	
2025/10/1(水)	5	ー	実習	グループでのまとめと発表準備1	公衛学	教授	菱田 朝陽	マルチAB
					公衛学	教授(特任)	林 櫻松	
					公衛学	講師	川合 紗世	
					公衛学	講師	篠壁 多恵	
					公衛学	助教	景山 斎	
2025/10/8(水)	1	ー	実習	グループでのまとめと発表準備2	公衛学	教授	菱田 朝陽	2階セ
					公衛学	教授(特任)	林 櫻松	3階セ
					公衛学	講師	川合 紗世	マルチAB
					公衛学	講師	篠壁 多恵	
					公衛学	助教	景山 斎	
2025/10/8(水)	2	ー	実習	グループでのまとめと発表準備3	公衛学	教授	菱田 朝陽	2階セ
					公衛学	教授(特任)	林 櫻松	3階セ
					公衛学	講師	川合 紗世	マルチAB
					公衛学	講師	篠壁 多恵	
					公衛学	助教	景山 斎	
2025/10/8(水)	3	ー	実習	発表と討論1	公衛学	教授	菱田 朝陽	2階セ
					公衛学	教授(特任)	林 櫻松	3階セ
					公衛学	講師	川合 紗世	マルチAB
					公衛学	講師	篠壁 多恵	
					公衛学	助教	景山 斎	
2025/10/8(水)	4	ー	実習	発表と討論2	公衛学	教授	菱田 朝陽	202講
					公衛学	教授(特任)	林 櫻松	マルチAB
					公衛学	講師	川合 紗世	
					公衛学	講師	篠壁 多恵	
					公衛学	助教	景山 斎	
2025/10/8(水)	5	ー	実習	発表と討論3	公衛学	教授	菱田 朝陽	202講
					公衛学	教授(特任)	林 櫻松	マルチAB
					公衛学	講師	川合 紗世	
					公衛学	講師	篠壁 多恵	
					公衛学	助教	景山 斎	

8 オフィスアワー　　公衆衛生学実習

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
菱田　朝陽	教授	公衆衛生学講座	月曜日	16:00～17:00	2号館研究棟3階372号室（メールにて要事前連絡）
林　櫻松	教授(特任)	公衆衛生学講座	月曜日	16:00～17:00	2号館研究棟3階374号室（メールにて要事前連絡）
川合　紗世	講師	公衆衛生学講座	月・水・木曜日	16:00～17:00	2号館研究棟312号室（メールにて要事前連絡）
篠壁　多恵	講師	公衆衛生学講座	月曜日	16:00～17:00	2号館研究棟312号室（メールにて要事前連絡）
景山　斎	助教	公衆衛生学講座	月曜日	16:00～17:00	2号館研究棟312号室（メールにて要事前連絡）

法　　医　　学

【単位数：1.5単位，授業24コマ（定期試験含まず）】

1　科目責任者

妹尾　洋　教授（法医学）

2　教育目標

［講義］

（１）　ねらい（Ⅰ-４-ｂ，Ⅲ-２-ｂ）

① コンピテンスの“プロフェッショナリズム”及び“医学的知識と科学的探究心”の理解のため，個体の死，死因究明，死体検案，死亡診断書（死体検案書）作成などの知識，技能，態度を学び，それらを理解する。

② 死に関係する諸事項を総合的に理解する。

（２）　学修目標

① 死の概念と定義や生物学的な個体の死を説明できる。

② 植物状態，脳死，心臓死及び脳死判定を説明できる。

③ 内因死と外因死について違いと内容を説明できる。

④ 各種損傷による死を説明できる。

⑤ 異常環境による死を説明できる。

⑥ 嬰児殺，虐待，乳幼児突然死症候群など乳幼児の死を説明できる。

⑦ 各種血液型，物体検査を説明できる。

⑧ 窒息による死を説明できる。

⑨ 中毒（一酸化炭素，青酸，農薬，アルコール，覚醒剤・麻薬・大麻などの乱用薬物，医薬品など）による死を説明できる。

⑩ 個人識別の方法を説明できる。

⑪ 異状死・異状死体の取り扱いと死体検案を説明できる。

⑫ 診断書，検案書，証明書（死産証書，死胎検案書，死亡診断書，死体検案書）を説明できる。

⑬ 死亡診断書と死体検案書を作成できる。

⑭ 病理解剖，法医解剖（司法解剖，行政解剖，死因・身元調査法解剖，承諾解剖）を説明できる。

［実習］

（１）　ねらい（Ⅲ-２-ｂ）

① コアコンピテンスの“医学的知識と科学的探究心”の理解のため，大規模災害時など身元不明死体の個人識別などにも重要な各種血液型検査及び物体検査の知識，技能を学び，それらを理解する。

② 法医学的に重要な各種検査を理解する。

（２）　学修目標

① ABO式，Rh式などの血液型判定の原理を理解し実践できる。

② 血痕予備試験，本試験の原理を理解し実践できる。

③ 毛髪検査の原理を理解し実践できる。

④ 精液検査の原理を理解し実践できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	90%	記述式と多肢選択問題で行う。
レポート	○	10%	実習レポート
態度	○	—	著しく態度不良の場合10点を限度に減点をする。

出席：　定期試験を受験するためには講義（7　授業計画（3）開催日時における講義タイトルの中で「講義」と記されたもの）の欠席率が3分の1を超えてはならない。

実習（7　授業計画（3）開催日時における講義タイトルの中で「実習」と記されたもの）を修得するためには，欠席をしてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60%以上で合格とする。

＊　レポートが不可の場合は，レポートの再提出を求める。

（３）　再試験・再評価の方法

上記（2）で総合成績が60%未満の場合は，再試験を実施する。

定期試験に準ずる試験を行う。60%以上を合格とする。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験の成績についての総括を学内メールで実施する。

レポートの成績についての総括を学内メール，又は，AIDLE-Kで実施する。

これにて理解が不十分な項目について再確認を促すとともに，定期試験で不合格となった者は再試験に備える。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
レジュメ配付			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
NEW 法医学・医事法(2008年)	勝又義直・鈴木　修編	南江堂	法医実務実践のための基本的内容が網羅されている。
死亡診断書・出生証明書・死産証書記入マニュアル	厚生省大臣官房統計情報部健康制作局監修	厚生統計協会	死亡診断書，死体検案書，死産証書，死胎検案書の作成について詳述されている。

6　準備学習（予習・復習）

【講義】

① 参考図書『NEW法医学・医事法』などにおいて，その目次全体を眺め，どのような事項が取り上げられているのかを確認しておく（1日あたり約15分）。

② 上記の中で，興味を惹いた項目について記載内容を読んでおく（1日あたり約0.5時間）。

③ それぞれの講義について配付されたレジュメの内容を講義後に再確認し，それ以降の講義に臨むこと（1日あたり約1時間）。

【実習】

① 参考図書『NEW法医学・医事法』などにおいて，実習内容について簡単な知識を得ておくこと（1日あたり約1時間）。

② AIDLE-K上の実習書ファイルの内容を予習し，実習に臨むこと（1日あたり約1時間）。

7　授業計画

（１）　講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型講義であるが，一部講義中に講師との質疑応答などを導入する。また，講義時間内に症例のスライドをできるだけ提示する。

（２）　講義の内容

最初の講義で個体の死，次に関連法規について解説し，それ以降は，各種死体現象，それぞれ異なる死因，個人識別，各種検査について，具体的内容を提示しながら講義を進める。

法医学

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/9/10(水)	3	ー	講義	総論・死	法医学	教授	妹尾　洋	202講
2025/9/10(水)	4	ー	講義	法規・異状死体等	法医学	教授	妹尾　洋	202講
2025/9/10(水)	5	ー	講義	死体現象	法医学	教授	妹尾　洋	202講
2025/9/17(水)	3	ー	講義	死体現象	法医学	教授	妹尾　洋	202講
2025/9/17(水)	4	ー	講義	鈍器・鋭器損傷	法医学	教授	妹尾　洋	202講
2025/9/17(水)	5	ー	講義	損傷の自他為・内部損傷・生活反応	法医学	教授	妹尾　洋	202講
2025/10/15(水)	3	ー	講義	損傷による死因・交通事故損傷	法医学	教授	妹尾　洋	202講
2025/10/15(水)	4	ー	講義	虐待・銃器損傷	法医学	教授	妹尾　洋	202講
2025/10/15(水)	5	ー	講義	窒息	法医学	教授	妹尾　洋	202講
2025/10/22(水)	3	ー	講義	窒息	法医学	教授	妹尾　洋	202講
2025/10/22(水)	4	ー	講義	異常環境	法医学	教授	妹尾　洋	202講
2025/10/22(水)	5	ー	講義	嬰児殺	法医学	教授	妹尾　洋	202講
2025/10/29(水)	3	ー	講義	中毒総論・各論	法医学	准教授	小川　匡之	202講
2025/10/29(水)	4	ー	講義	中毒各論	法医学	准教授	小川　匡之	202講
2025/10/29(水)	5	ー	講義	個人識別・骨鑑定	ー	非常勤講師	久保　勝俊	202講
2025/11/5(水)	3	ー	講義	個人識別・DNA	法医学	准教授(特任)	福田　真未子	202講
2025/11/5(水)	4	ー	講義	中毒症例・死体検案	法医学	教授	妹尾　洋	202講
2025/11/5(水)	5	ー	講義	死亡診断書	法医学	教授	妹尾　洋	202講
2025/11/12(水)	3	ー	講義	血液型	法医学	助教	岩井　雅枝	202講
2025/11/12(水)	4	ー	実習	血液型	法医学 法医学 法医学 法医学 法医学	教授 准教授 准教授(特任) 講師 助教	妹尾　洋 小川　匡之 福田　真未子 松尾　友仁 岩井　雅枝	研107
2025/11/12(水)	5	ー	実習	血液型	法医学 法医学 法医学 法医学 法医学	教授 准教授 准教授(特任) 講師 助教	妹尾　洋 小川　匡之 福田　真未子 松尾　友仁 岩井　雅枝	研107
2025/11/19(水)	1	ー	講義	物体検査	法医学	講師	松尾　友仁	202講
2025/11/19(水)	2	ー	実習	物体検査	法医学 法医学 法医学 法医学 法医学	教授 准教授 准教授(特任) 講師 助教	妹尾　洋 小川　匡之 福田　真未子 松尾　友仁 岩井　雅枝	研107
2025/11/19(水)	3	ー	実習	物体検査	法医学 法医学 法医学 法医学 法医学	教授 准教授 准教授(特任) 講師 助教	妹尾　洋 小川　匡之 福田　真未子 松尾　友仁 岩井　雅枝	研107
2025/12/17(水)	**3**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**法医学**	**教授**	**妹尾　洋**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
妹尾　洋	教授	法医学講座	月～水曜日	10:00～15:00	2号館研究棟268号室
小川　匡之	准教授	法医学講座	月～木曜日	9:00～17:00	2号館研究棟266号室
福田　真未子	准教授(特任)	法医学講座	月～木曜日	9:00～17:00	2号館研究棟266号室
松尾　友仁	講師	法医学講座	月～木曜日	9:00～17:00	2号館研究棟2階266号室
岩井　雅枝	助教	法医学講座	月～木曜日	9:00～17:00	2号館研究棟311号室
久保　勝俊	非常勤講師	愛知学院大学歯学部准教授	講義終了後，講義室にて		

健 康 増 進 と 疾 病 予 防

【単位数：1単位，授業14コマ（定期試験含まず）】

1　科目責任者

鈴木孝太　教授（衛生学）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅲ-6-b，Ⅴ-1-b）

① 1学年次後学期の行動科学1c，2学年次後学期の行動科学2に引き続き，コンピテンス「医学知識と科学的探究心」に基づき，人の健康行動につながる心理的，社会的要因について理解することを目標とする。

② さらに，「地域社会への貢献」における地域社会での疾病予防，健康の維持・増進のため，国レベルから地域レベルに至るさまざまな問題点を抽出，記述し，それらに対する具体的な対策を提案できることを目標とする。

（2）　学修目標

① ヘルスプロモーション，行動変容の理論について説明できる。
② 集団レベル，また個人レベルでの喫煙対策について説明できる。
③ 生活習慣病と関連した個人レベル，集団レベルの要因を列挙できる。
④ 生活習慣病と関連した要因について，それを改善する具体的な方法を説明できる。
⑤ 問題のある生活習慣を有する人に対して，具体的な改善案を提示できる。
⑥ 集団に対して，健康増進と疾病予防に対する健康教育を実施できる。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	50％	全範囲を対象に実施する。 記述式を原則とし，一部多肢選択問題を含む場合がある。
レポート	○	40％	適宜実施し，記述内容により評価する。詳細はガイダンス時に説明する。
小テスト	○	10％	確認テストとして実施する。教科書，講義資料持ち込み可（電子資料は不可）。
その他	○	―	受講態度などにより，総合成績に加減点（最大10％）する。加点により100点を超える場合は100点とする。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（3）　再試験・再評価の方法

定期試験，小テスト，レポートの合計が60％未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する（原則として当初のレポート点（30％），小テスト（10％），再試験（60％）の合計が60％以上で合格）。

（4）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

試験結果から，理解が不十分と思われる内容については，解説を一斉メールし再確認を促す。
また，定期試験で不合格となった者については，必要に応じ，補講を実施する。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
保健・医療・福祉における 行動科学入門 生活習慣の評価から行動変容の実践まで	鈴木孝太 柿崎真沙子 菊池宏幸 （編・著）	大修館書店	本学のカリキュラムと,医学教育コアカリキュラムに沿ったテキスト。プロフェッショナリズム1a（医療人入門）,行動科学1c,行動科学2,健康増進と疾病予防の内容に準拠している。
公衆衛生がみえる	医療情報科学研究所編	MEDIC MEDIA	医学，医療に関する，倫理的，法律的，社会的な事柄がわかりやすく整理されている。
各講義における配付資料			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
行動医学テキスト	日本行動医学会	中外医学社	医学教育コアカリキュラムに準拠し行動科学を網羅した良書。
Behavioral Science (7th edition)	Barbara Fadem	Wolkers Kluwer	アメリカの行動科学の標準テキスト。米国USMLEの問題も掲載し，利用価値は高い。
行動科学　健康づくりのための理論と応用	畑　栄一，土井由利子編	南江堂	個人の行動変容を促す方法を学ぶ上で有用。
医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎　生活習慣病を中心に	松本千明	医歯薬出版	特に生活習慣病を対象に，実際に行動変容を促す方法を学ぶのに有用。
健康行動と健康教育	Karen Glanzら（曽根智史ら訳）	医学書院	健康教育を含め，行動変容を促す方法を学ぶのに有用。
Theory in a Nutshell	Don Nutbeamら	McGraw-Hill Education	ヘルスプロモーションのさまざまな理論がまとめられている。
医療現場の行動経済学 すれ違う医者と患者	大竹文雄 平井 啓	東洋経済新報社	行動経済学の視点から，医療者，患者の考え方を説明している良書。
実践　医療現場の行動経済学 すれ違いの解消法	大竹文雄 平井 啓	東洋経済新報社	上記書籍の続編。医療におけるさまざまな問題について,具体的な解決策を示している。

6　準備学習（予習・復習）

授業に臨むにあたり,「公衆衛生がみえる」などの教科書，参考書で，講義内容に関わる事柄について簡単に情報収集しておく（1日あたり約0.5時間）。

グループ内で割り当てられた課題について学習し，グループ学習時に発表できるように準備しておく（1日あたり約0.5時間）。

7　授業計画

（1）　講義の方法

講義については，基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが，鈴木担当の講義では，前半（25分程度）を事前に指定したグループ（1グループ5～6人）でのグループ学習とする。具体的には，グループ内で割り当てられたテーマを各自が予習し，グループ内で発表後，その内容についてディスカッションする。講義の後半で，それらのテーマに関する内容の講義を行うなど，アクティブ・ラーニングを導入するので，指定されたグループごとに着席すること。

（2）　講義の内容

行動変容の理論について，2学年次までに行動科学で学んだことを基盤に，より具体的な例をもとに学んでいく。さらに個人レベル，また集団レベルでの健康増進，疾病予防について，具体的な健康問題を取り上げ，その対策を個人レベル，集団レベルで検討するための知識を提供する。

健康増進と疾病予防

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/9/10(水)	1	ー	講義	ガイダンス	衛生学	教授	鈴木 孝太	202講
2025/9/10(水)	2	ー	講義	企業における転倒予防事業	衛生学	講師	川越 隆	202講
2025/9/17(水)	1	ー	講義	ヘルスプロモーション，行動変容の理論	衛生学	教授	鈴木 孝太	202講
2025/9/17(水)	2	ー	AL	喫煙対策(1)	衛生学	教授	鈴木 孝太	202講
2025/10/15(水)	1	ー	講義	行動経済学と保健指導	衛生学	教授	鈴木 孝太	202講
2025/10/15(水)	2	ー	AL	喫煙対策(2)	衛生学	教授	鈴木 孝太	202講
2025/10/22(水)	1	ー	講義	AIDSボランティアと国際交流	ー	非常勤講師	佐野 正浩	202講
2025/10/22(水)	2	ー	AL	生活習慣病対策(1)	衛生学	教授	鈴木 孝太	202講
2025/10/29(水)	1	ー	講義	**確認テスト**	衛生学	教授	鈴木 孝太	101講
2025/10/29(水)	2	ー	講義	地域高齢者に対する健康増進事業	衛生学	講師	川越 隆	202講
2025/11/5(水)	1	ー	講義	ドクターヘリのシステムと地域社会（へき地・離島を含む。）への貢献(1)	ー	非常勤医師	青木 瑠里	202講
2025/11/5(水)	2	ー	講義	ドクターヘリのシステムと地域社会（へき地・離島を含む。）への貢献(2)	ー	非常勤医師	青木 瑠里	202講
2025/11/12(水)	1	ー	講義	働く女性の健康管理	衛生学	教授	鈴木 孝太	202講
2025/11/12(水)	2	ー	AL	生活習慣病対策(2)	衛生学	教授	鈴木 孝太	202講
2025/12/16(火)	**3**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**衛生学**	**教授**	**鈴木 孝太**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
鈴木 孝太	教授	衛生学講座	水曜日 （不定期）	17:30～18:30	2号館研究棟M3階371号室 （部署宛に要事前連絡）
川越 隆	講師	衛生学講座	水曜日	16:00～18:30	2号館研究棟3階312号室 （要事前連絡）
青木 瑠里	非常勤医師	福友病院 医師	講義終了後，講義室にて		
佐野 正浩	非常勤講師	国立国際医療研究センター 国際医療協力局 連携協力部 連携推進課局員	講義終了後，講義室にて		

Ｅ　Ｂ　Ｍ　実　習

【単位数：0.5単位，授業15コマ】

1　科目責任者

菱田朝陽　教授（公衆衛生学）

科目担当者
林　櫻松　教授（特任）（公衆衛生学）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅲ-10-ｂ）

① コンピテンス「医学知識と科学的探求心」のうち“医療における客観的根拠を適切に探索し，EBMを実施できる”を目標とする。

② EBM（科学的根拠に基づく医学）とは，臨床研究などによるエビデンス，医療者の専門性・経験と患者の価値観の3要素を統合し，より良い患者ケアのための意思決定を行うものである。EBM実習では，EBMを実践するために必要な臨床疫学の基本的な知識を身に着けるとともに，卒業後医師として患者に最適な医療を行えるようになるために，EBMの考え方とプロセスを理解し，実践もできることを目指す。

（２）　学修目標

① EBM，臨床疫学の概念と定義について説明できる。
② EBM実践のためのステップを説明できる。
③ 臨床上，生じた疑問を定式化することができる。
④ 定式化した疑問から，文献検索を行うことができる。
⑤ 臨床研究デザインの種類，それぞれの長所と短所について説明できる。
⑥ 論文の批判的吟味を行う際のプロセスを説明できる。
⑦ 疾病の経過を定量的に解釈するために，リスクと予後の臨床疫学的概念について説明できる。
⑧ リスクの概念と，臨床の場でその概念を理解していることの重要性について説明できる。
⑨ 診断，治療，予後に関する論文を批判的に吟味できる。
⑩ システマティックレビューとメタアナリシスについて説明できる。
⑪ 統計学的有意差と臨床的意義について説明できる。
⑫ 臨床試験の概念を説明できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	80％	AIDLE-Kを通じてレポートを提出する。
その他	○	20％	各グループの発表内容を評価する。
態度	○	―	受講態度が著しく不良の場合は10％を限度に減点をする。

出席：　実習を修得するためには，欠席をしてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（３） 再試験・再評価の方法

レポート，その他の合計が60％未満の場合は，レポートの再提出を求める。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

レポートについての総括をAIDLE-Kに掲示する。
不合格の者に理解が不十分な項目について再確認を促す。

４ 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

５ 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
公衆衛生が見える 2024-2025	赤澤宏平など	メディカルメディア	ＥＢＭの概要が分かりやすい。
Clinical Epidemiology the essentials sixth edition	Grant S. Fletcher	Wolters Kluwer	臨床疫学を系統的に学べる教材として適切。

６ 準備学習（予習・復習）

参考図書のEBMの概要や実習関連資料を読んで実習に臨むこと（１日あたり1時間）。

７ 授業計画

（１） 講義の方法

症例シナリオを用いて，実習形式でＥＢＭを実践する。実習中，個人ワークとグループワークの両方を取り入れ，特に患者への適用及びStep1-Step4の振り返りについては，小グループ討論やロールプレイなどのアクティブ・ラーニングを導入する。

（２） 講義の内容

1コマ目は，実施手順（Step1-Step4），到達ゴールと提出課題を説明する。1コマ目の後半から，実習形式で症例シナリオについて，臨床上の疑問を設定し，文献検索を行い，論文の批判的吟味を行う。最後の2コマは，実施手順Step1-Step4を振りかえる。

ＥＢＭ実習

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2026/1/14(水)	1	ー	実習	実施内容の説明, EBM Step 1 症例シナリオの検討及び臨床上質問の設定	公衛学	教授	菱田　朝陽	マルチAB
					公衛学	教授(特任)	林　櫻松	2階セ
					公衛学	講師	川合　紗世	3階セ
					公衛学	講師	篠壁　多恵	
					公衛学	助教	景山　斎	
2026/1/14(水)	2	ー	実習	EBM Step 2　エビデンスの収集(文献検索)	公衛学	教授	菱田　朝陽	マルチAB
					公衛学	教授(特任)	林　櫻松	2階セ
					公衛学	講師	川合　紗世	3階セ
					公衛学	講師	篠壁　多恵	
					公衛学	助教	景山　斎	
2026/1/14(水)	3	ー	実習	EBM Step 2　エビデンスの収集(文献検索)	公衛学	教授	菱田　朝陽	マルチAB
					公衛学	教授(特任)	林　櫻松	2階セ
					公衛学	講師	川合　紗世	3階セ
					公衛学	講師	篠壁　多恵	
					公衛学	助教	景山　斎	
2026/1/14(水)	4	ー	実習	EBM Step 2　エビデンスの収集(文献検索)	公衛学	教授	菱田　朝陽	マルチAB
					公衛学	教授(特任)	林　櫻松	2階セ
					公衛学	講師	川合　紗世	3階セ
					公衛学	講師	篠壁　多恵	
					公衛学	助教	景山　斎	
2026/1/14(水)	5	ー	実習	EBM Step 2　エビデンスの収集(文献検索)	公衛学	教授	菱田　朝陽	マルチAB
					公衛学	教授(特任)	林　櫻松	2階セ
					公衛学	講師	川合　紗世	3階セ
					公衛学	講師	篠壁　多恵	
					公衛学	助教	景山　斎	
2026/1/21(水)	1	ー	実習	EBM Step 2　エビデンスの収集(文献検索)	公衛学	教授	菱田　朝陽	マルチAB
					公衛学	教授(特任)	林　櫻松	2階セ
					公衛学	講師	川合　紗世	3階セ
					公衛学	講師	篠壁　多恵	
					公衛学	助教	景山　斎	
2026/1/21(水)	2	ー	実習	EBM Step 3 論文の批判的吟味	公衛学	教授	菱田　朝陽	マルチAB
					公衛学	教授(特任)	林　櫻松	2階セ
					公衛学	講師	川合　紗世	3階セ
					公衛学	講師	篠壁　多恵	
					公衛学	助教	景山　斎	
2026/1/21(水)	3	ー	実習	EBM Step 3 論文の批判的吟味	公衛学	教授	菱田　朝陽	マルチAB
					公衛学	教授(特任)	林　櫻松	2階セ
					公衛学	講師	川合　紗世	3階セ
					公衛学	講師	篠壁　多恵	
					公衛学	助教	景山　斎	

ＥＢＭ実習

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2026/1/21(水)	4	ー	実習	EBM Step 3 論文の批判的吟味	公衛学	教授	菱田　朝陽	マルチAB
					公衛学	教授(特任)	林　櫻松	2階セ
					公衛学	講師	川合　紗世	3階セ
					公衛学	講師	篠壁　多恵	
					公衛学	助教	景山　斎	
2026/1/21(水)	5	ー	実習	EBM Step 3 論文の批判的吟味	公衛学	教授	菱田　朝陽	マルチAB
					公衛学	教授(特任)	林　櫻松	2階セ
					公衛学	講師	川合　紗世	3階セ
					公衛学	講師	篠壁　多恵	
					公衛学	助教	景山　斎	
2026/1/28(水)	1	ー	実習	EBB Step 4 患者への適用	公衛学	教授	菱田　朝陽	マルチAB
					公衛学	教授(特任)	林　櫻松	2階セ
					公衛学	講師	川合　紗世	3階セ
					公衛学	講師	篠壁　多恵	
					公衛学	助教	景山　斎	
2026/1/28(水)	2	ー	AL	EBB Step 4 患者への適用	公衛学	教授	菱田　朝陽	マルチAB
					公衛学	教授(特任)	林　櫻松	2階セ
					公衛学	講師	川合　紗世	3階セ
					公衛学	講師	篠壁　多恵	
					公衛学	助教	景山　斎	
2026/1/28(水)	3	ー	AL	EBB Step 4 患者への適用	公衛学	教授	菱田　朝陽	マルチAB
					公衛学	教授(特任)	林　櫻松	2階セ
					公衛学	講師	川合　紗世	3階セ
					公衛学	講師	篠壁　多恵	
					公衛学	助教	景山　斎	
2026/1/28(水)	4	ー	AL	EBM Step 5 Step1-Step4の振り返り	公衛学	教授	菱田　朝陽	マルチAB
					公衛学	教授(特任)	林　櫻松	2階セ
					公衛学	講師	川合　紗世	3階セ
					公衛学	講師	篠壁　多恵	
					公衛学	助教	景山　斎	
2026/1/28(水)	5	ー	AL	EBM Step 5 Step1-Step4の振り返り，総括	公衛学	教授	菱田　朝陽	マルチAB
					公衛学	教授(特任)	林　櫻松	2階セ
					公衛学	講師	川合　紗世	3階セ
					公衛学	講師	篠壁　多恵	
					公衛学	助教	景山　斎	

8 オフィスアワー　　EBM実習

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
菱田　朝陽	教授	公衆衛生学講座	月曜日	16:00～17:00	2号館研究棟3階372号室（メールにて要事前連絡）
林　櫻松	教授(特任)	公衆衛生学講座	月曜日	16:00～17:00	2号館研究棟3階374号室（メールにて要事前連絡）
川合　紗世	講師	公衆衛生学講座	月・水・木曜日	16:00～17:00	2号館研究棟312号室（メールにて要事前連絡）
篠壁　多恵	講師	公衆衛生学講座	月曜日	16:00～17:00	2号館研究棟312号室（メールにて要事前連絡）
景山　斎	助教	公衆衛生学講座	月曜日	16:00～17:00	2号館研究棟312号室（メールにて要事前連絡）

地 域 包 括 ケ ア 実 習

【単位数：1単位，授業30コマ】

1　科目責任者

鈴木孝太　教授（衛生学）

科目担当者
川越　隆　講師（衛生学）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅰ-1-b，Ⅰ-2-b，Ⅰ-3-b，Ⅰ-11-b，Ⅰ-12-b，Ⅰ-13-b，Ⅱ-1-b，Ⅱ-2-b，Ⅴ-5-b）

① コンピテンス「プロフェッショナリズム」に基づいて医師としての価値観・態度・姿勢を，実習施設の利用者や患者，その家族から醸成し，他職種の考えや役割を学ぶことで，チーム医療の実際を理解することを目標とする。

② さらに，「コミュニケーション」における患者・家族医療チームメンバー・住民・社会との良好な関係を構築できること，「診療実践」におけるプライマリケアや，介護/ケアを含むさまざまな視点からの患者ケアの実践ができること，そして最終的に「地域社会への貢献」における地域包括ケアの実践に参加できることを目標とする。

（2）　学修目標

① 地域包括ケアの仕組みについて説明できる。
② 高齢者や障害を持つ方の介護等の実態を説明できる。
③ 老人保健施設等における多職種連携について説明できる。
④ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。
⑤ 施設利用者・患者・家族の話を傾聴し，共感することができる。
⑥ 施設利用者・患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	20%	適宜実施するレポートと，実習報告書により評価する。
その他	○	80%	実習先の施設からの評価，報告会の準備や報告内容。

出席：　実習の単位を修得するためには，ガイダンス，施設での実習，報告会，全てで欠席をしてはならない。

（2）　合格基準

求められた実習に全て参加することが必須であり，上記の点数が100点満点のうち，60点以上を合格とするが，実習施設からの評価が著しく低い場合も不合格とする。

（3）　再試験・再評価の方法

不合格となった学生に対し，再実習は実施しない。

また，ガイダンスや報告会における態度が著しく不良，あるいは，実習施設からの態度評価が不可の場合は，進級判定会議にて協議の上，単位認定の可否を判断する。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

実習中，問題が生じた場合には，メールなどで全員にその内容を伝える。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
公衆衛生がみえる		MEDIC MEDIA	医学，医療に関する，倫理的，法律的，社会的な事柄がわかりやすく整理されている。
医療現場の行動経済学 すれ違う医者と患者	大竹文雄 平井 啓	東洋経済新報社	行動経済学の視点から，医療者，患者の考え方を説明している良書。
実践 医療現場の行動経済学 すれ違いの解消法	大竹文雄 平井 啓	東洋経済新報社	上記書籍の続編。医療におけるさまざまな問題について，具体的な解決策を示している。

6 準備学習（予習・復習）

○ 実習先に事前に連絡し，初日の集合時刻，集合場所など，実習に必要な情報を確認しておくこと。
○ 地域包括ケアシステムや，高齢者保健など，行動科学，衛生学，公衆衛生学の講義で学んだことを復習しておくこと（1時間）。
○ 実習施設の概要，どのような職種のスタッフが働いているかなどを事前に調べておくこと（0.5時間）。
○ それ以外の準備学習については，説明会時に指示する。

7 授業計画

（１） 実習の方法

実習は，8月26日から9月４日までの8日間のうち，４日間実施する予定である。
基本的には，各施設の実習担当者の指示に従い実習を行う。

（２） 実習の内容

高齢者や，在宅での介護が必要な人々の生活を知り，どのように支援すればいいのかを知るために，実際の施設やサービスを見学，また経験する。

なお，2019年度（2020年度～2022年度はオンラインで実施，2023～2024年度はオンラインと一部施設で実施）の実習施設は以下のとおりであるが，実習先の事情などにより変更の可能性がある。

医療法人桂名会 名東老人保健施設
医療法人大医会 日進おりど病院
医療法人善樹会 老人保健施設ウェルネス守山
医療法人生寿会 日進老人保健施設
医療法人宏生会 老人保健施設すこやか荘
医療法人博報会 老人保健施設いのこし
医療法人東恵会 介護老人保健施設星ヶ丘アメニティクラブ
社会福祉法人聖霊会 老人保健施設 サンタマリア
医療法人財団愛泉会 老人保健施設愛泉館
医療法人名翔会 老人保健施設 和合の里
医療法人社団喜峰会 東海記念病院
公立陶生病院
社会福祉法人 愛知県厚生事業団 愛厚ホーム瀬戸苑

医療法人宏和会　瀬戸みどりのまち病院
医療法人和光会　介護老人保健施設　清風苑
医療法人福友会　福友病院
医療法人香徳会　メイトウホスピタル
医療法人アライフサポート　ココカラハートクリニック
笹本内科医院
医療法人真会　日進胃腸科・外科
医療法人たんぽぽ　たんぽぽクリニック
医療法人財団愛泉会　愛知国際病院
社会福祉法人　名古屋市名東区社会福祉協議会
みよし市民病院
有限会社　ハートフルハウス
訪問看護ステーション糸
かしのき訪問看護ステーション
れんげ訪問看護ステーション
みんなのかかりつけ訪問看護ステーション
訪問看護ステーションとも
訪問看護ステーションえまい
訪問看護ステーションパウ
介護老人保健施設　葵の園　長久手
長久手市社会福祉協議会　長久手市地域包括支援センター

地域包括ケア実習

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/8/25(月)	1	ー	講義	実習ガイダンス	衛生学 衛生学	教授 講師	鈴木 孝太 川越 隆	202講
2025/8/25(月)	2	ー	講義	実習ガイダンス	衛生学 衛生学	教授 講師	鈴木 孝太 川越 隆	202講
2025/8/25(月)	3	ー	講義	実習ガイダンス	衛生学 衛生学	教授 講師	鈴木 孝太 川越 隆	202講
2025/8/25(月)	4	ー	演習	実習準備	衛生学 衛生学	教授 講師	鈴木 孝太 川越 隆	202講
2025/8/25(月)	5	ー	演習	実習準備	衛生学 衛生学	教授 講師	鈴木 孝太 川越 隆	202講
2025/8/26(火)	1	ー	演習	実習施設における実習				学外実習施設での実習
2025/8/26(火)	2	ー	演習					
2025/8/26(火)	3	ー	演習					
2025/8/26(火)	4	ー	演習					
2025/8/26(火)	5	ー	演習					
2025/8/27(水)	1	ー	演習	実習施設における実習				学外実習施設での実習
2025/8/27(水)	2	ー	演習					
2025/8/27(水)	3	ー	演習					
2025/8/27(水)	4	ー	演習					
2025/8/27(水)	5	ー	演習					
2025/8/28(木)	1	ー	演習	実習施設における実習				学外実習施設での実習
2025/8/28(木)	2	ー	演習					
2025/8/28(木)	3	ー	演習					
2025/8/28(木)	4	ー	演習					
2025/8/28(木)	5	ー	演習					
2025/8/29(金)	1	ー	演習	実習施設における実習				学外実習施設での実習
2025/8/29(金)	2	ー	演習					
2025/8/29(金)	3	ー	演習					
2025/8/29(金)	4	ー	演習					
2025/8/29(金)	5	ー	演習					
2025/9/1(月)	1	ー	演習	実習施設における実習				学外実習施設での実習
2025/9/1(月)	2	ー	演習					
2025/9/1(月)	3	ー	演習					
2025/9/1(月)	4	ー	演習					
2025/9/1(月)	5	ー	演習					
2025/9/2(火)	1	ー	演習	実習施設における実習				学外実習施設での実習
2025/9/2(火)	2	ー	演習					
2025/9/2(火)	3	ー	演習					
2025/9/2(火)	4	ー	演習					
2025/9/2(火)	5	ー	演習					

地域包括ケア実習

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/9/3(水)	1	ー	演習	実習施設における実習				学外実習施設での実習
2025/9/3(水)	2	ー	演習					
2025/9/3(水)	3	ー	演習					
2025/9/3(水)	4	ー	演習					
2025/9/3(水)	5	ー	演習					
2025/9/4(木)	1	ー	演習	実習施設における実習				学外実習施設での実習
2025/9/4(木)	2	ー	演習					
2025/9/4(木)	3	ー	演習					
2025/9/4(木)	4	ー	演習					
2025/9/4(木)	5	ー	演習					
2025/9/5(金)	1	ー	演習	実習のまとめ・報告会(グループワーク)	衛生学 衛生学	教授 講師	鈴木　孝太 川越　隆	101講
2025/9/5(金)	2	ー	演習	実習のまとめ・報告会(グループワーク)	衛生学 衛生学	教授 講師	鈴木　孝太 川越　隆	101講
2025/9/5(金)	3	ー	演習	実習のまとめ・報告会(グループワーク)	衛生学 衛生学	教授 講師	鈴木　孝太 川越　隆	101講
2025/9/5(金)	4	ー	演習	実習のまとめ・報告会(グループワーク)	衛生学 衛生学	教授 講師	鈴木　孝太 川越　隆	101講
2025/9/5(金)	5	ー	演習	実習のまとめ・報告会(グループワーク)	衛生学 衛生学	教授 講師	鈴木　孝太 川越　隆	101講

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
鈴木　孝太	教授	衛生学講座	水曜日 （不定期）	17:30～18:30	2号館研究棟M3階371号室 （部署宛に要事前連絡）
川越　隆	講師	衛生学講座	水曜日	16:00～18:30	2号館研究棟3階312号室 （要事前連絡）

選　択　講　座　3

【単位数：1単位，授業13コマ】

1　科目責任者

早稲田勝久　教授（医学教育センター）

2　教育目標

（1）　ねらい

① 医学教育モデルコアカリキュラムに定められている指針にとらわれず，「プロフェッショナリズム」，「コミュニケーション」，「医学知識と科学的探究心」，「診療技能」，「地域社会への貢献」について理解を深め，幅広い知識・技能・態度/姿勢を身につける。

② 医学教育モデルコアカリキュラムの選択科目を創出し，上級生が屋根瓦式に下級生を指導する体制を構築する。

（2）　学修目標

選択するコースにより学修目標は異なるが，医療従事者になるものとして，多様な知識・技能・態度/姿勢を修得できる。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は不可とする。
その他	○	—	1コース（3コマ）毎に評価する。評価方法はコース毎に異なる。

出席：　全ての講義・演習に出席する必要がある。

（2）　合格基準

すべての評価対象において，不可がないこと（合否の2段階で判定）。

（3）　再試験・再評価の方法

課題・レポートを課す。

（4）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

各授業で与えられる課題について，その場で口頭にてフィードバックする（選択コースによって差異あり）。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
コースにより異なる。			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
コースにより異なる。			

6　準備学習（予習・復習）

選択コース毎のコース内容案内を参照すること。

7　授業計画

（１）　講義の方法

選択するコース毎に授業の方法は異なる。

（２）　講義の内容

選択コース毎のコース内容案内を参照すること。
開講するコースについては，AIDLE-K を参照すること。

（３）　開催日時

別途掲示する日程表を参照すること。

消　化　器　学

【単位数：4単位，授業52コマ，予備3コマ（定期試験含まず）】
当該科目は医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である

1　科目責任者

伊藤　理　教授（呼吸器・アレルギー内科）

科目担当者
伊藤　清顕　教授（肝胆膵内科）
佐野　　力　教授（消化器外科）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅲ-3-c，Ⅲ-4-c，Ⅲ-5-c）

① 臨床の場において消化器（消化管，肝・胆・膵）及びこれらに関連する疾患の頻度は高い。コアコンピテンスの“消化器系”の理解のためには，内科学・外科学の両分野にわたる知識のみならず，基礎医学で学んだ知識も必要である。本講義のねらいは，消化器疾患の診断・治療で求められる知識，技能，態度を学び，そのことによって“プロフェッショナリズム”の涵養にもつなげる。
② 消化器系の正常構造と機能を理解し，主な消化器系疾患の病因，病態生理，症候，診断と治療を学び説明することができる。

（2）　学修目標

① 消化器の解剖と機能について説明できる。
② 主要な消化器症候を列挙することができ，内容を説明できる。
③ 主要な消化器疾患の病態を説明でき，症候と関連付けることができる。
④ 腹部領域を中心とする診察法を説明でき，所見を記述できる。
⑤ 消化器診療に必要な各種の臨床検査の概要を説明でき，その意義を述べることができる。
⑥ 各種消化器画像検査法の概要を説明でき，所見を述べることができる。
⑦ 消化器疾患の内科的治療法を列挙し，その適応と限界を説明できる。
⑧ 消化器疾患の外科的治療法を列挙し，その概要と適応を説明できる。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	70%	多肢選択問題を原則とし，一部記述式問題を含む場合がある。
中間テスト	○	20%	消化管内科，消化器外科の各分野において終了時に実施する。記述式問題を原則とし，一部多肢選択問題を含む場合がある。
レポート	○	10%	肝胆膵内科のTBLにおけるレポートを評価する。
態度	○	—	著しく態度不良の場合10点を限度に減点をする。

・定期試験を受験するためには，欠席率が3分の1を越えてはならない。
・定期試験を欠席した場合の救済措置(追試験やレポート提出による得点など)は一切行わない。
・中間テストについては追試験と再試験を行わない。また，中間テストを受験しなかった際の救済措置(レポート提出による得点など)は一切行わず，得点は 0 点とする。
・レポート(TBL，CBL)が未提出の場合は，欠席とし，得点は 0 点とする。
なお，当該講義(TBL，CBL)終了以降に提出されたレポートは一切受け付けない。

（２）合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。不合格者には再試験（定期試験に準ずる）を行う。

（３）再試験・再評価の方法

定期試験と中間テストの合計が60％未満の場合は，再試験を実施する。

再試験は，定期試験に準ずる方法で実施する（60％以上で合格）。

（４）課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験や中間テストで正答率の低かった問題，理解が不十分と思われた問題については，学内メールで案内する。

４　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
講義前後に AIDLE-K にアップロードされた資料			

５　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
内科学　第12版	矢崎義男	朝倉書店 2022	消化器疾患を網羅し病態についても詳細に記載されているため。
新臨床内科学　第9版	高久史麿	医学書院	最新の疾患概念と診断・治療をコンパクトにまとめ系統別の総論や症候に関する知識を収録。
内科診断学　第3版	福井次矢，奈良信雄	医学書院	内科診断学の基本が網羅されている。
イヤーノート 2025	岡庭　豊　編	メディックメディア	過去の国試で問われた内科外科の知識すべて記載しており，国試で狙われている知識，その範囲が一目でわかる。
カラー版　消化器病学	浅香正博，管野健太郎，千葉　勉	西村書店	消化器病学全般がカラーでわかりやすく網羅されている。
標準外科学　第16版	北野正剛，坂井義治 監修 田邉　稔，池田徳彦，大木隆生　編	医学書院 2022	最新の疾患概念と診断手術についてコンパクトにまとめられている。
標準小児外科学　第8版	上野　滋 監修 仁尾正記，奥山宏臣，田尻達郎　編	医学書院 2022	小児外科についての標準的な教科書。

６　準備学習（予習・復習）

① 授業に臨むに当たり，参考図書の中より選んで，講義タイトルについての簡単な知識を得ておくこと（1コマあたり約15分）。

② 上記参考図書の中で，興味を抱いた項目については，参考図書の記載内容を読んでおく（1コマあたり約0.5時間）。

③ 講義前後にAIDLE-Kにアップロードされた資料や，講義内での小テストについて復習し，以降の講義に臨むこと（1コマあたり約0.5時間）。

7　授業計画

（１）　講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが，中間テスト・小テストの他， CBLやTBLなどによる小グループ討論や講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

（２）　講義の内容

1コマ目に総論として消化器学に関するキーワードを解説し，2コマ目以降は，講義タイトルに沿ったそれぞれの症候，病態，治療などの概略理解を進めていく。それぞれの分野の講義の最後には中間テストにより知識の確認を行う。また，適時，TBL・CBLによるアクティブ・ラーニングを実施する。

消化器学

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/9/8(月)	1	－	講義	食道良性疾患の診断と治療	－	非常勤講師	春日井　邦夫	202講
2025/9/8(月)	2	－	講義	食道悪性疾患の診断と内科治療	－	非常勤講師	春日井　邦夫	202講
2025/9/8(月)	3	－	講義	内視鏡総論	消内	教授(特任)	海老　正秀	202講
2025/9/8(月)	4	－	JS(垂直)	消化管の解剖生理	解剖学	教授	内藤　宗和	202講
2025/9/8(月)	5	－	JS(垂直)	消化器系の臨床解剖	解剖学	教授	内藤　宗和	202講
2025/9/9(火)	1	－	JS(垂直)	上部消化管の病理	病理学	講師	中村　律子	202講
2025/9/9(火)	2	－	JS(垂直)	下部消化管の病理	病理学	講師	中村　律子	202講
2025/9/9(火)	3	－	講義	慢性胃炎，ヘリコバクターピロリ感染症	消内	講師	足立　和規	202講
2025/9/9(火)	4	－	講義	脳腸相関と消化器疾患	－	客員教授	金子　宏	202講
2025/9/9(火)	5	－	講義	機能性消化管障害	消内	講師	井澤　晋也	202講
2025/9/11(木)	1	－	JS(水平)	食道運動障害の基礎と臨床	解剖学 生理学 消内 消内	教授 教授 教授(特任) 講師	内藤　宗和 佐藤　元彦 小笠原　尚高 井澤　晋也	202講
2025/9/11(木)	2	－	講義	AGML，消化性潰瘍	消内	教授(特任)	小笠原　尚高	202講
2025/9/11(木)	3	－	講義	胃腫瘍(良性・悪性)	消内	教授(特任)	小笠原　尚高	202講
2025/9/11(木)	4	－	講義	炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎,Crohn病)	消内	教授(特任)	佐々木　誠人	202講
2025/9/11(木)	5	－	講義	症候学(消化管領域)	消内	教授(特任)	小笠原　尚高	202講
2025/9/12(金)	1	－	JS(水平)	大腸ポリープ・消化管ポリポージス	消内 生化学	教授(特任) 教授(特任)	佐々木　誠人 都築　忍	202講
2025/9/12(金)	2	－	講義	消化管疾患の内視鏡的診断・治療	消内	教授(特任)	海老　正秀	202講
2025/9/12(金)	3	－	講義	大腸腫瘍(良性・悪性)	消内	講師	山口　純治	202講
2025/9/12(金)	4	－	講義	小腸疾患と血管閉塞性腸疾患	消内	教授(特任)	小笠原　尚高	202講
2025/9/12(金)	5	－	講義	感染性腸炎の病態と治療	消内	講師	足立　和規	202講
2025/9/16(火)	1	－	JS(水平)	炎症性腸疾患の臨床	消内 － 病理診断	教授(特任) 客員教授 教授	佐々木　誠人 小松　俊一郎 都築　豊徳	202講
2025/9/16(火)	2	－	－	**中間テスト(消化管内科)**	消内	教授(特任)	佐々木　誠人	101講
2025/9/16(火)	3	－	AL	CBL	消内	教授(特任)	佐々木　誠人	101講
2025/9/16(火)	4	－	講義	肝・胆・膵疾患総論	肝胆膵	教授	伊藤　清顕	202講
2025/9/16(火)	5	－	講義	胆膵系検査手技	肝胆膵	准教授	井上　匡央	202講
2025/9/18(木)	1	－	講義	肝機能検査	肝胆膵	講師	坂本　和賢	202講
2025/9/18(木)	2	－	講義	胆石症，胆嚢炎，胆嚢ポリープ	肝胆膵	助教	北野　礼奈	202講
2025/9/18(木)	3	－	講義	胆道系悪性腫瘍	肝胆膵	助教	北野　礼奈	202講
2025/9/18(木)	4	－	講義	急性・慢性膵炎	肝胆膵	准教授	井上　匡央	202講
2025/9/18(木)	5	－	講義	膵腫瘍(良性・悪性疾患)・嚢胞性疾患・膵内分泌腫瘍	肝胆膵	准教授	井上　匡央	202講
2025/9/19(金)	1	－	講義	ウイルス性肝炎(A・B・Cなど)，急性肝不全(ウイルス・薬剤など)	肝胆膵	教授	伊藤　清顕	202講
2025/9/19(金)	2	－	講義	慢性肝炎(B型,C型など)	肝胆膵	教授	伊藤　清顕	202講
2025/9/19(金)	3	－	講義	肝硬変・肝不全(含,門亢症,肝性脳症)肝腫瘍などの肝感染症	肝胆膵	講師	坂本　和賢	202講
2025/9/19(金)	4	－	講義	肝腫瘍(良性・悪性)	肝胆膵	准教授(特任)	荒井　潤	202講
2025/9/19(金)	5	－	JS(水平)	肝炎の臨床と病理像	肝胆膵 病理学	教授 助教	伊藤　清顕 陸　美穂	202講

消化器学

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/9/22(月)	1	―	講義	自己免疫性肝疾患(含,PBC),薬物性肝障害,硬化性胆管炎(PSC,IgG4関連疾患)	肝胆膵	准教授(特任)	荒井　潤	202講
2025/9/22(月)	2	―	講義	非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD)とアルコール性肝障害	肝胆膵	准教授(特任)	荒井　潤	202講
2025/9/22(月)	3	―	―	予備				
2025/9/22(月)	4	―	AL	TBL(レポート提出あり)	肝胆膵	教授	伊藤　清顕	101講
2025/9/22(月)	5	―	AL	TBL(レポート提出あり)	肝胆膵	教授	伊藤　清顕	101講
2025/9/25(木)	1	―	JS(水平)	新生児～学童期の小児外科疾患	消外	教授(特任)	金子　健一朗	202講
2025/9/25(木)	2	―	JS(水平)	胃疾患の外科, 胃切除後症候群(含,後遺症)	消外	講師	篠原　健太郎	202講
2025/9/25(木)	3	―	JS(水平)	食道疾患の外科	―	客員教授	宮地　正彦	202講
2025/9/25(木)	4	―	JS(水平)	肝疾患の外科	消外	准教授	深見　保之	202講
2025/9/25(木)	5	―	JS(水平)	膵疾患の外科	消外	准教授	深見　保之	202講
2025/9/26(金)	1	―	JS(水平)	消化器疾患の画像と術式選択(肝胆膵)	消外	講師	大澤　高陽	202講
2025/9/26(金)	2	―	JS(水平)	小腸・大腸疾患の外科	―	客員教授	小松　俊一郎	202講
2025/9/26(金)	3	―	JS(水平)	肛門疾患	―	非常勤講師	三枝　純一	202講
2025/9/26(金)	4	―	JS(水平)	胆道疾患の外科	消外	教授	佐野　力	202講
2025/9/26(金)	5	―	―	予備				
2025/9/29(月)	1	―	JS(水平)	消化器疾患の画像と術式選択(消化管)	消外	講師	松村　卓樹	202講
2025/9/29(月)	2	―	JS(水平)	イレウス, ヘルニア, 腹壁疾患など	消外	准教授(特任)	齊藤　卓也	202講
2025/9/29(月)	3	―	JS(水平)	消化器画像診断のための局所解剖	消外	教授(特任)	金子　健一朗	202講
2025/9/29(月)	4	―	―	予備				
2025/9/29(月)	5	―	―	**中間テスト(消化器外科)**	消外	教授	佐野　力	101講
2025/9/30(火)	1	―	―	自習				
2025/9/30(火)	2	―	―	自習				
2025/9/30(火)	3	―	―	自習				
2025/9/30(火)	4	―	―	自習				
2025/9/30(火)	**5**	**―**	**―**	**定期試験**	**呼内**	**教授**	**伊藤　理**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
伊藤　理	教授	内科学講座(呼吸器・ｱﾚﾙｷﾞｰ内科)	水曜日	16:00～17:00	D棟3階教授室
佐々木　誠人	教授(特任)	内科学講座(消化管内科)	月曜～金曜	16:00～18:00	D棟3階消化管内科・肝胆膵内科医局
小笠原　尚高	教授(特任)	内科学講座(消化管内科)	月・水・木・金曜	16:00～18:00	D棟2階消化管内科・肝胆膵内科医局
海老　正秀	教授(特任)	消化管内科	月曜・水曜・木曜	16:00～18:00	D棟3階消化管内科・肝胆膵内科医局
井澤　晋也	講師	消化管内科	月曜～金曜	16:00～18:00	D棟2階消化管内科・肝胆膵内科医局
山口　純治	講師	消化管内科	火曜日	16:00～17:00	D棟2階消化管内科・肝胆膵内科医局
足立　和規	講師	消化管内科	月曜～金曜	16:00～18:00	D棟2階消化管内科・肝胆膵内科医局
伊藤　清顕	教授	内科学講座(肝胆膵内科)	月～金曜日	16:00～18:00	D棟3階教授室
井上　匡央	准教授	内科学講座(肝胆膵内科)	水曜日	17:00～18:00	D棟2階消化管内科・肝胆膵内科医局
荒井　潤	准教授(特任)	内科学講座(肝胆膵内科)	月～金曜日	16:00～18:00	D棟2階消化管内科・肝胆膵内科医局
坂本　和賢	講師	肝胆膵内科	月～金曜日	16:00～18:00	D棟2階消化管内科・肝胆膵内科医局
北野　礼奈	助教	肝胆膵内科	月～金曜日	16:00～18:00	D棟3階消化管内科・肝胆膵内科医局
佐野　力	教授	外科学講座(消化器外科)	火～金曜日	16:00～18:00	C棟11階外科学講座医局
金子　健一朗	教授(特任)	外科学講座(消化器外科)	月～金曜日	16:00～18:00	C棟11階外科学講座医局
齊藤　卓也	准教授(特任)	外科学講座(消化器外科)	講義終了後，講義室にて		
深見　保之	准教授	外科学講座(消化器外科)	月～金曜日	16:00～18:00	C棟11階外科学講座医局
大澤　高陽	講師	消化器外科	月～金曜日	16:00～18:00	C棟11階外科学講座医局
篠原　健太郎	講師	消化器外科	月～金曜日	16:00～18:00	C棟11階外科学講座医局
松村　卓樹	講師	外科学講座(消化器外科)	月～金曜日	16:00～18:00	C棟11階外科学講座医局
佐藤　元彦	教授	生理学講座	月・水曜日	17:00～19:00	2号館研究棟M2階274号室
都築　忍	教授(特任)	生化学講座	月・木曜日	15:00～17:00	2号館研究棟3階362号室
中村　律子	講師	病理学講座	月・火・木曜日	10:00～17:00	2号館研究棟2階261号室
陸　美穂	助教	病理学講座	火～木曜日	10:00～17:00	2号館研究棟2階260号室
都築　豊徳	教授	病理診断学講座	月曜日	16:00～17:00	病理診断センター
春日井　邦夫	非常勤講師	愛知医科大学名誉教授	講義終了後，講義室にて		
金子　宏	非常勤講師	愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		
小松　俊一郎	非常勤講師	愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		
三枝　純一	非常勤講師	医療法人俊雄会三枝クリニック 肛門科 院長	講義終了後，講義室にて		
宮地　正彦	非常勤講師	愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		

循　環　器　学

【単位数：3単位，授業42コマ，予備3コマ（定期試験含まず）】
当該科目は医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

1　科目責任者

天野哲也　教授（循環器内科）

科目担当者
松山克彦　教授（心臓外科）
児玉章朗　教授（血管外科）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅲ-3-b，Ⅲ-4-b，Ⅲ-5-a）

① コンピテンス：医学知識と科学的探究心のコンピテンシー：4．疾患の病態と症候を説明でき，その鑑別と診断を計画できる。
② 循環器（心血管）系の構造と機能を理解し，疾患の適切な治療，最新の治療を理解し説明できる。

（2）　学修目標

① 主要な循環器系症候をあげ，それを説明できる。
② 心不全の原因疾患と病態生理を説明できる。
③ 虚血性心疾患の病態生理，症候，診断と合併症を説明し，治療を概説できる。
④ 不整脈の診断，対処法を説明できる。
⑤ 動脈・静脈疾患の病態を理解し，適切な治療法を説明できる。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	90%	多肢選択問題
小テスト	○	10%	アクティブ・ラーニングの際に多肢選択問題の小テストを実施する。
態度	○	—	受講態度が不良の場合は，10点を限度に減点をする。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）　合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（3）　再試験・再評価の方法

定期試験で60%未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する（60%以上で合格）。ただし，再試験並びに追試験では記述式の場合がある。

（4）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

試験で正解率，識別指数が著しく不良な問題は解説を公開する。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
配付資料			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
ハリソン内科学　第5版	日本語版監修 福井次矢， 黒川　清	メディカル・サイエンス・インターナショナル	内科学のスタンダードとして過不足なく良質。

6　準備学習（予習・復習）

内科は小テストを行うので必ず予習をする。アウトラインの分かりやすい参考書でもかまわないので各項目を勉強しておくこと（1日あたり約2時間）。

7　授業計画

（1）　講義の方法

基本的に講義室での知識伝達型の講義であるが，内科は一部，講義室で小グループ討論や講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを行う。

血管外科は通常の講義方式。

（2）　講義の内容

アクティブ・ラーニングの内容は，

1　初めに小テストを行う。小テスト中は電子媒体通信機器の使用は禁止とする。他人の答えを覗くことはもちろん禁止。

2　小テストの問題を自己で学習する。解答の理由づけに重きを置いて広く深く学習する。不正解の解答選択肢についても学習する。

3　少人数グループを編成しグループ内でそれぞれが問題の解説をする。グループ内で質疑応答をし，問題理解の質を向上する。

4　学年全体で質疑応答をする。

循環器学

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/14(月)	1	ー	講義	心臓血管の構造と機能	循内	教授(特任)	安藤　博彦	202講
2025/4/14(月)	2	ー	講義	動脈硬化疾患の病態生理	ー	客員教授	川崎　雅規	202講
2025/4/14(月)	3	ー	講義	心不全の病態生理	ー	客員教授	川崎　雅規	202講
2025/4/14(月)	4	ー	講義	循環器総論	循内	教授	天野　哲也	202講
2025/4/14(月)	5	ー	講義	虚血性心疾患	循内	教授	天野　哲也	202講
2025/4/15(火)	1	ー	JS(垂直)	循環器疾患の病理①	病理学	助教	陸　美穂	202講
2025/4/15(火)	2	ー	JS(垂直)	降圧薬	薬理学	教授	丸山　健太	202講
2025/4/15(火)	3	ー	講義	心不全治療(非薬物療法, 心移植)	循内	講師	国村　彩子	202講
2025/4/15(火)	4	ー	講義	血圧異常(本態性, 二次性, 低血圧等)	循内	講師	鈴木　昭博	202講
2025/4/15(火)	5	ー	講義	大動脈疾患の治療	血外	教授(特任)	綿貫　博隆	202講
2025/4/17(木)	1	ー	JS(垂直)	循環生理の基礎	生理学	教授	佐藤　元彦	202講
2025/4/17(木)	2	ー	講義	心不全各論①(心筋症, 心膜炎, 心膜疾患等)	循内	准教授	鈴木　頼快	202講
2025/4/17(木)	3	ー	講義	末梢動脈疾患	血外	教授	児玉　章朗	202講
2025/4/17(木)	4	ー	講義	静脈リンパ管疾患	ー	客員教授	岩田　博英	202講
2025/4/17(木)	5	ー	JS(水平)	大動脈弁狭窄症	循内 心外	教授 教授	天野　哲也 松山　克彦	202講
2025/4/18(金)	1	ー	講義	腹部大動脈瘤と大動脈炎症候群	血外	教授(特任)	折本　有貴	202講
2025/4/18(金)	2	ー	講義	心電図	循内	教授(特任)	鈴木　靖司	202講
2025/4/18(金)	3	ー	講義	不整脈(診断)	循内	教授(特任)	鈴木　靖司	202講
2025/4/18(金)	4	ー	講義	心不全各論②(心筋症, 心膜炎, 心膜疾患等)	循内	准教授	向井　健太郎	202講
2025/4/18(金)	5	ー	講義	虚血性心疾患(診断, 薬物治療)	循内	助教	大橋　寛史	202講
2025/4/21(月)	1	ー	JS(水平)	弁膜症の外科治療	心外	准教授(特任)	栃井　将人	202講
2025/4/21(月)	2	ー	講義	心不全治療(薬物療法)	循内	講師	後藤　礼司	202講
2025/4/21(月)	3	ー	講義	睡眠時無呼吸症候群	睡眠	教授(特任)	篠邉　龍二郎	202講
2025/4/21(月)	4	ー	JS(水平)	虚血性心疾患の外科治療	ー	非常勤講師	杉山　佳代	202講
2025/4/21(月)	5	ー	講義	不整脈(治療)	循内	講師	内藤　千裕	202講
2025/4/22(火)	1	ー	JS(垂直)	循環器疾患の病理②	病理学	助教	陸　美穂	202講
2025/4/22(火)	2	ー	講義	肺塞栓	循内	助教	鈴木　航	202講
2025/4/22(火)	3	ー	講義	心エコー, 弁膜症	循内	助教	藤本　匡伸	202講
2025/4/22(火)	4	ー	講義	虚血性心疾患診断－冠動脈CT, FFR-	ー	客員教授	松尾　仁司	202講
2025/4/22(火)	5	ー	JS(水平)	先天性心疾患の外科治療	心外	教授	松山　克彦	202講
2025/4/24(木)	1	ー	JS(垂直)	脂質異常症	生化学	教授(特任)	都築　忍	202講
2025/4/24(木)	2	ー	JS(垂直)	メタボリック症候群と動脈硬化	生化学	教授(特任)	都築　忍	202講
2025/4/24(木)	3	ー	JS(垂直)	抗血栓薬	薬理学	助教	藤川　誠	202講
2025/4/24(木)	4	ー	JS(垂直)	脂質異常治療薬	薬理学	助教	藤川　誠	202講
2025/4/24(木)	5	ー	JS(水平)	大動脈解離	心外 血外 放射線	教授 教授 教授	松山　克彦 児玉　章朗 鈴木　耕次郎	202講
2025/4/25(金)	1	ー	AL	アクティブ・ラーニング　小テスト	循内	講師	沢田　博章	202講
2025/4/25(金)	2	ー	AL	アクティブ・ラーニング　・症候学身体所見総論, 心不全	循内	講師	沢田　博章	202講
2025/4/25(金)	3	ー	AL	アクティブ・ラーニング　・各自問題の解説作成, 質疑応答	循内	講師	沢田　博章	202講
2025/4/25(金)	4	ー	JS(垂直)	循環器疾患の病理③	病理学	助教	陸　美穂	202講
2025/4/25(金)	5	ー	講義	これからどうなる？医療DX	ー	客員教授	植谷　忠之	202講

循環器学

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/28(月)	1	ー	講義	急性動脈閉塞くと特殊な動脈疾患	血外	准教授	川井 陽平	202講
2025/4/28(月)	2	ー	講義	心臓核医学検査	循内	助教	大西 知広	202講
2025/4/28(月)	3	ー	ー	予備				
2025/4/28(月)	4	ー	ー	予備				
2025/4/28(月)	5	ー	ー	予備				
2025/5/2(金)	1	ー	ー	自習				
2025/5/2(金)	2	ー	ー	自習				
2025/5/2(金)	3	ー	ー	自習				
2025/5/2(金)	4	ー	ー	自習				
2025/5/2(金)	**5**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**循内**	**教授**	**天野 哲也**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
天野　哲也	教授	内科学講座(循環器内科)	木曜日	14:00～15:00	D棟3階教授室
松山　克彦	教授	外科学講座(心臓外科)	月～金曜日	9:00～17:00	C棟11階医局
児玉　章朗	教授	外科学講座(血管外科)	月・水・金曜日	9:00～17:00	C棟11階医局
安藤　博彦	教授(特任)	内科学講座(循環器内科)	金曜日	14:00～15:00	D棟2階循環器内科医局
鈴木　靖司	教授(特任)	内科学講座(循環器内科)	木曜日	14:00～15:00	D棟2階循環器内科医局
鈴木　頼快	准教授	循環器内科	木曜日	14:00～15:00	D棟2階 循環器内科医局
向井　健太郎	准教授	循環器内科	金曜日	13:00～14:00	D棟2階 循環器内科医局
国村　彩子	講師	循環器内科	火曜日	14:00～15:00	D棟2階 循環器内科医局
後藤　礼司	講師	内科学講座(循環器内科)	火曜日	15:00～16:00	D棟2階循環器内科医局
沢田　博章	講師	循環器内科	金曜日	14:00～15:00	D棟2階 循環器内科医局
鈴木　昭博	講師	内科学講座(循環器内科)	火曜日	15:00～16:00	D棟2階循環器内科医局
内藤　千裕	講師	循環器内科	木曜日	14:00～15:00	D棟2階 循環器内科医局
大西　知広	助教	内科学講座(循環器内科)	月曜日	14:00～15:00	D棟2階循環器内科医局
大橋　寛史	助教	内科学講座(循環器内科)	火曜日	15:00～16:00	D棟2階循環器内科医局
鈴木　航	助教	循環器内科	火曜日	14:00～15:00	D棟2階 循環器内科医局
藤本　匡伸	助教	循環器内科	火曜日	14:00～15:00	D棟2階 循環器内科医局
綿貫　博隆	教授(特任)	外科学講座(心臓外科)	月～金曜日	9:00～17:00	C棟11階医局
栃井　将人	准教授(特任)	心臓外科	月～金曜日	9:00～17:00	C棟11階医局
折本　有貴	教授(特任)	血管外科	月・水・金曜日	9:00～17:00	C棟11階医局
川井　陽平	准教授	外科学講座(血管外科)	月・水・金曜日	9:00～17:00	C棟11階医局
佐藤　元彦	教授	生理学講座	月・水曜日	17:00～19:00	2号館研究棟M2階274号室
都築　忍	教授(特任)	生化学講座	月・木曜日	15:00～17:00	2号館研究棟3階362号室
丸山　健太	教授	薬理学講座	月曜日	16:00～18:00	2号館研究棟3階357号室
藤川　誠	助教	薬理学講座	月曜日	16:00～18:00	2号館研究棟4階402号室
陸　美穂	助教	病理学講座	火～木曜日	10:00～17:00	2号館研究棟2階260号室
鈴木　耕次郎	教授	放射線医学講座	月・金曜日	15:00～17:00	大学病院中央棟1階読影室
篠邉　龍二郎	教授(特任)	睡眠科	水曜日	16:00～17:30	C棟5階　睡眠科医局
杉山　佳代	非常勤医師	小牧市民病院　心臓血管外科部長	講義終了後，講義室にて		
岩田　博英	非常勤講師	愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		
植谷　忠之	非常勤講師	愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		
川崎　雅規	非常勤講師	愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		
松尾　仁司	非常勤講師	愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		

呼吸器・アレルギー学

【単位数：2単位，授業 28 コマ，予備2コマ（定期試験含まず）】
当該科目は医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

1　科目責任者

伊藤　理　教授（呼吸器・アレルギー内科）

科目担当者
福井高幸　教授（呼吸器外科）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅲ-３-ｂ，Ⅲ-４-ｂ，Ⅲ-５-ｂ）

① コンピテンスの“医学知識と科学的探究心”の中で，呼吸器疾患の原因，病態，症候，検査所見を説明でき，その鑑別診断を計画し，基本的治療法を説明することができるように，主要な呼吸器疾患の概要を系統的に学修する。

② 高齢者に多い呼吸器疾患の特性に鑑み，慢性疾患・高齢者医療の実践につながる知識を習得するとともに，診療技能のうち特に適切な検査を選択し，その結果を正しく解釈することを通して，クリニカル・クラークシップで応用できるよう準備をする。

（２）　学修目標

① 肺，気道，縦隔，胸壁の構造を理解し，ガス交換の原理と呼吸機能検査の解釈を踏まえて，急性ないし慢性呼吸不全への対処法を説明できる。

② 一般細菌，抗酸菌，真菌，ウイルス等による感染症の伝染様式を踏まえた予防法，病像と診断法及び治療薬について説明できる。

③ 気管支喘息，慢性閉塞性肺疾患，その他の慢性気道疾患の病態，診断法及び治療法について説明できる。

④ 特発性間質性肺炎や膠原病，血管炎，薬剤や放射線などによる間質性肺炎の病理像と特徴的病態，画像所見を知り，治療法について説明できる。

⑤ サルコイドーシスや過敏性肺炎など肉芽腫性肺疾患の病態や画像所見の特徴を知り，診断と治療法を説明できる。

⑥ 肺癌など呼吸器系腫瘍の発生要因，疫学，画像所見，病期判定法などを知り，診断法と肺癌遺伝子変異等に基づいた適切な抗癌剤及び免疫チェックポイント阻害薬の選択や，外科療法，放射線療法の適応基準を説明できる。さらにそれぞれの治療法の成績・予後についても説明できる。

⑦ 胸膜，縦隔の腫瘍性及び非腫瘍性疾患の発生要因や，画像所見と診断法及び抗癌剤の選択や外科療法の概略を説明できる。

⑧ 膿胸や菌球症など感染性肺疾患の外科療法の適応について説明できる。

⑨ 肺循環の仕組みを理解し，肺高血圧や血栓，腫瘍による塞栓症の発症病態と画像所見及び治療法を説明できる。

⑩ 塵肺の疫学，病態，画像所見を知り，予防法と合併症治療法及び関連補償制度の概略を説明できる。

⑪ 肺胞蛋白症やリンパ脈管筋腫症，ランゲルハンス細胞組織球症，びまん性肺胞出血を来す疾患など，希少肺疾患の病態について概略を説明できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	コメント
定期試験	○	90%	呼吸器・アレルギー内科と呼吸器外科合同の試験とする。医師国家試験に準じた多肢選択問題。
小テスト・レポート	○	10%	講義に関する小テスト・レポートを行う。
態度	○	—	授業態度不良の場合には定期試験成績からその程度に応じて最大で得点率 10%減点をする。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が 60%以上（又は 60 点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

定期試験，小テストの合計が 60%未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する（60%以上で合格）。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験後，正解率が低い問題については簡単な解説を AIDLE-K に掲載する。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
講義資料配付			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
呼吸器外科テキスト	日本呼吸器外科学会	南江堂	呼吸器外科全般について詳細に記載されている。
肺癌診療ガイドライン 2024 年版	日本肺癌学会	オンライン版	肺癌の最新治療法が示されている。
喘息予防・管理ガイドライン 2024	日本アレルギー学会	協和企画	最新の診断・管理法が示されている。
成人肺炎診療ガイドライン 2024	日本呼吸器学会	メディカルレビュー	最新の診断・管理法が示されている。
COPD　診断と治療のためのガイドライン 2022	日本呼吸器学会	メディカルレビュー	最新の診断・治療法が示されている。
特発性間質性肺炎－診断と治療の手引き 2022（改定第4版）	日本呼吸器学会	南江堂	最新の診断・治療法が示されている。
膠原病に伴う間質性肺疾患－診断・治療指針 2020	日本呼吸器学会・日本リウマチ学会	メディカルレビュー	最新の診断・治療法が示されている。

６ 準備学習（予習・復習）

本シラバスの講義予定に従い，内科・外科の教科書で各疾患の概略を予習しておくことが望ましい（1コマあたり 0.5 時間）。

特に各疾患の画像所見は意識して見ておくこと。復習は1コマあたり約 0.5 時間行うことが望ましい。

７　授業計画

（１）　講義の方法

基本的には講義形式で行うが，一部で提示画像の診断に関する AL も実施する。

（２）　講義の内容

配付資料に従って講義を進める。呼吸器疾患に関して重要な生理学及び病理学については，再確認の意味で基礎医学の講義と一部重複する。講義は呼吸生理，呼吸不全，感染症，アレルギー疾患，肺・胸膜腫瘍，間質性肺疾患・自己免疫疾患，希少肺疾患を網羅する。

呼吸器・アレルギー学

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/6/9(月)	1	ー	講義	呼吸器総論，臨床呼吸生理学	呼内	教授	伊藤　理	202講
2025/6/9(月)	2	ー	講義	細菌性肺炎，ウイルス性肺炎	呼内	准教授	田中　博之	202講
2025/6/9(月)	3	ー	JS(垂直)	ガス交換の原理，酸塩基平衡	生理学	教授	佐藤　元彦	202講
2025/6/9(月)	4	ー	講義	胸水，胸膜炎	呼内	准教授	田中　博之	202講
2025/6/9(月)	5	ー	講義	縦隔疾患，肺移植	呼外	准教授	尾関　直樹	202講
2025/6/10(火)	1	ー	講義	間質性肺炎，過敏性肺炎	呼内	助教	片野　拓馬	202講
2025/6/10(火)	2	ー	講義	喘息，好酸球性肺炎	ﾒﾃﾞｨｶﾙC	特命教授	馬場　研二	202講
2025/6/10(火)	3	ー	講義	気管支拡張症，慢性気道疾患	ﾒﾃﾞｨｶﾙC	特命教授	馬場　研二	202講
2025/6/10(火)	4	ー	JS(垂直)	慢性気道疾患の病理①	病理学	教授	笠井　謙次	202講
2025/6/10(火)	5	ー	JS(垂直)	慢性気道疾患の病理②	病理学	教授	笠井　謙次	202講
2025/6/12(木)	1	ー	講義	慢性閉塞性肺疾患・じん肺	呼内	教授	伊藤　理	202講
2025/6/12(木)	2	ー	講義	呼吸不全，ARDS	呼内	教授	伊藤　理	202講
2025/6/12(木)	3	ー	JS(水平)	呼吸器疾患チーム医療	呼外 呼外	助教 助教	勝谷　亮太郎 米澤　利幸	202講
2025/6/12(木)	4	ー	講義	サルコイドーシス，肉芽腫性肺疾患	呼内	准教授	山野　泰彦	202講
2025/6/12(木)	5	ー	ー	予備				
2025/6/13(金)	1	ー	講義	肺癌	腫瘍C	教授	久保　昭仁	202講
2025/6/13(金)	2	ー	講義	縦隔，胸膜腫瘍	腫瘍C	教授	久保　昭仁	202講
2025/6/13(金)	3	ー	AL	新型コロナウイルス感染症と合併症	ﾒﾃﾞｨｶﾙC 呼内	特命教授 准教授	馬場　研二 田中　博之	202講
2025/6/13(金)	4	ー	JS(垂直)	肺・縦隔腫瘍の病理①	病理学	教授	笠井　謙次	202講
2025/6/13(金)	5	ー	JS(垂直)	肺・縦隔腫瘍の病理②	病理学	教授	笠井　謙次	202講
2025/6/17(火)	1	ー	講義	呼吸器内視鏡	呼内	助教	荻須　智之	202講
2025/6/17(火)	2	ー	講義	肺抗酸菌感染症	ー	客員教授	小川　賢二	202講
2025/6/17(火)	3	ー	講義	自己免疫疾患・薬剤・放射線に伴う肺病変	呼内	助教	片野　拓馬	202講
2025/6/17(火)	4	ー	JS(水平)	肺癌の外科治療	呼外	教授	福井　高幸	202講
2025/6/17(火)	5	ー	JS(水平)	中皮腫，気胸，良性疾患，低侵襲手術	呼外	教授	福井　高幸	202講
2025/6/19(木)	1	ー	講義	希少疾患，肺胞蛋白症	呼内	教授	伊藤　理	202講
2025/6/19(木)	2	ー	講義	肺真菌症，ニューモシスチス肺炎	呼内	教授	伊藤　理	202講
2025/6/19(木)	3	ー	ー	予備				
2025/6/19(木)	4	ー	JS(水平)	外傷，血胸，膿胸，気胸	呼外 呼外	助教 助教	古田　ちひろ 米澤　利幸	202講
2025/6/19(木)	5	ー	講義	肺塞栓症，肺高血圧症	医教C	准教授	河合　聖子	202講
2025/6/24(火)	1	ー	ー	自習				
2025/6/24(火)	2	ー	ー	自習				
2025/6/24(火)	**3**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**呼内**	**教授**	**伊藤　理**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
伊藤　理	教授	内科学講座（呼吸器・ｱﾚﾙｷﾞｰ内科）	水曜日	16:00～17:00	D棟3階教授室
福井　高幸	教授	外科学講座（呼吸器外科）	火曜日	15:00～17:00	C棟7階教授室
田中　博之	准教授	内科学講座（呼吸器・ｱﾚﾙｷﾞｰ内科）	月曜日	16:00～17:00	D棟2階医局
山野　泰彦	准教授	呼吸器・ｱﾚﾙｷﾞｰ内科	月曜日	16:00～17:00	D棟2階医局
米澤　利幸	助教	呼吸器・ｱﾚﾙｷﾞｰ内科	月曜日	16:00～17:00	D棟2階医局
片野　拓馬	助教	呼吸器・ｱﾚﾙｷﾞｰ内科	月曜日	16:00～17:00	D棟2階医局
荻須　智之	助教	呼吸器・ｱﾚﾙｷﾞｰ内科	月曜日	16:00～17:00	D棟2階医局
佐藤　元彦	教授	生理学講座	月・水曜日	17:00～19:00	2号館研究棟M2階274号室
笠井　謙次	教授	病理学講座	月・水曜日	10:00～17:00	2号館研究棟2階265号室
尾関　直樹	准教授	呼吸器外科	木曜日	15:00～16:30	C棟11階医局
勝谷　亮太郎	助教	呼吸器外科	水曜日	16:00～17:00	C棟11階医局
古田　ちひろ	助教	呼吸器外科	金曜日	16:00～17:00	C棟11階医局
久保　昭仁	教授	臨床腫瘍ｾﾝﾀｰ腫瘍内科部門	木曜日	16:00～17:00	C棟7階教授室
馬場　研二	特命教授	ﾒﾃﾞｨｶﾙｾﾝﾀｰ	講義終了後，講義室にて		
河合　聖子	准教授	医学教育ｾﾝﾀｰ	木曜日	16:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
小川　賢二	非常勤講師	国立病院機構東名古屋病院 愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		

内 分 泌 ・ 代 謝 ・ 糖 尿 病 学

【単位数：2単位，授業27コマ，予備3コマ（定期試験含まず）】
当該科目は医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

1　科目責任者

神谷英紀　教授（糖尿病内科）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅲ-３-ｂ，Ⅲ-４-ｂ，Ⅲ-５-ｂ）

① 糖尿病・内分泌代謝疾患・乳腺疾患に関する医学知識と診療技能の習得に加え，疾患の病態生理に対する科学的探究心を育成する。
② 全身におけるホルモンや代謝の病態生理を把握する為，疾患特異的な身体所見と各種検査結果を適切に判断し，その病態生理に基づいた治療計画を的確に立案できることを修得する。

（２）　学修目標

① 糖尿病・内分泌代謝疾患・乳腺疾患に対して，身体症状から疾患を推測し，適切な検査を計画し，診断できることを修得する。
② 糖尿病を症状・症候から推測できる。
③ 糖尿病の機能検査と評価ができる。
④ 内分泌代謝疾患を症状・症候から推測できる。
⑤ 内分泌疾患のホルモン分泌異常に対して適切な機能検査ができる。
⑥ 内分泌疾患の各臓器の画像診断ができる。
⑦ 乳腺・甲状腺・副甲状腺・副腎疾患の診断と適切な外科治療を考えることができる。
⑧ 糖尿病・内分泌代謝疾患・乳腺疾患の治療を看護師等の他の医療関係者と協調して実行できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	90％	糖尿病・内分泌代謝疾患・乳腺疾患を理解しているか判定するため，定められた定期試験日に筆記試験を行う。 記述式を原則とし，一部多肢選択問題を含む場合がある。
小テスト・レポート	○	10％	講義に関する小テスト・レポートを行う。
態度	○	―	受講態度が不良の場合は，10点を限度に減点する。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　総合成績の合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法と合格基準

上記（2）で総合成績が60％未満の場合は，再試験を実施する。
再試験は定期試験に準ずる試験を行う。60％以上を合格とする。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

○ 定期試験の成績についての総括を学内メールで実施する。

○ これにより理解が不十分な項目について再確認を促すとともに，定期試験で不合格となった者は再試験に備える。

４ 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

５ 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
内科学　12版	矢﨑義雄(監修)	朝倉書店	内科学を全般的に網羅している。
糖尿病学	門脇　孝(監修)	西村書店	糖尿病全般の基礎・臨床の知見がまとめられている。
内分泌症候群（第三版）Ⅰ・Ⅱ	柳瀬俊彦(監修)	日本臨牀	内分泌疾患全般が詳細にまとめられている。
こんな時どうすれば！？内分泌・脂質・尿酸コンサルタント	深川雅史(監修)	金芳堂	各種内分泌疾患のポイントがわかりやすくまとめられている。
乳癌手術　ビジュアルテキスト	福富隆志(監修)	中外医学社	癌手術手技に関して詳細にまとめられている。
わかりやすい外科学	馬場秀夫(編集)	文光堂	乳腺・内分泌外科疾患全般の知識をブラッシュアップできる。

６ 準備学習（予習・復習）

○ 日本の内科学における代表的教科書として朝倉書店の「内科学」などを用いて，講義の予習復習を行い知識の整理を行う（1コマあたり約0.5時間）。

○ 糖尿病・内分泌代謝疾患・乳腺疾患の各分野のチーム基盤型学習法を行う際には事前に配付資料などを用いて各分野の全体の内容を予習復習する（1コマあたり約0.5時間）。

○ 糖尿病・内分泌代謝疾患・乳腺疾患の各分野に関する最新論文を紹介し，興味を惹いた論文に関して講義後にディスカッションの機会を設ける（1コマあたり約0.5時間）。

○ 各講義で配付された資料を講義後に内容を再確認し，2コマ目以降の講義に臨む（1コマあたり約0.5時間）。

７ 授業計画

（１） 講義の方法

基本は糖尿病・内分泌代謝疾患・乳腺疾患に関する座学による講義を主体とする。

（２） 講義の内容

糖尿病・内分泌代謝疾患・乳腺疾患の分野における総論から疾患の各論を可能な限り詳細に1コマの講義内で説明し，病態診断から治療までを一連の流れで学習できるようにする。また，疾患の各論を学ぶことにより当分野の疾患が互いに連関することを学習し，全身におけるホルモンや代謝のメカニズムを細胞レベルから把握する能力を修得する。

内分泌・代謝・糖尿病学

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/10/2(木)	1	―	講義	内分泌代謝学総論	内内	教授(特任)	高木 潤子	202講
2025/10/2(木)	2	―	講義	下垂体前葉機能亢進症	―	名誉教授	大竹 千生	202講
2025/10/2(木)	3	―	講義	下垂体前葉機能低下症	―	名誉教授	大竹 千生	202講
2025/10/2(木)	4	―	講義	下垂体後葉 尿崩症, ADH不適切分泌症候群	内内	教授(特任)	高木 潤子	202講
2025/10/2(木)	5	―	講義	遺伝性内分泌代謝疾患 多発性内分泌腫瘍症, 受容体異常症	内内	教授(特任)	高木 潤子	202講
2025/10/3(金)	1	―	JS(水平)	乳腺疾患を理解するための解剖学, 発生学, 生理学及び病理学総論的知識, 乳腺の非腫瘍性及び腫瘍性疾患と病理・細胞診断	病理学	助教	陸 美穂	202講
2025/10/3(金)	2	―	講義	乳腺疾患の診断・治療	―	非常勤講師	毛利 有佳子	202講
2025/10/3(金)	3	―	―	予備				
2025/10/3(金)	4	―	AL	乳腺内分泌外科TBL用自習	乳外	教授	中野 正吾	202講
2025/10/3(金)	5	―	AL	乳腺内分泌外科TBL	乳外	教授	中野 正吾	202講
2025/10/6(月)	1	―	講義	副腎 機能亢進症・低下症, 腫瘍	―	客員教授	森田 博之	202講
2025/10/6(月)	2	―	JS(水平)	副腎疾患の外科治療	乳外	教授(特任)	藤井 公人	202講
2025/10/6(月)	3	―	JS(垂直)	内分泌疾患の病理学	病理学	講師	中村 律子	202講
2025/10/6(月)	4	―	講義	骨代謝 骨粗鬆症	―	非常勤講師	鈴木 敦詞	202講
2025/10/6(月)	5	―	―	予備				
2025/10/7(火)	1	―	講義	副甲状腺機能亢進症・低下症 腫瘍	内内	助教	野村 由佳	202講
2025/10/7(火)	2	―	JS(水平)	副甲状腺疾患の外科治療	―	非常勤講師	宮 章博	202講
2025/10/7(火)	3	―	JS(垂直)	内分泌薬理学各論:骨粗鬆症治療薬	薬理学	教授	丸山 健太	202講
2025/10/7(火)	4	―	講義	甲状腺機能亢進症・低下症, 腫瘍	内内	助教	平瀬 翔	202講
2025/10/7(火)	5	―	JS(水平)	甲状腺疾患の外科治療	乳外	教授	中野 正吾	202講
2025/10/9(木)	1	―	JS(垂直)	糖代謝・脂質代謝の復習と糖原病	生化学	教授(特任)	都築 忍	202講
2025/10/9(木)	2	―	JS(垂直)	糖尿病の概論	生化学	教授(特任)	都築 忍	202講
2025/10/9(木)	3	―	JS(垂直)	糖尿病及び膵内分泌疾患の病理学	病理学	講師	中村 律子	202講
2025/10/9(木)	4	―	講義	糖尿病の病態と検査・診断	糖内	教授	神谷 英紀	202講
2025/10/9(木)	5	―	―	予備				
2025/10/10(金)	1	―	講義	糖尿病の治療	Sim	准教授	森下 啓明	202講
2025/10/10(金)	2	―	講義	糖尿病の食事運動療法, 肥満症	糖内	講師	近藤 正樹	202講
2025/10/10(金)	3	―	講義	糖尿病合併症	糖内	准教授	姫野 龍仁	202講
2025/10/10(金)	4	―	AL	糖尿病内科TBL用自習	糖内	助教	速水 智英	202講
2025/10/10(金)	5	―	AL	糖尿病内科TBL	糖内	助教	速水 智英	202講
2025/10/14(火)	1	―	―	自習				
2025/10/14(火)	2	―	―	自習				
2025/10/14(火)	3	―	―	自習				
2025/10/14(火)	4	―	―	自習				
2025/10/14(火)	**5**	**―**	**―**	**定期試験**	**糖内**	**教授**	**神谷 英紀**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
神谷　英紀	教授	内科学講座(糖尿病内科)	木・金曜日	14:00～15:00	C棟5階糖尿病内科教授室
姫野　龍仁	准教授	内科学講座(糖尿病内科)	木曜日	16:00～17:00	C棟5階糖尿病内科医局
近藤　正樹	講師	内科学講座(糖尿病内科)	月・火曜日	16:00～17:00	C棟5階糖尿病内科医局
速水　智英	助教	糖尿病内科	木・金曜日	10:00～12:00	C棟5階糖尿病内科医局
森下　啓明	准教授	シミュレーションセンター	火曜日	9:00～16:00	シミュレーションセンター事務室
高木　潤子	教授(特任)	内科学講座(内分泌・代謝内科)	木曜日	15:00～16:00	D棟2階 内分泌・代謝内科医局
野村　由佳	助教	内分泌・代謝内科	金曜日	15:00～16:30	D棟2階 内分泌・代謝内科医局
平瀬　翔	助教	内分泌・代謝内科	金曜日	15:00～16:30	D棟2階 内分泌・代謝内科医局
中野　正吾	教授	外科学講座(乳腺・内分泌外科)	火・金曜日	17:00～18:00	C棟8階教授室
藤井　公人	教授(特任)	外科学講座(乳腺・内分泌外科)	月・金曜日	17:00～18:00	C棟11階外科医局
都築　忍	教授(特任)	生化学講座	月・木曜日	15:00～17:00	2号館研究棟3階362号室
丸山　健太	教授	薬理学講座	月曜日	16:00～18:00	2号館研究棟3階357号室
中村　律子	講師	病理学講座	月・火・木曜日	10:00～17:00	2号館研究棟2階261号室
陸　美穂	助教	病理学講座	火～木曜日	10:00～17:00	2号館研究棟2階260号室
大竹　千生	非常勤講師	愛知医科大学名誉教授	講義終了後，講義室にて		
鈴木　敦詞	非常勤講師	藤田医科大学医学部　内分泌・代謝・糖尿病内科学　教授	講義終了後，講義室にて		
毛利　有佳子	非常勤講師	愛知医科大学　非常勤医師	講義終了後，講義室にて		
森田　博之	非常勤講師	愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		
宮　章博	非常勤講師	隈病院　副院長(外科)	講義終了後，講義室にて		

脳 ・ 神 経 学

【神経内科学 単位数:1単位，授業18コマ，予備2コマ(定期試験含まず)】
【脳神経外科学 単位数:1単位，授業16コマ，予備4コマ(定期試験含まず)】
当該科目は医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

1 科目責任者

熱田直樹 教授(神経内科)
渡邉 督 教授(脳神経外科学)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-3-b，Ⅲ-4-b，Ⅲ-5-b)

神経内科学・脳神経外科学共通:

① コンピテンス“医学知識と科学的探究心”の獲得を学修の本流として，神経内科領域で求められる知識，技能，態度を修得する。この学びを通して広い学修視野を持ち，包括的に他のコンピテンス涵養にもつなげる。
② 脳・神経系の構造並びに系統的機能を理解し，主な神経系疾患の病因，病態生理，症候，診断，基本的治療を縦断的に学ぶ。その学修過程において，これまで症候学・臨床診断学で修得した横断的知識との融合を図り，幅広く柔軟な，客観的事実・根拠に基づく論理的思考の獲得に務める自律的学習態度を身につける。
③ 脳神経外科疾患特に脳血管障害，頭部外傷，脳腫瘍，小児脳疾患，機能的脳疾患，脊椎脊髄疾患，末梢神経絞扼障害などについて，病因，病態生理，症候診断，神経高位診断，画像診断，治療適応，各治療法，他疾患との鑑別につき学習し，放射線治療，化学療法，理学療法などを含む集学的治療についても理解を深める。

(2) 学修目標

神経内科学:

① 各神経系統とそれらの機能について説明できる。
② 脳・神経系の発生と関連づけて神経症候，神経疾患を説明できる。
③ 主要な神経電気生理学的検査を列挙し，正常所見及び基本的な異常所見について説明できる。
④ 主要な神経系画像検査を列挙し，正常所見及び基本的な異常所見について説明できる。
⑤ 運動ニューロン病の病因，症候，検査所見，診断と治療を説明できる。
⑥ Parkinson病及び錐体外路系関連疾患の病因，症候，検査所見，診断と治療を説明できる。
⑦ 脊髄小脳変性症及び多系統萎縮症の病因，症候，検査所見，診断及び治療を説明できる。
⑧ 自律神経障害の病態と神経変性疾患・内科疾患に伴う自律神経障害について説明できる。
⑨ 不随意運動の種類，病態，症候，原因疾患，検査所見，診断と治療を説明できる。
⑩ 高次脳機能障害，認知症を呈する神経疾患の病因，症候，検査所見，診断と治療を説明できる。
⑪ 末梢神経障害の病態，症候，原因疾患，検査所見，診断と治療を説明できる。
⑫ 多発性硬化症その他の中枢神経脱髄疾患の病態，症候，検査所見，診断と治療を説明できる。
⑬ 重症筋無力症及び関連疾患の病態，病因，症候，検査所見，診断と治療を説明できる。
⑭ 筋ジストロフィー，筋炎の病態，病因，症候，検査所見，診断と治療を説明できる。
⑮ ミトコンドリア病の病態，病因，症候，検査所見，診断と治療を説明できる。
⑯ 中枢神経系感染症の病態，病因，症候，検査所見，診断と治療を説明できる。
⑰ 内科疾患合併症としての神経障害の病態，臨床像，検査所見，診断と治療を説明できる。
⑱ 機能性神経疾患(頭痛，半側顔面筋けいれん，三叉神経痛)の臨床像，診断と治療を説明できる。

脳神経外科学:

⑲ 大脳，小脳，脳幹，脊髄，脳神経，末梢神経，下垂体，頭蓋底部の正常な構造と機能について説明できる。
⑳ 脳及び脊髄の血管支配について概略と機能，閉塞などの異常に起因する障害について説明できる。
㉑ 脳神経症状から，脳神経の局所診断や脊髄・末梢神経の高位診断並びに鑑別診断を述べることができる。
㉒ 基本的な脳神経外科疾患の画像を読影し鑑別診断することができる。
㉓ 脳脊髄液の循環とその異常について説明することができる。
㉔ 脳ヘルニアの機序と病態及び外科的治療限界について説明できる。
㉕ 脳神経救急の種類，病態を整理し，横断的知識に基づく鑑別診断と，緊急対応特に外科的介入の仕方について説明することができる。
㉖ 頭部外傷の種類とその病態，及び外科的治療法について概要を述べることができる。
㉗ 脳血管障害の病態，病因，症候，検査所見，診断，内科的/外科的治療及び予防方略の要点を説明できる。
㉘ 脳腫瘍の種類とその病態，病理及び外科的治療法について概要を述べることができる。
㉙ 機能的脳疾患(パーキンソン病，てんかんなど)について病態と外科的治療法の概要を述べることができる。
㉚ 脊髄疾患(変形性脊椎症，脊髄血管障害，外傷など)について病態と外科的治療法の概要を述べることができる。
㉛ 末梢神経絞扼障害について病態と外科治療の概要を述べることができる。
㉜ 小児脳疾患(先天性奇形，水頭症など)の病態と外科的治療法の概要を述べることができる。
㉝ 観血的外科手術と低侵襲治療(脳血管内治療，内視鏡治療，定位的脳手術)の違いと利点，欠点を理解するとともにその概要を述べることができる。
㉞ 術後後遺症についてのアプローチ(理学療法，薬物療法，追加治療など)について，その目的と方法の概要を述べることができる。

3 成績の判定・評価

（１） 総合成績の対象と算出法

神経内科学:

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	100%	記述式を原則とする。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は 10%を限度に減点をする。

出席: 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

脳神経外科学:

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	80%	原則として記述式とする。
小テスト	○	20%	画像の読影を中心とし，診断名を記入する様式とする。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は 10%を限度に減点をする。

出席: 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２） 合格基準

神経内科学・脳神経外科学共通:

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

（３） 再試験・再評価の方法

神経内科学・脳神経外科学共通:

評価対象項目が 60％未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する（60％以上で合格）。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

神経内科学:

定期試験の成績に鑑み，各自が自己学習で作成した神経疾患に関するまとめの文章を振り返り，理解が不十分な項目について再学習を行うとともに，定期試験で不合格となった者は再試験に備える。

脳神経外科学:

定期試験の成績についての総括を学内メールで実施する。
基本的に模範解答と，解説は問題ごとに試験後に公表する。
定期試験で不合格となった者は再試験に備える。

4 教科書

神経内科学:

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
病気がみえる〈vol.7〉脳・神経	尾上尚志他	医療情報科学研究所	図が多く視覚的に脳・神経疾患の基本が理解できる。

脳神経外科学:

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
病気がみえる〈vol.7〉脳・神経	尾上尚志他	医療情報科学研究所	図が多く視覚的に脳神経外科疾患の基本が理解できる。

5 参考図書

神経内科学:

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
内科学第12版	矢崎義雄総編集	朝倉書店	内科学教科書としては標準。
神経内科ハンドブック	水野美邦編	医学書院	神経内科学書としては標準。
脳血管障害の画像診断	高橋昭喜編	中外医学社	脳卒中画像診断の勉強に使える。
脊椎・脊髄のMRI	前原忠行編	南江堂	脊髄の構造，病像を勉強するに使える。
誤りやすい異常脳波	市川忠彦	医学書院	基本的脳波の勉強に使える。

脳神経外科学:

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
標準脳神経外科学	児玉南海雄	医学書院	脳外科疾患と治療についてのスタンダードなテキスト。
脳神経外科　Neurosurgery	太田富雄	金芳堂	理解を深めるための百科事典としての詳細なテキスト。
ベッドサイドの神経の診かた	田崎義昭，斎藤佳雄	南山堂	脳神経診察の仕方を理解するための参考書。

6　準備学習（予習・復習）

神経内科学:

① 予習（授業前日が望ましい）:「7 授業計画（3）開催日時」に記載されている各時限の講義タイトルを確認し，参考図書で検索して通読する（1コマあたり0.5時間目安）。

次に，この病態・疾患（群）等を理解する上で前もって学習すべき事項として想起される課題を抽出し，該当する参考図書で検索し，内容を確認しておく（1コマあたり0.5時間目安）。

② 復習（授業後当日が望ましい）:授業中に書き留めた講義ノート及び配付資料を再確認しつつ講義内容を反芻し，その時限で学修した病態・疾患（群）等について，論理，要点を押さえた300文字程度の解説文章を作成する（1コマあたり1時間）。

脳神経外科学:

① 教科書にて，授業で取り扱う疾患について大まかに理解し，疑問点を掴んでおく（1コマあたり約0.5時間）。

② 授業で配付されたプリントなどを再確認し，疑問点を解決し，脳外科疾患について理解を深めていく（1コマあたり約1時間）。

③ 講義で用いるスライド資料はデータとしてiPadなどで活用できる形式を導入し，授業前に配付するので，これをあらかじめ目を通しておく(1コマあたり約0.5時間)。

7　授業計画

（1）　講義の方法

神経内科学:

大教室での知識伝達型講義を基本とするが，原則，講義終了毎に学修内容復習・グループ討議／病態・疾患（群）の解説文章作成などの自己学習を求める。

脳神経外科学:

基本的には教室での知識伝達型の講義である。

シミュレーション課題を課し，小グループ討論を行い，講師との質疑応答形式のアクティブ・ラーニングを行い，12月３日に小テストを予定している。

（2）　講義の内容

神経内科学:

原則，2 教育目標の（2） 学修目標に挙げたコンピテンシー毎に時限を区切り講義を行う。講師は論理に基づいた丁寧な解説を重視しており，各授業で説明される膨大な情報を系統的に整理して，要点を押さえつつ理解できるように配慮されている。

脳神経外科学:

初回の講義にて脳神経外科について総論として解説し，その後は脳神経外科領域において取り扱う疾患について，具体的な疾患の症例提示をしながら概念理解を進めていく。

脳・神経学（神経内科学）

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/11/20(木)	1	ー	講義	神経学総論	神内	教授	熱田 直樹	202講
2025/11/20(木)	2	ー	講義	脳の血管支配と病態	神内	教授	熱田 直樹	202講
2025/11/20(木)	3	ー	ー	予備				
2025/11/20(木)	4	ー	講義	骨格筋障害・筋接合部疾患	神内	講師	福岡 敬晃	202講
2025/11/20(木)	5	ー	講義	神経発生学	加齢(iPS)	教授	岡田 洋平	202講
2025/11/21(金)	1	ー	講義	運動ニューロン疾患	神内	教授	熱田 直樹	202講
2025/11/21(金)	2	ー	講義	中枢神経脱髄疾患	脳卒中C	講師	徳井 啓介	202講
2025/11/21(金)	3	ー	講義	末梢神経障害	神内	准教授	川頭 祐一	202講
2025/11/21(金)	4	ー	講義	不随意運動疾患	ﾊﾟｰｷﾝｿﾝC	助教	田口 宗太郎	202講
2025/11/21(金)	5	ー	ー	予備				
2025/11/25(火)	1	ー	講義	神経放射線学的診断	脳卒中C	教授(特任)	丹羽 淳一	202講
2025/11/25(火)	2	ー	講義	臨床神経生理学的診断	脳卒中C	教授(特任)	丹羽 淳一	202講
2025/11/25(火)	3	ー	講義	成人てんかん	脳卒中C	助教	安藤 宏明	202講
2025/11/25(火)	4	ー	講義	神経系遺伝性疾患	神内	講師	中村 亮一	202講
2025/11/25(火)	5	ー	講義	錐体外路障害	ﾊﾟｰｷﾝｿﾝC	教授(特任)	齋木 英資	202講
2025/11/26(水)	1	ー	講義	運動調節障害	ー	非常勤講師	渡邉 宏久	202講
2025/11/26(水)	2	ー	講義	感染性神経疾患	看護学部	教授	泉 雅之	202講
2025/11/26(水)	3	ー	講義	Medical Neurology 神経系以外の疾患に伴う神経障害	看護学部	教授	泉 雅之	202講
2025/11/26(水)	4	ー	講義	機能性神経疾患(「病気がみえる」を持参)	ー	客員教授	中尾 直樹	202講
2025/11/26(水)	5	ー	講義	高次脳機能障害/認知症	ー	非常勤講師	阿部 祐士	202講
2025/11/27(木)	1	ー	ー	自習				
2025/11/27(木)	2	ー	ー	自習				
2025/11/27(木)	3	ー	ー	自習				
2025/11/27(木)	4	ー	ー	自習				
2025/11/27(木)	**5**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**神内**	**教授**	**熱田 直樹**	**101講**

脳・神経学（脳神経外科学）

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/11/28(金)	1	ー	講義	脳神経外科総論	脳外	教授	渡邉　督	202講
2025/11/28(金)	2	ー	講義	虚血性脳血管障害の外科治療	経営戦略	特命教授	宮地　茂	202講
2025/11/28(金)	3	ー	講義	出血性脳血管障害の外科治療	脳外	准教授(特任)	松尾　直樹	202講
2025/11/28(金)	4	ー	JS(水平)	脳卒中，画像診断，内科治療	脳卒中C	教授(特任)	丹羽　淳一	202講
2025/11/28(金)	5	ー	ー	予備				
2025/12/1(月)	1	ー	講義	病態生理(意識障害，脳ヘルニア)	ﾊﾟｰｷﾝｿﾝC	講師	名倉　崇弘	202講
2025/12/1(月)	2	ー	講義	定位脳手術	ﾊﾟｰｷﾝｿﾝC	講師	名倉　崇弘	202講
2025/12/1(月)	3	ー	ー	予備				
2025/12/1(月)	4	ー	講義	脳腫瘍総論，頭蓋底外科総論	頭蓋外C	准教授	伊藤英治	202講
2025/12/1(月)	5	ー	講義	良性脳腫瘍各論，手術治療	脳外	教授	渡邉　督	202講
2025/12/2(火)	1	ー	ー	予備				
2025/12/2(火)	2	ー	講義	頭部外傷	頭蓋外C	准教授	伊藤英治	202講
2025/12/2(火)	3	ー	講義	脊椎脊髄疾患(総論)，脊椎外傷	脳外	講師	福岡俊樹	202講
2025/12/2(火)	4	ー	講義	脊髄脊椎疾患(各論)	脊椎C	教授	原　政人	
2025/12/2(火)	5	ー	講義	神経高位診断と末梢神経絞扼障害	脊椎C	教授	原　政人	202講
2025/12/3(水)	1	ー	講義	小児奇形，水頭症	ー	客員教授	加藤　美穂子	202講
2025/12/3(水)	2	ー	講義	悪性脳腫瘍各論，化学療法，放射線治療	看護学部	教授	大須賀　浩二	202講
2025/12/3(水)	3	ー	講義	脳血管内治療	経営戦略	特命教授	宮地　茂	202講
2025/12/3(水)	4	ー	AL	**小テスト**	経営戦略	特命教授	宮地　茂	202講
2025/12/3(水)	5	ー	ー	予備				
2025/12/4(木)	1	ー	ー	自習				
2025/12/4(木)	2	ー	ー	自習				
2025/12/4(木)	3	ー	ー	自習				
2025/12/4(木)	4	ー	ー	自習				
2025/12/4(木)	**5**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**脳外**	**教授**	**渡邉　督**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
熱田　直樹	教授	内科学講座（神経内科）	月曜日	13:00～14:00	内科外来35番 第2診察室
川頭　祐一	准教授	内科学講座（神経内科）	水・金曜日	17:00～18:00	D棟2階神経内科医局
中村　亮一	講師	内科学講座（神経内科）	金曜日	17:00～18:00	D棟2階神経内科医局
福岡　敬晃	講師	神経内科	火曜日	15:00～16:00	D棟2階神経内科医局
丹羽　淳一	教授(特任)	脳卒中センター	火曜日	10:00～11:30	D棟3階脳卒中センター医局
徳井　啓介	講師	脳卒中センター	木曜日	15:00～16:00	D棟3階脳卒中センター医局
安藤　宏明	助教	脳卒中センター	木曜日	16:00～17:00	D棟2階神経内科医局
齋木　英資	教授(特任)	パーキンソン病総合治療センター	金曜日	11:00～12:00	D棟2階神経内科医局
田口　宗太郎	助教	パーキンソン病総合治療センター	月曜日	10:00～11:00	D棟2階神経内科医局
岡田　洋平	教授	加齢医科学研究所神経iPS細胞研究部門	月曜日 金曜日	16:00～17:00 13:00～14:00	2号館研究棟4階409号室
泉　雅之	教授	看護学部	講義終了後，講義室にて		
阿部　祐士	非常勤講師	オレンジクリニック院長	講義終了後，講義室にて		
中尾　直樹	非常勤講師	愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		
渡邉　宏久	非常勤講師	藤田医科大学　脳神経内科教授	講義終了後，講義室にて		

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
渡邉　督	教授	脳神経外科学講座	月曜日	18:00～19:00	大学病院中央棟11Bカンファレンスルーム
松尾　直樹	准教授(特任)	脳神経外科学講座	月曜日	18:00～19:00	大学病院中央棟11Bカンファレンスルーム
福岡　俊樹	講師	脳神経外科学講座	月曜日	18:00～19:00	大学病院中央棟11Bカンファレンスルーム
丹羽　淳一	教授(特任)	脳卒中センター	火曜日	10:00～11:30	D棟3階脳卒中センター医局
原　政人	教授	脊椎脊髄センター	月曜日	18:00～19:00	大学病院中央棟11Bカンファレンスルーム
名倉　崇弘	講師	パーキンソン病総合治療センター	月曜日	18:00～19:00	大学病院中央棟 11Bカンファレンスルーム
伊藤　英治	准教授	頭蓋底外科センター	月曜日	18:00～19:00	大学病院中央棟11Bカンファレンスルーム
宮地　茂	特命教授	経営戦略推進本部	月曜日	18:00～19:00	大学病院中央棟11Bカンファレンスルーム
大須賀　浩二	教授	看護学部	講義終了後，講義室にて		
加藤　美穂子	非常勤講師	愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		

腎 ・ 膠 原 病 学

【単位数：2単位，授業26コマ，予備4コマ（定期試験含まず）】
当該科目は医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

1 科目責任者

石本卓嗣 教授（腎臓・リウマチ膠原病内科）

2 教育目標

（1） ねらい（Ⅲ-3-a，Ⅲ-4-a，Ⅲ-5-a）

① 腎臓・リウマチ・膠原病疾患の病態と症候を説明でき，その鑑別と診断を計画できる。
② 腎臓の構造と機能並びにその病態を把握し，腎疾患の病態，診断，並びに治療の概略を理解する。また，リウマチ性疾患・膠原病の病態を把握し，主要疾患の症候，診断，治療について臨床例に即して考察・鑑別する基礎的能力を修得する。

（2） 学修目標

① 腎臓の構造と機能を関連付けて説明することができる。
② 腎機能に関して，クリアランス，糸球体濾過量，血清クレアチニン濃度について説明できる。
③ 急性・慢性腎不全の原因，症候，診断と治療を，それぞれ説明できる。
④ 末期腎不全の治療（血液透析，腹膜透析，腎移植）を説明できる。
⑤ 水電解質・酸塩基平衡の調節機構を説明できる。
⑥ アシドーシス・アルカローシスの病態生理と診断や，各電解質異常について説明できる。
⑦ 急性・慢性糸球体腎炎の原因，症候，診断と治療を，それぞれ説明できる。
⑧ ネフローゼ症候群の分類，症候，診断と治療を，それぞれ説明できる。
⑨ 各腎疾患の症候，診断と治療を説明できる。
⑩ 自己免疫と炎症，自己抗体について説明できる。
⑪ 関節炎をきたす疾患を鑑別できる。
⑫ 副腎皮質ステロイド，非ステロイド性消炎鎮痛剤，免疫抑制剤，疾患修飾性抗リウマチ薬，生物学的製剤の臨床効果や副作用について，それぞれ説明できる。
⑬ 各リウマチ性疾患や膠原病の症候，診断と治療について，それぞれ説明できる。

3 成績の判定・評価

（1） 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	80%	多肢選択問題を原則とする。一部記述式問題を含む場合がある。
レポート	○	20%	アクティブ・ラーニングの内容についてまとめたレポートを提出する。
態度	○	—	受講態度が不良の場合は10点を限度に減点をする。

出席： 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。
Team-based learning (TBL)：TBLの進め方，チーム分け等は講義期間開始後に説明する。

（2） 合格基準

評価対象の合計が60%以上で合格とする。

（3） 再試験・再評価の方法

定期試験に準ずる再試験を行う。評価対象の合計が60%以上を合格とする。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

レポートについて特に点数の悪かったものに対しては，解説をしてフィードバックを行う。

４ 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症		MEDIC MEDIA	膠原病領域の主要疾患の基本的内容が網羅されている。
病気がみえる vol.8 腎・泌尿器		MEDIC MEDIA	腎臓の構造や機能，腎疾患の病態や治療が網羅されている。
レジュメ配付			

５ 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
リウマチ病学テキスト	日本リウマチ財団 日本リウマチ学会	診断と治療社	日本リウマチ学会教育委員会の標準的教科書で要点が簡潔に網羅されている。

６ 準備学習（予習・復習）

講義に臨む前に，授業計画の項目について教科書にて簡単な知識を得ておくこと（1コマあたり0.5時間）。

講義後は，教科書や配付資料等で講義内容をしっかり復習して知識を確実なものにしたうえで，以降の講義や小テスト，定期試験へ臨むこと（1コマあたり約1時間）。

７ 授業計画

（１） 講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが，講義中に一部小グループ討論や講師との質疑応答や，アクティブ・ラーニングを用いた授業も実施する。

（２） 講義の内容

腎臓領域とリウマチ膠原病領域を俯瞰的に捉え，二者の関係性や他臓器との関連について把握し，各論としては腎臓の構造や機能，各腎疾患の病態，リウマチ性疾患や膠原病の主要疾患の病態等を，臨床的な視点も交えて理解を深めていくことを目的とする。

腎・膠原病学

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/5/8(木)	1	ー	講義	腎臓の構造と機能，一次性糸球体疾患	腎内	教授	石本　卓嗣	202講
2025/5/8(木)	2	ー	講義	酸塩基平衡の基礎，病態と疾患	腎内	准教授(特任)	山口　真	202講
2025/5/8(木)	3	ー	講義	電解質異常:カリウム	ー	非常勤講師	坂　洋祐	202講
2025/5/8(木)	4	ー	講義	電解質異常:ナトリウム	腎内	助教	今井　健太郎	202講
2025/5/8(木)	5	ー	講義	電解質異常:カルシウム・リン・マグネシウム	腎内	准教授(特任)	山口　真	202講
2025/5/9(金)	1	ー	講義	膠原病症候群，自己免疫応答，自己抗体と組織障害，治療学	腎内	教授(特任)	坂野　章吾	202講
2025/5/9(金)	2	ー	講義	強皮症，混合性結合組織病	腎内	教授(特任)	坂野　章吾	202講
2025/5/9(金)	3	ー	講義	全身性エリテマトーデス，APS	腎内	准教授(特任)	山口　真	202講
2025/5/9(金)	4	ー	講義	自己炎症性疾患，成人Still病 ベーチェット病，痛風・高尿酸血症	腎内	准教授(特任)	山口　真	202講
2025/5/9(金)	5	ー	講義	CKDとAKI	ﾒﾃﾞｨｶﾙC	教授(特任)	勝野　敬之	202講
2025/5/12(月)	1	ー	講義	IgA腎症，膠原病・腎合併症	腎内	教授	石本　卓嗣	202講
2025/5/12(月)	2	ー	講義	糖尿病性腎症と腎硬化症	腎内	教授	石本　卓嗣	202講
2025/5/12(月)	3	ー	講義	微小血管障害，尿細管・間質性疾患	腎内	講師	杉山　浩一	202講
2025/5/12(月)	4	ー	講義	シェーグレン症候群，IgG4関連疾患 再発性多発軟骨炎，遺伝性血管性浮腫	腎内	助教	神谷　圭介	202講
2025/5/12(月)	5	ー	ー	予備				
2025/5/13(火)	1	ー	講義	関節リウマチ，PMR，RS3PE症候群	腎内	教授(特任)	坂野　章吾	202講
2025/5/13(火)	2	ー	講義	脊椎関節炎，若年性特発性関節炎	腎内	教授(特任)	坂野　章吾	202講
2025/5/13(火)	3	ー	ー	予備				
2025/5/13(火)	4	ー	講義	血管炎症候群の分類，診断，治療	腎内	教授(特任)	坂野　章吾	202講
2025/5/13(火)	5	ー	JS(水平)	小児と腎臓	小児	講師	畔柳　佳幸	202講
2025/5/15(木)	1	ー	講義	慢性腎不全の病態，腎性貧血， CKD-MBD，透析アミロイドーシス	腎内	特命教授	伊藤　恭彦	202講
2025/5/15(木)	2	ー	講義	血液透析と腹膜透析，アフェレーシス	腎内	准教授(特任)	鬼無　洋	202講
2025/5/15(木)	3	ー	AL	TBL　準備確認テスト　シナリオ提示	腎内 腎内 腎内	准教授(特任) 准教授(特任) 助教	鬼無　洋 山口　真 戸田　昌良	202講
2025/5/15(木)	4	ー	講義	多発性筋炎，皮膚筋炎	腎内	講師	杉山　浩一	202講
2025/5/15(木)	5	ー	講義	二次性糸球体疾患，急性・慢性腎盂腎炎	腎内	講師	杉山　浩一	202講
2025/5/16(金)	1	ー	ー	予備				
2025/5/16(金)	2	ー	ー	予備				
2025/5/16(金)	3	ー	講義	遺伝性腎疾患	腎内	准教授(特任)	鬼無　洋	202講
2025/5/16(金)	4	ー	JS(水平)	腎移植	腎外	教授	小林　孝彰	202講
2025/5/16(金)	5	ー	JS(垂直)	臨床と基礎から膠原病診療を考える	腎内 感・免学	教授 教授	石本　卓嗣 髙村　祥子	202講
2025/5/19(月)	1	ー	ー	自習				
2025/5/19(月)	2	ー	ー	自習				
2025/5/19(月)	3	ー	ー	自習				
2025/5/19(月)	4	ー	ー	自習				
2025/5/19(月)	**5**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**腎内**	**教授**	**石本　卓嗣**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
石本　卓嗣	教授	内科学講座(腎臓・ﾘｳﾏﾁ膠原病内科)	月曜日	11:00～12:00	D棟4階 腎臓内科医局
坂野　章吾	教授(特任)	内科学講座(腎臓・ﾘｳﾏﾁ膠原病内科)	火曜日	13:00～17:00	D棟4階 腎臓内科医局
鬼無　洋	准教授(特任)	内科学講座(腎臓・ﾘｳﾏﾁ膠原病内科)	月曜日	15:30～17:00	D棟4階 腎臓内科医局
山口　真	准教授(特任)	腎臓・ﾘｳﾏﾁ膠原病内科	木曜日	16:00～17:00	D棟4階 腎臓内科医局
杉山　浩一	講師	腎臓・ﾘｳﾏﾁ膠原病内科	火曜日	12:00～13:00	D棟4階 腎臓内科医局
今井　健太郎	助教	腎臓・ﾘｳﾏﾁ膠原病内科	水曜日	12:00～13:00	D棟4階 腎臓内科医局
神谷　圭介	助教	内科学講座(腎臓・ﾘｳﾏﾁ膠原病内科)	火曜日	12:00～13:00	D棟4階 腎臓内科医局
戸田　昌良	助教	腎臓・ﾘｳﾏﾁ膠原病内科	木曜日	12:00～13:00	D棟4階 腎臓内科医局
髙村　祥子	教授	感染・免疫学講座	月～金	10:00～17:00	2号館研究棟3階366号室
畔柳　佳幸	講師	小児科	月・火曜日	15:00～17:00	病院中央棟2階小児科外来
小林　孝彰	教授	外科学講座(腎移植外科)	月・木・金	17:00～18:00	C棟8階教授室
勝野　敬之	教授(特任)	ﾒﾃﾞｨｶﾙｾﾝﾀｰ	月曜日	12:00～13:00	D棟4階 腎臓内科医局
伊藤　恭彦	特命教授	経営戦略推進本部	水曜日	18:00～19:00	C棟7階伊藤特命教授部屋
坂　洋祐	非常勤講師	春日井市民病院腎臓内科	講義終了後，講義室にて		

血 液 ・ 造 血 器 学

【単位数：1.5単位，授業24コマ，予備1コマ（定期試験含まず）】

当該科目は医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

1　科目責任者

高見昭良　教授（血液内科）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅲ-３-b，Ⅲ-４-b，Ⅲ-５-b）

① 医学知識と科学的探究心関連コンピテンス・コンピテンシーについて，血液・造血系の生理，病理，薬理学を理解する。

② 血液疾患の症候（鑑別診断を含む），分子・遺伝子病態，診断，治療（造血幹細胞移植・輸血を含む）を理解する。

（２）　学修目標

① 血液の生成，代謝，役割，形態，異常病態を理解し，疾患を列挙できる。

② 血液疾患関連症候から必要な情報や検査法を挙げ，結果の解釈と鑑別診断ができる。

③ 血球の多寡を来す疾患の病因，病態，病理，症候，診断，分類，治療，予後を説明できる。

④ 血液がん，伝染性単核球症，血球貪食症候群の病因，病態，病理，症候，診断，分類，治療，予後を説明できる。

⑤ 血栓・止血・凝固・線溶関連疾患の病因，病態，病理，症候，診断，分類，治療，予後を説明できる。

⑥ 造血幹細胞移植の特徴，適応，合併症，対処法を説明できる。

⑦ 化学療法の効果，毒性，支持療法を説明できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	95％	講義内容と「病気がみえる　血液　vol 5」から多肢選択肢及び記述式で出題する。
レポート	○	5％	講義内容に基づきA４一枚程度のレポート提出。
態度	○	―	受講態度が不良の場合は10点を限度に減点をする。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

定期試験とレポートの合計が60％未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する。

レポートが60％未満の場合は，レポートの再提出を行う。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験の解答を公開する。再試験の解答は原則公開しない。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
病気がみえる　血液　vol 5	神田善伸 ほか	医療情報科学研究所	わかりやすいため。

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
ハリソン内科学　第5版（原著第19版）	福井次矢 (監修) ほか	メディカルサイエンスインターナショナル	内科医に必要な知識が網羅されているため。
内科学　第11版（2017）	矢崎義雄 （総編集）	朝倉書店	内科医に必要な知識が網羅されているため。
内科診断学　第3版（2016）	福井次矢， 奈良信雄 （編集）	医学書院	内科医に必要な知識が網羅されているため。

6　準備学習（予習・復習）

○　参考図書のどれかを選んで，その目次全体を眺め，どのような事項が取り上げられているのか確認しておく（1コマあたり約15分）。

○　上記の中で，興味を惹いた項目について記載内容を読んでおく（1コマあたり約0.5時間）。

○　1コマ目の講義で配付された資料について講義後に内容を再確認し，2コマ目以降の講義に臨む（1コマあたり約0.5時間）。

7　授業計画

（１）　講義の方法

大教室での知識伝達型講義を原則とする。一部小グループ討論や質疑応答などアクティブ・ラーニングの導入を考慮する。

（２）　講義の内容

教科書内容にとどまらず，臨床・研究の最先端知識を含める。

血液・造血器学

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/5/29(木)	1	ー	講義	血液学総論，検査	血内	教授	高見 昭良	202講
2025/5/29(木)	2	ー	講義	造血細胞移植の基礎と臨床	血内	教授	高見 昭良	202講
2025/5/29(木)	3	ー	講義	赤血球総論，貧血総論，鉄代謝障害，鉄欠乏性貧血	血内	教授	高見 昭良	202講
2025/5/29(木)	4	ー	講義	造血細胞移植と細胞バンク	ー	名誉教授	小寺 良尚	202講
2025/5/29(木)	5	ー	講義	白血球総論，白血球の異常総論，薬剤性無顆粒球症，伝染性単核症，Langerhans細胞組織球症，血球貪食症候群，白血球機能異常症	血内	講師	堀尾 知弘	202講
2025/5/30(金)	1	ー	講義	血液造血器腫瘍に対する化学療法・分子標的治療	腫瘍C	講師	村上 五月	202講
2025/5/30(金)	2	ー	講義	骨髄系腫瘍総論，骨髄異形成症候群	血内	教授(特任)	花村 一朗	202講
2025/5/30(金)	3	ー	講義	リンパ系腫瘍総論，悪性リンパ腫1	ー	非常勤講師	山本 英督	202講
2025/5/30(金)	4	ー	講義	悪性リンパ腫2，原発性マクログロブリン血症，慢性リンパ性白血病	ー	非常勤講師	山本 英督	202講
2025/5/30(金)	5	ー	講義	巨赤芽球性貧血，サラセミア	造血移C	教授(特任)	池亀 和博	202講
2025/6/2(月)	1	ー	ー	予備				
2025/6/2(月)	2	ー	ー	予備				
2025/6/2(月)	3	ー	講義	骨髄増殖性腫瘍(慢性骨髄性白血病，真性赤血球増多症，骨髄線維症，本態性血小板血症，慢性好酸球性白血病)	血内	講師	内野 かおり	202講
2025/6/2(月)	4	ー	講義	血液疾患の病理1	ー	非常勤講師	佐藤 啓	202講
2025/6/2(月)	5	ー	講義	血液疾患の病理2	ー	非常勤講師	佐藤 啓	202講
2025/6/3(火)	1	ー	講義	輸血医学1	ー	客員教授	加藤 栄史	202講
2025/6/3(火)	2	ー	講義	輸血医学2	ー	客員教授	加藤 栄史	202講
2025/6/3(火)	3	ー	講義	血栓止血学総論	輸血部	教授	中山 享之	202講
2025/6/3(火)	4	ー	講義	血栓止血学各論1	ー	客員教授	小嶋 哲人	202講
2025/6/3(火)	5	ー	講義	血栓止血学各論2	中検	講師	小川 実加	202講
2025/6/5(木)	1	ー	講義	溶血性貧血，再生不良性貧血	血内	教授	高見 昭良	202講
2025/6/5(木)	2	ー	講義	造血器腫瘍総論，急性白血病総論，急性骨髄性白血病	血内	准教授	水野 昌平	202講
2025/6/5(木)	3	ー	講義	HIV	感染症	教授	三鴨 廣繁	202講
2025/6/5(木)	4	ー	講義	急性リンパ性白血病，成人T細胞性白血病リンパ腫	血内	助教	篠原 早紀	202講
2025/6/5(木)	5	ー	講義	多発性骨髄腫と類縁疾患	血内	教授(特任)	花村 一朗	202講
2025/6/6(金)	1	ー	ー	自習				
2025/6/6(金)	2	ー	ー	自習				
2025/6/6(金)	3	ー	ー	自習				
2025/6/6(金)	4	ー	ー	自習				
2025/6/6(金)	**5**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**血内**	**教授**	**高見 昭良**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
高見　昭良	教授	内科学講座（血液内科）	月曜日	17:30～18:00	D棟3階血液内科医局
花村　一朗	教授(特任)	内科学講座（血液内科）	月曜日	17:30～18:00	D棟3階血液内科医局
水野　昌平	准教授	内科学講座（血液内科）	月曜日	17:30～18:00	D棟3階血液内科医局
内野　かおり	講師	血液内科	月曜日	17:30～18:00	D棟3階 血液内科医局
堀尾　知弘	講師	内科学講座（血液内科）	月曜日	17:30～18:00	D棟3階血液内科医局
篠原　早紀	助教	血液内科	月曜日	17:30～18:00	D棟3階 血液内科医局
三鴨　廣繁	教授	臨床感染症学講座	水曜日	8:00～8:20	C棟8階教授室
小川　実加	講師	中央臨床検査部	月・水・金曜日	16:00～18:00	大学病院中央棟2階輸血センター
中山　享之	教授	輸血部	月・火・金曜日	16:00～18:00	大学病院中央棟2階 輸血センター
村上　五月	講師	臨床腫瘍センター外来化学療法部門	月曜日	15:00～15:30	D棟3階　血液内科医局
池亀　和博	教授(特任)	造血細胞移植センター	月曜日	17:30～18:00	D棟3階 血液内科医局
加藤　栄史	非常勤講師	福友病院介護医療院 愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		
小寺　良尚	非常勤講師	造血細胞移植寄附講座 愛知医科大学名誉教授	講義終了後，講義室にて		
山本　英督	非常勤講師	名城大学薬学部教授	講義終了後，講義室にて		
小嶋　哲人	非常勤講師	一般財団法人 愛知健康増進財団 愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		

精　神　科　学

【単位数：2単位，授業 26 コマ，予備4コマ（定期試験含まず）】

当該科目は医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

1　科目責任者

宮田　淳　教授（精神科学）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅲ-３-ｂ，Ⅲ-４-ｂ，Ⅲ-５-ｂ）

① 基礎的な医学知識と科学的探究心を育む。統合失調症，双極症，うつ病，認知症，脳の損傷や身体疾患に伴う精神症状，てんかん，不安症，児童及び思春期に認められる精神疾患などを理解し，診断法及び治療法を習得する。また，心理教育や心理療法（精神療法）などの面接技法，電気けいれん療法などの身体的治療法を理解する。

② 医師−患者関係の重要性を認識し，特に人権の制限に関わる精神科入院に関して，精神保健福祉法などの法律について理解を深める。

（２）　学修目標

① 精神医学総論中の症状学については，精神症状を分類し，患者の主観的体験あるいは客観的な兆候の記述を正確に説明することができる。

② 代表的疾患の，概念・症状・病型・経過・予後などを列記し，適切な薬物療法及びその他の治療法を選択し，向精神薬の副作用についても具体的に述べることができる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	90％	各セクションで問題を作成し，これを実施する。 例年通り 10−12 セクションの記述式，多肢選択問題，正誤問題とする。
レポート	○	10％	授業を受ける前と後で，精神科疾患に対してどのようなイメージの変化があったかをレポートさせる。
態度	○	―	受講態度が不良の場合は，10％を限度に減点する。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が 60％以上（又は 60 点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

定期試験で 60％未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する（60％以上で合格）。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験の成績結果について公表する。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
標準精神医学	尾崎紀夫	医学書院	精神医学の基本的内容が網羅されている。
講義前後に AIDLE-K にアップロードされた資料			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
臨床精神医学講座8 薬物・アルコール関連障害	松下正明	中山書店	薬物・アルコール関連障害について詳述されている。
精神薬理学エッセンシャルズ	S.M.Stahl	メディカルサイエンスインターナショナル	精神薬理について詳述されている。
てんかん学ハンドブック　第4版	兼本浩祐	医学書院	てんかんについて詳述されている。
ケアする人の対話スキル ABCD	堀越　勝	日本看護協会出版会	精神療法だけでなく医師一般のための対話スキルがわかりやすく書かれている。
統合失調症	福田正人	医学書院	統合失調症について詳述されている。（特に第1章）
認知症ハンドブック	中島健二	医学書院	認知症の予防診断治療について幅広く記載されている。

6　準備学習（予習・復習）

予習：Diversity & inclusion について調べておくこと（1コマあたり 0.5 時間）。

復習：講義で学習した項目に該当する分野について，参考図書を用いて確認すること（1日あたり約1時間）。

7　授業計画

（1）　講義の方法

基本的に PowerPoint による大教室での知識伝達型の講義であるが，質疑応答やグループ・ディスカッションなどを適宜導入する。

（2）　講義の内容

初回に精神医学総論，次に症状学についての講義をし，以降は各論講義となる。

精神科学

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/6/26(木)	1	ー	講義	精神医学 序論	精神	教授	宮田 淳	202講
2025/6/26(木)	2	ー	講義	精神症状学①	ー	非常勤講師	前川 和範	202講
2025/6/26(木)	3	ー	講義	精神症状学②	ー	非常勤講師	前川 和範	202講
2025/6/26(木)	4	ー	講義	精神症状学③	精神	助教	藤田 貢平	202講
2025/6/26(木)	5	ー	講義	認知行動療法	―	非常勤講師	伊井 俊貴	202講
2025/6/27(金)	1	ー	講義	精神科治療①	精神	教授	宮田 淳	202講
2025/6/27(金)	2	ー	講義	精神科治療②	精神	教授	宮田 淳	202講
2025/6/27(金)	3	ー	講義	身体因を有する精神障害①	精神	助教	藤田 貢平	202講
2025/6/27(金)	4	ー	講義	身体因を有する精神障害②	精神	助教	藤田 貢平	202講
2025/6/27(金)	5	ー	講義	臨床精神薬理学入門	痛みC	教授(特任)	西原 真理	202講
2025/7/1(火)	1	ー	講義	心理検査	こころC	臨床心理士	酒井 玲子	202講
2025/7/1(火)	2	ー	講義	司法精神医学・精神保健福祉法	精神	准教授	河合 三穂子	202講
2025/7/1(火)	3	ー	講義	てんかんと臨床脳波①	精神	教授	宮田 淳	202講
2025/7/1(火)	4	ー	講義	てんかんと臨床脳波②	精神	准教授	河合 三穂子	202講
2025/7/1(火)	5	ー	講義	精神科治療③	精神	准教授	河合 三穂子	202講
2025/7/3(木)	1	ー	講義	児童・思春期の精神障害①	精神	助教	吉本 隆明	202講
2025/7/3(木)	2	ー	講義	児童・思春期の精神障害②	精神	助教	吉本 隆明	202講
2025/7/3(木)	3	ー	講義	脳とこころ	精神	教授	宮田 淳	202講
2025/7/3(木)	4	ー	講義	統合失調症①	精神	教授	宮田 淳	202講
2025/7/3(木)	5	ー	講義	統合失調症②	精神	教授	宮田 淳	202講
2025/7/4(金)	1	ー	講義	感情障害①	精神	講師	田所 ゆかり	202講
2025/7/4(金)	2	ー	講義	感情障害②	精神	講師	田所 ゆかり	202講
2025/7/4(金)	3	ー	講義	不安障害，強迫性障害	精神	講師	田所 ゆかり	202講
2025/7/4(金)	4	ー	講義	薬物依存・アルコール依存	精神	准教授	深津 孝英	202講
2025/7/4(金)	5	ー	講義	認知症	精神	准教授	深津 孝英	202講
2025/7/7(月)	1	ー	講義	摂食障害	精神	助教	吉田 太郎	202講
2025/7/7(月)	2	ー	ー	予備				
2025/7/7(月)	3	ー	ー	予備				
2025/7/7(月)	4	ー	ー	予備				
2025/7/7(月)	5	ー	ー	予備				
2025/7/8(火)	1	ー	ー	自習				
2025/7/8(火)	2	ー	ー	自習				
2025/7/8(火)	3	ー	ー	自習				
2025/7/8(火)	4	ー	ー	自習				
2025/7/8(火)	**5**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**精神**	**教授**	**宮田 淳**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
宮田　淳	教授	精神科学講座	金曜日	終日	C棟7階教授室
深津　孝英	准教授	精神科学講座	月曜日	14:00～15:00	C棟9階医局
河合　三穂子	准教授	精神神経科	月曜日	12:30～13:30	C棟9階医局
田所　ゆかり	講師	精神神経科	金曜日	15:00～16:00	C棟9階医局
藤田　貢平	助教	精神科学講座	金曜日	14:00～15:00	C棟9階医局
吉田　太郎	助教	精神神経科	木曜日	14:00～15:00	C棟9階医局
吉本　隆明	助教	精神神経科	水曜日	15:00～16:00	C棟9階医局
西原　真理	教授(特任)	疼痛緩和外科	月曜日	15:00～17:00	6号館疼痛医学講座医局
酒井　玲子	臨床心理士	こころのケアセンター	講義終了後，講義室にて		
伊井　俊貴	非常勤講師	メンタルコンパス株式会社　代表取締役	講義終了後，講義室にて		
前川　和範	非常勤講師	豊田厚生病院　精神科代表部長	講義終了後，講義室にて		

小　児　科　学

【単位数：2単位，授業28コマ，予備7コマ（定期試験含まず）】
当該科目は医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

1　科目責任者

奥村彰久　教授（小児科学）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅲ-4-b）

① コアコンピテンスの“医学知識と科学的探究心”の達成のため，小児医療を行うのに必要な知識である病態生理を理解した上で，論理的思考の元に臨床症状，検査方法，治療法を積極的な自己学習を中心にして修得し，そのことによって“プロフェッショナリズム”を養うことにも繋げる。

② 新生児期から思春期にかけての生理的成長・発達とその異常の特徴及び精神・社会的な問題を理解し，小児及び小児疾患の特性を把握した上で，小児疾患の病態，症状，診断並びに治療の概略を理解する。

（2）　学修目標

① 小児の成長・発達に関する基本的な知識について述べることができる。
② 小児保健としてなすべきことは何か，どのような形で行うか，具体的に述べることができる。
③ 小児のバイタルサインや検査値の正常値は，成人と異なる事を理解する。
④ 小児特有の疾患では，好発年齢を把握し，病態生理から症状を説明し，治療計画が立てられる。
⑤ 小児でよくみられる疾患では，疫学，病態生理，好発年齢，好発時期，臨床症状，検査成績，合理的な治療法を常に念頭に置いて説明する事が出来る。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	80％	多肢選択問題を原則とし，一部記述問題を含む場合がある。
小テスト	○	20％	アクティブ・ラーニング時の小テスト
態度	○	―	著しく態度不良の場合は，「イエローカードまたはレッドカード」を提出するとともに，10％を限度に減点をする。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。
60％未満の場合は，再試験を実施する。

（3）　再試験・再評価の方法

再試験は記述問題を原則とし，一部多肢選択問題を含む場合がある（60％以上で合格）。

（4）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験の成績についての総括を学内メールで実施する。
これにて理解が不十分な項目について再確認を促すとともに，定期試験で不合格となった者は再試験に備える。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
レジュメ配付			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
日本語版　ネルソン小児科学　原著第19版	監修:衛藤義勝	ELSEVIER	世界水準の基礎的内容が網羅されている。
病気がみえる Vol.15 小児科	編集:医療情報科学研究所	MEDIC MEDIA	基礎的な内容が最低限必要な知識として図解を駆使して提供されている。
標準小児科学(第9版)	監修: 原　寿郎	医学書院	基本的内容が学生の理解しやすいように記載されている。
小児科学(改訂第11版)	編集: 加藤　元博	文光堂	基本的内容が学生の理解しやすいように記載されている。
国試小児科学(第6版)	編集:井田博幸	TECOM	基本的内容が国家試験と関連付けて記載されている。

6　準備学習（予習・復習）

○ AIDLE-Kにアップされた講義資料を見て，当日までに講義内容を把握しておく(1コマあたり約1時間)。
○ 講義で配付された資料，AIDLE-Kに掲載された資料は講義後に内容を再確認する(1コマあたり約0.5時間)。
○ アクティブ・ラーニングでは，AIDLE-Kにアップされた資料を当日までに閲覧し，内容を自己学習しておく(1コマあたり約2時間)。

7　授業計画

(1)　講義の方法

① 一部でアクティブ・ラーニング(TBLあるいはCBL)を行う。小テスト，グループ内討論，グループ間討論や教員との質疑応答などの後，成果を提出する。
② 知識伝達型の講義の中でも，一部，小グループ討論や講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

(2)　講義の内容

小児科学初回講義で，総論として小児の特性，小児科学の特徴を解説し，以後の各論ではアクティブ・ラーニングを随時行い，自己学修と解説を通じて広い範囲の小児疾患を病態生理から治療までを深く理解していく。

＜参考＞

機会が合えば，講義に替えて近隣の県で開催される関連する全国規模の学会に参加し，最新の医療情報を学ぶこともある。

小児科学

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/11/6(木)	1	ー	講義	総論1	小児	教授	奥村 彰久	202講
2025/11/6(木)	2	ー	講義	遺伝・先天異常	小児	教授	奥村 彰久	202講
2025/11/6(木)	3	ー	講義	呼吸器	ー	非常勤医師	武藤 太一朗	202講
2025/11/6(木)	4	ー	講義	アレルギー	ー	非常勤医師	武藤 太一朗	202講
2025/11/6(木)	5	ー	講義	血液・免疫	小児	准教授	堀 壽成	202講
2025/11/7(金)	1	ー	AL	TBL① 神経	小児	講師	倉橋 宏和	101講
2025/11/7(金)	2	ー	JS(水平)	新生児の外科疾患	小児 消外	准教授 助教	垣田 博樹 加藤 翔子	202講
2025/11/7(金)	3	ー	講義	循環器	ー	非常勤医師	森 啓充	202講
2025/11/7(金)	4	ー	講義	小児外科	小児	助教	加藤 翔子	202講
2025/11/7(金)	5	ー	講義	代謝	小児	講師	東 慶輝	202講
2025/11/10(月)	1	ー	AL	TBL② 内分泌	ー	非常勤講師	岩山 秀之	101講
2025/11/10(月)	2	ー	講義	神経	小児	講師	倉橋 宏和	202講
2025/11/10(月)	3	ー	講義	腎・泌尿器	小児	講師	畔柳 佳幸	202講
2025/11/10(月)	4	ー	講義	感染症・予防接種①	小児	教授(特任)	伊藤 嘉規	202講
2025/11/10(月)	5	ー	講義	感染症・予防接種②	小児	教授(特任)	伊藤 嘉規	202講
2025/11/11(火)	1	ー	AL	TBL③ 腎・泌尿器	小児	講師	畔柳 佳幸	101講
2025/11/11(火)	2	ー	講義	児童心理	ー	非常勤講師	福本 由紀子	202講
2025/11/11(火)	3	ー	講義	新生児①	小児	教授	山田 恭聖	202講
2025/11/11(火)	4	ー	講義	新生児②	小児	教授	山田 恭聖	202講
2025/11/11(火)	5	ー	講義	神経・筋	小児	講師	倉橋 宏和	202講
2025/11/13(木)	1	ー	AL	TBL④ 総論	小児	教授	奥村 彰久	101講
2025/11/13(木)	2	ー	講義	自己免疫	小児	助教	本間 仁	202講
2025/11/13(木)	3	ー	講義	内分泌	ー	非常勤講師	岩山 秀之	202講
2025/11/13(木)	4	ー	講義	外来小児学	ー	客員教授	佐々木 邦明	202講
2025/11/13(木)	5	ー	講義	先天代謝異常	小児	准教授	堀 壽成	202講
2025/11/14(金)	1	ー	JS(水平)	小児と成人のIBD	小児 小児	助教 講師	宮本 亮佑 山口 純治	202講
2025/11/14(金)	2	ー	講義	消化器	小児	助教	宮本 亮佑	202講
2025/11/14(金)	3	ー	講義	腫瘍	小児	准教授	堀 壽成	202講
2025/11/14(金)	4	ー	ー	予備				
2025/11/14(金)	5	ー	ー	予備				
2025/11/17(月)	1	ー	ー	予備				
2025/11/17(月)	2	ー	ー	予備				
2025/11/17(月)	3	ー	ー	予備				
2025/11/17(月)	4	ー	ー	予備				
2025/11/17(月)	5	ー	ー	予備				
2025/11/18(火)	1	ー	ー	自習				
2025/11/18(火)	2	ー	ー	自習				
2025/11/18(火)	3	ー	ー	自習				
2025/11/18(火)	4	ー	ー	自習				
2025/11/18(火)	**5**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**小児**	**教授**	**奥村 彰久**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
奥村 彰久	教授	小児科学講座	火曜日	16:00～18:00	C棟10階小児科医局
伊藤 嘉規	教授(特任)	小児科学講座	木曜日	16:00～17:00	C棟10階小児科医局
堀 壽成	准教授	小児科学講座	木曜日	15:00～17:00	病院中央棟2階小児科外来
東 慶輝	講師	小児科学講座	月・木曜日	13:00～16:00	2号館研究棟 小児科学研究室309
倉橋 宏和	講師	小児科学講座	水曜日	11:00～13:00	C棟10階小児科医局
畔柳 佳幸	講師	小児科	月・火曜日	15:00～17:00	病院中央棟2階小児科外来
本間 仁	助教	小児科学講座	月曜日	13:00～15:00	C棟10階小児科医局
宮本 亮佑	助教	小児科	火曜日	終日	病院中央棟2階小児科外来
山口 純治	講師	消化管内科	火曜日	16:00～17:00	D棟2階消化管内科・肝胆膵内科医局
加藤 翔子	助教	消化器外科	金曜日	16:00～17:00	病院中央棟2階 小児科外来
山田 恭聖	教授	周産期母子医療センター	木曜日	16:00～17:00	中央棟6階NICU病棟医師控え室
垣田 博樹	准教授	周産期母子医療センター	火、金曜日	16:00−17:00	中央棟6階NICU病棟医師控え室
武藤 太一朗	非常勤医師	名古屋記念病院 小児科部長	講義終了後，講義室にて		
森 啓充	非常勤医師	小児科	講義終了後，講義室にて		
岩山 秀之	非常勤講師	ほしがおか成長クリニック 院長	講義終了後，講義室にて		
佐々木 邦明	非常勤講師	愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		
福本 由紀子	非常勤講師	岡崎市こども発達医療センター 所長	講義終了後，講義室にて		

整　形　外　科　学

【単位数：1単位，授業18コマ，予備2コマ（定期試験含まず）】
当該科目は医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

1　科目責任者

高橋伸典　教授（整形外科学）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅲ-3-b，Ⅲ-4-b，Ⅲ-5-b）

① コアコンピテンスの“運動器（筋骨格）系疾患の基本的診療能力”について理解をするため，知識，技能，態度を学び，その実践を通じて“プロフェッショナリズム”の修得につなげる。
② 運動器系の正常構造と機能を理解し，主な運動器疾患の病因，病態生理，症候，診断と治療を学ぶ。

（2）　学修目標

① 筋・骨格系の基本的な構造と機能について述べることができる。
② 筋・骨格系の基本的な疾患や外傷に対する反応について述べることができる。
③ 基本的な整形外科的用語を記憶し，説明することができる。
④ 上肢体（肩，肘，手，指関節）の機能解剖と上肢の運動について概要を述べることができる。
⑤ 下肢体（骨盤，股，膝，足関節）の機能解剖と下肢の運動について概要を述べることができる。
⑥ 躯幹の機能解剖と運動について概要を述べることができる。
⑦ 小児疾患（先天性股関節脱臼，先天性斜頚，先天性内反足，ペルテス病，その他の骨端症）の病態を述べることができる。
⑧ 脊椎疾患（変形性脊椎症，椎間板ヘルニア，脊椎分離・すべり症，後縦靭帯骨化症），外傷（脊髄損傷）について病態と治療の概要を述べることができる。
⑨ 椎間板ヘルニアの高位診断ができる。
⑩ 骨折の分類（皮下骨折，開放骨折，疲労骨折，病的骨折）について実例をあげて説明できる。
⑪ 骨折の特徴を年齢で比較し，それぞれの治療の概要を説明できる。
⑫ 骨折異常治癒（遷延治癒，偽関節，変形治癒）について述べることができる。
⑬ 外傷性脱臼，病的脱臼，習慣性脱臼の対比ができ，実例をあげて説明できる。
⑭ 靭帯損傷（前十字靭帯損傷，内側側副靭帯損傷，足関節捻挫）について病態と治療の概要を述べることができる。
⑮ 絞扼性神経損傷（橈骨神経麻痺，尺骨神経麻痺，正中神経麻痺，腓骨神経麻痺）の診断ができる。
⑯ 関節リウマチ及びその類似疾患をあげ，病態，臨床症状，検査所見，治療の概要を述べることができる。
⑰ 主要な変形性関節症（変形性股関節症，変形性膝関節症など）をあげ，病態，臨床症状，治療の概要を述べることができる。
⑱ 痛風，偽痛風，リウマチ性関節症，神経病性関節症の病態と治療の概要を述べることができる。
⑲ 化膿性関節炎，急性・慢性化膿性骨髄炎，骨・関節結核の病態の概要を述べることができる。
⑳ 骨・軟部腫瘍の概論（肉腫とは，診断の進め方，治療）を述べることができる。
㉑ 悪性骨腫瘍（骨肉腫），良性骨腫瘍（内軟骨腫，類骨骨腫），骨腫瘍類似疾患（線維性骨異形成症），良性軟部腫瘍（神経鞘腫），軟部悪性腫瘍（悪性線維性組織球症）の概要を説明できる。
㉒ 骨粗鬆症の病態を説明できる。
㉓ 系統疾患を列挙できる。
㉔ リハビリテーションの概念を述べ，理学療法，作業療法，言語聴覚療法を説明できる。
㉕ 保存的治療と手術的治療の概要を述べることができる。
㉖ 四肢躯幹の単純X線像及び正常関節のMRIを読影できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	70%	多肢選択問題を原則とし，一部記述式を含む場合がある。
レポート	○	30%	レポート提出
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は，全体から最大10%減点をする。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

評価対象の合計が60%未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する（60%以上で合格）。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

レポート課題は講義開始時に通達する。最終講義終了日までに課せられたレポート課題を提出すること。課題（試験やレポート）に対し理解が不十分な項目があれば確認を促し，修正等があれば適宜学内メールで案内する。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
標準整形外科学	中村利孝 松野丈夫 監修	医学書院	基本的内容が網羅されている。

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
TEXT 整形外科学	大鳥精司 高相晶士 出家正隆 吉矢晋一 編	南山堂	基本的内容が網羅されている。

6　準備学習（予習・復習）

教科書や参考図書より，その分野を事前に確認し講義に臨むこと（1コマあたり約0.5時間）。

1コマ目の講義で配付された資料について講義後に内容を再確認し，2コマ目以降の講義に臨むこと（1コマあたり約0.5時間）。

7　授業計画

（１）　講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが，講義中，一部，小グループ討論や講師との質疑応答などを行う。

（２）　講義の内容

各分野別に，運動器系の正常構造と機能を理解し，主な運動器疾患の病因，病態生理，症候，診断と治療を学ぶ。

整形外科学

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/7/10(木)	1	ー	講義	筋骨格組織:構造, 機能, 疾患, 治療	整形	教授	高橋 伸典	202講
2025/7/10(木)	2	ー	講義	関節リウマチ	整形	教授	高橋 伸典	202講
2025/7/10(木)	3	ー	講義	コモンディジーズ/ 肘・手・手関節疾患, 絞扼性神経障害	整形	講師	藤原 祐樹	202講
2025/7/10(木)	4	ー	講義	コモンディジーズ/膝・足関節疾患	整形	助教	髙田 琢也	202講
2025/7/10(木)	5	ー	講義	スポーツ外傷・障害(下肢)	整形	助教	山梨 裕貴	202講
2025/7/11(金)	1	ー	JS(垂直)	骨・関節疾患・軟部腫瘍の病理	病理学	講師	伊藤 秀明	202講
2025/7/11(金)	2	ー	講義	脊椎・脊髄疾患 脊椎脊髄損傷, 脊椎脊髄腫瘍	整形	教授(特任)	若尾 典充	202講
2025/7/11(金)	3	ー	講義	骨折下肢・骨盤骨折, 老人骨折	整形	講師	大橋 禎史	202講
2025/7/11(金)	4	ー	講義	スポーツ外傷・障害(上肢)	整形	准教授(特任)	池本 竜則	202講
2025/7/11(金)	5	ー	ー	予備				
2025/7/14(月)	1	ー	講義	コモンディジーズ/頚椎・胸椎疾患	整形	講師	平澤 敦彦	202講
2025/7/14(月)	2	ー	講義	コモンディジーズ/腰椎疾患	整形	講師	平澤 敦彦	202講
2025/7/14(月)	3	ー	講義	外傷総論, 感染症・骨髄炎	骨・四C	教授(特任)	吉田 昌弘	202講
2025/7/14(月)	4	ー	講義	骨:骨の成長, 骨形成, 吸収, 骨粗鬆症	ロコモC	教授(特任)	中村 幸男	202講
2025/7/14(月)	5	ー	講義	骨折上肢, 小児骨折	ー	非常勤講師	米田 英正	202講
2025/7/15(火)	1	ー	講義	コモンディジーズ/股関節疾患	整形	准教授	森島 達観	202講
2025/7/15(火)	2	ー	講義	小児整形外科疾患 先天性股関節脱臼, 骨頭すべり症	整形	准教授	森島 達観	202講
2025/7/15(火)	3	ー	講義	骨腫瘍の総論・各論	整形	講師	河南 勝久	202講
2025/7/15(火)	4	ー	講義	骨系統疾患:診断と病態	ﾒﾃﾞｨｶﾙC	教授(特任)	関 泰輔	202講
2025/7/15(火)	5	ー	ー	予備				
2025/7/16(水)	1	ー	ー	自習				
2025/7/16(水)	2	ー	ー	自習				
2025/7/16(水)	3	ー	ー	自習				
2025/7/16(水)	4	ー	ー	自習				
2025/7/16(水)	**5**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**整形**	**教授**	**高橋 伸典**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
高橋　伸典	教授	整形外科学講座	水曜日	15:00～16:00	C棟9階整形外科医局
森島　達観	准教授	整形外科学講座	火曜日	16:30～17:00	C棟9階整形外科医局
若尾　典充	教授(特任)	整形外科学講座	月曜日	17:00～17:30	C棟9階整形外科医局
池本　竜則	准教授(特任)	整形外科学講座	月曜日	17:00～17:30	C棟9階整形外科医局
大橋　禎史	講師	整形外科	火曜日	16:30～17:00	C棟9階整形外科医局
河南　勝久	講師	整形外科	月曜日	17:00～17:30	C棟9階整形外科医局
平澤　敦彦	講師	整形外科学講座	月曜日	17:00～17:30	C棟9階整形外科医局
髙田　琢也	助教	整形外科学講座	火曜日	16:30～17:00	C棟9階整形外科医局
伊藤　秀明	講師	病理学講座	月・火・金曜日	10:00～17:00	2号館研究棟2階261号室
山梨　裕貴	助教	救命救急科	火曜日	16:30～17:00	C棟9階整形外科医局
吉田　昌弘	教授(特任)	骨盤・四肢外傷ｾﾝﾀｰ	火曜日	16:30～17:00	C棟9階整形外科医局
中村　幸男	教授(特任)	骨粗鬆症・ﾛｺﾓ・関節疾患ｾﾝﾀｰ	月曜日	17:00～17:30	C棟9階整形外科医局
関　泰輔	教授(特任)	ﾒﾃﾞｨｶﾙｾﾝﾀｰ	講義終了後，講義室にて		
米田　英正	非常勤講師	名古屋大学医学部付属病院　人間拡張・手の外科学講座助教	講義終了後，講義室にて		

泌　尿　器　科　学

【単位数：1単位，授業18コマ，予備2コマ（定期試験含まず）】
当該科目は医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

1　科目責任者

佐々直人　教授（泌尿器科学）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅰ-11-b，Ⅲ-3-b，Ⅲ-4-b，Ⅲ-5-b，Ⅳ-4-b）

① 泌尿器疾患の病態と症候を説明でき，その鑑別と診断を計画できるよう理解する。泌尿器科疾患の適切な治療，最新の治療を理解し説明でき，さらに医学・医療における疑問点を見出し解決できる力を培う。

② 泌尿器・男性生殖器の発生，構造，機能を理解し，今後の超高齢化社会における泌尿器科の重要性（泌尿器科悪性腫瘍，尿失禁，女性泌尿器科），役割（排尿ケア，不妊症）を理解する。

（2）　学修目標

① 男性，女性の尿路・泌尿器・男性生殖器の発生，正常構造，機能について述べることができる。
② 基本的な泌尿器科的検査（尿所見，CT，MRI画像など）の目的・意義を理解できる。
③ 症候より泌尿器科疾患を鑑別できるようにする。
④ 泌尿器科悪性腫瘍（がん），良性腫瘍の診断・検査・治療を理解する。
⑤ 男性における排尿の問題を理解する（前立腺肥大症，神経因性膀胱など）。
⑥ 女性における排尿の問題を理解する（尿失禁，骨盤臓器脱，過活動膀胱など）。
⑦ 若年患者（AYA世代）における泌尿器科の役割を理解する（精巣腫瘍，男性不妊症）。
⑧ 尿路結石の診断・検査・治療を概説できる。
⑨ 泌尿器科疾患で困っている患者に寄り添えるように排尿にかかわる問題を理解し，概説できるようにする。
⑩ 泌尿器科の最先端治療を理解し，自らの学習意欲の活力にできるようにする。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	100％	多肢選択式問題を原則とする。一部記述式を含む場合がある。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は定期試験の点数より10点を限度に減点をする。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（3）　再試験の方法

定期試験で60％未満の場合は，再試験を実施する。課題・レポートを課す。60％以上を合格とする。

（4）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験の成績についての総括を学内メールで実施する。

これにて理解が不十分な項目について再確認を促すとともに，定期試験で不合格となった者は再試験に備える。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
標準泌尿器科学	赤座英之	医学書院	泌尿器疾患を理解するために必要な知識を網羅的に学ぶことができる。
講義資料			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
『Campbell's Urology (Vol. Ⅰ～Ⅲ)』	Walsch et al	Saunders	泌尿器疾患を理解するために必要な知識を網羅的に学ぶことができる。
『Clinical Urography (Vol. Ⅰ～Ⅲ)』	Dollack et al	Saunders	泌尿器疾患の臨床を理解するために必要な知識が学べる。
『General Urology』	D.Smith	Lange	上記２教科書より簡便に泌尿器科疾患を学ぶことができる。

6　準備学習（予習・復習）

○　教科書，参考図書の該当部分に目を通し，講義内容の概要を把握する（1コマあたり約1時間）。
○　1コマ目の講義で配付された資料について講義後に内容を再確認する（1コマあたり約1時間）。

7　授業計画

（１）　講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが，講義中，一部，小グループ討論や講師との質疑応答を導入する。

（２）　講義の内容

泌尿器科学の基礎的知識，病態の整理と，臨床現場での癌患者の診断治療の流れを想定して講義を進める。実臨床に沿った，活かせる講義を行う。そして，泌尿器科のこれからと今，そして未来の役割，泌尿器科の魅力を理解する。

泌尿器科学

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/5/20(火)	1	ー	講義	尿路性器の解剖と生理	泌尿器	教授	佐々　直人	202講
2025/5/20(火)	2	ー	講義	泌尿器科疾患における症候と検査	泌尿器	教授	佐々　直人	202講
2025/5/20(火)	3	ー	講義	泌尿器科内分泌学	泌尿器	教授	佐々　直人	202講
2025/5/20(火)	4	ー	講義	排尿機能異常	泌尿器	助教	梶川　圭史	202講
2025/5/20(火)	5	ー	講義	前立腺肥大症	泌尿器	助教	梶川　圭史	202講
2025/5/22(木)	1	ー	講義	女性泌尿器科(性器脱と尿失禁)	泌尿器	准教授	馬嶋　剛	202講
2025/5/22(木)	2	ー	講義	尿路生殖器の発生と先天異常・性分化異常	泌尿器	准教授	馬嶋　剛	202講
2025/5/22(木)	3	ー	講義	尿路性器炎症性疾患	泌尿器	准教授	馬嶋　剛	202講
2025/5/22(木)	4	ー	講義	泌尿器科腫瘍:前立腺癌	泌尿器	助教	山際　将	202講
2025/5/22(木)	5	ー	講義	男性不妊症, 男性性機能障害	泌尿器	助教	山際　将	202講
2025/5/23(金)	1	ー	講義	泌尿器科腫瘍:腎	泌尿器	助教	村松　知昭	202講
2025/5/23(金)	2	ー	JS(垂直)	泌尿器腫瘍病理	病理診断	教授	都築　豊徳	202講
2025/5/23(金)	3	ー	講義	泌尿器科腫瘍:精巣腫瘍・尿路上皮	泌尿器	助教	村松　知昭	202講
2025/5/23(金)	4	ー	講義	尿路結石症	ー	非常勤講師	鶴田　勝久	202講
2025/5/23(金)	5	ー	講義	腎血管疾患	泌尿器	助教	梶川　圭史	202講
2025/5/26(月)	1	ー	ー	予備				
2025/5/26(月)	2	ー	講義	小児泌尿器科・尿路性器外傷・緊急処置	泌尿器	助教	黒須　春香	202講
2025/5/26(月)	3	ー	講義	尿路通過障害・腎後性腎不全	泌尿器	助教	黒須　春香	202講
2025/5/26(月)	4	ー	講義	泌尿器科オフィスウロロジー, 排尿ケア	ー	客員教授	中村　小源太	202講
2025/5/26(月)	5	ー	ー	予備				
2025/5/27(火)	1	ー	ー	自習				
2025/5/27(火)	2	ー	ー	自習				
2025/5/27(火)	3	ー	ー	自習				
2025/5/27(火)	4	ー	ー	自習				
2025/5/27(火)	**5**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**泌尿器**	**教授**	**佐々　直人**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
佐々　直人	教授	泌尿器科学講座	水曜日	16:00～18:00	C棟7階 教授室
馬嶋　剛	准教授	泌尿器科学講座	水曜日	16:00～18:00	D棟5階 泌尿器科医局
梶川　圭史	助教	泌尿器科	水曜日	16:00～18:00	D棟5階 泌尿器科医局
村松　知昭	助教	泌尿器科	水曜日	16:00～18:00	D棟5階 泌尿器科医局
黒須　春香	助教	泌尿器科	水曜日	16:00～18:00	D棟5階 泌尿器科医局
山際　将	助教	泌尿器科	水曜日	16:00～18:00	D棟5階 泌尿器科医局
都築　豊徳	教授	病理診断学講座	月曜日	16:00～17:00	病理診断センター
鶴田　勝久	非常勤講師	つるたクリニック眼科・泌尿器科　院長	講義終了後，講義室にて		
中村　小源太	非常勤講師	愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		

産　　科　　学

【単位数：1単位，授業16コマ，予備4コマ(定期試験含まず)】
当該科目は医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

1　科目責任者

渡辺員支　教授（産婦人科学）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅰ-7-b，Ⅰ-8-b，Ⅲ-3-b，Ⅲ-4-b，Ⅲ-5-b）

① コンピテンスの“医学知識と科学的探究心”の理解ができるようになるため，産科医療に必要な知識，技能，態度を学び，そのことによって医学生としての“プロフェッショナリズム”を身につける。
② 妊娠，分娩と産褥期の管理に必要な基礎知識とともに，母子保健，生殖医療のあり方を学ぶ。

（2）　学修目標

① 女性生殖内性器の発生と形態異常を説明できる。
② 正常妊娠・分娩・産褥経過を説明できる。
③ 妊娠・分娩・産褥での母体の解剖学的と生理学的変化を説明できる。
④ 異常妊娠・異常分娩・異常産褥の病態を説明できる。
⑤ 正常分娩や異常分娩の対応（鉗子分娩，帝王切開など）を説明できる。
⑥ 産科救急（産科出血，播種性血管内凝固＜DIC＞）の病態と治療を説明できる。
⑦ 主な合併症妊娠の病態を説明できる。
⑧ 母子保健の意義を医学的に説明できる。
⑨ 妊娠時の薬物療法の注意点を説明できる。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	90%	多肢選択問題を原則とする。
小テスト	○	10%	アクティブ・ラーニングにおいて，小テストを行う。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は5%を限度に減点をする。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）　合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（3）　再試験・再評価の方法

定期試験に準ずる再試験を行う。60%以上を合格とする。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
配付資料をAIDLE-Kに収載			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
標準産科婦人科学	岡井 崇 綾部琢哉 編	医学書院	基本から最新の膨大な情報が有機的に統合されている。
NEWエッセンシャル　産科学・婦人学	池ノ上克， 鈴木秋悦	医歯薬出版	医学生に必須の最新知識を取り入れている。
ウィリアムズ産科学　原著25版	岡本愛光 監修	南山堂	1世紀以上の間，世界で最も詳しく，かつ権威ある産科学の臨床テキストとして読み継がれてきた『Williams OBSTETRICS』の翻訳版。周産期領域のバイブル。
https://www.uptodate.com		UpToDate	院内HPからアクセスして最新情報を入手できる。

6　準備学習（予習・復習）

① 講義前に事前配付，又はAIDLE-Kにアップされた講義資料に目を通して講義に参加し（約1時間），講義終了後は，内容を再確認して次の講義に臨むこと。

② 参考図書を利用し，授業で触れられなかった内容についても理解すること。理解できない点があれば，オフィスアワーなどを利用して質問し，理解すること。

③ アクティブ・ラーニングは，事前に配付又はAIDLE-Kにアップされた資料に目を通し，疑問点を参考図書などで調べた上で臨むこと。

7　授業計画

（1）　講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義である。

アクティブ・ラーニングを導入する。

（2）　講義の内容

コアカリキュラムに基づき，正常及び異常な妊娠・分娩・産褥の経過，主な合併症妊娠，産科手術，産科救急及び妊娠時の薬物療法の注意点について具体的な内容を提示しながら，概念理解を進めていく。

アクティブ・ラーニングは，小グループに分け，産科に関するシナリオに基づき質疑応答を行う。

生物学2コマ，母子保健1コマ，病理学1コマを予定している。

産科学

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/10/17(金)	1	ー	講義	妊娠の生理，正常妊娠	産婦	助教	岡本 知士	202講
2025/10/17(金)	2	ー	講義	正常分娩・産褥	産婦	助教	岡本 知士	202講
2025/10/17(金)	3	ー	講義	妊娠の異常（胎児発育不全，胎児の中枢神経系・消火器・泌尿器・循環器・骨疾患・染色体異常・遺伝子病，TORCH）	産婦	教授	渡辺 員支	202講
2025/10/17(金)	4	ー	講義	妊娠の異常（妊娠高血圧症候群，HELLP症候群，妊娠糖尿病，羊水過多・過少，合併症妊娠）	産婦	教授	渡辺 員支	202講
2025/10/17(金)	5	ー	講義	多胎妊娠，前置胎盤，常位胎盤早期剥離，癒着胎盤，産科DIC	産婦	教授	渡辺 員支	202講
2025/10/20(月)	1	ー	JS(垂直)	性腺・性器発生と分化，その異常	生物学	教授	武内 恒成	202講
2025/10/20(月)	2	ー	JS(垂直)	内性器形態の異常と子宮の発生と奇形，性分化疾患	生物学	教授	武内 恒成	202講
2025/10/20(月)	3	ー	講義	分娩の異常	産婦	助教	岡本 知士	202講
2025/10/20(月)	4	ー	講義	産科処置（分娩誘発・促進，急速遂娩など）	産婦	助教	岡本 知士	202講
2025/10/20(月)	5	ー	講義	妊娠悪阻，流産，不育症，妊娠と薬，妊娠と放射線，子宮頸管無力症，絨毛膜羊膜炎，Rh不適合妊娠，早産	ー	非常勤講師	岩﨑 愛	202講
2025/10/21(火)	1	ー	講義	胎児・胎盤検査法（胎児心拍陣痛計，超音波検査など）	産婦	助教	杉浦 一優	202講
2025/10/21(火)	2	ー	講義	産褥期の異常（産科ショック，産科危機的出血，血栓症，産褥熱，乳腺炎，産褥期精神疾患など）	産婦	助教	杉浦 一優	202講
2025/10/21(火)	3	ー	JS(垂直)	妊娠と疾患	病理学	講師	伊藤 秀明	202講
2025/10/21(火)	4	ー	JS(垂直)	母子保健	公衛学	教授	菱田 朝陽	202講
2025/10/21(火)	5	ー	ー	予備				
2025/10/23(木)	1	ー	ー	予備				
2025/10/23(木)	2	ー	ー	予備				
2025/10/23(木)	3	ー	ー	予備				
2025/10/23(木)	4	ー	AL	アクティブラーニング	産婦	助教	岡本 知士	マルチAB
2025/10/23(木)	5	ー	AL	アクティブラーニング	産婦	助教	杉浦 一優	マルチAB
2025/10/24(金)	1	ー	ー	自習				
2025/10/24(金)	2	ー	ー	自習				
2025/10/24(金)	3	ー	ー	自習				
2025/10/24(金)	4	ー	ー	自習				
2025/10/24(金)	**5**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**産婦**	**教授**	**渡辺 員支**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
渡辺　員支	教授	産婦人科学講座	木曜日	16:00～17:00(事前にメールにて調整してください。)	D棟4階産婦人科医局
岡本　知士	助教	産科・婦人科	木曜日	16:00～17:00 (事前にメールにて調整してください。)	D棟4階産婦人科医局
杉浦　一優	助教	産科・婦人科	水曜日	13:00～14:00	病院3階産婦人科外来
武内　恒成	教授	生物学	月曜日	16:00～18:00	3号館基礎科学棟2階B213号室
伊藤　秀明	講師	病理学講座	月・火・金曜日	10:00～17:00	2号館研究棟2階261号室
菱田　朝陽	教授	公衆衛生学講座	月曜日	16:00～17:00	2号館研究棟3階372号室（メールにて要事前連絡）
岩﨑　愛	非常勤講師	愛知医科大学　非常勤講師	講義終了後，講義室にて		

婦　人　科　学

【単位数：1単位，授業16コマ，予備4コマ(定期試験含まず)】

当該科目は医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

1　科目責任者

渡辺員支　教授（産婦人科学）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅰ-7-b，Ⅰ-8-b，Ⅲ-3-b，Ⅲ-4-b，Ⅲ-5-b）

① コンピテンスの“医学知識と科学的探究心”の理解ができるようになるため，婦人科医療に必要な知識，技能，態度を学び，そのことによって医学生としての“プロフェッショナリズム”を身につける。

② 女性生殖器の構造と機能を理解し，婦人科診察や手術に立ち会い，生殖器に問題を有する患者の診断と治療に関する知識を学ぶ。

（2）　学修目標

① 女性生殖器の構造と発生・分化の過程及びその異常を説明できる。

② 女性の加齢に伴う変化とその異常を説明できる。

③ 女性不妊症の系統診断，治療を説明できる。

④ 女性性器腫瘍の予防，症候，病理所見，診断，治療を説明できる。

⑤ 女性感染症の症候，診断，治療を説明できる。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	90％	多肢選択問題を原則とする。
小テスト	○	10％	アクティブ・ラーニングにおいて，小テストを行う。
態度	○	―	受講態度が著しく不良の場合は5％を限度に減点をする。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（3）　再試験・再評価の方法

定期試験に準ずる再試験を行う。60％以上を合格とする。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
配付資料を AIDLE-K に収載			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
標準産科婦人科学	岡井　崇 綾部琢哉編	医学書院	基本から最新の膨大な情報が有機的に統合されている。
NEWエッセンシャル　産科・婦人学	池ノ上克， 鈴木秋悦	医歯薬出版	医学生に必須の最新知識を取り入れている。
https://www.uptodate.com		UpToDate	院内HPからアクセスして最新情報を入手できる。

6　準備学習（予習・復習）

① 講義前に事前配付，又はAIDLE-Kにアップされた講義資料に目を通して講義に参加し（約1時間），講義終了後は，内容を再確認して次の講義に臨むこと。

② 参考図書を利用し，授業で触れられなかった内容についても理解すること。理解できない点があれば，オフィスアワーなどを利用して質問し，理解すること。

③ アクティブ・ラーニングは，事前に配付又はAIDLE-Kにアップされた資料に目を通し，疑問点を参考図書などで調べた上で臨むこと。

7　授業計画

（1）　講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義である。

アクティブ・ラーニングを導入する。

（2）　講義の内容

コアカリキュラムに基づき，性ホルモンと排卵，月経異常，不正出血，腹痛などの婦人科主要症候，不妊症，閉経期，良性疾患（子宮筋腫，子宮内膜症）及び悪性腫瘍の講義を行う。

アクティブ・ラーニングは，小グループに分け，婦人科腫瘍に関するシナリオに基づき質疑応答を行う。

病理学3コマを予定している。

婦人科学

（３） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/10/27(月)	1	ー	講義	性ホルモン・性周期と排卵・基礎体温・生殖器の形態	産婦	教授(特任)	篠原 康一	202講
2025/10/27(月)	2	ー	講義	主要徴候(帯下異常, 腹痛, 腹部膨隆, 排尿異常, 貧血)	産婦	教授(特任)	篠原 康一	202講
2025/10/27(月)	3	ー	講義	主要徴候(月経異常, 無月経, 不正出血, 乳汁漏出症)	周産期C	准教授	野口 靖之	202講
2025/10/27(月)	4	ー	講義	外陰, 腟と骨盤内感染症, 性器脱, 性器の先天異常	周産期C	准教授	野口 靖之	202講
2025/10/27(月)	5	ー	講義	絨毛性疾患(胞状奇胎, 絨毛癌)・異所性妊娠	周産期C	准教授	野口 靖之	202講
2025/10/28(火)	1	ー	講義	妊娠の成立(卵の成熟, 受精, 胚の発育, 着床)	産婦	助教	岡本 宜士	202講
2025/10/28(火)	2	ー	講義	不妊症の系統診断と治療	産婦	助教	岡本 宜士	202講
2025/10/28(火)	3	ー	ー	予備				
2025/10/28(火)	4	ー	JS(垂直)	子宮体部疾患の病理	病理学	講師	大西 紘二	202講
2025/10/28(火)	5	ー	JS(垂直)	卵巣腫瘍の病理	病理学	講師	大西 紘二	202講
2025/10/30(木)	1	ー	講義	婦人科悪性腫瘍(子宮頸癌・子宮体癌など)	産婦	教授(特任)	篠原 康一	202講
2025/10/30(木)	2	ー	講義	婦人科悪性腫瘍(子宮肉腫・卵巣癌など)	産婦	教授(特任)	篠原 康一	202講
2025/10/30(木)	3	ー	講義	子宮筋腫, 子宮内膜症, 子宮腺筋症	産婦	教授(特任)	篠原 康一	202講
2025/10/30(木)	4	ー	講義	閉経の過程と疾病(更年期, 骨粗鬆症, 脂質代謝異常)	産婦	教授(特任)	篠原 康一	202講
2025/10/30(木)	5	ー	JS(垂直)	子宮頸部疾患の病理	病理学	講師	伊藤 秀明	202講
2025/10/31(金)	1	ー	ー	予備				
2025/10/31(金)	2	ー	ー	予備				
2025/10/31(金)	3	ー	ー	予備				
2025/10/31(金)	4	ー	AL	アクティブラーニング	産婦	助教	岡本 宜士	202講
2025/10/31(金)	5	ー	AL	アクティブラーニング	周産期C	准教授	野口 靖之	202講
2025/11/4(火)	1	ー	ー	自習				
2025/11/4(火)	2	ー	ー	自習				
2025/11/4(火)	3	ー	ー	自習				
2025/11/4(火)	4	ー	ー	自習				
2025/11/4(火)	**5**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**産婦**	**教授**	**渡辺 員支**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
渡辺　員支	教授	産婦人科学講座	木曜日	16:00～17:00(事前にメールにて調整してください。)	D棟4階産婦人科医局
篠原　康一	教授(特任)	産婦人科学講座	月か金	17:00～18:00	手術室
岡本　宜士	助教	産科・婦人科	火曜日	16:00～17:00	32番外来4番診察室
伊藤　秀明	講師	病理学講座	月・火・金曜日	10:00～17:00	2号館研究棟2階261号室
大西　紘二	講師	病理学講座	月～水曜日	10:00～17:00	2号館研究棟2階264号室
野口　靖之	准教授	周産期母子医療センター	月・水・金曜日	16:00～17:00	D棟4階 産婦人科医局

リハビリテーション医学

【単位数：0.5単位，授業8コマ，予備2コマ（定期試験含まず）】
当該科目は医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

1　科目責任者

尾川貴洋　教授　（リハビリテーション医学講座）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ｉ-５-ｂ，Ｉ-12-ｂ）

① 多職種医療チームの責任者として，患者と家族に，全人的に対応できる。
② リハビリテーションの対象である障害と生活機能の診断及び評価方法，リハビリテーション目標とプログラムの作成方法，多職種の役割，リハビリテーション治療手技，医療・介護・福祉との連携方法を理解し，クリニカル・クラークシップで，これらの技術体系を有効に活用する準備ができる。

（２）　学修目標

① リハビリテーション医学・医療の概念を説明できる。
② リハビリテーション医療に関する基本的な診断法や多職種連携による治療法について説明できる。
③ リハビリテーション基礎医学として必要な解剖学や生理学を説明できる。
④ リハビリテーション医療に関する義肢装具療法・社会的資源・障がい者スポーツについて説明できる。
⑤ 運動器疾患に対する基本的なリハビリテーション治療について説明できる。
⑥ 内部障害に対する基本的なリハビリテーション治療や栄養管理について説明できる。
⑦ 脊髄損傷・神経筋疾患に対する基本的なリハビリテーション治療について説明できる。
⑧ 脳血管障害・高次脳機能障害に対する基本的なリハビリテーション治療について説明できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	100％	多肢選択問題
態度	○	―	態度不良の場合は「イエローカード又はレッドカード」を提出する。 受講態度が不良の場合は，最終評価から最大10％を限度に減点をする。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

定期試験が60％未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する（60％以上で合格）。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

試験で正答率の低かった問題，理解が不十分と思われた問題について，解説を一斉メールする。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
総合力がつくリハビリテーション医学・医療テキスト	久保俊一・田島文博 総編集	日本リハビリテーション医学教育推進機構	リハビリテーション総論・各論の基本が網羅的に記載されている。入門書として適している。
リハビリテーション医学・医療コアテキスト　第2版	久保俊一 総編集	医学書院	リハビリテーション医学・医療のコアとなる部分について臨床面を中心にとりあげている。

6　準備学習（予習・復習）

予習：　特別な予習は要求しないが，可能であれば，参考図書のどれかを選んで，その目次全体からどのような事項が取り上げられているのか確認しておく（1コマあたり約15分）。

復習：　講義の内容を中心に図書を参考にしながら理解を深めることを期待する（1コマあたり0.5時間）。

7　授業計画

（１）　講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが，講義中，一部，講師との質疑応答などを導入する。

（２）　講義の内容

1コマ目に総論としてリハビリテーション医学の基本概念と体系を解説し，2コマ目以降，リハビリテーション全体に共通する技術，制度と，各疾患・障害に対する治療について，具体的な内容を提示しながら進めていく。

リハビリテーション医学

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/12/8(月)	1	ー	講義	総論1:リハビリテーション医学・医療概論	リハ	教授	尾川　貴洋	202講
2025/12/8(月)	2	ー	講義	総論2:リハビリテーション診断	リハ	教授	尾川　貴洋	202講
2025/12/8(月)	3	ー	講義	総論3:実際のリハビリテーション治療とその役割	リハ	教授	尾川　貴洋	202講
2025/12/8(月)	4	ー	講義	各論1:運動器・義肢装具療法等	リハ	教授	尾川　貴洋	202講
2025/12/8(月)	5	ー	講義	特別講義	ー	非常勤講師	田島　文博	202講
2025/12/9(火)	1	ー	講義	各論2:内部障害等	リハ	教授	尾川　貴洋	202講
2025/12/9(火)	2	ー	講義	各論3:脊髄損傷等	リハ	教授	尾川　貴洋	202講
2025/12/9(火)	3	ー	講義	各論4:脳血管障害等	リハ	教授	尾川　貴洋	202講
2025/12/9(火)	4	ー	ー	予備				
2025/12/9(火)	5	ー	ー	予備				
2025/12/10(水)	1	ー	ー	自習				
2025/12/10(水)	2	ー	ー	自習				
2025/12/10(水)	3	ー	ー	自習				
2025/12/10(水)	4	ー	ー	自習				
2025/12/10(水)	**5**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**リハ**	**教授**	**尾川　貴洋**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
尾川　貴洋	教授	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ医学講座	火・水曜日	12:00～13:00	C棟10階リハビリテーション医学講座医局
田島　文博	非常勤講師	ちゅうざん病院理事長	講義終了後，講義室にて		

疼　痛　医　療　学

【単位数：1単位，授業13コマ，予備2コマ（定期試験含まず）】
当該科目は医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

1　科目責任者

牛田享宏　教授（疼痛医学）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅲ-3-b，Ⅲ-4-b，Ⅲ-6-b）

① 全人的対応と他職種共有・協働を理解するため，非がんの痛みについて生物心理社会面から対応していくことの概略を修得する。

② 慢性疼痛が患者を苦しめる痛みのメカニズムを身体の器質的問題，精神心理的な問題の両面から評価し，それらが慢性疼痛の発症・維持に関与していることを理解する。それとともに，慢性疼痛の罹患率，各種治療とその満足度及びこれらの社会的な影響といった現況について修得する。

（2）　学修目標

① 神経メカニズムから痛みの定義を説明できる。
② 痛覚過敏，アロディニアとはどのような症状であるかを概説できる。
③ 末梢神経系や脊髄にあるイオンチャネルと痛みの伝達について概説できる。
④ 脳内の痛みの伝達ネットワーク理解し，各種ニューロトランスミッターが果たす役割について説明できる。
⑤ 痛みの評価法にはどのようなものが有るか，その使い方について説明できる。
⑥ 鎮痛薬，鎮痛補助薬の作用メカニズム，副作用及び使い方について説明できる。
⑦ コミュニケーションスキルと認知行動療法の基本について概説できる。
⑧ 廃用と筋委縮，関節拘縮について概説できる。
⑨ サルコペニアやその予防の為の運動，食事療法について説明できる。
⑩ 神経除圧，神経刺激法などの適応や問題点を説明できる。
⑪ 頭痛の種類，治療法について説明できる。
⑫ 歯牙や舌，顎関節の動きと口腔周囲の機能変調について説明できる。
⑬ 疾病利得，stigmaなどのメカニズムを理解し説明できる。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	80％	多肢選択式問題
レポート	○	20％	アクティブ・ラーニングについてのレポート
態度	○	―	受講態度が著しく不良の場合は10％を限度に減点をする。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（3）　再試験・再評価の方法

定期試験，レポート，態度の合計が60％未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する（再試験は試験のみ60％以上で合格）。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

理解が不十分と思われる項目については学内メールにて再確認を促す。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
疼痛医学	田口敏彦,牛田享宏, 飯田宏樹	医学書院	痛みの基礎から臨床まで網羅的に収載されている。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
痛み学－臨床のためのテキスト－	熊澤孝朗	名古屋大学出版会	痛みの基礎となる生理学,臨床病態学が収載。
痛みの集学的診療:痛みの教育コアカリキュラム	日本疼痛学会痛みの教育コアカリキュラム編集委員会	真興交易医書出版部	生物心理社会モデルの観点から集学的に痛みを学べる。
運動器慢性痛診療の手引き	日本整形外科学会運動器疼痛対策委員会	南江堂	足腰肩などの運動器の痛みへのアセスメントが記されている。
運動器慢性痛治療薬の選択と使用法	山下敏彦, 牛田享宏	南江堂	足腰肩などの運動器の痛みへの薬物療法のポイントが記されている。
痛みの考え方　しくみ・何を・どう効かす	丸山一男	南江堂	ペインクリニック的観点から痛みの理解を深める。
リエゾン精神医学とその治療学	山脇成人　編	中山書店	身体医学と精神医学を併せて考えて治療を進めるための読本。
自分で痛みを管理しよう	坂本篤裕, 河原裕泰	真興交易医書出版部	体の痛みにアプローチするために患者の理解を上げさせるための教本。
慢性疼痛治療ガイドライン	慢性疼痛治療ガイドライン作成ワーキンググループ	真興交易医書出版部	最新のからだの長引く痛みの現状が学べる。

6 準備学習（予習・復習）

『疼痛医学（医学書院）』の内容を確認しておくこと（1コマあたり1時間）。

7 授業計画

（１） 講義の方法

PowerPoint などを利用したスライドによる講義。

症例を使ったアクティブ・ラーニング。

（２） 講義の内容

慢性疼痛に関する概念から治療法までを講義形式で行う。

疼痛医療学

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2026/1/13(火)	1	―	講義	疼痛基礎学(1):痛み医療の総論，疫学	疼痛	教授	牛田 享宏	202講
2026/1/13(火)	2	―	講義	疼痛基礎学(2):痛みの解剖生理学	疼痛	助教	尾張 慶子	202講
2026/1/13(火)	3	―	講義	検査・評価法(1):慢性疼痛診断のための検査法	―	非常勤講師	丹羽 英美	202講
2026/1/13(火)	4	―	講義	検査・評価法(2):生物心理社会モデルの痛みの評価，事故や労災と長引く特殊な痛みとその対応	―	客員教授	川﨑 元敬	202講
2026/1/13(火)	5	―	―	予備				
2026/1/15(木)	1	―	講義	疼痛の種類(1):慢性筋骨格痛，神経障害性疼痛やCRPS	ﾒﾃﾞｨｶﾙC	助教	永井 修平	202講
2026/1/15(木)	2	―	講義	検査・評価法(3)，治療法(1):運動評価，運動療法と栄養	―	客員教授	松原 貴子	202講
2026/1/15(木)	3	―	―	予備				
2026/1/15(木)	4	―	講義	疼痛の種類(2)，治療法(2):歯科口腔領域の痛みと治療	運療C	助教	西須 大徳	202講
2026/1/15(木)	5	―	講義	治療法(3):インターベンショナル・外科治療	痛み(寄)	教授	福井 聖	202講
2026/1/16(金)	1	―	講義	疼痛の種類(3):内科疾患による痛みと頭痛	―	客員教授	佐藤 純	202講
2026/1/16(金)	2	―	講義	疼痛の種類(4):痛みが主訴になりうる精神医学的徴候，サイコオンコロジー入門	疼痛	教授(特任)	西原 真理	202講
2026/1/16(金)	3	―	講義	治療法(4):薬物療法	疼痛	准教授	新井 健一	202講
2026/1/16(金)	4	―	講義	治療法(5):心理療法(コミュニケーションスキルと認知行動療法)	―	非常勤講師	牧田 潔	202講
2026/1/16(金)	5	―	AL	アクティブ・ラーニング	ﾒﾃﾞｨｶﾙC	助教	永井 修平	202講
2026/1/19(月)	1	―	―	自習				
2026/1/19(月)	2	―	―	自習				
2026/1/19(月)	3	―	―	自習				
2026/1/19(月)	4	―	―	自習				
2026/1/19(月)	**5**	**―**	**―**	**定期試験**	**疼痛**	**教授**	**牛田 享宏**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
牛田　享宏	教授	疼痛医学講座	月曜日	15:00～17:00	6号館疼痛医学講座医局
西原　真理	教授(特任)	疼痛緩和外科	月曜日	15:00～17:00	6号館疼痛医学講座医局
新井　健一	准教授	疼痛医学講座	金曜日	15:00～17:00	6号館疼痛医学講座医局
尾張　慶子	助教	疼痛医学講座	月曜日	10:00～12:00	6号館疼痛医学講座医局
永井　修平	助教	疼痛医学講座	講義終了後，講義室にて		
西須　大徳	助教	運動療育ｾﾝﾀｰ	水曜日	9:00～12:00	6号館　疼痛医学講座内
福井　聖	教授	痛み医療開発寄附講座	木曜日	9:00～11:00	D棟4階痛み医療開発寄附講座
川﨑　元敬	非常勤講師	愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		
佐藤　純	非常勤講師	愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		
丹羽　英美	非常勤講師	愛知医科大学病院　非常勤医師	講義終了後，講義室にて		
牧田　潔	非常勤講師	愛知学院大学 心身科学部心理学科教授	講義終了後，講義室にて		
松原　貴子	非常勤講師	愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		

東　洋　医　学

【単位数：0.5 単位，授業 11 コマ，予備4コマ（定期試験含まず）】

当該科目は医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

1　科目責任者

早稲田勝久　教授（医学教育センター）

科目担当者

伊吹恵里　客員教授

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅰ-2-b，Ⅲ-6-b，Ⅳ-1-b，Ⅳ-2-b，Ⅳ-9-b）

① 患者の“多様な価値観を尊重”し，“全人的対応ができるプロフェッショナリズム”の一環として東洋医学を理解し，医療の実践につなげる。

② 漢方医学の特徴や，主な和漢薬（漢方薬）の適応，薬理作用を概説できる。

（２）　学修目標

① 東洋医学と西洋医学の基本的相違点を概説できる。

② 東洋医学の特徴・基本的概念（陰陽・虚実，表裏・寒熱，気・血・水（津液）・五臓・六病位）について説明できる。

③ 東洋医学の診察法（四診－望診，聞診，問診，切診）について説明できる。

④ 東洋医学における「証」とは何かを説明できる。

⑤ 「弁証論治」又は「随証治療」並びに「方証相対」について説明できる。

⑥ 代表的な漢方方剤の適応症及び構成生薬の薬理作用について概説できる。

⑦ 代表的な漢方処方の副作用や使用上の注意事項を説明できる。

⑧ 東洋医学のEBMと現代医療における東洋医学の役割について概説できる。

⑨ 経絡・経穴及び鍼灸治療の概略について説明できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	80％	記述式と多肢選択問題を含む。
小テスト	○	20％	6月16日（月）及び6月30日（月）の講義終了後（実施する時間帯は講義中並びにAIDLE-K上に告知する）の計2回実施する。 指定された時間帯以外での回答の提出は認めない。
態度	○	―	受講態度が著しく不良の場合は最大10点減点をする。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

再試験は定期試験に準ずる方法で実施する（60％以上で合格）。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験の成績についての総括を学内メールで実施する。

これにて理解が不十分な項目について再確認を促すとともに，定期試験で不合格となった者は再試験に備える。

４ 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
愛知医科大学東洋医学基礎理論基本用語解説集(配布資料)	東洋医学講義担当者		東洋医学全般の基本事項の理解に有用である。
東洋医学講義資料集(配布資料)	東洋医学講義担当者		講義内容の理解に必要(一部の内容は授業前に配付する)。
基本がわかる漢方医学講義	日本漢方医学教育協議会	羊土社	漢方医学に関する基礎事項が平易かつ簡潔に編集されている。

５ 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
医学生のための漢方医学【基礎編】	安井廣迪	東洋学術出版社	東洋医学全般の基本事項の理解に有用である。
絵で見る和漢診療学	寺澤捷年	医学書院	漢方医学に関する基礎事項が平易かつ簡潔に編集されている。
中医臨床のための舌診と脈診	神戸中医学研究会編	医歯薬出版株式会社	東洋医学における診察法と所見の解釈が詳しく編集されている。
鍼灸の医学	長浜喜夫	創元社	鍼灸に関する基本事項の理解に有用である。
三大法則で解き明かす漢方・中医学入門	梁　哲成	燎原書店	東洋医学全般の基礎理論を理解するのに有用である。

６ 準備学習（予習・復習）

○ 事前に配付された「愛知医科大学東洋医学基礎理論基本用語解説集」と「東洋医学講義資料集」を熟読し，東洋医学に関するイメージをつかんでおく(１日あたり約１時間)。

○ 「基本がわかる漢方医学講義」を用いて東洋医学の基礎の理解に役立てる事を推奨する。

○ 「愛知医科大学東洋医学基礎理論基本用語集」と「東洋医学講義資料集」を毎回授業の際に持参し，各授業内容理解のための参考書とする。

○ 一部eラーニングを用いた予習を行う(予定)。

７ 授業計画

（１） 講義の方法

基本的に大教室での実習型授業を中心に，部分的に知識伝達型講義もまじえて展開する。

その準備として，東洋医学に関する基本的知識は「愛知医科大学東洋医学基礎理論基本用語解説集」のほか「東洋医学講義資料集」，「基本がわかる漢方医学講義」並びに一部eラーニング(予定)で予習しておくことが必須である。

（２） 講義の内容

東洋医学の基本的な考え方とその診療法並びに西洋医学との相違点を理解し，将来医師になった際の診療で役立つ臨床能力として活用できるような内容にする。

東洋医学

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/6/16(月)	1	ー	講義	1. 日本の医療における東洋伝統医学の位置づけと歴史 2. 東洋医学の基礎理論その1(八綱-陰陽, 虚実)	ー	客員教授	伊吹 恵里	202講
2025/6/16(月)	2	ー	講義	3. 東洋医学の基礎理論その2(八綱-陰陽, 虚実)	ー	客員教授	伊吹 恵里	202講
2025/6/16(月)	3	ー	講義	1. 生薬と漢方薬の定義 2. 漢方薬の剤形 3. 生薬の分類 4. 漢方薬の処方構成 5. 有害反応と誤治・瞑眩の違い 6. 代表的漢方処方の理論～桂枝湯と関連処方など～	睡眠	教授(特任)	篠邉 龍二郎	202講
2025/6/16(月)	4	ー	講義	気道感染症への東洋医学的アプローチ ～西洋医学との対比～	ー	非常勤講師	北川 渡	202講
2025/6/16(月)	5	ー	講義	1. 補剤と瀉剤 2. 現代の医療における頻用漢方	ー	客員教授	伊吹 恵里	202講
2025/6/23(月)	1	AB	講義	鍼灸の効果, 適応及び奏効機序, 経絡の種類(12正経, 任脈, 督脈) 361経穴, 鍼の種類, 灸の種類	ー	非常勤講師	赤尾 清剛	Sim3
2025/6/23(月)	2	A	実習	鍼の刺激方法及び刺激量, 灸の刺激方法及び刺激量, 鍼灸の禁忌	ー	非常勤講師	赤尾 清剛	Sim3
2025/6/23(月)	3	B	実習		ー	非常勤講師	赤尾 清剛	Sim3
2025/6/23(月)	4	ー	実習	煎じ薬実習 葛根湯と当帰芍薬散を煎じてみよう！	感染症 ー	教授 客員教授	三鴨 廣繁 伊吹 恵里	研107
2025/6/23(月)	5	ー	実習	東洋医学的診察法―四診(聞診, 脈診, 舌診)に挑戦！	ー	客員教授	伊吹 恵里	202講
2025/6/30(月)	1	ー	ー	予備				
2025/6/30(月)	2	ー	ー	予備				
2025/6/30(月)	3	ー	ー	予備				
2025/6/30(月)	4	ー	実習	東洋医学的診察法―四診(腹診:シミュレータ)に挑戦！	ー	客員教授	伊吹 恵里	202講
2025/6/30(月)	5	ー	実習	証の決定と漢方処方演習―代表的方剤を中心に	ー	客員教授	伊吹 恵里	202講
2025/7/23(水)	**4**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**医教C**	**教授**	**早稲田 勝久**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
早稲田　勝久	教授	医学教育センター	木曜日 金曜日	14:00～17:00 15:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
篠邉　龍二郎	教授(特任)	睡眠科	水曜日	16:00～17:30	C棟5階　睡眠科医局
三鴨　廣繁	教授	臨床感染症学講座	水曜日	8:00～8:20	C棟8階教授室
赤尾　清剛	非常勤講師	医学部医学科	講義終了後，講義室にて		
伊吹　恵里	非常勤講師	愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		
北川　渡	非常勤講師	北川内科	講義終了後，講義室にて		

高　齢　医　学

【単位数：1単位，授業 13 コマ，予備2コマ（定期試験含まず）】
当該科目は医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

1　科目責任者

岩﨑　靖　教授（加齢医科学研究所）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅰ-５-b，Ⅱ-１-b，Ⅲ-３-b，Ⅲ-４-b，Ⅲ-５-b）

① コンピテンスであるプロフェッショナリズム，コミュニケーションなどに基づき，コンピテンシーである高齢者の特徴を正しく理解し，医学研究者・医療従事者として高齢者の医学・医療に取り組む能力習得を目的とする。
② 高齢医学では高齢者にかかわる諸問題を各論的，臓器別の講義ではふれにくい内容について統合的に理解する。

（２）　学修目標

① 医学・医療の面からみた高齢者の特徴について総合的に把握する。
② 高齢者に多い認知症や骨疾患などの病態を若年者と比較して考察することが出来る。
③ 将来活動する医療の現場で高齢者の医療・介護において考慮すべき問題を把握し，医療チームの中心となって指導出来る基礎知識を身につける。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	100％	多肢選択問題（マークシート）
態度	○	―	著しく態度不良の場合は成績から最大10％の減点をする。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

定期試験で60％未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する（60％以上で合格）。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験の成績について，正答率の低かった問題，理解が不十分と考えられた問題については，解説をAIDLE-Kに掲載する。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
これからの老年学[第二版]	井口昭久 編集	名古屋大学 出版会	老年学の入門書である。
老年医学系統講義テキスト	日本老年 医学会編集	西村書店	系統的に記載され，学習目標が明確である。
新老年学　第3版	折茂　肇	東京大学 出版会	老年学のエンサイクロペディアである。
みるトレ　神経疾患	岩崎　靖	医学書院	臨床における神経疾患の入門書である。

6　準備学習（予習・復習）

○　老年医学の参考図書を閲覧して，主要な項目を確認し，総論と各論の骨格について簡単な知識を得ておく（1日あたり約0.5時間）。

○　高齢者の生物学的，医学的，社会的特徴を把握しておく（1日あたり約1時間）。

○　認知症の概要を把握しておく（1日あたり約0.5時間）。

7　授業計画

（1）　講義の方法

大教室での知識伝達型の講義を原則とする。講義中の質疑応答などのアクティブ・ラーニングを重視する。

（2）　講義の内容

高齢医学総論を基礎とし，各論として泌尿器，循環器，呼吸器，整形外科，認知症，医療制度を取り上げ，具体的な内容な症例を呈示しながら，高齢者の抱える，生物学的，医学的，社会的問題を総合的に理解できるように構成している。

高齢医学

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2026/1/22(木)	1	ー	講義	認知症の診断と治療	加齢(神)	教授	岩﨑 靖	202講
2026/1/22(木)	2	ー	講義	高齢者医療の現状	加齢(神)	教授	岩﨑 靖	202講
2026/1/22(木)	3	ー	講義	高齢者脳の神経病理学的特徴	加齢(神)	教授	岩﨑 靖	202講
2026/1/22(木)	4	ー	講義	高齢者の終末期医療	加齢(神)	講師	赤木 明生	202講
2026/1/22(木)	5	ー	講義	高齢者の泌尿器疾患	泌尿器	助教	梶川 圭史	202講
2026/1/23(金)	1	ー	講義	高齢者の生活機能評価／サルコペニア・フレイル	地域(寄)	教授(特任)	宮田 靖志	202講
2026/1/23(金)	2	ー	講義	高齢者に多い症候／高齢者の身体診察	地域(寄)	教授(特任)	宮田 靖志	202講
2026/1/23(金)	3	ー	講義	高齢者の呼吸器疾患	ﾒﾃﾞｨｶﾙC	特命教授	馬場 研二	202講
2026/1/23(金)	4	ー	講義	老年症候群とフレイル対策	ー	非常勤講師	林 祐一	202講
2026/1/23(金)	5	ー	講義	ポリファーマシー	ー	非常勤講師	林 祐一	202講
2026/1/26(月)	1	ー	講義	骨粗鬆症	ロコモC	教授(特任)	中村 幸男	202講
2026/1/26(月)	2	ー	講義	高齢者の循環器疾患	ー	非常勤講師	脇田 康志	202講
2026/1/26(月)	3	ー	講義	高者者の健康と生活を支える看護活動	看護学部	准教授	荻野 朋子	202講
2026/1/26(月)	4	ー	ー	予備				
2026/1/26(月)	5	ー	ー	予備				
2026/1/27(火)	1	ー	ー	自習				
2026/1/27(火)	2	ー	ー	自習				
2026/1/27(火)	3	ー	ー	自習				
2026/1/27(火)	4	ー	ー	自習				
2026/1/27(火)	**5**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**加齢(神)**	**教授**	**岩﨑 靖**	**101講**

8 オフィスアワー

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
岩﨑 靖	教授	加齢医科学研究所	火・水・木曜日	9:00～17:00	5号館2階加齢医科学研究所
赤木 明生	講師	加齢医科学研究所	月・水・木曜日	9:00～17:00	5号館2階加齢医科学研究所
馬場 研二	特命教授	ﾒﾃﾞｨｶﾙｾﾝﾀｰ	講義終了後，講義室にて		
宮田 靖志	教授(特任)	地域総合診療医学寄附講座	月・火曜日	13:00～16:00	2号館研究棟3階355室
中村 幸男	教授(特任)	骨粗鬆症・ﾛｺﾓ・関節疾患ｾﾝﾀｰ	月曜日	17:00～17:30	C棟9階整形外科医局
梶川 圭史	助教	泌尿器科	水曜日	16:00～18:00	D棟5階 泌尿器科医局
荻野 朋子	准教授	看護学部	講義終了後，講義室にて		
脇田 康志	非常勤講師	愛知医科大学 非常勤講師	講義終了後，講義室にて		
林 祐一	非常勤講師	敦賀市立看護大学教授	講義終了後，講義室にて		

症　　候　　学

【単位数：1.5単位，授業25コマ】

当該科目は医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

1　科目責任者

早稲田勝久　教授（医学教育センター）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅲ-３-b，Ⅲ-４-b，Ⅲ-５-b，Ⅲ-９-b，Ⅲ-10-b，Ⅳ-１-b，Ⅳ-２-b，Ⅳ-３-b）

① 系統講義で学修した「医学知識と科学的探究心」を横断的に網羅し，より深い医学知識を修得する。

② コンピテンスの「診療技能」の理解のため，主な症候・病態の原因，分類，診断と治療の概要を各分野統合して学ぶことにより，医師として必要な基本的診察知識を習得する。

（２）　学修目標

① モデルコアカリキュラムに挙げられている37症候・病態の病態生理を説明できる。

② それぞれの症候・病態を来す代表的疾患を列挙できる。

③ 列挙した疾患の鑑別をすることができる。

④ 診断に至るプロセスと診察の進め方について説明できる。

⑤ 医療面接の役割，具体的な方法，必要なコミュニケーションスキルについて説明できる。

⑥ 基本的身体診察法を理解し，身体診察により得るべき情報と臨床的意義について説明できる。

⑦ 診療録の意義と記載方法を理解しPOSとPOMRについて説明できる。

⑧ 診断仮説を立てることができ，検証するための情報収集について説明できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
小テスト（診断学）	○	50%	１月９日(金)5限目に実施する。
小テスト（症候学）	○	50%	症候毎に実施する。
態度	○	―	受講態度が著しく不良の場合は10点を限度に減点をする。

出席：　診断学（１月８，９日）は，定期試験は実施しないが，単位取得のためには欠席率が3分の1を超えてはならない。 症候学（１月29日～２月４日）は，演習のため，単位取得のためには欠席をしてはならない。

（２）　合格基準

小テスト（診断学）が60%以上であること。かつ，小テスト（症候学）の平均が60%以上であること。

（３）　再試験・再評価の方法

小テスト（診断学）を欠席の場合，追試験は実施しない。 追加課題・レポートを課す。

小テスト（症候学）を欠席の場合，症候毎に課題・レポートを課す。追加課題・レポートを最終成績に反映する。欠席が多い場合は，本試験は不合格，又は欠席扱いとする。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

診断学（１月８日，９日分）の9コマ終了後に，小テスト並びに総括を行い，小テストの結果は後日通知する。

症候ごとの小テストの結果について授業中に振り返る。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
医学教育モデルコアカリキュラム			37症候と関連する代表疾患が列挙されている。
レジュメ配付			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
主要症候・医療面接がわかる	安田幸雄	テコム	コアカリキュラムで提示されている症候の，医療面接でのポイントが解説されている。
診察と手技が見える	田邊政裕 編集	日本内科学会 総合医学社	写真，図を多用し理解しやすい。
内科救急診療指針	日本内科学会 編集	日本内科学会 総合医学社	救急医療に必要な症候，病態，診断，治療を解説。
内科診断学	福井次矢 奈良信雄 編集	医学書院	診断学の総論から各論まで読みやすく網羅されている。

6　準備学習（予習・復習）

① 事前配付された講義資料には必ず目を通し，関連する項目を教科書や推奨した参考図書で確認しておくこと（約1時間）。
② 該当する主要症候とそれに関連する疾患について教科書を読んでおく（0.5時間）。
③ 症候毎に小テストの内容の振り返りを行う（約15分）。
④ 講義で理解できない内容がある場合には，教員への質問や参考図書などで解決すること（0.5時間）。

7　授業計画

（１）　講義の方法

診断学（1月8日，9日分）の10コマは大講義室での知識伝達型の座学講義が中心であるが，一部小グループによる討論や共同作業などのアクティブ・ラーニングを導入する。

症候学は，大教室での知識伝達型の講義であるが，講義自体は講義テーマを事前に学生に割り振り，担当のグループが行う。

（２）　講義の内容

診断学の10コマでは，頭頸部，胸部，腹部に関連する主要症候については各分野を統合して講義し，OSCEの準備学修として症候に関連する領域の身体診察についても講義する。最終コマで総括と小テストを実施する。

症候学は，学生自身が講義資料を作成し，資料を用いながら講義を行う。症候ごとに小テストを実施し知識の確認を行う。

症候学

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2026/1/8(木)	1	ー	講義	診断学総論 医療面接 バイタルサイン	総診		(調整中)	202講
2026/1/8(木)	2	ー	講義	胸部 循環器疾患の症候	総診		(調整中)	202講
2026/1/8(木)	3	ー	講義	胸部 循環器疾患の身体診察 (OSCE準備学修)	総診		(調整中)	202講
2026/1/8(木)	4	ー	講義	腹部 消化器疾患の症候	ー	客員教授	伊吹 恵里	202講
2026/1/8(木)	5	ー	講義	腹部 消化器疾患の身体診察 (OSCE準備学修)	ー	客員教授	伊吹 恵里	202講
2026/1/9(金)	1	ー	講義	胸部 呼吸器疾患の症候	総診	教授(特任)	脇田 嘉登	202講
2026/1/9(金)	2	ー	講義	胸部 呼吸器疾患の身体診察 (OSCE準備学修)	総診	教授(特任)	脇田 嘉登	202講
2026/1/9(金)	3	ー	講義	頭頸部の身体診察(OSCE準備学修)	総診	准教授	山本 さゆり	202講
2026/1/9(金)	4	ー	AL	小グループ演習 診療録記載	PCC	准教授	宇佐美 潤	202講
2026/1/9(金)	5	ー	講義	診断学総括並びに**小テスト**	総診		(調整中)	202講
2026/1/29(木)	1	ー	AL	症候学準備	ー	ー	担当医	Sim1
2026/1/29(木)	2	ー	AL	症候学①	ー	ー	担当医	Sim1
2026/1/29(木)	3	ー	ー	(コミュニケーション演習3-①)				
2026/1/29(木)	4	ー	AL	症候学②	ー	ー	担当医	Sim1
2026/1/29(木)	5	ー	ー	(コミュニケーション演習3-②)				
2026/1/30(金)	1	ー	AL	症候学準備	ー	ー	担当医	Sim1
2026/1/30(金)	2	ー	AL	症候学③	ー	ー	担当医	Sim1
2026/1/30(金)	3	ー	ー	(コミュニケーション演習3-③)				
2026/1/30(金)	4	ー	AL	症候学④	ー	ー	担当医	Sim1
2026/1/30(金)	5	ー	ー	(コミュニケーション演習3-④)				
2026/2/2(月)	1	ー	AL	症候学準備	ー	ー	担当医	Sim1
2026/2/2(月)	2	ー	AL	症候学⑤	ー	ー	担当医	Sim1
2026/2/2(月)	3	ー	ー	(コミュニケーション演習3-⑤)				
2026/2/2(月)	4	ー	AL	症候学⑥	ー	ー	担当医	Sim1
2026/2/2(月)	5	ー	ー	(コミュニケーション演習3-⑥)				
2026/2/3(火)	1	ー	AL	症候学準備	ー	ー	担当医	Sim1
2026/2/3(火)	2	ー	AL	症候学⑦	ー	ー	担当医	Sim1
2026/2/3(火)	3	ー	ー	(コミュニケーション演習3-⑦)				
2026/2/3(火)	4	ー	AL	症候学⑧	ー	ー	担当医	Sim1
2026/2/3(火)	5	ー	ー	(コミュニケーション演習3-⑧)				
2026/2/4(水)	1	ー	AL	症候学準備	ー	ー	担当医	Sim1
2026/2/4(水)	2	ー	AL	症候学⑨	ー	ー	担当医	Sim1
2026/2/4(水)	3	ー	ー	(コミュニケーション演習3-⑨)				
2026/2/4(水)	4	ー	AL	症候学⑩	ー	ー	担当医	Sim1
2026/2/4(水)	5	ー	ー	(コミュニケーション演習3-⑩)				

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
早稲田　勝久	教授	医学教育ｾﾝﾀｰ	木曜日 金曜日	14:00～17:00 15:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
脇田　嘉登	教授(特任)	総合診療医学講座	火曜日	16:00～17:00	D棟2階総合診療科医局
山本　さゆり	准教授	総合診療医学講座	月曜日	16:00～17:00	D棟2階総合診療科医局
宇佐美　潤	准教授	ﾌﾟﾗｲﾏﾘｹｱｾﾝﾀｰ	木曜日	16:00～17:00	D棟2階総合診療科医局
伊吹　恵里	非常勤講師	愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		

コミュニケーション演習３

【単位数：0.5単位，授業10コマ】

当該科目は医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

１　科目責任者

早稲田勝久　教授（医学教育センター）

２　教育目標

（１）　ねらい（Ⅰ-1-b，Ⅰ-5-b，Ⅱ-1-b，Ⅱ-2-b，Ⅱ-3-b，Ⅲ-3-b，Ⅳ-1-b，Ⅳ-5-b）

① 本学のコンピテンスである「プロフェッショナリズム」，「コミュニケーション」，「診療技能」の基礎を学び，チームとして良好な関係を構築できる。

② 主要な症候の診察に必要な知識を学習し，その内容を活かした模擬診察を実施，診察に必要な知識とそのコミュニケーション方法について省察できる。

（２）　学修目標

① 症候学で学習した知識を用いて，模擬診察（医療面接）にて模擬患者を演じることができる。

② 症候学で学習した知識を用いて，模擬診察（医療面接）ができる。

③ 診察に必要な知識，コミュニケーション技術について自己・他者評価できる。

３　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
態度	○	100％	医療面接（ロールプレイ）中の指導医からの評価（40％），自己評価（30％），他者評価（30％） 演習に対する態度が不良の場合は30点を限度に減点する。

出席：　演習を修得するためには，欠席をしてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

面談の上，課題・レポートを課す。

演習を欠席した場合は，面接後，補習又は追加レポートを課す。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

演習中に不足している部分は，担当指導医よりフィードバックをする。

４　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
主要症候・医療面接がわかる	安田幸雄	テコム	コアカリキュラムで提示されている症候の医療面接でのポイントが解説されている。
考える技術　臨床的思考を分析する（第2版）	スコット・スターン他著 竹本　毅訳	日経BP	診断プロセスについて丁寧に説明されている。
診療場面のコミュニケーション	ジョン・ヘリテッジ，ダグラス・メイナード（川島理恵他訳）	勁草書房	会話分析という研究分野からみた医療面接について述べられており，問い方とその答えについて具体例が多いため，「目的をもった会話」の重要性を考えるきっかけになる。

6　準備学習（予習・復習）

日常のコミュニケーションについて，演習前後に振り返る機会を持つこと（1日あたり約0.5時間）。

7　授業計画

（1）　講義の方法

コミュニケーション演習の前の時間に実施した症候学で学んだことをもとに，医療面接をグループ間で行い，病態を聞き出すためのコミュニケーション技能を学修する。

（2）　講義の内容

社会人基礎力として求められるコミュニケーションの基本と医療人として求められるコミュニケーションの特徴について考察する。

コミュニケーション演習３

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2026/1/29(木)	1	－	－	(症候学準備)				
2026/1/29(木)	2	－	－	(症候学①)				
2026/1/29(木)	3	－	演習	コミュニケーション演習3-①	－	－	担当医	
2026/1/29(木)	4	－	－	(症候学②)				
2026/1/29(木)	5	－	演習	コミュニケーション演習3-②	－	－	担当医	
2026/1/30(金)	1	－	－	(症候学準備)				
2026/1/30(金)	2	－	－	(症候学③)				
2026/1/30(金)	3	－	演習	コミュニケーション演習3-③	－	－	担当医	
2026/1/30(金)	4	－	－	(症候学④)				
2026/1/30(金)	5	－	演習	コミュニケーション演習3-④	－	－	担当医	
2026/2/2(月)	1	－	－	(症候学準備)				
2026/2/2(月)	2	－	－	(症候学⑤)				
2026/2/2(月)	3	－	演習	コミュニケーション演習3-⑤	－	－	担当医	
2026/2/2(月)	4	－	－	(症候学⑥)				
2026/2/2(月)	5	－	演習	コミュニケーション演習3-⑥	－	－	担当医	
2026/2/3(火)	1	－	－	(症候学準備)				
2026/2/3(火)	2	－	－	(症候学⑦)				
2026/2/3(火)	3	－	演習	コミュニケーション演習3-⑦	－	－	担当医	
2026/2/3(火)	4	－	－	(症候学⑧)				
2026/2/3(火)	5	－	演習	コミュニケーション演習3-⑧	－	－	担当医	
2026/2/4(水)	1	－	－	(症候学準備)				
2026/2/4(水)	2	－	－	(症候学⑨)				
2026/2/4(水)	3	－	演習	コミュニケーション演習3-⑨	－	－	担当医	
2026/2/4(水)	4	－	－	(症候学⑩)				
2026/2/4(水)	5	－	演習	コミュニケーション演習3-⑩	－	－	担当医	

8 オフィスアワー　　コミュニケーション演習3

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
早稲田　勝久	教授	医学教育センター	木曜日 金曜日	14:00～17:00 15:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
河合　聖子	准教授	医学教育センター	木曜日	16:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
森下　啓明	准教授	シミュレーションセンター	火曜日	9:00～16:00	シミュレーションセンター事務室

４　学　年　次　履　修　科　目

プロフェッショナリズム４

【単位数:0.5単位，授業10コマ(定期試験含まず)】

1　科目責任者

宮田靖志　教授(特任)(地域総合診療医学寄附講座)

2　教育目標

（１）　ねらい(Ⅰ-1-b，Ⅰ-2-b，Ⅰ-3-b，Ⅰ-4-b，Ⅰ-5-b，Ⅰ-6-b，Ⅰ-7-b，Ⅰ-8-b，Ⅰ-11-b，Ⅰ-12-b，Ⅰ-13-b，Ⅰ-14-b，Ⅰ-15-b)

① コアコンピテンスの“プロフェッショナリズム(医師としての価値観・態度・姿勢，生涯学習・自己啓発・自己管理，チーム医療・医療安全)”の理解を深める。

② プロフェッショナリズムとは，医療者，医学生として最低限身に付けておくべき最低限の能力と，医療者，医学生として常に高みを目指す姿勢を保つ向上心的目標の2つがある。その両方の基本的概念を理解し，それらを日々の学生生活で実践することは具体的にどのようなことかを自身で考え，実践できるようになる。

③ 医師として生涯にわたり社会貢献していくために，どのようにキャリア形成していくか，考えることができるようになる。

④ 臨床倫理の具体的事例について深く考え，議論できる。

⑤ 多職種連携で自分の職種の立場で議論・作業に参加でき，かつ，他職種の立場を理解したうえで，協働できるようになる。

（２）　学修目標

・ プロフェッショナリズム

① プロフェッショナリズムの概念を理解する。

② アンプロフェッショナルな行動とは何かを理解し，それを回避することができるようになる。

③ 向上心的目標とは何かを理解し，自身でその目標を立てる。

④ プロフェッショナリズム・ジレンマ症例について健全な対応策を考えることができる。

⑤ 社会的説明責任について理解し，健康の社会的決定要因への対応を考えることができる。

⑥ 利益相反について理解し，正しい対応ができるようになる。

⑦ 難しいコミュニケーションの概念を理解し，一定程度のスキルを身につける。

⑧ 共感，ヒューマニズムとは何かを理解し，それらの態度を保つことができるようになる。

⑨ 健康の社会的決定要因について，その実際を理解することができる。

・ キャリア形成

① キャリア形成とはなにか理解する。

② 女性医師のキャリア形成について，女子学生，男子学生の立場から考えることができる。

・ 臨床倫理

① 臨床現場で実際に生じる倫理的問題について自身の考えを述べ，他者と意見交換できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	70%	・記述式及び多肢選択問題
レポート	○	30%	・非常勤講師の講義内容の感想を，講義翌日の9:00までにAIDLE-Kに提出すること。記載内容をあらかじめ提示する評価基準によって各15点満点で採点する ・課題提出期限に間に合わなかった場合は採点対象としないので注意すること。
態度	○	—	授業妨害となるような態度不良が見られる場合は，総合判定から最大10点減点する。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

○　評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

○　非常勤講師の講義内容の感想の評価は下記の通りとする。

・キーワードを3つ挙げる

・挙げたキーワードの少なくとも1つに関して，講義内容に関する自分自身の考えを記載する。
講義資料の記載，一般的・教科書的記載は不可

・自身の十分な考えが記載されている場合，1講師につき15点満点で採点する。

（３）　再試験・再評価の方法

定期試験に準ずる再試験を行う。60%以上を合格とする。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

レポートに対しては，全体メールでフィードバックする。

試験問題の解答について，学生の多くが理解できていないと思われる点について，メールでフィードバックする。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
白衣のポケットの中 医師のプロフェッショナリズムを考える 8	宮崎　仁， 尾藤誠司， 大生定義　編	医学書院	プロフェッショナリズムの概念，具体的事例について分かりやすく記載されている。
日常診療の中で学ぶプロフェッショナリズム	Levinson, L著 宮田靖志監訳	カイ書林	日常臨床でよく遭遇する具体的プロフェッショナリズム事項について，その対応が書かれている実践的な内容である。
医療プロフェッショナリズム教育	クルーズ, R他　編	日本評論社	やや難解であるが，包括的に解説されている。
ABC of 医療プロフェッショナリズム	Coope, N著 宮田靖志監訳	羊土社	プロフェッショナリズムの概念から現代の医療現場での課題まで，広くかつ簡潔に解説されている。
臨床現場のレジリエンス 医療従事者のウェルビーイングのために	Frain, A著 宮田靖志	遠見書房	バーアウト回避の基本的な考え方が整理されている。
医療の倫理ジレンマ	バーナード・ロウ	西村書店	臨床における様々な具体的倫理事項を取り上げ，その解消のための考え方を詳細に説明している。
実践 SDH診療 できることから始める健康の社会的決定要因への取り組み	日本プライマリ・ケア連合学会	中外医学社	健康の社会的決定要因に関する実践について分かりやすく解説されている。
医療者のためのLGBTQ講座	吉田絵理子編	南山堂	セクシュアリティと医療に関する知識が分かりやすく解説されている。

6　準備学習（予習・復習）

2日前までに講義資料をAIDLE－Kにアップするので，それに目を通しておくこと。（このコース全体の準備として，0.5時間）

7　授業計画

（１）　講義の方法

講義資料のすべてを詳細に解説することはしない。プロフェッショナリズムに関する知識の整理のため，簡単な講義後，自己省察，グループ討論，全体討論，課題の発表などを行う。主に事例検討を中心に授業を進める。

（２）　講義の内容

医療プロフェッショナリズムの各テーマについて，自分で経験した，あるいは自分の周囲で生じたプロフェッショナル，アンプロフェッショナルな行動について発表，討論しながら，プロフェッショナリズムの理解を深めていく。

プロフェッショナリズム４

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/9(水)	4	―	講義	総論	地域(寄)	教授(特任)	宮田　靖志	301講
2025/4/16(水)	4	―	講義	アンプロフェッショナルな行動	地域(寄)	教授(特任)	宮田　靖志	301講
2025/4/23(水)	4	―	講義	困難な患者対応・燃え尽き症候群	地域(寄)	教授(特任)	宮田　靖志	301講
2025/4/30(水)	5	―	講義	健康の社会的決定要因	―	非常勤講師	金子　惇	301講
2025/5/7(水)	4	―	講義	多様性と包摂生	地域(寄)	教授(特任)	宮田　靖志	301講
2025/5/14(水)	5	―	講義	多様性化社会の中での医師のキャリア形成	―	非常勤講師	荒川　裕香	301講
2025/5/21(水)	4	―	講義	医療コミュニケーション	地域(寄)	教授(特任)	宮田　靖志	301講
2025/5/28(水)	4	―	講義	ACP, 悪い知らせの伝え方	地域(寄)	教授(特任)	宮田　靖志	301講
2025/6/4(水)	4	―	講義	臨床倫理	地域(寄)	教授(特任)	宮田　靖志	301講
2025/6/11(水)	4	―	講義	利益相反	地域(寄)	教授(特任)	宮田　靖志	301講
2025/7/14(月)	**4**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**地域(寄)**	**教授(特任)**	**宮田　靖志**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
宮田 靖志	教授(特任)	地域総合診療医学寄附講座	月・火曜日	13:00～16:00	2号館研究棟3階355室
荒川 裕香	非常勤講師	医学部医学科	講義終了後，講義室にて		
金子 惇	非常勤講師	横浜市立大学大学院 データサイエンス研究科 ヘルスデータサイエンス専攻 准教授	講義終了後，講義室にて		

多 職 種 連 携 演 習 4

【単位数：1.5単位，授業25コマ（内10コマ）】

1　科目責任者

早稲田勝久　教授（医学教育センター）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ｉ-1-c）

① 本学のコンピテンスである「プロフェッショナリズム」，「コミュニケーション」について学ぶ。

② 医師として社会の多様なニーズに対応できるように，また医師の役割を様々な角度から考察できるようになるために，「医師として求められる基本的な資質・能力」である‘プロフェッショナリズム’，‘医学知識と問題対応能力’，‘コミュニケーション能力’，‘チーム医療の実践’，‘医療の質と安全の管理’，‘社会における医療の実践’，‘生涯にわたって共に学ぶ姿勢’などについて考える機会を持ち，様々な医療専門職と議論をしながら学修をすすめる。

（２）　学修目標

全体目標

① 他学部学生との協働を体験し，自己のコミュニケーションの課題を見出すことができる。

② 医療チームにおける多職種のコミュニケーションの重要性を説明できる。

1学年次

・ 医師として必要な多様な価値観を持つことができる。良いチームとは何か，自己と他者の理解に対する姿勢，コミュニケーションの重要性を述べることができる。

2学年次

・ 医療は多職種協働であることを理解し，医療チームを構成する上での課題を抽出出来る。

3学年次

・ 患者・家族の視点に立ち，チームとして課題解決に取り組むことの重要性を説明できる。

4学年次

・ 臨床場面において，患者・家族中心の多職種協働を実践できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	90％	事前課題・事後課題を評価する。提出期限の厳守，指示に則って記載できていない場合は再提出を求めることがある。
態度	○	10％	演習に対する参加度を評価する（グループ討議に参加しない、居眠り、ゲームや内職は減点の対象とする）。

出席：　演習の単位を修得するためには，欠席をしてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

ただし，本科目は1学年次から4学年次に開講される多職種連携演習１～４全ての評価をもとに「多職種連携演習」として4学年次に単位認定をする（各学年での単位認定は行わないが，各学年で合格基準を満たすこと）。

4学年次では，10コマ開講する。

（３） 再試験・再評価の方法

再評価は教員と面接の上，課題を課す。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

レポートに記載された内容について，理解が不十分と判断された場合は個々に理解度の確認を行う。

４ 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

５ 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
他者と働く	宇田川元一	News Picks Publishing	「知識として正しいことと，実践の間には大きな隔たりがある」として分かりあえなさを基盤に他者とのかかわりの大切さを考察できる。
異文化コミュニケーションワークブック	矢代京子 荒木晶子 他	三修社	自分自身の「異文化」に対する価値観を多様なセルフチェックで知ることができ，価値観を考えるきっかけとなる。
最強組織の法則―新時代のチームワークとは何か	ピーター・M・センゲ 守部信之 訳	徳間書店	すばらしいチームとはどのような要素で成り立っているのか，また，様々なタイプのリーダーについて考察することができる。

６ 準備学習（予習・復習）

他学部との合同セッションになるため，身だしなみ，言葉遣いなど，参加するための準備をしておく（１日あたり0.5時間）。

７ 授業計画

（１） 講義の方法

小グループによる討論・発表や講師との質疑応答を行う。

（２） 講義の内容

看護学部学生・薬学部学生と合同でグループワーク，発表を行う。

多職種連携演習４

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/7/17(木)	1	ー	演習	多職種連携の実際	医教C 医教C 医教C 循内・医教C	教授 准教授 准教授 助教(医員助教)	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 松尾　幸果	301講
2025/7/17(木)	2	ー	演習	多職種連携の実際	医教C 医教C 医教C 循内・医教C	教授 准教授 准教授 助教(医員助教)	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 松尾　幸果	301講
2025/7/17(木)	3	ー	演習	多職種連携の実際	医教C 医教C 医教C 循内・医教C	教授 准教授 准教授 助教(医員助教)	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 松尾　幸果	301講
2025/7/17(木)	4	ー	演習	多職種連携の実際	医教C 医教C 循内・医教C	教授 准教授 助教(医員助教)	早稲田　勝久 河合　聖子 松尾　幸果	301講
2025/7/17(木)	5	ー	演習	多職種連携の実際	医教C 医教C 循内・医教C	教授 准教授 助教(医員助教)	早稲田　勝久 河合　聖子 松尾　幸果	301講
2025/10/2(木)	1	ー	演習	他学部との合同演習	医教C 糖内 医教C 医教C Sim 循内・医教C 医教C 看護学部 看護学部 看護学部 看護学部 看護学部 看護学部 看護学部 看護学部 ー ー ー ー	教授 教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 特命教育教授 教授 教授 教授 教授 准教授 准教授 講師 講師 講師 客員教授 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師	早稲田　勝久 神谷　英紀 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 伴　信太郎 山中　真 谷口　千枝 篠田　かおる 山本　恵美子 青山　恵美 黒澤　昌洋 上坂　真弓 横山　剛志 伊藤　真規 築山　郁人 川原　千香子 立花　詠子 宇野　千晴	Sim1 Sim3
2025/10/2(木)	2	ー	演習	他学部との合同演習	医教C 糖内 医教C 医教C Sim 循内・医教C 医教C 看護学部 看護学部 看護学部 看護学部 看護学部 看護学部 看護学部 看護学部 ー ー ー ー	教授 教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 特命教育教授 教授 教授 教授 教授 准教授 准教授 講師 講師 講師 客員教授 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師	早稲田　勝久 神谷　英紀 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 伴　信太郎 山中　真 谷口　千枝 篠田　かおる 山本　恵美子 青山　恵美 黒澤　昌洋 上坂　真弓 横山　剛志 伊藤　真規 築山　郁人 川原　千香子 立花　詠子 宇野　千晴	Sim1 Sim3

多職種連携演習４

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/10/2(木)	3	－	演習	他学部との合同演習	医教C 糖内 医教C 医教C Sim 循内・医教C 医教C 看護学部 看護学部 看護学部 看護学部 看護学部 看護学部 看護学部 看護学部 － － － －	教授 教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 特命教育教授 教授 教授 教授 教授 准教授 准教授 講師 講師 講師 客員教授 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師	早稲田　勝久 神谷　英紀 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 伴　信太郎 山中　真 谷口　千枝 篠田　かおる 山本　恵美子 青山　恵美 黒澤　昌洋 上坂　真弓 横山　剛志 伊藤　真規 築山　郁人 川原　千香子 立花　詠子 宇野　千晴	Sim1 Sim3
2025/10/2(木)	4	－	演習	事後課題作成	医教C 医教C 医教C Sim 循内・医教C －	教授 准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 非常勤講師	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 川原　千香子	Sim1
2025/10/2(木)	5	－	演習	事後課題作成	医教C 医教C Sim 循内・医教C －	准教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 非常勤講師	河合　聖子 山口　奈緒子 森下　啓明 松尾　幸果 川原　千香子	Sim1

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
早稲田　勝久	教授	医学教育センター	木曜日 金曜日	14:00～17:00 15:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
河合　聖子	准教授	医学教育センター	木曜日	16:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
山口　奈緒子	准教授	薬理学講座	月曜日	13:00～18:00	1号館大学本館7階医学教育センター
松尾　幸果	助教(医員助教)	循環器内科	講義終了後，講義室にて		
神谷　英紀	教授	内科学講座(糖尿病内科)	木・金曜日	14:00～15:00	C棟5階糖尿病内科教授室
森下　啓明	准教授	シミュレーションセンター	火曜日	9:00～16:00	シミュレーションセンター事務室
伴　信太郎	特命教育教授	メディカルセンター	講義終了後，講義室にて		
谷口　千枝	教授	看護学部	講義終了後，講義室にて		
山中　真	教授	看護学部	講義終了後，講義室にて		
青山　恵美	准教授	看護学部	講義終了後，講義室にて		
黒澤　昌洋	准教授	看護学部	講義終了後，講義室にて		
篠田　かおる	教授	看護学部	講義終了後，講義室にて		
山本　恵美子	教授	看護学部	講義終了後，講義室にて		
上坂　真弓	講師	看護学部	講義終了後，講義室にて		
横山　剛志	講師	看護学部	講義終了後，講義室にて		
伊藤　真規	講師	看護学部	講義終了後，講義室にて		
宇野　千晴	非常勤講師	名古屋学芸大学管理栄養学部	講義終了後，講義室にて		
川原　千香子	非常勤講師	帝京大学医学部准教授	講義終了後，講義室にて		
立花　詠子	非常勤講師	名古屋学芸大学管理栄養学部	講義終了後，講義室にて		
築山　郁人	非常勤講師	愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		

医　学　英　語　4

【単位数：1単位，授業13コマ（定期試験含まず）】

1　科目責任者

平田亜紀　准教授（外国語）

科目担当者
小川恭佑　助教（外国語）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅲ-4-b，Ⅲ-10-b）

① 前半では，コンピテンスの“疾患の病態と症候を説明でき，その鑑別と診断を計画できる”ことを，英語でも実践できるよう学習をする。
　後半では，コアコンピテンスの“医学，医療における客観的根拠を適切に探索し，EBMを実践できる（医学知識と科学的探究心）”に必要な基礎的な概念の習得のために英文で書かれた医学論文を読む。

② 生涯にわたって自律的に学び続け，また自ら発信することができるようになるための基礎となる語学力を身に着けることと，患者の社会的背景(経済的・制度的側面等)が病いに及ぼす影響への理解を深めることがねらいである。

（2）　学修目標

① 身体の構造や機能，疾患・症状に関する基礎的な語の意味を理解し，綴り・発音が実践できる。
② 医療面接で使用される定型的な表現や実践的な対話表現が理解できる。
③ ケーススタディや研究論文で登場する疾患・症候について自ら調べることができる。
④ 調べものをするときに使用すべき信頼性の高いソースを見分けることができる。
⑤ 根拠に基づいた医療(EBM)の概念のうち特に，5つのステップとbackground question/foreground questionの違いが概説できる。
⑥ 臨床研究論文の一般的な構成が概説できる。
⑦ 臨床研究論文のPICOと，用いられている研究デザインを識別することができる。
⑧ 臨床研究論文に頻出する英語表現を認識することができる。
⑨ 臨床研究論文を批判的に吟味するステップを概説できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	45%	課題論文に関する試験を行う。記述式を原則とし，一部多肢選択問題が含まれる場合がある。
演習（語彙小テスト）	○	15%	主にe-ラーニングアプリ（ALC NetAcademy Next)から語彙小テスト3回（各5%，自己採点式，初回テストは追加リストあり）
ケーススタディ演習	○	20%	15%　英語教員の解説回にかかる演習 5%　その他の教員の解説回にかかる演習 いずれも指示されたタスクの完成度により判断。当日の授業内の課題のみではなく前後の回に実施される内容も含まれるので注意すること。
論文読解演習	○	20%	10%　英語教員の解説回にかかる演習 10%　その他の教員の解説回にかかる演習 いずれも指示されたタスクの完成度により判断。当日の授業内でのみ課題が出されるのではなく前後の回に実施される課題も含まれるので注意すること。
態度	○	—	遅刻・欠席を含め受講態度不良の場合は10%を限度に減点をする。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

上記（2）で総合成績が60%未満の場合は，再試験を実施する。
再試験は定期試験に準ずる試験と，追加課題を課す。60%以上を合格とする。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験についての総括を，AIDLE-Kを通じて行う。その中で，再確認が必要な項目を指摘する。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
Dr.押味のあなたの医学英語なんとかします！	押味貴之	メジカルビュー社	プレゼンテーションと病歴聴取のコツが具体的に書かれており，授業で扱っている内容を効果的に復習することができる。
The Complete Subjective Health Assessment https://ecampusontario.pressbooks.pub/healthassessment/	Jennifer Lapum et al.	licensed under a Creative Commons Attribution-ShareAlike 4.0 International License	主観的健康観と文化的背景を平易な英語で患者に尋ねる技法が記載されたopen textbookである。
FIRST AID シリーズ (First Aid for the USMLE Step 1, 2023 (33rd ed.)ほか)		MCGRAW-HILL EDUCATION	USMLE, United States Medical Licensing Examinationの問題集。他科目で学習した内容を英語とリンクさせるのに役立つ。
Harrison's Principles of Internal Medicine	J.Loscalzo, .S.Fauci, D.L.Kasper, et al.(eds.)	MCGRAW-HILL EDUCATION	やや冗長であるものの，各疾患・症候について詳細な説明が階層化されてまとめられている。また英文読解という意味においては読みやすい部類に入る。
臨床のためのEBM入門　決定版 JAMAユーザーズガイド	古川壽亮 山崎　力 (監訳)	医学書院	EBMに関する定番書籍。体系的網羅的に，丁寧に解説されている。
臨床研究のABC	名郷直樹	メディカルサイエンス社	日本のEBM教育の第一人者の著者が，例を交えて解説しており分かりやすい。
EBM・臨床疫学キーワード150	福井次矢	医学書院	EBMを理解する上で重要なキーワードごとに端的な説明がなされ使いやすい。
いまさら誰にも聞けない医学統計の基礎のキソ1～3	浅井　隆	アトムス	統計が苦手な人向けに読みやすく書かれている。

6　準備学習（予習・復習）

【それぞれの演習の予習と復習の方法】

＜演習（語彙小テスト）＞

小テストの準備のために，e-ラーニングアプリ（ALC NetAcademy Next)での学習を日々進めること（1日あたり10分）。

＜ケーススタディ演習＞

授業で使用した動画や音源を用いて授業内で登場した英語表現を復習すること，症状や疾患については各自で他科目の資料や，本科目の参考資料，UpToDateのサイトなどを積極的に確認すること（1コマあたり約0.5時間）。

＜論文読解演習＞

授業で扱うことになった論文は，わからない箇所に囚われすぎずに一通り目を通すこと。要所をつかむために必要とされる箇所は何度も精読すること。AI 翻訳に頼り切るのではなく，自ら構文などを読み解くよう心掛け，英語力の向上を意識して取り組むこと。また，論文の内容を理解するための背景知識の不足を補うために，扱われる疾患に関する基礎知識や標準治療について各自で調べること（予習・復習合わせて1コマあたり約2時間）。

医用英単語の「からくり」は講義からある程度学ぶことができます。一方，英語を使いこなすには自立・自律学習が求められます。キャリアを通して一生使うものですので，毎回コツコツと身に着けていきましょう。その意味では授業はペースメーカーの役割でしかなく，小テストの正答率などをその目的地としてはいけません。また，上記の勉強時間はあくまで目安です。時間を費やすことを主とするのではなく，自分に必要な勉強時間数を確保してください。

【授業を受ける際の注意】

授業には，ノートパソコンかタブレットを持参すること。スマートフォンの小さい画面は学習に不向きのため不可。小テスト演習は定期試験の準備も含まれていますのでわからない箇所はその都度丁寧に解消していきましょう。

【欠席した場合の注意】

① 教務課だけではなく，科目責任者とその回の担当者に連絡を入れること。
② AIDLE-K 上の資料や，友人に確認するなどして，学習が途切れないよう心掛けてください。
③ 欠席した日の小テスト演習は別途受験することができますので希望する場合は申告してください（点数は事由により多少の減点をする場合があります）。

7 授業計画

（１） 講義の方法

大教室での知識伝達型講義と，問題解決型の演習の併用。

（２） 講義の内容

Case Study 演習では，英語で行われる医療面接をシーンごとに区切り英語表現を学習したうえで，関連領域の専門家による解説講義が行われる。PBL 方式の学習を採用する。なお専門家の回では質疑応答の場面が設けられるため，学生は能動的に参加することが求められる。

論文読解演習では，根拠に基づいた医療の基本概念，臨床研究論文の基本的な構成要素の学習と，英語で書かれた医学系の論文で頻出する英語表現の学習を主とする。その上で，扱われる症例の専門家による解説講義が行われる。なお複数用意されている専門家の回では質疑応答の場面が設けられるため，学生は能動的に参加することが求められる。

医学英語４

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/9(水)	2	ー	講義	ガイダンス, Case Study：医療面接の英語表現(1)	外国語	准教授	平田　亜紀	301講
2025/4/9(水)	3	ー	講義	Case Study：医療面接の英語表現(2)	外国語	准教授	平田　亜紀	301講
2025/4/16(水)	2	ー	講義	演習（語彙**小テスト**）1回目― NetAcademyと追加リスト Case Study：医療面接の英語表現(3)	外国語	准教授	平田　亜紀	301講
2025/4/16(水)	3	ー	講義	Case Study：医療面接の英語表現(4)	外国語	准教授	平田　亜紀	301講
2025/4/23(水)	2	ー	講義	Case Study：医療面接の英語表現(5)	外国語	准教授	平田　亜紀	301講
2025/4/23(水)	3	ー	講義	論文講読回：論文・英語表現（1）	外国語 外国語	准教授 助教	平田　亜紀 小川　恭佑	301講
2025/4/30(水)	3	ー	JS(垂直)	Case Study：専門家解説回 ★授業開始時間変更の可能性あり （昼休憩と反転予定）	肝胆膵 外国語	准教授(特任) 准教授	荒井　潤 平田　亜紀	301講
2025/5/7(水)	3	ー	講義	演習（語彙**小テスト**）2回目― NetAcademy 論文講読回：論文・英語表現（2）	外国語 外国語	准教授 助教	平田　亜紀 小川　恭佑	301講
2025/5/14(水)	3	ー	講義	論文講読回：論文・英語表現（3）	外国語 外国語	准教授 助教	平田　亜紀 小川　恭佑	301講
2025/5/21(水)	3	ー	講義	論文講読回：統計解説（1）	ー 外国語	客員教授 准教授	室谷　健太 平田　亜紀	301講
2025/5/28(水)	3	ー	JS(垂直)	論文講読回：EBM実習	公衛学 外国語	教授(特任) 准教授	林　櫻松 平田　亜紀	301講
2025/6/4(水)	3	ー	講義	論文講読回：統計解説（2）	ー 外国語	客員教授 准教授	室谷　健太 平田　亜紀	301講
2025/6/11(水)	3	ー	講義	演習（語彙**小テスト**）3回目― NetAcademy 論文講読回：論文・英語表現（4）	外国語 外国語	准教授 助教	平田　亜紀 小川　恭佑	301講
2025/7/16(水)	**1**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**外国語**	**准教授**	**平田　亜紀**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
平田　亜紀	准教授	外国語	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階B201研究室
小川　恭佑	助教	外国語	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階B210研究室
林　櫻松	教授(特任)	公衆衛生学講座	月曜日	16:00～17:00	2号館研究棟3階374号室（メールにて要事前連絡）
荒井　潤	准教授(特任)	内科学講座(肝胆膵内科)	月～金曜日	16:00～18:00	D棟2階消化管内科・肝胆膵内科医局
室谷　健太	非常勤講師	久留米大学 医学部 医療検査学科教授 愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		

医　療　と　倫　理

【単位数：2単位，授業26コマ（定期試験含まず）】

1　科目責任者

妹尾　洋　教授（法医学）

科目担当者
鈴木孝太　教授（衛生学）
菱田朝陽　教授（公衆衛生学）
川﨑　優　講師（哲学）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅰ-4-b，Ⅱ-5-b，Ⅲ-8-b）

① コンピテンス「プロフェッショナリズム」における，特に倫理に関わる医師としての価値観・態度・姿勢を身につけることを目標とする。

さらに，「コミュニケーション」における良好な関係構築のために個人レベル，社会レベルのさまざまな問題を知り，「医学的知識と科学的探究心」における医学，医療を取り巻く社会におけるさまざまな問題を知り，解決するための根拠を収集・評価した上で，解決へと結びつける方法論を学ぶ。

② まず，患者の基本的権利を熟知する。次に，医療と医学研究における倫理の重要性を知り，その上で倫理的，法律的，社会的な問題をさまざまな立場，視点から多角的に考え，ディベートにより，それらの問題に対する医師としての判断力，論理的な思考力とコミュニケーション能力を身につけることを目的とする。

（2）　学修目標

① 医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。
② 生と死に関わる倫理的問題を列挙できる。
③ 医の倫理と生命倫理に関する規範，Hippocrates（ヒポクラテス）の誓い，ジュネーブ宣言，ヘルシンキ宣言等を概説できる。
④ 患者の基本的権利の内容を説明できる。
⑤ 患者の自己決定権の意義を説明できる。
⑥ 患者が自己決定できない場合の対処法を説明できる。
⑦ 患者やその家族の持つ価値観が多様であり得ることを認識し，そのいずれにも柔軟に対応できる。
⑧ 医師が患者に最も適した医療を勧めなければならない理由を説明できる。
⑨ 医師には能力と環境により診断と治療の限界があることを説明できる。
⑩ 医師の法的義務を列挙し，例示できる。
⑪ インフォームドコンセントの意義と必要性を説明できる。
⑫ 患者にとって必要な情報を整理し，分かりやすい言葉で表現できる。
⑬ 説明を行うための適切な時期，場所と機会に配慮できる。
⑭ 説明を受ける患者の心理状態や理解度について配慮できる。
⑮ 医療と医学研究における患者の基本的権利をめぐるさまざまな問題について，根拠とともに現状を説明できる。
⑯ 医療と医学研究における患者の基本的権利をめぐるさまざまな問題について，それぞれの立場から，根拠とともに論理的に主張できる。
⑰ ディベートを円滑に進行し，討論に参加することができる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	50%	ディベートのテーマを中心に，全範囲を対象として実施する（記述式）。
レポート	○	30%	適宜実施し，内容により総合成績へ加点する。
その他	○	20%	ディベートの準備，発表会の内容を評価する。

出席：　定期試験を受験するためには，講義の3分の2以上の出席とディベートの全出席が必要である。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60%以上で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

定期試験に準ずる試験を行う。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

理解が不十分と思われる内容については，解説を一斉メールし再確認を促す。
また，定期試験で不合格となった者については，必要に応じ，補講を実施する。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
各講義における配付資料			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
公衆衛生がみえる	医療情報科学研究所編	MEDIC MEDIA	医学，医療に関する，倫理的，法律的，社会的な事柄がわかりやすく整理されている。

6　準備学習（予習・復習）

○　授業に臨むにあたり，参考図書である「公衆衛生がみえる」などで，講義内容について簡単に情報取集しておく（1日あたり0.5時間）。

○　また，授業の前後に，担当分だけではなく，全てのディベートテーマについて，適宜，インターネットなどさまざまなメディアから情報収集を行う（1日あたり0.5時間）。

7　授業計画

（１）　講義の方法

講義については，基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが，講義中，一部，小グループ討論や講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

また，ディベートについては，9テーマ設定し，準備の時間を中心に，各講座の教員がグループ別にテーマについての指導を実施する。なお，中間発表会では，その時点までに，ディベートのテーマに関してまとめたことを10分程度で発表する。

ディベート発表会では，学生が自発的に進行を行い，討論し，相互評価も行う。

（２）　講義の内容

医師となったときに必要となる，さまざまな倫理的な問題について，事例とともに講義を実施する。

また，今年度のディベートのテーマについては，担当する教員とともにガイダンス時に発表するが，これまでは以下のような内容で実施した。

全てのテーマを扱うわけではないが，これらのテーマに関連する基本的な情報を講義で説明する。

■衛生学担当

少子化対策には現金給付，現物給付どちらが有効か（グループ1）

先制医療の是非（グループ2）

医療における人工知能(AI)の利用の是非（グループ3）

緩和ケア患者における喫煙を認めるべきか（グループ4）

■公衆衛生学担当

出生前診断による人工妊娠中絶（グループ5）

予防接種（ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチン）（グループ6）

後期高齢者に対するがん検診は推奨すべきか（グループ7）

地域医療より先進医療を優先すべきか（グループ8）

■法医学担当

安楽死を認めるか否か（グループ9）

医療と倫理

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/9(水)	1	ー	講義	「医療と倫理」ディベートガイダンス	衛生学	教授	鈴木 孝太	301講
2025/4/16(水)	1	ー	講義	「倫理委員会」	ー	客員教授	勝又 義直	301講
2025/4/23(水)	1	ー	講義	ディベートに関する準備	法医学 公衛学 哲学 衛生学	教授 教授 講師 教授	妹尾 洋 菱田 朝陽 川﨑 優 鈴木 孝太	301講
2025/4/30(水)	1	ー	講義	ディベートに関する講義1	法医学	教授	妹尾 洋	301講
2025/4/30(水)	2	ー	講義	ディベートに関する講義2	公衛学	教授	菱田 朝陽	301講
2025/5/7(水)	1	ー	講義	ディベートに関する講義3	哲学	講師	川﨑 優	301講
2025/5/7(水)	2	ー	講義	ディベートに関する講義4	衛生学	教授	鈴木 孝太	301講
2025/5/14(水)	1	ー	講義	「医師の行政処分」	ー	非常勤講師	長谷川 智華	301講
2025/5/14(水)	2	ー	講義	「情報の取り扱い倫理」	ー	非常勤講師	長谷川 智華	301講
2025/5/21(水)	1	ー	講義	「人体試料の取り扱い倫理」	ー	非常勤講師	長谷川 智華	301講
2025/5/21(水)	2	ー	講義	「犯罪者に対する医療者の役割」	ー	非常勤講師	長谷川 智華	301講
2025/5/28(水)	1	ー	講義	ディベートに関する準備	法医学 公衛学 哲学 衛生学	教授 教授 講師 教授	妹尾 洋 菱田 朝陽 川﨑 優 鈴木 孝太	301講
2025/5/28(水)	2	ー	講義	ディベートに関する準備	法医学 公衛学 哲学 衛生学	教授 教授 講師 教授	妹尾 洋 菱田 朝陽 川﨑 優 鈴木 孝太	301講
2025/6/4(水)	1	ー	講義	ディベート中間発表会1	衛生学	教授	鈴木 孝太	301講
2025/6/4(水)	2	ー	講義	ディベート中間発表会2	衛生学	教授	鈴木 孝太	301講
2025/6/11(水)	1	ー	講義	ディベートに関する準備	法医学 公衛学 哲学 衛生学	教授 教授 講師 教授	妹尾 洋 菱田 朝陽 川﨑 優 鈴木 孝太	301講
2025/6/18(水)	1	ー	演習	ディベート発表会	法医学 公衛学 衛生学 哲学	教授 教授 教授 講師	妹尾 洋 菱田 朝陽 鈴木 孝太 川﨑 優	たちばなホール
2025/6/18(水)	2	ー	演習	ディベート発表会	法医学 公衛学 衛生学 哲学	教授 教授 教授 講師	妹尾 洋 菱田 朝陽 鈴木 孝太 川﨑 優	たちばなホール
2025/6/18(水)	3	ー	演習	ディベート発表会	法医学 公衛学 衛生学 哲学	教授 教授 教授 講師	妹尾 洋 菱田 朝陽 鈴木 孝太 川﨑 優	たちばなホール
2025/6/18(水)	4	ー	演習	ディベート発表会	法医学 公衛学 衛生学 哲学	教授 教授 教授 講師	妹尾 洋 菱田 朝陽 鈴木 孝太 川﨑 優	たちばなホール

医療と倫理

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/6/18(水)	5	ー	演習	ディベート発表会	法医学 公衛学 衛生学 哲学	教授 教授 教授 講師	妹尾 洋 菱田 朝陽 鈴木 孝太 川﨑 優	たちばなホール
2025/6/25(水)	1	ー	演習	ディベート発表会	法医学 公衛学 衛生学 哲学	教授 教授 教授 講師	妹尾 洋 菱田 朝陽 鈴木 孝太 川﨑 優	たちばなホール
2025/6/25(水)	2	ー	演習	ディベート発表会	法医学 公衛学 衛生学 哲学	教授 教授 教授 講師	妹尾 洋 菱田 朝陽 鈴木 孝太 川﨑 優	たちばなホール
2025/6/25(水)	3	ー	演習	ディベート発表会	法医学 公衛学 衛生学 哲学	教授 教授 教授 講師	妹尾 洋 菱田 朝陽 鈴木 孝太 川﨑 優	たちばなホール
2025/6/25(水)	4	ー	演習	ディベート発表会	法医学 公衛学 衛生学 哲学	教授 教授 教授 講師	妹尾 洋 菱田 朝陽 鈴木 孝太 川﨑 優	たちばなホール
2025/6/25(水)	5	ー	演習	ディベート発表会	法医学 公衛学 衛生学 哲学	教授 教授 教授 講師	妹尾 洋 菱田 朝陽 鈴木 孝太 川﨑 優	たちばなホール
2025/7/16(水)	**3**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**法医学**	**教授**	**妹尾 洋**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
妹尾　洋	教授	法医学講座	月～水曜日	10:00～15:00	2号館研究棟268号室
鈴木　孝太	教授	衛生学講座	水曜日 （不定期）	17:30～18:30	2号館研究棟M3階371号室 （部署宛に要事前連絡）
菱田　朝陽	教授	公衆衛生学講座	月曜日	16:00～17:00	2号館研究棟3階372号室（メールにて要事前連絡）
川﨑　優	講師	哲学	火曜日	16:30～17:30	3号館基礎科学棟2階　B203研究室
勝又　義直	非常勤講師	愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		
長谷川　智華	非常勤講師	東邦大学　医学部　法医学講座　助教	講義終了後，講義室にて		

選　択　講　座　4

【単位数:0.5単位，授業7コマ】

1　科目責任者

早稲田勝久　教授（医学教育センター）

2　教育目標

（１）　ねらい

① 医学教育モデルコアカリキュラムに定められている指針にとらわれず，「プロフェッショナリズム」，「コミュニケーション」，「医学知識と科学的探究心」，「診療技能」，「地域社会への貢献」について理解を深め，幅広い知識・技能・態度/姿勢を身につける。

② 医学教育モデルコアカリキュラムの選択科目を創出し，上級生が屋根瓦式に下級生を指導する体制を構築する。

（２）　学修目標

選択するコースにより学修目標は異なるが，医療従事者になるものとして，多様な知識・技能・態度/姿勢を修得できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は不可とする。
その他	○	—	1コース（3コマ）毎に評価する。評価方法はコース毎に異なる。

出席：　全ての講義・演習に出席する必要がある。

（２）　合格基準

すべての評価対象において，不可がないこと（合否の2段階で判定）。

（３）　再試験・再評価の方法

課題・レポートを課す。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

各授業で与えられる課題について，その場で口頭にてフィードバックする（選択コースによって差異あり）。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
コースにより異なる。			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
コースにより異なる。			

6　準備学習（予習・復習）

選択コース毎のコース内容案内を参照すること。

7　授業計画

（１）　講義の方法

選択するコース毎に授業の方法は異なる。

（２）　講義の内容

選択コース毎のコース内容案内を参照すること。
開講するコースについては，AIDLE-K を参照すること。

（３）　開催日時

別途掲示する日程表を参照すること。

皮 膚 科 学 ・ 形 成 外 科 学

【単位数：1単位，授業19コマ，予備2コマ（定期試験含まず）】
当該科目は医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

1　科目責任者

渡邉大輔　教授（皮膚科学）

科目担当者
古川洋志　教授（形成外科）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅲ-3-b，Ⅲ-4-b，Ⅲ-5-b）

① それぞれの皮膚疾患，形成外科疾患の病因・病態を理解し，それを元に検査方法や治療法を理解する。
② 皮膚病変から全身疾患や内臓病変の存在を推測し，さらに必要な検査や治療の方向性を決めることできる。

（2）　学修目標

① 正常皮膚の構造と機能を説明できる。
② 原発疹，続発疹が説明できる。
③ 皮膚検査法（硝子圧法，皮膚描記法，KOH直接検鏡法，Tzanck試験，ダーモスコピー）について説明できる。
④ 皮膚アレルギー検査法（プリックテスト，パッチテスト）を説明できる。
⑤ 水疱症，膿疱症，角化症など代表的な皮膚疾患について，病因・病態・治療について説明できる。
⑥ 皮膚感染症（細菌，真菌，ウイルス）について病因菌と症候について説明できる。
⑦ 外傷，熱傷の正しい診断と初期治療，褥瘡の発生原因と予防・治療を熟知する。
⑧ 先天異常，腫瘍などの体表面の疾患に対して，整容と機能の回復を目指した形成外科・再建外科の治療法を理解する。
⑨ 体表面のコンツールの再建手術や，抗加齢医療・美容外科について知る。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

皮膚科学分野，形成外科学分野共通：

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	80％	小テストと合わせて100点満点とし，60点以上を合格とする。 記述問題や多肢選択問題がある。
小テスト	○	20％	講義の一部で出席と授業での理解度確認のため行う。
その他	○	―	受講態度が不良の場合は，10％を限度に減点する。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）　合格基準

皮膚科学分野，形成外科分野それぞれについて，評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（３） 再試験・再評価の方法

皮膚科学分野，形成外科分野それぞれの評価対象の合計が60％未満の場合は，分野ごとに再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する（60％以上で合格）。再試験は皮膚科学分野40分，形成外科分野30分で実施する。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験を採点し，合否を出し，定期試験が不合格になった者は定期試験，講義資料をもう一度見直し，さらに学習し再試験に備える。小テストは，講義で解説する。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
『あたらしい皮膚科学』	清水　宏	中山書店	皮膚科学の基本的な事柄が網羅されている。
『標準皮膚学』	岩月　啓　監修	医学書院	皮膚科学の基本的な事柄が網羅されている。
STANDARD TEXTBOOK 標準形成外科学　第7版	泰　維郎　他編	医学書院	形成外科の基本的な事柄が網羅されている。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
『最新皮膚科学大系』	玉置邦彦総編集	中山書店	より専門的な知識が必要な場合
『Histopathology of the skin』	David Elder他	Lippincott-Raven	皮膚病理学の知見が網羅されている。
TEXTシリーズTEXT形成外科学 第3版	波利井清紀　監修	南山堂	形成外科の基本的な事柄が網羅されている。
熱傷治療マニュアル	木所昭夫　編著	中外医学社	熱傷治療に必要な知見が網羅されている。

6 準備学習（予習・復習）

○ 参考図書のどれかを選んで，その目次全体を眺め，どのような事項が取り上げられているのか確認しておく（1コマあたり約0.5時間）。

○ 上記の中で，興味を惹いた項目について記載内容を読んでおく（1コマあたり約0.5時間）。

7 授業計画

（１） 講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが，講義中，一部，小グループ討論や講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

（２） 講義の内容

1コマ目に総論として皮膚科学の基礎を解説し，2コマ目以降は，様々な皮膚疾患を分野ごとに解説し，概念理解を進めていく。

皮膚科学・形成外科学

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/14(月)	3	ー	講義	皮膚の構造と機能，原発疹と続発疹，皮膚疾患の診断について	皮膚	助教	安藤　与里子	301講
2025/4/14(月)	4	ー	講義	熱傷，頭頸部悪性腫瘍後の再建	形成	教授	古川　洋志	301講
2025/4/14(月)	5	ー	講義	血管腫・リンパ管腫	形成	教授	古川　洋志	301講
2025/4/15(火)	1	ー	ー	予備				
2025/4/15(火)	2	ー	講義	形成外科学　概論Ⅰ，皮膚腫瘍・母斑，褥瘡	形成	助教	田中　真美	301講
2025/4/15(火)	3	ー	講義	形成外科学　概論Ⅱ，顔面外傷	形成	助教	坪井　憲司	301講
2025/4/15(火)	4	ー	講義	四肢の再建，乳房再建	形成	講師	梅本　泰孝	301講
2025/4/15(火)	5	ー	講義	美容外科，**小テスト**	形成	講師	梅本　泰孝	301講
2025/4/17(木)	1	ー	ー	予備				
2025/4/17(木)	2	ー	講義	上皮系腫瘍 診断と治療	皮膚	講師	岩下　宣彦	301講
2025/4/17(木)	3	ー	講義	悪性黒色腫と間葉系腫瘍	皮膚	講師	岩下　宣彦	301講
2025/4/17(木)	4	ー	講義	皮膚感染症①(細菌，ウイルス，性感染症)	皮膚	教授	渡邉　大輔	301講
2025/4/17(木)	5	ー	講義	皮膚感染症②(真菌，動物，抗酸菌)	皮膚	教授	渡邉　大輔	301講
2025/4/18(金)	1	ー	講義	皮膚の免疫学	皮膚	教授	渡邉　大輔	301講
2025/4/18(金)	2	ー	講義	乾癬，薬疹	皮膚	教授	渡邉　大輔	301講
2025/4/18(金)	3	ー	講義	全身疾患に伴う皮膚症状について	皮膚	教授	渡邉　大輔	301講
2025/4/21(月)	1	ー	講義	血管炎，膠原病，肉芽腫	皮膚	教授(特任)	大嶋　雄一郎	301講
2025/4/21(月)	2	ー	講義	水疱症・膿疱症	皮膚	教授(特任)	大嶋　雄一郎	301講
2025/4/21(月)	3	ー	講義	アトピー性皮膚炎,皮膚科まとめ**小テスト**	皮膚	教授(特任)	大嶋　雄一郎	301講
2025/4/21(月)	4	ー	講義	湿疹・皮膚炎群，蕁麻疹	皮膚	助教	渡辺　瞳	301講
2025/4/21(月)	5	ー	JS(垂直)	皮膚病理	病理診断	教授	都築　豊徳	301講
2025/4/22(火)	1	ー	ー	自習				
2025/4/22(火)	2	ー	ー	自習				
2025/4/22(火)	3	ー	ー	自習				
2025/4/22(火)	4	ー	ー	自習				
2025/4/22(火)	**5**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**皮膚**	**教授**	**渡邉　大輔**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
渡邉　大輔	教授	皮膚科学講座	水曜日	16:30～17:30	C棟10階　皮膚科医局
古川　洋志	教授	形成外科学講座	火・水曜日	16:00～18:00	C棟11階　形成外科医局
大嶋　雄一郎	教授(特任)	皮膚科学講座	水曜日	16:30～17:30	C棟10階　皮膚科医局
岩下　宣彦	講師	皮膚科学講座	水曜日	16:30～17:30	C棟10階　皮膚科医局
安藤　与里子	助教	皮膚科	水曜日	16:30～17:30	C棟10階　皮膚科医局
渡辺　瞳	助教	皮膚科	水曜日	16:30～17:30	C棟10階　皮膚科医局
梅本　泰孝	講師	形成外科学講座	火・水曜日	16:00～18:00	C棟11階　形成外科医局
田中　真美	助教	形成外科	月曜日	16:30～18:00	中央棟2階　24形成外科外来
坪井　憲司	助教	形成外科	木曜日	16:00～18:00	C棟11階　形成外科医局
都築　豊徳	教授	病理診断学講座	月曜日	16:00～17:00	病理診断センター

眼　　科　　学

【単位数：1単位，授業17コマ，予備4コマ（定期試験含まず）】
当該科目は医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

1　科目責任者

瓶井資弘　教授（眼科学講座）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅲ-3-b，Ⅲ-4-b，Ⅲ-5-b）

① コアコンピテンスの“医学的知識と科学的探究心”を備えるための診療能力を学び“高いプロフェッショナリズム”を身につける。
② 眼・視覚系の構造と機能及び症候，病態，診断，治療を理解する。

（2）　学修目標

① 眼球と付属器の構造と機能を説明できる。
② 視覚情報の受容のしくみと伝導路を説明できる。
③ 眼球運動のしくみを説明できる。
④ 対光反射，輻輳反射，角膜反射を説明できる。
⑤ 基本的眼科検査（視力検査，視野検査，細隙灯顕微鏡検査，眼圧検査，眼底検査）を列挙し，それらの原理と適応を述べ，主要所見を説明できる。
⑥ 屈折異常（近視，遠視，乱視）と調節障害の病態生理を説明できる。
⑦ 感染性角結膜疾患の症候，診断と治療を説明できる。
⑧ 白内障の病因，症候，診断と治療を説明できる。
⑨ 緑内障の病因を列挙し，それらの発症機序，症候と治療を説明できる。
⑩ 裂孔原性網膜剥離の症候，診断と治療を説明できる。
⑪ 糖尿病，高血圧・動脈硬化による眼底変化を説明できる。
⑫ ぶどう膜炎の病因，症候，診断と治療を説明できる。
⑬ 視神経炎（症）・うっ血乳頭の病因，症候と診断を説明できる。
⑭ アルカリ，酸による化学損傷の症候と救急処置を説明できる。
⑮ 網膜静脈閉塞症と動脈閉塞症の症候，診断と治療を説明できる。
⑯ 網膜芽細胞腫の症候，診断と治療を説明できる。
⑰ 眼窩疾患の症候，診断と治療を説明できる。
⑱ ロービジョンケアを説明できる。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	100％	全問多肢選択問題
態度	○	―	態度不良の場合は10点を限度に減点をする。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（３） 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は，再試験を実施する。
再試験は定期試験に準ずる試験を行う。60%以上を合格とする。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

試験で正答率が低かった問題，理解が不十分と思われた問題については，解説を一斉メールする。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
病気がみえる Vol.12 眼科		MEDIC MEDIA	基本的内容が網羅されている。 解説がわかりやすい。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
現代の眼科学 第13版	所 敬	金原出版	基本的内容が網羅されている。
標準眼科学 第14版	中澤 満 村上 晶 園田康平	医学書院	基本的内容が網羅されている。

6 準備学習（予習・復習）

○ 教科書及び参考図書のどれかを選んで，その目次全体を眺め，どのような事項が取り上げられているのか確認しておく(1コマあたり約0.5時間)。教科書で不十分と思われれば自身で文献検索し，理解を深める。
○ 翌日の講義シラバスを確認し，教科書や参考図書のいずれかを選んで読んでおく(1コマあたり約0.5時間)。
○ 1コマ目の講義で配付された資料について講義後に内容を再確認し，2コマ目以降の講義に臨むこと(1日あたり約1時間)。

7 授業計画

（１） 講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが，講義中，一部，講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

（２） 講義の内容

1コマ目に総論として眼科医療に関するキーワードを解説し，2コマ目以降は眼科総論と各論について，適宜症例を提示しながら理解を進めていく。

眼科学

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/6/16(月)	3	ー	ー	予備				
2025/6/16(月)	4	ー	ー	予備				
2025/6/16(月)	5	ー	ー	予備				
2025/6/17(火)	1	ー	講義	眼科総論	眼科	教授	瓶井　資弘	301講
2025/6/17(火)	2	ー	講義	眼の解剖・生理	眼科	講師	藤田　京子	301講
2025/6/17(火)	3	ー	講義	症候・検査	眼科	助教(医員助教)	西垣　誠士	301講
2025/6/17(火)	4	ー	講義	斜視・弱視・小児眼科・未熟児網膜症	眼科	助教(医員助教)	野川　千晶	301講
2025/6/17(火)	5	ー	ー	予備				
2025/6/19(木)	1	ー	講義	緑内障	眼科	教授(特任)	三木　篤也	301講
2025/6/19(木)	2	ー	JS(垂直)	網膜の徹底解剖	解剖学	教授	内藤　宗和	301講
2025/6/19(木)	3	ー	講義	網膜・硝子体(1)	眼科	講師	藤田　京子	301講
2025/6/19(木)	4	ー	講義	結膜・強膜・角膜	眼科	非常勤講師	神野　安季子	301講
2025/6/19(木)	5	ー	講義	眼瞼・眼窩	眼形成	教授(特任)	高橋　靖弘	301講
2025/6/20(金)	1	ー	講義	神経眼科	眼科	助教(医員助教)	太田　直道	301講
2025/6/20(金)	2	ー	講義	ぶどう膜炎	眼科	助教	柴田　藍	301講
2025/6/20(金)	3	ー	講義	水晶体・全身と眼	眼科	助教(医員助教)	濵田　瑞綺	301講
2025/6/23(月)	1	ー	講義	眼科手術	眼科	講師	石田　雄一郎	301講
2025/6/23(月)	2	ー	講義	眼外傷・眼科救急疾患	眼科	助教(医員助教)	清澤　禄基	301講
2025/6/23(月)	3	ー	講義	網膜・硝子体(2)	眼科	講師	山雄　さやか	301講
2025/6/23(月)	4	ー	講義	眼腫瘍・涙器	眼形成	助教	伊藤　麻耶里	301講
2025/6/23(月)	5	ー	講義	角膜	眼形成	客員教授	森重　直行	301講
2025/6/24(火)	1	ー	ー	自習				
2025/6/24(火)	2	ー	ー	自習				
2025/6/24(火)	3	ー	ー	自習				
2025/6/24(火)	4	ー	ー	自習				
2025/6/24(火)	**5**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**眼科**	**教授**	**瓶井　資弘**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
瓶井　資弘	教授	眼科学講座	水曜日	16:00～17:00	C棟11階眼科医局
藤田　京子	講師	眼科	木曜日	16:00～17:00	C棟11階眼科医局
山雄　さやか	講師	眼科	水曜日	16:00～17:00	C棟11階眼科医局
石田　雄一郎	講師	眼科	水曜日	16:00～17:00	C棟11階眼科医局
太田　直道	助教(医員助教)	眼科	水曜日	16:00～17:00	C棟11階眼科医局
清澤　禄基	助教(医員助教)	眼科	水曜日	16:00～17:00	C棟11階眼科医局
西垣　誠士	助教(医員助教)	眼科	水曜日	16:00～17:00	C棟11階眼科医局
野川　千晶	助教(医員助教)	眼科	水曜日	16:00～17:00	C棟11階眼科医局
濵田　瑞綺	助教(医員助教)	眼科	水曜日	16:00～17:00	C棟11階眼科医局
内藤　宗和	教授	解剖学講座	月～水曜日	16:00～18:00	2号館研究棟2階254号室
高橋　靖弘	教授(特任)	眼形成・眼窩・涙道外科	火曜日	16:00～17:00	2号館研究棟3階眼形成外科医局
伊藤　麻耶里	助教	眼形成・眼窩・涙道外科	木曜日	16:00～17:00	2号館研究棟3階眼形成外科医局
三木　篤也	教授(特任)	近視進行抑制寄附講座	水曜日	16:00～17:00	C棟11階眼科医局
柴田　藍	助教	近視進行抑制寄附講座	水曜日	16:00～17:00	C棟11階眼科医局
神野　安季子	非常勤講師	三宅眼科医院	講義終了後，講義室にて		
森重　直行	非常勤講師	愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		

耳鼻咽喉科・頭頸部外科学（口腔外科学）

【単位数：1単位，授業19コマ，予備4コマ（定期試験含まず）】
当該科目は医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

1　科目責任者

藤本保志　教授（耳鼻咽喉科・頭頸部外科学）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅲ-3-b，Ⅲ-4-b，Ⅲ-5-b）

① コンピテンスの「医学知識と科学的探究心」で求められる疾病の病因・病態・適切かつ最新の治療法を説明出来るようにする。
② 耳鼻・咽喉・口腔の構造と機能を理解し，耳鼻・咽喉・口腔系疾患の症候・病態から診断に至る過程及び治療を理解する。

（2）　学修目標

① 耳・鼻・咽喉頭の構造と機能を理解し，さらに個々の疾患の病態，診断，全身疾患との関連並びに治療の概略を理解し説明できる。
② 鼓膜所見，鼻内所見，咽喉頭所見を的確に指摘出来て，病態を理解し説明できる。
③ 聴覚検査，平衡機能検査の意義について理解し，検査結果を説明できる。
④ 音声障害，嚥下障害について理解し，その対策・治療を説明できる。
⑤ 頭頸部腫瘍の病因・病態について理解し，最新の治療法を説明できる。
⑥ 全身疾患に伴う耳・鼻・咽喉頭の変化とそれらの関連を判断できる。
⑦ 歯科口腔外科の立場から，構音・咀嚼機能に関する歯牙・顎関節等の役割について理解できる。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	100%	全問多肢選択問題
態度	○	—	態度不良の場合は「問題行動学生報告書」（イエロー・レッドカード）を提出する。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）　合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（3）　再試験・再評価の方法

定期試験成績が60%未満の場合は，再試験を実施する。

（4）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験の成績についての総括を学内メールで実施する。これにて理解が不十分な項目について再確認を促す。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
あたらしい耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	香取幸夫，日高浩史	中山書店 2020	最新の知見を解説，写真と図が豊富。

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
『新耳鼻咽喉科』改訂12版	野村恭也，加我君孝	南山堂 2022	標準となる教科書。詳細に解説している。
病気が見える-耳鼻咽喉科	藤本保志他	MEDIC MEDIA 2020	図解・写真が多くわかりやすい。
頭頸部癌診療ガイドライン 2022	日本頭頸部癌学会	金原出版 2022	世界標準の治療を知るための手がかりとして随時参照するだけでも有益である。EBM を学ぶ入り口としても手にとって欲しい。
小児急性中耳炎診療ガイドライン 2018	日本耳科学会・他	金原出版 2018	
小児滲出性中耳炎診療ガイドライン	日本耳科学会・他	金原出版 2015	
嗅覚障害診療ガイドライン	日本鼻科学会	金原出版 2017	
前庭神経炎診療ガイドライン 2021	日本めまい学会	金原出版 2021	
メニエール病・遅発性内リンパ水腫ガイドライン 2020	日本めまい学会	金原出版 2020	
耳鳴診療ガイドライン 2019	日本聴覚医学会	金原出版 2019	
急性副鼻腔炎診療ガイドライン 2010 追補版	日本鼻科学会		
嚥下障害診療ガイドライン 2024	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会	金原出版 2024	
音声障害診療ガイドライン 2018	日本音声言語医学会・他	金原出版 2018	

6　準備学習（予習・復習）

○　講義内容の項目を予め，教科書で確認しておくこと（1コマあたり15分）。

○　1コマ目の講義で配付された資料について講義後に内容を再確認し，2コマ目以降の講義に臨むこと（1コマあたり15分）。

7　授業計画

（1）　講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが，積極的な質問及び講義終了後の質問を歓迎する。

（2）　講義の内容

耳鼻咽喉科・頭頸部外科全般にわたり，基礎的な解剖や生理に始まり，機能別・臓器別各論につなげる。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科学(口腔外科学)

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/5/8(木)	1	―	講義	耳鼻咽喉科・頭頸部外科総論	耳鼻	教授	藤本 保志	301講
2025/5/8(木)	2	―	講義	音声障害の診断・治療	耳鼻	助教	犬飼 大輔	301講
2025/5/8(木)	3	―	講義	唾液腺・口腔咽頭疾患/全身疾患	耳鼻	助教	犬飼 大輔	301講
2025/5/8(木)	4	―	講義	甲状腺癌/頸部良性腫瘍	耳鼻	准教授(特任)	丸尾 貴志	301講
2025/5/8(木)	5	―	講義	嚥下障害	耳鼻	准教授(特任)	丸尾 貴志	301講
2025/5/9(金)	1	―	講義	鼻・副鼻腔の解剖・生理・検査	耳鼻	准教授(特任)	車 哲成	301講
2025/5/9(金)	2	―	講義	歯科口腔外科疾患について	歯科	教授(特任)	各務 秀明	301講
2025/5/9(金)	3	―	講義	耳の検査法,聴力検査	耳鼻	助教	岸本 真由子	301講
2025/5/12(月)	1	―	講義	アレルギー性鼻炎/睡眠時無呼吸症候群	耳鼻	助教	有元 真理子	301講
2025/5/12(月)	2	―	講義	耳の症状,外耳・中耳疾患	耳鼻	教授(特任)	内田 育恵	301講
2025/5/12(月)	3	―	講義	外耳・中耳・内耳の解剖及び聴覚生理と聴覚総論	耳鼻	教授(特任)	内田 育恵	301講
2025/5/12(月)	4	―	講義	めまい平衡障害(総論・各論)	耳鼻	准教授(特任)	車 哲成	301講
2025/5/12(月)	5	―	―	予備				
2025/5/13(火)	1	―	講義	聴覚各論	耳鼻	助教	岸本 真由子	301講
2025/5/13(火)	2	―	講義	顔面神経麻痺,内耳・後迷路疾患	耳鼻	助教	岸本 真由子	301講
2025/5/13(火)	3	―	講義	腫瘍学基礎	耳鼻	教授(特任)	小川 徹也	301講
2025/5/13(火)	4	―	講義	頭頸部癌治療の変遷と薬物療法	耳鼻	教授(特任)	小川 徹也	301講
2025/5/13(火)	5	―	講義	耳鼻咽喉科の救急疾患/外傷/異物	耳鼻	助教	中村 宏舞	301講
2025/5/15(木)	1	―	JS(垂直)	頭頸部・唾液腺腫瘍の病理	病理学	講師	中村 律子	301講
2025/5/15(木)	2	―	講義	頭頸部悪性腫瘍の手術/頭蓋底外科	耳鼻	教授	藤本 保志	301講
2025/5/15(木)	3	―	―	予備				
2025/5/15(木)	4	―	―	予備				
2025/5/15(木)	5	―	―	予備				
2025/5/16(金)	1	―	―	自習				
2025/5/16(金)	2	―	―	自習				
2025/5/16(金)	**3**	**―**	**―**	**定期試験**	**耳鼻**	**教授**	**藤本 保志**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
藤本　保志	教授	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	木・金曜日	16:00～18:00	C棟8階教授室
内田　育恵	教授(特任)	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	木曜日	16:00～18:00	C棟11階耳鼻咽喉科・頭頸部外科医局
小川　徹也	教授(特任)	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	火・木曜日	16:00～17:00	C棟11階耳鼻咽喉科・頭頸部外科医局
車　哲成	准教授(特任)	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	火・金曜日	16:00～18:00	C棟11階耳鼻咽喉科・頭頸部外科医局
丸尾　貴志	准教授(特任)	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	火曜日	15:00～17:00	C棟11階耳鼻咽喉科・頭頸部外科医局
岸本　真由子	助教	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	木曜日	14:00～17:00	C棟11階耳鼻咽喉科・頭頸部外科医局
有元　真理子	助教	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	火・金曜日	15:00～17:00	C棟11階耳鼻咽喉科・頭頸部外科医局
犬飼　大輔	助教	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	木曜日	15:00～17:00	C棟11階耳鼻咽喉科・頭頸部外科医局
中村　宏舞	助教	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	木曜日	15:00～17:00	C棟11階耳鼻咽喉科・頭頸部外科医局
中村　律子	講師	病理学講座	月・火・木曜日	10:00～17:00	2号館研究棟2階261号室
各務　秀明	教授(特任)	歯科口腔外科学講座	木曜日	17:30～18:00	C棟9階歯科口腔外科医局

麻　酔　科　学

【単位数：1単位，授業13コマ，予備5コマ（定期試験含まず）】
当該科目は医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

1　科目責任者

野手英明　教授（特任）（麻酔科学）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅲ-3-a，Ⅲ-4-a，Ⅲ-5-a）

① コンピテンスの“プロフェッショナリズム”を理解するため，周術期医療におけるチーム医療の一員として協働し，効果的な役割を果たすための知識，技能，態度を身につける。
② 手術・麻酔が生体に及ぼす影響とそれらに伴う有害事象の発生メカニズムを理解するとともに，有害事象の予防・治療にはチーム医療が不可欠であることを学修し，周術期チーム医療の一員として行動する準備ができる。

（2）　学修目標

① 各種麻酔薬及び麻酔補助薬の薬理を説明できる。
② 各種麻酔法の作用機序・生体に及ぼす影響を説明できる。
③ 各種手術の生体に及ぼす影響とその管理法を説明できる。
④ 手術に伴う侵害刺激が生体に及ぼす影響を説明できる。
⑤ 各種併存疾患が周術期管理に及ぼす影響を説明できる。
⑥ 麻酔の合併症とその対策法を説明することができる。
⑦ 周術期管理に必要な生体制御を説明できる。
⑧ 周術期医療におけるチーム医療の必要性を説明できる。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	90％	多肢選択問題とする。
小テスト	○	10％	講義内容の理解確認のため，簡単な小テストを行う。（4回）
態度	○	―	著しく態度不良の場合は総合成績から最大10点減点をする。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（3）　再試験・再評価の方法

定期試験，小テストの合計が60％未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する（60％以上で合格）。

（4）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

試験で正答率の低かった問題，理解が不十分と思われた問題については，解説を一斉メールする。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
標準麻酔科学　第7版	監修 弓削孟文	医学書院	周術期医療に必要な基礎的事項が網羅されている。

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
麻酔科研修ノート	責任編集 稲田英一	診断と治療社	実地臨床に即した参考書
Miller’s Anesthesia　第8版	R.D.Miller et al.	エルゼビア	麻酔科学のすべてを網羅している標準的教科書

6　準備学習（予習・復習）

教科書標準麻酔科学の各講義に該当する項目（授業計画に掲示）を予習しておく。
1講義につき予習，復習合わせて1時間を充てる。

7　授業計画

（１）　講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義を行う。
講義の資料は，事前にAIDLE-Kに掲載し，当日配付は行わない。

（２）　講義の内容

必修項目は講義で説明するが，講義のみでは麻酔科学の全範囲は網羅できない。
講義で説明できなかった部分は教科書に指定してある「標準麻酔科学」で各自自習しておくこと。

麻酔科学

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/24(木)	1	―	講義	麻酔科学概論 (標準麻酔科学1章2章)	麻酔	教授(特任)	野手　英明	301講
2025/4/24(木)	2	―	講義	静脈麻酔薬，吸入麻酔薬 (標準麻酔科学3章4章)	麻酔	教授(特任)	野手　英明	301講
2025/4/24(木)	3	―	講義	オピオイド，筋弛緩薬 (標準麻酔科学5章7章) **小テスト①**	麻酔	助教	佐藤　航	301講
2025/4/24(木)	4	―	講義	術後管理　術後鎮痛 (標準麻酔科学17章) **小テスト②**	麻酔	助教	佐藤　航	301講
2025/4/24(木)	5	―	講義	麻酔・手術の代謝・体液・内分泌に対する影響とそれらの管理の実際 (標準麻酔科学14章16章)	麻酔	助教	髙橋　徹朗	301講
2025/4/25(金)	1	―	講義	局所麻酔と麻酔管理　～無痛分娩の実際～ (標準麻酔科学6章10章) **小テスト③**	麻酔	助教	村松　愛	301講
2025/4/25(金)	2	―	講義	区域麻酔(脊椎くも膜下麻酔と硬膜外麻酔) (標準麻酔科学6章10章) **小テスト④**	麻酔	助教	村松　愛	301講
2025/4/25(金)	3	―	講義	各科手術における麻酔管理 (標準麻酔科学19章)	麻酔	助教	髙橋　徹朗	301講
2025/4/28(月)	1	―	講義	麻酔の術前評価 (標準麻酔科学8章)	―	非常勤講師	橋本　篤	301講
2025/4/28(月)	2	―	講義	止血凝固管理，感染制御 (標準麻酔科学15章18章)	―	非常勤講師	橋本　篤	301講
2025/4/28(月)	3	―	講義	医療安全と麻酔・集中治療管理 (標準麻酔科学11章)	医療安全	教授(特任)	奥村　将年	301講
2025/4/28(月)	4	―	講義	周術期気道管理・呼吸管理 (標準麻酔科学9章13章)	麻酔	助教	中村　健人	301講
2025/4/28(月)	5	―	講義	周術期循環管理 (標準麻酔科学12章)	麻酔	助教	梶浦　貴裕	301講
2025/5/1(木)	1	―	―	予備				
2025/5/1(木)	2	―	―	予備				
2025/5/1(木)	3	―	―	予備				
2025/5/1(木)	4	―	―	予備				
2025/5/1(木)	5	―	―	予備				
2025/5/2(金)	1	―	―	自習				
2025/5/2(金)	2	―	―	自習				
2025/5/2(金)	**3**	**―**	**―**	**定期試験**	**麻酔**	**教授(特任)**	**野手　英明**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
野手 英明	教授(特任)	麻酔科学講座	火曜日	15:00～17:00	大学病院中央棟 5階医局
梶浦 貴裕	助教	麻酔科	月曜日	15:00～17:00	大学病院中央棟 5階医局
佐藤 航	助教	麻酔科学講座	金曜日	15:00～17:00	大学病院中央棟 5階医局
髙橋 徹朗	助教	麻酔科	金曜日	15:00～17:00	大学病院中央棟 5階医局
中村 健人	助教	麻酔科学講座	金曜日	15:00～17:00	大学病院中央棟 5階医局
村松 愛	助教	麻酔科学講座	月曜日	15:00～17:00	大学病院中央棟 5階医局
奥村 将年	教授(特任)	医療安全管理室	金曜日	13:00～17:00	医療安全管理室
橋本 篤	非常勤講師	名鉄病院麻酔科部長	講義終了後，講義室にて		

救　急　医　学

【単位数：1単位，授業13コマ，予備5コマ（定期試験含まず）】
当該科目は医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

1　科目責任者

渡邉栄三　教授（救急集中治療医学）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅲ-3-b，Ⅲ-4-b，Ⅲ-5-b）

① コンピテンスの“医学知識と科学的探究心”の理解ができるようになるため，救急患者のプライマリ・ケア，重症患者管理方法を学び，そのことによって“プロフェッショナリズム”の涵養を図る。

② プライマリ・ケア領域の救急対応を行うため，全身状態とバイタルサインを確認し，緊急性の高い状況かどうかを判断し，一次救命処置を実施できる。侵襲学，集中治療医学，中毒学，蘇生学，外傷学，災害医療，病院前救護などの概略を学ぶ。循環障害，臓器不全の病因，病態，治療法を理解し，集中治療室の役割を学ぶ。

（2）　学修目標

① 救急医療体制，病院前診療，災害医療を概説できる。
② 救急法規を概説できる。
③ 心肺蘇生法（BLS，ACLS）を説明できる。
④ 外傷初期治療と多発外傷を説明できる。
⑤ 救急診断学，救急処置を説明できる。
⑥ 救急薬品を説明できる。
⑦ 急性血液浄化法を説明できる。
⑧ 輸液療法と栄養療法を説明できる。
⑨ 急性循環不全の病態と治療を説明できる。
⑩ 重症救急患者管理を説明できる。
⑪ 救急検査を説明できる。
⑫ 広範囲熱傷の急性期治療を説明できる。
⑬ 環境異常と急性中毒を説明できる。
⑭ 侵襲と生体反応を説明できる。
⑮ SIRS/CARSと敗血症を説明できる。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	100％	講義内容から6割，救急医学全般から3割，英単語和訳1割の割合で出題する。救急医学全般は”標準救急医学（第5版）”の内容に準拠し，CBT問題集を参考に作問する。英単語和訳は”音声と例文でおぼえる基本医療英語1000”から出題する。 多肢選択，及び記述式問題を用いる。
態度	○	―	受講態度が不良の場合は，10％を限度に減点する。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（３） 再試験・再評価の方法

60％以上で合格とする。定期試験に準ずる方法で再試験を行う。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験で正答率の低かった問題，理解が不十分と思われた問題については，解説を一斉メールする。

４ 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
標準救急医学　第5版	日本救急医学会監修	医学書院	本教科書の内容は試験範囲とする。
音声と例文でおぼえる基本医療英語1000	笹島　茂， Chad Godfrey， 小島さつき	南雲堂	本教科書の内容は試験範囲とする。

５ 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
救急診療指針　改訂第5版	日本救急医学会監修	へるす出版	救急全般に関し必要な事項が網羅されている。
外傷初期診察ガイドライン 改訂第6版	日本外傷学会，日本救急医学会監修	へるす出版	外傷に関するABCが記載されており，わかりやすい。
熱傷治療マニュアル　改訂第2版	田中　裕編著	中外医学社	熱傷に関して詳細まで記載されている。
The ICU Book　第4版	PL Marino　著， 稲田英一ら(翻訳)	メディカル・サイエンス・インターナショナル	重症患者管理に必要な事項が病態中心に解説してある。

６ 準備学習（予習・復習）

授業に臨むにあたり，教科書，参考図書などを用い予備知識を得ておくことが望ましい（1 コマあたり 0.5 時間）。

７ 授業計画

（１） 講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義を行う。

（２） 講義の内容

必修項目は講義で説明するが，講義のみでは救急医学の全範囲は網羅できない。

講義で説明できなかった部分は教科書に指定してある「標準救急医学」で各自自習しておくこと。

救急医学

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/7(月)	1	ー	講義	救急医学概論 救急医療と法律	救集治医	教授	渡邉 栄三	301講
2025/4/7(月)	2	ー	講義	ショックの病態と治療	救集治医	准教授	苛原 隆之	301講
2025/4/7(月)	3	ー	講義	敗血症の病態と治療	救集治医	教授	渡邉 栄三	301講
2025/4/7(月)	4	ー	講義	救急医療 最近の動向	ー	名誉教授	野口 宏	301講
2025/4/7(月)	5	ー	ー	予備				
2025/4/8(火)	1	ー	講義	病院前医療	救診部	教授	加納 秀記	301講
2025/4/8(火)	2	ー	講義	ACLS/BLS	救診部	教授	加納 秀記	301講
2025/4/8(火)	3	ー	講義	重症感染症の管理と病態 稀な重症特殊病態	災医C	教授	津田 雅庸	301講
2025/4/8(火)	4	ー	講義	重症熱傷の管理と病態	災医C	教授	津田 雅庸	301講
2025/4/8(火)	5	ー	ー	予備				
2025/4/10(木)	1	ー	ー	予備				
2025/4/10(木)	2	ー	講義	災害医療の基礎	ー	客員教授	北川 喜己	301講
2025/4/10(木)	3	ー	講義	救急外科，重症外傷に対する対応とJATEC	救集治医	准教授	苛原 隆之	301講
2025/4/10(木)	4	ー	講義	急性中毒，環境起因性疾患，ER診断	救集治医	講師	梶田 裕加	301講
2025/4/10(木)	5	ー	ー	予備				
2025/4/11(金)	1	ー	ー	予備				
2025/4/11(金)	2	ー	講義	救急麻酔と緊急薬剤	救集治医	講師	寺島 嗣明	301講
2025/4/11(金)	3	ー	講義	SIRS/CARS，多臓器不全の管理と病態	救集治医	教授	渡邉 栄三	301講
2025/4/14(月)	**1**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**救集治医**	**教授**	**渡邉 栄三**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
渡邉　栄三	教授	救急集中治療医学講座	月・水・金	15:00～17:00	救急・災害管理棟3階 救急集中治療医学講座 教授室
苛原　隆之	准教授	救急集中治療医学講座	月・火・水曜日	15:00～17:00	救急・災害管理棟1階准教授室
梶田　裕加	講師	救命救急科	月・水・金曜日	15:00～17:00	救急・災害管理棟1階医局
寺島　嗣明	講師	救命救急科	月・火・水・金	11:00～17:00	救命救急科医局
加納　秀記	教授	救急診療部	月・火・木曜日	15:00～17:00	救急・災害管理棟3階教授室
津田　雅庸	教授	災害医療研究ｾﾝﾀｰ	火・水・木曜日	15:00～17:00	救急災害棟　3階教授室
北川　喜己	非常勤講師	愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		
野口　宏	非常勤講師	愛知医科大学名誉教授	講義終了後，講義室にて		

臨　床　感　染　症　学

【単位数：2単位，授業26コマ，予備5コマ（定期試験含まず）】
当該科目は医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

1　科目責任者

三鴨廣繁　教授（臨床感染症学講座）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅲ-3-b，Ⅲ-4-b，Ⅲ-5-b）

① コンピテンス，コンピテンシーの医学知識と科学的探究心及び診療技能，疾患の病態と症候を説明でき，その鑑別と診断を計画できる。
② 主要な感染症の疫学，病態生理，症候，診断と治療を学ぶ。診断と治療に必要な病原微生物，感染臓器と治療薬の関係性を理解する。

（2）　学修目標

① 細菌感染症の成立にかかわる細菌側の要因と，宿主側の要因について理解する。
② 細菌感染症の診断について基本方針を理解する。
③ 細菌感染症の治療の原則を理解する。
④ 地域的及び世界的な感染症の流行状況を知り，感染症に対する対策と医師としての法的義務を身につける。
⑤ 薬剤耐性菌の出現を防止するために，薬剤耐性菌の出現様式を理解し，適切な抗菌薬選択ができる。
⑥ 創傷・術後感染症の危険因子を理解し，発症阻止のための対策がとれる。
⑦ 医療関連感染の発生防止と伝播防止ができるようになるために，医療関連感染を理解する。
⑧ 呼吸器感染症の臨床所見，検査所見を理解し，その診断と治療ができる。
⑨ 肺炎のなかで非定型肺炎の位置づけを理解するため，非定型肺炎の微生物学的特性を理解する。
⑩ 肺結核・非定型抗酸菌感染症の臨床所見，検査所見を理解し，その診断と治療ができる。
⑪ ウイルス感染症の診断・治療・予防を理解する。
⑫ 小児科学領域感染症の特徴を理解し，予防・診断・治療を概説できる。
⑬ 腸管感染症及び食中毒の診断と治療を理解する。
⑭ 肝・胆道系感染症の診断と治療を理解する。
⑮ 整形外科領域の感染症の診断と治療を理解する。
⑯ 性感染症の診断・治療を理解する。
⑰ HIV 感染の病態を理解し，診断・治療・予防を説明できる。
⑱ 尿路感染症の特性を理解する。
⑲ 男性性器感染症の特性を理解し，男性性器感染症の診断と治療について説明できる。
⑳ 原虫感染症の診断と治療のために，微生物学的及び臨床的特徴を理解する。
㉑ 深在性真菌症の診断と治療のために，微生物学的及び臨床的特徴を理解する。
㉒ 血流感染及び セプシスの概念，診断（検査を含む）及び治療を理解する。
㉓ 産婦人科領域感染症及び母子感染の特徴を理解し，診断と治療を理解する。
㉔ 中枢神経感染症の特徴を理解し，診断及び治療を理解する。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	80%	定期試験の成績を基に下記の点を加味し評価する。
講義態度	○	—	著しく態度不良の場合は10%を限度に減点をする。
小テスト	○	20%	1回実施する(6/9(月)2限の予定)。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

（３）　再試験・再評価の方法

総合成績で60%未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する(再試験においては再試験成績60%以上で合格と判定する)。

（４）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

試験問題に関する疑問は指定したオフィスアワーに受け付ける。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
感染症専門医第Ⅰ部解説編テキスト	社団法人日本感染症学会	南江堂	すべての疾患について詳細な記述がされている。
病気がみえる Vol.6 免疫・膠原病・感染症	医療情報科学研究所編	メディックメディア	国家試験対策として要点を理解するのに適している。

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
Clinical Infectious Diseases: A Practical Approach	Richard K.,et al. Editors	Oxford University Press	米国における感染症学の代表的なテキストである。
Harrison's Principles of Internal Medicine	Kasper D, et al. Editors	McGraw-Hill	内科学のバイブルとしての評価が高い。

6　準備学習（予習・復習）

教科書として指定した書籍の講義内容に関係する部分を読んでくるのが望ましい(予習：1コマ 約0.5時間，復習：1コマ 約1時間)。

7　授業計画

（１）　講義の方法

講義時に配付する資料に基づいて講義する形式をとる。一部の講義では，case-based learningの形式も採用する。また，講義中に習熟度を確認するために小テストを実施する。一部，小グループ討論や講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

（２）　講義の内容

講義タイトルに示された疾患について，各種感染症の病態，診断，治療，予防法の基本を理解する。

臨床感染症学

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/6/2(月)	3	—	講義	中枢神経系感染症	—	客員教授	山岸 由佳	301講
2025/6/2(月)	4	—	講義	小児科領域感染症	—	客員教授	山岸 由佳	301講
2025/6/2(月)	5	—	講義	細菌性肺炎	感染症	准教授	浅井 信博	301講
2025/6/3(火)	1	—	講義	マイコプラズマ, クラミジア, リケッチア, ウイルス性肺炎	感染症	准教授	浅井 信博	301講
2025/6/3(火)	2	—	講義	尿路感染症	感染症	准教授	浅井 信博	301講
2025/6/3(火)	3	—	講義	肝・胆・膵感染症	分疫(寄)	准教授	萩原 真生	301講
2025/6/3(火)	4	—	講義	感染症総論	感染症	教授	三鴨 廣繁	301講
2025/6/3(火)	5	—	講義	感染制御	感染症	教授	三鴨 廣繁	301講
2025/6/5(木)	1	—	—	予備				
2025/6/5(木)	2	—	講義	HIV/AIDS	感染症	教授	三鴨 廣繁	301講
2025/6/5(木)	3	—	講義	血流感染症	分疫(寄)	准教授	萩原 真生	301講
2025/6/5(木)	4	—	講義	真菌	感染症	教授	三鴨 廣繁	301講
2025/6/5(木)	5	—	講義	結核菌・非結核性抗酸菌症	—	非常勤講師	國島 広之	301講
2025/6/6(金)	1	—	講義	抗微生物薬1	—	非常勤講師	藤村 茂	301講
2025/6/6(金)	2	—	講義	抗微生物薬2	—	非常勤講師	藤村 茂	301講
2025/6/6(金)	3	—	講義	消化管感染症	—	非常勤講師	小泉 祐介	301講
2025/6/9(月)	1	—	講義	産婦人科領域感染症	感染症	教授	三鴨 廣繁	301講
2025/6/9(月)	2	—	AL	セプシス・感染性DIC／**【小テスト】**30分	感染症	教授	三鴨 廣繁	101講
2025/6/9(月)	3	—	講義	ワクチン関連疾患	—	客員教授	山岸 由佳	301講
2025/6/9(月)	4	—	講義	インフルエンザ	—	非常勤講師	馬場 尚志	301講
2025/6/9(月)	5	—	講義	寄生虫	—	非常勤講師	馬場 尚志	301講
2025/6/10(火)	1	—	—	予備				
2025/6/10(火)	2	—	講義	感染性心内膜炎	—	非常勤講師	平井 潤	301講
2025/6/10(火)	3	—	講義	整形外科領域感染症	—	非常勤講師	平井 潤	301講
2025/6/10(火)	4	—	講義	性感染症（男性・女性）	感染症	教授	三鴨 廣繁	301講
2025/6/10(火)	5	—	講義	皮膚軟部組織感染症・腹腔内感染症	感染症	教授	三鴨 廣繁	301講
2025/6/12(木)	1	—	—	予備				
2025/6/12(木)	2	—	—	予備				
2025/6/12(木)	3	—	—	予備				
2025/6/12(木)	4	—	講義	新興・再興感染症1	—	客員教授	大曲 貴夫	301講
2025/6/12(木)	5	—	講義	新興・再興感染症2	—	客員教授	大曲 貴夫	301講
2025/6/16(月)	**1**	**—**	**—**	**定期試験**	**感染症**	**教授**	**三鴨 廣繁**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
三鴨 廣繁	教授	臨床感染症学講座	水曜日	8:00～8:20	C棟8階教授室
浅井 信博	准教授	臨床感染症学講座	月曜日	15:00～16:00	感染管理室
萩原 真生	准教授	分子疫学・疾病制御学寄附講座	月・火・水曜日	13:00～16:00	2号館研究棟3階378号室
大曲 貴夫	非常勤講師	愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		
國島 広之	非常勤講師	聖マリアンナ医科大学 感染症学講座 教授	講義終了後，講義室にて		
小泉 祐介	非常勤講師	和歌山県立医科大学 臨床感染制御学講座 教授	講義終了後，講義室にて		
馬場 尚志	非常勤講師	岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター 教授	講義終了後，講義室にて		
平井 潤	非常勤講師	日本医科大学 千葉北総病院 感染制御部 特任教授・感染制御部 部長	講義終了後，講義室にて		
藤村 茂	非常勤講師	東北医科薬科大学 臨床感染症学教室 教授	講義終了後，講義室にて		
山岸 由佳	非常勤講師	愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		

臨　床　腫　瘍　学

【単位数：1単位，授業13コマ，予備5コマ（定期試験含まず）】
当該科目は医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

1　科目責任者

久保昭仁　教授（臨床腫瘍センター）

科目担当者
森　直治　教授（緩和ケアセンター）
岩田　崇　准教授（臨床腫瘍センター）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅲ-3-b，Ⅲ-4-b，Ⅲ-5-b）

① がんの生物学的特性・病態・薬物療法を修得することによって，EBMに基づいた標準的な治療体系と集学的治療を理解する。
② がん対策基本法からチーム医療，意思決定，医療経済，地域医療までを俯瞰的に理解する。
③ 腫瘍に対する支持医療，緩和医療を理解し，全人的医療を実践する知識と心構えを修得する。

（2）　学修目標

① がんの生物学的特徴を説明できる。
② がんの原因や遺伝子変化，発癌機構を説明できる。
③ 代表的ながん薬物療法薬について作用機序，薬物投与法，副作用を説明できる。
④ がん薬物療法の効果と毒性の評価，支持療法について概説できる。
⑤ がん対策基本法について説明できる。
⑥ がんの診察におけるチーム医療を概説できる。
⑦ 全人的苦痛を説明できる。
⑧ 緩和ケアにおいて頻度の高い身体的苦痛，心理社会的苦痛を列挙することができる。
⑨ 腫瘍がもたらす代謝変化，栄養不良の症候群である悪液質を理解し，説明できる。
⑩ 症状緩和の限界，コンサルテーションの重要性を理解し，説明できる。
⑪ 予期悲嘆，グリーフケアについて理解し，家族のケアについて概説できる。
⑫ 緩和ケアチーム，ホスピス，緩和ケア病棟，在宅緩和ケアの特徴と役割が概説できる。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	100％	多肢選択問題を原則とする。一部記述式問題を含む場合がある。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は，総合成績の 10％を上限として減点をする。また，態度不良の場合は，『問題行動学生報告書』（イエロー・レッドカード）を提出することがある。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（３） 再試験・再評価の方法

定期試験の合計が60％未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する。再試験の60％以上を合格とする。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験の成績についての総括を学内メールで実施する。

これにより理解が不十分な項目について再確認を促すとともに，定期試験で不合格となった者は再試験に備えること。

４ 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
新版 がん緩和ケアガイドブック	日本医師会	青海社	日本医師会が監修し，現在日本の緩和ケアの標準的教科書となっている。 PDF版が日本医師会HPからDL可能。
レジュメ配付			

５ 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
入門腫瘍内科学 第3版	日本臨床腫瘍学会編集	南江堂	臨床腫瘍学の入門書。医学部生に必要な臨床腫瘍学の知識が，わかりやすくまとめられている。
Oxford Textbook of Palliative Medicine	Nathan I. Cherny ら	Oxford Univ. Press	世界標準の緩和医療の教科書である。
臨床緩和ケア 第3版	大学病院の緩和ケアを考える会	青海社	大学病院勤務医による教科書

６ 準備学習（予習・復習）

授業前までに

○ 授業に臨むに当たり，講義スライドをダウンロードし，内容を確認しておく（1コマあたり15分）。

○ 2学年次の腫瘍学統合講義・化学療法概論・緩和ケア概論の講義内容を再確認しておく（1コマあたり15分）。

○ 日本医師会のホームページから「新版 がん緩和ケアガイドブック」（ http://dl.med.or.jp/dl-med/etc/cancer/cancer_care_kaitei.pdf ）をダウンロードし，目次全体を眺め，どのような事項が取り上げられているのか確認しておく（1コマあたり15分）。

○ 国立がん研究センター がん情報サービス（ganjoho.jp）一般の方向けサイトの「がんになったら手にとるガイド」と「もしも，がんが再発したら」をダウンロードし，閲覧しておく（1コマあたり15分）。

○ レジュメの復習を行うこと（1コマあたり15分）。

７ 授業計画

（１） 講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが，講義中，一部，小グループ討論や講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

（２） 講義の内容

腫瘍に対する診断・治療及びその基盤となる知識，緩和・支持医療の医学的知識の整理と，実臨床におけるがん患者の診断と治療の流れ，緩和ケア，治療が困難になった状況における患者・家族へのケアの流れを想定し，講義を進める。

また，特別授業で，いのちの尊さについて考える。

臨床腫瘍学

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/5/19(月)	1	ー	講義	身体症状の緩和ケア	緩ケC	教授	森　直治	301講
2025/5/19(月)	2	ー	講義	終末期ケア・苦痛緩和のための鎮静	緩ケC	教授	森　直治	301講
2025/5/19(月)	3	ー	講義	いのちの授業	ー	非常勤講師	大橋　洋平	301講
2025/5/19(月)	4	ー	講義	がん性疼痛と症状緩和	ー	非常勤講師	松原　貴子	301講
2025/5/19(月)	5	ー	講義	スピリチュアルケア	ー	非常勤講師	松原　貴子	301講
2025/5/20(火)	1	ー	講義	がん悪液質の病態と代謝変化	緩ケC	教授	森　直治	301講
2025/5/20(火)	2	ー	ー	予備				
2025/5/20(火)	3	ー	ー	予備				
2025/5/20(火)	4	ー	講義	人の死とグリーフケア，家族のケア	ー	非常勤講師	坂口　達馬	301講
2025/5/20(火)	5	ー	講義	緩和・支持医療のゴール設定と療養場所の選択	ー	非常勤講師	坂口　達馬	301講
2025/5/22(木)	1	ー	講義	臨床腫瘍学概論・がん薬物療法概論	腫瘍C	教授	久保　昭仁	301講
2025/5/22(木)	2	ー	講義	分子標的薬概論，支持療法・オンコロジックエマージェンシー	腫瘍C	准教授	岩田　崇	301講
2025/5/22(木)	3	ー	講義	患者家族の立場から見た意思決定とチーム医療，Shared Decision Making	腫瘍C	准教授	岩田　崇	301講
2025/5/22(木)	4	ー	JS(水平)	キャンサーボードとがんの集学的治療戦略	腫瘍C	教授	久保　昭仁	301講
2025/5/22(木)	5	ー	JS(垂直)	がんゲノム医療	腫瘍C	教授	久保　昭仁	301講
2025/5/23(金)	1	ー	ー	予備				
2025/5/23(金)	2	ー	ー	予備				
2025/5/23(金)	3	ー	ー	予備				
2025/5/26(月)	**1**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**腫瘍C**	**教授**	**久保　昭仁**	**101講**

8 オフィスアワー　　臨床腫瘍学

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
久保 昭仁	教授	臨床腫瘍センター腫瘍内科部門	木曜日	16:00～17:00	C棟7階教授室
岩田 崇	准教授	臨床腫瘍センター	木曜日	16:00～17:00	D棟4階臨床腫瘍センター 准教授室
森 直治	教授	緩和ケアセンター	月曜日	8:45～10:30	C棟7階教授室
坂口 達馬	非常勤講師	関西医科大学消化器外科	講義終了後，講義室にて		
大橋 洋平	非常勤講師	JAあいち厚生連海南病院緩和ケア医師	講義終了後，講義室にて		

医　療　安　全

【単位数：1単位，授業 13 コマ，予備2コマ（定期試験含まず）】
当該科目は医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

1　科目責任者

奥村将年　教授（特任）（医療安全管理室）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅰ-11-b，Ⅰ-12-b，Ⅰ-13-b，Ⅰ-14-b，Ⅰ-15-b，Ⅱ-3-b，Ⅱ-4-b）

① 安全な医療を提供するための基本原則を理解し，医療チームの一員として医療の質改善を推進できるようにする。
② 医療に携わるからには必ず身につけなければならない医療安全の知識を得る。

（2）　学修目標

① 今日の医療において，医療安全が最優先される概念であることを理解する。
② 過去の医療事故や医療過誤等を学び，これらが日常的に起こる可能性があることを認識するとともに，防止策を考案して対応する必要があることを理解する。
③ エラーが起きるメカニズムについて理解する。
④ チームで取り組むことの重要性，チーム形成の方法を説明できる。
⑤ 医療事故調整制度，医療に関わる法について説明できる。
⑥ 対人関係スキルがあたえる医療トラブルの影響について説明できる。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	100％	多肢選択問題で評価する。
態度	○	－	受講態度が不良の場合は10点を限度に減点をする。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）　合格基準

評価対象の合計が60％以上（又は60点以上）で合格とする。

（3）　再試験・再評価の方法

定期試験で60％未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する（60％以上で合格）。

（4）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験の成績についての総括を学年メールで実施する。
これにて理解が不十分な項目について再確認を促すとともに，定期試験で不合格となった者は再試験に備える。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
改訂第２版 医療安全管理実務者標準テキスト	一般社団法人日本臨床医学リスクマネジメント学会	へるす出版	医療安全を学ぶに必要なことがわかりやすく幅広く網羅されている。
ねころんで読める WHO 患者安全カリキュラムガイド（医療安全 BOOKS）	相馬孝博	メディカ出版	初めはここから。わかりやすい。

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
WHO 患者安全カリキュラムガイド：多職種版 （AIDLE-K からダウンロード）	世界保健機関(WHO)	東京医科大学	世界標準の患者安全に関してわかりやすく解説されている。
世界患者安全行動計画 2021-2030 医療における回避可能な害をなくすために （AIDLE-K からダウンロード）	世界保健機関(WHO)	世界保健機関（WHO）	現在，世界が進んでいる患者安全の方向が記載されている。
患者安全・医療安全 実践ハンドブック	医療安全全国共同行動技術支援部会	メディカルサイエンスインターナショナル	日本における医療安全に関するスタンダードが記載されている。
ワシントンマニュアル 患者安全と医療の質改善	加藤良太朗/本田仁 監訳	メディカルサイエンスインターナショナル	これさえ持っておけばいつか役立つ。
人は誰でも間違える	医学ジャーナリスト協会	日本評論社	名著。
失敗の科学	マシュー・サイド	ディスカヴァー・トゥエンティワン	失敗についての視点が変わる。
医療安全用語集　第1版 （AIDLE-K からダウンロード）	日本医療安全学会/医療の質・安全学会	日本医療安全学会/医療の質・安全学会	共通言語の理解は重要。

6　準備学習（予習・復習）

○　教科書として推奨する「医療安全管理実務者標準テキスト」の総論第１，２，４，７，９章を読み，医療安全の概略について理解しておく（1コマあたり1時間）。

○　医療安全研修e-ラーニングツール「SafetyPlus」を視聴し，事例から見た医療安全の実際を理解しておく（1コマあたり0.5時間）。

7　授業計画

（１）　講義の方法

原則として大教室での知識伝達型の講義であるが，講義中には質疑応答などのアクティブ・ラーニングを取り入れる。

（２）　講義の内容

1コマ目に医療安全に関する概論を解説し，2コマ目以降は医療安全学の各論と各種医療職による臨床に即した講義を実施する。

医療安全

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/7/4(金)	1	ー	講義	Welcome to the Patient Safety World！	医療安全	教授(特任)	奥村 将年	301講
2025/7/4(金)	2	ー	講義	間違えますよ。だって人間なんだもん ミッション！患者に害を及ぼすな！	医療安全	教授(特任)	奥村 将年	301講
2025/7/4(金)	3	ー	講義	事故から学べ！	ー	名誉教授	杉本 郁夫	301講
2025/7/4(金)	4	A	AL	安全ゲーム	医療安全 糖内 医療安全 看護部 看護部 NP部	教授(特任) 教授 看護師 看護師 看護師 看護師	奥村 将年 神谷 英紀 小林 千尋 冨石 香代子 大畑 めぐみ 森 一直	101講
2025/7/4(金)	5	B	AL	安全ゲーム	医療安全 糖内 医療安全 看護部 看護部 NP部	教授(特任) 教授 看護師 看護師 看護師 看護師	奥村 将年 神谷 英紀 小林 千尋 冨石 香代子 大畑 めぐみ 森 一直	101講
2025/7/7(月)	1	ー	講義	どんなインシデントが起きている？	医療安全	看護師	小林 千尋	301講
2025/7/7(月)	2	ー	講義	医療安全の鬼門＝薬剤	薬剤部	薬剤師	舟橋 智美	301講
2025/7/7(月)	3	ー	講義	チームは最強	医療安全	教授(特任)	奥村 将年	301講
2025/7/7(月)	4	B	AL	チームステップス	医療安全 糖内 医療安全 看護部	教授(特任) 教授 看護師 看護師	奥村 将年 神谷 英紀 小林 千尋 冨石 香代子	101講
2025/7/7(月)	5	A	AL	チームステップス	医療安全 糖内 医療安全 看護部	教授(特任) 教授 看護師 看護師	奥村 将年 神谷 英紀 小林 千尋 冨石 香代子	101講
2025/7/8(火)	1	ー	講義	チームステップスって何だったの？	医療安全	教授(特任)	奥村 将年	301講
2025/7/8(火)	2	ー	講義	国や法は何と言っているのだ？	病院事務部	医療安全事務監	生田 芳文	301講
2025/7/8(火)	3	ー	講義	トラブルを防ぐ救世主＝メディエーター	ー	非常勤講師	小林 美和	301講
2025/7/8(火)	4	ー	講義	プロは実際の医療事故をどう見るか？	医療安全	教授(特任)	奥村 将年	301講
2025/7/8(火)	5	ー	講義	医療安全ナウ！成功からも学ぶ	医療安全	教授(特任)	奥村 将年	301講
2025/7/9(水)	1	ー	ー	自習				
2025/7/9(水)	2	ー	ー	自習				
2025/7/9(水)	**3**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**医療安全**	**教授(特任)**	**奥村 将年**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
奥村 将年	教授(特任)	医療安全管理室	金曜日	13:00～17:00	医療安全管理室
神谷 英紀	教授	内科学講座(糖尿病内科)	木・金曜日	14:00～15:00	C棟5階糖尿病内科教授室
小林 千尋	看護師	医療安全管理室	講義終了後，講義室にて		
大畑 めぐみ	看護師	看護部8B病棟	講義終了後，講義室にて		
冨石 香代子	看護師	看護部11A病棟	講義終了後，講義室にて		
森 一直	看護師	NP部	講義終了後，講義室にて		
舟橋 智美	薬剤師	薬剤部	講義終了後，講義室にて		
生田 芳文	医療安全事務監	病院事務部	講義終了後，講義室にて		
杉本 郁夫	非常勤講師	愛知医科大学名誉教授	講義終了後，講義室にて		
小林 美和	非常勤講師	社会医療法人厚生会多治見市民病院看護部師長	講義終了後，講義室にて		

臨　床　遺　伝　学

【単位数：1単位，授業13コマ，予備3コマ（定期試験含まず）】

当該科目は医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

1　科目責任者

高木潤子　教授（特任）（内分泌・代謝内科）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅲ-4-c）

① 臨床遺伝学を理解するために，医学生は遺伝子疾患の病態と症候を学び，他者の多様な価値観を尊重しながら，全人的な医療行為を実践できるプロフェッショナリズムを取得する。

② 臨床遺伝学とは，遺伝子疾患の診断，治療，予防を目的として，人類遺伝学の基礎知識を，医学に応用する学問である。ゲノム医療は，現在選択可能な診療方針の一つであり，臨床遺伝に関する包括的理解を必要とする。遺伝学的知識，診断治療，また遺伝診療が抱える社会的課題に対するカウンセリングマインドを以って臨床実習に備える。

（2）　学修目標

① 臨床遺伝学に含まれる医療行為について，概念を説明できる。
② ヒトゲノムの多様性と表現型について，概略を説明できる。
③ 遺伝様式と遺伝子異常について，疾患と関連付けた説明ができる。
④ 遺伝情報に基づいた家系図を作成できる。
⑤ 生殖細胞及び体細胞変異による疾患について，概略を説明できる。
⑥ 主要な遺伝子疾患の原因，病態，治療を説明できる。
⑦ 遺伝医療における医学的及び社会的問題点と，これに対する配慮と解決策を説明できる。
⑧ 遺伝カウンセリングの主旨を理解し，ロールプレイができる。
⑨ 遺伝診療における，他職種との関わりと役割について，概略が説明できる。
⑩ 臨床所見から，具体的な遺伝子疾患名を想起し説明できる。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	90%	記述式を原則とし，一部多肢選択問題を含む場合がある。
レポート	○	10%	配付された用紙に各自ロールプレイの内容を記載して，終了時に提出する。
態度	○	—	態度不良の場合は「問題行動学生報告書」を提出する。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）　合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（3）　再試験・再評価の方法

上記（2）で総合成績が60%未満の場合は，再試験を実地する。
再試験は，定期試験に準ずる試験を行う。60%以上を合格とする。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験の成績の総括を学年メールで通知する。

これにより理解が不十分な項目について再確認を促すとともに，定期試験が不合格となった者は再試験に備えること。

４ 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

５ 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
コアカリ準拠　臨床遺伝学テキストノート -ゲノム医療に必要な考え方を身につける	日本人類遺伝学会 編集	診断と治療社	本邦の臨床遺伝に沿って，必要な内容を網羅している。
トンプソン&トンプソン遺伝医学 第2版	Robert L.Nussbaum Roderick R.Mclnnes Huntington F.Willard 監訳 福嶋義光	ELSEVIER	遺伝医学の全領域について詳細にまとめられている。世界で広く使われているテキスト。
Management of Genetic Syndromes	Suzanne B. Cassidy Judith E. Allanson	WILEY-BLACKWELL	臨床遺伝領域の診療において，実際的に役立つ。
遺伝性腫瘍　ケーススタディ100	一般社団法人 日本遺伝性腫瘍学会 監修	ヘルス出版	総論，各論が簡潔に書かれ，具体的な症例呈示がある。様子を思い浮かべながら読むことができる。
遺伝性大腸癌診療ガイドライン 2020年版	大腸癌研究会	金原出版	遺伝性大腸癌患者の診療に役立つ。
遺伝性乳癌卵巣癌（HBOC）診療ガイドライン 2021年版　第2版	日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構	金原出版	遺伝性腫瘍の診療アルゴリズム，診療方針が示されている。

６ 準備学習（予習・復習）

講義前日までに，教科書又は参考図書を用いて，講義タイトルに相当する記載部分の総論，見出しを1時間以上読み，概略を把握する。

講義終了日に，講義内容を復習することにより知識を確認し，理解を深める。

７ 授業計画

（１） 講義の方法

基本的に臨床遺伝学に関する，知識伝達型講義であるが，一部講義中に講師との質疑応答やロールプレイを用いたアクティブ・ラーニングを導入する。

（２） 講義の内容

臨床遺伝学の総論と各領域の各論におけるポイントを絞り，学生の理解を深める講義を行う。

臨床遺伝学

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/5/26(月)	3	―	講義	臨床遺伝学総論	内内	教授(特任)	高木　潤子	301講
2025/5/26(月)	4	―	講義	遺伝性腫瘍に対する遺伝カウンセリング	―	非常勤講師	石川　秀樹	301講
2025/5/26(月)	5	―	講義	遺伝形式，家系図，遺伝学的検査	生物学	教授	武内　恒成	301講
2025/5/27(火)	1	―	講義	遺伝性乳癌の臨床	乳外	教授	中野　正吾	301講
2025/5/27(火)	2	―	講義	神経領域と遺伝	神内	教授(特任)	丹羽　淳一	301講
2025/5/27(火)	3	―	講義	産婦人科領域と遺伝	産婦	教授	渡辺　員支	301講
2025/5/27(火)	4	―	講義	遺伝性消化器腫瘍の臨床	―	非常勤講師	田中屋　宏爾	301講
2025/5/27(火)	5	―	講義	血液領域と遺伝	血内	教授	高見　昭良	301講
2025/5/29(木)	1	―	講義	周産期領域と遺伝	周産期C	教授	山田　恭聖	301講
2025/5/29(木)	2	―	講義	小児科領域と遺伝	小児	講師	倉橋　宏和	301講
2025/5/29(木)	3	―	講義	循環器領域と遺伝	医教C	教授	早稲田　勝久	301講
2025/5/29(木)	4	―	AL	ロールプレイ 遺伝カウンセリングロールプレイ	内内 ―	教授(特任) 名誉教授	高木　潤子 大竹　千生	301講
2025/5/29(木)	5	―	AL	ロールプレイ 遺伝カウンセリングロールプレイ	内内 ―	教授(特任) 名誉教授	高木　潤子 大竹　千生	301講
2025/5/30(金)	1	―	―	予備				
2025/5/30(金)	2	―	―	予備				
2025/5/30(金)	3	―	―	予備				
2025/6/2(月)	**1**	**―**	**―**	**定期試験**	**内内**	**教授(特任)**	**高木　潤子**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
武内　恒成	教授	生物学	月曜日	16:00～18:00	3号館基礎科学棟2階B213号室
高木　潤子	教授(特任)	内科学講座(内分泌・代謝内科)	木曜日	15:00～16:00	D棟2階 内分泌・代謝内科医局
高見　昭良	教授	内科学講座(血液内科)	月曜日	17:30～18:00	D棟3階血液内科医局
倉橋　宏和	講師	小児科学講座	水曜日	11:00～13:00	C棟10階小児科医局
中野　正吾	教授	外科学講座(乳腺・内分泌外科)	火・金曜日	17:00～18:00	C棟8階教授室
渡辺　員支	教授	産婦人科学講座	木曜日	16:00～17:00(事前にメールにて調整してください。)	D棟4階産婦人科医局
山田　恭聖	教授	周産期母子医療センター	木曜日	16:00～17:00	中央棟6階NICU病棟医師控え室
丹羽　淳一	教授(特任)	脳卒中センター	火曜日	10:00～11:30	D棟3階脳卒中センター医局
早稲田　勝久	教授	医学教育センター	木曜日 金曜日	14:00～17:00 15:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
大竹　千生	非常勤講師	愛知医科大学名誉教授	講義終了後，講義室にて		
石川　秀樹	非常勤医師	京都府立医科大学　創薬センター　特任教授	講義終了後，講義室にて		
田中屋　宏爾	非常勤講師	国立病院機構岩国医療センター　院長	講義終了後，講義室にて		

臨　床　推　論

【単位数：1単位，授業17コマ，予備4コマ（定期試験含まず）】
当該科目は医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

1　科目責任者

宮田靖志　教授（特任）（地域総合診療医学寄附講座）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅳ-1-b，Ⅳ-3-b，Ⅳ-4-b，Ⅳ-5-b，Ⅳ-6-b，Ⅳ-2-c）

患者の健康問題を正しく取り上げ，問題解決のための正しい思考過程と医師決断の方法の基礎を修得する。

（2）　学修目標

① 臨床推論の全体像を説明できる。
② エビデンスに基づいた病歴と身体診察を説明できる。
③ 診断検査の正しい利用と解釈が説明できる。
④ 臨床推論のモデルを説明できる。
⑤ 認知バイアスについて説明できる。
⑥ ヒューマンファクターについて説明できる。
⑦ メタ認知と認知バイアス除去について説明できる。
⑧ ガイドライン，スコアの利用の仕方が説明できる。
⑨ 主要37症候・病態のうちの主なものについて診断推論ができる。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	60%	記述式及び多肢選択問題
課題レポート	○	40%	作成したプレゼンスライドと問題の内容，授業中のプレゼンの仕方，これらへの各自の貢献度（他者評価）
態度	○	—	授業妨害となるような態度不良が見られる場合は，総合判定から最大10点減点する。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）　合格基準

評価対象の合計が60%以上で合格とする。

（3）　再試験・再評価の方法

定期試験に準ずる再試験を行う。60%以上を合格とする。

（4）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験で正答率の低かった問題，理解が不十分と思われた問題については，解説を一斉メールする。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
ABC of 臨床推論　診断エラーを回避する	宮田靖志監訳 N.Coooper，J. Frain	羊土社	臨床推論の基本的な考え方が簡潔にまとめられている。
内科初診外来　ただいま診断中！	鋪野紀好	中外医学社	臨床推論の基本的な考え方が簡潔にまとめられている。
ジェネラリストのための内科外来マニュアル	金城光代，金城紀与史，岸田直樹	医学書院	よく遭遇する症候の診断推論が簡潔にまとめられている。
プライマリ・ケア診療　診断エラー回避術	宮田靖志編著	日本医事新報社	診断と診断エラー回避のための様々な概念が開設されている。
誤診の解体	宮田靖志監訳	MEDSi	実際の診断エラー症例の詳細な報告と分析が提示されている症例集である。
プライマリ・ケア現場で役立つ一発診断100	宮田靖志編著	文光堂	システム1による診断症例が簡潔にまとめられている。
プライマリ・ケア現場で役立つもっと！一発診断100	宮田靖志編著	文光堂	システム1による診断症例が簡潔にまとめられている。
プライマリ・ケア現場で役立つさらに！一発診断100	宮田靖志編著	文光堂	システム1による診断症例が簡潔にまとめられている。
迷いやすい症例から学ぶジェネラリストの診断力　総合内科はおもしろい！	宮田靖志編著	羊土社	よくある症例の診断過程を詳細に言語化し，医師が何を考えながら推論しているかが理解できるようになっている。
診断推論　奥義伝授	野口善令	日本医事新報社	臨床推論の基本的な考え方が簡潔にまとめられている。
誰も教えてくれなかった診断学	野口善令	医学書院	臨床推論の基本的な考え方が簡潔にまとめられている。
ティアニー先生の診断入門第2版	ローレンス・ティアニー・松村正巳	医学書院	臨床推論の基本的な考え方が簡潔にまとめられている。

6　準備学習（予習・復習）

★あらかじめ指定した6又は7人を1グループで割り当てられた1つの症候について授業中に20～25分で臨床推論の要点をプレゼンする。プレゼンするパワーポイントスライドとプレゼン内容に関する多肢選択問題3題をグループメンバー全員で協力して作成し，6月6日17:00までにAIDLE-Kに提出すること。内容を精査し，不十分と考えられた場合は修正を求める。

臨床推論の概念を簡単に頭に入れておくために，上に挙げた参考書のうち，どれか一つを通読しておく。（1コマあたり0.5時間）

事前に講義資料に目を通しておくこと。授業中には講義資料に沿って行うが，資料の解説は必要最小限にとどめる。

7　授業計画

（1）　講義の方法

各症候について，指定された学生グループが基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが，講義中，一部，小グループ討論や講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

講義資料に沿って行うが，資料を細かに説明することはしない。資料に沿って実際の臨床現場での推論の具体例を伝える。

（2）　講義の内容

20～25分で学生グループが各症候についてプレゼンする。その後，教員がその症候の臨床推論の概説を行う。

臨床推論

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/6/13(金)	1	ー	講義	総論1	地域(寄)	教授(特任)	宮田 靖志	301講
2025/6/13(金)	2	ー	講義	総論2	地域(寄)	教授(特任)	宮田 靖志	301講
2025/6/13(金)	3	ー	講義	身体診察，検査の考え方	地域(寄)	教授(特任)	宮田 靖志	301講
2025/6/26(木)	1	ー	ー	予備				
2025/6/26(木)	2	ー	ー	予備				
2025/6/26(木)	3	ー	ー	予備				
2025/6/26(木)	4	ー	AL	①発熱，②リンパ節腫脹	地域(寄)	教授(特任)	宮田 靖志	301講
2025/6/26(木)	5	ー	AL	③意識障害，④失神	地域(寄)	教授(特任)	宮田 靖志	301講
2025/6/27(金)	1	ー	AL	⑤めまい	地域(寄)	教授(特任)	宮田 靖志	301講
2025/6/27(金)	2	ー	AL	⑥浮腫	地域(寄)	教授(特任)	宮田 靖志	301講
2025/6/27(金)	3	ー	AL	⑦咳・痰，⑧呼吸困難	地域(寄)	教授(特任)	宮田 靖志	301講
2025/6/30(月)	1	ー	AL	⑨胸痛	地域(寄)	教授(特任)	宮田 靖志	301講
2025/6/30(月)	2	ー	AL	⑩腹痛	地域(寄)	教授(特任)	宮田 靖志	301講
2025/6/30(月)	3	ー	AL	⑪便秘・下痢・下血，⑫嘔吐	地域(寄)	教授(特任)	宮田 靖志	301講
2025/6/30(月)	4	ー	AL	⑬頭痛	地域(寄)	教授(特任)	宮田 靖志	301講
2025/6/30(月)	5	ー	AL	⑭腰背部痛	地域(寄)	教授(特任)	宮田 靖志	301講
2025/7/1(火)	1	ー	AL	⑮関節痛	地域(寄)	教授(特任)	宮田 靖志	301講
2025/7/1(火)	2	ー	AL	⑯しびれ	地域(寄)	教授(特任)	宮田 靖志	301講
2025/7/1(火)	3	ー	講義	診断エラー	地域(寄)	教授(特任)	宮田 靖志	301講
2025/7/1(火)	4	ー	講義	まとめ	地域(寄)	教授(特任)	宮田 靖志	301講
2025/7/1(火)	5	ー	ー	予備				
2025/7/2(水)	1	ー	ー	自習				
2025/7/2(水)	2	ー	ー	自習				
2025/7/2(水)	3	ー	ー	自習				
2025/7/2(水)	4	ー	ー	自習				
2025/7/2(水)	**5**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**地域(寄)**	**教授(特任)**	**宮田 靖志**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
宮田　靖志	教授(特任)	地域総合診療医学寄附講座	月・火曜日	13:00～16:00	2号館研究棟3階355室

地 域 医 療 総 合 医 学

【単位数：0.5単位，授業10コマ（定期試験含まず）】

当該科目は医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

1　科目責任者

宮田靖志　教授（特任）（地域総合診療医学寄附講座）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅱ-1-b，Ⅱ-4-c，Ⅱ-5-c，Ⅱ-6-c，Ⅲ-8-b，Ⅳ-9-b，Ⅴ-1-b，Ⅴ-2-b，Ⅴ-3-b，Ⅴ-4-b，Ⅴ-5-b）

① コアコンピテンスの“地域医療への貢献”の理解のため，地域医療の現状と地域医療で求められる知識，技能，態度を学び，そのことによって“プロフェッショナリズム”の涵養にもつなげる。

② 地域医療とは，対象とするコミュニティを特定し，そのニーズを明らかにし，その地域で包括的な医療を提供する医師として幅広い診療を提供するとともに，プライマリ・ヘルスケアの視点を持って地域全体の健康を目指して医療活動することである。地域医療実践のための総合診療，プライマリ・ケア及び地域包括ケアについて理解する。

③ コアコンピテンスの“プロフェッショナリズム”における生涯学習，自己管理，医療安全の中で，近年，特に問題となっているポリファーマシー（多剤併用）の概念を理解し，臨床実習でこのテーマについて経験した際にその対策が考えられるようになる。

（２）　学修目標

① コミュニティの概念を説明できる。

② コミュニティの健康問題，ニーズを特定することの意義を説明できる。

③ コミュニティの健康に影響を及ぼす貧困，文化，地域疫学など，いわゆる健康の社会決定要因を説明することができる。

④ ヘルスプロモーションと疾患予防について患者，家族，住民の啓発活動をすることの意義を説明できる。

⑤ コミュニティ内で同定された健康問題に介入を実行するための多職種，他部門連携の実際を説明できる。

⑥ プライマリ・ケアの原則（近接性，包括性，協調性，継続性，責任性）を説明できる。

⑦ 医療施設を訪れないコミュニティの住民をも視野に入れたプライマリ・ヘルスケアの概念を説明できる。

⑧ 地域医療における病院総合医の役割を説明できる。

⑨ 地域医療における家庭医の役割を説明できる。

⑩ 都市部と僻地での地域医療の実践の具体を説明できる。

⑪ ポリファーマシーの概念を説明できる。

⑫ ポリファーマシーへの対応を述べることができる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	70%	記述式及び多肢選択問題
外部講師による授業に関するレポート	○	30%	外部講師による講義内容に関する感想を講義翌日の9:00までにAIDLE-Kに提出する。記載内容をあらかじめ提示する評価基準により各10点満点で採点する
態度	○	—	授業妨害となるような態度不良が見られる場合は，総合判定から最大10点減点する。

出席：　定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２） 合格基準

○ 評価対象の合計が 60%以上で合格とする。

○ 非常勤講師の講義内容の感想の評価は下記の通りとする。

・キーワードを3つ挙げる

・挙げたキーワードの少なくとも1つに関して，講義内容に関する自分自身の考えを記載する。
講義資料の記載，一般的・教科書的記載は不可

・自身の十分な考えが記載されている場合，1講師につき10点満点で採点する。

（３） 再試験・再評価の方法

定期試験に準ずる再試験を実施する。60%以上を合格とする。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験の成績についての総括を学内メールで実施する。

これにて理解が不十分な項目について再確認を促すとともに，定期試験で不合格となった者は再試験に備える。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
地域医療学入門	日本医学教育学会地域医療教育委員会監修	診断と治療社	地域医療全般について学生向けに解説されている。
日本プライマリ・ケア連合学会基本研修ハンドブック 改訂第3版	日本プライマリ・ケア連合学会	南山堂	総合診療実践のための基本的内容が網羅されている。
総合診療・家庭医療のエッセンス第2版	草場鉄舟監修	カイ書林	家庭医療の実践方法が広くまとめられている。**★お勧め**
地域医療テキスト	自治医科大学監修	医学書院	地域医療のシステムが詳述されている。
患者中心の医療の方法	モイラ・スチュワート	羊土社	家庭医療のバイブルとなっている書籍の翻訳であり，すべての医療実践に役立つ概念がまとめられている。
患者さん中心で行こう ポリファーマシー対策 意思決定の共有と価値観に基づく医療の実践	宮田靖志編著	日本医事新報社	ポリファーマシーの概念とその対策が簡潔にまとめられている。

６　準備学習（予習・復習）

○　プライマリ・ケア連合学会HPの“総合診療医という選択“というムービーを視聴し，総合診療に関するイメージを掴んでおく（1コマあたり約15分）。

○　1～5番目に挙げられている参考図書のどれかを選んで，その目次全体を眺め，どのような事項が取り上げられているのか確認しておく（1コマあたり約15分）。

○　上記の中で，興味を惹いた項目について記載内容を読んでおく（1コマあたり約0.5時間）。

○　1コマ目の講義で配付された資料について講義後に内容を再確認し，2コマ目以降の講義に臨むこと（1コマあたり約1時間）。

７　授業計画

（１）　講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが，講義中，一部，小グループ討論や講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

（２）　講義の内容

1コマ目に総論として地域医療，総合医診療に関するキーワードを解説し，2コマ目以降は，それぞれの異なる状況での総合診療及び地域医療について，具体的な活動内容を提示しながら，概念理解を進めていく。

地域医療総合医学

（３）　開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/9(水)	5	ー	講義	総論	地域(寄)	教授(特任)	宮田　靖志	301講
2025/4/16(水)	5	ー	講義	地域包括ケア	地域(寄)	教授(特任)	宮田　靖志	301講
2025/4/23(水)	5	ー	講義	患者中心の医療の方法	地域(寄)	教授(特任)	宮田　靖志	301講
2025/4/30(水)	4	ー	講義	未分化，複雑，継続診療の問題	地域(寄)	教授(特任)	宮田　靖志	301講
2025/5/7(水)	5	ー	講義	家庭医療	総診	准教授(特任)	上松　東宏	301講
2025/5/14(水)	4	ー	講義	在宅医療・訪問診療	ー	非常勤講師	市橋　亮一	301講
2025/5/21(水)	5	ー	講義	都市部の病院総合診療	ー	非常勤講師	八百　壮大	301講
2025/5/28(水)	5	ー	講義	地方の病院総合診療	ー	非常勤講師	廣瀬　英生	301講
2025/6/4(水)	5	ー	講義	多疾患併存と下降期慢性疾患	地域(寄)	教授(特任)	宮田　靖志	301講
2025/6/11(水)	5	ー	講義	ポリファーマシー	地域(寄)	教授(特任)	宮田　靖志	301講
2025/7/15(火)	**4**	**ー**	**ー**	**定期試験**	**地域(寄)**	**教授(特任)**	**宮田　靖志**	**101講**

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
宮田　靖志	教授(特任)	地域総合診療医学寄附講座	月・火曜日	13:00～16:00	2号館研究棟3階355室
上松　東宏	准教授(特任)	総合診療医学講座	講義終了後，講義室にて		
市橋　亮一	非常勤講師	医療法人かがやき　総合在宅医療クリニック	講義終了後，講義室にて		
廣瀬　英生	非常勤講師	県北西部地域医療センター国保白鳥病院　病院長	講義終了後，講義室にて		
八百　壮大	非常勤講師	横浜保土ヶ谷中央病院　総合診療科医長	講義終了後，講義室にて		

基本手技・医療面接実習

【単位数：0.5単位，授業22.5コマ】

当該科目は医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

1　科目責任者

早稲田勝久　教授（医学教育センター）

科目担当者

森下　啓明　准教授（シミュレーションセンター）

2　教育目標

（1）　ねらい（Ⅱ-1-b，Ⅳ-1-b，Ⅳ-2-b，Ⅳ-3-b，Ⅳ-4-b，Ⅳ-5-b，Ⅳ-6-b，Ⅳ-7-b，Ⅳ-8-b）

① 本学のコンピテンシーである「診療技能」を学び，診療参加型臨床実習の基礎となる医療面接，身体診察，基本的臨床手技を身につける。

② 基本的臨床手技の目的，適応，禁忌，合併症について理解できるようにする。

（2）　学修目標

① 患者の立場を尊重し，診察時の信頼関係を構築することができる。

② 患者の安全を重視し，有害事象が生じた場合は適切に対応ができる。

③ 患者のプライバシー，羞恥心，苦痛に配慮し，個人情報等を守秘できる。

④ 手指消毒，器具の消毒など感染予防行動をとることができる。

⑤ 挨拶，みだしなみ，言葉使い等，医師としてふさわしい態度をとることができる。

⑥ 的確な診断に必要な診察方法（体位，技法）を選択し，実施できる。

⑦ 医療面接実習，全身状態とバイタルサイン，頭頸部診察，胸部診察，腹部診察，神経診察，四肢と脊柱の診察，救命処置，基本的臨床手技の必須項目を実施することができる。

3　成績の判定・評価

（1）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
態度	○	—	実習態度が不良の場合は不可とする。
その他	○	—	学修した診療技能については技能評価をその都度実施する。

出席：　実習を修得するためには，欠席をしてはならない。

（2）　合格基準

すべての評価対象において，不可がないこと（合否の2段階で判定）。

（3）　再試験・再評価の方法

課題・レポートを課す。

実習を欠席した場合は，補習又は追加レポートを課す。

（4）　課題（試験やレポート）へのフィードバック

実習中に適宜行う。

4　教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
診療参加型臨床実習に参加する学生に必要とされる技能と態度に関する学習・評価項目(PDFで配付する)	(社)医療系大学間共用試験実施評価機構		OSCEの評価対象項目の必修・非必修が示されている。
診療参加型臨床実習に必要な技能と態度教育・学習用動画(視聴可能となったら通知する)	(社)医療系大学間共用試験実施評価機構		画像でOSCEに必要な手技を解説している。

5　参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
ProCedures CONSULT (https://www.proCeduresConsult.jp/)		Elsevier Japan	画像で様々な手技を解説している。

6　準備学習（予習・復習）

各領域の実習前日までに，該当する動画のパートを視聴し，大まかな手技の流れを把握しておく(0.5時間)。

7　授業計画

（１）　講義の方法

小グループに分かれてシミュレーターを用いて繰り返し学修する。又は二人一組となり，交代で被験者となり，診療技能を身につける。

（２）　講義の内容

基本手技の領域毎に，手技の解説を行い，その後小グループでお互いに施行する。

基本手技・医療面接実習

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/4/11(金)	4	―	―	ガイダンス	医教C 医教C 医教C 循内・医教C 総診	教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 教授(特任)	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 松尾　幸果 脇田　嘉登	101講
2025/4/11(金)	5	―	―	ガイダンス	医教C 医教C 医教C 循内・医教C 総診	教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 教授(特任)	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 松尾　幸果 脇田　嘉登	101講
2025/4/11(金)	6	―	―	ガイダンス	医教C 医教C 医教C 循内・医教C 総診	教授 准教授 准教授 助教(医員助教) 教授(特任)	早稲田　勝久 河合　聖子 山口　奈緒子 松尾　幸果 脇田　嘉登	101講
2025/4/25(金)	4	―	実習	救急	救集治医	教授	渡邉　栄三	Sim1
				頭頸部診察	耳鼻	准教授(特任)	車　哲成	Sim1
				医療面接	医教C 医教C 循内・医教C Sim Sim ―	准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師 非常勤講師	河合　聖子 山口　奈緒子 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代 川原　千香子	3階セ
2025/4/25(金)	5	―	実習	救急	救集治医	教授	渡邉　栄三	Sim1
				頭頸部診察	耳鼻	准教授(特任)	車　哲成	Sim1
				医療面接	医教C 医教C 循内・医教C Sim Sim ―	准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師 非常勤講師	河合　聖子 山口　奈緒子 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代 川原　千香子	3階セ
2025/4/25(金)	6	―	実習	救急	救集治医	教授	渡邉　栄三	Sim1
				頭頸部診察	耳鼻	准教授(特任)	車　哲成	Sim1
				医療面接	医教C 医教C 循内・医教C Sim Sim ―	准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師 非常勤講師	河合　聖子 山口　奈緒子 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代 川原　千香子	3階セ
2025/5/2(金)	4	―	実習	救急	救集治医	教授	渡邉　栄三	Sim1
				頭頸部診察	耳鼻	准教授(特任)	車　哲成	Sim1
				医療面接	医教C 医教C 循内・医教C Sim Sim	准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師	河合　聖子 山口　奈緒子 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代	3階セ
2025/5/2(金)	5	―	実習	救急	救集治医	教授	渡邉　栄三	Sim1
				頭頸部診察	耳鼻	准教授(特任)	車　哲成	Sim1
				医療面接	医教C 医教C 循内・医教C Sim Sim	准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師	河合　聖子 山口　奈緒子 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代	3階セ
2025/5/2(金)	6	―	実習	救急	救集治医	教授	渡邉　栄三	Sim1
				頭頸部診察	耳鼻	准教授(特任)	車　哲成	Sim1
				医療面接	医教C 医教C 循内・医教C Sim Sim	准教授 准教授 助教(医員助教) 看護師 看護師	河合　聖子 山口　奈緒子 松尾　幸果 村松　有紀 神原　和代	3階セ
2025/5/9(金)	4	―	実習	四肢と脊柱診察	整形	准教授(特任)	池本　竜則	Sim1
				基本的臨床手技(採血・心電図)	Sim	准教授	森下　啓明	Sim1
				感染対策	Sim ―	看護師 非常勤講師	村松　有紀 川原　千香子	Sim1

基本手技・医療面接実習

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/5/9(金)	5	ー	実習	四肢と脊柱診察	整形	准教授(特任)	池本　竜則	Sim1
				基本的臨床手技(採血・心電図)	Sim	准教授	森下　啓明	Sim1
				感染対策	Sim	看護師	村松　有紀	Sim1
					ー	非常勤講師	川原　千香子	
2025/5/9(金)	6	ー	実習	四肢と脊柱診察	整形	准教授(特任)	池本　竜則	Sim1
				基本的臨床手技(採血・心電図)	Sim	准教授	森下　啓明	Sim1
				感染対策	Sim	看護師	村松　有紀	Sim1
					ー	非常勤講師	川原　千香子	
2025/5/16(金)	4	ー	実習	四肢と脊柱診察	整形	准教授(特任)	池本　竜則	Sim1
				基本的臨床手技(採血・心電図)	Sim	准教授	森下　啓明	Sim1
				感染対策	Sim	看護師	村松　有紀	Sim1
					ー	非常勤講師	川原　千香子	
2025/5/16(金)	5	ー	実習	四肢と脊柱診察	整形	准教授(特任)	池本　竜則	Sim1
				基本的臨床手技(採血・心電図)	Sim	准教授	森下　啓明	Sim1
				感染対策	Sim	看護師	村松　有紀	Sim1
					ー	非常勤講師	川原　千香子	
2025/5/16(金)	6	ー	実習	四肢と脊柱診察	整形	准教授(特任)	池本　竜則	Sim1
				基本的臨床手技(採血・心電図)	Sim	准教授	森下　啓明	Sim1
				感染対策	Sim	看護師	村松　有紀	Sim1
					ー	非常勤講師	川原　千香子	
2025/5/23(金)	4	ー	実習	胸部診察	循内	講師	沢田　博章	Sim1
				腹部診察	消内	教授(特任)	小笠原　尚高	Sim1
				医療面接	医教C	准教授	河合　聖子	3階セ
					医教C	准教授	山口　奈緒子	
					循内・医教C	助教(医員助教)	松尾　幸果	
					Sim	看護師	村松　有紀	
					Sim	看護師	神原　和代	
					ー	非常勤講師	川原　千香子	
2025/5/23(金)	5	ー	実習	胸部診察	循内	講師	沢田　博章	Sim1
				腹部診察	消内	教授(特任)	小笠原　尚高	Sim1
				医療面接	医教C	准教授	河合　聖子	3階セ
					医教C	准教授	山口　奈緒子	
					循内・医教C	助教(医員助教)	松尾　幸果	
					Sim	看護師	村松　有紀	
					Sim	看護師	神原　和代	
					ー	非常勤講師	川原　千香子	
2025/5/23(金)	6	ー	実習	胸部診察	循内	講師	沢田　博章	Sim1
				腹部診察	消内	教授(特任)	小笠原　尚高	Sim1
				医療面接	医教C	准教授	河合　聖子	3階セ
					医教C	准教授	山口　奈緒子	
					循内・医教C	助教(医員助教)	松尾　幸果	
					Sim	看護師	村松　有紀	
					Sim	看護師	神原　和代	
					ー	非常勤講師	川原　千香子	
2025/5/30(金)	4	ー	実習	胸部診察	循内	講師	沢田　博章	Sim1
				腹部診察	消内	教授(特任)	小笠原　尚高	Sim1
				医療面接	医教C	准教授	河合　聖子	3階セ
					医教C	准教授	山口　奈緒子	
					循内・医教C	助教(医員助教)	松尾　幸果	
					Sim	看護師	村松　有紀	
					Sim	看護師	神原　和代	
2025/5/30(金)	5	ー	実習	胸部診察	循内	講師	沢田　博章	Sim1
				腹部診察	消内	教授(特任)	小笠原　尚高	Sim1
				医療面接	医教C	准教授	河合　聖子	3階セ
					医教C	准教授	山口　奈緒子	
					循内・医教C	助教(医員助教)	松尾　幸果	
					Sim	看護師	村松　有紀	
					Sim	看護師	神原　和代	

基本手技・医療面接実習

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/5/30(金)	6	ー	実習	胸部診察	循内	講師	沢田 博章	Sim1
				腹部診察	消内	教授(特任)	小笠原 尚高	Sim1
				医療面接	医教C	准教授	河合 聖子	3階セ
					医教C	准教授	山口 奈緒子	
					循内・医教C	助教(医員助教)	松尾 幸果	
					Sim	看護師	村松 有紀	
					Sim	看護師	神原 和代	
2025/6/6(金)	4	ー	実習	救急	救集治医	教授	渡邉 栄三	Sim1
				神経診察	神内	准教授	川頭 祐一	Sim1
2025/6/6(金)	5	ー	実習	救急	救集治医	教授	渡邉 栄三	Sim1
				神経診察	神内	准教授	川頭 祐一	Sim1
2025/6/6(金)	6	ー	実習	救急	救集治医	教授	渡邉 栄三	Sim1
				神経診察	神内	准教授	川頭 祐一	Sim1
2025/6/13(金)	4	ー	実習	救急	救集治医	教授	渡邉 栄三	Sim1
				神経診察	神内	准教授	川頭 祐一	Sim1
2025/6/13(金)	5	ー	実習	救急	救集治医	教授	渡邉 栄三	Sim1
				神経診察	神内	准教授	川頭 祐一	Sim1
2025/6/13(金)	6	ー	実習	救急	救集治医	教授	渡邉 栄三	Sim1
				神経診察	神内	准教授	川頭 祐一	Sim1
2025/6/20(金)	4	ー	実習	全身状態とバイタルサイン	総診	教授(特任)	脇田 嘉登	Sim1
				基本的臨床手技(持続的導尿)	泌尿器	助教	梶川 圭史	Sim1
				医療面接	医教C	准教授	河合 聖子	3階セ
					医教C	准教授	山口 奈緒子	
					循内・医教C	助教(医員助教)	松尾 幸果	
					Sim	看護師	村松 有紀	
					Sim	看護師	神原 和代	
2025/6/20(金)	5	ー	実習	全身状態とバイタルサイン	総診	教授(特任)	脇田 嘉登	Sim1
				基本的臨床手技(持続的導尿)	泌尿器	助教	梶川 圭史	Sim1
				医療面接	医教C	准教授	河合 聖子	3階セ
					医教C	准教授	山口 奈緒子	
					循内・医教C	助教(医員助教)	松尾 幸果	
					Sim	看護師	村松 有紀	
					Sim	看護師	神原 和代	
2025/6/20(金)	6	ー	実習	全身状態とバイタルサイン	総診	教授(特任)	脇田 嘉登	Sim1
				基本的臨床手技(持続的導尿)	泌尿器	助教	梶川 圭史	Sim1
				医療面接	医教C	准教授	河合 聖子	3階セ
					医教C	准教授	山口 奈緒子	
					循内・医教C	助教(医員助教)	松尾 幸果	
					Sim	看護師	村松 有紀	
					Sim	看護師	神原 和代	
2025/6/27(金)	4	ー	実習	全身状態とバイタルサイン	総診	教授(特任)	脇田 嘉登	Sim1
				基本的臨床手技(持続的導尿)	泌尿器	助教	梶川 圭史	Sim1
				医療面接	医教C	准教授	河合 聖子	3階セ
					医教C	准教授	山口 奈緒子	
					循内・医教C	助教(医員助教)	松尾 幸果	
					Sim	看護師	村松 有紀	
					Sim	看護師	神原 和代	
					ー	非常勤講師	川原 千香子	
2025/6/27(金)	5	ー	実習	全身状態とバイタルサイン	総診	教授(特任)	脇田 嘉登	Sim1
				基本的臨床手技(持続的導尿)	泌尿器	助教	梶川 圭史	Sim1
				医療面接	医教C	准教授	河合 聖子	3階セ
					医教C	准教授	山口 奈緒子	
					循内・医教C	助教(医員助教)	松尾 幸果	
					Sim	看護師	村松 有紀	
					Sim	看護師	神原 和代	
					ー	非常勤講師	川原 千香子	
2025/6/27(金)	6	ー	実習	全身状態とバイタルサイン	総診	教授(特任)	脇田 嘉登	Sim1
				基本的臨床手技(持続的導尿)	泌尿器	助教	梶川 圭史	Sim1
				医療面接	医教C	准教授	河合 聖子	3階セ
					医教C	准教授	山口 奈緒子	
					循内・医教C	助教(医員助教)	松尾 幸果	
					Sim	看護師	村松 有紀	
					Sim	看護師	神原 和代	
					ー	非常勤講師	川原 千香子	

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
早稲田　勝久	教授	医学教育センター	木曜日 金曜日	14:00～17:00 15:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
河合　聖子	准教授	医学教育センター	木曜日	16:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
山口　奈緒子	准教授	薬理学講座	月曜日	13:00～18:00	1号館大学本館7階医学教育センター
小笠原　尚高	教授(特任)	内科学講座(消化管内科)	月・水・木・金曜	16:00～18:00	D棟2階消化管内科・肝胆膵内科医局
沢田　博章	講師	循環器内科	金曜日	14:00～15:00	D棟2階 循環器内科医局
松尾　幸果	助教(医員助教)	循環器内科	講義終了後，講義室にて		
森下　啓明	准教授	シミュレーションセンター	火曜日	9:00～16:00	シミュレーションセンター事務室
川頭　祐一	准教授	内科学講座(神経内科)	水・金曜日	17:00～18:00	D棟2階神経内科医局
池本　竜則	准教授(特任)	整形外科学講座	月曜日	17:00～17:30	C棟9階整形外科医局
梶川　圭史	助教	泌尿器科	水曜日	16:00～18:00	D棟5階 泌尿器科医局
車　哲成	准教授(特任)	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	火・金曜日	16:00～18:00	C棟11階耳鼻咽喉科・頭頸部外科医局
脇田　嘉登	教授(特任)	総合診療医学講座	火曜日	16:00～17:00	D棟2階総合診療科医局
渡邉　栄三	教授	救急集中治療医学講座	月・水・金	15:00～17:00	救急・災害管理棟3階 救急集中治療医学講座 教授室
神原　和代	看護師	シミュレーションセンター	講義終了後，講義室にて		
村松　有紀	看護師	シミュレーションセンター	講義終了後，講義室にて		
川原　千香子	非常勤講師	帝京大学医学部准教授	講義終了後，講義室にて		

臨　床　実　習　入　門

【単位数：2.5単位，授業33コマ】

当該科目は医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

1　科目責任者

高見昭良　教授（血液内科）

2　教育目標

（１）　ねらい（Ⅳ-１-b，Ⅳ-２-b，Ⅳ-３-b，Ⅳ-４-b，Ⅳ-５-b）

① コアコンピテンス“診療技能”の理解を目的として，医療面接，診療録の記載，プロブレムリストの作成，鑑別診断の方法，適切なプレゼンテーションの方法を身につける。

② 臨床実習の学修に必要な基礎臨床技能を涵養する。

（２）　学修目標

① 適切な医療面接ができる。

② 適切な診療録作成ができる。

③ 適切な患者プレゼンテーションができる。

④ 症候学・臨床推論の意義・方法を理解し，実践できる。

⑤ 縫合の意義・方法を理解し，実践できる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
小テスト	○	—	講義前に行われる（準備学習で備えること）。
態度	○	—	受講態度不良の場合 50%を限度に減点される。
その他	○	100%	実習評価シートにより行われる。

出席：　単位を修得するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）　合格基準

定期試験は行わない。実習評価シートにより合否を決定する。合格には，原則として，積極性・態度の評価「普通」以上を要する。



XXX 班　教員用　実習評価シート　小グループ実習毎終了後速やかに記入後教務課へご提出ください。

評価日時：20XX 年 XX 月 XX 日　　評価者：XXX 科　　チューター氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

出欠：出席は○（遅刻 5 分以内は可），遅刻は△ ＋分（例　10 分の遅刻：△ +10 分），欠席は×。

学籍番号	氏名	出欠	積極性（○で囲む）	態度（○で囲む）	備考
11xxx1	xxxx		良　普　悪	良　普　悪	
11xxx2	xxxx		良　普　悪	良　普　悪	
11xxx3	xxxx		良　普　悪	良　普　悪	
11xxx4	xxxx		良　普　悪	良　普　悪	
11xxx5	xxxx		良　普　悪	良　普　悪	
11xxx6	xxxx		良　普　悪	良　普　悪	

その他，ご意見ご要望ご感想などお聞かせください。

（３） 再試験・再評価の方法

再試験は行わない。実習評価シートで不合格となったものは，進級判定会議の審議対象となる。

受講態度が著しく不良で，態度評価が不可の場合は，進級判定会議にて協議の上，単位認定の可否が判断される。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

講義内で解説される。

４ 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
内科診断学	福井次矢，奈良信雄（編集）	医学書院	内科診断学の基本書籍

５ 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
内科救急診療指針	内科学会認定医制度審議会救急委員	総合医学社	内科診断学の実践に役立つ。
ジェネラリストのための内科診断リファレンス	上田剛士	医学書院	内科診断学の実践に役立つ。
ジェネラリストのための内科外来マニュアル	金城光代　他	医学書院	内科診断学の実践に役立つ。
診断推論 Step by Step	酒見英太	新興医学出版社	内科診断学の実践に役立つ。
ティアニー先生の診断入門	ローレンス・ティアニー，松村正巳	医学書院	内科診断学の基本書籍
ティアニー先生の臨床入門	ローレンス・ティアニー，松村正巳	医学書院	内科診断学の基本書籍
内科診断学	武内重五郎	南江堂	内科診断学の基本書籍

６ 準備学習（予習・復習）

教科書を予習・復習する。予習で得られた知識の定着を目的に，予告なく小テストが行われることがある。予習のため，該当の教科書をあらかじめ読んでおく（1コマあたり0.5～5時間）。

７ 授業計画

（１） 講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが，講義中，一部，小グループ発表・討論や講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

（２） 講義の内容

1日目に総論として，医療面接，診療録の記載，プロブレムリストの作成，鑑別診断の方法，適切なプレゼンテーション，UpToDateの活用法が解説される。2日目以降，症候学，小グループ実習を通じ，理解を深めていく。

小グループ実習は，20グループ程度に分けて行われる。各担任チューター(10科より1-2名ずつ)が1名配置され，実習チューター（各科より若干名）により行われる。

臨床実習入門

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/9/26(金)	1	—	講義	オリエンテーション，臨床実習入門(内科診断学)入門	血内	教授	高見 昭良	301講
2025/9/26(金)	2	—	講義	診断の考え方	血内	教授	高見 昭良	301講
2025/9/26(金)	3	—	講義	診療録の記載法	血内	教授	高見 昭良	301講
2025/9/26(金)	4	—	AL	臨床現場での課題解決のための情報検索	地域(寄)	教授(特任)	宮田 靖志	301講
2025/9/26(金)	5	—	AL	臨床現場での課題解決のための情報検索	地域(寄)	教授(特任)	宮田 靖志	301講
2025/9/29(月)	1	—	講義	口渇	内内	教授(特任)	高木 潤子	301講
2025/9/29(月)	2	—	講義	頭痛	神内	講師	中村 亮一	301講
2025/9/29(月)	3	—	講義	吐血・下血	消内	教授(特任)	佐々木 誠人	301講
2025/9/29(月)	4	—	講義	下痢・便秘	消内	教授(特任)	佐々木 誠人	301講
2025/9/29(月)	5	—	講義	全体電カル実習	医教C	教授	早稲田 勝久	301講
2025/9/30(火)	1	—	AL	電カル実習(血内，内内)	医教C	教授	早稲田 勝久	別途通知
2025/9/30(火)	2	—	AL	電カル実習(循内，肝内)	医教C	教授	早稲田 勝久	別途通知
2025/9/30(火)	3	—	AL	電カル実習(神内，消内)	医教C	教授	早稲田 勝久	別途通知
2025/9/30(火)	4	—	AL	電カル実習(腎内，呼内)	医教C	教授	早稲田 勝久	別途通知
2025/9/30(火)	5	—	AL	電カル実習(糖内，総診)	医教C	教授	早稲田 勝久	別途通知
2025/10/1(水)	1	—	講義	浮腫	腎内	教授	石本 卓嗣	301講
2025/10/1(水)	2	—	講義	健診異常(高血糖，脂質異常など)	Sim	准教授	森下 啓明	301講
2025/10/1(水)	3	—	講義	動悸	循内	講師	後藤 礼司	301講
2025/10/1(水)	4	—	—	予備				
2025/10/1(水)	5	—	AL	診察の進め方，検査計画の立て方，診療録の書き方，患者プレゼンテーション，接遇 (総診/呼内/腎内は休み)	—	各科	担任チューター・実習チューター	2階セ 3階セ
2025/10/3(金)	1	—	AL	縫合実習	血外	教授(特任)	折本 有貴	Sim3
2025/10/3(金)	2	—	AL	縫合実習	血外	教授(特任)	折本 有貴	Sim3
2025/10/3(金)	3	—	AL	縫合実習	血外	教授(特任)	折本 有貴	Sim3
2025/10/3(金)	4	—	—	予備				
2025/10/3(金)	5	—	AL	診察の進め方，検査計画の立て方，診療録の書き方，患者プレゼンテーション，接遇 (肝内は休み)	—	各科	担任チューター・実習チューター	3階セ
2025/10/6(月)	1	—	AL	縫合実習	血外	教授(特任)	折本 有貴	Sim3
2025/10/6(月)	2	—	AL	縫合実習	血外	教授(特任)	折本 有貴	Sim3
2025/10/6(月)	3	—	AL	縫合実習	血外	教授(特任)	折本 有貴	Sim3
2025/10/6(月)	4	—	—	予備				
2025/10/6(月)	5	—	AL	診察の進め方，検査計画の立て方，診療録の書き方，患者プレゼンテーション，接遇 (消内/内内は休み)	—	各科	担任チューター・実習チューター	2階セ 3階セ
2025/10/7(火)	1	—	講義	黄疸	肝胆膵	准教授(特任)	荒井 潤	301講
2025/10/7(火)	2	—	講義	発熱	総診	教授(特任)	脇田 嘉登	301講
2025/10/7(火)	3	—	講義	腹痛	肝胆膵	教授	伊藤 清顕	301講
2025/10/7(火)	4	—	講義	出血傾向	血内	教授	高見 昭良	301講
2025/10/7(火)	5	—	AL	診察の進め方，検査計画の立て方，診療録の書き方，患者プレゼンテーション，接遇 (血内/糖内は休み)	—	各科	担任チューター・実習チューター	2階セ 3階セ
2025/10/8(水)	1	—	講義	高血圧・低血圧	—	客員教授	森田 博之	301講

臨床実習入門

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/10/8(水)	2	ー	講義	関節痛	腎内	教授(特任)	坂野 章吾	301講
2025/10/8(水)	3	ー	講義	肥満	糖内	教授	神谷 英紀	301講
2025/10/8(水)	4	ー	講義	貧血	血内	教授	高見 昭良	301講
2025/10/8(水)	5	ー	AL	診察の進め方，検査計画の立て方，診療録の書き方，患者プレゼンテーション，接遇 (循内/神内は休み)	ー	各科	担任チューター・ 実習チューター	2階セ 3階セ
2025/10/9(木)	1	ー	講義	呼吸困難感・呼吸不全・胸水	呼内	教授	伊藤 理	301講
2025/10/9(木)	2	ー	講義	咳・喘鳴・喀血	呼内	教授	伊藤 理	301講
2025/10/9(木)	3	ー	講義	胸痛・背部痛	循内	教授	天野 哲也	301講
2025/10/9(木)	4	ー	講義	意識障害	脳卒中C	講師	徳井 啓介	301講
2025/10/9(木)	5	ー	ー	予備				

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
高見 昭良	教授	内科学講座(血液内科)	月曜日	17:30～18:00	D棟3階血液内科医局
佐々木 誠人	教授(特任)	内科学講座(消化管内科)	月曜～金曜	16:00～18:00	D棟3階消化管内科・肝胆膵内科医局
伊藤 清顕	教授	内科学講座(肝胆膵内科)	月～金曜日	16:00～18:00	D棟3階教授室
荒井 潤	准教授(特任)	内科学講座(肝胆膵内科)	月～金曜日	16:00～18:00	D棟2階消化管内科・肝胆膵内科医局
天野 哲也	教授	内科学講座(循環器内科)	木曜日	14:00～15:00	D棟3階教授室
後藤 礼司	講師	内科学講座(循環器内科)	火曜日	15:00～16:00	D棟2階循環器内科医局
伊藤 理	教授	内科学講座(呼吸器・ｱﾚﾙｷﾞｰ内科)	水曜日	16:00～17:00	D棟3階教授室
高木 潤子	教授(特任)	内科学講座(内分泌・代謝内科)	木曜日	15:00～16:00	D棟2階 内分泌・代謝内科医局
神谷 英紀	教授	内科学講座(糖尿病内科)	木・金曜日	14:00～15:00	C棟5階糖尿病内科教授室
森下 啓明	准教授	シミュレーションセンター	火曜日	9:00～16:00	シミュレーションセンター事務室
中村 亮一	講師	内科学講座(神経内科)	金曜日	17:00～18:00	D棟2階神経内科医局
石本 卓嗣	教授	内科学講座(腎臓・ﾘｳﾏﾁ膠原病内科)	月曜日	11:00～12:00	D棟4階 腎臓内科医局
坂野 章吾	教授(特任)	内科学講座(腎臓・ﾘｳﾏﾁ膠原病内科)	火曜日	13:00～17:00	D棟4階 腎臓内科医局
折本 有貴	教授(特任)	血管外科	月・水・金曜日	9:00～17:00	C棟11階医局
脇田 嘉登	教授(特任)	総合診療医学講座	火曜日	16:00～17:00	D棟2階総合診療科医局
徳井 啓介	講師	脳卒中ｾﾝﾀｰ	木曜日	15:00～16:00	D棟3階脳卒中センター医局
早稲田 勝久	教授	医学教育ｾﾝﾀｰ	木曜日 金曜日	14:00～17:00 15:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可	1号館大学本館7階医学教育センター
宮田 靖志	教授(特任)	地域総合診療医学寄附講座	月・火曜日	13:00～16:00	2号館研究棟3階355室
森田 博之	非常勤講師	愛知医科大学客員教授	講義終了後，講義室にて		

地 域 医 療 早 期 体 験 実 習

【単位数:0.5単位，授業20コマ】

当該科目は医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

1　科目責任者

宮田靖志　教授(特任)(地域総合診療医学寄附講座)

2　教育目標

（１）　ねらい(Ⅰ-1-c，Ⅰ-2-c，Ⅰ-3-c，Ⅰ-4-c，Ⅰ-5-c，Ⅰ-6-c，Ⅰ-8-c，Ⅰ-11-c，Ⅰ-12-c，Ⅰ-13-c，Ⅱ-1-b，Ⅱ-2-c，Ⅱ-3-c，Ⅱ-4-c，Ⅱ-5-c，Ⅱ-6-c，Ⅱ-8-b，Ⅲ-6-c，Ⅲ-7-c，Ⅲ-9-c，Ⅳ-1-c，Ⅳ-2-c，Ⅳ-6-c，Ⅳ-9-b，Ⅴ-1-b，Ⅴ-2-b，Ⅴ-3-b，Ⅴ-4-b，Ⅴ-5-b)

① コアコンピテンスの”プロフェッショナリズム”，“地域医療への貢献”の理解のため，一般の地域医療機関における医療実践を体験し，地域医療を実践する医療専門職の仕事を具体的にイメージできるようになる。

② 大学病院以外の一般の地域医療機関においてどのような医療が実践されているのか，医師及びその他の医療専門職の業務を体験し，クリニカル・クラークシップでの地域医療への準備とすると共に，地域医療への学修意欲向上の契機とする。

（２）　学修目標

① 医師の日々の臨床業務で求められる能力を説明できる。
② 医療実践に関わる医師以外の医療専門職の業務を説明できる。
③ 医療専門職者の多職種連携の具体について説明できる。
④ 実習の体験を振り返って何を学んだのか，分析することができる。
⑤ 実習の体験から今後の学習課題を設定することができる。

3　成績の判定・評価

（１）　総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	コメント
ポートフォリオ	○	100%	事前学習課題，事後学習課題，ポートフォリオにて成績判定する。**期日(7/28 17:00)までにポートフォリオが提出**されない場合は，成績判定できないため，単位が与えられない。
実習先指導医からの評価	○	―	実習先から不可と評価された場合，実習先指導医からその理由を得て，不可評価が妥当かを判断する。その上で，科目責任者が不可評価を妥当と判断した場合は，ポートフォリオの評価に関わらず不可とし，以後の判断は進級判定会議に委ねる。

出席:　実習を欠席してはならない。

（２）　合格基準

実習参加状況・レポート内容により，合格，不合格の判定をする。
評価の詳細:優・良・可・不可とする。(優:100点，可:60点，不可)
優;ポートフォリオフォーマットが守られている。レポートの考察に深みがある。
(修正の依頼なし)
良;ポートフォリオのフォーマットが守られていない(修正のため再提出となった)。
レポートの記載に実際に体験した内容が記載されていない(修正のため再提出となった)
不可;提出期限が守られていない。
修正後の再提出でも指定された基準を守れていない。
実習施設からの評価で問題点を指摘されている。

評価方法:

実習すべて(事前・事後講義を含む)に参加すること。

ポートフォリオの提出期限が守られていること。

ポートフォリオのフォーマットが守られていること。

ポートフォリオの評価の方法: **自分自身の考えを自分自身の言葉で記載していること。**
一般的な教科書的記載のみの場合は不可とする。

実習先からの評価で不可となった場合は，その内容を精査し妥当と判断したら，不可とする。

★ポートフォリオの作成はパソコンで行うのが良い。iPadで作成したものはパソコンで開いたときにWORDファイルのフォーマットが変わってしまうことがある。ipad等で作成した場合は，必ずパソコンで作成物を確認すること。

（３） 再試験・再評価の方法

① 実習先からの評価が不可の場合，不合格。再実習は実施しない。
以後の判断は進級判定会議に委ねる。

② ポートフォリオ再提出後も基準が守られていないものは再々提出を求め，さらに特別な課題を与える。

③ 実習に参加できなかった場合は，不足日数分の追加実習を行う。

（４） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

提出されたポートフォリオについて，学年全体へ総括的なフィードバックをメールにて行う。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
地域医療学入門	日本医学教育学会地域医療教育委員会監修	診断と治療社	地域医療全般について学生向けに解説されている。
日本プライマリ・ケア連合学会基本研修ハンドブック 改訂第2版	日本プライマリ・ケア連合学会	南山堂	総合診療実践のための基本的内容が網羅されている。
新・総合診療医学 家庭医療学編 第2版	藤沼康樹編集	カイ書林	家庭医療の実践方法が広くまとめられている。

6 準備学習（予習・復習）

実習の概要，ポートフォリオの資料をあらかじめ読んでおき，実習に備える(１日あたり約１時間)。

7 授業計画

（１） 講義の方法

実習前: 実習の意義，学習目標に関する講義を実施し，その後，自己学習，グループ学習にて実習のための知識整理を行う。

実習後: 実習で学んだことをまとめ，グループ内，全体で発表し議論しながらさらに学びを深める。

（２） 講義の内容

地域の医療機関で医療実践するために医師に求められる知識，技能，態度及び多職種連携の基本的知識について解説する。また，ポートフォリオ作成の意義とその方法について解説する。

地域医療早期体験実習

（3） 開催日時

年月日	時限	組	授業形態	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2025/7/18(金)	1	ー	講義	実習概要説明	地域(寄)	教授(特任)	宮田 靖志	301講
2025/7/18(金)	2	ー	講義	実習概要説明	地域(寄)	教授(特任)	宮田 靖志	301講
2025/7/18(金)	3	ー	AL	実習先概要学習	地域(寄)	教授(特任)	宮田 靖志	301講
2025/7/18(金)	4	ー	AL	実習先概要学習	地域(寄)	教授(特任)	宮田 靖志	301講
2025/7/18(金)	5	ー	AL	実習先概要学習	地域(寄)	教授(特任)	宮田 靖志	301講
2025/7/22(火)	1	ー	実習	実習施設で実習				
2025/7/22(火)	2	ー	実習	実習施設で実習				
2025/7/22(火)	3	ー	実習	実習施設で実習				
2025/7/22(火)	4	ー	実習	実習施設で実習				
2025/7/22(火)	5	ー	実習	実習施設で実習				
2025/7/23(水)	1	ー	実習	実習施設で実習				
2025/7/23(水)	2	ー	実習	実習施設で実習				
2025/7/23(水)	3	ー	実習	実習施設で実習				
2025/7/23(水)	4	ー	実習	実習施設で実習				
2025/7/23(水)	5	ー	実習	実習施設で実習				
2025/7/24(木)	1	ー	実習	実習施設で実習				
2025/7/24(木)	2	ー	実習	実習施設で実習				
2025/7/24(木)	3	ー	実習	実習施設で実習				
2025/7/24(木)	4	ー	実習	実習施設で実習				
2025/7/24(木)	5	ー	実習	実習施設で実習				
2025/7/25(金)	1	ー	AL	実習まとめ	地域(寄)	教授(特任)	宮田 靖志	301講
2025/7/25(金)	2	ー	AL	実習まとめ	地域(寄)	教授(特任)	宮田 靖志	301講
2025/7/25(金)	3	ー	AL	実習まとめ	地域(寄)	教授(特任)	宮田 靖志	301講
2025/7/25(金)	4	ー	AL	課題作成	地域(寄)	教授(特任)	宮田 靖志	301講
2025/7/25(金)	5	ー	AL	課題作成	地域(寄)	教授(特任)	宮田 靖志	301講

8 オフィスアワー　　地域医療早期体験実習

教員名	職名	所属	曜日	時間	場所
宮田　靖志	教授(特任)	地域総合診療医学寄附講座	月・火曜日	13:00～16:00	2号館研究棟3階355室

○ 講座等名略称一覧

No.	講座等名		略称
1	基礎科学	哲学	哲学
2	基礎科学	心理学	心理学
3	基礎科学	数学	数学
4	基礎科学	物理学	物理学
5	基礎科学	化学	化学
6	基礎科学	生物学	生物学
7	基礎科学	外国語	外国語
8	基礎医学	解剖学	解剖学
9	基礎医学	生理学	生理学
10	基礎医学	生化学	生化学
11	基礎医学	薬理学	薬理学
12	基礎医学	病理学	病理学
13	基礎医学	感染・免疫学	感・免学
14	基礎医学	衛生学	衛生学
15	基礎医学	公衆衛生学	公衛学
16	基礎医学	法医学	法医学
17	内科学講座	消化管内科	消内
18	内科学講座	肝胆膵内科	肝胆膵
19	内科学講座	循環器内科	循内
20	内科学講座	呼吸器・アレルギー内科	呼内
21	内科学講座	内分泌・代謝内科	内内
22	内科学講座	糖尿病内科	糖内
23	内科学講座	神経内科	神内
24	内科学講座	腎臓・リウマチ膠原病内科	腎内
25	内科学講座	血液内科	血内
26		精神科学	精神
27		小児科学	小児
28	外科学講座	消化器外科	消外
29	外科学講座	心臓外科	心外
30	外科学講座	血管外科	血外
31	外科学講座	呼吸器外科	呼外
32	外科学講座	乳腺・内分泌外科	乳外
33	外科学講座	腎移植外科	腎外
34		脳神経外科学	脳外
35		整形外科学	整形
36		皮膚科学	皮膚
37		泌尿器科学	泌尿器
38		眼科学	眼科
39		耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	耳鼻
40		産婦人科学	産婦
41		放射線医学	放射線
42		麻酔科学	麻酔
43		リハビリテーション医学	リハ
44		眼形成・眼窩・涙道外科	眼形成
45		総合診療医学	総診
46		形成外科学	形成
47		救急集中治療医学	救集治医
48		睡眠科	睡眠
49		臨床感染症学	感染症
50		病理診断学	病理診断
51		疼痛医学	疼痛
52		歯科口腔外科学	歯科
53		中央臨床検査部	中検
54		中央放射線部	中放
55		救急診療部	救診部
56		輸血部	輸血部
57		臨床工学部	臨工部
58		周産期母子医療センター	周産期Ｃ
59		脳卒中センター	脳卒中Ｃ
60		臨床腫瘍センター	腫瘍Ｃ
61		緩和ケアセンター	緩ケＣ
62		こころのケアセンター	こころＣ
63		脊椎脊髄センター	脊椎Ｃ
64		臨床研究支援センター	臨研支Ｃ
65		プライマリケアセンター	ＰＣＣ
66		栄養治療支援センター	栄養Ｃ
67		造血細胞移植センター	造血移Ｃ
68		パーキンソン病総合治療センター	ﾊﾟｰｷﾝｿﾝＣ
69		頭蓋底外科センター	頭蓋外Ｃ
70		骨盤・四肢外傷センター	骨・四Ｃ
71		骨粗鬆症・ロコモ・関節疾患センター	ロコモＣ
72		医療安全管理室	医療安全
73		卒後臨床研修センター	卒研Ｃ
74		メディカルセンター	ﾒﾃﾞｨｶﾙＣ
75		運動療育センター	運療Ｃ
76		医学教育センター	医教Ｃ
77		シミュレーションセンター	Sim
78	総合医学研究機構	動物実験部門	動物実験
79		医学部IR室	IR室
80		研究創出支援センター	研創支Ｃ
81		災害医療研究センター	災医Ｃ
82		アドミッションセンター	アドミＣ
83		加齢医科学研究所（神経病理研究部門）	加齢(神)
84		加齢医科学研究所（神経iPS細胞研究部門）	加齢(iPS)
85		分子医科学研究所	分医研
86		造血細胞移植振興寄附講座	造血(寄)
87		腎疾患・移植免疫学寄附講座	腎・移(寄)
88		分子標的医薬寄附講座	分標(寄)
89		地域総合診療医学寄附講座	地域(寄)
90		分子疫学・疾病制御学寄附講座	分疫(寄)
91		近視進行抑制寄附講座	近視(寄)
92		痛み医療開発寄付講座	痛み(寄)
93		経営戦略推進本部	経営戦略

○ 使用教室略称一覧

No.	講義室等名称	略称
1	１号館（大学本館）101講義室	101講
		201講
2	１号館（大学本館）202講義室	202講
3	１号館（大学本館）203講義室	203講
4	１号館（大学本館）204講義室	204講
5	１号館（大学本館）205講義室	205講
6	１号館（大学本館）301講義室	301講
7	１号館（大学本館）302講義室	302講
8	１号館（大学本館）303講義室	303講
9	１号館（大学本館）304講義室	304講
10	１号館（大学本館）305講義室	305講
11	１号館（大学本館）201～206セミナー室	２階セ
12	１号館（大学本館）301～314セミナー室	３階セ
	Ｃ棟 シミュレーションセンター	Sim１，Sim２，Sim３
13	１号館（大学本館）総合学術情報センター（図書館部門）	図書館
14	１号館（大学本館）マルチメディアＡ教室，マルチメディアＢ教室	マルチAB，マルチA，マルチB
16	２号館（研究棟）解剖実習室101	研101
17	２号館（研究棟）解剖・病理・寄生虫学実習室106	研106
18	２号館（研究棟）感染・免疫学社会医学実習室107	研107
19	２号館（研究棟）生化学実習室112	研112
20	２号館（研究棟）生理・薬理実習室201	研201
21	２号館（研究棟）生理・薬理実習準備室202	研202
22	２号館（研究棟）医学研究科セミナー室１，２	医学研究科ｾﾐﾅｰ室1,2
23	３号館（基礎科学棟）化学研究室	化学研
24	３号館（基礎科学棟）化学実験室	化学実
25	３号館（基礎科学棟）物理学実験室	物理学実
26	３号館（基礎科学棟）生物学実習室	生物実
27	６号館 運動療育センター	運動療育Ｃ
28	６号館 体育館	体育館
29	６号館 武道館	武道館
30	グラウンド	グラウンド

施　設　案　内

保健管理センター利用案内

1　保健管理センターについて

愛知医科大学の学生が健康な状態で大学生活を送るとともに，在学中に生涯を通じて心身の健康を自己管理できる能力を身に付けられるよう援助すること，並びに職員の教育・研究・診療に係わる活動が実り多いものになるよう，健康の保持増進，疾病の予防を図ることを目的とする施設です。さらに，健康診断をはじめとする保健管理に関する専門的業務及び保健管理についての専門的調査，研究を行います。

2　利用案内

健康相談，健康指導及び軽症患者に対する応急処置，受診指導

3　対　　象

医学部及び看護学部の学生，職員全般

4　利用時間

月曜日～金曜日　9：00～17：00

※土・日・祝日と年末年始は利用できません。

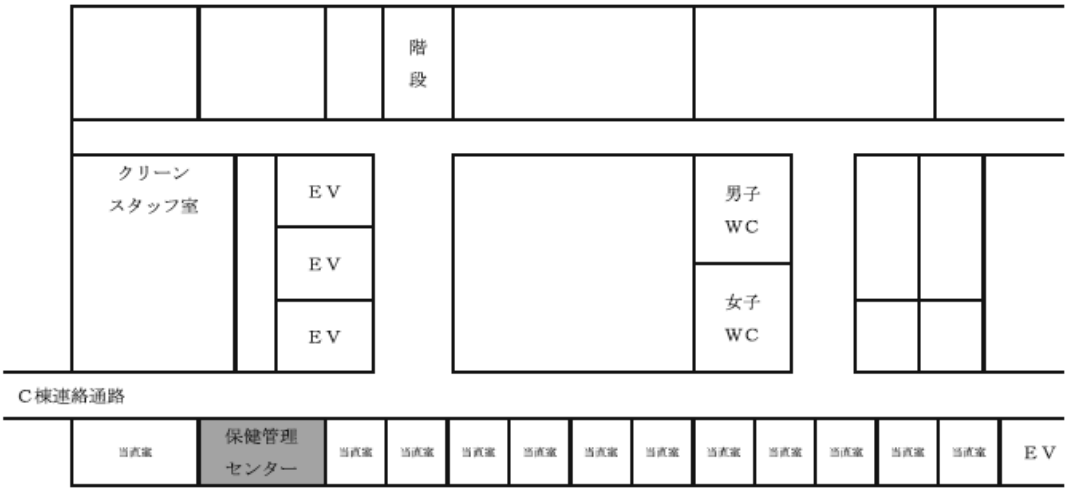
※常駐看護師が不在の場合は，入口ドアに掲示してある事務連絡先へお問い合わせください。

5　場　　所

D棟6階

※室内に応対・簡易処置（簡易ベッド1台）・事務スペースがあります。

D棟6階配置図



総合学術情報センター（図書館部門）利用案内

1　図書館について

総合学術情報センター（図書館部門）は，大学本館５階・６階にあります。学術情報の流通に寄与するため，国内外の様々な学術情報を収集し，提供を行っています。

2　主な図書館サービスについて

⑴　開館時間

月～金　８：30～22：00　土・日・祝日　10：00～18：30（災害等により変更有）

⑵　資料の貸出・返却，複写，取り寄せ

ア　５階カウンターに，自動貸出返却装置を設置しており，図書の貸出と返却を行うことができます。また，休館・閉館時には，図書館入口前設置のブックポストに資料を返却することができます。マイライブラリから貸出中の資料の確認や図書の貸出延長（１回のみ）を行うことができます。

※　マイライブラリ　https://opac.aichi-med-u.ac.jp/opac/user/login

イ　貸出冊数・貸出日数　図書：３冊・２週間，雑誌：冊数制限なし・３日

ウ　図書館所蔵の資料は，著作権の範囲内で複写できます。館内専用のコピーカードを５階カウンターで購入し利用してください。

エ　所蔵していない資料は，他機関から取り寄せをすること（相互貸借）ができます。マイライブラリから申請を行うことができますが，有料となります。

⑶　電子リソースの利用

CINAHL，医中誌 Web 等のデータベースや電子ジャーナル，電子ブックを利用することができます。総合学術情報センター内のパソコンの他，情報基盤部門に申請した情報機器（パソコン，スマートフォン，タブレット等ネットワーク接続をして利用する機器）であれば，無線 LAN サービスの利用できる場所からアクセスできます。また，電子リソース学外アクセスシステムである「EZproxy」にサインインすることにより，自宅等学外からもアクセスできます。

⑷　グループ学習室

予約制です。５階カウンターにお問い合わせください。

⑸　図書館の利用方法及び専門的レファレンスサービス

図書館には，診療ガイドライン作成に係る等，高度な技術を有する司書が在席しており，専門的な支援を受けることができます。専門的な支援は，月曜日～金曜日の 17 時 15 分までです。

3　利用における留意事項

⑴　入退館及び図書等の貸出には学生証が必要です。

⑵　地域住民，患者さん等，学外の方々も図書館を利用します。利用マナーを守ってご利用ください。図書館職員及び司書の指示に従わない場合は，図書館利用を制限する場合があります。



⑶　貴重品管理は各自の責任です。

⑷　体調不良等の緊急時には，館内設置の緊急呼び出しボタンを使用してください。

総合学術情報センター（ICT 支援部門）利用案内

1　ICT 支援部門について

ICT 支援部門では，e-ラーニング及び e ポートフォリオシステムの操作・活用支援を行っています。

⑴　e ラーニングシステム【AIDLE-K】

パソコンやスマートフォンの web ブラウザで利用できる教育・学習システム。講義資料の配付，レポート提出，小テストの実施など，教育の補助システムとして利用します。

⑵　e ポートフォリオシステム【Mahara】

「学び」に関わるあらゆる記録をデジタル化して残すシステム。在学中のレポートや授業のメモ，プリント，教師や他の学生のコメント，サークルや課外活動など，あらゆる活動成果を記録できます。

2　アクセス方法

AIDLE-K：学生ポータルサイト KINKAN→授業支援システム（AIDLE-K）へ，又は直接アドレスを入力してアクセスする。(https://aidle-k.aichi-med-u.ac.jp)

Mahara：授業支援システム（AIDLE-K）ログイン後，サイドメニューからアクセスする。

3　窓口受付時間

月～金　9：00～17：15（12：00～13：00 を除く。）

土・日・祝日及び年末年始は利用できません。

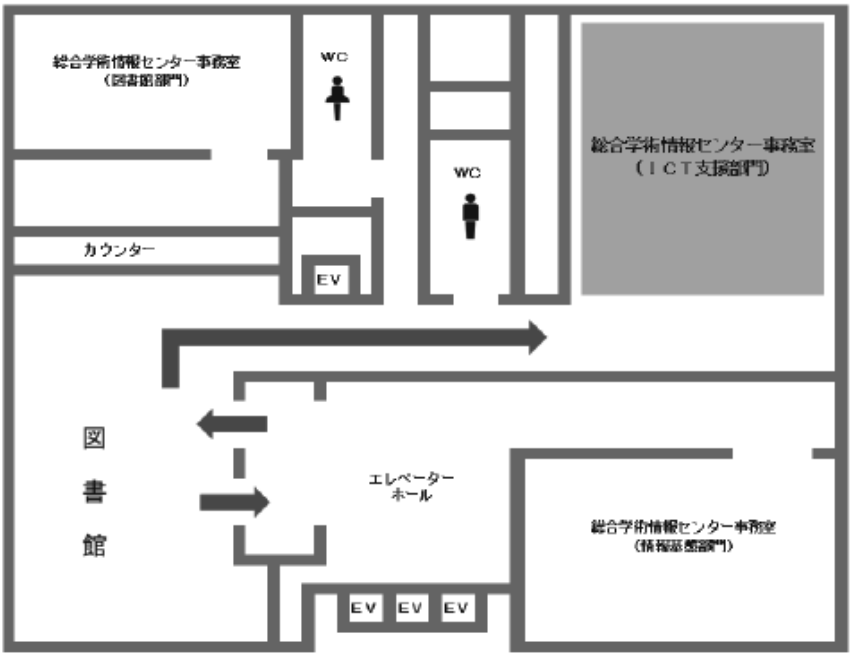
4　利用における留意

⑴　相談受付は 1 件ずつとなるため，窓口での受付が異なる場合はお待ちいただくことがあります。

⑵　メールでの相談も受け付けています。

（メールアドレス：sec2815@mail.aichi-med-u.ac.jp）

大学本館 5 階（事務室は図書館内にあります。一度図書館に入り，お進みください。）



総合学術情報センター（情報基盤部門）利用案内

情報基盤部門は，情報関連及び語学関連の授業のほか，以下のような主なサービスを自主学習等に利用できます。

- マルチメディア教材（動画，静止画，音声）
- 電子（Web）メール
- ホームページ閲覧
- 各種教材データベースの検索
- 文書作成
- 表計算
- プレゼンテーション作成

電子(Web)メール

※サインインID及びパスワードは別途通知します。

⑴ 利用時間

月～金曜日　9：00～18：00

※　利用時間を変更する場合はあるため，受付前の案内番等を確認してください。

※　土・日・祝日と年末年始は利用できません。

⑵ 利用における留意事項

① 端末（パソコン）を利用するためには学生証が必要です。

② パスワードは自己の責任で管理してください。

③ パスワードには，有効期限がありますので，定期的に変更してください。

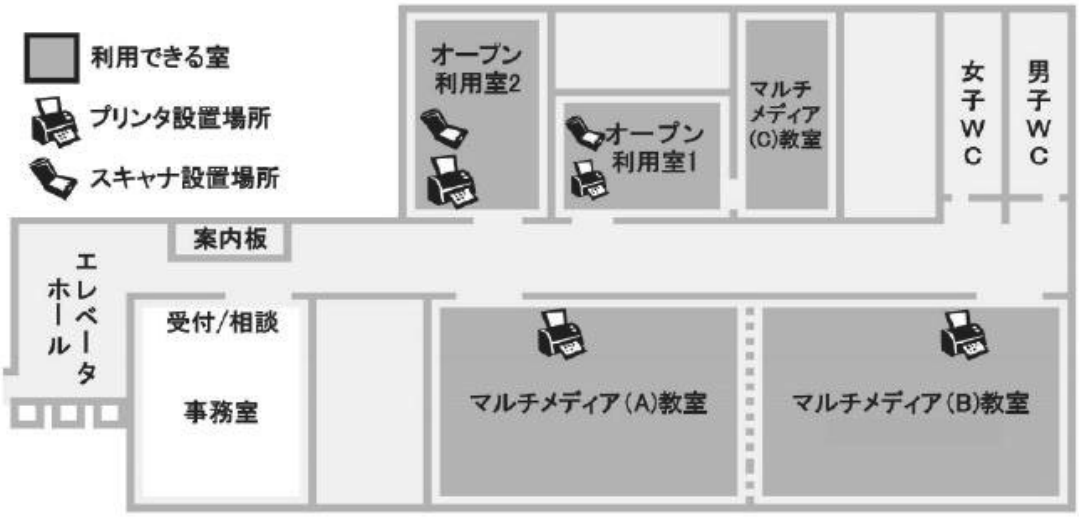
④ マナーを守り，全ての人が快適な時間を過ごせるよう配慮してください。

⑤ 貴重品管理は各自の責任です。十分に注意してください。

⑥ 飲食物の持込，携帯電話の使用，ソフトウェアのインストール，荷物による場所取り等の他人への迷惑となる行為は禁止します。

⑦ 印刷枚数は制限されています。

⑧ 利用方法等不明な点は，受付にて相談してください。



運動療育センター利用案内

1　運動療育センターについて

運動療育センター（以下,「センター」と表記）は，運動処方及び運動生理に関する教育・研究を行い，医学的，科学的見地から多面的に健康人や半健康人の疾病予防，健康保持増進のための健康度測定，指導等を通して健康づくりに寄与することを目的として設置され，トレーニングルームが設備されています。

2　開館時間

月～金　８：30～19：30
土・日　８：30～16：30
木曜日・祝日［休刊日］
※年末年始その他施設メンテナンス・入試等により休館となる場合があります。また，日曜日と祝日が重なった場合には，当該日曜日は開館します。

3　利用料金

本学学生は無料です。ただし，大学院生は有料です。

なお，センターの利用に当たり，第１学年次の健康診断結果を持参してください。また，健康診断の結果によってはセンターで心電図検査を受けていただきます。その結果と既往歴等により運動療法コースとなる場合もあります。この場合はメディカルチェックの受診が必要となるため，所定の料金を徴収します。

4　センター利用に当たっては，次の項目を遵守してください。

⑴　運動療育センターが定める新型コロナウイルス感染予防対策を遵守し，スタッフからの指導に従うこと。
⑵　センターにおける会員登録及び登録後の運動指導（１回）が必要です。これを満たさない者の利用は許可しません。希望者は必ず所定の手続きを行うこと。
⑶　メディカルチェック，運動指導は予約制をなっているため，事前にセンター受付に申し出て予約すること。
⑷　会員登録時やメディカルチェック予約時には，学生証を提示すること。
⑸　施設利用時には，会員カードを必ず持参し，入退館時に受付処理をすること。
⑹　センターは一般の方や疾病者等も利用する施設です。施設利用に当たっては，職員の指示に従い，他の方の迷惑にならないよう医科大学学生として節度ある行動を心掛けること。ルールを守らない場合は，利用を禁止する場合があります。合わせて学生課に学籍番号及び氏名を報告します。
※トレーニングルーム利用時には，トレーニングウェア，トレーニングシューズ（上履）を着用し，順番等を守って各種器具等を利用すること。
※更衣室内では大声で会話しない。荷物を椅子の上に放置せず，ロッカーに収納すること。また，洗面台にゴミ等を置き去りにしない。
※センター施設内で寝そべる等の行為は禁止する。
⑺　営業中にクラブ活動のためにセンター施設を一部占領して利用する場合には，事前に代表者がセンター受付へ申し出て日程等を調整すること。
⑻　部活動等で同一時間に５名以上の集団で入場しないこと。
⑼　その他，センターの利用に当たっての変更等がある場合には，随時掲示等により通知するので注意すること。

シミュレーションセンター

シミュレーションセンター（１・２：Ｃ棟６階，３：Ｃ棟８階）では，基本的な診察，処置，治療，ケアのトレーニングを目的としたシミュレーターや機材を備えています。医学生，看護学生，医療従事者すべてを対象とし，実践力向上を目標とした学習シナリオを提供しています。個人グループ学習にも使用できます。授業以外の使用は予約制ですので，シミュレーションセンターに連絡してください。シミュレーションセンターへ移動の際は，CD 棟連絡通路を利用してください。

国際交流センター

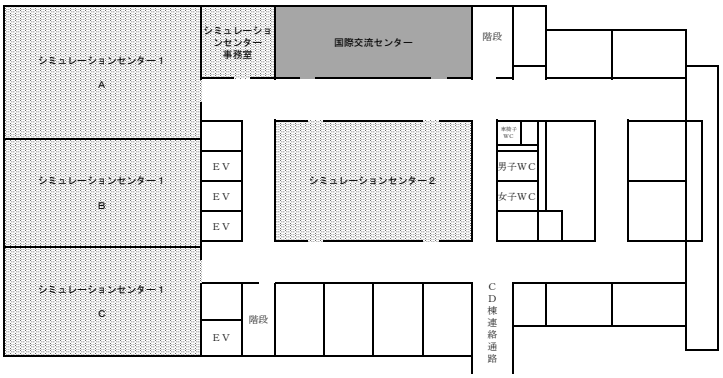
国際交流センターは，医学部の学術国際交流協定大学（南イリノイ大学（アメリカ），コンケン大学（タイ），ルール大学（ドイツ）各医学部，東亜大学校医科大学（韓国），ウッチ医科大学（ポーランド），バーモント大学（アメリカ））との交流（派遣，受入れ）や，外国人研究者への支援など国際交流活動全般を扱い，学生などが行う国際交流活動を幅広く支援しています。

国際交流に関する情報の提供，語学能力向上に関する各種セミナー等を開催していますので積極的に利用してください。

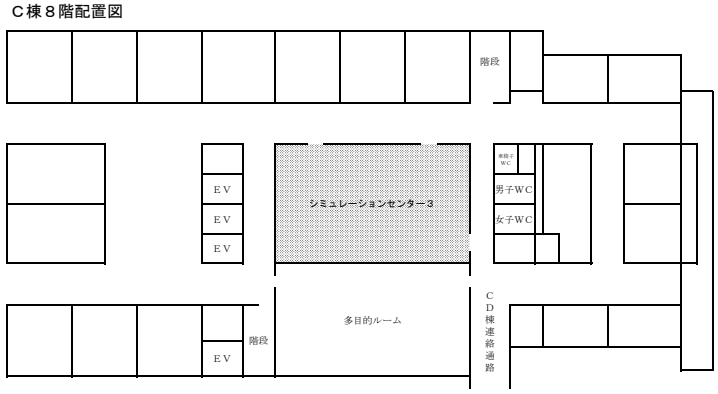
＜医学部の学術国際交流協定大学一覧＞

- 南イリノイ大学医学部(アメリカ)
- バーモント大学(アメリカ)
- コンケン大学医学部(タイ)
- タマサート大学チュラポーン国際医学部(タイ)
- ルール大学医学部(ドイツ)
- 東亜大学校医科大学(韓国)
- ウッチ医科大学(ポーランド)
- ポズナン医科大学(ポーランド)
- シーラーズ医科大学(イラン)
- キーウ医科大学(ウクライナ)

Ｃ棟６階配置図



Ｃ棟８階配置図



その他の施設紹介

前項に紹介した施設の他にも大学にはさまざまな施設があります。
マナー・ルールを守って有効に利用しましょう。

◆ 体育施設

大学には体育施設として，グラウンド（雁又グラウンド（テニスコート及び野球場)，寅山グラウンド（多目的運動場，弓道練習場，アーチェリー練習場，スキー・スケート練習場))及び体育館があります。

体育施設を使用したい場合は，使用を希望する日の３日前までに学生課へ申し出てください。(体育施設使用基準を参照)

◆ 飲食施設

大学（大学病院を含む。）には７つの飲食施設があります。患者さんや職員も利用しますので，マナーを守って利用しましょう。

名　　称	営　業　時　間	
レストラン「オレンジ」 （１号館（大学本館）１階）	平　日	９：００～１５：００
	土曜・日曜・祝日	休　　業
外来レストラン「シトラス」 （病院中央棟２階）	平　日	７：３０～１７：００
	土曜・日曜・祝日	休　　業
喫茶「カフェ・ド・クリエ」 （病院中央棟２階）	平　日	７：００～１９：００
	土曜・日曜・祝日	休　　業
スガキヤ （アメニティ棟２階）	平　日	１１：００～１７：００
	土曜・日曜・祝日	休　　業
CoCo 壱番屋 （アメニティ棟２階）	平　日	１１：００～１７：００
	土曜・日曜・祝日	休　　業
ピザ　アクア （アメニティ棟２階）	平　日	８：００～１７：００
	土曜・日曜・祝日	休　　業
スターバックスコーヒー （アメニティ棟横）	年中無休	７：３０～２１：００

１．　　：年中無休
２．年末年始（12 月 29 日～１月３日）休業　※スターバックスコーヒーを除く
３．営業日及び営業時間は諸事情により変更（休業，時短）される場合があります。

◆ 売店

名　　称	営　業　時　間	
セブン－イレブン [書籍・宅配コーナー併設] （病院中央棟２階）	平　日	７：００～２１：００
	土曜・日曜・祝日	８：００～１９：００
生花店「リアン」 （病院中央棟２階）	平　日	９：００～１７：００
	土曜・日曜・祝日	休　　業
セブン－イレブン （アメニティ棟１階）	平　日	７：３０～１８：００
	土曜・日曜・祝日	休　　業
医療売店「アルフレッサ」 （病院中央棟２階）	平　日	９：００～１７：００
	土曜・日曜・祝日	休　　業
福祉用具「ﾔｶﾞﾐﾎｰﾑﾍﾙｽｾﾝﾀｰ」 （病院中央棟２階）	平　日	９：００～１７：００
	土曜・日曜・祝日	休　　業

１．　　：年中無休

２．年末年始（12 月 29 日～１月３日）休業　※セブン-イレブン（病院中央棟２階）を除く。

３．営業日及び営業時間は諸事情により変更する場合があります。

◆ その他

名　　称		営　業　時　間	
丸善 （１号館（大学本館）１階）		平　日	１０：００～１６：００
		土曜・日曜・祝日	休　　業
		※休業：学年暦の休業期間中	
愛知医大病院内簡易郵便局 （病院中央棟２階）		平　日	９：００～１６：００
		土曜・日曜・祝日	休　　業
ATM （病院 中央棟２階）	簡易郵便局	平　日	９：００～１７：００
		土曜日	９：００～１２：３０
		日曜・祝日	休　　業
	三菱 UFJ 銀行	平日・土曜日	８：００～１８：３０
		日曜・祝日	休　　業
	瀬戸信用金庫	平日・土曜日	８：００～１８：３０
		日曜・祝日	休　　業
理容店・美容店 「ヘアーサロンモモタロー」 （病院中央棟２階）		平　日	８：３０～１７：００
		土曜日(第２・第４)	１０：００～１６：００
		土曜(第１・第３・第５) 日曜・祝日	休　　業

１．年末年始（12 月 29 日～１月３日）休業

２．営業日及び営業時間は諸事情により変更する場合があります。

規　則　・　資　料

規　　則

愛知医科大学学則

第１章　総則

（目的）

第１条　愛知医科大学（以下「本学」という。）は，教育基本法（平成18年法律第120号）及び学校教育法（昭和22年法律第26号）に基づき，道徳的能力と社会的有用性を基盤とし，新しい医学・看護学の知識及び技術をもつて社会に奉仕する医師及び看護職者を育成するとともに，深く学術を研究し，医学・看護学の発展向上に貢献することを目的とする。

（自己点検及び評価）

第１条の２　本学は，教育研究医療水準の向上を図り，前条の目的及び社会的使命を達成するため，教育研究医療活動等の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。

２　自己点検及び評価に関し必要な事項は，学長が定める。

（学部及び学科並びにその目的）

第２条　本学に次の学部及び学科を置く。

医学部　医学科

看護学部　看護学科

２　各学部の教育研究上の目的は，次のとおりとする。

（１）　医学部は，プロフェッショナリズムを備え，地域社会の様々な人々と良好な関係を築きながら，質の高い医療が提供でき，また，幅広い医学知識，高い診療技能及び科学的探究心を持った医師を育成すること。

（２）　看護学部は，幅広い豊かな人間性を備え，看護の専門知識に基づく高度な判断力・実践力・指導力をもち，看護学の発展向上に寄与する看護職者を育成すること。

第２条の２　削除

（大学院）

第２条の３　本学に大学院を置く。

２　大学院に関し必要な事項は，別に定める。

（学年）

第３条　学年は，４月１日に始まり，翌年３月31日に終わる。

（学期）

第４条　学年を次の学期に分ける。

（１）　医学部　前学期　４月１日から10月15日まで
　　後学期　10月16日から３月31日まで

（２）　看護学部　前学期　４月１日から９月30日まで
　　後学期　10月１日から３月31日まで

２　前項の規定にかかわらず，特に必要な場合は，教授会の議を経て，前学期の終了日及び後学期の開始日を変更することができる。

（休業日）

第５条　休業日（授業を行わない日）は，次の各号のとおりとする。

（１）　日曜日

（２）　土曜日

（３）　国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

（４）　開学記念日　11月３日

（５）　春季休業　３月21日から４月３日まで

（６）　夏季休業　医学部においては７月18日から９月４日まで，看護学部においては８月１日から９月30日まで

（７）　冬季休業　12月25日から翌年１月７日まで

２　前項の規定にかかわらず，特に必要な場合は，教授会の議を経て，休業日を変更し，又は臨時に休業日を定めることができる。

（修業年限）

第６条　修業年限は，次のとおりとする。

医学部　６年（２年の前期課程，２年の中期課程及び２年の後期課程）

看護学部　４年（２年の前期課程と２年の後期課程）

（在学年限）
第７条　在学年限は，次の年限を超えることができない。
医学部　前期課程，中期課程及び後期課程のそれぞれにおいて４年
看護学部　前期課程及び後期課程のそれぞれにおいて４年
（収容定員）
第８条　収容定員は，次表のとおりとする。

区分	入学定員	収容定員
医学部　医学科	105人	630人
看護学部　看護学科	100人	400人

（職員組織）
第９条　本学に次に掲げる職員を置く。
（１）　学長
（２）　教授，准教授，講師及び助教
（３）　事務職員及び技術職員
（４）　その他の職員
２　本学に副学長を置くことができる。
３　学部に学部長を置く。
４　前３項の職員の任用等に関し必要な事項は，別に定める。
（大学運営審議会）
第９条の２　本学に，本学の重要な事項を審議するため，大学運営審議会（以下「審議会」という。）を置く。
２　審議会は，学長及び学長が別に定める者をもつて構成する。
３　審議会の運営等に関し必要な事項は，学長が定める。
（教授会）
第10条　各学部に，教授会を置く。
２　教授会は，当該学部及びその附属施設の専任の教授をもつて構成する。
３　教授会には，当該学部及びその附属施設の専任の准教授又は講師を加えることができる。
４　教授会を置かない組織の専任の教授は，第１項に掲げるいずれかの教授会に所属するものとする。
５　教授会は，学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。
（１）　学生の入学及び卒業
（２）　学位の授与
（３）　前２号に掲げるもののほか，教育研究に関する重要な事項で，教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの
６　前項第３号の事項を学長が定めるにあたっては，教授会の意見を聴いて参酌するよう努めるものとする。
７　教授会は，第５項に規定するもののほか，学長及び学部長（以下，この項において「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し，及び学長等の求めに応じて意見を述べることができる。
８　教授会の運営等に関し必要な事項は，教授会の議を経て，学部長が定める。
（部門等）
第11条　医学部に基礎科学部門，基礎医学部門及び臨床医学部門を置く。
２　看護学部に専門基礎科学系及び看護専門科学系を置く。
（学科目及び講座）
第11条の２　医学部に学科目及び講座を置く。
２　前項の学科目及び講座の種類は，別に定める。
（事務局等）
第12条　本学に事務局を置く。
２　医学部に教務部及び学生部を置く。
３　看護学部に教務学生部を置く。
４　事務局に事務局長を，教務部に教務部長を，学生部に学生部長を，教務学生部に教務学生部長を置く。

５　事務局長は事務職員を，教務部長，学生部長及び教務学生部長はそれぞれ当該学部の教授をもつて充てる。
６　第４項の職員の任用等に関し必要な事項は，別に定める。
（附属施設）
第13条　本学に次に掲げる附属施設を置く。
（１）　総合学術情報センター
（２）　研究創出支援センター
（３）　災害医療研究センター
（４）　国際交流センター
（５）　アドミッションセンター
２　附属施設にそれぞれ長を置き，原則として，本学の教授をもつて充てる。
３　附属施設に関し必要な事項は，別に定める。
第13条の２　医学部に次に掲げる附属施設を置く。
（１）　病院
（２）　メディカルセンター
（３）　眼科クリニックＭｉＲＡＩ
（４）　産業保健科学センター
（５）　運動療育センター
（６）　薬毒物分析センター
（７）　医学教育センター
（８）　シミュレーションセンター
（９）　クリニカルアナトミーセンター
（10）　総合医学研究機構
２　眼科クリニックＭｉＲＡＩは，病院に附置する。
３　附属施設にそれぞれ長を置き，原則として，医学部又は第10条第４項の規定により医学部教授会に所属することとなる教授をもつて充てる。
４　附属施設に関し必要な事項は，別に定める。
第13条の３　看護学部にヘルスケア共創センターを置く。
２　ヘルスケア共創センターに長を置き，看護学部の教授をもつて充てる。
３　ヘルスケア共創センターに関し必要な事項は，別に定める。
（研究所）
第13条の４　本学に次の研究所を置く。
（１）　加齢医科学研究所
（２）　分子医科学研究所
２　研究所に長を置き，本学の教授をもつて充てる。
３　研究所に関し必要な事項は，別に定める。
（事務組織）
第14条　第12条から前条までに規定する事務局，教務部，学生部，教務学生部，附属施設及び研究所の事務組織及び事務分掌については，別に定める。
（課外活動）
第15条　学生の課外活動に関し必要な事項は，学長が定める。

第２章　入学

（入学期）
第16条　入学期は，毎学年の始めとする。
（入学資格）
第17条　本学に入学することができる者は，学校教育法第90条の規定により大学の入学資格を有する者とする。
（入学出願手続）
第18条　前条の規定により入学を志願する者は，入学願書に所定の入学検定料及び別に指定する書類を添えて，本学に提出しなければならない。
２　入学願書の受付期間は，別に定める。
（入学許可）
第19条　学長は，前条に規定する入学志願者につき当該学部の教授会の議を経て，合格者を決定し，入学を許可すべき者を定める。
（入学手続）

第20条　前条の合格者は，指定の期日までに，所定の書類を提出し，かつ，医学部合格者においては入学金及び教育充実費（初年度）並びに前学期分の授業料及び施設維持費（初年度）を，看護学部合格者においては入学金，教育充実費（初年度）及び実験実習費（初年度）並びに前学期分の授業料を納付しなければならない。
２　正当な理由なく前項の手続きをしない者は，入学を許可しない。

（再入学等）

第21条　次の各号の一に該当する者は，当該学部の教授会の議を経て，学長が選考の上，入学を許可することができる。
（１）　第27条の規定により本学を退学した者で，本学に再入学を志願するもの。ただし，退学後２年を超えている者は除く。
（２）　他の大学の医学部医学科又は看護学系の学部若しくは学科等の学生で，当該大学の学長の承認を得て本学の同種の学部に転入学を志願するもの
（３）　他の大学を卒業し，又は中途退学した者で，本学に編入学を志願するもの
（４）　短期大学の看護学系の学科等又は専修学校の看護師養成専門課程（いずれも修業年限が３年以上であることその他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者で，本学の看護学部に編入学を志願するもの

（再入学等の入学出願手続等）

第22条　前条の規定により入学を志願する者及び入学を許可された者に係る入学出願手続，選考方法，入学手続等については，教授会の議を経て，学部長が定める。
２　前条の規定により入学した者の修業年限，在学年限，休学期間及び既修得単位の認定については，教授会の議を経て，学部長が定める。

（入学前の既修得単位の取扱い）

第22条の２　他の大学を卒業し又は退学した者及び短期大学又は高等専門学校を卒業した者で，本学の看護学部の第１学年次に入学したものの既修得単位（授業時間の履修をもつて単位の修得に代える授業科目については，当該授業時間数）については，教育上有益と認める場合は，本学の看護学部において修得したものとみなすことができる。
２　前項の規定による既修得単位の認定は，60単位（授業科目の履修をもつて単位の修得に代える授業科目については，60単位に相当する授業時間数）を超えない範囲で，看護学部教授会の議を経て，看護学部長が行う。

（転学部）

第23条　転学部を希望する者があるときは，当該学部において選考の上，転学部を許可することができる。

（留学）

第24条　外国の大学へ留学を志願する者があるときは，当該大学との合意の上，学長は留学を許可することができる。
２　前項の規定により留学を許可された者の修得単位の認定は，60単位を超えない範囲で，学長が行う。

第３章　休学及び復学

（休学）

第25条　学生が，傷病その他の事由により３月以上修学を休止しようとするときは，所定の様式の休学願い書に学校医若しくは本学の指定する医療機関の医師の診断書又は詳細な理由書を添え，学長に休学を願い出て，その許可を受けなければならない。
２　休学中の学生が，引き続き休学をしようとするときは，休学期間の満了する前に改めて前項の願い出をし，その許可を受けなければならない。
３　学長は，前２項により提出された願い書について，その事由が適当であると認めた場合は，その期間を定め，これを許可する。ただし，休学を許可する期間は，当該年度を超えて定めないものとする。
４　学長は，傷病その他の事由のため修学することが適当でないと認める者に対しては，期間を定め，休学を命ずることができる。
５　休学期間は，通算して２年を超えることができない。
６　休学期間は，第７条の在学年限に算入しない。
７　前各項に定めるもののほか，学生の休学に関し必要な事項は，学長が定める。

（復学）

第26条　前条第３項により休学を許可された者は，休学期間が満了したときは，所定の

様式による復学届け書を学長に提出して復学するものとする。
2　前条第３項により休学を許可された者が休学期間中にその事由がやんだときは，所定の様式による復学願い書を提出し，学長の許可を得て復学することができる。
3　前条第４項により休学を命ぜられた者が，復学しようとするときは，診断書又は事由書を添付して所定の様式による復学願い書を提出し，学長の許可を受けなければならない。
4　前２項により提出された願い書について，学長は，その事由が適当であると認めた場合は，これを許可する。

第４章　退学，転学及び除籍

（退学）

第27条　学生が，退学しようとするときは，退学願い書にその事由を詳記して学長に願い出て，その許可を受けなければならない。ただし，傷病による場合には，医師の診断書を添付しなければならない。
2　前項により提出された願い書について，学長は，その事由が適当であると認めた場合は，これを許可する。

（転学）

第28条　学生が，他の大学に転学しようとするときは，所定の様式の転学願い書を提出し，学長の許可を受けなければならない。

（除籍）

第29条　学生が，次の各号に掲げる事由の一に該当した場合は，学長は，学部長の意見を徴し，審議会の議を経て，除籍する。
（１）　第７条の在学年限を超えたとき。
（２）　傷病その他の事由により成業の見込みがないと認められるとき。
（３）　死亡したとき。
（４）　１年以上にわたつて行方不明になり，当該学生の保証人又はその代理人からの届け出があつたとき。
（５）　学納金の納付義務を怠り，督促を受けてもなお納入しないとき。

第５章　学納金

（学納金）

第30条　学納金は，次表のとおりとする。

学部	学納金	金額（円）	
医学部	入学金		1,500,000円
	教育充実費	（初年度）	2,700,000円
		（２年度以降）	1,200,000円
	授業料（年額）		3,000,000円
	施設維持費（年額）		1,000,000円
看護学部	入学金		300,000円
	教育充実費	（初年度）	200,000円
		（２年度以降）	300,000円
	授業料（年額）		1,000,000円
	実験実習費	（初年度）	170,000円
		（２年度以降）	220,000円

（授業料等の額の変更）

第30条の２　授業料，実験実習費及び施設維持費の額は，在学中においても変更することがある。

（納付）

第31条　医学部における教育充実費（２年度以降），授業料及び施設維持費（２年度以降）並びに看護学部における教育充実費（２年度以降），授業料及び実験実習費（２年度以降）は，その年額を前学期分及び後学期分として等分し，前学期分は４月末日までに，後学期分は10月末日までに納付しなければならない。
2　新入生は，医学部においては授業料及び施設維持費（初年度）の後学期分を，看護学部においては授業料の後学期分を10月末日までに納付しなければならない。

（奨学制度）

第31条の２　入学試験の成績が特に優秀であつた者及び在学中の成績が優秀な学生に

は，学長は，学納金の一部を減免することができる。

（授業料等減免制度）

第31条の３　大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号。次項において「法」という。）第８条第１項に規定する授業料等減免対象者として認定した学生については，入学金及び授業料の一部を減免する。

２　前項の減免の額，手続きその他必要な事項については，法及びその関係法令に定めるもののほか，学長が別に定める。

（免除）

第32条　学生が，前学期又は後学期を通じて休学を許可された場合は，当該学期分の学納金の納付について，医学部においては授業料を，看護学部においては授業料及び実験実習費を免除する。

２　学長は，前項の休学が正課中における事故等特別の理由によるものと認める場合は，当該学期分の学納金の全部を免除することができる。

（納付猶予）

第33条　学生が，災害その他の止むを得ない事由により第31条に定める納付期限までに教育充実費，授業料，実験実習費又は施設維持費を納付することが困難と認められるときは，その前学期分又は後学期分について納付を猶予することができる。

２　前項の規定により納付の猶予の許可を受けようとする者は，事由を詳記した願い書を，第31条に定める納付期限の10日前までに，提出しなければならない。

３　前項により提出された願い書について，学長は，その事由が適当であると認めた場合は，納付の猶予を許可する。

（学納金の返還）

第34条　既に納めた学納金は，返還しない。

２　前項の規定にかかわらず，入学手続を完了した者で，所定の期日までに所定の様式の入学辞退届け書を提出し，学納金の返還を申し出た者については，入学手続時に納めた学納金のうち入学金を差し引いた額を返還する。

第６章　授業科目の履修方法及び試験等

（授業科目，単位数，年次配当及び単位の計算方法）

第35条　学生が履修すべき授業科目，単位数及び年次配当は，教授会の議を経て，学部長が定める。

２　前項に規定する単位数は，１単位の履修時間を教室内及び教室外を合わせて45時間とし，次に掲げる基準により計算する。

（１）　講義及び演習については，医学部においては15時間，看護学部においては15時間又は30時間の授業をもつて１単位とする。

（２）　実験，実習及び実技については，医学部においては30時間，看護学部においては30時間又は45時間の授業をもつて１単位とする。

３　前２項に規定する授業科目，単位数，年次配当及び単位の計算方法については，教育目的の達成のため在学中においても変更することがある。

（授業期間）

第35条の２　１年間の授業期間は，40週までとする。

（試験）

第36条　試験は，履修した授業科目について，各学期若しくは各学年ごと又はその授業科目の授業が終わつた後，適当な時期にこれを行う。

２　各授業科目について，出席が３分の２に達しない学生については，受験資格を認めないことがある。

（成績の評価及び単位の認定）

第37条　試験の成績は，合格及び不合格とし，合格を分けて，優・良・可とする。

２　授業科目を履修し，その試験に合格した者には，その授業科目の単位を認定する。

３　前項の規定にかかわらず，医学部における進級を認定されなかった者の単位認定については，医学部長が定める。

（追試験）

第38条　傷病その他やむを得ない事由により受験できない者は，所定の様式の願い書にその事由を詳記して願い出なければならない。

２　前項の願い出によりその理由がやむを得ないと認められた者には，追試験を受けさせることができる。

（再試験）
第39条　試験に不合格の者には，再試験を受けさせることがある。
（進級）
第40条　医学部においては，所定の単位を修得し，かつ，所定の基準を満たした者に対し，医学部長は，教授会の議を経て，次学年次への進級を認定する。
２　看護学部においては，前期課程に修得すべき全単位を修得した者に対し，看護学部長は，教授会の議を経て，後期課程への進級を認定する。
（履修方法等の細目）
第41条　第35条から前条までに規定する履修方法，成績評価，試験，進級認定等の細目については，教授会の議を経て，学部長が定める。

第７章　卒業及び学士の学位

（卒業及び学士の学位）
第42条　医学部において第６条の修業年限以上在学し，修得すべき全単位を修得し，所定の基準を満たした者は，全課程を修了したものとする。
２　看護学部において第６条の修業年限以上在学し，修得すべき全単位を修得した者は，全課程を修了したものとする。
３　前２項による全課程の修了者に対し，学長は，当該学部の教授会の議を経て卒業を認定し，次の区分に従い，学士の学位を授与する。
（１）　医学部　学士（医学）
（２）　看護学部　学士（看護学）
第43条　削除

第８章　外国人特別学生

（入学）
第44条　外国人で第２章の規定によらないで入学を志願する者に対しては，学長は，選考の上教授会の議を経て外国人特別学生として入学を許可することができる。
（入学出願手続）
第45条　前条の規定により入学を志願する者は，次の書類を提出しなければならない。
（１）　入学願書
（２）　履歴書
（３）　外務省，在外公館または在日自国公館の推せん状
（４）　その他必要と認められる書類
（履修証明）
第46条　外国人特別学生で履修した授業科目の試験に合格した者には，履修証明書を交付することができる。
（学費の徴収）
第47条　外国人特別学生の入学金，授業料等の学費の徴収に関しては，特別の事由ある場合を除き，第20条および第30条の規定を適用する。
（規定の準用）
第48条　本章に定めるもののほか，本学学生に関する規定は，外国人特別学生に準用する。

第８章の２　科目等履修生及び聴講生

（科目等履修生）
第48条の２　本学の学生以外の者で，１科目又は数科目の授業科目を履修し，単位を修得しようとする者があるときは，選考の上，科目等履修生として入学を許可することがある。
２　科目等履修生に関し必要な事項は，学長が定める。
（聴講生）
第48条の３　本学所定の授業科目のうち，１科目又は数科目を選んで聴講を志願する者があるときは，授業に支障のない限り，選考の上，聴講生として入学を許可することがある。
２　聴講生に関し必要な事項は，学長が定める。

第９章　賞罰

（表彰）
第49条　学生で他の模範となる者については，選考の上，表彰することができる。
（懲戒）

第50条　学生の懲戒については，学長は，学部長の上申により，審議会の議を経て，これを決定する。
2　前項に定めるもののほか，学生の懲戒に関し必要な事項は，審議会の議を経て学長が定める。

（懲戒の種類，要件）

第51条　懲戒の種類は，訓告，停学及び放学とする。
2　懲戒は，次の各号の一に該当する者に対して行う。
（1）　本学の規則に違反したとき。
（2）　本学の秩序を乱したとき。
（3）　本学学生として品位をけがしたとき。
（4）　その他懲戒に値すると認められる行為のあつたとき。

附　則

この学則は，昭和47年４月１日から施行する。

附　則

この学則は，昭和48年４月１日に改正施行する。

附　則

この学則は，昭和50年４月１日に改正施行する。

附　則

この学則は，昭和51年４月１日に改正施行する。

附　則

この学則は，昭和52年４月１日に改正施行する。

附　則

この学則は，昭和53年４月１日に改正施行する。

附　則

この学則は，昭和54年４月１日に改正施行する。

附　則

この学則は，昭和55年４月１日に改正施行する。

附　則

この学則は，昭和55年４月24日に改正し，昭和55年４月１日から適用する。

附　則

この学則は，昭和55年９月29日に改正施行する。

附　則

この改正は，昭和56年４月１日から施行する。

附　則

1　この改正は，昭和57年４月１日から施行する。
2　第30条の規定にかかわらず，昭和56年度以前の入学生の学納金の種類及び額は，次表のとおりとする。

（円）

種類 入学生	授業料 （年額）	実験実習費 （年額）	施設維持費 （年額）
50・51年度入学生	700,000	150,000	500,000
52年度入学生	1,000,000	300,000	500,000
53・54年度入学生	1,200,000	600,000	1,000,000
55年度入学生	1,500,000	600,000	1,200,000
56年度入学生	2,000,000	600,000	1,200,000

附　則

1　この改正は，昭和57年４月１日から施行する。
2　第３条第２項及び第35条第１項ただし書は，昭和57年度第１学年から適用する。

附　則

この改正は，昭和57年６月19日から施行する。

附　則

1　この改正は，昭和58年４月１日から施行する。
2　第７条第２項及び第25条第６項の規定は，昭和58年度入学生から適用する。

附　則

この改正は，昭和58年７月20日から施行する。

附　則

この改正は，昭和59年３月１日から施行する。

附　則

この改正は，昭和59年６月１日から施行し，昭和60年度以降の入学生に適用する。

附　則

この改正は，昭和59年７月18日から施行する。

附　則

１　この改正は，昭和60年４月１日から施行する。

２　別表第５は，昭和60年度第１学年から適用する。

附　則

この改正は，昭和60年７月17日から施行する。

附　則

この改正は，昭和61年５月28日から施行する。

附　則

この改正は，昭和62年４月１日から施行する。

附　則

この改正は，昭和62年10月１日から施行する。

附　則

この改正は，昭和63年４月１日から施行する。

附　則

この改正は，平成元年４月１日から施行する。ただし，第30条の表中入学金の改正については，平成元年度の入学生については，適用しない。

附　則

この改正は，平成２年10月１日から施行する。

附　則

この学則は，平成３年４月１日から施行する。

附　則

１　この学則は，平成３年10月１日から施行する。

２　第30条及び昭和57年４月１日の改正附則第２項の規定にかかわらず，平成３年度の施設維持費の年額は，次表のとおりとする。

種類 入学生	施設維持費 （年額）
50・51年度入学生	507,500円
52年度入学生	507,500円
53・54年度入学生	1,015,000円
55年度入学生	1,218,000円
56年度入学生	1,218,000円
57年度以降の入学生	1,522,500円

附　則

この学則は，平成４年２月１日から施行する。ただし，第42条の改正規定は平成３年７月１日から適用し，別表第２の改正規定は平成４年４月１日から施行する。

附　則

この学則は，平成４年６月１日から施行する。

附　則

この学則は，平成５年６月１日から施行する。ただし，第13条第１項の改正規定は，平成５年６月16日から施行する。

附　則

この学則は，平成６年４月１日から施行する。ただし，平成５年度以前に入学を許可された者及び次表に掲げる年度に再入学，転入学又は編入学を許可され，当該年度の区分に応じた学年次に入学した者については，なお従前の例による。

年度	学年次
平成６年度	第２学年次から第６学年次
平成７年度	第３学年次から第６学年次

平成８年度	第４学年次から第６学年次
平成９年度	第５学年次・第６学年次
平成10年度	第６学年次

附　則

この学則は，平成７年２月１日から施行する。

附　則

この学則は，平成７年４月１日から施行する。

附　則

この学則は，平成９年４月１日から施行する。

附　則

1　この学則は，平成10年４月１日から施行する。

2　この学則による改正後の別表は，平成10年度の入学生から適用する。

3　平成10年度における第６学年次の学生の学納金の徴収方法，免除及び徴収猶予については，この学則による改正後の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附　則

1　この学則は，平成11年４月１日から施行する。

2　この学則による改正後の別表は，平成11年度入学生から適用する。

附　則

1　この学則は，平成12年４月１日から施行する。

2　看護学部看護学科の収容定員は，改正後の第８条の規定にかかわらず，次表のとおりとする。

年度	収容定員
平成12年度	100人
平成13年度	200人
平成14年度	300人

附　則

1　この学則は，平成12年４月１日から施行する。

2　この学則による改正後の別表第１の規定は，平成12年度入学生から適用する。

附　則

1　この学則は，平成13年１月６日から施行する。ただし，別表第１の改正規定は，平成13年４月１日から施行する。

2　この学則による改正後の別表第１の規定は，平成12年度入学生から適用する。

附　則

1　この学則は，平成13年４月１日から施行する。

2　この学則による改正後の第22条の２の規定は，平成13年度入学生から適用する。

附　則

この学則は，平成13年６月16日から施行する。

附　則

1　この学則中第13条の２の改正規定は平成14年１月１日から，別表第１の改正規定は平成14年４月１日から施行する。

2　この学則による改正後の別表第１の規定は，平成14年度医学部入学生から適用する。

附　則

この学則中第21条の改正規定は平成14年３月１日から，第13条の２の改正規定は平成14年４月１日から施行する。

附　則

この学則は，平成14年４月26日から施行する。

附　則

1　この学則は，平成15年４月１日から施行する。

2　この学則による改正後の別表第１の規定は，平成15年度医学部入学生から適用する。

附　則

1　この学則は，平成16年４月１日から施行する。

2　平成15年度以前の医学部入学生及び平成16年度に医学部の２学年次から６学年次

までの学年次に指定された入学生に対する改正後の第６条，第７条，第25条第５項，第40条第１項及び別表第１の規定の適用については，別に定める。
3　この学則による改正後の別表第２の規定は，平成16年度看護学部入学生から適用する。

附　則

1　この学則は，平成16年４月１日から施行する。
2　愛知医科大学学則の一部を改正する学則（平成12年４月１日施行）の一部を次のように改正する。
（次のよう略）

附　則

1　この学則は，平成17年４月１日から施行する。
2　この学則による改正後の別表第２の規定は，平成17年度看護学部入学生から適用する。

附　則

この学則は，平成17年４月１日から施行する。

附　則

1　この学則は，平成18年４月１日から施行する。
2　この学則による改正後の別表第２の規定は，平成18年度看護学部入学生から適用する。

附　則

1　この学則は，平成18年４月１日から施行する。ただし，第30条から第31条までの改正規定及び第32条の改正規定中本文を改める部分は，平成19年４月１日から施行する。
2　この学則による改正後の別表第１の規定は，平成18年度医学部入学生から適用する。
3　この学則による改正後の第18条，第20条，第30条から第31条まで及び第32条第１項の規定は，平成19年度入学生及び平成19年度入学を志願する者から適用する。

附　則

この学則は，平成19年４月１日から施行する。

附　則

1　この学則は，平成19年４月１日から施行する。
2　この学則による改正後の別表第１の規定は，平成19年度医学部入学生から適用する。

附　則

この学則は，平成20年４月１日から施行する。

附　則

この学則は，平成20年４月１日から施行する。

附　則

この学則は，平成20年５月26日から施行する。

附　則

1　この学則は，平成21年４月１日から施行する。
2　医学部医学科の収容定員は，改正後の第８条の規定にかかわらず，次表のとおりとする。

年度	収容定員
平成21年度	605人
平成22年度	610人
平成23年度	615人

附　則

この学則は，平成22年４月１日から施行する。

附　則

1　この学則は，平成24年４月１日から施行する。
2　医学部医学科の収容定員は，改正後の第８条の規定にかかわらず，次表のとおりとする。

年度	収容定員

平成24年度	625人
平成25年度	635人
平成26年度	645人

3　愛知医科大学学則の一部を改正する学則（平成21年４月１日施行）の一部を次のように改正する。

（次のよう略）

附　則

1　この学則は，平成24年４月１日から施行する。

2　愛知医科大学学則の一部を改正する学則（平成12年４月１日施行）の一部を次のように改正する。

（次のよう略）

附　則

この学則は，平成26年11月１日から施行する。

附　則

1　この学則は，平成27年４月１日から施行する。

2　医学部医学科の収容定員は，改正後の第８条の規定にかかわらず，次表のとおりとする。

年度	収容定員
平成27年度	653人

3　愛知医科大学学則の一部を改正する学則（平成24年４月１日施行）の一部を次のように改正する。

（次のよう略）

附　則

1　この学則は，平成27年４月１日から施行する。

2　愛知医科大学学則の一部を改正する学則（平成12年４月１日施行）の一部を次のように改正する。

（次のよう略）

3　愛知医科大学学則の一部を改正する学則（平成24年４月１日施行）の一部を次のように改正する。

（次のよう略）

4　愛知医科大学学則の一部を改正する学則（平成26年11月１日施行）の一部を次のように改正する。

（次のよう略）

附　則

この学則は，平成27年４月１日から施行する。

附　則

1　この学則は，平成28年４月１日から施行する。

2　医学部医学科の収容定員は，改正後の第８条の規定にかかわらず，次表のとおりとする。

年度	収容定員
平成28年度	663人
平成29年度	673人
平成30年度	678人
平成31年度	683人

3　愛知医科大学学則の一部を改正する学則（平成27年４月１日施行）の一部を次のように改正する。

（次のよう略）

附　則

この学則は，平成28年４月１日から施行する。

附　則

1　この学則は，平成28年７月11日から施行する。

2　この学則による改正後の第30条の規定は，平成29年度医学部入学生から適用する。

附　則

この学則は，平成29年４月１日から施行する。

附　則

1　この学則は，平成30年４月１日から施行する。ただし，第２条及び第２条の２の改正規定は，平成30年１月29日から施行する。

2　改正後の第37条第３項の規定は，平成29年度以前に医学部に入学した者には適用しない。

附　則

この学則は，平成30年４月１日から施行する。

附　則

改正

令和５年４月１日一部改正

令和６年４月１日一部改正

1　この学則は，令和２年４月１日から施行する。

2　令和２年度から令和12年度までの医学部医学科の入学定員及び収容定員は，改正後の第８条の規定にかかわらず，次表のとおりとする。

年度	入学定員	収容定員
令和２年度	115人	688人
令和３年度	115人	690人
令和４年度	115人	690人
令和５年度	115人	690人
令和６年度	115人	690人
令和７年度	115人	690人
令和８年度	105人	680人
令和９年度	105人	670人
令和10年度	105人	660人
令和11年度	105人	650人
令和12年度	105人	640人

3　愛知医科大学学則の一部を改正する学則（平成28年４月１日施行）の一部を次のように改正する。

（次のよう略）

附　則

この学則は，令和２年４月１日から施行する。

附　則

この学則は，令和３年４月１日から施行する。

附　則

この学則は，令和４年４月１日から施行する。

附　則

この学則は，令和４年６月１日から施行する。

附　則

この学則は，令和４年７月１日から施行する。

附　則

この学則は，令和５年４月１日から施行する。

附　則

この学則は，令和６年４月１日から施行する。

附　則

この学則は，令和６年９月１日から施行する。

附　則

この学則は，令和７年４月１日から施行する。

附　則

この学則は，令和７年４月１日から施行する。

愛知医科大学医学部履修規程

（趣旨）

第１条　この規程は，愛知医科大学学則（以下「学則」という。）第41条に基づき，医学部における授業科目の履修，成績評価，試験等について定める。

（授業の方法）

第２条　授業は，講義，実験，実習，演習若しくは実技のいずれかにより，又はこれらの併用により行うものとする。

（授業科目の区分）

第２条の２　授業科目は，必修科目，選択必修科目及び自由科目に区分する。

２ 必修科目は，必ず履修しなければならない。

３ 選択必修科目は，選択のうえ履修しなければならない。

４ 自由科目は，任意に履修することができるが，修得単位数は卒業に必要な単位数に算入しない。

（授業時間）

第３条　授業時間(臨床実習の時間を除く。)は，次のとおりとする。

１時限　８：50～10：00
２時限　10：10～11：20
３時限　11：30～12：40
４時限　13：30～14：40
５時限　14：50～16：00
６時限　16：10～17：20

２　臨床実習の時間については，次のとおりとする。

１時限　８：50～10：00
２時限　10：05～11：15
３時限　11：20～12：30
４時限　13：30～14：40
５時限　14：45～15：55
６時限　16：00～17：10

３　前２項の時間は，必要がある場合は，これを変更することがある。

（学年次の指定及び履修の原則）

第４条　授業科目を効果的に履修させるため，毎学年の初めに学年次を指定する。

２　授業科目は，原則として，指定された学年次に配当されたものについて履修しなければならない。

（授業科目，単位数及び年次配当）

第４条の２　授業科目，単位数及び年次配当（以下「授業科目等」という。）は，次に掲げるとおりとする。

（１）　１学年次の授業科目等　別表第１
（２）　２学年次の授業科目等　別表第２
（３）　３学年次の授業科目等　別表第３
（４）　４学年次の授業科目等　別表第４
（５）　５学年次の授業科目等　別表第５
（６）　６学年次の授業科目等　別表第６

２　前項に規定する授業科目等については，変更することがある。

（履修届）

第５条　選択して履修する科目を履修しようとするときは，所定の履修届を提出しなければならない。

２　履修届は，学年始めの最初の授業日の前日までに提出しなければならない。

３　履修科目を変更し，又は取り消す場合には，当該変更又は取り消そうとする授業科目の授業開始後８日以内に所定の履修科目変更（取消）届を提出しなければならない。

（試験の種類及び実施期日）

第６条　試験の種類及び実施期日は，次の各号に掲げるとおりとする。

（１）　定期試験　授業科目の履修を評価し，単位を認定するための試験をいい，期日を定めて行う。前学期及び後学期を通して開講する授業科目については，定期試験を前学期及び後学期に分けて行うことがある。
（２）　実習・実験・実技試験　実習，実験又は実技を伴う授業科目の履修を評価し，単位を認定するための

試験をいい，当該授業時間中又は授業終了後に行う。

（３） 総合試験２　２学年次から３学年次への進級を認定するための試験をいい，期日を定めて行う。

（４） 総合試験５　５学年次から６学年次への進級を認定するための試験をいい，期日を定めて行う。

（５） 総合試験６　卒業を認定するための試験をいい，期日を定めて行う。

（６） 追試験　学則第38条第１項に該当する者について，定期試験に代えて行う試験をいい，その都度期日を定めて行う。

（７） 再試験　学則第39条に該当する者又は追試験の受験資格が認められない者について，単位を認定するための試験をいい，その都度期日を定めて行う。

（８） 共用試験（臨床実習前OSCE及びCBT）　４学年次に行う試験で，この試験に合格することがクリニカル・クラークシップAの受講及び５学年次への進級の要件となり，期日を定めて行う。共用試験を受験するためには，別に定める科目の単位を修得しなくてはならない。

（９） 共用試験（臨床実習後OSCE）　６学年次に行う試験で，総合試験６の受験資格となるものであり，期日を定めて行う。この試験が不合格の場合は，クリニカル・クラークシップBの単位を認定しない。

（試験の方法）

第７条　試験は，筆記，口頭若しくは実技試験等のいずれかにより，又はこれらの併用により行う。

（受験資格）

第８条　次の各号の一に該当する者は，試験の受験資格を認めない。

（１） 各授業科目について，欠席が当該授業科目の当該学期又は学年次の総授業時間数の３分の１を超える者。この場合において，30分未満の遅刻は３回をもって，30分以上の遅刻は１回をもって欠席１回とみなす。

（２） 学納金の未納者（徴収を猶予された者を除く。）

（３） 休学期間中又は停学処分中の者

２　前項第１号に該当した者のうち単位修得が必要な授業科目があるものは，当該授業科目を改めて履修しなければならない。

３　第１項第２号又は第３号に該当した者の受験資格は，事由が止んだ時以降に認めるものとする。

（試験の公示）

第９条　定期試験及び総合試験の日時及び場所の公示は，教科案内の記載による。

２　定期試験及び総合試験の日時及び場所の変更の公示は，原則として，当該試験日の２週間前までに掲示によって行う。

３　追試験及び再試験の日時及び場所の公示は，その都度掲示によって行う。

（追試験及び再試験の受験手続）

第10条　追試験を受けようとする者は，所定の追試験願に診断書又はやむを得ない事由により試験を受験できなかったことを証明する書類を添付して，当該授業科目の定期試験終了日後速やかに提出しなければならない。

２　再試験を受けようとする者は，所定の期日までに手続きをし，再試験受験料を納付しなければならない。

３　追試験を受験する資格のない者で再試験の受験を希望する者は，定期試験の欠席事由を明記した所定の試験欠席届を当該授業科目の定期試験終了日後速やかに提出しなければならない。

４　再試験を欠席した者で以後の再試験の受験を希望する者は，当該再試験の欠席事由を明記した所定の試験欠席届を当該再試験終了日後速やかに提出しなければならない。

（再試験受験料）

第11条　再試験受験料は，１科目につき5,000円とする。

（再試験受験票の交付）

第12条　第10条第２項の規定により所定の手続きをした者には，再試験受験票を交付する。

（再試験受験方法）

第13条　再試験を受験する場合には，前条で交付を受けた再試験受験票を提示しなければならない。

２　再試験受験票が提示されず，若しくは貼付されていない場合又は受験科目と再試験受験票の記載科目とが異なっている場合には，その受験科目を無効とする。

（受験許可証）

第14条　試験当日に学生証を忘れた者は，所定の受験許可願を提出し，受験許可証の交付を受けなければならない。

２　受験許可証の有効期限は，受験を許可された当日限りとする。

３　受験許可証は，当日の試験終了後速やかに返還しなければならない。

（試験場における注意事項）

第15条　試験場においては，次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。
（１）　学生証又は受験許可証を机上に提示すること。
（２）　学生証，筆記用具及び許可された物以外の物を机上に置かないこと。手荷物，防寒用上着等は指定された場所に置くこと。
（３）　机の中には何も入れないこと。
（４）　不正行為を行わないこと。
（５）　試験中は，携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末，タブレット端末，電子辞書，ＩＣレコーダー，イヤホン，カメラ・ビデオ機能を有する機器等の電子機器類を身に付け，又は手に持たないこと。身に付け，又は手に持っていた場合は不正行為とみなす。
（６）　指定された座席で受験し，試験監督者の指示に従うこと。
（７）　試験開始後の入場は，試験監督者の許可を受けなければならないこと。ただし，20分を経過した後は入場できないこと。
（８）　試験開始後30分を経過しなければ，退場できないこと。
２　前項のほか，科目等により別途遵守事項を定めることがある。
３　第１項にかかわらず，共用試験については，公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構の定めに従うこととする。

（不正行為に対する罰則）

第16条　試験において不正行為を行った者は，当該学年のすべての開講科目の単位を認定しないこととし，学則第51条に規定する懲戒の対象とする。

（試験及び成績の評価）

第17条　成績の評価は，試験の結果，出席状況，受講態度等を総合して行う。
２　成績の評価は，合格をA+，A，A−，B+，B，B−，C及びDとし，不合格をＦとする。この場合において，A+は90点以上を，Aは80点以上を，A−は77点以上を，B+は74点以上を，Bは70点以上を，B−は67点以上を，C及びDは60点以上を基準とする。ただし，再試験で合格した場合にはDとする。
３　前項の規定にかかわらず，A+，A，A−，B+，B，B−，C，D，Ｆの評価が難しい場合には，合格（Ｐ）または不合格（ＮＰ）のみの評価とする。
４　追試験による成績の評価は90点以下とし，再試験による成績の評価は60点以下とする。
５　前３項までの規定にかかわらず，共用試験，総合試験２，総合試験５及び総合試験６による成績の評価は別に定める。

（授業科目，単位数及び年次配当）

第17条の２　進級判定において，進級を認定されなかった場合には，当該学年次で履修した授業科目（別に定める授業科目を除く。）の単位は認定しない。
２　前項の場合には，当該学年次に配当されているすべての授業科目を改めて履修しなければならない。ただし，実習については，受講が修了している場合には，改めて受講する必要はない。

（欠席届）

第18条　授業を引き続き１週間以上欠席する者は，所定の欠席届を提出しなければならない。

（休講）

第19条　やむを得ない事由が発生した場合には，その授業を休講とすることがある。休講の通知は，掲示によって行う。
２　休講の通知がなく，かつ，授業開始から20分を経過した後も授業が行われない場合には，クラス委員が教務課に連絡を取り，担当教員の指示を受けなければならない。

（細則）

第20条　この規程に定めるもののほか，授業科目，履修，試験，成績の評価，単位認定に関し必要な事項は，医学部教授会の議を経て別に定める。

附　則

この細目は，平成６年４月１日から施行し，平成６年度以降の入学生及び平成５年度以前の入学生のうち留年した者の留年した学年次が平成６年度入学生の属する学年次と同一になる者に適用する。

附　則

１　この細目は，平成10年４月１日から施行する。
２　この細目による改正後の附則の規定は，平成６年４月１日から適用する。

附　則

この細目は，平成11年４月１日から施行する。

附　則

この細目は，平成12年４月１日から施行する。

附　則

この規程は，平成13年４月１日から施行する。

附　則

この規程は，平成14年４月１日から施行する。

附　則

この規程は，平成15年４月１日から施行する。

附　則

1　この規程は，平成16年４月１日から施行する。

2　平成16年度の３学年次生に対する改正後の第６条の規定は，平成17年度から適用する。

附　則

この規程は，平成16年４月１日から施行する。

附　則

この規程は，平成17年４月１日から施行する。

附　則

この規程は，平成18年４月１日から施行する。

附　則

この規程は，平成19年４月１日から施行する。

附　則

この規程は，平成20年４月１日から施行する。

附　則

この規程は，平成21年４月１日から施行する。

附　則

この規程は，平成21年７月１日から施行する。

附　則

この規程は，平成22年４月１日から施行する。

附　則

この規程は，平成23年４月１日から施行する。

附　則

この規程は，平成24年４月１日から施行する。

附　則

この規程は，平成24年６月１日から施行する。

附　則

この規程は，平成25年４月１日から施行する。

附　則

この規程は，平成26年４月１日から施行する。

附　則

この規程は，平成27年４月１日から施行する。

附　則

この規程は，平成28年４月１日から施行する。

附　則

この規程は，平成29年４月１日から施行する。

附　則

1　この規程は，平成30年４月１日から施行する。

2　改正後の第４条の２第３項の規定は，平成29年度以前に入学した学生には適用しない。

3　平成29年度以前に入学した学生に対する改正後の第４条の２第４項の適用については，「前項の場合には，当該学年次に配当されているすべての科目を改めて履修しなければならない。」は「進級を認定されなかった場合には，未修得科目を改めて履修しなければならない。」と読み替える。

附　則

この規程は，平成31年４月１日から施行する。

附　則

この規程は，平成31年４月１日から施行する。

附　則

この規程は，平成31年４月１日から施行する。

附　則

この規程は，令和２年４月１日から施行する。

附　則

この規程は，令和３年４月１日から施行する。

附　則

この規程は，令和４年４月１日から施行する。

附　則

この規程は，令和５年４月１日から施行する。

附　則

この規程は，令和６年４月１日から施行する。

附　則

この規程は，令和７年４月１日から施行する。

別表第１　（１学年次適用）　授業科目、単位数及び年次配当(第４条の２関係)

区分	授業科目	開講単位数						修得すべき単位数
		前期課程		中期課程		後期課程		
		１学年次	２学年次	３学年次	４学年次	５学年次	６学年次	
基礎医学系	プロフェッショナリズム１ａ	1						1
	プロフェッショナリズム１ｂ	1						1
	プロフェッショナリズム２		1.5					1.5
	プロフェッショナリズム３			0.5				0.5
	プロフェッショナリズム４				0.5			0.5
	多職種連携演習				1.5			1.5
	アカデミックリテラシー	0.5						0.5
	ＩＣＴリテラシー	0.5						0.5
	医療のための情報学（前学期）	1						1
	医療のための情報学（後学期）	1						1
	医用心理学	1						1
	行動科学１ａ	0.5						0.5
	行動科学１ｂ	1						1
	行動科学１ｃ	0.5						0.5
	行動科学２		1					1
	統計学１	0.5						0.5
	統計学２		0.5					0.5
	スポーツ科学	1						1
	医用物理学	1.5						1.5
	生体分子の化学	1.5						1.5
	細胞生物学	2						2
	基礎科学実習	0.5						0.5
	ＰＢＬ	1.5						1.5
	医学英語１ａ	1						1
	医学英語１ｂ（前学期）	1						1
	医学英語１ｂ（後学期）	1						1
	医学英語２		1.5					1.5
	医学英語３			1				1
	医学英語４				1			1
	ポルトガル語	1						1
	中国語	1						
	韓国語	1						
	ドイツ語	1						
	初年次医科学セミナー	1.5						1.5
	自然科学演習	0.5						0.5
医学系	哲学と医療	1						2
	経済と医療	1						
	文学と医療	1						
	宗教と医療	1						
	数学と医療	1						
	分子発生学		1.5					1.5
	生命倫理１	0.5						0.5
	生命倫理２		0.5					0.5
	生命倫理３			0.5				0.5
	早期体験実習１ａ（シミュレーション実習）	0.5						0.5
	早期体験実習１ｂ（看護体験実習）	0.5						0.5
	早期体験実習１ｃ（臨床科見学実習）	0.5						0.5
	基礎医学セミナー		3.5					3.5
	解剖学１ａ	1.5						1.5
	解剖学実習１ａ	0.5						0.5
	解剖学１ｂ	4.5						4.5
	解剖学実習１ｂ	0.5						0.5
	解剖学実習２		3					3
	生理学１	4						4
	生理学２		4.5					4.5
	生理学実習		1.5					1.5
	生化学１	2						2
	生化学２		1.5					1.5
	生化学実習		0.5					0.5
	薬理学		2.5					2.5
	薬理学実習		0.5					0.5
	病理学		2.5					2.5
	病理学実習		0.5					0.5
	統合講義（腫瘍学）		1					1
	統合講義（炎症学）		1					1
	微生物学（細菌分野）		2					2
	微生物学（ウイルス・真菌分野）		1.5					1.5
	免疫学		1.5					1.5
	免疫学実習		0.5					0.5
	寄生虫学		1.5					1.5
	衛生学			1.5				1.5
	公衆衛生学			1.5				1.5
	公衆衛生学実習			0.5				0.5
	法医学			1.5				1.5
	医療と倫理				2			2
	健康増進と疾病予防			1				1
	ＥＢＭ実習			0.5				0.5
	地域社会医学実習		0.5					0.5
	チーム医療実習		0.5					0.5
	外来案内実習		0.5					0.5
	コミュニケーション演習１	1						1
	コミュニケーション演習２		1					1
	地域包括ケア実習			1				1
	基礎科学・基礎医学統合演習	1.5						1.5
	Preparation for the ＵＳＭＬＥ	0.5						0.5
	選択講座１	0.5						0.5
	選択講座２		1					1
	選択講座３			1				1
	選択講座４				0.5			0.5
臨床医学系	検査医学		0.5					0.5
	消化器学			4				4
	循環器学			3				3
	呼吸器・アレルギー学			2				2
	内分泌・代謝・糖尿病学			2				2
	脳・神経学（神経内科学）			1				1
	腎・膠原病学			2				2
	血液・造血器学			1.5				1.5
	精神科学			2				2
	小児科学			2				2
	脳・神経学（脳神経外科学）			1				1
	整形外科学			1				1
	皮膚科学・形成外科学				1			1
	泌尿器科学			1				1
	眼科学				1			1
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学(口腔外科学)				1			1
	産科学			1				1
	婦人科学			1				1
	放射線医学		1					1
	麻酔科学				1			1
	救急医学				1			1
	リハビリテーション医学			0.5				0.5
	臨床感染症学				2			2
	疼痛医療学			1				1
	臨床腫瘍学				1			1
	医療安全				1			1
	東洋医学			0.5				0.5
	高齢医学			1				1
	臨床遺伝学				1			1
	臨床推論				1			1
	地域医療総合医学				0.5			0.5
	症候学			1.5				1.5
	コミュニケーション演習３			0.5				0.5
	基本手技・医療面接実習				0.5			0.5
	臨床実習入門				2.5			2.5
	地域医療早期体験実習				0.5			0.5
	クリニカル・クラークシップＡ					36		36
	クリニカル・クラークシップＢ						36	36
修得すべき単位数		43	41	40	20.5	36	36	216.5

別表第２　（２学年次適用）　授業科目，単位数及び年次配当(第４条の２関係)

区分	授業科目	開講単位数						修得すべき単位数
		前期課程		中期課程		後期課程		
		１学年次	２学年次	３学年次	４学年次	５学年次	６学年次	
基礎医学系	プロフェッショナリズム１ａ	1						1
	プロフェッショナリズム１ｂ	1						1
	プロフェッショナリズム２		1.5					1.5
	プロフェッショナリズム３			0.5				0.5
	プロフェッショナリズム４				0.5			0.5
	多職種連携演習				1.5			1.5
	アカデミックリテラシー	0.5						0.5
	ＩＣＴリテラシー	0.5						0.5
	医療のための情報学（前学期）	1						1
	医療のための情報学（後学期）	1						1
	医用心理学	1						1
	行動科学１ａ	0.5						0.5
	行動科学１ｂ	1						1
	行動科学１ｃ	0.5						0.5
	行動科学２		1					1
	統計学１	0.5						0.5
	統計学２		0.5					0.5
	スポーツ科学	1						1
	医用物理学	1.5						1.5
	生体分子の化学	1.5						1.5
	細胞生物学	2						2
	基礎科学実習	0.5						0.5
	ＰＢＬ	1.5						1.5
	医学英語１ａ	1						1
	医学英語１ｂ（前学期）	1						1
	医学英語１ｂ（後学期）	1						1
	医学英語２		1.5					1.5
	医学英語３			1				1
	医学英語４				1			1
	ポルトガル語	1						1
	中国語	1						
	韓国語	1						
	ドイツ語	1						
	初年次医科学セミナー	1.5						1.5
	自然科学演習	0.5						0.5
医学系	哲学と医療	1						2
	経済と医療	1						
	文学と医療	1						
	宗教と医療	1						
	数学と医療	1						
	分子発生学		1.5					1.5
	生命倫理１	0.5						0.5
	生命倫理２		0.5					0.5
	生命倫理３			0.5				0.5
	早期体験実習１ａ（シミュレーション実習）	0.5						0.5
	早期体験実習１ｂ（看護体験実習）	0.5						0.5
	早期体験実習１ｃ（臨床科見学実習）	0.5						0.5
	基礎医学セミナー		3.5					3.5
	解剖学１ａ	1.5						1.5
	解剖学実習１ａ	0.5						0.5
	解剖学１ｂ	4.5						4.5
	解剖学実習１ｂ	0.5						0.5
	解剖学実習２		3					3
	生理学１	4						4
	生理学２		4.5					4.5
	生理学実習		1.5					1.5
	生化学１	2						2
	生化学２		1.5					1.5
	生化学実習		0.5					0.5
	薬理学		2.5					2.5
	薬理学実習		0.5					0.5
	病理学		2.5					2.5
	病理学実習		0.5					0.5
	統合講義（腫瘍学）		1					1
	統合講義（炎症学）		1					1
	微生物学（細菌分野）		2					2
	微生物学（ウイルス・真菌分野）		1.5					1.5
	免疫学		1.5					1.5
	免疫学実習		0.5					0.5
	寄生虫学		1.5					1.5
	衛生学			1.5				1.5
	公衆衛生学			1.5				1.5
	公衆衛生学実習			0.5				0.5
	法医学			1.5				1.5
	医療と倫理				2			2
	健康増進と疾病予防			1				1
	ＥＢＭ実習			0.5				0.5
	地域社会医学実習		0.5					0.5
	チーム医療実習		0.5					0.5
	外来案内実習		0.5					0.5
	コミュニケーション演習１	1						1
	コミュニケーション演習２		1					1
	地域包括ケア実習			1				1
	基礎科学・基礎医学統合演習	1.5						1.5
	Preparation for the ＵＳＭＬＥ	0.5						0.5
	選択講座１	0.5						0.5
	選択講座２		1					1
	選択講座３			1				1
	選択講座４				0.5			0.5
臨床医学系	検査医学		0.5					0.5
	消化器学			4				4
	循環器学			3				3
	呼吸器・アレルギー学			2				2
	内分泌・代謝・糖尿病学			2				2
	脳・神経学（神経内科学）			1				1
	腎・膠原病学			2				2
	血液・造血器学			1.5				1.5
	精神科学			2				2
	小児科学			2				2
	脳・神経学（脳神経外科学）			1				1
	整形外科学			1				1
	皮膚科学・形成外科学				1			1
	泌尿器科学			1				1
	眼科学				1			1
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学(口腔外科学)				1			1
	産科学			1				1
	婦人科学			1				1
	放射線医学		1					1
	麻酔科学				1			1
	救急医学				1			1
	リハビリテーション医学			0.5				0.5
	臨床感染症学				2			2
	疼痛医療学			1				1
	臨床腫瘍学				1			1
	医療安全				1			1
	東洋医学			0.5				0.5
	高齢医学			1				1
	臨床遺伝学				1			1
	臨床推論				1			1
	地域医療総合医学				0.5			0.5
	症候学			1.5				1.5
	コミュニケーション演習３			0.5				0.5
	基本手技・医療面接実習				0.5			0.5
	臨床実習入門				2.5			2.5
	地域医療早期体験実習				0.5			0.5
	クリニカル・クラークシップＡ					36		36
	クリニカル・クラークシップＢ						36	36
修得すべき単位数		43	41	40	20.5	36	36	216.5

別表第３　（３学年次適用）　授業科目，単位数及び年次配当(第４条の２関係)

区分	授業科目	開講単位数						修得すべき単位数
		前期課程		中期課程		後期課程		
		１学年次	２学年次	３学年次	４学年次	５学年次	６学年次	
基礎医学系	プロフェッショナリズム１ａ	1						1
	プロフェッショナリズム１ｂ	1						1
	プロフェッショナリズム２		1.5					1.5
	プロフェッショナリズム３			0.5				0.5
	プロフェッショナリズム４				0.5			0.5
	多職種連携演習				1.5			1.5
	アカデミックリテラシー	1						1
	医療のための情報学（前学期）	1						1
	医療のための情報学（後学期）	1						1
	医用心理学	1						1
	行動科学１ａ	1						1
	行動科学１ｂ	1						1
	行動科学１ｃ	0.5						0.5
	行動科学２		1					1
	医療のための数学（前学期）	1						1
	医療のための数学（後学期）	1						1
	統計学２		0.5					0.5
	スポーツ科学	1						1
	医用物理学（前学期）	1						1
	医用物理学（後学期）	1						1
	生体分子の化学	2						2
	細胞生物学	2.5						2.5
	物理学実験	0.5						0.5
	化学実験	0.5						0.5
	細胞生物学実習	1						1
	医学英語１ａ	1						1
	医学英語１ｂ（前学期）	1						1
	医学英語１ｂ（後学期）	1						1
	医学英語２		1.5					1.5
	医学英語３			1				1
	医学英語４				1			1
	ポルトガル語	1						1
	中国語	1						
	韓国語	1						
	ドイツ語	1						
	初年次医科学セミナー	1.5						1.5
	自然科学演習	1						1
医学系	経済と医療	1						2
	文学と医療	1						
	法学と医療	1						
	宗教と医療	1						
	分子発生学		1.5					1.5
	生命倫理	1						1
	生命倫理２		0.5					0.5
	生命倫理３			0.5				0.5
	早期体験実習１ａ（ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ実習・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ演習１）	0.5						0.5
	早期体験実習１ｂ（看護体験実習）	0.5						0.5
	早期体験実習１ｃ（臨床科見学実習）	0.5						0.5
	基礎医学セミナー		3.5	3.5※				3.5
	解剖学１ａ	4.5						4.5
	解剖学１ｂ	4.5						4.5
	解剖学実習２		3					3
	生理学１	4						4
	生理学２		4.5					4.5
	生理学実習		1.5					1.5
	生化学１	2.5						2.5
	生化学２		1.5					1.5
	生化学実習		0.5					0.5
	薬理学		2.5					2.5
	薬理学実習		0.5					0.5
	病理学		2.5					2.5
	病理学実習		0.5					0.5
	統合講義（腫瘍学）		1					1
	統合講義（炎症学）		1					1
	微生物学（細菌分野）		1.5					1.5
	微生物学（ウイルス・真菌分野）		2					2
	免疫学		1.5					1.5
	免疫学実習		0.5					0.5
	寄生虫学		1.5					1.5
	衛生学			1.5				1.5
	公衆衛生学			1.5				1.5
	公衆衛生学実習			0.5				0.5
	法医学			1.5				1.5
	医療と倫理				2			2
	健康増進と疾病予防			1				1
	ＥＢＭ実習			0.5				0.5
	地域社会医学実習		0.5					0.5
	チーム医療実習		0.5					0.5
	外来案内実習		0.5					0.5
	コミュニケーション演習２		1					1
	地域包括ケア実習			1				1
	基礎科学・基礎医学統合演習	1.5						1.5
	選択講座１	0.5						0.5
	選択講座２		1					1
	選択講座３			1				1
	選択講座４				0.5			0.5
臨床医学系	検査医学		0.5	0.5※				0.5
	消化器学			4				4
	循環器学			3				3
	呼吸器・アレルギー学			2				2
	内分泌・代謝・糖尿病学			2				2
	脳・神経学（神経内科学）			1				1
	腎・膠原病学			2				2
	血液・造血器学			1.5				1.5
	精神科学			2				2
	小児科学			2				2
	脳・神経学（脳神経外科学）			1				1
	整形外科学			1				1
	皮膚科学・形成外科学				1			1
	泌尿器科学			1				1
	眼科学				1			1
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学(口腔外科学)				1			1
	産科学			1				1
	婦人科学			1				1
	放射線医学		1	1※				1
	麻酔科学				1			1
	救急医学				1			1
	リハビリテーション医学			0.5				0.5
	臨床感染症学				2			2
	疼痛医療学			1				1
	臨床腫瘍学				1			1
	医療安全				1			1
	東洋医学			0.5				0.5
	高齢医学			1				1
	臨床遺伝学				1			1
	臨床推論				1			1
	地域医療総合医学				0.5			0.5
	症候学			1.5				1.5
	コミュニケーション演習３			0.5				0.5
	基本手技・医療面接実習				0.5			0.5
	臨床実習入門				2.5			2.5
	地域医療早期体験実習				0.5			0.5
	クリニカル・クラークシップＡ					36		36
	クリニカル・クラークシップＢ						36	36
修得すべき単位数		48.5	41	40(45※)	20.5	36	36	222(227※)

※：2024年度３学年次を留年した場合にのみ適用（2025年度履修科目）

別表第４　（４学年次適用）　授業科目，単位数及び年次配当（第４条の２関係）

区分	授業科目	開講単位数						修得すべき単位数
		前期課程		中期課程		後期課程		
		１学年次	２学年次	３学年次	４学年次	５学年次	６学年次	
基礎医学系	プロフェッショナリズム１ａ	1						1
	プロフェッショナリズム１ｂ	1						1
	プロフェッショナリズム２		1.5					1.5
	プロフェッショナリズム３			0.5				0.5
	プロフェッショナリズム４				0.5			0.5
	多職種連携演習				1.5			1.5
	アカデミックリテラシー	1						1
	医療のための情報学（前学期）	1						1
	医療のための情報学（後学期）	1						1
	医用心理学	1						1
	行動科学１ａ	1						1
	行動科学１ｂ	1						1
	行動科学１ｃ	0.5						0.5
	行動科学２		1					1
	医療のための数学（前学期）	1						1
	医療のための数学（後学期）	1						1
	スポーツ科学	1						1
	医用物理学（前学期）	1						1
	医用物理学（後学期）	1						1
	生体分子の化学	2						2
	細胞生物学	2.5						2.5
	物理学実験	0.5						0.5
	化学実験	0.5						0.5
	細胞生物学実習	1						1
	医学英語１ａ	1						1
	医学英語１ｂ（前学期）	1						1
	医学英語１ｂ（後学期）	1						1
	医学英語２		1.5					1.5
	医学英語３			1				1
	医学英語４				1			1
	ポルトガル語	1						1
	中国語	1						
	韓国語	1						
	ドイツ語	1						
	初年次医科学セミナー	1.5						1.5
	自然科学演習	1						1
	哲学と医療	1						2
	経済と医療	1						
	文学と医療	1						
	法学と医療	1						
	宗教と医療	1						
	分子発生学		1					1
	生命倫理	1						1
	早期体験実習１ａ（シミュレーション実習・コミュニケーション演習１）	0.5						0.5
	早期体験実習１ｂ（看護体験実習）	0.5						0.5
	早期体験実習１ｃ（臨床科見学実習）	0.5						0.5
	基礎医学セミナー			3.5				3.5
	解剖学１ａ	4.5						4.5
	解剖学１ｂ	6						6
	解剖学２（解剖実習）		3					3
	生理学１	4						4
	生理学２		4.5					4.5
	生理学実習		2					2
	生化学１	2.5						2.5
	生化学２		1.5					1.5
	生化学実習		0.5					0.5
	薬理学		3.5					3.5
	薬理学実習		0.5					0.5
	分子病態学		1					1
	病理学（総論）		1.5					1.5
	病理学（各論）		2.5					2.5
	病理学実習		0.5					0.5
	統合講義（腫瘍学）		1					1
	統合講義（炎症学）		1					1
	微生物学・基礎感染症学（細菌・真菌分野）		1.5					1.5
	微生物学・基礎感染症学（ウイルス分野）		1.5					1.5
	微生物学実習		0.5					0.5
	免疫学		1.5					1.5
	免疫学実習		0.5					0.5
	寄生虫学		1					1
	寄生虫学実習		0.5					0.5
	衛生学			2				2
	公衆衛生学			2				2
	公衆衛生学実習			0.5				0.5
	法医学			2				2
	医療と倫理				2			2
	健康増進と疾病予防			1				1
	ＥＢＭ実習			0.5				0.5
	地域社会医学実習		0.5					0.5
	チーム医療実習		0.5					0.5
	外来案内実習		0.5					0.5
	コミュニケーション演習２		1					1
	地域包括ケア実習			1				1
	選択講座１	0.5						0.5
	選択講座２		1					1
	選択講座３			1				1
	選択講座４				0.5			0.5
臨床医学系	検査医学			0.5				0.5
	消化器学			4				4
	循環器学			2.5				2.5
	呼吸器・アレルギー学			1.5				1.5
	内分泌・代謝・糖尿病学			1.5				1.5
	脳・神経学（神経内科学）			1				1
	腎・膠原病学			2				2
	血液・造血器学			1.5				1.5
	精神科学			2				2
	小児科学			2				2
	脳・神経学（脳神経外科学）			1				1
	整形外科学			1				1
	皮膚科学・形成外科学				1			1
	泌尿器科学			1				1
	眼科学				1			1
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学(口腔外科学)				1			1
	産科学			1				1
	婦人科学			1				1
	放射線医学			1				1
	麻酔科学				1			1
	救急医学				1			1
	リハビリテーション医学			0.5				0.5
	臨床感染症学				2			2
	疼痛医療学			1				1
	臨床腫瘍学				1			1
	医療安全				1			1
	東洋医学			0.5				0.5
	高齢医学			1				1
	臨床遺伝学				1			1
	臨床推論				1			1
	地域医療総合医学				0.5			0.5
	症候学			1.5				1.5
	コミュニケーション演習３			0.5				0.5
	基本手技・医療面接実習				0.5			0.5
	臨床実習入門				2.5			2.5
	地域医療早期体験実習				0.5			0.5
	クリニカル・クラークシップＡ					36		36
	クリニカル・クラークシップＢ						36	36
修得すべき単位数		48.5	38.5	44.5	20.5	36	36	224

別表第５　（５学年次適用）　授業科目，単位数及び年次配当(第４条の２関係)

区分	授業科目	開講単位数						修得すべき単位数
		前期課程		中期課程		後期課程		
		１学年次	２学年次	３学年次	４学年次	５学年次	６学年次	
基礎医学系	プロフェッショナリズム１ａ	1						1
	プロフェッショナリズム１ｂ	1						1
	プロフェッショナリズム２		1.5					1.5
	プロフェッショナリズム３			0.5				0.5
	プロフェッショナリズム４				0.5			0.5
	多職種連携演習				1.5			1.5
	アカデミックリテラシー	1.5						1.5
	医療のための情報学	2						2
	医用心理学	1						1
	行動科学１ａ	1						1
	行動科学１ｂ	1						1
	行動科学２		1					1
	医療のための数学	2						2
	スポーツ科学	1.5						1.5
	医用物理学	2						2
	生体分子の化学	2						2
	細胞生物学	2.5						2.5
	物理学実験	0.5						0.5
	化学実験	0.5						0.5
	細胞生物学実習	1						1
	医学英語１ａ	1						1
	医学英語１ｂ	2						2
	医学英語２		1.5					1.5
	医学英語３			1				1
	医学英語４				1			1
	ポルトガル語	1						1
	中国語	1						
	韓国語	1						
	ドイツ語	1						
	初年次医科学セミナー	1.5						1.5
	自然科学演習	1						1
	哲学と医療	1						2
	経済と医療	1						
	文学と医療	1						
	法学と医療	1						
	宗教と医療	1						
	分子発生学		1					1
	生命倫理	1						1
	早期体験実習１ａ（シミュレーション実習・コミュニケーション演習１）	1						1
	早期体験実習１ｂ（看護体験実習）	1						1
	早期体験実習１ｃ（臨床科見学実習）	1						1
	スキルアップ演習	—						—
	基礎医学セミナー			3.5				3.5
	解剖学１ａ	5.5						5.5
	解剖学１ｂ	7						7
	解剖学２（解剖実習）		3					3
	生理学１	4						4
	生理学２		4.5					4.5
	生理学実習		2					2
	生化学１	2.5						2.5
	生化学２		1.5					1.5
	生化学実習		0.5					0.5
	薬理学		3.5					3.5
	薬理学実習		0.5					0.5
	分子病態学		1					1
	病理学（総論）		1.5					1.5
	病理学（各論）		2.5					2.5
	病理学実習		0.5					0.5
	統合講義（腫瘍学）		1					1
	統合講義（炎症学）		1					1
	微生物学・基礎感染症学（細菌・真菌分野）		1.5					1.5
	微生物学・基礎感染症学（ウイルス分野）		1.5					1.5
	微生物学実習		0.5					0.5
	免疫学		1.5					1.5
	免疫学実習		0.5					0.5
	寄生虫学		1					1
	寄生虫学実習		0.5					0.5
	衛生学			2				2
	公衆衛生学			2				2
	公衆衛生学実習			0.5				0.5
	法医学			2				2
	医療と倫理				2			2
	健康増進と疾病予防			1				1
	ＥＢＭ実習			0.5				0.5
	地域社会医学実習		0.5					0.5
	チーム医療実習		0.5					0.5
	外来案内実習		0.5					0.5
	コミュニケーション演習２		1					1
	地域包括ケア実習			1				1
	選択講座１	0.5						0.5
	選択講座２		1					1
	選択講座３			1				1
	選択講座４				0.5			0.5
臨床医学系	検査医学			0.5				0.5
	消化器学			4				4
	循環器学			2.5				2.5
	呼吸器・アレルギー学			1.5				1.5
	内分泌・代謝・糖尿病学			1.5				1.5
	脳・神経学（神経内科学）			1				1
	腎・膠原病学			2				2
	血液・造血器学			1.5				1.5
	精神科学			2				2
	小児科学			2				2
	脳・神経学（脳神経外科学）			1				1
	整形外科学			1				1
	皮膚科学・形成外科学				1			1
	泌尿器科学			1				1
	眼科学				1			1
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学(口腔外科学)				1			1
	産科学			1				1
	婦人科学			1				1
	放射線医学			1				1
	麻酔科学				1			1
	救急医学				1			1
	リハビリテーション医学			0.5				0.5
	臨床感染症学				2			2
	疼痛医療学			1				1
	臨床腫瘍学				1			1
	医療安全				1			1
	東洋医学			0.5				0.5
	高齢医学			1				1
	臨床遺伝学				1			1
	臨床推論				1			1
	地域医療総合医学				0.5			0.5
	症候学			2				2
	コミュニケーション演習３			1				1
	基本手技・医療面接実習				0.5			0.5
	臨床実習入門				2.5			2.5
	地域医療早期体験実習				0.5			0.5
	クリニカル・クラークシップＡ					36		36
	クリニカル・クラークシップＢ						36	36
修得すべき単位数		52.5	38.5	45.5	20.5	36	36	229

別表第６　（６学年次適用）　授業科目，単位数及び年次配当(第４条の２関係)

区分	授業科目	開講単位数						修得すべき単位数
		前期課程		中期課程		後期課程		
		１学年次	２学年次	３学年次	４学年次	５学年次	６学年次	
基礎医学系	プロフェッショナリズム１ａ	1						1
	プロフェッショナリズム１ｂ	2						2
	プロフェッショナリズム２		2					2
	プロフェッショナリズム３			0.5				0.5
	プロフェッショナリズム４				1.5			1.5
	アカデミックリテラシー	1.5						1.5
	医療のための情報学	2						2
	医用心理学	1						1
	行動科学１ａ	1						1
	行動科学１ｂ	1						1
	行動科学２		1					1
	医療のための数学	2						2
	スポーツ科学	1.5						1.5
	医用物理学	2						2
	生体分子の化学	2						2
	細胞生物学	2.5						2.5
	物理学実験	0.5						0.5
	化学実験	0.5						0.5
	細胞生物学実習	1						1
	医学英語１ａ	1						1
	医学英語１ｂ	2						2
	医学英語２		1.5					1.5
	医学英語３			1				1
	医学英語４				1			1
	ポルトガル語	1						1
	中国語	1						
	韓国語	1						
	ドイツ語	1						
	初年次医科学セミナー	1.5						1.5
	自然科学演習	1						1
	哲学と医療	1						2
	経済と医療	1						
	文学と医療	1						
	法学と医療	1						
	宗教と医療	1						
	分子発生学		1					1
	生命倫理	1						1
	早期体験実習１ａ（ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ実習・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ演習１）	1						1
	早期体験実習１ｂ（看護体験実習）	1						1
	早期体験実習１ｃ（臨床科見学実習）	1						1
	スキルアップ演習	—						—
	基礎医学セミナー			3.5				3.5
	解剖学１ａ	6						6
	解剖学１ｂ	7						7
	解剖学２（解剖実習）		3.5					3.5
	生理学１	4						4
	生理学２		4.5					4.5
	生理学実習		2					2
	生化学１	2.5						2.5
	生化学２		1.5					1.5
	生化学実習		0.5					0.5
	薬理学		4					4
	薬理学実習		0.5					0.5
	分子病態学		1					1
	病理学（総論）		1.5					1.5
	病理学（各論）		3.5					3.5
	病理学実習		0.5					0.5
	統合講義（腫瘍学）		1					1
	統合講義（炎症学）		1					1
	微生物学・基礎感染症学		3.5					3.5
	微生物学実習		0.5					0.5
	免疫学		1.5					1.5
	免疫学実習		0.5					0.5
	寄生虫学		1					1
	寄生虫学実習		0.5					0.5
	衛生学			2				2
	公衆衛生学			2				2
	公衆衛生学実習			0.5				0.5
	法医学			2				2
	医療と倫理				2			2
	健康増進と疾病予防			1				1
	ＥＢＭ実習			0.5				0.5
	地域社会医学実習		0.5					0.5
	チーム医療実習		0.5					0.5
	外来案内実習		1					1
	コミュニケーション演習２		1					1
	地域包括ケア実習			1				1
	選択講座１	0.5						0.5
	選択講座２		1					1
	選択講座３			1				1
	選択講座４				0.5			0.5
臨床医学系	検査医学			0.5				0.5
	消化器学			4				4
	循環器学			2.5				2.5
	呼吸器・アレルギー学			1.5				1.5
	内分泌・代謝・糖尿病学			1.5				1.5
	脳・神経学（神経内科学）			1				1
	腎・膠原病学			2				2
	血液・造血器学			1.5				1.5
	精神科学			2				2
	小児科学			2				2
	脳・神経学（脳神経外科学）			1				1
	整形外科学			1				1
	皮膚科学・形成外科学				1			1
	泌尿器科学			1				1
	眼科学				1			1
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学(口腔外科学)				1			1
	産科学			1				1
	婦人科学			1				1
	放射線医学			1				1
	麻酔科学				1			1
	救急医学				1			1
	リハビリテーション医学			0.5				0.5
	臨床感染症学				2			2
	疼痛医療学			1				1
	臨床腫瘍学				1			1
	医療安全				1			1
	東洋医学			0.5				0.5
	高齢医学			1				1
	臨床遺伝学				1			1
	臨床推論				1			1
	地域医療総合医学				0.5			0.5
	症候学			1.5				1.5
	コミュニケーション演習３			0.5				0.5
	基本手技・医療面接実習				0.5			0.5
	臨床実習入門				2.5			2.5
	地域医療早期体験実習				0.5			0.5
	クリニカル・クラークシップＡ					40		40
	クリニカル・クラークシップＢ						32	32
修得すべき単位数		54	42	44.5	20	40	32	232.5

愛知医科大学医学部進級認定に関する規程

（趣旨）

第１条　この規程は，愛知医科大学学則第 41 条の規定に基づき，医学部における進級の認定について定める。

（２学年次への進級要件）

第２条　２学年次への進級要件は，１学年次において修得すべきすべての授業科目の単位を修得していることとする。

（３学年次への進級要件）

第３条　３学年次への進級には，次に掲げる要件をすべて満たしていることとする。

一　２学年次において修得すべきすべての授業科目の単位を修得していること。

二　総合試験２に合格すること。

（４学年次への進級要件）

第４条　４学年次への進級要件は，３学年次において修得すべきすべての授業科目の単位を修得していることとする。

（５学年次への進級要件）

第５条　５学年次への進級要件は，次に掲げる要件をすべて満たしていることとする。

一　４学年次において修得すべきすべての授業科目の単位を修得していること。

二　共用試験(Pre-CC OSCE 及びCBT)に合格すること。

（６学年次への進級要件）

第６条　６学年次への進級要件は，次に掲げる要件をすべて満たしていることとする。

一　５学年次において修得すべきすべての授業科目の単位を修得していること。

二　総合試験５に合格すること。

（関係細目）

第７条　第３条第２号，第５条第２号及び前条第２号の試験に係る合格基準等並びに進級を認定されなかった者の単位の取扱いについては，愛知医科大学医学部履修規程の定めるところによる。

（細則）

第８条　この規程に定めるもののほか，進級の認定に関し必要な事項は，医学部教授会の議を経て別に定める。

附　則

1　この規程は，平成 30 年４月１日から施行する。

2　愛知医科大学医学部進級規程（平成 16 年４月１日施行）は廃止する。

3　平成 29 年度以前に入学した学生に対する２学年次，３学年次，４学年次又は５学年次への進級要件は，第２条から第５条までの規定にかかわらず次表のとおりとする。

区分	進級要件
２学年次への進級要件	１学年次において修得すべきすべての授業科目の単位の５分の４以上を修得していること。
３学年次への進級要件	１学年次及び２学年次において修得すべきすべての授業科目の単位を修得していること。
４学年次への進級要件	３学年次において修得すべきすべての授業科目の単位の５分の４以上を修得している。
５学年次への進級要件	一　３学年次及び４学年次において修得すべきすべての授業科目の単位を修得していること。 二　共用試験(OSCE 及びCBT)に合格すること。

4　平成 29 年度以前に入学した学生のうち，平成 30 年度に１学年次又は３学年次に留年した学生に対する平成 30 年度における次学年次への進級要件は，第２条，第４条及び前項の規定にかかわらず，次表のとおりとする。

区分	進級要件
２学年次への進級要件	１学年次において修得すべきすべての授業科目の単位の３分の２以上を修得している。
４学年次への進級要件	３学年次において修得すべきすべての授業科目の単位の３分の２以上を修得している。

附　則

1　この規程は，令和６年４月１日から施行する。

2　この規程による改正後の第３条の規定は，令和６年度入学生から適用する。

進級・卒業要件

2025(令和7)年度

2024(令和6)年度以降の入学者

課程	学年	再試験制限	進級・卒業の要件	留年した際の未修得科目の取り扱い等
前期	1	1回	1学年次の全単位を修得する必要がある。	原級留置となる年度における1学年次の全科目を再履修して単位を修得する。（ただし，実習等の科目において，履修を免除される場合がある。）
前期	2	1回	2学年次の全単位を修得し，総合試験2に合格する必要がある。	原級留置となる年度における2学年次の全科目を再履修して単位を修得する。（ただし，実習等の科目において，履修を免除される場合がある。）総合試験2を受験して合格する必要がある。（※※）
中期	3	1回	3学年次の全単位を修得する必要がある。	原級留置となる年度における3学年次の全科目を再履修して単位を修得する。（ただし，実習等の科目において，履修を免除される場合がある。）
中期	4	1回	4学年次の全単位を修得する必要がある。 共用試験に合格する必要がある。（※※） なお，共用試験を受験するには，4学年次の全単位(※)を修得する必要がある。	原級留置となる年度における4学年次の全科目を再履修して単位を修得する。（ただし，実習等の科目において，履修を免除される場合がある。） 共用試験(CBT,OSCE)を改めて受験し,合格する必要がある。(※※)
後期	5		クリニカル・クラークシップAの単位を修得し，総合試験5に合格する必要がある。（※※）	原級留置となる年度における5学年次の科目（4月から開始するクリニカル・クラークシップA）を再履修して単位を修得する。（ただし，クリニカル・クラークシップAは修得したが，総合試験5の不合格により原級留置となった者は，クリニカル・クラークシップAの履修は免除される場合がある。） 総合試験5を受験して合格する必要がある。（※※）
後期	6		クリニカル・クラークシップBの単位を修得し，臨床実習後OSCE及び総合試験6に合格する必要がある。（※※） 臨床実習後OSCEが不合格の場合には，クリニカル・クラークシップBの単位を認定しない。 クリニカル・クラークシップBの単位未修得者は，臨床実習後OSCE及び総合試験6を受験できない。	原級留置となる年度における6学年次の科目（4月から開始するクリニカル・クラークシップB）を再履修して単位を修得する。さらに，臨床実習後OSCEを受験して合格する必要がある。ただし，総合試験6の不合格により原級留置となった者は，クリニカル・クラークシップBの履修及び臨床実習後OSCEの受験は免除される。 総合試験6を受験して合格する必要がある。（※※）

※ 別途指定した科目を除く

※※ 合格基準については，別に定める。

2018(平成30)年度から2023(令和5)年度の入学者

課程	学年	再試験制限	進級・卒業の要件	留年した際の未修得科目の取り扱い等
前期	1	1回	1学年次の全単位を修得する必要がある。	原級留置となる年度における1学年次の全科目を再履修して単位を修得する。（ただし，実習等の科目において，履修を免除される場合がある。）
前期	2	1回	2学年次の全単位を修得する必要がある。	原級留置となる年度における2学年次の全科目を再履修して単位を修得する。（ただし，実習等の科目において，履修を免除される場合がある。）
中期	3	1回	3学年次の全単位を修得する必要がある。	原級留置となる年度における3学年次の全科目を再履修して単位を修得する。（ただし，実習等の科目において，履修を免除される場合がある。）
中期	4	1回	4学年次の全単位を修得する必要がある。 共用試験に合格する必要がある。（※※） なお，共用試験を受験するには，4学年次の全単位(※)を修得する必要がある。	原級留置となる年度における4学年次の全科目を再履修して単位を修得する。（ただし，実習等の科目において，履修を免除される場合がある。） 共用試験(CBT,OSCE)を改めて受験し,合格する必要がある。(※※)
後期	5		クリニカル・クラークシップAの単位を修得し，総合試験5に合格する必要がある。（※※）	原級留置となる年度における5学年次の科目（4月から開始するクリニカル・クラークシップA）を再履修して単位を修得する。（ただし，クリニカル・クラークシップAは修得したが，総合試験5の不合格により原級留置となった者は，クリニカル・クラークシップAの履修は免除される場合がある。） 総合試験5を受験して合格する必要がある。（※※）
後期	6		クリニカル・クラークシップBの単位を修得し，臨床実習後OSCE及び総合試験6に合格する必要がある。（※※） 臨床実習後OSCEが不合格の場合には，クリニカル・クラークシップBの単位を認定しない。 クリニカル・クラークシップBの単位未修得者は，臨床実習後OSCE及び総合試験6を受験できない。	原級留置となる年度における6学年次の科目（4月から開始するクリニカル・クラークシップB）を再履修して単位を修得する。さらに，臨床実習後OSCEを受験して合格する必要がある。ただし，総合試験6の不合格により原級留置となった者は，クリニカル・クラークシップBの履修及び臨床実習後OSCEの受験は免除される。 総合試験6を受験して合格する必要がある。（※※）

※ 別途指定した科目を除く

※※ 合格基準については，別に定める。

2017(平成29)年度以前の入学者

課程	学年	再試験制限	進級・卒業の要件	留年した際の未修得科目の取り扱い等
後期	6		クリニカル・クラークシップBの単位を修得し，臨床実習後OSCE及び総合試験6に合格する必要がある。（※※） 臨床実習後OSCEが不合格の場合には，クリニカル・クラークシップBの単位を認定しない。 クリニカル・クラークシップBの単位未修得者は，臨床実習後OSCE及び総合試験6を受験できない。	未修得科目（6学年次4月から開始するクリニカル・クラークシップB）を再履修して単位を修得する。さらに，臨床実習後 OSCEを受験して合格する必要がある。既にクリニカル・クラークシップBの単位を修得している場合，臨床実習後OSCEの再受験は必要としない。 総合試験6を受験して合格する必要がある。（※※）

※ 別途指定した科目を除く

※※ 合格基準については，別に定める。

愛知医科大学学生の自動車による通学及び駐車の規制に関する規程

（趣旨）

第１条　この規程は，愛知医科大学構内における車両の規制に関する規程第12条の規定に基づき，医学部及び看護学部の学生（以下「学生」という。）の駐車に関し，必要な事項を定める。

（定義）

第２条　この規程において「構内」及び「指定駐車場（愛知医科大学（以下「本学」という。）の駐車場のうち，学生が駐車可能なものとして本学が指定するものをいう。以下同じ。）」とは，別図のとおりとする。

２　この規程において「自動車」とは，道路交通法（昭和35年法律第105号。以下「法」という。）第３条に規定する普通自動車をいう。

（自動車通学及び駐車の規制）

第３条　自動車による通学（以下「自動車通学」という。）及び構内における駐車は，許可された者に限り，認める。

（構内への乗入禁止）

第４条　学生は，構内に自動車を乗り入れてはならない。ただし，入構しなければならない特別な理由のある者で，あらかじめ学長に入構許可願（様式１）を提出し，その許可を受けたものはこの限りでない。

２　前項ただし書により入構することを許可された者には，特別入構許可証（様式２）を交付する。

（自動車通学申請の要件）

第５条　自動車通学の許可を申請しようとする者は，次の各号の要件を備えていなければならない。

（１）　使用する自動車が，本人又は正保証人の所有であること。

（２）　使用する自動車に任意保険をかけていること。

（３）　過去１年以内に運転免許停止の処分を受けていないこと。

（４）　使用する自動車が，法定自動車検査に合格した状態のものであること。

（５）　本学が主催する交通安全講習会を受講していること。

第６条　削除

（許可申請手続）

第７条　第５条の要件を備えている者で自動車通学の許可を受けようとするものは，自動車通学許可願（様式３。以下「許可願」という。）を学長に提出しなければならない。

２　前項の許可願の提出の際には，次の各号に掲げる書類の写しを添付しなければならない。

（１）　運転免許証

（２）　自動車検査証

（３）　任意保険契約書

（自動車通学許可）

第８条　学長は，前条の許可願が提出されたときは，届出内容を確認し，許可又は不許可を決定する。

（自動車通学許可証）

第９条　学長は，自動車通学を許可された者（以下「自動車通学者」という。）には，自動車通学許可証（様式４。以下「許可証」という。）を交付する。

２　許可証の有効期間は，許可日から最初の４月30日までとする。

３　既に許可を受けた者で，許可願の記載事項に変更があつたときは速やかに変更届（様式５）に許可証を添えて学長に届け出なければならない。

４　許可証を紛失し，又は著しく損傷したため再交付を受けようとするときは，自動車通学許可証再交付願（様式６）を学長に提出しなければならない。

５　自動車通学を取り止めた者は，自動車通学許可証返却届（様式７）に許可証を添えて学長に届け出なければならない。

（駐車方法及び許可証の提示）

第10条　自動車通学者は，指定駐車場（別図）に駐車しなければならない。

２　自動車通学者が，指定駐車場に駐車するときは，許可証を，車両に備えておかなければならない。

（駐車場使用料）
第11条　自動車通学者は，別表に定める駐車場使用料（以下「駐車料」という。）を一括納入しなければならない。
２　第９条第５項の規定により届け出た者には,届け出のあつた月の翌月分からの駐車料を返還する。
（職員又は整理員の指示）
第12条　自動車通学者は，職員又は整理員の指示に従わなければならない。
（運転者の遵守事項）
第13条　運転者は，法を遵守し，交通事故を起こすことのないよういかなるときでも交通事故を未然に防ぎ得る態勢で運転しなければならない。
２　運転者は，交通事故があつた場合は，直ちに法に従つた手続を取らなければならない。この場合において，人身事故を起こしたとき又は法違反により刑事処分を受けたときは，本学に報告しなければならない。
３　運転者は，構内及びその周辺では，特に次の各号に掲げる事項を厳守しなければならない。
（１）　歩行者には，充分注意すること。
（２）　時速30キロメートル以内で走行し，追い越しをしないこと。
（３）　騒音防止に留意し，みだりに警笛を鳴らさないこと。
（４）　標識及び標示に従うこと。
４　運転者は，指定駐車場では，特に次の各号に掲げる事項を厳守しなければならない。
（１）　指定駐車場の出入口では，必ず一旦停車すること。
（２）　施設及び標識等を損傷しないこと。
（３）　危険物を積載したまま駐車しないこと。
（４）　駐車中は，車輌に必ず施錠し，貴重品は，車内に入れておかないこと。
（路上駐車禁止）
第14条　運転者は，構内周辺の道路上には，駐車してはならない。
（違反者に対する処置）
第15条　第３条，第４条第１項本文，第10条，第12条，第13条第２項から第４項まで及び前条の規定に違反した者には，文書により，通告する。
２　前項により通告された者は，速やかに本学に出頭しなければならない。
（罰則）
第15条の２　第３条，第４条第１項本文，第10条，第12条，第13条第２項から第４項まで，第14条及び前条第２項の規定に違反した者は，別に定める要項により懲戒することができる。
（許可の取消）
第16条　この規程に違反した者，提出書類に虚偽の記載があつた者又は学長が不適当と認めた者に対しては，許可の有効期間内にかかわらず，許可の取り消し等の処分をすることがある。
（事故の責任）
第17条　本学は，通学途上及び駐車中の車輌の盗難その他の事故について責任を負わない。

附　則

この規程は，昭和53年９月１日から施行する。

附　則（昭和58年９月８日一部改正）

この改正は，昭和58年９月８日から施行する。

附　則（昭和59年１月９日一部改正）

この改正は，昭和59年１月９日から施行する。

附　則（昭和63年７月14日一部改正）

この改正は，昭和63年７月14日から施行する。

附　則（平成６年５月１日一部改正）

この規程は，平成６年５月１日から施行する。

附　則（平成７年５月１日一部改正）

この規程は，平成７年５月１日から施行する。

附　則（令和２年４月１日全部改正）

この規程は，令和２年４月１日から施行する。

附　則（令和７年４月１日全部改正）

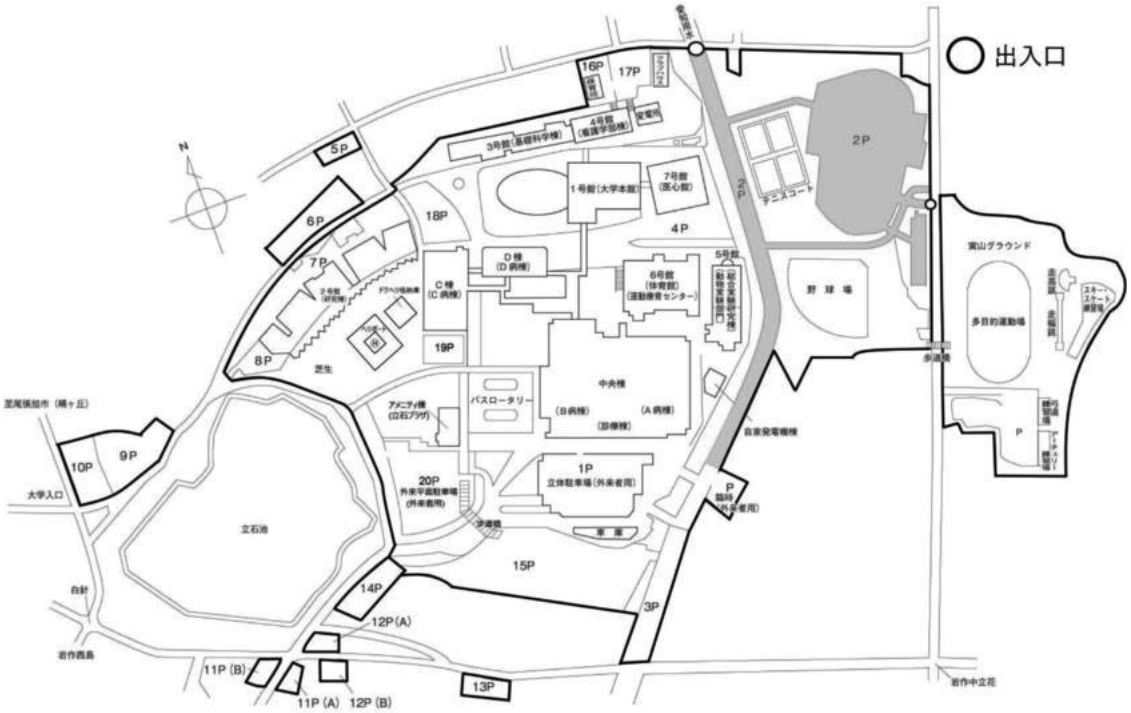
１　この規程は，令和７年４月１日から施行する。

２　この規程の施行前に，自動車通学者が,改正前の愛知医科大学学生の自動車による通学及び駐車の規制に関する規程第11条第１項の規定に基づき支払った駐車場使用料は，改正後の愛知医科大学学生の自動車による通学及び駐車の規制に関する規程第11条第１項の規定に基づき支払った駐車場使用料とみなす。

別表　駐車場使用料（第11条関係）

自動車の種類	金額（月額／税別）
普通自動車	3,500円

別図　構内及び指定駐車場



学生の駐車違反者等に対する懲戒要項

1　愛知医科大学学生の自動車による通学及び駐車の規制に関する規程第15条の２の規定に該当した者の懲戒については，この要項の定めるところによる。

2　初めて違反した者には，学生部長又は教務学生部長が厳重に注意し，誓約書を提出させる。

3　前項による処分を受けた者が再び違反した場合は，学生部長又は教務学生部長が当該違反者から謝罪文書を提出させるとともに，父兄に対し，今後違反したときは懲戒処分となる旨の警告文書を送付する。

4　前項による処分を受けた者が，当該違反行為をした日から１年以内に更に違反した場合は，愛知医科大学学則に基づき，訓告又は停学処分とする。

附　則

この要項は，昭和58年10月27日から施行する。

附　則（昭和61年３月13日一部改正）

この改正は，昭和61年３月13日から施行する。

附　則（昭和63年７月14日一部改正）

この改正は，昭和63年７月14日から施行する。

附　則（令和２年４月１日一部改正）

この要項は，令和２年４月１日から施行する。

愛知医科大学課外活動に関する規程

（趣旨）
第１条　この規程は，愛知医科大学学則第15条の規定に基づき，愛知医科大学（以下「本学」という。）の学生の課外活動について定める。
（定義）
第２条　この規程において「課外活動」とは，正課以外に学生が学生生活の充実を意図して，自由意思に基づき組織的に行う自主的な活動をいう。
（活動の範囲）
第３条　学生は，課外活動を行うに当たり，学業の妨げにならないように留意しなければならない。
（団体の承認）
第４条　課外活動団体（以下「クラブ」という。）を設立しようとする学生は，第10条に定める課外活動連絡協議会の議を経て，学長に願い出て承認を得なければならない。
２　学長は，前項の願い出があったときは，医学部学生生活委員会の議を経て承認する。
３　クラブを解散するときは，当該クラブの責任者が解散届を学長に提出しなければならない。
（顧問）
第５条　クラブに顧問を置き，本学の助教以上の教員をもって充てる。
２　顧問は，当該クラブにおける健全な課外活動の支援をするものとする。
（クラブへの加入・脱退）
第６条　クラブへの加入及び脱退は，学生自身の意思によるものとする。
（活動の制限）
第７条　学生部長は，クラブにおける課外活動が健全でないと認めたとき，又はクラブに加入している学生が成績不振のときは，クラブ又は学生への教育的指導を行うとともに，学長に報告する。
２　学長は，前項の報告に基づき，必要であると認めたときは，当該クラブの課外活動を制限し，若しくは停止し，若しくは当該クラブを廃止し，又は当該学生の課外活動を制限し，若しくは停止し，若しくは当該学生をクラブから脱退させることができる。
（外部団体への加入及び脱退）
第８条　クラブが学外団体へ加入し，又は脱退するときは，学生部長の承認を得なければならない。
（課外活動評価委員会）
第９条　学生の健全な課外活動を支援するため，課外活動評価委員会を置く。
２　課外活動評価委員会について必要な事項は，別に定める。
（課外活動連絡協議会）
第10条　課外活動を円滑に行うために，課外活動連絡協議会を置く。
２　課外活動連絡協議会について必要な事項は，別に定める。
（細則）
第11条　この規程の施行に関し必要な事項は別に定める。

附　則

１　この規程は，平成29年４月１日から施行する。
２　この規程の施行前に設立されたクラブは，この規程により設立されたものとみなす。

愛知医科大学課外活動細則

（趣旨）

第１条　この細則は，愛知医科大学課外活動に関する規程（以下「規程」という。）第11条の規定に基づき，規程の施行に関し必要な事項を定める。

（課外活動団体）

第２条　課外活動団体（以下「クラブ」という。）の活動区分は，部又は同好会とする。

（設立手続）

第３条　クラブを設立しようとする学生は，所定の設立申請書にクラブの構成員（以下「部員」という。）の名簿及び内規を添えて，学長に願い出なければならない。

２　学長は，クラブの規模及び活動内容を鑑みて，部又は同好会の判定を行う。

（部長等）

第４条　クラブには，責任者として部長を置く。

２　部長は，当該クラブの活動について顧問の指導助言を求めるものとする。

３　部長及び部員は，次のことに努めなければならない。

一　健全な課外活動を行うこと。

二　ハラスメント行為をしないこと。

三　学業の妨げにならないこと。

４　部長は，内規を変更したときは，直ちに学生部長に届け出なければならない。

（顧問）

第５条　顧問は，前条第３項に定める行為について，部長及び部員を支援するものとする。

（部員の登録）

第６条　部長は，入部希望者に対して次の資料を配布し，所定の入部申込書に入部希望者の署名を得なければならない。

一　内規

二　活動内容（年間スケジュール）

三　活動にかかる年間経費（部費）

２　部長は，毎年度初めに部員名簿を作成し，顧問の確認を受けた上で，５月末日までに学生部長に提出しなければならない。

３　部長を変更した場合は，直ちに学生部長に届け出なければならない。

（クラブハウス）

第７条　クラブハウスの部室の割当ては，学生部長が行う。

２　部室は，部長の責任において管理する。

３　部室の使用時間は，原則として，午前７時から午後10時までとする。ただし，やむを得ずこの時間以外に使用するときは，あらかじめ学生部長の許可を受けるものとする。

４　部室内の備品・器具・設備等を破損した場合は，学生部長に報告の上，部の責任において修理する。

５　部室内では，電熱器具，石油ストーブ等の火災のおそれのある器具等の使用を禁止する。

６　シャワーを使用するときは，次のことに留意しなければならない。

一　清潔に使用すること。

二　火元に注意すること。

７　学生部長は，適宜部室の点検を行うことができる。

８　学生部長は，第３項から第６項までの規定に違反したクラブには，部室の割当てを取り消すことがある。

（行事）

第８条　部長は，クラブが次の行事等を行うときは，10日前までに，顧問の確認を得て，所定の集会・行事届を学生部長に提出しなければならない。

一　イベント

二　試合（大会）

三　合宿

２　部長は，前項の行事等に宿泊を伴うときには，集会・行事届に所定の宿泊届を添付しなければならない。

（情報発信）

第９条　部長は，印刷物等を配布し，若しくは掲示し，又はクラブ情報をホームページ等で発信するときは，あらかじめ学生部長の許可を受けなければならない。

（クラブの解散手続）

第10条　クラブを解散するときは，当該クラブの部長は，所定の解散届を学長に提出しなければならない。

（大学祭）

第11条　大学祭の活動については，別に定める。

附　則

この細則は，平成29年４月１日から施行する。

医学部学生のクラブ活動に関する活動基準について

愛知医科大学課外活動に関する規程第７条第２項の規定により，医学部の学生に対してクラブ活動を制限等する場合の活動基準を次のとおり定める。

１　１学年次から４学年次で留年した場合は，進級するまでクラブ活動を停止する。

２　５学年次以降のクラブ活動については，原則認めない。ただし，クラブ活動の継続を希望する学生で，次のいずれかに該当する場合は，学長の判断により，クラブ活動の継続又は再開を認めることがある。

一　ＣＢＴ試験においての得点率が全国平均以上であること。

二　５学年次及び６学年次に行われる各総合試験において，試験成績上位50位以内であること。

３　前項の規定により，クラブ活動の継続又は再開を認められた学生が，次のいずれかに該当する場合は，学長の判断により，直ちにクラブ活動を停止する。

一　５学年次及び６学年次に行われる各総合試験において，合格基準を満たさなかった場合

二　５学年次及び６学年次に行われる各総合試験において，合格基準を満たしている場合であっても，試験成績下位20位以内であった場合

三　臨床実習における各科の評価が良好でなかった場合

４　５学年次及び６学年次で留年した場合の当該学年期間中は，第２項第２号の規定は適用しない。

附　則（平成31年４月１日一部改正）

この裁定は，平成31年４月１日から施行する。

附　則（令和２年４月１日一部改正）

この裁定は，令和２年４月１日から施行する。

愛知医科大学体育施設使用基準

この基準は，愛知医科大学体育施設管理運営規程第５条第２項の規定に基づき，体育施設の使用基準について定める。

１　使用時間

（１）　体育施設を使用できる時間は，午前９時から午後９時までとする。ただし，テニスコートは，承認した学生の課外活動団体（以下「課外活動団体」という。）以外の団体等は夜間照明の使用はできない。

（２）　課外活動団体が早朝に使用する場合は，原則として，午前７時30分からとする。その場合は使用を希望する日の３日前（土曜日，日曜日，祝日，休日及び年末年始等大学の休業日（以下「休業日」という。）を除く。）までに「愛知医科大学体育施設使用許可申請書」（以下「申請書」という。）を医学部事務部学生課（以下「学生課」という。）に提出し，体育施設管理責任者（以下「管理責任者」という。）の許可を受けなければならない。

２　計画的使用の手順

計画的に使用しようとする団体等は，次の手順による。

（１）　体育施設を計画的に使用しようとする課外活動団体は，使用を希望する月の前々月の末日までに，あらかじめ課外活動連絡協議会において調整した「体育施設使用予定表」（以下「予定表」という。）を学生課に提出する。

（２）　体育施設を計画的に使用しようとする課外活動団体以外の団体等は，使用を希望する月の前々月の末日までに，申請書を学生課に提出する。

（３）　学生課は，課外活動団体及び課外活動団体以外の団体等から提出のあった予定表及び申請書並びに大学行事等を総合調整して，体育施設使用計画表（以下「計画表」という。）を作成し，管理責任者が許可する。

（４）　使用を許可したときは，課外活動団体については学生掲示板に計画表を掲示し，課外活動団体以外の団体等については「愛知医科大学体育施設使用許可書」（以下「許可書」という。）を交付する。

３　計画的以外の使用の手順

計画表許可後，計画されていない日時に使用を希望する団体等は，次の手順による。

（１）　使用を希望する団体等は，原則として，使用を希望する日の３日前（休業日を除く。）までに申請書を学生課に提出する。

（２）　使用の許可は，管理責任者が行う。

（３）　使用を許可したときは許可書を交付し，使用を許可されなかった場合はその旨を通知する。

４　使用料

学外者が施設を使用するときは，原則として，理事長の定めるところにより使用料を徴収する。

５　使用許可の取消し

管理責任者は，次のいずれかに該当すると認めた場合は，使用の許可を取り消し，又は使用の中止を命ずることができる。

ア　愛知医科大学（以下「本学」という。）の止むを得ぬ事情のとき。

イ　使用者が，係員の指示に従わないとき。

ウ　使用者が，第三者に施設の一部又は全部を転貸したとき。

エ　秩序を乱し，又は他の使用者に迷惑を及ぼすおそれがあると認めたとき。

オ　その他管理責任者が不適当と認めたとき。

６　使用上の注意事項

（１）　体育施設全般の使用上の注意事項

ア　使用許可を受けた目的以外に施設を使用しないこと。

イ　施設内に特殊な設備を施し，又は特殊な物品・用具を搬入するときは，あらかじめ管理責任者の許可を受け，その指示に従うこと。

ウ　施設・設備又は用具を破損し，汚損し，又は紛失したときは学生課に届け出て，指示を受けること。この場合，原則として，相当の弁償をしなければならない。

エ　常に整理・整頓に努め，使用後は，清掃し，施設及び設備を原状に復しておくこと。

オ　許可なく掲示及び貼紙等をしないこと。
カ　指定場所以外では，飲食をしないこと。
キ　ゴミは持ち帰ること。
ク　火気の使用は禁止する。
ケ　施設内で発生した事故について，特別の事由ある場合を除き，本学は，一切責任を負わない。
コ　使用を取り止めるとき，又は変更するときは，速やかに学生課に連絡すること。
サ　寅山グラウンドは通常，鍵が掛けられているので，使用する場合は，学生課（休業日は守衛室）で寅山グラウンドへの進入路である歩道橋の鍵を受け取り，終了後は鍵を施錠の上，守衛室に返却すること。
シ　課外活動団体以外の団体等が休業日に雁又グラウンド（テニスコート又は野球場）を使用する場合は，守衛室でテニスコートの鍵又は野球場の鍵を受け取り，使用後は鍵を守衛室に返却すること。
ス　休業日に体育館を使用する場合は，守衛室に体育館の開錠を依頼し，終了後も守衛室に連絡し，施錠を依頼すること。
セ　体育施設内に関係者以外の者が入り込んだときは，直ちに学生課又は守衛室に連絡すること。
ソ　その他施設の使用等については，係員の指示に従うこと。

（2）　体育館の使用上の注意事項
ア　アリーナ内は体育館用シューズを着用すること。
イ　武道場には運動靴等で入らないこと。
ウ　持ち物は，各自の責任において保管すること。
エ　忘れ物のないようにすること。
オ　照明を点灯した場合は，使用終了後，必ず消灯すること。
カ　使用終了時刻が17時以降の場合は，使用終了後，守衛室に体育館の施錠を依頼すること。
キ　他の利用者の迷惑にならないように使用すること。

（3）　テニスコート内での使用上の注意事項
ア　テニス専用シューズを着用すること。
イ　使用後は，コートブラシでコートのブラッシングを行い，ネットのワイヤーロープを緩めておくこと。

（4）　雁又グラウンド（野球場及び陸上競技場）及び寅山グラウンド（多目的運動場内）での使用上の注意事項
ア　専用シューズを着用すること。
イ　使用後は，必ず整地すること。
ウ　多目的運動場内での芝がはがれた場合は，芝が乾燥しないうちに，はがれた場所に埋めなおすこと。また，はがれた芝に破損又は異常があった場合は，直ちに学生課に連絡すること。

（5）　アーチェリー練習場及び弓道場練習場内での使用上の注意事項
ア　練習開始前には，練習場の周りにクラブ部員以外の者がいないことを確認し，安全に十分配慮して使用すること。
イ　芝がはがれた場合は，芝が乾燥しないうちに，はがれた場所に埋めなおすこと。また，はがれた芝に破損又は異常があった場合は，直ちに学生課に連絡すること。
ウ　使用後は，必ず練習場の入り口を施錠すること。

（6）　走り幅跳び及び走り高跳びの練習場内での注意事項
ア　使用後は，必ず整地すること。
イ　使用していないときは，砂場及びマットにシートを掛けること。

7　この基準に定めるもののほか，体育施設の使用に関する事項は，その都度管理責任者が定める。

附　則

この基準は，平成19年５月21日から施行する。

資　　料

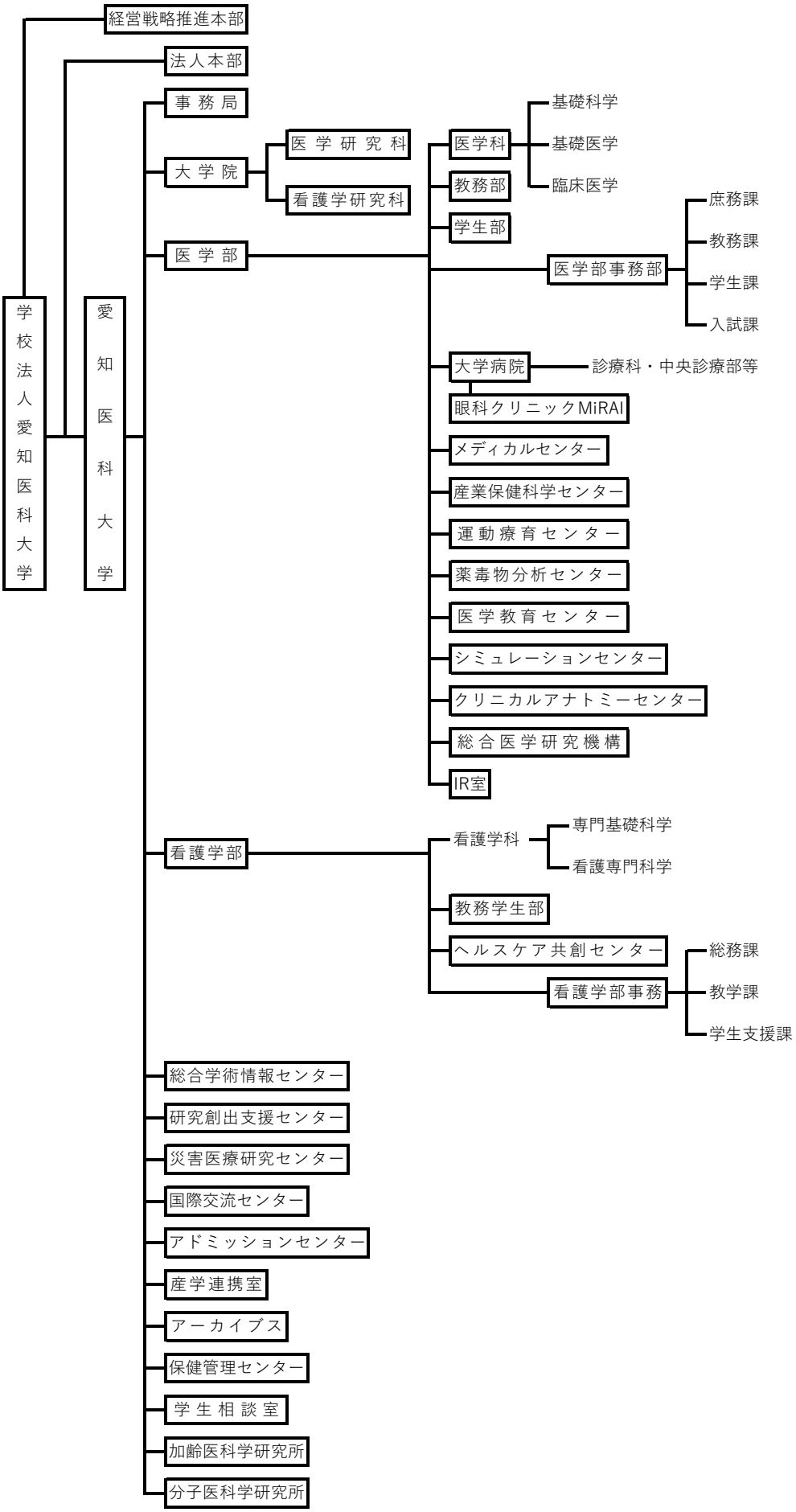
交通の案内

最新の経路，時刻表，乗り場等については，本学ホームページもしくは名鉄バスホームページを確認してください。

交通のご案内　https://www.aichi-med-u.ac.jp/su16/index.html



学園運営機構


学校法人愛知医科大学
愛知医科大学
経営戦略推進本部
法人本部
事務局
大学院
医学研究科
看護学研究科
医学部
医学科
基礎科学
基礎医学
臨床医学
教務部
学生部
医学部事務部
庶務課
教務課
学生課
入試課
大学病院
診療科・中央診療部等
眼科クリニックMiRAI
メディカルセンター
産業保健科学センター
運動療育センター
薬毒物分析センター
医学教育センター
シミュレーションセンター
クリニカルアナトミーセンター
総合医学研究機構
IR室
看護学部
看護学科
専門基礎科学
看護専門科学
教務学生部
ヘルスケア共創センター
看護学部事務
総務課
教学課
学生支援課
総合学術情報センター
研究創出支援センター
災害医療研究センター
国際交流センター
アドミッションセンター
産学連携室
アーカイブス
保健管理センター
学生相談室
加齢医科学研究所
分子医科学研究所

人事組織

理事長・学長・役職員

理事長	祖父江　元	学長	祖父江　元
副学長	笠井　謙次	副学長	若杉　里実
副学長	天野　哲也	副学長	伊藤　理
副学長	佐藤　元彦	医学研究科長	笠井　謙次
看護学研究科長	若杉　里実	医学部長	笠井　謙次
看護学部長	若杉　里実	医学部教務部長	鈴木　耕次郎
医学部学生部長	宮本　淳	看護学部教務学生部長	泉　雅之
法人本部長	岩船　徹夫	事務局長	羽根田　雅巳
総合学術情報センター長	細川　好孝	研究創出支援センター長	武内　恒成
災害医療研究センター長	津田　雅庸	国際交流センター長	都築　豊徳
アドミッションセンター長	仙石　昌也	アーカイブズ室長	細川　好孝
保健管理センター長	鈴木　孝太	学生相談室長	宮本　淳
加齢医科学研究所長	岩崎　靖	分子医科学研究所長	
病院長	天野　哲也	メディカルセンター病院長	羽生田　正行
眼科クリニックMiRAIクリニック長	三木　篤也	産業保健科学センター長	鈴木　孝太
運動療育センター長	牛田　享宏	薬毒物分析センター長	妹尾　洋
医学教育センター長	早稲田　勝久	シミュレーションセンター長	早稲田　勝久
クリニカルアナトミーセンター長	内藤　宗和	総合医学研究機構長	佐藤　元彦
IR室長	笠井　謙次	ヘルスケア共創センター長	心光　世津子

客員教授

浅井　哲也	新井　えいみ	庵原　耕一郎	池上　啓介	磯部　智	
伊藤　誠	井上　保介	伊吹　恵里	今井　圓裕	今井　常夫	
岩瀬　敏	岩田　博英	岩堀　裕介	植田　美津恵	植谷　忠之	
梅屋　崇	大曲　貴夫	岡田　正人	岡田　泰伸	小川　賢二	
笠井　裕一	勝又　義直	加藤　宏一	加藤　栄史	加藤　総夫	
加藤　美穂子	金子　宏	鎌田　信彦	川崎　雅規	川崎　元敬司	
河野　正美	北川　喜己	桑原　義彦	小泉　周	小泉　憲	
小出　龍郎	小嶋　哲人	後藤　忠雄	小林　和人	小針　誠	
小松　俊一郎	小松　孝行	佐々木　邦明	佐藤　純	柴田　英治	
澁谷　いづみ	瀬上　清貴	瀬戸　加大	高島　浩明	髙柳　友子	
田中　英成	築山　郁人	Dietger Walter Niederwieser	Debra Lee Klamen	中尾　直樹	
永谷　哲也	中野　雄介	中村　小源太	西尾　芳文	錦織　宏	
服部　良平	濱田　洋司	早川　俊彦	福田　元敬	不二門　尚	
古井　景	古川　まどか	前田　晃	松尾　仁司	松原　貴子	
三木　靖雄	水谷　登	宮木　孝昌	宮地　正彦	村上　秀樹	
室谷　健太	森　健	森重　直行	森島　泰雄	森田　博之	
山岸　由佳	山下　誠	山田　琢之	山元　章示	山本　英督	
渡邉　邦友	渡邊　美寿津	渡部　和彦	渡会　雅也		

名誉教授

柴田　幸雄	土岡　弘通	青木　重久	西田　祥藏	堀部　博	
池谷　敏彦	山田　髙路	藤本　孟男	大野　完	吉田　行夫	
深津　英捷	綾川　良雄	伊藤　元	野口　昌良	廣岡　良文	
三井　忠夫	青山　久	吉野　昌孝	中川　洋	髙野　順子	
加藤　延夫	野田　愛司	木全　弘治	髙橋　照子	佐橋　功	
松原　昌樹	野口　宏	原　一夫	齋藤　征夫	稲福　繁	
小松　徹	橋詰　良夫	山田　史郎	本多　靖明	菅屋　潤壹	
伊藤　隆之	木村　英作	房岡　秀郎	髙本　滋	長谷川　髙明	
伊藤　義昭	小幡　剛隆	岡田　忠	鶴澤　正仁	太田　敬	
仁田　正和	石川　直久	二村　真秀	佐藤　芙佐子	横井　豊治	
福富　隆志	野浪　敏明	横地　高志	岩城　正佳	磯部　文隆	
浅本　憲	土井　まつ子	佐賀　信介	小林　章雄	今井　裕一	
大竹　千生	石口　恒男	小島　貞男	中川　隆	小寺　良尚	
八島　妙子	白鳥　さつき	高安　正和	塩見　利明	池田　洋	
横尾　和久	衣斐　達	西川　和裕	佐藤　啓二	吉田　眞理	
山口　悦郎	植田　広海	夛喜田　惠子	羽生田　正行	中村　二郎	
武山　直志	藤原　祥裕	中野　隆	木村　伸也	馬場　研二	
伊藤　恭彦	出家　正隆	上田　龍三	兼本　浩祐	米田　政志	
石橋　宏之	嶋　秀行	菊地　正悟	岡田　尚志郎	杉本　郁夫	
高橋　佳子	佐藤　ゆか	山森　孝彦	若槻　明彦	宮地　茂	
福澤　嘉孝	渡辺　秀人	風岡　宜暁	春日井　邦夫	道　勇学	
坂本　真理子					

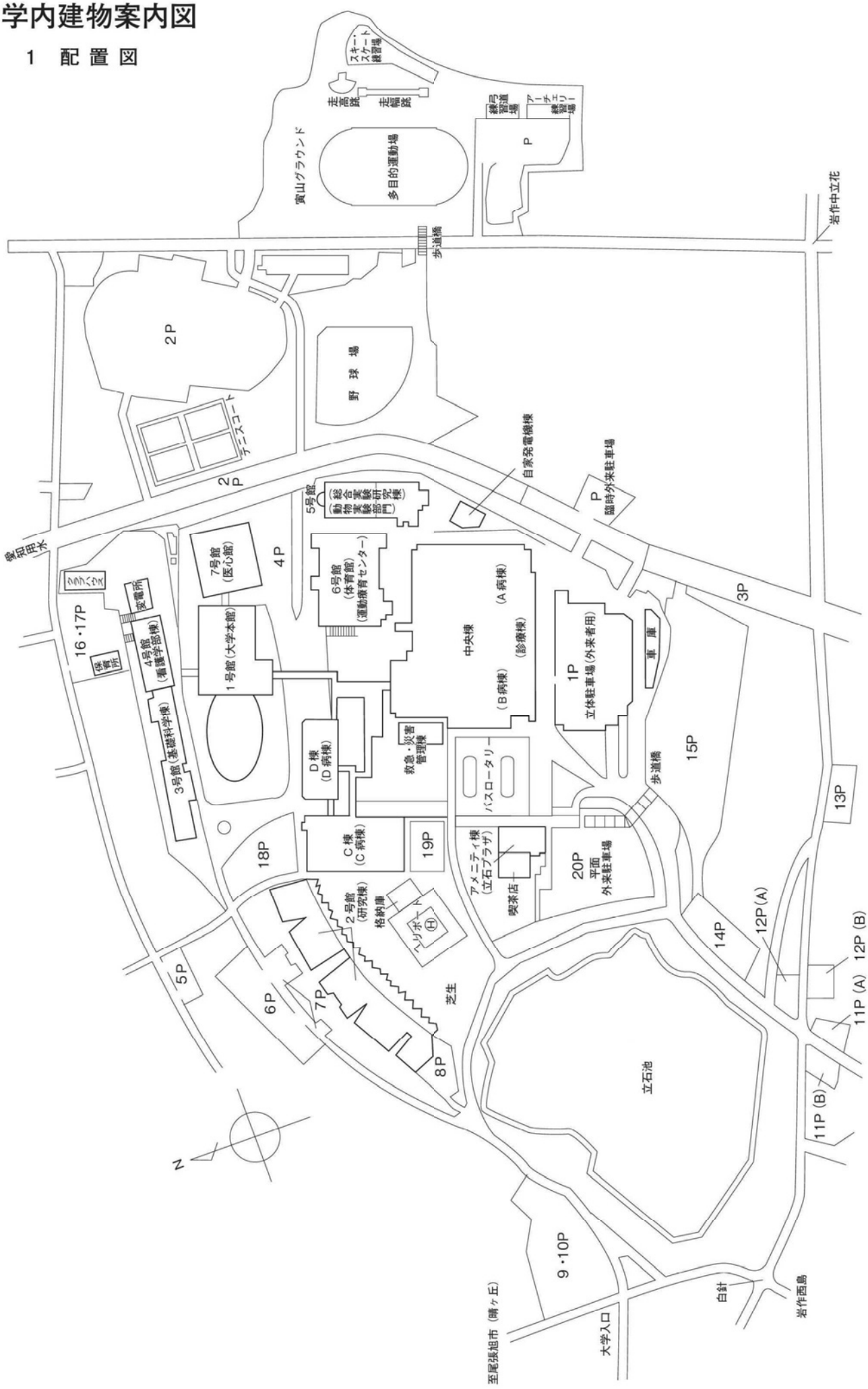
教員一覧

［詳細はタイトルから確認］	［詳細はQRコードから確認］
■ 基礎科学部門	
■ 基礎医学部門	
■ 臨床医学部門	
■ 寄附講座	

［詳細はタイトルから確認］	［詳細はQRコードから確認］
■ 教育施設	
■ 診療部門	
■ 研究施設	
■ 研究所	

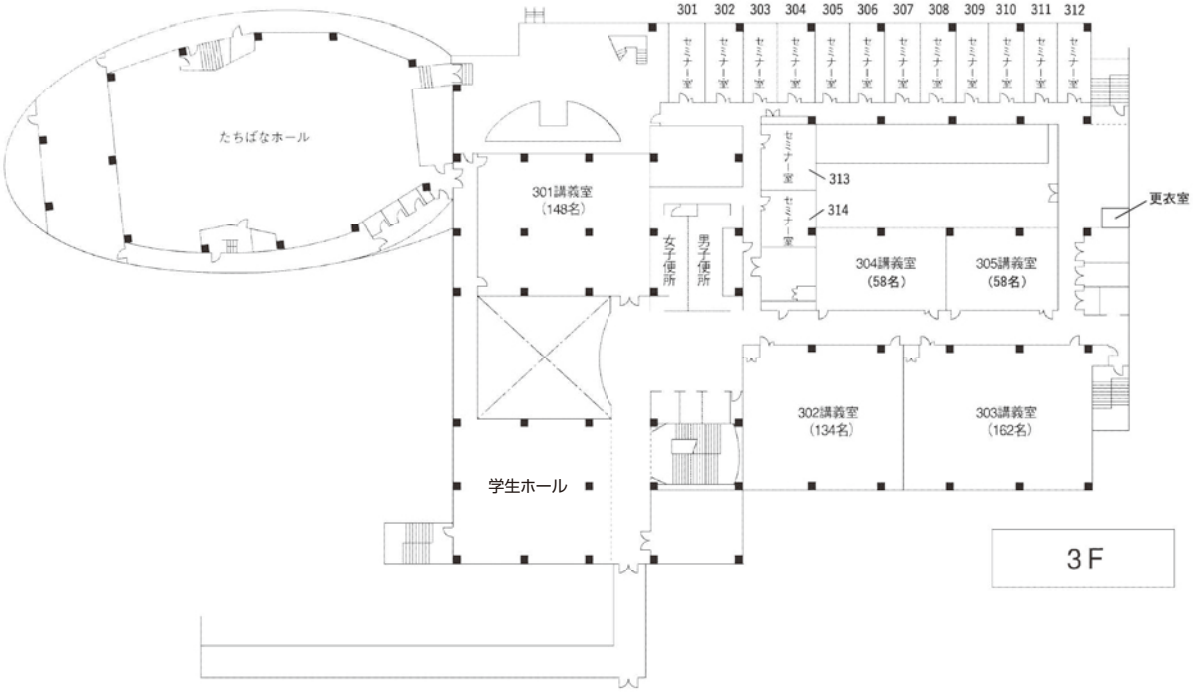
学内建物案内図

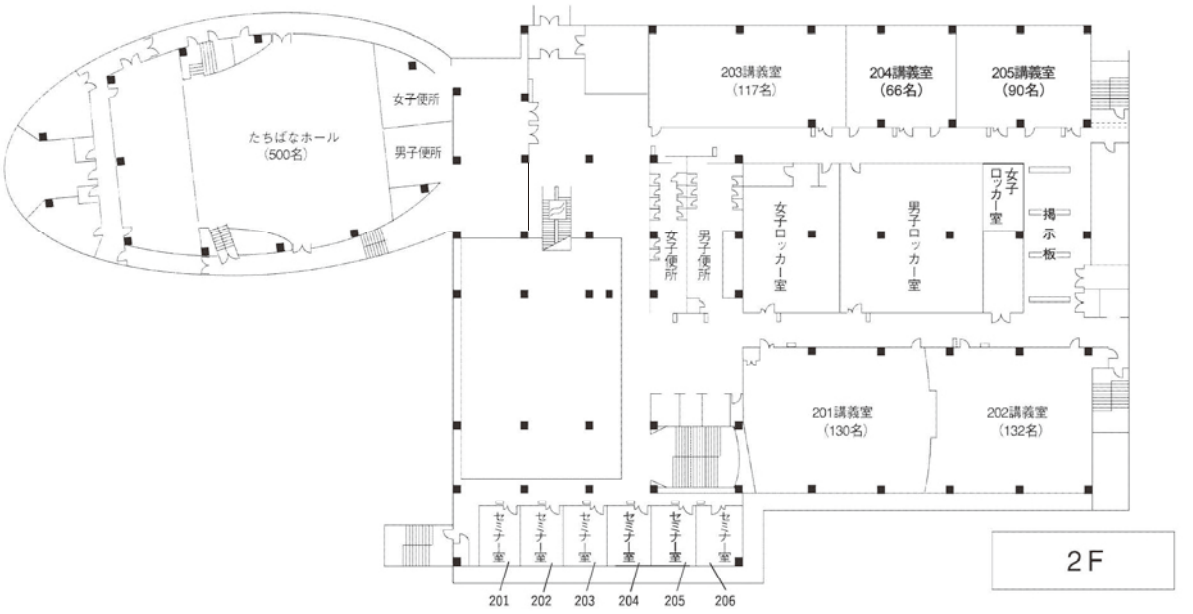
1　配 置 図

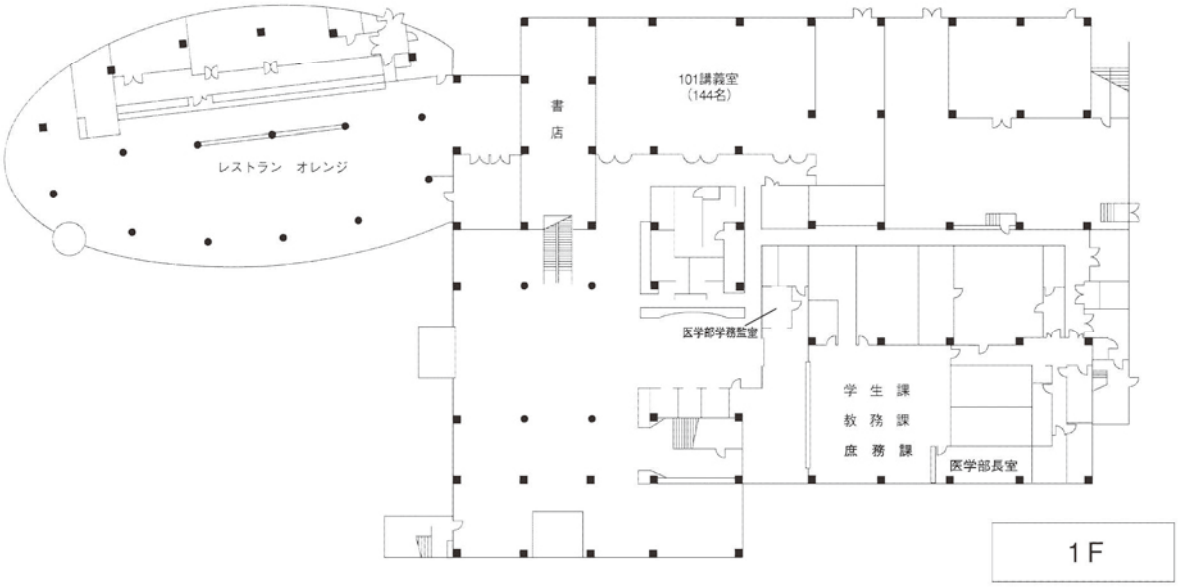


2　建物見取図

(1)　1号館（大学本館）

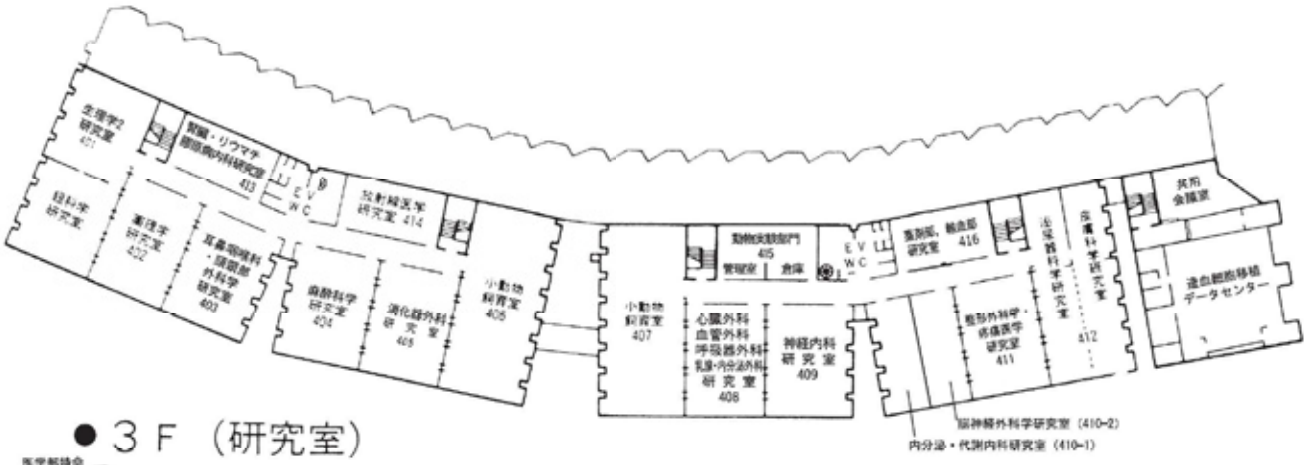




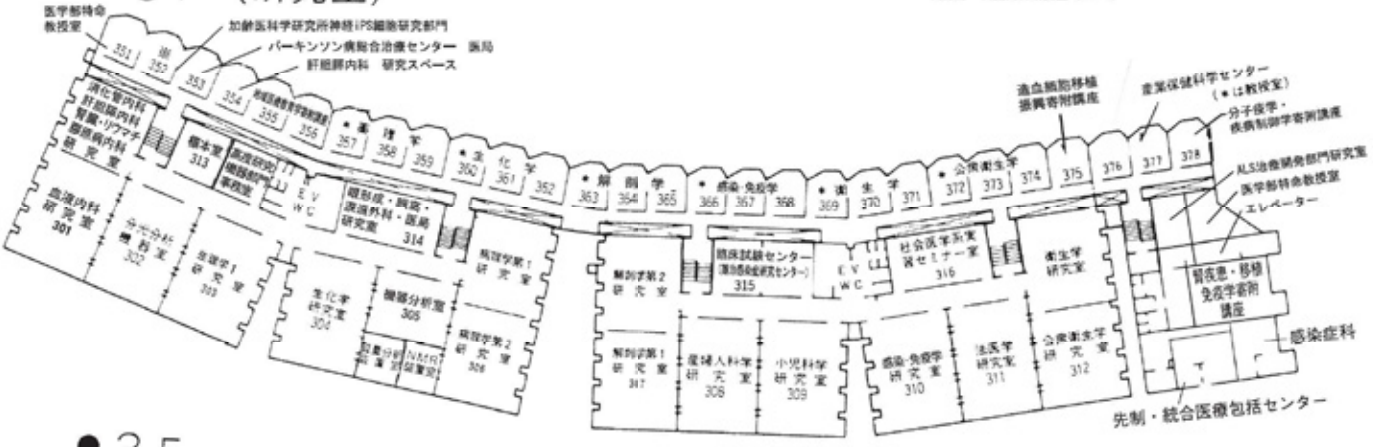


(2) **2号館（研究棟）**

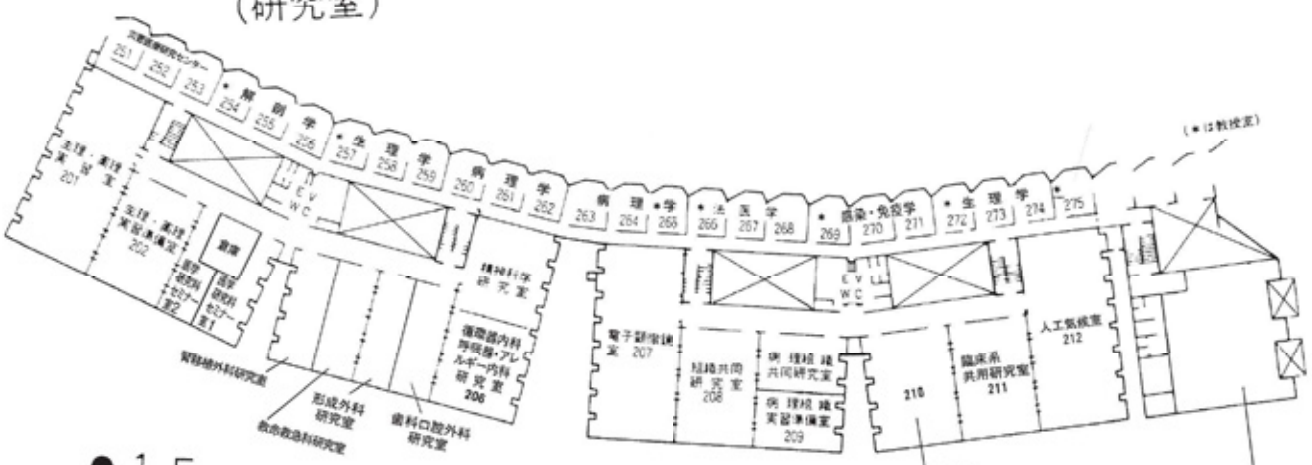
● 4 F （研究室）



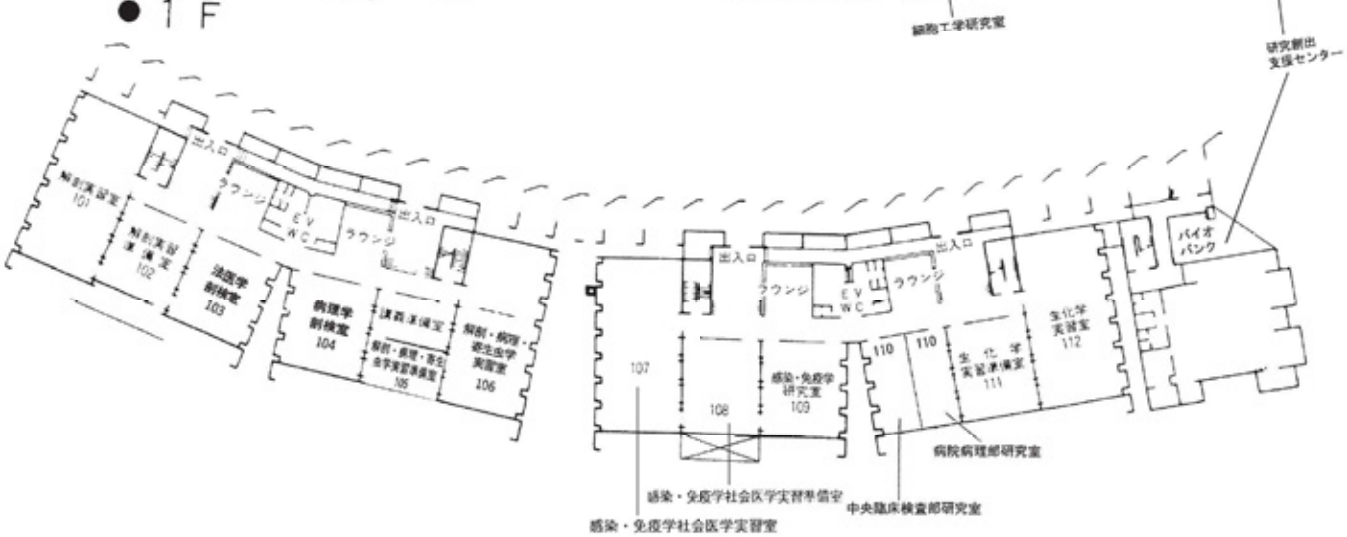
● 3 F （研究室）



● 2 F （研究室）



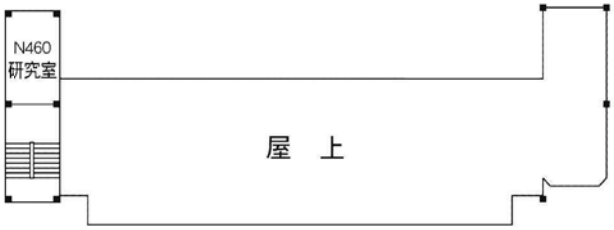
● 1 F



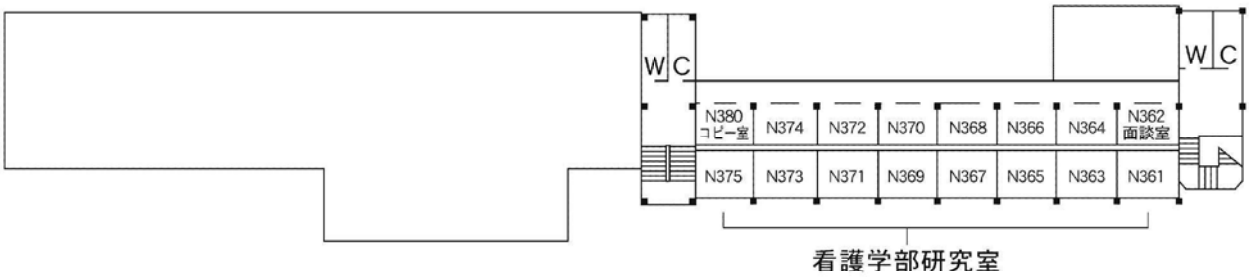
(3)　３号館（基礎科学棟）及び４号館（看護学部棟）

①　３号館

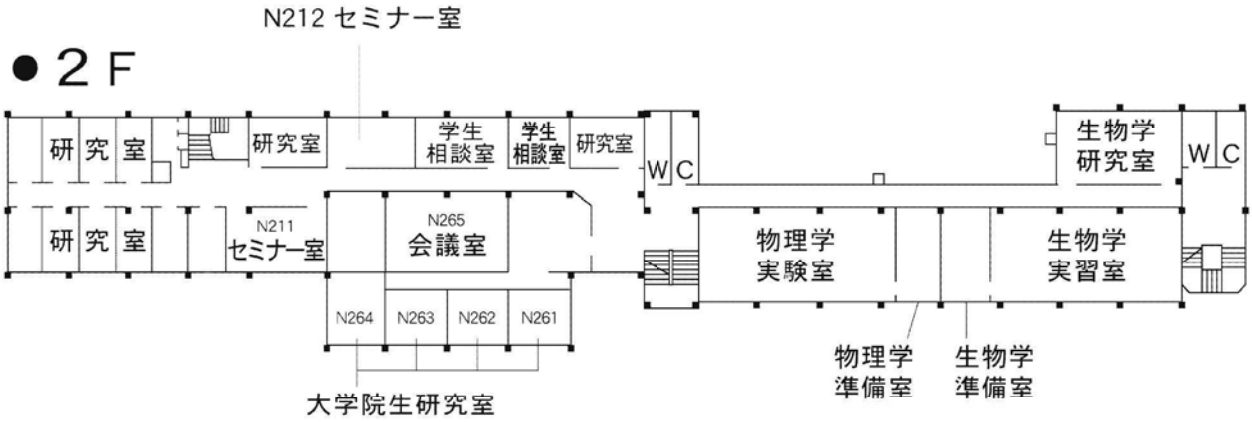
● 4 F



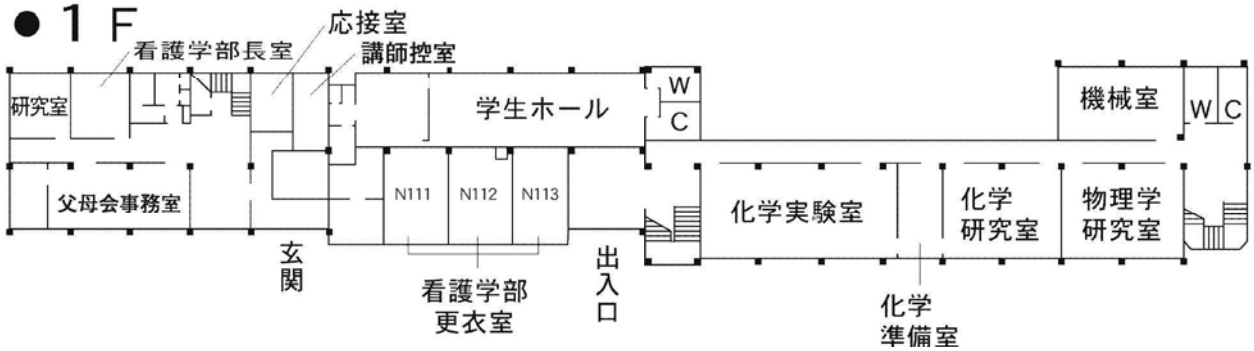
● 3 F



● 2 F

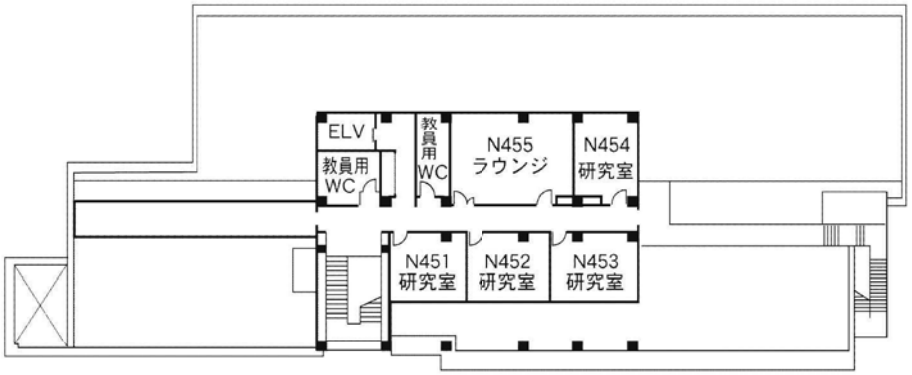


● 1 F

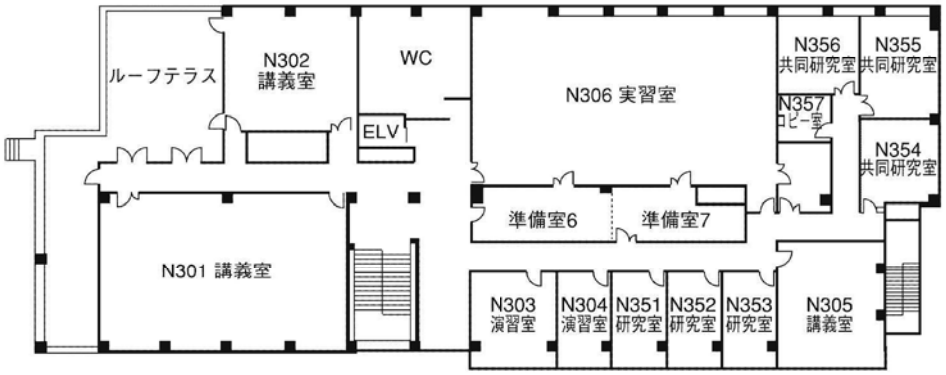


② ４号館

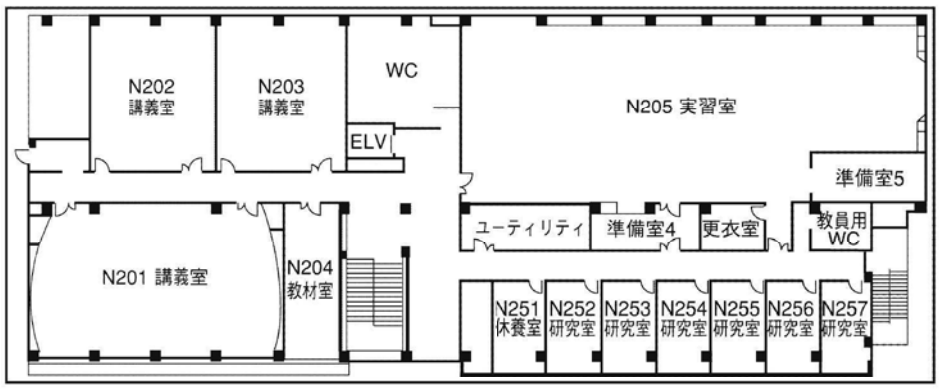
○４Ｆ



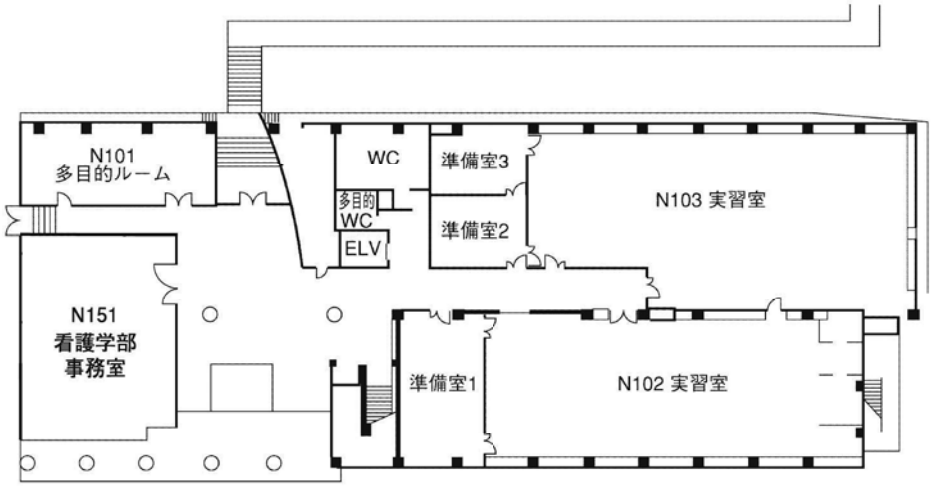
○３Ｆ



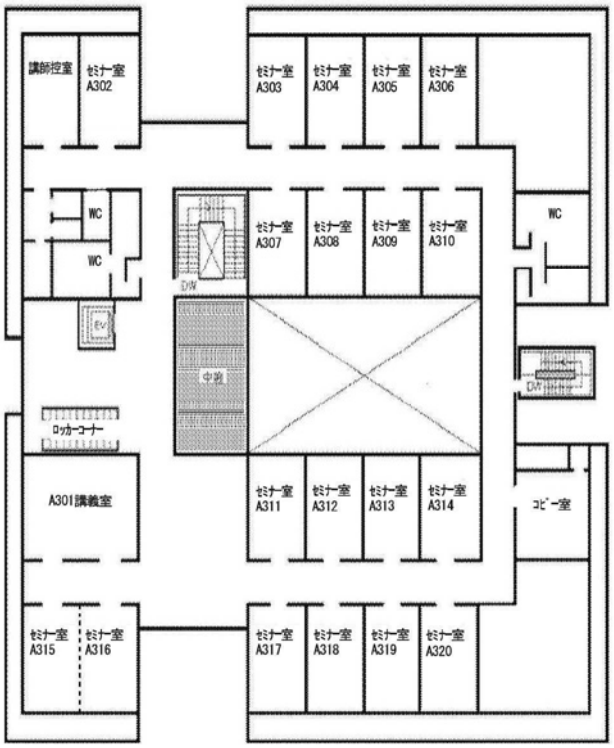
○２Ｆ



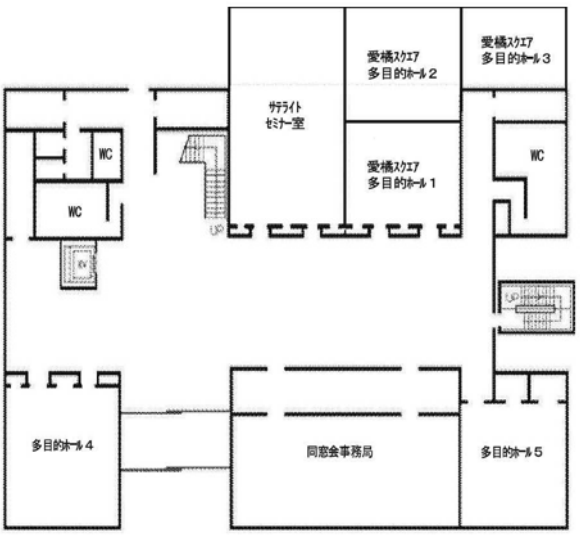
○１Ｆ



(4) 7号館（医心館）


講師控室
セミナー室 A302
セミナー室 A303
セミナー室 A304
セミナー室 A305
セミナー室 A306
WC
WC
セミナー室 A307
セミナー室 A308
セミナー室 A309
セミナー室 A310
WC
DW
EV
中庭
ロッカーコーナー
A301講義室
セミナー室 A311
セミナー室 A312
セミナー室 A313
セミナー室 A314
コピー室
セミナー室 A315
セミナー室 A316
セミナー室 A317
セミナー室 A318
セミナー室 A319
セミナー室 A320
3F


講師控室
セミナー室 A201
セミナー室 A202
セミナー室 A203
セミナー室 A204
セミナー室 A205
セミナー室 A219
WC
WC
セミナー室 A206
セミナー室 A207
セミナー室 A208
セミナー室 A209
WC
DW
UP
EV
中庭テラス
ロッカーコーナー
セミナー室 A222
セミナー室 A210
セミナー室 A211
セミナー室 A216
セミナー室 A217
コピー室
セミナー室 A220
セミナー室 A221
セミナー室 A212
セミナー室 A213
セミナー室 A214
セミナー室 A215
セミナー室 A218
2F


愛橋スクエア 多目的ホール2
愛橋スクエア 多目的ホール3
サテライト セミナー室
WC
WC
愛橋スクエア 多目的ホール1
WC
UP
EV
多目的ホール4
同窓会事務局
多目的ホール5
1F

⑸大学病院

①　中央棟

14B病棟	（14階）	14A病棟
13B病棟	（13階）	13A病棟
12B病棟 （SCU）	（12階）	12A病棟
11B病棟	（11階）	11A病棟
10B病棟	（10階）	10A病棟
9B病棟	（9階）	9A病棟
8B病棟	（8階）	8A病棟
7B病棟	（7階）	7A病棟
6B病棟 （NICU，GCU，MFICU）	（6階）	6A病棟

（5階）
手術室，GICU，麻酔外来周術期センター

（4階）
外来（皮膚科，耳鼻咽喉科・頭頸部外科，頭蓋手外科センター，歯科口腔外科，眼科，眼形成・眼窩・涙道外科，腎臓・リウマチ膠原病内科，腎移植外科），総合腎臓病センター，高度救命救急センター（EICU，HCU），先制・統合医療包括センター，病理診断センター，栄養相談室（入院患者）

立体駐車場からの通路

（3階）
外来（血液内科，乳腺・内分泌外科，造血細胞移植センター，消化管内科，肝胆膵内科，消化器外科，放射線科，産科・婦人科，周産期母子医療センター，睡眠科/睡眠医療センター，脳卒中センター，神経内科，脳神経外科，整形外科，脊椎・脊髄センター，人工関節センター，スポーツ医科学センター，疼痛緩和外科/いたみセンター，腹部ヘルニアセンター，骨盤・四肢外傷センター，肥満症治療センター，骨粗鬆症・ロコモ・関節疾患センター，内視鏡センター，臨床腫瘍センター/外来化学療法室，リハビリテーションセンター，病院長室，看護学部事務室，共同カンファレンスルーム，総合自販機コーナー

立体駐車場からの通路

（2階）
外来（小児科，てんかんセンター（小児），形成外科，泌尿器科，循環器内科，心臓外科，血管外科，呼吸器・アレルギー内科，呼吸器外科，内分泌・代謝内科，糖尿病内科/糖尿病センター，総合診療科，感染症科，ゲノム医療センター，心不全包括管理センター），輸血センター，採血・採尿センター，生理機能検査センター，臨床研究支援センター，医療安全管理室，感染管理室，栄養相談室（外来患者），医療情報システム課事務室，中央会計窓口，おくすり窓口，健康情報室，医療売店，コーヒーショップ，コンビニ，簡易郵便局，ATM，理容室・美容室，レストラン，職員レストラン

立体駐車場からの通路

（1階）
プライマリケアセンター，高度救命救急センター（ER），TACU，血管内治療センター，画像診断センター（一般撮影室，CT室，MRI室，透視検査室，結石破砕室），入退院支援センター，患者相談窓口，総合相談室（医療福祉相談室，継続看護相談室，がん相談支援センター，肝疾患相談室），ボランティアセンター，総合受付，インフォメーション，病院事務室

（地下1階）
核医学センター（PET検査室，RI検査室），放射線治療センター（リニアック室），総合物流センター，中央材料部，臨床工学部，薬剤部，栄養部，温熱療法室

②　C棟

	ALS治療研究開発部門			12階	
医局	外科学，眼科学，耳鼻咽喉科・頭頸部外科学，形成外科			11階	
医局	小児科学，皮膚科学，リハビリテーション科，輸血部 卒後臨床研修センター，終戦記母子医療センター， 中央臨床検査部，医学部臨床教授室，造血細胞移植センター			10階	
医局	精神科学，脳神経外科学，整形外科学， 放射線医学，麻酔科学，歯科口腔外科			9階	
	医学部臨床教授室，シミュレーションセンター，多目的ルーム			8階	＜連絡通路＞
	医学部臨床教授室，看護学部教授室			7階	＜連絡通路＞
	シミュレーションセンター，国際交流センター			6階	＜連絡通路＞
医局	糖尿病内科 睡眠科	医学部臨床教授室 看護学部教授室	看護学部研究室 看護学部共同研究室 看護学部多目的ルーム	5階	
	4C病棟			4階	
	精神神経科外来，てんかんセンター，こころのケアセンター			3階	＜連絡通路＞
	一般財団法人愛知医科大学愛恵会 愛知医大サービス株式会社	看護学部ｶﾝﾌｧﾚﾝｽﾙｰﾑ C203，C204，C205	C202 講義室	C201 講義室	2階
	中央監視室，機械室				1階

③　D棟

	機械室	
	特定行為研修室	
医局	心不全包括管理センター	
	保健管理センター	
医局	泌尿器科学，医学部特命教授室，骨盤・四肢外傷センター	
医局	腎臓・リウマチ膠原病内科，産婦人科学 臨床腫瘍センター，臨床研究支援センター， 栄養治療支援センター，痛み医療開発寄付講座	
医局	消化管内科/肝胆膵内科，血液内科　医学部臨床教授室 脳卒中センター　中央カルテ室	
医局	消化管内科/肝胆膵内科，血液内科，循環器内科， 呼吸器・アレルギー内科，内分泌・代謝内科， 神経内科，総合診療科/ﾌﾟﾗｲﾏﾘｹｱｾﾝﾀｰ	
	機械室	

2025年度　学生便覧・教科案内

2025年4月1日

発行　愛知医科大学医学部事務部

〒480-1195

愛知県長久手市岩作雁又１番地１

電　話　＜0561＞62-3311(代)

学生課ダイヤルイン　＜0561＞61-5314

教務課ダイヤルイン　＜0561＞61-5244

ＦＡＸ　＜0561＞62-6690

印刷　株式会社山菊

電　話　＜052＞731-1525(代)